

令和4年度決算  
事業担当課による  
事務事業評価調書

豊後大野市

## 目次

### 『事業担当課による事務事業評価調書』

I 基本的な考え方	3 P
II 評価調書における各項目の説明	6 P
III 評価項目、評価対象事業の考え方及び今後の方向性	7 P
IV 課局別評価（事業の方向性）結果一覧表	8 P
V 事務事業評価調書	10 P
VI 課局別評価対象外事務事業一覧表	431 P

## I 「事業担当課による事務事業評価」の基本的な考え方

### ○事務事業評価の目的

全ての業務は「手段」であって、活動することそのものに目的はなく、「成果」を生み出すことに「目的」があります。

しかし、業務を遂行した結果、どのような「成果」が生まれるのか、あるいは「行政サービスの受け手がどのようになるのか」について、あまり意識をせずに業務を行っているケースも見られます。

そこで「成果」を意識した計画立案を行うことや、「活動」した結果から生まれた「成果」について、担当職員や所属長等が「確認・共有化」を図るために、一次評価として担当係長が、二次評価として所属長等が事務事業を評価します。

また、担当職員自らが市民の目線で、実施した事業の目的や方法を客観的に見つめ直し、意識改革を図ります。

さらに、評価結果に基づき、目的達成のための課題や問題点を発見し、各課が主体的に改善・改革方法を考え実行していきます。

### ○事務事業の効率性の向上

事務事業を予算の執行率や事業の進捗度という観点からだけでなく、事務事業の目的や目標を明確にし、その成果・結果を明らかにすることによって、当初設定した目標の達成度等を客観的に評価し、その結果を行政運営の改善につなげることにより、市民の満足度の高い行政サービスを効率的に提供します。

### ○事務事業の見直しと予算編成への反映

不要・不急あるいは効果の小さい事務事業を明確にすることによって、事務事業の整理・合理化・廃止及び予算編成への反映やその効率的な配分を図ります。

事務事業担当課は、当初予算編成時に示されるシーリング（事業充当一般財源の要求上限額）の範囲内で、自ら積極的なマネジメント（事業の優先順位に伴う取捨選択やスクラップ・アンド・ビルド等）により予算編成を行います。その際（マネジメント時）の判断材料（優先順位等の根拠）として事務事業評価を活用することとします。

### ○行政の透明性と市民への説明責任

事務事業の目的、内容、達成度などを市民に公表することによって、行政の透明性の向上を図るとともに市民に対する説明責任を果たします。

### ○職員の意識改革

評価活動を通して、担当する事務事業の目的意識・目標達成意識やコスト意識の浸透など、職員の意識改革を図ります。



# 総合計画の全体図

まちの将来像

人も自然もシアワセなまち

まちづくりの大綱

育ち合い、行動する、市民参画によるコミュニティづくり

基本理念

しごと・くらし・ひと・環境

## 政策

豊かな生活を支える  
しごとがあるまち

## 施策

### 1. 農業の振興

- (1) 農業経営基盤を整備する
- (2) 多様な担い手を育成する
- (3) 農業生産基盤を整備する
- (4) ブランド化、販路拡大を強化する
- (5) 遊休農地の解消を推進する
- (6) 畜産業を支援する
- (7) 有害鳥獣対策を強化する

### 2. 林業の振興

- (1) 林業経営体を支援する
- (2) 林業生産基盤を整備する

### 3. 工業の振興

- (1) 企業誘致を推進する
- (2) 新たな産業を支援する

### 4. 商業・サービス業の振興

- (1) 経営基盤を強化する
- (2) 商店街を活性化させる
- (3) 中心市街地を活性化させる

### 5. 観光の振興

- (1) 新たな観光振興ビジョンを策定する
- (2) 観光情報発信を強化する
- (3) 観光拠点を整備する

### 6. 雇用環境の向上

- (1) 雇用創出の拠点を整備する
- (2) 就業環境を充実する
- (3) 勤労者福祉を向上する

## 政策

豊かな福祉社会の実現を  
目指すまち

## 施策

### 1. 保健・医療サービスの充実

- (1) 健康づくり活動を推進する
- (2) 疾病予防を推進する
- (3) 地域医療環境を充実する

### 2. 地域福祉の充実

- (1) 地域福祉活動を推進する
- (2) 災害時における地域福祉を支援する

### 3. 結婚・出産・子育て支援の充実

- (1) 子育て支援サービスを充実する
- (2) 保育サービスを充実する
- (3) 男女の出会いの場を提供する

### 4. 高齢者福祉の充実

- (1) 介護サービスを充実する
- (2) 介護予防・地域包括ケアを充実する
- (3) 生きがいづくりを推進する

### 5. 障がい者福祉の充実

- (1) 障がい者福祉サービスを充実する
- (2) 自立支援サービスを充実する

### 6. 社会保障の充実

- (1) 低所得者福祉を充実する
- (2) 国民健康保険制度の健全な運営を推進する
- (3) 国民年金制度の健全な運営を推進する
- (4) 後期高齢者医療制度の健全な運営を推進する

## 政策

豊かな暮らしと安心を  
実感できるまち

## 施策

### 1. 交通ネットワークの整備

- (1) 市道を整備する
- (2) 国道・県道の整備を促進する
- (3) 公共交通の整備を促進する
- (4) コミュニティバスの運行を推進する

### 2. 上下水道の整備

- (1) 上下水道等を整備する
- (2) 生活排水処理を推進する

### 3. 住宅環境等の整備

- (1) 市営住宅を整備する
- (2) 住宅団地を整備する
- (3) 公園・緑地を整備する

### 4. 土地利用・景観の整備

- (1) 都市計画区域を整備する
- (2) 地籍調査を推進する
- (3) 緑化を推進する

### 5. 環境衛生の推進

- (1) 汚水処理対策を充実する
- (2) 廃棄物対策を充実する
- (3) 葬斎場等の適正管理、公衆衛生を推進する
- (4) 循環型社会を形成する

### 6. 移住・定住の促進

- (1) 移住・定住を促進する

### 7. 交通安全・防犯対策の推進

- (1) 交通安全対策を推進する
- (2) 防犯対策を推進する
- (3) 消費者対策を充実する

### 8. 防災対策の充実

- (1) 防災体制を強化する
- (2) 災害危険区域を整備する
- (3) 災害対策を強化する

### 9. 消防・救急体制の充実

- (1) 消防・救急体制を強化する
- (2) 消防施設を整備する

### 10. 情報管理、情報化の推進

- (1) 適正な情報管理を強化する
- (2) 公聴・広報活動を充実する
- (3) ケーブルテレビ事業を充実する
- (4) 携帯電話不感地域を狭める

## 政策

### 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり

## 施策

#### 1. 地域コミュニティ活動の推進

- (1) 地域コミュニティを育成する
- (2) 地域を支える人材を育成する

#### 2. 協働によるまちづくりの推進

- (1) 協働の仕組みづくりと意識を高揚する

#### 3. 広域連携の推進

- (1) 多様な広域連携を推進する

#### 4. 主体的で計画的な行財政運営の推進

- (1) 事務事業の点検と改善を強化する
- (2) 民間活力を推進する
- (3) 公共施設の適正配置と整備を強化する
- (4) 財政の健全な運営を図る
- (5) 市職員のレベル向上を目指す

## 政策

### 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち

## 施策

#### 1. 学校教育の充実

- (1) 教育内容を充実する
- (2) 教育体制を充実する
- (3) 安心安全な教育環境をつくる
- (4) 就学環境を充実する
- (5) 高等学校を支援する

#### 2. 生涯学習の推進

- (1) 生涯学習を推進する
- (2) 公民館機能を充実する
- (3) 図書館を整備する

#### 3. スポーツの振興

- (1) 生涯スポーツを推進する
- (2) スポーツ施設を整備する
- (3) 競技スポーツを振興する

#### 4. 文化・芸術の振興

- (1) 文化・芸術活動を推進する
- (2) 文化活動施設を整備する
- (3) 友好都市との交流を推進する

#### 5. 文化財等の保存・継承

- (1) 文化財等の保存・継承・活用を推進する

#### 6. 人権尊重社会の実現

- (1) 人権が尊重される地域社会を実現する
- (2) 男女共同参画社会づくりを推進する

## 政策

### 豊かな自然を未来に残し伝えるまち

## 施策

#### 1. ジオ・自然との共生

- (1) 自然教育を推進する
- (2) 大地の恵み、ジオを継承する
- (3) 生物多様性を保全する

#### 2. 環境保全の推進

- (1) 環境保全対策を推進する
- (2) 自然保護対策を推進する
- (3) 環境美化活動を推進する
- (4) 景観を保全・形成する

II 評価調査における各項目の説明

事業番号 枝番 (令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) (様式1)  
 細事業と評価事業の枝番 (令和4年度決算) 事務事業評価調査 課局名 係名

事業 事務事業 細事業 細事業名 実施計画事業 評価事業の実施計画の事業名 終了年度 終了年度が予定されているものは記入

総合計画体系図No.→ ( )

会計 一般 政策 政策 政策展開 評価事業の総合計画後期基本計画に基づく「政策」・「施策」・「施策の展開」の体系図

項 目 予算所在・決算事業概要書のページ 後期基本計画のページ 過疎計画 総合戦略 コロナ充当

個別計画名 期間 期間 令和4年度 主な歳出名称 当初予算額

評価事業の位置づけられている市の個別計画 評価事業の主な歳出予算の内容

**A 事業目的・内容・実績**

事業の目的と内容	Plan	年度	主な活動実績	Do	
<事業の目的> 事業の目的 <令和4年度の取組内容(計画)> 取組内容		R3	活動実績 ※R5年度以降は、決算後記入		
		R4			
		R5			
		R6			
		R7			
		R3 ~ R7 合計			

**B 事業計画額・決算額等**

事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画				
当初予算				
決算額				
R4計画				
当初予算				
決算額				
R5計画				
当初予算				
決算額				
R6計画				
当初予算				
決算額				
R7計画				
当初予算				
決算額				
計画額				
当初予算				
決算額				

実施計画事業に係る事業費と財源内訳  
 ・計画額はR7年度まで記入  
 ・当初予算額はR5年度まで記入  
 ・決算額はR4年度まで記入

II 評価調査における各項目の説明

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	活動指標 評価事業の業務の量を数値化して表すための指標名とその算出にかかる説明	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
D 成果指標	成果指標 評価事業の目的を数値化して表すための指標名とその算出にかかる説明	<input type="checkbox"/> 総合戦略			達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合計画			実績値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画								

左記で設定した指標の実績  
 ※中段=各年度の実績、下段=目標値に対する達成率

E 評価対象外の理由 評価事業の分析(担当課) ※基準は別紙参照 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	Check	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	点		点	
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	点		点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	点		点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	点		点	点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	点		点	点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方 Action

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

I 令和6年度の事業の方向性 ⇨ 評価事業の翌年度(担当課) ※確定ではない

### Ⅲ 評価項目、評価対象事業の考え方及び今後の方向性

※事業担当課による評価

#### 《評価項目》

評価項目	分析基準（1～5点で評価）
1. 市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている
2. 事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた
4. 活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した
5. 成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した

#### 《評価対象事業の考え方》

※原則、市が実施する予算を伴う全事業。ただし、以下の義務的な事務事業等は評価対象外とする

評価対象外の項目
1. 職員人件費、市議会議員報酬、特定の事務事業に属さない委員会委員報酬
2. 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/全額国等負担）
3. 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
4. 国県が河川、道路等を直轄で行う事業で、市がその経費の一部を法律等で負担しなければならない負担金事業
5. 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
6. 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
7. 事務管理費/特定の事務事業に属さない消耗品費や旅費等
8. 公共施設（箱物）の新築や大規模改修
9. その他（評価が困難な事務事業）

#### 《今後の方向性》

方向性の区分	判断基準
A 現状のまま継続	・現状の事業内容や経費などに変更が無く、今後も実施する事務事業 ・事業の目的を達成するためには、現状どおりの事業手段で継続することが適当と認められる事務事業
B 見直しの上で継続 （1 拡充）	・市民のニーズや社会情勢から事業を拡大していくことが適当と判断される事務事業 ・事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進すべき事務事業
B 見直しの上で継続 （2 手段等の改善）	・事業の対象や手段（活動内容）等を見直すことにより、成果が向上すると判断される事務事業
B 見直しの上で継続 （3 効率化/RPA等）	・電子化、民間委託や事務の見直し等により事務の効率化や経費削減が見込まれる事務事業
B 見直しの上で継続 （4 縮小）	・費用負担を軽減しても、成果及び市民サービスの低下をもたらさないと認められる事務事業 ・利用者、対象者の減少など市民ニーズの低下傾向がみられる事務事業 ・市民ニーズを上回るサービス提供となっている事務事業
B 見直しの上で継続 （5 統合）	・他の事業等と対象、手段、意図が類似し、統合することにより経費の削減や効率化が図られる事務事業
C 終了	・目的を達成した事業、評価年度で終了する事務事業 ・成果指標等の達成、補助団体等の発展的解消や事業期間が終了する事務事業
D 休止	・事業の成果や財政状況等により、一時的に休止がやむを得ないと判断される事務事業 ・暫定的に休止する事務事業（隔年または不定期に実施する事務事業）
E 廃止	・実施の妥当性が認められないまたは実施の必要性が低い事業、成果が認められない事務事業 ・利用者、対象者の減少などにより市民ニーズが著しく低下した事務事業

## IV 課局別評価(事業の方向性)結果一覧表

担当課局係名	評価対象 事業数	評価対象の令和6年度事業の方向性									評価対象 外事業	
		継続	見直しの上で継続					終了	休止	廃止		
			拡充	手段等 の改善	効率化/ RPA等	縮小	統合					
総務課	総務係	5										5
	ケーブルテレビ管理係	1	1									
	人事給与係	4	3	1								
	広報広聴係	2	2									
	情報推進係	4			3		1					
	防災対策係	10	8				1				1	
財政課	管財係	3	3									
	財政係	4	2				1					1
	契約検査/財政係	1	1									
税務課	収納管理係	2	2									
まちづくり推進課	企画調整係	16	8	1	5							2
	地域振興係	26	19	1	1		1		4			
	文化芸術振興係	4	4									
	朝倉丈夫記念館係	3	3									
市民生活課	戸籍住民係	5										5
	国保年金係	3										3
	健康づくり支援係	8	7									1
	親子健康係	11	9									2
	食育推進係	2	2									
環境衛生課	清掃センター係	2	2									
	環境衛生係	11	8		1		1					1
	白鹿浄化センター係	1	1									
人権・部落差別 解消推進課	人権・部落差別 解消推進係	7	7									
	男女共同参画係	1	1									
	隣保館係	7	6					1				
社会福祉課	生活保護係	10	5		2	1					1	1
	福祉監査係	10	6									4
	障がい支援係	31	22									9
子育て支援課	こども支援係	35	21					2				12
	家庭支援係	24	4	8	1			1				10
	緒方保育園	4	2									2
高齢者福祉課	いきいき高齢者係	20	19								1	
	地域包括ケア推進係	3	3									
	介護保険係	2										2

#### IV 課局別評価(事業の方向性)結果一覧表

担当課局係名		評価対象 事業数	評価対象の令和6年度事業の方向性									評価対象 外事業
			継続	見直しの上で継続					終了	休止	廃止	
				拡充	手段等 の改善	効率化/ RPA等	縮小	統合				
農業振興課	担い手支援係	19	17	1				1				
	畜産振興係	10	10									
	農政企画係	8	8									
	農業再生協議会	1	1									
	農業振興係	15	8		2	1						4
農林整備課	地籍調査係	1	1									
	基盤整備係	12	8						1			3
	林業振興係	18	17		1							
	農林企画係	3	3									
商工観光課	経済振興係	13	10		1		1		1			
	観光振興係	12	8	1	3							
建設課	建設企画係	5	2						1			2
	道路保全係	12	5	3			1		1			2
	道路建設係	8	7							1		
	都市計画建築係	8	6		1				1			
上下水道課	工務係/管理係	7	1									6

#### 【教育委員会】

学校教育課	教育総務係	10										10
	学校教育係	40	21		1							18
	学校給食係	2	1									1
社会教育課	スポーツ推進係	10	6									4
	図書館係	5	3		1							1
	文化財係	4	2					1				1
	社会教育係	17	14									3

#### 【その他部局】

議会事務局	議会係	3	2									1
会計課	会計管理係	1	1									
選挙管理委員会事務局	選挙係	2	1									1
監査事務局	監査係	1	1									
農業委員会事務局	農地管理係	4	2									2

#### 【消防本部】

総務課	消防保安係	2	2									
	総務係	5	3		1				1			

合計		540	352	16	24	2	7	2	14	1	3	119
----	--	-----	-----	----	----	---	---	---	----	---	---	-----

事業	議会運営事業	細事業	議会会議録調製事務	実施計画事業	議会会議録調製事務事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-----------	--------	-------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	1	施策	10 情報管理、情報化の推進		期間	年度	年度	筆耕翻訳料	2,051
項	1	施策展開	②広聴・広報活動を充実する		期間	年度	年度	会議録検索システム使用料	779
目	1	後期基本計画	71 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	音声認識システム使用料	542
決算	11							会議録検索システム更新業務委託料	288

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 会議録に審議経過・議決結果を正確に作成し、保存する。また、作成した会議録をHP(ホームページ)等で公開し、いつでも検索できるようにする。これらにより、市民への情報公開と市政への参加を推進する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ○本会議録の作成 ○本会議録のホームページ公開</p>	R3	定例会4回、臨時会2回の本会議会議録の作成 本会議会議録のホームページ公開	R3計画 3,968				3,968
			当初予算 3,968				3,968
			決算額 2,554				2,554
	R4	定例会4回、臨時会2回の本会議会議録の作成 本会議会議録のホームページ公開	R4計画 3,968				3,968
			当初予算 3,660				3,660
			決算額 2,909				2,909
	R5		R5計画 3,968				3,968
			当初予算 3,578				3,578
			決算額				
	R6		R6計画 3,968				3,968
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 3,968				3,968
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 19,840				19,840
			当初予算 11,206				11,206
			決算額 5,463				5,463

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 会議録作成回数(会議録HP更新回数)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	7	回	目標値					
					実績値	6	6			
					% 達成率					
D 成果指標	1 会議録HP閲覧件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,479	回	目標値					
					実績値	1,276	1,451			
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	25点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 本会議会議録の作成と検索システムの情報の追加・更新を適時行っており、市民への情報公開を適切に行っている。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 事業は、計画どおり、適時適切に行われている。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	議会運営事業	細事業	議会だより編集発行事業	実施計画事業	議会だより編集発行事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額		
款	1	施策	10 情報管理、情報化の推進		印刷製本費	2,711					
項	1	施策展開	②広聴・広報活動を充実する		議会広報点字版・音声版作成委託料	332					
目	1	後期基本計画	71 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	11										

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 議会の考えや活動状況を広く市民に情報提供するため、広報紙を発行する。また、発行した広報紙をHP(ホームページ)に掲載し、いつでも閲覧できるようにする。これらにより、市民への情報公開と市政への参加を推進する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ○ 広報紙の編集・発行年4回(定例号4回) ○ 広報紙点字版・音声CDの発行 ○ 広報紙PDF版・音声版のホームページ掲載</p>	R3	<input type="checkbox"/> 広報紙の編集・発行年5回(定例号4回、臨時号1回) <input type="checkbox"/> 広報紙点字版・音声CDの発行 <input type="checkbox"/> 広報紙PDF版・音声版のホームページ掲載
	R4	<input type="checkbox"/> 広報紙の編集・発行年4回(定例号4回) <input type="checkbox"/> 広報紙点字版・音声CDの発行 <input type="checkbox"/> 広報紙PDF版・音声版のホームページ掲載
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	3,105				3,105
当初予算	3,105				3,105
決算額	2,206				2,206
R4計画	2,958				2,958
当初予算	3,043				3,043
決算額	1,989				1,989
R5計画	3,105				3,105
当初予算	3,377				3,377
決算額					
R6計画	2,958				2,958
当初予算					
決算額					
R7計画	3,105				3,105
当初予算					
決算額					
計画額	15,231				15,231
当初予算	9,525				9,525
決算額	4,195				4,195

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 広報紙発行回数 定例会号年4回 臨時会号年1回	<input type="checkbox"/> 総合戦略	4	回	目標値	5	4	5	4	5
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	5	4			
		% 達成率			100	100				
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
	<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
	<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	21点	3点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
「議会だより」を定例会・臨時会の開催にあわせて適時発行しており、議会での各議員の対応などの情報を広く市民に提供・発信している。インターネット中継のVOD配信と併せたQRコードの掲載などにより、誌面と映像の共有が図られた。議会広報編集特別委員会の決定により、今後の編集方針に変更があった場合には、次年度以降の当初予算で対応していく必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
令和4年度は、広報紙を計画どおりに適正に発行できており、他媒体と連携した取組も実施できた。令和5年度も、試行等を重ねながら、議会活動に対する市民の関心が向上する取組が必要である。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	総務一般管理事業	細事業	職員研修事業	実施計画事業	職員研修事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.→ (301)		個別計画名	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	
款	2	施策	4 主体的で計画的な行政運営の推進	職員研修委託料 2,000
項	1	施策展開	①庁内の人づくり・組織づくり	普通旅費 581
目	1	後期基本計画	80 P	講師謝礼金 182
決算	12	過疎計画	<input type="checkbox"/>	実費弁償 50
		総合戦略	<input type="checkbox"/>	
		コロナ充当	<input type="checkbox"/>	

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<事業の目的> 各種研修を通じ、職員の資質向上及び能力開発を図る。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・市独自研修 ・大分県自治人材育成センター研修 ・市町村アカデミー研修	R3	・市独自研修 886名 ・大分県自治人材育成センター研修 171名
	R4	・市独自研修 参加者1005人 ・大分県自治人材育成センター研修 参加者186人 ・市町村アカデミー研修 参加者1名 ・計1,192人
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	2,925			230	2,695
当初予算	2,925			230	2,695
決算額	1,511				1,511
R4計画	2,925			230	2,695
当初予算	2,905			230	2,675
決算額	1,976			80	1,896
R5計画	2,925			230	2,695
当初予算	2,873			230	2,643
決算額					
R6計画	2,925			230	2,695
当初予算					
決算額					
R7計画	2,925			230	2,695
当初予算					
決算額					
計画額	14,625			1,150	13,475
当初予算	8,703			690	8,013
決算額	3,487			80	3,407

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 各種研修機会の提供	<input type="checkbox"/> 総合戦略	7	回	目標値	7	7	7	7	7	
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7	7				
					%	達成率	100	100			
					%	達成率					
D 成果指標	1 研修受講者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	1,411	名	目標値		1,192				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1,057	1,192				
					%	達成率		100			
					%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値						
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1点	1点	1点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	21点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	25点
		19点	21点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市独自研修について、年度毎に職員の資質の向上につながる研修を企画し実施する。また、大分県自治人材育成センターが実施する研修を有効活用し、多分野の研修への参加を促進する。	引き続き、職員に対して、資質の向上に資する研修の機会を提供する。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	福利厚生事業	細事業	メンタルヘルス相談事業及び職場復帰支援事業	実施計画事業	メンタルヘルス相談事業及び職場復帰支援事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-----------------------	--------	-----------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (305)							
会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	期間	年度	年度
款	2	施策	4 主体的で計画的な行政運営の推進		期間	年度	年度
項	1	施策展開	①庁内の人づくり・組織づくり		期間	年度	年度
目	1		後期基本計画 80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>				
決算	13						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 職員の健康管理や仕事と家庭の調和を図るために、市合同衛生委員会の開催及び公認心理師によるカウンセリングを実施。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・合同衛生委員会の開催 12回 ・月に45時間を超えて時間外勤務を行った職員に対する面談(衛生管理者) ・月に80時間を超えて時間外勤務を行った職員に対する面談(産業医) ・産業医による職場巡視 ・ストレスチェックの実施 ・高ストレス者に対する精神科医師面談 ・公認心理師によるカウンセリング ・休職者等の職場復帰支援</p>	R3	合同衛生委員会 8回開催 ストレスチェック事業 575名 メンタルヘルス相談事業 12回開催延べ相談者数44名	R3計画 2,380 当初予算 2,380 決算額 1,499				2,380	
	R4	・合同衛生委員会の開催 12回 ・月に45時間を超えて時間外勤務を行った職員に対する面談(衛生管理者) 23人 ・産業医による職場巡視 65回 ・月に80時間を超えて時間外勤務を行った職員に対する面談(産業医) 0人 ・ストレスチェックの実施 580人 ・高ストレス者に対する精神科医師面談 1人、公認心理師面談 8人 ・公認心理師によるカウンセリング 12日 47件 ・休職者等の職場復帰支援 随時面談実施	R4計画 2,380 当初予算 2,218 決算額 1,286				2,380	
	R5		R5計画 2,380 当初予算 2,092 決算額				2,380	
	R6		R6計画 2,380 当初予算 決算額				2,380	
	R7		R7計画 2,380 当初予算 決算額				2,380	
	R3 ~ R7 合計			計画額 11,900 当初予算 6,690 決算額 2,785				11,900 6,690 2,785

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 衛生活動開催回数 各課等の事業場単位で、所属長が主体となって実施する衛生活動の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	390	回	目標値	660	660	660	660	660
					実績値	660	588			
					% 達成率	100	89.1			
2 カウンセリングの実施	「職員サポート相談会」の実施回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
					実績値	12	12			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 合同衛生委員会の開催回数 別途、委員会を設置している市民病院を含めた市の合同衛生委員会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
					実績値	8	12			
					% 達成率	66.7	100			
2 カウンセリング相談件数	毎月実施する「職員サポート相談会」の実施に伴う相談件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	48	件	目標値	36	36	36	36	36
					実績値	44	47			
					% 達成率	122.2	130.6			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1点	1点	1点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		18点	18点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
合同衛生委員会は、職員の健康管理及び職場環境の改善等に資するため、毎月1回開催し、職場巡回の報告、衛生管理者による健康診断の分析報告などを行った。今後も労働安全衛生法に基づき必要な会議を開催し、衛生管理者を有効に活用しながら委員会の充実を図る。  
ストレスチェック事業は、正規職員、再任用職員、会計年度任用職員、580人を対象にwebによるチェックを実施し、高ストレス者については、公認心理師及び産業医による面談を実施した。今後もストレスチェックを実施し、高ストレス者に対してはカウンセリングに声かけするなど、メンタルヘルスの維持・改善に資するよう取り組みを推進する。  
メンタルヘルス相談事業は、公認心理師が専門知識を活用し相談者が抱える悩み事や困り事を解決すること併せ、相談者の相談内容は完全秘密という形態をとっているため、職員からの相談件数も毎回定員に近い件数となっている。適切なアドバイスによりメンタルヘルスの維持・改善に有効であるため、今後も継続して実施する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
労働安全衛生法上必要な事業であり、今後もより効果的な事業の推進を図れるよう取り組む必要がある。

事業	福利厚生事業	細事業	職員健診事業	実施計画事業	職員健診事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.→ ( 305 )

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	2	施策	4 主体的で計画的な財政運営の推進		期間	年度	～	年度	検査健診委託料	8,698	
項	1	施策展開	①庁内の人づくり・組織づくり		期間	年度	～	年度			
目	1	後期基本計画	80 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	13										

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 事業実施により、職員の健康管理を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; 職員健診事業 ・正規職員 ・再任用職員 ・会計年度任用職員</p>	R3	正規職員 486名 会計年度任用職員 65名	R3計画 6,177 当初予算 6,177 決算額 5,494				6,177 6,177 5,494	
	R4	職員健診事業 ・正規職員 475人 ・再任用職員 23人 ・会計年度任用職員 113人 ・計611人受診(受診率100%)	R4計画 6,170 当初予算 8,698 決算額 6,335				6,170 8,698 6,335	
	R5		R5計画 6,170 当初予算 7,499 決算額				6,170 7,499	
	R6		R6計画 6,170 当初予算 決算額				6,170	
	R7		R7計画 6,170 当初予算 決算額				6,170	
	R3 ~ R7 合計			計画額 30,857 当初予算 22,374 決算額 11,829				30,857 22,374 11,829

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 周知件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	560	件	目標値		611			
					実績値	575	611			
					% 達成率		100			
D 成果指標	1 受診率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	99.8	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100			
					% 達成率	100	100			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	1点	21点	1点	21点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
令和4年度の受診率は100%で、今後も職員の健康増進のため事業を継続する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
今後も職員の健康増進のため事業を継続する。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	福利厚生事業	細事業	職員互助会事業	実施計画事業	職員互助会事業	終了年度	なし
----	--------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.→ (305)																
会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり				個別計画名	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額							
款	2	施策	4 主体的で計画的な財政運営の推進							期間	年度 ~ 年度					
項	1	施策展開	①庁内の人づくり・組織づくり							期間	年度 ~ 年度					
目	1	後期基本計画	80	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画						<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	13															

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 福利厚生事業を実施する豊後大野市職員互助会に対する負担金を交付し、会員の健康増進、相互親睦及び社会貢献事業等の活動に寄与する。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・職員互助会負担金の支出	R3	理事会への参加 3回	R3計画 2,499				2,499	
			当初予算 2,499				2,499	
			決算額 2,499				2,499	
	R4	理事会への参加 2回開催のうち2回出席	R4計画 2,499				2,499	
			当初予算 2,499				2,499	
			決算額 2,499				2,499	
	R5		R5計画 2,499				2,499	
			当初予算 2,499				2,499	
			決算額					
	R6		R6計画 2,499				2,499	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 2,499				2,499	
			当初予算					
		決算額						
		R3 ~ R7 合計	計画額 12,495				12,495	
			当初予算 7,497				7,497	
			決算額 4,998				4,998	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 理事会への参加	参加回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	回	目標値	3	3	3	3	3
						実績値	3	2			
						% 達成率	100	66.7			
2 -			<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値	3				
						% 達成率					
D 成果指標	1 適正な負担額	互助会事業費に対する負担額	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2,499	千円	目標値	2,499	2,499	2,499	2,499	2,499
						実績値	2,499	2,499			
						% 達成率	100	100			
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1点	2点	14点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	3点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	3点	
		16点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 利用の少ない事業については内容を見直し、会員が利用しやすい環境を整えていく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 事業内容を見直す必要があると考える。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	財政管理事業	細事業	基金運営管理事業	実施計画事業	基金運営管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (311)

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	第2次豊後大野市総合計画後期基本計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策	4 主体的で計画的な行政運営の推進				
項	1	施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化				
目	2	後期基本計画	80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	14						

令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
財政調整基金積立金	7,542
減債基金積立金	4,077
公共施設整備基金積立金	7,429
地域振興基金積立金	1,058

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<事業の目的> 年度間の財源の不均衡を調整するため、地方債の計画的な償還を行うため、将来の特定の財政需要に備えるため  <令和4年度の取組内容(計画)> ・当初予算編成において、財源不足調整のため財政調整基金の繰入を見込む。また、対象事業に対して目的基金を充当する。 ・基金運用から生じた利子の積立をする。 ・前年度決算の実質収支額1/2以上を財政調整基金に積立	R3	財政調整基金残高 5,957,067千円 減債基金残高 1,937,011千円 公共施設整備基金残高 4,882,556千円 地域振興基金残高 2,848,357千円
	R4	財政調整基金残高 5,501,302千円 減債基金残高 1,940,306千円 公共施設整備基金残高 4,844,181千円 地域振興基金残高 2,775,836千円
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	22,153			22,153	
当初予算	22,153			22,153	
決算額	229,677			79,662	150,015
R4計画	22,153			22,153	
当初予算	20,106			20,106	
決算額	60,353			60,353	
R5計画	22,153			22,153	
当初予算	31,591			31,591	
決算額					
R6計画	22,153			22,153	
当初予算					
決算額					
R7計画	22,153			22,153	
当初予算					
決算額					
計画額	110,765			110,765	
当初予算	73,850			73,850	
決算額	290,030			140,015	150,015

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1-		<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値					
			<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値					
	2-		目標値									
			実績値									
D 成果指標	1	R4年度標準財政規模 14,592,649千円×20%=2,918,530千円	<input type="checkbox"/> 総合計画	5,864,547	円		目標値	2,920,123	2,918,530			
			<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	5,957,067	5,501,302			
	<input type="checkbox"/> 個別計画		達成率				204	188.5				
	2-		目標値									
実績値												
			<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
			<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
			<input type="checkbox"/> 個別計画				達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	評価	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	3点	15点	3点	3点	
	なっていない ⇒ なっている					
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点				
	優先度低い ⇒ 優先度高い					
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点				
できなかった ⇒ できた						
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	3点	3点	3点		
	推移していない ⇒ 推移した					
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	3点	3点	3点		
	推移していない ⇒ 推移した					

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 R4年度の決算額は60,353,315円となっている。内訳は財政調整基金は利子分13,553,398円、減債基金は利子分3,295,513円、公共施設整備基金は利子分6,384,942円と電気事業特別会計繰入金36,240,188円、地域振興基金は利子分879,274円となっている。今後については、自主財源の乏しい本市において、近年の大規模災害の発生や普通交付税の減少、また将来の公債費の償還等への備えも必要となる。そのためある一定程度の蓄えは必要となるが、これらの基金を計画的に活用するためのルール作りの検討の必要があると考える。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 持続可能な財政運営をしていくために一定額の基金を保有する必要があるが、計画的に運用することも必要であるため、今後、基金の活用計画について検討を要する。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	財政管理事業	細事業	連結財務諸表作成事業	実施計画事業	連結財務諸表作成事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (316)										
会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	第2次豊後大野市総合計画後期基本計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称		当初予算額		
款	2	施策	4 主体的で計画的な行政運営の推進			財務書類作成支援業務委託料		2,948		
項	1	施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化							
目	2	後期基本計画 80 P				<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	14									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 連結財務諸表の作成により、公共施設等を総合的・統括的に管理・運営・活用するとともに、財政の見える化を推進する</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 総務省からの「統一的な基準による地方公会計マニュアル」に基づき財務書類の作成を委託</p> <p>&lt;連結対象&gt; ・一般会計 ・公営企業会計(6会計) ・公営事業会計(3会計) ・一部事務組合・広域連合(大分県消防補償等組合など4団体5会計) ・豊後大野市土地開発公社 ・豊後大野市農業農村振興公社 ・ぶんごおおのエナジー</p>	R3	連結財務諸表等の作成・ホームページでの公表	R3計画 2,948				2,948
	当初予算	2,948				2,948	
	決算額	2,948				2,948	
	R4	連結財務諸表等の作成・ホームページでの公表	R4計画 2,948				2,948
	当初予算	2,948				2,948	
	決算額	2,948				2,948	
	R5		R5計画 2,948				2,948
	当初予算	3,036				3,036	
	決算額						
	R6		R6計画 2,948				2,948
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 2,948				2,948
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 14,740				14,740
			当初予算 8,932				8,932
			決算額 5,896				5,896

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 対象決算の翌年度までに連結財務諸表の作成する	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	回	目標値	1	1			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1			
	2 わかりやすい財務諸表の作成	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	回	目標値	1	1			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1			
					%	達成率	100	100		
D 成果指標	1 連結財務諸表の完成と公表	<input type="checkbox"/> 総合計画	1	回	目標値	1	1			
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1	1			
	2 公表周知	<input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1			
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1	1			
					%	達成率	100	100		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		15点	15点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>連結対象の数が多く、事務負担が多い反面、担当する職員は他の財政業務を兼務しているおり多くの時間をかけられないため、事業に対する深いリテラシーが必要である。このため担当職員のスキルアップを図るための研修等に参加することは有意義だと考えるが、他業務との兼ね合いもあり、困難となっている。また、現状は外部委託の作成支援により行っているが、これらを活用した公共施設マネジメント等には至っていないのが現状。しかしながら、国は積極的に推進を図っていることや、活用方法によっては限られた財源を賢く使うことにつながるから、今後さらなる事業の推進が必要となると考えられるが、現状の職員配置では困難なため、一担当業務としての職員の配置が必要と考える。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>外部委託による財務書類作成支援により簡易分析を行っているが、施設単位などといったセグメント分析には至っていない。担当職員も含め係全体のスキルアップが必要。</p>
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
5003	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	財政課	係名	契約検査/財政係
-----	-----	----	----------

事業	財政管理事業	細事業	財政管理事務費	実施計画事業	財政管理事務事業	終了年度	なし
----	--------	-----	---------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (316)

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	豊後大野市行財政改革指針 期間 R2 年度 ~ R7 年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策	4 主体的で計画的な財政運営の推進				
項	1	施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化				
目	2	後期基本計画	80 P				
決算	14				期間	年度 ~ 年度	

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 持続可能な財政基盤の確立を図り、計画的で健全な財政運営を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・入札・契約管理システム及び県共同利用型電子入札システムを使用し、入札を執行する。 ・入札・契約管理システムを使用し、契約管理を行う。 ・公共施設マネジメントシステムを使用し、長期的な修繕計画等の包括的な管理を行う。</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>入札・契約管理システム及び県共同利用型電子入札システムを使用し、入札を執行した。</li> <li>入札・契約管理システムを使用し、契約管理を行った。</li> </ul>	R3計画 3,926				3,926	
				当初予算 3,926				3,926
				決算額 3,607				3,607
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>入札・契約管理システム及び県共同利用型電子入札システムを使用し、入札を執行した。</li> <li>入札・契約管理システムを使用し、契約管理を行った。</li> <li>公共施設マネジメントシステムを使用し、長期的な修繕計画等の包括的な管理を行った。</li> </ul>	R4計画 4,263				4,263	
				当初予算 4,263				4,263
				決算額 4,017				4,017
	R5			R5計画 4,263				4,263
				当初予算				
				決算額				
	R6			R6計画 4,263				4,263
				当初予算				
				決算額				
	R7			R7計画 4,263				4,263
				当初予算				
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 20,978				20,978	
			当初予算 8,189				8,189	
			決算額 7,624				7,624	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
C 活動指標	1 入札執行	R2実績件数	400	件	目標値	316	393	300	300	300
					実績値	316	393			
	2 契約管理	R2実績件数	372	件	目標値	300	372	300	300	300
					実績値	300	372			
D 成果指標	1 -				目標値					
					実績値					
					% 達成率					
	2 -					目標値				
						実績値				
						% 達成率				

E 評価対象外の理由	O 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>・入札・契約管理システム及び県共同利用型電子入札システムを使用し、入札を適正に執行することができた。 ・入札・契約管理システムを使用し、適正に契約管理を行うことができた。 ・公共施設マネジメントシステムを使用し、長期的な修繕計画等の包括的な管理を行った。今後も入札・契約管理システム及び県共同利用型電子入札システムを使用し、適正な入札執行、契約管理を行う。 また、公共施設マネジメントシステムについてはシステムを使った効率的な運用を検討する必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>入札・契約管理システム及び大分県共同利用型入札システムの利活用により適正に入札を執行することができた。また、市の入札・契約管理システムの、より効率・効果的な利用促進を図るため、システムの改善について不断の見直しをしていくことが必要と考える。</p>
--	---

I 令和6年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業	財政管理事業	細事業	行革推進事業	実施計画事業	財政改革推進事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (316)

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	豊後大野市行財政改革指針 期間 R2 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策	4 主体的で計画的な行政運営の推進			期間	年度 ~ 年度	行政改革審議会委員報酬	56
項	1	施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化			期間	年度 ~ 年度	費用弁償	24
目	2	後期基本計画	80 P			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	消耗品費	10
決算	14					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	普通旅費	8

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 限られた行政資源の有効活用を図りながら、「事業の選択と集中」などにより、財政収支バランスのとれた健全な財政運営ができるようにする。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・健全化判断比率等関係書類の作成、公表 ・今後の財政収支の見通し ・事務事業評価(令和3年度決算に基づく)の活用	R3	・事務事業評価(令和2年度決算に基づく) ・健全化判断比率等関係書類の作成、公表	R3計画 103				103
			当初予算 103				103
			決算額 6				6
	R4	・事務事業評価(令和3年度決算に基づく)の活用 ・健全化判断比率等関係書類の作成、公表 ・今後の財政収支の見通し	R4計画 103				103
			当初予算 103				103
			決算額 6				6
	R5		R5計画				
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画				
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画				
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 206				206
			当初予算 206				206
			決算額 12				12

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
					% 達成率					
					目標値					
D 成果指標	1 経常収支比率	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	決算における経常収支比率を100%以内に抑える	92.1	% 目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 実績値	87	92.6			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	—	—			
					目標値	250	250	250	250	250
2 起債残高	事務事業評価などを通じ、起債残高の計画的な減少に努める。(決算統計事務本表参照)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	250.4	億円	% 目標値	250	250	250	250	250
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 実績値	252.3	245.3			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	—	—			
					目標値	250	250	250	250	250

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	2点	2点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	3点
		14点	14点
		／25点	／25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 事務事業評価については、現状は必ずしも効率的な財政運営に結びついていないことや各課の事務増大につながっていることから、まちづくり推進課と見直しに向けた協議が必要と考える。具体的には調査作成等の負担の軽減を図ること。しかしながら事務事業評価が総合計画にひも付いているため、現状は簡易な評価は継続する必要があると考えるが、全事業評価ではなくもっと事業数やポイントを絞った評価を行い、意味のある事業にすることが必要であり、次期計画作成に向けてまちづくり推進課へ働きかけをすることが重要であるとする。 また、地方行政サービス改革の取組状況調査書類作成や健全化判断比率等の関係書類の作成、公表については、今後も県や国のスケジュールに合わせて実施をしていく。 また、財政収支の見直しについては、厳しい財政状況を職員全体に周知し、財政改革の意識を浸透させることが重要と考える。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 事務事業評価については、評価が予算や事務内容の改善に十分反映されていないことから、様式や対象事業等を見直し、実効性のある内容にする必要がある。また、健全化判断比率等の関係書類の作成、公表については、今後も継続して実施する。
---	--

事業	会計管理事業	細事業	会計管理事業	実施計画事業	会計管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.→ (316)

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額			
款	2	施策	4 主体的で計画的な行政運営の推進		期間	年度	～	年度					
項	1	施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化		期間	年度	～	年度					
目	3	後期基本計画	80 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略			<input type="checkbox"/>	コロナ充当	
決算	15												

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 公金出納事務の適正かつ迅速な執行を行う。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・歳計及び歳計外現金の出納・保管(歳入・歳出) ・支払に伴う伝票審査 ・基金の運用・管理 ・決算の調製 ・窓口収納業務 ・経理事務説明会の実施 ・公金管理運用検討委員会の開催 ・総合収納システムの運用 ・財務伝票の電子決裁の一部開始	R3	・歳計及び歳計外現金の出納・保管(歳入・歳出) ・支払に伴う伝票審査 ・基金の運用・管理 ・決算の調製 ・窓口収納業務 ・経理事務説明会の実施	R3計画 19,120				19,120
			当初予算 19,120				19,120
			決算額 15,976				15,976
	R4	・歳計及び歳計外現金の出納・保管(歳入・歳出) ・支払に伴う伝票審査 ・基金の運用・管理 ・決算の調製 ・窓口収納業務 ・経理事務説明会の実施 ・公金管理運用検討委員会の開催 ・総合収納システムの運用 ・財務伝票の電子決裁の一部開始	R4計画 18,963				18,963
			当初予算 18,963				18,963
			決算額 17,828				17,828
	R5		R5計画 22,633				22,633
			当初予算 22,633				22,633
			決算額				
	R6		R6計画 19,120				19,120
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 19,120				19,120
			当初予算				
		決算額					
		R3～R7合計	計画額 98,956				98,956
			当初予算 60,716				60,716
			決算額 33,804				33,804

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 経理説明会の実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	2			
	%	達成率	100	100						
	2 公金管理運営委員会の開催	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
実績値					1	1				
%	達成率	100	100							
D 成果指標	1 適正かつ迅速な事務処理	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					達成率					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 「支払に伴う伝票審査」について、経理事務説明会を実施して適正な事務執行を周知しているが、伝票作成上の不備が一定数あった。電子決裁の開始に伴い説明会を開始したが、電子伝票の作成について不備が一定数あった。他の事業目標については、適切に実施できた。  伝票の不備については、個別に指導を行うと共に庁内ネットワーク等を利用して改善を要する点などを周知する。また、マニュアルを改訂し、経理事務説明会を実施して適正な事務執行をはかる。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 ・歳計現金及び歳計外現金の出納・保管(歳入・歳出)については、適切な事務処理ができています。 ・経理説明会については、電子決裁化に向けたマニュアルを作成し、周知ができました。 ・基金の運用・管理については、事務の効率化の検討が必要です。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	財産管理事業	細事業	財産維持管理事業	実施計画事業	財産維持管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No. ( 317 )

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	豊後大野市行財政改革指針 期間 R2 年度 ~ R7 年度 第1期豊後大野市公共施設等 総合管理計画 期間 H27 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策	4 主体的で計画的な行政運営の推進			光熱水費	40,058
項	1	施策展開	③社会インフラの老朽化等への適切な対応			清掃委託料	28,751
目	4	後期基本計画	80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			市有財産維持補修工事請負費	11,517
決算	16					庁舎設備保守点検委託料	5,661

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	B 事業計画額・決算額等				
			事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 庁舎等内の秩序や安全の保持及び災害時の防災拠点としての役割を果たすため、庁舎機能が適正に稼働するための建物や付属設備の保守管理、良好な衛生環境維持のための清掃や各種検査、施設修繕等の維持管理に関する各種業務を専門業者に委託をしながら実施する。また、市が管理する施設等の災害共済保険等の業務を一括契約し行政効率の向上を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 本庁や支所等の光熱水費及び消耗品等(トイレットペーパー・ゴミ袋・照明器具等)の必要経費及び施設維持管理に係る改修、修繕を執行しました。 庁舎の電気設備、空調設備、エレベータ設備、自動ドア、消防設備、冷暖房設備などの保守点検及び清掃委託等業務を専門業者に委託し実施しました。 本庁及び支所が管理する市有地について、草刈、伐採等を行い、維持管理を実施しました。</p>	R3	旧大野高校跡地地面保護工事を実施 14,264,800円 駐車場等へ注意喚起の看板設置 2,310,000円	R3計画 134,486		24,119	110,367	
				当初予算 134,486		24,119	110,367
				決算額 126,572		12,176	114,396
	R4	大野支所改修工事を実施 11,000,000円 千歳支所空調改修工事を実施 2,299,000円 本庁舎車止め設置工事を実施 1,276,000円	R4計画 134,486		24,119	110,367	
				当初予算 129,077		21,898	107,179
				決算額 142,550		23,146	119,404
	R5		R5計画 125,193		20,000	105,193	
				当初予算 162,944		44,248	118,696
				決算額			
	R6		R6計画 125,393		20,000	105,393	
				当初予算			
				決算額			
	R7		R7計画 125,593		20,000	105,593	
				当初予算			
			決算額				
		R3 ~ R7 合計	計画額 645,151		108,238	536,913	
			当初予算 426,507		90,265	336,242	
			決算額 269,122		35,322	233,800	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略	37,155	%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
					達成率					
					目標値					
D 成果指標	1 光熱水費の削減	<input type="checkbox"/> 総合計画	37,155	%	目標値	37,155	39,252	48,374	48,374	48,374
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	39,252	48,374			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率	105.6	123.2			
					目標値					
2-	<input type="checkbox"/> 総合計画		%	実績値						
	<input type="checkbox"/> 総合戦略			達成率						
	<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値						
				実績値						

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	14点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	2点	2点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
既存の施設にて業務を行っている支所(大野、千歳支所)について、支所機能を果たすために周辺施設の状況(隣保館)や施設機器の状況(千歳支所空調)にあわせた改修を行うことができた。本庁舎建物へ自動車による衝突事故が複数回発生しているため、再度の事故発生について未然に防ぐ対策を実施することができた。市有建物解体工事により、草刈り等の維持管理を必要とする市有地の範囲が増えている。用途廃止財産や遊休地について利用状況を確認し、売却等により財産維持管理費の抑制を図る。	庁舎等施設の円滑かつ効率的な管理を行い、計画的な維持管理、改修等により快適な施設運営に努める。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	財産管理事業	細事業	財産処分事業	実施計画事業	財産処分事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	豊後大野市行財政改革指針 期間 R2年度 ~ R7年度 第1期豊後大野市公共施設等総合管理計画 期間 H27年度 ~ R6年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進			市有建物解体工事請負費	171,246
項	1	施策展開	③社会インフラの老朽化等への適切な対応			市有建物解体工事設計委託料	10,400
目	4	後期基本計画	80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			不動産鑑定登記委託料	5,400
決算	16					アスベスト定量分析委託料	2,500

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 耐震性がなく老朽化した施設について、合併特例債を活用し計画的に解体を行う。また、普通財産の売却や譲渡等を行い、維持管理等の必要経費を削減する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・普通財産の処分(売却、譲渡等の分筆登記及び不動産鑑定) ・建物解体工事(旧朝地支所、旧綿田小学校)</p>	R3	建物解体工事(旧千歳村役場、旧千歳公民館、旧家畜診療所、旧清川支所)	R3計画 195,000 当初予算 195,000 決算額 138,174	195,000	178,100	102	16,798	
	R4	建物解体工事(旧朝地支所、旧綿田小学校、旧三重町倉庫)	R4計画 195,000 当初予算 189,546 決算額 112,089	195,000	178,100	102	16,798	
	R5		R5計画 237,560 当初予算 230,060 決算額	237,560	211,900	102	25,558	
	R6		R6計画 109,060 当初予算 決算額	109,060	86,900	102	22,058	
	R7		R7計画 当初予算 決算額					
	R3 ~ R7 合計			計画額 736,620 当初予算 614,606 決算額 250,263	736,620	655,000	408	81,212

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 建物の解体	<input type="checkbox"/> 総合計画		2	件	目標値 4	7	3	5	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略		2	件	実績値 4	7			
	2 普通財産処分(売却等)	<input type="checkbox"/> 個別計画		1	件	% 達成率 100	100			
		<input type="checkbox"/> 総合計画		1	件	目標値 1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	件	実績値 1	1			
		<input type="checkbox"/> 個別計画		1	件	% 達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
合計		16点	16点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 施設解体計画に沿って事業を進め、解体工事を実施した。今後についても解体計画に沿って事業を行う。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 施設の解体については、解体計画に基づき、合併特例債の活用期限である令和6年度までに解体する。また、未利用地の活用については、売却可能な遊休地を積極的に処分していく必要がある。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	財産管理事業	細事業	公用車管理事業	実施計画事業	公用車管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.→ ( 317 )

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	豊後大野市行財政改革指針 期間 R2 年度 ~ R7 年度 第1期豊後大野市公共施設等 総合管理計画 期間 H27 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進			燃料費	10,000
項	1	施策展開	③社会インフラの老朽化等への適切な対応			車輛購入費	12,380
目	4	後期基本計画	80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			修繕料	4,400
決算	16					自動車損害保険料	2,990

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 公用車の使用については、私用車に比べてより適正な管理と安全運転の確保が求められるため、「豊後大野市庁用自動車等管理規程」に基づいて事業を遂行する。また公用車を常に良好な状態で使用できるように車両維持管理の徹底を図るとともに、効率的な活用を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ①車検等の実施 ②修繕の実施 ③車両の更新 ④洗車等の維持管理業務 ⑤自動車損害保険(任意)の加入・解約・請求手続きを行う</p>	R3	<購入> 軽貨物バン 2台 軽自動車乗用 6台 <廃車> 軽自動車乗用 9台	R3計画 27,465 当初予算 27,465 決算額 19,717			1,002	26,463	
	R4	<購入> 軽貨物自動車 2台、小型乗用自動車 3台 <処分> 普通乗用自動車 1台、小型乗用自動車 2台 軽貨物自動車 1台、軽乗用自動車 1台	R4計画 27,465 当初予算 31,386 決算額 23,579			1,002	26,463	
	R5		R5計画 27,308 当初予算 32,580 決算額			2	27,306	
	R6		R6計画 31,673 当初予算 決算額			2	32,578	
	R7		R7計画 24,511 当初予算 決算額			2	31,671	
	R3 ~ R7 合計			計画額 138,422 当初予算 91,431 決算額 43,296			2,010	136,412

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 公用車の年間乗車率	<input type="checkbox"/> 総合計画	81.9	%	目標値	80	80	80	80	80
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	78.8	70.4			
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	98.5	88			
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	3点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点	3点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点	3点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	3点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	3点
			15点	15点
			25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 公用車の適正な維持管理(車検、修繕)を行った。 公用車の更新基準に基づき、原則登録から13年以上または13万キロメートルを超えた車両については処分を行った。 公用車の適正な配置を行うため、車輛の新規購入を行った。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 公用車の適正な維持管理を行っており、引き続き、必要な更新や新規購入を行っていく。また、公用車の車検切れについては、運転日誌の入力画面や掲示板等で周知するなど、対策を講じている。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性

⇒ A. 現状のまま継続

事業	ふるさと応援寄附金事業	細事業	ふるさと応援寄附金事業	実施計画事業	ふるさと応援寄附金事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ (306)											
会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策	4 主体的で計画的な行政運営の推進		期間	年度	年度			ふるさと納税業務委託料	129,533
項	1	施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化		期間	年度	年度			ふるさと応援基金積立金	120,169
目	4	後期基本計画	80 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当			ふるさと納税サイト使用料	17,873
決算	17										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 当市にゆかりのある方をはじめ、市外の方から広く寄附金を募集し応援してもらうことにより、財源を確保し各種事業を実施する。また、返礼品の周知を通じて豊後大野市の魅力を発信し、地元特産品のPR及び販路拡大による地域経済の活性化を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・ふるさと納税のPR(商工会との連携、SNS等の活用) ・返礼品の充実を図る ・寄附金受領証明書の発送、ワンストップ特例制度の取組 ・寄附金の収納、財政調整基金への積立て ・企業版ふるさと納税の発信</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の制度に沿ったふるさと納税事務の執行</li> <li>企業版ふるさと納税の開始とそれに伴うホームページとチラシの作成</li> <li>返礼品登録事業所数(80箇所→106箇所)</li> <li>返礼品登録数(266品→378品)</li> <li>臨時交付金を活用した商品開発補助事業や広報活動に対する補助事業の実施</li> </ul>	R3計画	270,582			240,182	30,400
	当初予算	270,582			240,182	30,400		
	決算額	243,590	8,645	115,578	119,367			
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の制度に沿ったふるさと納税事務の執行とPR活動の実施</li> <li>返礼品登録事業所数(120事業所)</li> <li>返礼品登録数(418品)</li> <li>ふるさと納税制度を活用した楽器寄附(三重総合高3件、三重中1件)</li> </ul>	R4計画	280,000			250,000	30,000
	当初予算	270,602			240,269	30,333		
	決算額	192,406			192,406			
	R5		R5計画	290,000			260,000	30,000
	当初予算	272,710			240,241	32,469		
	決算額							
	R6		R6計画	300,000			270,000	30,000
当初予算								
決算額								
R7		R7計画	310,000			280,000	30,000	
当初予算								
決算額								
R3 ~ R7 合計			計画額	1,450,582			1,300,182	150,400
			当初予算	813,894			720,692	93,202
			決算額	435,996	8,645		115,578	311,773

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 返礼品登録事業者	返礼品登録事業者数	80	社	目標値	85	90	95	100	105
					実績値	106	120			
					% 達成率	124.7	133.3			
2 登録返礼商品	登録返礼商品数	266	品	目標値	280	290	300	310	320	
				実績値	378	418				
				% 達成率	135	144.1				
D 成果指標	1 寄附件数	ふるさと納税寄附件数	14,394	件	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
					実績値	13,627	12,191			
					% 達成率	90.9	81.3			
2 寄付金額	ふるさと納税寄附金総額	274,664	千円	目標値	240,000	250,000	260,000	270,000	280,000	
				実績値	228,467	186,245				
				% 達成率	95.2	74.5				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
令和4年度は、これまで行ってきたふるさと納税返礼品の充実、新規の提供事業者や新たな返礼品の選定に加え、ふるさと納税制度を活用した楽器寄附に取組んだほか、地域おこし協力隊による事業者訪問やSNSを活用した商品PR活動に取組んだ。令和5年度も、これまでの取組を活かしつつ、地域産品のPR活動を通じて豊後大野市を応援していただける方を増やす必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
事業者の支援につながる特産品等の充実を図り市の魅力発信を図る。

事業	安全・安心まちづくり推進事業	細事業	交通安全対策事業	実施計画事業	交通安全施設整備事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	----------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (240)				個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち		期間	年度	～	年度			交通安全施設・防犯施設整備工事請負費	6,000
款	2	施策	7 交通安全・防犯対策の推進		期間	年度	～	年度			消耗品費	343
項	1	施策展開	①交通安全対策を推進する		期間	年度	～	年度			修繕料	40
目	5	後期基本計画	64 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略			<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	18											

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 交通事故等から市民を守り、安心して生活することができる施設整備を行う。  <令和4年度の取組内容(計画)> カーブミラーの設置 カーブミラーの購入 道路白線の設置 ガードレールの設置	R3	次の事業を行った。 カーブミラー新設 56基 カーブミラー購入 31基 ガードレール設置 3箇所 道路白線設置 1箇所	R3計画 6,383 当初予算 6,383 決算額 5,044				6,383	
	R4	次の事業を行った。 カーブミラー新設 50基 カーブミラー給付 16基 ガードレール設置 1箇所 道路白線設置 0箇所	R4計画 6,383 当初予算 6,383 決算額 5,519				6,383	
	R5		R5計画 6,383 当初予算 6,448 決算額	4,500			1,948	
	R6		R6計画 6,383 当初予算 決算額				6,383	
	R7		R7計画 6,383 当初予算 決算額				6,383	
	R3 ~ R7 合計			計画額 31,915 当初予算 19,214 決算額 10,563	4,500			31,915 14,714 10,563

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 カーブミラーの設置	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	66	基	目標値	60	60	60	60	60
					実績値	56	50			
					% 達成率	93.3	83.3			
D 成果指標	1 人身事故発件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	63	件	目標値	62	62	61	61	60
					実績値	42	30			
					% 達成率	—	—			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	24点	5点	24点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 交通安全対策に必要な事業であり、今後も自治会からの要望もあることから継続する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 成果指標である人身事故発件数は減少している。自治会の要望も踏まえて状況を把握し、警察や道路管理者との連携を図りながら、市民が交通事故に遭わず、安全で安心な生活ができるように、継続して交通安全施設を整備していく。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	安全・安心まちづくり推進事業	細事業	交通安全対策事業	実施計画事業	運転免許証自主返納支援助成事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	----------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (241)				個別計画名	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち		期間	年度 ~ 年度	運転免許証自主返納支援助成金	1,500
款	2	施策	7 交通安全・防犯対策の推進		期間	年度 ~ 年度	通信運搬費	83
項	1	施策展開	①交通安全対策を推進する					
目	5	後期基本計画	64 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	18							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 運転免許証の自主返納を考えている高齢者の免許返納後の移動手段を支援することで自主的な返納を促し、高齢者が加害者となる交通事故の抑制を図る。  <令和4年度の取組内容(計画)> 自主返納者へのタクシー券、バス券の支給。	R3	運転免許証自主返納者160名へ1万円分のタクシー券、バス券を支給した。	R3計画 2,583				2,583	
			当初予算	2,583				2,583
			決算額	1,420				1,420
	R4	運転免許証自主返納者154名へ1万円分のタクシー券、バス券を支給した。	R4計画 2,583				2,583	
			当初予算	1,583				1,583
			決算額	1,306				1,306
	R5		R5計画 2,583				2,583	
			当初予算	1,583				1,583
			決算額					
	R6		R6計画 2,583				2,583	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 2,583				2,583	
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額 12,915				12,915	
			当初予算 5,749				5,749	
			決算額 2,726				2,726	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 支給者数(自主返納者の内の申請者数)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	180	人	目標値	180	180	180	180	180
					実績値	160	154			
					% 達成率	88.9	85.6			
D 成果指標	1 人身事故件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	63	件	目標値	62	62	61	61	60
					実績値	42	30			
					% 達成率	—	—			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	24点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
運転免許証の自主返納を考えている高齢者の返納後の移動手段を支援することにより自主的な返納を促し、高齢者が加害者となる交通事故の抑制を図ることは必要であることから継続する。	成果指標である人身事故発生件数は減少している。運転免許証の返納については干渉できないが、高齢者の自主返納は運転事故発生抑制につながり、家族への安心感も与える。免許証返納後の移動手段に不便さを抱く方もいると思うので、車がなくても生活できる環境づくりの一つの支援策として、本事業は効果的であると考え。

事業	安全・安心まちづくり推進事業	細事業	防犯対策事業	実施計画事業	防犯灯LED化事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	--------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (244)		III 豊かなくらしと安心を実感できるまち		個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
会計	一般	政策	7 交通安全・防犯対策の推進		期間	年度	～	年度			交通安全施設・防犯施設整備工事 請負費	3,000
款	2	施策	②防犯対策を推進する		期間	年度	～	年度			消耗品費	1,350
項	1	施策展開										
目	5	後期基本計画	64 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略			<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	18											

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 犯罪等から市民を守り、安心して生活することが できる施設整備を行う。  <令和4年度の実績内容(計画)> LED防犯灯の設置 LED防犯灯の購入	R3	LED防犯灯新規設置 78基 LED防犯灯購入 0基 ※防犯灯具200基の寄付があったため購入 数は0基(給付件数は162基)	R3計画 4,350 当初予算 4,350 決算額 1,763			4,000	350	
	R4	LED防犯灯新規設置 75基 LED防犯灯購入 0基 ※R3年度に寄附のあった灯具の余剰があつた ため購入数は0基(給付は87基)	R4計画 4,350 当初予算 4,350 決算額 1,745			4,000	350	
	R5		R5計画 4,350 当初予算 4,350 決算額			4,000	350	
	R6		R6計画 4,350 当初予算 決算額			4,000	350	
	R7		R7計画 4,350 当初予算 決算額			4,000	350	
	R3 ~ R7 合計			計画額 21,750 当初予算 13,050 決算額 3,508			20,000	1,750

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 LED防犯灯の設置	LED防犯灯新規設置数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	94	基	目標値	90	90	90	90	90
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	78	75			
		% 達成率			86.7	83.3				
D 成果指標 1 犯罪認知件数	豊後大野署管内刑法犯認知件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	53	件	目標値	51	50	50	50	50
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	55	64			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	—	—			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	22点	5点	22点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 防犯対策に必要な事業であり、自治会からの要望も多いが、給付事業については令和5年度で終了する。新規設置事業については継続する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 LED防犯灯の新設件数は微減しており、新設に関しては需要が落ちてきたものと考えられる。成果指標である犯罪認知件数は微増傾向ではあるが、犯罪の発生を抑止し、安全安心に暮らすことのできる生活環境を確保するためには、本事業を継続して実施することが必要である。
--	--

事業	安全・安心まちづくり推進事業	細事業	防犯対策事業	実施計画事業	犯罪被害者等見舞金事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	--------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ (246)		III 豊かなくらしと安心を実感できるまち				個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称 犯罪被害者等見舞金	当初予算額 400
会計	一般	政策	7 交通安全・防犯対策の推進					
款	2	施策	②防犯対策を推進する					
項	1	施策展開	後期基本計画 64 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
目	5							
決算	18							

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 犯罪被害者へ見舞金を支給し、被害の早期回復、及び軽減を図る。  <令和4年度の実績内容(計画)> 犯罪被害者へ見舞金の支給。 遺族見舞金 300千円 重傷病見舞金 100千円	R3	犯罪被害者への見舞金の支給がなかった。	R3計画 400	200			200
			当初予算 400	200			200
			決算額				
	R4	犯罪被害者への見舞金の支給がなかった。	R4計画 400	200			200
			当初予算 400	200			200
			決算額				
	R5		R5計画 400	200			200
			当初予算 400	200			200
			決算額				
	R6		R6計画 400	200			200
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 400	200			200
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 2,000	1,000			1,000
			当初予算 1,200	600			600
			決算額				

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 見舞金の給付	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値					
					実績値					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率		—			
					目標値					
D 成果指標	1 犯罪被害者等見舞金申請者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値					
					実績値					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率		—			
					目標値					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	点	点	点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	10点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	25点	—点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 今後も犯罪被害者へ見舞金を支給し、被害の早期回復及び軽減を図ることは必要であることから継続する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 犯罪行為により死亡した者の遺族や犯罪被害により重傷病を負った者等に対して見舞金支給等の経済的負担軽減の支援を行う事業であり、犯罪被害者本人やその家族等が、再び穏やかな生活を営むための一助となる本事業は継続して実施する必要がある。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	安全・安心まちづくり推進事業	細事業	防犯対策事業	実施計画事業	防犯電話機等購入補助事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	--------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (243)				個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち		期間	年度	～	年度		
款	2	施策	7 交通安全・防犯対策の推進		期間	年度	～	年度		
項	1	施策展開	②防犯対策を推進する		期間	年度	～	年度		
目	5	後期基本計画	64 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略		
決算	18									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 特殊詐欺等による被害防止を図るため、特殊詐欺等被害防止機能付き電話機及び機器の購入等に要する経費を助成する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 特殊詐欺等被害防止機能付き電話機及び機器の購入等に要する経費の補助。</p>	R3	特殊詐欺等被害防止機能付き電話機及び機器の購入等に要する経費の補助を26件行った。	R3計画	1,000	500			500
			当初予算	1,000	500			500
			決算額	247	124			123
	R4	特殊詐欺等被害防止機能付き電話機及び機器の購入等に要する経費の補助を44件行った。	R4計画	1,000	500			500
			当初予算	1,000	500			500
			決算額	420	210			210
	R5		R5計画	1,000	500			500
			当初予算	800	400			400
			決算額					
	R6		R6計画	1,000	500			500
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画	1,000	500			500
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	5,000	2,500			2,500
			当初予算	2,800	1,400			1,400
			決算額	667	334			333

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助件数 特殊詐欺等被害防止機能付き電話機及び機器の購入等に要する経費の補助件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	46	件	目標値	50	50	50	50	50
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	26	44			
		% 達成率			52	88				
D 成果指標	1 犯罪件数 豊後大野署管内刑法犯認知件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	53	件	目標値	51	50	50	50	50
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	55	64			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	—	—			

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	23点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		4点
		23点	23点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 頻発する特殊詐欺等による被害防止を図るために必要な事業であるため、令和5年度より交付対象範囲を拡大して継続。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 特に高齢者を標的とした詐欺被害が全国的に発生しており、犯罪の発生を水際で抑止し、発生時には解決に向けて活用される本事業については、継続した取組が必要である。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	広報広聴事業	細事業	広報事業	実施計画事業	広報誌事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------	--------	-------	------	----

総合計画体系図No.1 (274)

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	2	施策	10 情報管理、情報化の推進		期間	年度	年度			印刷製本費	10,269	
項	1	施策展開	②広聴・広報活動を充実する		期間	年度	年度			市報点字版・音声版作成委託料	902	
目	6	後期基本計画	71 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>			総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	19											

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 市の情報を正確・迅速に市民に提供するため広報誌を発行する。 また、視覚障がい者等通常の市報では情報を得ることができない方のために、市報点字版及び音声版を発行する。  <令和4年度の取組内容(計画)> 年12回の広報誌発行 年12回の市報点字版及び音声版の発行	R3	年12回広報誌発行 年12回市報点字版及び音声版の発行	R3計画 13,158			14	13,144
			当初予算 17,921			14	17,907
			決算額 10,419			12	10,407
	R4	年12回の広報誌発行 年12回の市報点字版及び音声版の発行	R4計画 13,158			12	13,146
			当初予算 11,171			12	11,159
			決算額 7,786			10	7,776
	R5		R5計画 13,158			12	13,146
			当初予算 10,602			10	10,592
			決算額				
	R6		R6計画 13,158			12	13,146
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 13,158			12	13,146
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 65,790			62	65,728
			当初予算 39,694			36	39,658
			決算額 18,205			22	18,183

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 市報発行回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
					実績値	12	12			
	2 市報点字版及び音声版発行回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
					実績値	12	12			
					%	達成率	100	100		
D 成果指標	1 市報発行部数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	16,300	部	目標値	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
					実績値	16,000	16,000			
	2 市報点字版及び音声版発行部数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	10	部	目標値	10	10	10	10	10
					実績値	10	10			
					%	達成率	100	100		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	24点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点
		24点	23点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 特集は年6回。特集の内容は、子育て、防災、教育や公共交通など、市の事業や取組を分かりやすく紹介。裏表紙では、園芸重点10品目とその野菜農家を紹介する「大分の野菜畑 豊後大野」や、女性の活躍にスポットをあてた「ぶんごおの生き生き女性」を掲載するなど、様々な分野で活躍する豊後大野市民を幅広く取り上げることができた。  
 課題1：広報誌は高齢化率の高い豊後大野市では現在も重要な広報手段であり、広報誌の急速なデジタル化は困難であることから、そのタイミングを慎重に見計らう必要がある。  
 課題2：紙面に対して掲載依頼が多く、取捨選択に苦慮。ホームページ、SNSとの使い分けを検討する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 より読みやすく、市民全世代に必要とされる広報誌になるよう改善を継続する。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	広報広聴事業	細事業	広報事業	実施計画事業	ホームページ管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------	--------	------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策	10 情報管理、情報化の推進		期間	年度	年度			ホームページ保守管理委託料	1,362
項	1	施策展開	②広聴・広報活動を充実する		期間	年度	年度				
目	6	後期基本計画	71 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	19										

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計				財源内訳 (単位:千円)			
			事業費計	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
<事業の目的> 市の情報を正確・迅速に市民に提供するため公式ホームページを運用する。  <令和4年度の取組内容(計画)> 各課・各支所による市政情報の掲載	R3	各課・各支所が市政情報を掲載	R3計画 1,362				1,362			
			当初予算 1,362							1,362
			決算額 1,362							1,362
	R4	各課・各支所による市政情報の掲載	R4計画 1,362					1,362		
			当初予算 1,362							1,362
			決算額 1,362							1,362
	R5		R5計画 1,362							1,362
			当初予算							
			決算額							
	R6		R6計画 1,362							1,362
			当初予算							
			決算額							
	R7		R7計画 1,362							1,362
			当初予算							
		決算額								
R3 ~ R7 合計			計画額 6,810						6,810	
			当初予算 2,724						2,724	
			決算額 2,724						2,724	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ホームページ記事作成者 ホームページ記事作成者(令和3年6月末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	268	人	目標値	268	268	268	268	268
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	283	287			
		% 達成率			105.6	107.1				
D 成果指標	1 ホームページ閲覧者 ホームページ閲覧者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	526,097	人	目標値	430,000	430,000	430,000	430,000	430,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	979,555	848,462			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	227.8	197.3			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	24点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点
		24点	23点
		25点	25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 新型コロナウイルス関連の情報を迅速かつ的確に掲載。ホームページへの訪問者数は、令和4年度848,462人と前年比△14%(令和3年度は979,555人)であったが引き続き高い水準を維持。市民が公式ホームページを情報取得の重要なツールとして活用していることが伺える。 課題:今後も市民が見やすいホームページ運用に努めるが、現ホームページは平成27年度にリニューアル後7年が経過。検索機能など不便な点もあるため、今後のリニューアルに向けて実施時期や内容を検討する必要がある。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 ホームページへの訪問者数は、高い水準を維持しており、市民が公式ホームページを情報取得の重要なツールとして活用していることが推測できることから、より市民が見やすく、情報収集が容易なホームページとなるよう改善を図る。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	新エネルギー導入促進事業	細事業	新エネルギー導入促進事業	実施計画事業	新エネルギー導入促進事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (400)		VI 豊かな自然を未来に残し伝えるまち		個別計画名 豊後大野市新エネルギービジョン 期間 H29年度～R8年度 豊後大野市分散型エネルギーインフラプロジェクト・マスタープラン 期間 年度～年度	令和4年度主な歳出名称		当初予算額	
会計	一般	政策	2 環境保全の推進		サイクリングハブ施設指定管理委託料		6,296	
款	2	施策展開	①環境保全対策を推進する		新エネルギービジョン推進委員謝礼金		128	
項	1	後期基本計画	100 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	
目	7	決算	20					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 地域資源を活用したエネルギーの地産地消型システムを構築するため、平成28年度に策定した「豊後大野市新エネルギービジョン」「豊後大野市分散型エネルギーインフラプロジェクト・マスタープラン」に基づきエネルギー事業を推進する。</p> <p>&lt;令和4年度取組内容(計画)&gt; ・サイクリングハブ施設関連事業施設指定管理委託</p>	R3	・サイクリングハブ施設指定管理委託 ・ぶんごおおのエナジー経営戦略会議の開催	R3計画 6,528				6,528
			当初予算 6,528				6,528
			決算額 6,461			13	6,448
	R4	・サイクリングハブ施設指定管理委託 ・ぶんごおおのエナジー経営戦略会議の開催等	R4計画 6,528				6,528
			当初予算 6,428				6,428
			決算額 6,299				6,299
	R5		R5計画 6,528				6,528
			当初予算 5,031				5,031
			決算額				
	R6		R6計画 6,528				6,528
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 6,528				6,528
			当初予算				
		決算額					
R3～R7合計			計画額 32,640				32,640
			当初予算 17,987				17,987
			決算額 12,760			13	12,747

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略								
		<input type="checkbox"/> 個別計画								
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略								
		<input type="checkbox"/> 個別計画								
D 成果指標	1 ぶんごおおのエナジー再エネ電源調達割合	再エネ電源調達割合(年間平均)	24	%	目標値	50	50	50	50	50
					実績値	16	11			
	2 サイクリングハブ施設利用者数	施設利用者数(年間)	1,936	人	目標値	2,500	3,000	3,500	4,000	4,500
					実績値	2,232	2,595			
				%	達成率	89.3	86.5			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	12点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 ㈱ぶんごおおのエナジーは、市が55%出資しており、経営方針等について連携して取り組む必要がある。 サイクリングハブ施設の管理について、令和4年度までは指定管理業務委託としていたが、令和5年度は直営となった。今後の施設運営について検討する必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 ㈱ぶんごおおのエナジーの支援を行うとともに、サイクリングハブの利活用に努める。
--	---

事業	公共交通事業	細事業	路線バス運行補助事業	実施計画事業	路線バス運行補助事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------------	--------	------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市地域公共交通網形成計画 期間 H29 年度 ~ R3 年度 豊後大野市公共交通計画 期間 R4 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称 路線バス運行補助金	当初予算額 49,463
款	2	施策	I 交通ネットワークの整備			
項	1	施策展開	③公共交通の整備を促進する			
目	7	後期基本計画	52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	21					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 既存の公共交通機関の利用促進を行うことで、高齢化社会に対応した日常生活の利便性を高める。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 路線バス補助金 大野竹田バス ・11路線16系統 43,336千円 ・白三線 6,127千円</p>	R3	路線バス補助金 大野竹田バス ・11路線16系統 45,626千円 ・白三線 6,136千円	R3計画 54,705	5,790	46,400		2,515	
			当初予算	54,705	5,790	46,400		2,515
			決算額	51,762	12,800	37,000		1,962
	R4	路線バス補助金 大野竹田バス ・11路線16系統 43,336千円 ・白三線 6,127千円	R4計画 55,000	6,000	46,550		2,450	
			当初予算	49,463	7,008	40,300		2,155
			決算額	49,463	8,702	38,700		2,061
	R5		R5計画 55,000	6,000	46,550		2,450	
			当初予算	49,463				49,463
			決算額					
	R6		R6計画 55,000	6,000	46,550		2,450	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 55,000	6,000	46,550		2,450	
		当初予算						
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額 274,705	29,790	232,600		12,315	
			当初予算 153,631	12,798	86,700		54,133	
			決算額 101,225	21,502	75,700		4,023	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 白三線を除く路線バスへの補助	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	41,214	千円	目標値	45,527	45,527	45,527	45,527	45,527	
					実績値	45,626	43,336				
	2 白三線への補助	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,775	千円	目標値	9,178	9,179	9,180	9,181	9,182	
					実績値	6,136	6,127				
D 成果指標	1 路線バス補助金	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	42,989	千円	目標値	54,705	54,706	54,707	54,708	54,709	
					実績値	51,762	49,463				
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	目標値					
						実績値					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和4年度は、大野町北部地区において、コミュニティバスの再編にあわせた路線バスの再編や利用者の少ない両家線の運休などに取組んだ。また、令和3年度から取組んでいる学生を対象とした通学定期の割引制度「ジモテキ」については、利用者が増加傾向で今後の事業効果が期待されるものもある。今後も豊後大野市地域公共交通計画に基づく地域公共交通網の維持確保に努めるとともに、モニタリング調査結果や事業者との調整を行いながら、運行内容の見直し等を図る必要がある。	運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	地域公共交通計画策定業務委託事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	------------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	豊後大野市地域公共交通網形成計画 期間 H29年度～R3年度 豊後大野市地域公共交通計画 期間 R4年度～R8年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策	I 交通ネットワークの整備			地域公共交通活性化協議会負担金	4,000		
項	1	施策展開	⑤公共交通網の整備を推進する						
目	7	後期基本計画	52 P			<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	21								

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 地域公共交通計画(案)について、国の承認を受ける。また、地域公共交通計画の実施計画にも位置づけられる地域公共交通利便増進計画の策定を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の実施内容(計画)&gt; 地域公共交通計画(案)の承認 地域公共交通利便増進計画の策定</p>	R3	市地域公共交通計画(素案)策定	R3計画 5,670	2,500			3,170
			当初予算 6,710	2,000			4,710
			決算額 4,705				4,705
	R4	地域公共交通計画の承認 地域公共交通利便増進計画(素案)の策定	R4計画 4,000	2,000			2,000
			当初予算 4,000	2,000			2,000
			決算額 3,184				3,184
	R5		R5計画				
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画				
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画				
			当初予算				
		決算額					
R3～R7合計			計画額 9,670	4,500			5,170
			当初予算 10,710	4,000			6,710
			決算額 7,889				7,889

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 利用状況の整理	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	式	目標値	1				
					実績値	1				
					% 達成率	100				
2 住民アンケートの実施	地域内在住の1,000世帯を対象に実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,000	世帯	目標値	1,000				
					実績値	1,000				
					% 達成率	100				
D 成果指標	1 市地域交通計画の策定	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	式	目標値	1				
					実績値	1				
					% 達成率	100				
	2 市地域公共交通利便増進計画の策定	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	式	目標値		1			
					実績値		1			
					% 達成率		100			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1→2→3→4→5 なっていない⇒なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1→2→3→4→5 優先度低い⇒優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1→2→3→4→5 できなかった⇒できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1→2→3→4→5 推移していない⇒推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1→2→3→4→5 推移していない⇒推移した	3点		3点	
			15点		15点	
			25点		25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 地域公共交通計画は令和4年6月に計画策定が完了した地域公共交通利便増進計画については、令和4年度中は素案の策定までおこなった。令和5年度は、大分運輸支局等関係機関との調整を行いながら、国の認定に向け事務を進める必要がある。また、今後は計画に基づき事業を進める必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。

事業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	コミュニティバス運行管理委託事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	------------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市地域公共交通網形成計画 期間 H29年度～R3年度 豊後大野市地域公共交通計画 期間 R4年度～R8年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策	I 交通ネットワークの整備		コミュニティバス運行管理委託料	85,000
項	1	施策展開	④コミュニティバスの運行を推進する			
目	7	後期基本計画	52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	21					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 本市にとって最適な交通ネットワークを構築し、市民が利用しやすい生活交通手段の確保を図るため、コミュニティバスなどの地域公共交通の充実を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; コミュニティバス 41路線 あいのりタクシー 5区域の運行 大野犬飼線実証運行(4月～7月) 運行見直しに伴う時刻表作成・配布</p>	R3	コミュニティバス 41路線 大野犬飼線実証運行(1月～3月) あいのりタクシー 5区域の運行 時刻表作成・配布 (R4年3月)	R3計画 78,100 当初予算 78,100 決算額 77,683	12,883	57,800	4,321	3,096	
	R4	コミュニティバス 41路線 あいのりタクシー 5区域の運行 大野犬飼線実証運行(4月～10月) 運行見直しに伴う時刻表作成・配布	R4計画 85,000 当初予算 85,000 決算額 82,608	12,000	65,550	4,000	3,450	
	R5		R5計画 85,000 当初予算 85,000 決算額	12,000	65,550	4,000	3,450	
	R6		R6計画 85,000 当初予算 決算額	12,000	65,550	4,000	3,450	
	R7		R7計画 85,000 当初予算 決算額	12,000	65,550	4,000	3,450	
	R3～R7合計			計画額 418,100 当初予算 248,100 決算額 160,291	60,883	320,000	20,321	16,896

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 1 公共交通の充実	コミュニティバス・あいのりタクシー時刻表等配布地区数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	3	地区	目標値	3	3	3	3	3
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7	4			
		% 達成率			233.3	133.3				
D 1 コミュニティバス・あいのりタクシーの利用者数	令和元年度利用者数 30,139人 最終(令和7年度)利用者数 30,140人	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	23,831	人	目標値	25,090	26,350	27,610	28,870	30,140
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	22,660	22,020			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	90.3	83.6			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1→2→3→4→5 なっていない⇒なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1→2→3→4→5 優先度低い⇒優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1→2→3→4→5 できなかった⇒できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1→2→3→4→5 推移していない⇒推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1→2→3→4→5 推移していない⇒推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 コミュニティバス、あいのりタクシーを含めた公共交通利用者が年々減少していることから、令和4年度に策定した地域公共交通計画に基づき利用促進策に取組むとともに、運行内容の見直しを検討する必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	コミュニティバス関係業務委託事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (183)									
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	豊後大野市地域公共交通網形成計画 期間 H29 年度 ~ R3 年度 豊後大野市地域公共交通計画 期間 R4 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策	I 交通ネットワークの整備			コミュニティバス関係業務委託料	3,700		
項	1	施策展開	④コミュニティバスの運行を推進する						
目	7	後期基本計画	52 P			<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	21								

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 公共交通利用者の維持・増加を目指した取組を行う。  <令和4年度の取組内容(計画)> [大学・市] ・大野町北部地区における集落調査の実施 ・新たな交通体系の検討	R3	[大野竹田バス(株)] ・学生割引定期「ジメテキ」販売開始 ・路線バス運行ルートの見直し [高校・大学] ・バスラッピング等利用促進事業の実施 [市] ・アンケート調査や利用状況の調査等	R3計画 3,706 当初予算 3,706 決算額 3,144	3,706	3,500		206	
	R4	[大学・市] ・大野町北部地区における集落調査の実施 ・新たな交通体系の検討	R4計画 3,700 当初予算 3,700 決算額 3,014	3,700	3,500	399	200	
	R5		R5計画 3,700 当初予算 3,700 決算額		3,500		200	
	R6		R6計画 3,700 当初予算 決算額		3,500		200	
	R7		R7計画 3,700 当初予算 決算額		3,500		200	
	R3 ~ R7 合計			計画額 18,506 当初予算 11,106 決算額 6,158		17,500	399	1,006
						4,900		5,807
						4,700		1,458

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 バス交通などの維持と利用促進 行政、市民、事業者の協働による利用促進事業を行う。	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	式	目標値	1	1	1	1	1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1			
		% 達成率			100	100				
D 成果指標	1 コミュニティバス・あいのりタクシーの利用者数 令和元年度利用者数 30,139人 最終(令和7年度)利用者数 30,140人	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	23,831	人	目標値	25,090	26,350	27,610	28,870	30,140
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	22,660	22,020			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	90.3	83.6			
	2 路線バス利用者 令和2年度輸送人員 26,121人	<input type="checkbox"/> 総合計画	26,121	人	目標値	26,121	26,121	26,121	26,121	26,121
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	23,964	22,902			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	91.7	87.7			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 令和4年度は、大野町北部地区を対象として、公共交通網の再編を目的とした集落調査と社会実験を地元の土師振興協議会と大分大学、大分県先端技術挑戦課と実施。令和5年4月からは、この調査結果を基に、当該地域内を運行する路線バスをはじめとする公共交通網の再編を行った。  
 令和5年度は、大学等と連携し、再編内容の検証を行いながら、他地域でも活用できるような取組む必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	公共交通運行モニタリング等業務委託事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	---------------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市地域公共交通網形成計画 期間 H29年度～R3年度 豊後大野市地域公共交通計画 期間 R4年度～R8年度	令和4年度 主な歳出名称 公共交通運行モニタリング等業務委託料	当初予算額 4,000
款	2	施策	I 交通ネットワークの整備			
項	1	施策展開	⑤公共交通網の整備を推進する			
目	7	後期基本計画	52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	21					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 本市で運行されているコミュニティバス・あいのりタクシー及び民間路線バスを対象として、利用動向調査、利用者満足度を把握すると同時に、運行にあたっての課題把握、コミュニティバスへの利用促進策の検討を行い、豊後大野市全体の交通ネットワークとして更なる利便性向上、利用者増加を目指した検証(モニタリング)を実施する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・コミュニティバス及び路線バスの利用動向調査 ・利用者満足度調査 ・あいのりタクシーの課題と改善策の検討 ・報告書取りまとめ</p>	R3	・コミュニティバス及び路線バスの利用動向調査 ・利用者満足度調査 ・あいのりタクシーの課題と改善策の検討 ・報告書	R3計画 5,000 当初予算 5,000 決算額 2,244	国県支出金	4,700		300	
	R4	・コミュニティバス及び路線バスの利用動向調査 ・利用者満足度調査 ・あいのりタクシーの課題と改善策の検討 ・報告書	R4計画 5,000 当初予算 4,000 決算額 3,916	国県支出金	4,700		300	
	R5		R5計画 5,000 当初予算 4,862 決算額	国県支出金	4,700		300	
	R6		R6計画 5,000 当初予算 決算額	国県支出金	4,700		300	
	R7		R7計画 5,000 当初予算 決算額	国県支出金	4,700		300	
	R3～R7合計			計画額 25,000 当初予算 13,862 決算額 6,160	国県支出金	23,500	8,500	1,500 5,362 460

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 利用動向調査、利用者満足度調査の実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	式	目標値	1	1	1	1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	1	1		
		%	達成率			100	100			
D 成果指標	1 事業評価の評価結果	<input type="checkbox"/> 総合計画		2	判定	目標値	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	1	1		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率	100	100	
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			判定	目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1→2→3→4→5 なっていない⇒なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1→2→3→4→5 優先度低い⇒優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1→2→3→4→5 できなかった⇒できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1→2→3→4→5 推移していない⇒推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1→2→3→4→5 推移していない⇒推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 地域の特性や実情を把握し、最適な公共交通ネットワークを確保・維持していくためにモニタリング調査を継続していくことが必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。
--	--

事業番号	枝番
11002	5

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係
-----	----------	----	-------

事業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	大分空港利用促進期成会負担金事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (186)

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策	I 交通ネットワークの整備		期間	年度	年度			大分空港利用促進期成会負担金	275
項	1	施策展開	⑤公共交通網の整備を推進する		期間	年度	年度				
目	7	後期基本計画	52 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	21										

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 大分空港の国際化及び国内路線の充実を協力を推進することを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 期成会への参加及び負担金の支出</p>	R3	負担金の支出	R3計画 291				291
			当初予算 291				291
			決算額 227				227
	R4	期成会への出席及び負担金の支出	R4計画 300				300
			当初予算 275				275
			決算額 227				227
	R5		R5計画 300				300
			当初予算 267				267
			決算額				
	R6		R6計画 300				300
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 300				300
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 1,491				1,491
			当初予算 833				833
			決算額 454				454

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 期成会への参加	期成会への出席回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値		1			
						% 達成率		100			
2 -			<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					
D 成果指標	1 負担金の支出	期成会からの負担金請求額	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	227	千円	目標値	300	300	300	300	300
						実績値	227	227			
						% 達成率	75.7	75.7			
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			15点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 感染状況の推移や宇宙港の取組状況の推移を注視する必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 大分空港が「宇宙港」として人工衛星基地の拠点となったことにより、利用者空港の利便性も図りながら関連する新たな産業の創出に努める。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	タクシーチケット発行支援事業	終了年度	R4
----	--------	-----	-------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (180)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策 I 交通ネットワークの整備	豊後大野市地域公共交通計画		期間	R4 年度 ~ R8 年度			タクシーチケット発行等支援事業補助金	5,900
項	1	施策展開 ③公共交通の整備を促進する								
目	7	後期基本計画 52 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当							
決算	21									

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 新型コロナウイルス感染症により影響を受けているタクシー業界の事業継続を支援するため、豊後大野市商工会が市内に営業所のあるタクシーの利用促進のために行う、プレミアム付タクシーチケットの発行等に要する経費について、補助金を交付する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ○プレミアム付タクシーチケット 1セット 2,500円 (プレミア 2,500円) ○2,000セット販売</p>	R3	○プレミアム付タクシーチケット 1セット 3,000円 (プレミア 2,000円) ○2,000セット販売	R3 計画 5,900 当初予算 5,900 決算額 4,211	5,000			900	
	R4	○プレミアム付タクシーチケット 1セット 2,500円 (プレミア 2,500円) ○2,000セット販売	R4 計画 5,900 当初予算 5,900 決算額 5,675	4,000			1,900	
	R5		R5 計画 当初予算 決算額					
	R6		R6 計画 当初予算 決算額					
	R7		R7 計画 当初予算 決算額					
	R3 ~ R7 合計			計画額 11,800 当初予算 11,800 決算額 9,886	9,000			2,800 2,800 1,686

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 チケット完売	プレミアムタクシーチケットの完売	100	%	目標値	100	100			
					実績値	100	100			
					達成率	100	100			
D 成果指標	1 -			%	目標値					
					実績値					
					達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
令和4年度は臨時交付金を活用し、利用者が減少しているタクシー需要の喚起を促す取組をおこなった。  
令和5年度は事業に取組まないが、コロナ終息後のタクシー需要の動向を注視しつつ、今後の公共交通施策の展開を検討する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
運行事業者等との連携を図り、公共交通網の維持確保に努める。

事業	矢田ダム関連地域振興事業	細事業	矢田ダム関連地域振興事業	実施計画事業	矢田ダム関連地域振興事業	終了年度	R4
----	--------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (177)														
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち					個別計画名 矢田ダム関連地域振興計画 期間 H14 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額				
款	2	施策	I 交通ネットワークの整備						矢田ダム対策委員会	203				
項	1	施策展開	①市道を整備する						費用弁償	17				
目	7	後期基本計画	52	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>	通信運搬費	4
決算	22													

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 平成14年に旧大野町で策定した矢田ダム関連地域振興計画に基づき実施する事業の進捗状況や基金の取扱い、関係機関への要望活動について、矢田ダム対策委員会を開催し、地元関係者と協議を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・矢田ダム対策委員会の開催 ・県土木事務所へ要望書提出 ・矢田ダム対策委員会解散</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>矢田ダム対策委員会の開催</li> <li>県土木事務所へ要望書提出</li> <li>矢田ダム対策委員会解散に向けた協議</li> </ul>	R3計画 240				240	
				当初予算 240				240
				決算額 59				59
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>矢田ダム対策委員会の開催</li> <li>県土木事務所へ要望書提出</li> <li>矢田ダム対策委員会解散</li> </ul>	R4計画 224				224	
				当初予算 224				224
				決算額 78				78
	R5			R5計画				
				当初予算				
				決算額				
	R6			R6計画				
				当初予算				
				決算額				
	R7			R7計画				
			当初予算					
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 464				464	
			当初予算 464				464	
			決算額 137				137	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 矢田ダム対策委員会の開催	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1			
					実績値	1	1			
	2 県土木事務所へ要望書提出	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1			
					実績値	1	1			
					%	達成率	100	100		
D 成果指標	1 矢田ダム対策委員会の開催	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1			
					実績値	1	1			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					%	達成率	100	100		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		15点	15点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 令和4年7月に、市道牛首線の供用がされたことを受け、委員会の解散について協議会に諮り合意を得た。また、関連する条例廃止案件を令和4年9月議会において承認いただいたことから事業が完了した。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 事業終了
--	--

事業	定住促進事業	細事業	定住促進住宅補助事業	実施計画事業	定住住宅補助事業(持ち家取得/県外)	終了年度	R4
----	--------	-----	------------	--------	--------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (231)								
会計	一般	政策	III 豊かな暮らしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	
款	2	施策	6 移住・定住の促進		期間	年度	年度	
項	1	施策展開	①移住・定住を促進する		期間	年度	年度	
目	7	後期基本計画	62 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	23							
A 事業目的・内容・実績				B 事業計画額・決算額等				

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 人口減少による集落の維持や地域活性化、各分野の担い手確保のため、県外からの移住世帯に対する住宅の新築や購入に係る費用の一部を助成するもの。  <令和4年度の実績内容(計画)> ・情報発信による制度周知 ・県外移住者の住宅取得に対する補助金の交付(経過措置)	R3	・HP等での情報発信による制度周知 ・県外移住者の住宅取得に対する補助金交付2件	R3計画 2,100 当初予算 2,100 決算額 1,500	1,050			1,050	
	R4	・HP等での情報発信による制度周知 ・県外移住者の住宅取得に対する補助金交付5件	R4計画 2,400 当初予算 900 決算額 300	1,200			1,200	
	R5		R5計画 2,900 当初予算 決算額	1,450			1,450	
	R6		R6計画 3,200 当初予算 決算額	1,600			1,600	
	R7		R7計画 3,700 当初予算 決算額	1,850			1,850	
	R3 ~ R7 合計			計画額 14,300 当初予算 3,000 決算額 1,800	7,150 1,050 750			7,150 1,950 1,050

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 助成金の交付件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値	4	5	6	7	8
					実績値	2	1			
					% 達成率	50	20			
D 成果指標	1 市外からの移住者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
					実績値	96	109			
					% 達成率	160	155.7			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 移住施策として事業効果はあったものの、制度見直しに伴い事業終了とする。今後は空き家の活用を促す新たな移住施策に取り組むことで、移住者の確保に取り組むとともに、制度の周知に取り組む必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 移住定住策として事業効果はあったが、空き家の活用促進にシフトするため、終了とする。
--	---

事業	定住促進事業	細事業	定住促進住宅補助事業	実施計画事業	定住住宅補助事業(持ち家取得/県内)	終了年度	R4
----	--------	-----	------------	--------	--------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (231)												
会計	一般	政策	III 豊かな暮らしと安心を実感できるまち					個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称 当初予算額			
款	2	施策	6 移住・定住の促進									
項	1	施策展開	①移住・定住を促進する									
目	7	後期基本計画	62	P	<input checked="" type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>			総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	23											

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 人口減少による集落の維持や地域活性化、各分野の担い手確保のため、市外からの移住世帯に対する住宅の新築や購入に係る費用の一部を助成するもの。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; ・情報発信による制度周知 ・県内移住者の住宅取得に対する補助金の交付</p>	R3	・情報発信による制度周知 ・県内移住者の住宅取得に対する補助金交付 12件	R3計画 3,900 当初予算 3,900 決算額 6,400				3,900	
	R4	・情報発信による制度周知 ・県内移住者の住宅取得に対する補助金交付 12件	R4計画 4,200 当初予算 900 決算額 5,100				4,200	
	R5		R5計画 4,500 当初予算 決算額				4,500	
	R6		R6計画 5,500 当初予算 決算額				5,500	
	R7		R7計画 5,500 当初予算 決算額				5,500	
	R3 ~ R7 合計			計画額 23,600 当初予算 4,800 決算額 11,500				23,600

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 助成金の交付件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	10	件	目標値	7	8	9	10	10
					実績値	12	12			
					% 達成率	171.4	150			
D 成果指標	1 市外からの移住者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
					実績値	96	109			
					% 達成率	160	155.7			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 移住施策として事業効果はあったものの、制度見直しに伴い事業終了とする。今後は空き家の活用を促す新たな移住施策に取り組むことで、移住者の確保に取り組むとともに、制度の周知に取り組む必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 移住定住策として事業効果はあったが、空き家の活用促進にシフトするため、終了とする。
--	---

事業	定住促進事業	細事業	定住促進空き家対策事業	実施計画事業	空き家成約奨励金給付事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	--------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額	
款	2	施策	6 移住・定住の促進		期間	年度	～	年度			
項	1	施策展開	①移住・定住を促進する		期間	年度	～	年度			
目	7	後期基本計画	62 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	23										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 市内に存在する空き家の有効活用を通じた、地域活性化や移住定住を促進するため、空き家バンク制度を通じた物件の成約の際に物件所有者に奨励金を交付するもの。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・情報発信による制度周知 ・空き家バンクの活動促進 ・空き家成約奨励金の交付	R3	・情報発信による制度周知 ・空き家成約奨励金の交付 20件	R3計画 1,500 当初予算 1,500 決算額 2,000				1,500	
	R4	・情報発信による制度周知 ・空き家成約奨励金の交付 20件 ・定住支援活動奨励金の交付 1件	R4計画 1,500 当初予算 1,500 決算額 2,010				1,500	
	R5		R5計画 1,800 当初予算 1,800 決算額				1,800	
	R6		R6計画 2,000 当初予算 決算額				2,000	
	R7		R7計画 2,500 当初予算 決算額				2,500	
	R3 ~ R7 合計			計画額 9,300 当初予算 4,800 決算額 4,010				9,300

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 空き家バンク新規物件登録数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	34	件	目標値	35	35	40	45	50
					実績値	29	41			
					% 達成率	82.9	117.1			
D 成果指標	1 空き家バンク成約件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	20	件	目標値	20	20	25	25	30
					実績値	26	35			
					% 達成率	130	175			
	2 奨励金交付件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	16	件	目標値	15	15	20	20	25
					実績値	20	20			
					% 達成率	133.3	133.3			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	15点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 移住者からニーズの多い市内の空き家の活用を促す新たな移住施策に取組むことで、移住者の確保に努めるとともに、空き家バンク制度を活用した県外移住者や空き家所有者に対し制度の周知に取組む必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 移住定住策として空き家の活用を推進する。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	定住促進事業	細事業	定住促進空き家対策事業	実施計画事業	定住住宅補助事業(不動産/家財/引越/県外)	終了年度	R3
----	--------	-----	-------------	--------	------------------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	2	施策	6 移住・定住の促進		期間	年度 ~ 年度			
項	1	施策展開	①移住・定住を促進する		期間	年度 ~ 年度			
目	7	後期基本計画	62 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	23								

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 市内に存在する空き家の有効活用による、地域活性化や移住定住の促進を図るため、空き家バンク制度を活用した県外移住者や空き家所有者に対し、仲介手数料補助、家財道具等の処分費用に対する補助、引越し補助をおこなう。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; ・情報発信による制度周知 ・空き家バンクの活動促進 ・空き家家財道具等処分補助金の交付</p>	R3	・情報発信による制度周知 ・空き家家財道具等処分補助金交付(県外移住者分) 3件	R3計画 200	100			100
			当初予算 200	100			100
			決算額 300	150			150
	R4	・情報発信による制度周知 ・空き家家財道具等処分補助金交付(県補助活用分) 8件	R4計画 400	200			200
			当初予算 300	150			150
			決算額 779	389			390
	R5		R5計画 400	200			200
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 400	200			200
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 600	300			300
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 2,000	1,000			1,000
			当初予算 500	250			250
			決算額 1,079	539			540

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 空き家バンク成約件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	20	件	目標値	20	20	25	25	30
					実績値	26	35			
					% 達成率	130	175			
2 補助金交付数	補助金交付件数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値	2	2	2	2	3
					実績値	3	8			
					% 達成率	150	400			
D 成果指標	1 市外からの移住者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
					実績値	96	109			
					% 達成率	160	155.7			
					2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画				
					目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			15点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 家財道具の処分費用に対する補助を除き、仲介手数料や引越し費用を助成する制度については、制度見直しにより廃止した。制度見直しに伴い、家財道具の処分については、空き家バンク登録時点でも活用できるよう要件変更したことから改めて制度の周知を図る必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 移住定住策として事業効果はあったが、空き家の活用促進にシフトするため、仲介手数料と引越し費用の助成については終了とする。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	定住促進事業	細事業	定住促進空き家対策事業	実施計画事業	定住住宅補助事業(空き家改修(県外))	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	---------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (231)				個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち		期間	年度	～	年度		
款	2	施策	6 移住・定住の促進		期間	年度	～	年度		
項	1	施策展開	①移住・定住を促進する		期間	年度	～	年度		
目	7	後期基本計画	62 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	23									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 市内に存在する空き家の有効活用による、地域活性化や移住定住の促進を図るため、空き家バンク制度を活用した県外移住者に対し、補助金を交付する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・情報発信による制度周知 ・空き家バンクの活動促進 ・空き家改修補助金の交付</p>	R3	・情報発信による制度周知 ・空き家改修補助金の交付(県外移住者分) 3件	R3計画 2,400	1,200			1,200	
			当初予算 2,400	1,200			1,200	
			決算額 2,000	1,000			1,000	
	R4	・情報発信による制度周知 ・空き家改修補助金の交付(県外移住者分) 5件	R4計画 2,000	1,000			1,000	
			当初予算 1,800	900			900	
			決算額 2,723	1,261			1,462	
	R5		R5計画 2,000	1,000			1,000	
			当初予算					
			決算額					
	R6		R6計画 2,000	1,000			1,000	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 2,800	1,400			1,400	
			当初予算					
		決算額						
		R3 ~ R7 合計	計画額 11,200	5,600			5,600	
			当初予算 4,200	2,100			2,100	
			決算額 4,723	2,261			2,462	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 空き家バンク成約件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	20	件	目標値	20	20	25	25	30
					実績値	26	35			
	% 達成率	130	175							
2 補助金の交付件数	補助金の交付件数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	件	目標値	3	3	3	3	4
					実績値	3	5			
					% 達成率	100	166.7			
D 成果指標	1 市外からの移住者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
					実績値	96	109			
	% 達成率	160	155.7							
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画								

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
移住者からニーズの多い市内の空き家の活用を促す新たな移住施策に取組むことで、移住者の確保に努めるとともに、空き家バンク制度を活用した県外移住者や空き家所有者に対し制度の周知に取組む必要がある。	移住定住策として、空き家活用を推進する。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	定住促進事業	細事業	定住促進空き家対策事業	実施計画事業	定住住宅補助事業(不動産/家財/引越/空き家改修(県内))	終了年度	R3
----	--------	-----	-------------	--------	-------------------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (231)								
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	
款	2	施策	6 移住・定住の促進		期間	年度	年度	
項	1	施策展開	①移住・定住を促進する		期間	年度	年度	
目	7	後期基本計画	62 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	23							

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 市内に存在する空き家の有効活用による、地域活性化や移住定住の促進を図るため、空き家バンク制度を活用した市外移住者や空き家所有者に対し、補助金を交付する。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; ・情報発信による制度周知 ・空き家バンクの活動促進 ・空き家改修補助金の交付 ・空き家家財道具等処分補助金の交付</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信による制度周知</li> <li>空き家改修補助金 8件</li> <li>空き家家財道具等処分補助金 7件</li> <li>不動産契約仲介手数料補助金(経過措置) 1件</li> <li>引越費用補助金(経過措置) 1件</li> </ul>	R3計画 4,750				4,750	
				当初予算 4,750				4,750
				決算額 6,625				6,625
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信による制度周知</li> <li>空き家改修補助金 6件</li> <li>空き家家財道具等処分補助金 10件</li> </ul>	R4計画 5,300				5,300	
				当初予算 4,300				4,300
				決算額 4,097				4,097
	R5			R5計画 6,200				6,200
				当初予算				
				決算額				
	R6			R6計画 6,600				6,600
				当初予算				
				決算額				
	R7			R7計画 7,500				7,500
			当初予算					
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 30,350				30,350	
			当初予算 9,050				9,050	
			決算額 10,722				10,722	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 空き家バンク成約件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	20	件	目標値	20	20	25	25	30
					実績値	26	35			
	2 補助金の交付件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	24	件	目標値	13	12	14	15	17
					実績値	17	16			
					%	達成率	130.8	133.3		
D 成果指標	1 市外からの移住者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
					実績値	96	109			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 家財道具の処分については、空き家バンク登録時点でも活用できるよう要件変更したことから改めて制度の周知を図る必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 移住定住策として、空き家活用を推進する。
--	--

事業	定住促進事業	細事業	定住促進空き家対策事業	実施計画事業	定住住宅補助事業(県外移住者就業支援)	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	---------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (231)								
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	
款	2	施策	6 移住・定住の促進		期間	年度	年度	
項	1	施策展開	①移住・定住を促進する		期間	年度	年度	
目	7	後期基本計画	62 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	23							
A 事業目的・内容・実績				B 事業計画額・決算額等				

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 県外からのU・I・Jターンによる起業・就業者の創出を支援するため、県の求人マッチングサイトを通じて就業した者やテレワークを実施する者等に対して移住支援金を交付する。  <令和4年度の実績内容(計画)> ・情報発信による制度周知 ・移住支援金の交付	R3	・情報発信による制度周知	R3計画 1,000 当初予算 1,000 決算額	500			500
	R4	・情報発信による制度周知 ・移住支援金の交付(世帯)1件	R4計画 1,000 当初予算 1,000 決算額 1,000	500			500
	R5		R5計画 1,000 当初予算 3,000 決算額	500	2,250		750
	R6		R6計画 1,000 当初予算 決算額	500			500
	R7		R7計画 1,000 当初予算 決算額	500			500
	R3 ~ R7 合計			計画額 5,000 当初予算 5,000 決算額 1,000	2,500 3,500 750		2,500 1,500 250

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 補助金の交付件数	補助金の交付件数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		件	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値		1			
		% 達成率				100				
D 成果指標 1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画		53	目標値	60	70	80	90	100
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	96	109			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	160	155.7			

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	15点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 国県の制度改正に伴い、交付要綱の見直しを行った。今後も県外からの移住者の起業・就業を支援するための制度の周知が必要である。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 移住定住策として就業支援策を推進する。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	定住促進事業	細事業	定住促進空き家対策事業	実施計画事業	移住情報発信・移住定住フェア参加事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	--------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (232)											
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策	6 移住・定住の促進		期間	年度	年度			広告料	495
項	1	施策展開	①移住・定住を促進する		期間	年度	年度			移住・定住促進ポータルサイト保守委託料	330
目	7	後期基本計画	62 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当			移住・定住促進ポータルサイト制作委託料	330
決算	23									移住フェアブース出展料	264

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 魅力ある地域情報や市の総合的な支援等をPRし、本市への関心を高めるため、ウェブサイト等を活用した情報発信に取り組む。また移住イベントに参加し、移住を促進する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・ポータルサイト「ぶんごおおの暮らし手帖」の運営、更新 ・SNSによる情報発信と拡散 ・移住相談会等への参加 ・移住関連サイト等の広告掲載 ・移住コーディネーターによる移住相談</p>	R3	・ポータルサイト「ぶんごおおの暮らし手帖」の運営、更新 ・SNSによる情報発信と拡散 ・移住関連サイト等の広告掲載 ・移住コーディネーターによる移住相談	R3計画 1,909 当初予算 1,909 決算額 1,212				1,909	
	R4	・ポータルサイト「ぶんごおおの暮らし手帖」の運営、更新 ・SNSによる情報発信と拡散 ・移住関連サイト等の広告掲載 ・移住コーディネーターによる移住相談	R4計画 880 当初予算 1,881 決算額 1,256				880	
	R5		R5計画 880 当初予算 1,419 決算額				880	
	R6		R6計画 880 当初予算 決算額				880	
	R7		R7計画 880 当初予算 決算額				880	
	R3 ~ R7 合計			計画額 5,429 当初予算 5,209 決算額 2,468				5,429

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 専用サイトのアクセス数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	70,864	回	目標値	72,000	73,200	74,400	75,600	76,800
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	82,711	86,180			
	2 移住相談件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1,599	件	目標値	1,500	1,550	1,600	1,650	1,700
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1,853	1,254			
D 成果指標	1 市外からの移住者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	96	109			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 新型コロナウイルス感染防止対策の影響で、移住相希望者への情報提供はインターネットを経由したものに变化しており、ネットを活用した情報発信の重要性は増している。今後は移住先として選ばれる様、積極的な情報発信に加え、ウィズコロナで本格化していくと想定する移住希望者への対面でのアプローチが必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 移住定住の情報発信は重要であり、またニーズも多いことから積極的に活用する。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	関係人口創出事業	細事業	関係人口創出事業	実施計画事業	関係人口創出事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (235)								
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	
款	2	施策	6 移住・定住の促進		期間	年度	年度	
項	1	施策展開	②関係人口の創出・拡大と取り込み		期間	年度	年度	
目	7	後期基本計画	62 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	24							
A 事業目的・内容・実績				B 事業計画額・決算額等				

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 新しい時代の流れをつかみ、豊後大野の人や地域との深いつながりを築き、多様な人材の確保、起業や移住定住につなげていくため、二拠点居住やテレワークなどの4つの事業コンテンツを運動させたプラットフォームの構築に取り組む。</p> <p>都市住民などの多様な人材と地域内人材との融合により、その人たらしさを発揮した新たなビジネスの創出や、豊後大野出身者など外から地域を支える人材の確保など、関係人口の創出及び拡大に取り組む。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者制度の導入</li> <li>関係人口交流拠点施設の開館</li> <li>指定管理者と関係人口創出事業の推進</li> <li>拠点施設専用サイトの制作</li> <li>出身者等とのマッチングサイト開設、受入支援</li> </ul>	R3	旧歴史民俗資料館を改修し、多機能型の拠点施設を整備した。また、新たな施設の条例を制定し、指定管理制度を導入のため、選定及び決定を行った。また、令和4年度から実施する事業プログラムを策定した。	R3計画 114,913	69,614		30,000	15,299
	当初予算	114,913	69,614		30,000	15,299	
	決算額	114,226	71,844		7	42,375	
	R4	関係人口交流拠点施設の開館 指定管理者による施設の運営 指定管理者と関係人口創出事業の推進 拠点施設専用サイトの制作 出身者等とのマッチングサイト開設、受入支援	R4計画 30,000	15,000			15,000
	当初予算	34,758	16,250			18,508	
	決算額	23,326	8,340			14,986	
	R5		R5計画 30,000	15,000			15,000
	当初予算	2,234	831			1,403	
	決算額						
	R6		R6計画 30,000	15,000			15,000
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 5,000				5,000
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 209,913	114,614		30,000	65,299
			当初予算 151,905	86,695		30,000	35,210
			決算額 137,552	80,184		7	57,361

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 利用者数(累積)	拠点施設の利用者数(年度末)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	人	目標値		1,300	1,300	1,300	1,300
					実績値		1,507			
					% 達成率		115.9			
2 参加者数(累積)	拠点施設で行うセミナー等の参加者数(年度末)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	人	目標値		100	100	100	100	
				実績値		134				
				% 達成率		134				
D 成果指標	1 事業創出数(累積)	拠点施設の利用による新規事業創出数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	件	目標値		3	5	7	7
					実績値					
					% 達成率					
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	件	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
関係人口交流拠点施設cocomioの指定管理者であるホーホウと連携し、関係人口の創出拡大とともに起業・創業を支援する取組みを進める必要がある。また、まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけたFrom豊後大野ネットワーク構築事業である「ボラホリぶんごおの」を通じ、地域を外から支える市内出身者等のデータベース化と地域活動への参画を促す取組みを進める必要がある。	起業・創業支援に取組むとともに関係人口の創出・拡大に努める。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域コミュニティ支援事業	細事業	コミュニティ助成事業	実施計画事業	コミュニティ助成事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (287)		会計 一般	政策 IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名 豊後大野市地域コミュニティイノベーション 期間 H25 年度 ~ 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策 1 地域コミュニティ活動の推進			コミュニティ助成事業助成金	12,000
項	1	施策展開 ①地域コミュニティを育成する				
目	7	後期基本計画 74 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	26					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> コミュニティ活動に必要な施設整備や備品購入等への支援を行う。  <令和4年度の実績内容(計画)> ・助成を希望する事業の募集 ・助成金の交付	R3	・コミュニティセンター助成事業 1団体 ・一般コミュニティ助成事業 2団体 ・地域づくり助成事業 1団体に助成金を交付。	R3計画 22,000			22,000	
			当初予算 22,000			22,000	
			決算額 21,900			21,900	
	R4	・コミュニティセンター助成事業 1団体に助成金を交付。	R4計画 12,000			12,000	
			当初予算 12,000			12,000	
			決算額 12,000			12,000	
	R5		R5計画				
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画				
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画				
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 34,000			34,000	
			当初予算 34,000			34,000	
			決算額 33,900			33,900	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 申請数	申請があった団体数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	7	件	目標値	5	5	5	5	5
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4	1			
		% 達成率			80	20				
D 成果指標 1 採択団体	採択された団体数	<input type="checkbox"/> 総合計画	5	%	目標値	5	5	5	5	5
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	4	1			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	80	20			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
			25点		25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 引続き事業の周知を図るとともに、助成金を活用した活動を希望する団体には引続き情報提供をおこなう必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 地域コミュニティ活動が活性化するように、希望する団体には引き続き情報提供を行う。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域コミュニティ支援事業	細事業	小規模集落対策事業	実施計画事業	小規模集落対策委託事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	-----------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No. (287)		会計 一般	政策 IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名 豊後大野市地域コミュニティビジョン 期間 H25 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称 当初予算額
款	2	施策 1 地域コミュニティ活動の推進	小規模集落対策事業委託料 9,372		
項	1	施策展開 ①地域コミュニティを育成する			
目	7	後期基本計画 74 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	26				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt;</p> <p>高齢化率が50%を超える旧小学校区単位に設立された地域振興協議会に、地域の課題把握や協議会の運営等を行う地域支援員を配置し、住民が安心して暮らせる地域づくりの体制の整備を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小規模集落対策事業業務委託の締結(契約内容)               <ul style="list-style-type: none"> <li>地域振興協議会の設置</li> <li>地域づくり計画に基づく活動の実施</li> <li>地域支援員の配置</li> </ul> </li> <li>ワークショップ等の開催</li> </ul>	R3	小規模集落対策事業業務委託の締結 ・7団体 ワークショップ等の開催 ・大野町東部・南部 ・緒方町小富士 ・三重町菅尾 計20回	R3計画 7,707 当初予算 7,707 決算額 7,508			7,000	707	
	R4	小規模集落対策事業業務委託の締結7団体 ワークショップ等の開催 ・大野町東部 ・役員会+支部別説明会 13地区 ・緒方町小富士 ・役員会+地区別説明会 6箇所 ・三重町菅尾:役員会、協定書締結 ・協議会純地区対象研修会の開催 1回	R4計画 10,107 当初予算 9,372 決算額 7,492			10,000	372	
	R5		R5計画 11,307 当初予算 10,967 決算額			11,000	307	
	R6		R6計画 14,907 当初予算 決算額			14,000	907	
	R7		R7計画 18,507 当初予算 決算額			18,000	507	
	R3 ~ R7 合計			計画額 62,535 当初予算 28,046 決算額 15,000			60,000	2,535
							25,500	2,546
						15,200	-200	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 配置数 地域支援員配置協議会数(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	7	協議会	目標値	8	9	10	12	15
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7	8			
		%			達成率	87.5	88.9			
2 開催数	ワークショップ等開催数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	10	回	目標値	12	12	14	14	15
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	20	20			
		%			達成率	166.7	166.7			
D 成果指標	1 設置数 地域振興協議会設置数(令和7年度末)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	7	協議会	目標値	8	9	10	12	15
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	7	8			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	87.5	88.9		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
高齢化率が50%を超える旧小学校区単位に設立された地域振興協議会には、地域の課題把握や協議会の運営等を行う地域支援員を配置し、住民が安心して暮らせる地域づくりの体制整備のための支援を、引き続きおこなう必要がある。 令和4年度は菅尾地区において新たな地域振興協議会を設立した。令和5年度は協議会設立に向けて住民間の合意形成のために話し合いを続けている地域に対し、引き続き設立支援に向けた取組を継続する必要がある。 (菅尾地域振興協議会 令和5年3月末設立、交付金は令和5年度から業務委託開始)	市民への支援体制の整備を検討し、引き続き支援を行う。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域コミュニティ支援事業	細事業	小規模集落対策事業	実施計画事業	地域づくり交付金事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	-----------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (288)				個別計画名 豊後大野市地域コミュニティ イノベーション 期間 H25 年度 ~ 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり		地域づくり交付金	10,199	
款	2	施策	I 地域コミュニティ活動の推進				
項	1	施策展開	①地域コミュニティを育成する				
目	7	後期基本計画	74 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	26						

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	B 事業計画額・決算額等				
			事業費計	財源内訳 (単位:千円)			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
<事業の目的> 高齢化率が50%を超える旧小学校区単位に設立された地域振興協議会に、地域づくり計画に基づく活動を地域づくり交付金により支援し、地域の創意・工夫・責任による特色のある地域づくりの展開を図る。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・地域づくり交付金の交付	R3	地域づくり交付金の交付対象：7団体	R3計画 9,546			9,000	546
			当初予算 9,546			9,000	546
			決算額 8,981			8,300	681
	R4	地域づくり交付金の交付対象：7団体	R4計画 12,446			12,000	446
			当初予算 10,199			10,000	199
			決算額 8,272				8,272
	R5		R5計画 13,946			13,000	946
			当初予算 11,353			9,500	1,853
			決算額				
	R6		R6計画 18,446			18,000	446
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 22,946			22,000	946
			当初予算				
			決算額				
		R3 ~ R7 合計	計画額 77,330			74,000	3,330
			当初予算 31,098			28,500	2,598
			決算額 17,253			8,300	8,953

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 交付件数 地域づくり交付金交付件数(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	7	協議会	目標値	8	9	10	12	15
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7	7			
		%			達成率	87.5	77.8			
D 成果指標	1 設置数 地域振興協議会設置数(令和7年度末)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	7	協議会	目標値	8	9	10	12	15
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	7	8			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	87.5	88.9		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	15点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 地域振興協議会の取組に対し引き続き支援を行う必要がある。また、新たに整備した補助金交付要綱に基づき拠点整備に対して支援していく必要がある。(菅尾地域振興協議会 令和5年3月末設立、交付金は令和5年度から交付)	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市民のニーズに対応し、更に支援を続ける。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域コミュニティ支援事業	細事業	小規模集落対策事業	実施計画事業	小規模集落等支援補助事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	-----------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (288)		会計 一般	政策 IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名 豊後大野市地域コミュニティビジョン 期間 H26 年度 ~ 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策 I 地域コミュニティ活動の推進			小規模集落等支援事業補助金	7,600
項	1	施策展開 ①地域コミュニティを育成する				
目	7	後期基本計画 74 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	26					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 小規模集落等において、地域による自発的かつ主体的な地域づくりの推進を図るため、地域住民や地域コミュニティ組織等が自ら集落等生活圏の維持及び活性化を考え、活力ある生きがいの創出等に対する取組みに対し経費の一部を補助することで豊かなコミュニティづくりの推進を図ることができる。 ・ネットワーク・コミュニティ推進枠 ・集落活動支援枠</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・補助事業の案内周知 ・申請者へのヒアリング ・申請者への事業計画策定支援 ・補助事業の進捗管理 ・補助事業の事業完了支援</p>	R3	小規模集落支援事業費補助金 ・申請団体: 5団体 ・採択団体: 2団体	R3計画 7,600	6,000			1,600
			当初予算 7,600	6,000			1,600
			決算額 6,005	4,739			1,266
	R4	小規模集落支援事業費補助金 ・申請団体: 3団体 ・採択団体: 2団体	R4計画 7,600	6,000			1,600
			当初予算 7,600	6,000			1,600
			決算額 7,599	5,997			1,602
	R5		R5計画 7,600	6,000			1,600
			当初予算 8,075	6,375			1,700
			決算額				
	R6		R6計画 7,600	6,000			1,600
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 7,600	6,000			1,600
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 38,000	30,000			8,000
			当初予算 23,275	18,375			4,900
			決算額 13,604	10,736			2,868

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 申請団体	申請団体数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	8	者	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	5	3			
						% 達成率	250	150			
D 成果指標	1 採択件数	採択件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	件	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2	2			
						% 達成率	100	100			
E 評価対象外の理由	O 評価対象		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 事業の周知を図るとともに、県と調整しながら希望する団体への支援を図る必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市民のニーズに対応し、更に支援を続ける。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域コミュニティ支援事業	細事業	地域コミュニティ支援事務費	実施計画事業	ふるさとまつり実行委員会補助金	終了年度	なし
----	--------------	-----	---------------	--------	-----------------	------	----

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	2	施策	2 協働によるまちづくりの推進		期間	年度	年度			ふるさとまつり実行委員会補助金	6,200	
項	1	施策展開	①協働の仕組みづくりと意識を高める		期間	年度	年度					
目	7	後期基本計画	76 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>			総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	26											

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 「人も自然もシェアセなまち」を将来像に、「しごと・くらし・ひと・環境」をテーマに、豊後大野市の発展と協働によるまちづくりに取り組んでいる。 ジオパークに代表される豊後大野のタカラモノを生かしたまちづくりを試みながら、交流と賑わいのある生き生きとした豊後大野の魅力を、市内外へ発信するために、「豊後大野市ふるさとまつり」を市全体のまつりと位置付け、地域の活性化及び一体感の醸成を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・ウィズコロナに対応した新たなイベントの実施</p>	R3	コロナ禍に伴い開催中止	R3計画 6,200 当初予算 6,200 決算額			6,000	200	
	R4	・ウィズコロナに対応した新たなイベントとして「ぶんごおおのフェスタ2022」を開催	R4計画 8,000 当初予算 6,200 決算額 5,087			7,500	500	
	R5		R5計画 8,000 当初予算 5,800 決算額			7,500	500	
	R6		R6計画 8,000 当初予算 決算額			7,500	500	
	R7		R7計画 8,000 当初予算 決算額			7,500	500	
	R3 ~ R7 合計			計画額 38,200 当初予算 18,200 決算額 5,087			36,000	2,200

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 広報活動 市報、チラシ配布、マスメディアによる広報	<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	式	目標値	1	5	5	6	6
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値		5			
		% 達成率				100					
D 成果指標	1 来場者数 ふるさとまつり来場者数 (令和元年度来場者数 約12,000人)	<input type="checkbox"/> 総合計画			人	目標値		12,000	12,000	12,000	12,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値		2,000			
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率		16.7			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
令和4年度は、ふるさとまつりの開催の開催方法を見直し、感染症対策に留意するとともに、行政側のブースを減らし、民生活を誘導するようブースを増やすなど、民間主導と行政は側面的支援に徹するよう方向転換をおこなった。  
今後は、開催手法や事業の継続も含め検討する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
アフターコロナに対応した、事業実施を行う。

I 令和6年度の事業の方向性 → B.見直しの上で継続-2 手段等の改善

事業番号	13009
枝番	2

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係
-----	----------	----	-------

事業	地域コミュニティ支援事業	細事業	地域コミュニティ支援事務費	実施計画事業	提案型まちづくり活動補助事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	---------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (292)

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	2	施策	2 協働によるまちづくりの推進		期間	年度 ~ 年度			
項	1	施策展開	①協働の仕組みづくりと意識を高める						
目	7	後期基本計画	76 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略			<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	26								

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 市民活動団体の先駆性や柔軟性を生かしたアイデアやノウハウによって、より効果的な地域の課題解決や活性化、市民サービスの向上を目指すもの。 ※令和2年度事務事業総点検において、事業開始から5年を経過する令和4年度事業を終期し、令和5年度から新たな事業展開を検討することとなった。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業アイデアの募集</li> <li>提案団体へのヒアリング</li> <li>審査委員会の開催</li> <li>採択団体の選定・通知</li> <li>補助金の交付</li> <li>事業への着手</li> </ul>	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業アイデアの募集 (R3.3.1~4.16)</li> <li>追加募集 (R3.6.28~7.9)</li> <li>提案した団体へのヒアリング 7団体</li> <li>審査委員会の開催 (書類審査2回、プレゼンテーション審査1回)</li> <li>採択団体の選定・通知</li> <li>補助金の交付</li> </ul>	R3計画 3,000			3,000	
	当初予算	3,000			3,000		
	決算額	2,400			2,400		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業アイデアの募集 (R4.3.1~4.15)</li> <li>提案した団体へのヒアリング 9団体</li> <li>審査委員会の開催 (書類審査1回、プレゼンテーション審査1回)</li> <li>採択団体の選定・通知</li> <li>補助金の交付</li> </ul>	R4計画 3,000			3,000	
	当初予算	3,000			3,000		
	決算額	2,999			2,999	9	
	R5		R5計画 3,000			3,000	
	当初予算	3,000			3,000		
	決算額						
	R6		R6計画 3,000			3,000	
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 3,000			3,000	
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 15,000			15,000	
			当初予算 9,000			9,000	
			決算額 5,399			5,390	9

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 提案団体数	提案団体へのヒアリング実施回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	7	件	目標値	5	6	6	6	6
						実績値	7	9			
						% 達成率	140	150			
C 活動指標	2 開催数	審査委員会等の開催数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	3	2			
						% 達成率	150	100			
D 成果指標	1 採択数	提案団体の採択数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	5	件	目標値	3	6	6	6	6
						実績値	4	7			
						% 達成率	133.3	116.7			
D 成果指標	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由	O 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
この事業をキッカケに新しい団体も設立されており、社会的な使命を達成することを目的とした市民活動団体が増えていくことは、本市の魅力を非常に高められていると考えている。採択された団体が事業終了後も継続的・発展的な活動が行えるように、団体の活動を把握しながら、状況に応じて国や県等の事業を団体に情報提供など行っていくことが必要である。	市民のニーズに対応し、適正に事業実施をする。

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	地域コミュニティ支援事業	細事業	地域活動支援事業	実施計画事業	地域活動支援事業(地域おこし協力隊)	終了年度	なし
----	--------------	-----	----------	--------	--------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (290)				個別計画名	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり		期間	年度 ~ 年度	会計年度任用職員報酬	1,992
款	2	施策	1 地域コミュニティ活動の推進		期間	年度 ~ 年度	自動車等借上料	660
項	1	施策展開	②地域を支える人材を育成する				社会保険料(会計年度任用職員分)	378
目	7	後期基本計画	74 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				期末手当	249
決算	26							

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 都市地域から本市に移住し、地域ブランドや地場産品の開発、販売、PR等の地域おこし支援や農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、地域への定住・定着を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; ・地域おこし協力隊交流事業への参加 ・地域定着後のフォローアップ ・新規募集に向けた要項作成</p>	R3	地域おこし協力隊員 (R4.3.31時点) ・まちづくり推進課 1名 ・商工観光課 2名 (退任 2名、着任 3名)	R3計画 1,899 当初予算 1,899 決算額 1,714				1,899 1,899 1,714	
	R4	地域おこし協力隊員 5名 (R5.3.31時点) ・まちづくり推進課 1名 ・商工観光課 4名 うち着任1名	R4計画 4,068 当初予算 4,421 決算額 2,841				4,068 4,421 2,841	
	R5		R5計画 4,068 当初予算 決算額				4,068	
	R6		R6計画 4,068 当初予算 決算額				4,068	
	R7		R7計画 4,068 当初予算 決算額				4,068	
	R3 ~ R7 合計			計画額 18,171 当初予算 6,320 決算額 4,555				18,171 6,320 4,555

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 定着定住に向けた研修 人材育成のための研修参加	<input type="checkbox"/> 総合戦略		回	目標値	2	2	2	2	2
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値		1			
		% 達成率				50				
D 成果指標	1 定住数 地域おこし協力隊任期後の定住数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		人	目標値	1	2			1
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	2				
		% 達成率				200				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
令和4年度は、まちづくり推進課に地域おこし協力隊が1名着任し、本市ふるさと納税返礼品のSNSでのPRや新規商品登録補助のほか、地域おこし協力隊の活動報告会をエイトピアおおのにて開催した。今後は、地域おこし協力隊員自らが、地域おこし団体活動などがおこなう「地域協力活動」への参画等を通じて、地域への定住・定着を図る活動を支援していく必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
市民のニーズに対応し、適正に事業実施をする。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業番号	枝番
10001	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	まちづくり推進課	係名	企画調整係
-----	----------	----	-------

事業	企画事業	細事業	自治基本条例関連事業	実施計画事業	自治推進委員会事業	終了年度	なし
----	------	-----	------------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (292)

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策	2 協働によるまちづくりの推進		期間	年度	～	年度			自治推進委員会委員報酬	221
項	1	施策展開	①協働の仕組みづくりと意識を高める		期間	年度	～	年度			費用弁償	47
目	7	後期基本計画	76 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当				通信運搬費	23
決算	27											

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 自治基本条例(豊後大野市まちづくり基本条例・平成24年3月)は、広範囲な市民理解と合意を得ることが必須であり、さらには市全体への浸透を図ると同時に市外からの認知と理解を得る必要があるため、市民等への啓発を推進する。 豊後大野市自治推進委員会の所掌事務は、①条例の運用状況に関すること、②条例による自治の推進の検証に関すること、③条例の見直しに関すること、④その他自治の推進に関すること。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・自治推進委員会(任期2年、現在8名)の開催(年6回予定)</p>	R3	・自治推進委員会の開催 5回	R3計画 333				333	
				当初予算 333				333
				決算額 236				236
	R4	・自治推進委員会の開催 4回	R4計画 333					333
				当初予算 291				291
				決算額 178				178
	R5		R5計画 333					333
				当初予算 291				291
				決算額				
	R6		R6計画 333					333
				当初予算				
				決算額				
	R7		R7計画 333					333
				当初予算				
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 1,665				1,665	
			当初予算 915				915	
			決算額 414				414	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 自治推進委員会の開催回数 開催回数(年間)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	5	回	目標値	6	6	6	6	6
					実績値	5	4			
					達成率	83.3	66.7			
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					達成率					
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	12点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点
		12点	12点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 まちづくり基本条例は市政運営の最高規範とされるので、他の条例の制定等や運用にあたっては、まちづくり基本条例の趣旨を最大限尊重し整合性を図る必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 自治基本条例の趣旨に基づき、効果的な事業実施に努める。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
10003	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	まちづくり推進課	係名	企画調整係
-----	----------	----	-------

事業	企画事業	細事業	過疎対策事業	実施計画事業	過疎対策事業	終了年度	なし
----	------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.→ (319)

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
款	2	施策	4 主体的で計画的な行政運営の推進
項	1	施策展開	③社会インフラの老朽化等への適切な対応
目	7	後期基本計画	80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	27		

個別計画名	豊後大野市過疎地域持続的発展計画
期間	R3 年度 ~ R7 年度
期間	年度 ~ 年度

令和4年度主な歳出名称	当初予算額
大分県過疎地域振興協議会負担金	230
消耗品費	20

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 令和3年4月1日施行の「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づく豊後大野市過疎地域持続的発展計画(令和3年度~令和7年度)の推進に取り組む。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・豊後大野市過疎地域持続的発展計画(令和3年度~令和7年度)の事業推進及び進捗管理</p>	R3	・「豊後大野市過疎地域持続的発展計画(令和3年度~令和7年度)」策定及び進捗管理	R3計画 324				324
			当初予算 324				324
			決算額 307				307
	R4	・豊後大野市過疎地域持続的発展計画(令和3年度~令和7年度)の事業推進及び進捗管理	R4計画 324				324
			当初予算 250				250
			決算額 217				217
	R5		R5計画 324				324
			当初予算 218				218
			決算額				
	R6		R6計画 324				324
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 324				324
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 1,620				1,620
			当初予算 792				792
			決算額 524				524

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値						
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	9点	9点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 「豊後大野市過疎地域持続的発展計画(令和3年度~令和7年度)」の進捗管理を行い、必要に応じて計画見直しを行う必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 7年度までの計画に基づき事業を実施し、適時、進捗管理を行う。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業番号	枝番
10004	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	まちづくり推進課	係名	企画調整係
-----	----------	----	-------

事業	企画事業	細事業	地域創生事業	実施計画事業	地域創生事業	終了年度	なし
----	------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No. ( 319 )

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称 当初予算額 草刈等委託料 200 サイクルイベント委託料 300 愛媛大分交流市町村連携事業負担金 159
款	2	施策	4 主体的で計画的な財政運営の推進		
項	1	施策展開	③社会インフラの老朽化等への適切な対応		
目	7		後期基本計画 80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	27				

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 「まち・ひと・しごと創生法」に基づく第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和3年度~令和7年度)について、豊後大野市総合戦略推進委員会において計画の検証・見直し等を行い、地方創生事業の推進を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・豊後大野市総合戦略推進委員会の開催(2回予定) ・大分都市広域圏事業サイクリング大会の開催 ・愛媛大分交流事業の実施</p>	R3	・大分都市広域圏事業サイクリング大会の開催(R4.3.27)等	R3計画 653 当初予算 953 決算額 681				653 953 681	
	R4	・豊後大野市総合戦略推進委員会の開催(1回) ・大分都市広域圏事業サイクリング大会の開催(3/12) ・愛媛大分交流事業の実施	R4計画 853 当初予算 1,093 決算額 468				853 1,093 468	
	R5		R5計画 853 当初予算 1,026 決算額				853 1,026	
	R6		R6計画 853 当初予算 決算額				853	
	R7		R7計画 853 当初予算 決算額				853	
	R3 ~ R7 合計			計画額 4,065 当初予算 3,072 決算額 1,149				4,065 3,072 1,149

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 総合戦略推進委員会の開催回数	開催回数(年間)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	4	回	目標値	2	2	2	2	4
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値		1			
					% 達成率		50			
D 成果指標 1 大分都市広域圏での連携事業数	連携事業数(累計)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	17	事業	目標値	21	21	21	21	21
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	17	17			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	81	81			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	15点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		3点
		15点	15点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>「第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和3年度~令和7年度)」の豊後大野市総合戦略推進委員会における検証・見直し等については、効果的・効率的な検証方法にて行い、事業推進を図る必要がある。また、広域連携都市との交流事業については、効果的な事業に取り組む必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき事業実施を行う。</p>
--	--

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	少子化対策結婚支援事業	細事業	婚活支援事業	実施計画事業	婚活支援事業	終了年度	R7
----	-------------	-----	--------	--------	--------	------	----

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実							
項	1	施策展開	③結婚に向けた取組を支援する							
目	7	後期基本計画	42	P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略				
決算	28							期間 年度 ~ 年度	婚活支援事業委託料	3,000

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 結婚を希望する独身男女に出会いの場を提供して結婚のきっかけづくりを行い、本市の人口減少の抑制へとつなげる。</p> <p>&lt;令和4年度取組内容(計画)&gt; ・個別相談会の開催 ・婚活セミナーの開催 ・婚活サポーター育成・指導等の取組 ・婚活サポーター先進地研修 ・婚活サポーター情報交換会の開催</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別相談会 7回</li> <li>婚活セミナー・イベント 9回</li> <li>婚活サポーター育成・指導 3回</li> <li>婚活サポーター先進地研修 白杵市</li> <li>婚活講演会 1回</li> </ul>	R3計画 3,500	1,750			1,750	
				当初予算 3,500	1,750			1,750
				決算額 3,116	1,558			1,558
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別相談会の開催 8回</li> <li>婚活セミナー・イベントの開催 2回</li> <li>婚活サポータースキルアップ研修 3回</li> <li>婚活サポーター情報交換会 1回</li> <li>婚活サポーター養成講座 3回</li> </ul>	R4計画 3,500	1,750			1,750	
				当初予算 3,117	2,000			1,117
				決算額 3,055	1,500			1,555
	R5		R5計画 3,500	1,750			1,750	
				当初予算 3,080	2,000			1,080
				決算額				
	R6		R6計画 3,500	1,750			1,750	
				当初予算				
				決算額				
	R7		R7計画 3,500	1,750			1,750	
				当初予算				
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 17,500	8,750			8,750	
			当初予算 9,697	5,750			3,947	
			決算額 6,171	3,058			3,113	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 開催回数① 個別相談会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	3	回	目標値	3	3	3	3	3
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7	8			
		% 達成率			233.3	266.7				
2 開催回数② 婚活セミナー・婚活イベントの開催回数	婚活セミナー・婚活イベントの開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	3	回	目標値	3	3	3	3	3
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	9	2			
		% 達成率			300	66.7				
D 成果指標	1 相談者数 個別相談会の相談者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	22	人	目標値	64	64	64	64	64
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	7	14			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	10.9	21.9			
2 参加人数 婚活セミナー・婚活イベントの参加人数	婚活セミナー・婚活イベントの参加人数	<input type="checkbox"/> 総合計画	43	人	目標値	56	56	56	56	56
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	115	54			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	205.4	96.4			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点 /25点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
婚活イベントの参加者については、男性に比べ女性の申込が少ない。参加者からの意見として、同じ市内で知り合いの人に遭遇するかもしれないといった理由があることから、今後は他市と連携した取組を行っていききたい。また、婚活サポーターの育成に力を入れ、自立した組織を目指していきたい。	婚活支援は、少子化対策の重要な事業ととらえており、今後も適正に事業の実施を行う。

事業	少子化対策結婚支援事業	細事業	結婚新生活支援事業	実施計画事業	結婚新生活支援事業	終了年度	R7
----	-------------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実						結婚新生活支援事業補助金	3,000		
項	1	施策展開	③結婚に向けた取組を支援する									
目	7	後期基本計画	42	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画			<input checked="" type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	28											

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 結婚を希望する男女や、結婚したいが経済的に結婚に踏み切れないカップルが結婚に踏み出すための支援として、引越費用や新居の取得に係る経費、家賃等を補助する。</p> <p>&lt;令和4年度取組内容(計画)&gt; 夫婦ともに39歳以下の新婚世帯に対し、新生活を始める際に係る経費を補助する。 300千円×15件=4,500千円</p>	R3	夫婦ともに39歳以下の新婚世帯に対し、新生活を始める際に係る経費を補助した。 300千円×4件=1,200千円	R3計画 4,500	2,250			2,250
			当初予算 4,500	2,250			2,250
			決算額 1,200	600			600
	R4	夫婦ともに39歳以下の新婚世帯に対し、新生活を始める際に係る経費を補助した。 7件	R4計画 4,500	2,250			2,250
			当初予算 3,000	2,000			1,000
			決算額 2,947	1,376			1,571
	R5		R5計画 4,500	2,250			2,250
			当初予算 6,000	4,000			2,000
			決算額				
	R6		R6計画 4,500	2,250			2,250
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 4,500	2,250			2,250
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 22,500	11,250			11,250
			当初予算 13,500	8,250			5,250
			決算額 4,147	1,976			2,171

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7					
C 活動指標	1 申請件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	15	15	15	15	15					
					実績値	4	7								
						%	達成率	26.7	46.7						
	D 成果指標	1 対象者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	15	15	15	15	15				
実績値						4	7								
					%	達成率	26.7	46.7							
2 婚姻数推計値		105組(令和元年大分県人口動態総覧・市町村別 令和2年10月)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	105	組	目標値	105	105	105	105	105				
	実績値					93	72								
						%	達成率	88.6	68.6						

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 結婚に伴う経済的不安の軽減のため、今後も国の支援制度に則して本事業に取り組む必要があるが、国の補助要件から外れる新婚世帯を対象とする支援も検討する必要がある。なお、事業の周知を徹底する必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 国の動向もみながら、今後も適正に事業の実施を行う。
---	---

事業	電源立地地域対策交付金事業	細事業	電源立地地域対策交付金事業	実施計画事業	電源立地地域対策交付金事業	終了年度	なし
----	---------------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (262)												
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち					個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称 大分県発電関係市町村振興協議会負担金 大分県電源地域連絡協議会負担金	当初予算額 21 17		
款	2	施策	8 防災対策の充実									
項	1	施策展開	③災害対策を強化する									
目	9	後期基本計画 66 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略				<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	30											

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 発電用施設の立地及び周辺地域の公共施設整備等に係る事業を行うことで、地域の活性化と住民の福祉の向上を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・電源立地地域対策交付金実施事業(2事業)の進捗管理 ・県への交付金業務、一部事業繰越手続 ・次年度の実施事業の抽出、選定 ・関連協議会を通じた国への要望活動</p>	R3	交付金対象の小型動力消防ポンプ車両整備事業とコミュニティバス整備事業に取組み、事業の進捗管理をおこなった。また交付金の継続及び確保のため、国への要望活動をおこなった。	R3計画 57 当初予算 57 決算額 35				57	
	R4	交付金対象の給食用バン運搬車整備事業と消防ポンプ自動車整備事業に取組み、事業の進捗管理をおこなった。また交付金の継続及び確保のため、国への要望活動をおこなった。	R4計画 57 当初予算 38 決算額 32				57	
	R5		R5計画 57 当初予算 32 決算額				57	
	R6		R6計画 57 当初予算 決算額				57	
	R7		R7計画 57 当初予算 決算額				57	
	R3 ~ R7 合計			計画額 285 当初予算 127 決算額 67				285 127 67

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 交付金事業実施数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	件	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	1			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100	50		
						目標値				
D 成果指標	1 公共施設や車両等の整備数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	件	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	1			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100	50		
						目標値				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
給食用バン運搬車整備事業については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、メーカー側が半導体の部品調達に時間を要したこと等もあり車両の納入が期限内に間に合わないため事業を繰越した。事業の進捗管理の注意しながら効果的な事業執行が必要である。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
引き続き、適正に事業を実施する。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	国際キャンプ事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ ( 370 )														
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額				
款	2	施策	4 文化・芸術の振興											
項	1	施策展開	③友好都市との交流を推進する											
目	10	後期基本計画	90	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>				総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	31													
A 事業目的・内容・実績								B 事業計画額・決算額等						

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 感受性豊かな子どもたちが新しい感覚や異文化を体験することで、国際的な視野を広めることを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; ・事前研修、キャンプ(1泊2日) 市内小学生4、5、6年生を対象に、APU学生や市・県国際交流員等とともに交流体験を行う。</p>	R3	・キャンプ 小学生6名参加(※1日のみの開催)	R3計画 214 当初予算 214 決算額 1				214	
	R4	・キャンプ(1泊2日) 小学生15名参加	R4計画 214 当初予算 201 決算額 103				214	
	R5		R5計画 214 当初予算 210 決算額				214	
	R6		R6計画 214 当初予算 決算額				214	
	R7		R7計画 214 当初予算 決算額				214	
	R3 ~ R7 合計			計画額 1,070 当初予算 625 決算額 104				1,070

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 国際キャンプ参加児童数	<input type="checkbox"/> 総合計画		人	目標値	20	20	20	20	20
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	6	15			
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	30	75			
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	12点	3点	12点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
参加する小学生の募集、協力いただく留学生の募集に苦慮している。事業目的のためには一過性のイベントにせず、次につながる施策も必要である。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
事業について、見直しも含め検討も必要。

事業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	国際交流員活用事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (370)														
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額				
款	2	施策	4 文化・芸術の振興											
項	1	施策展開	③友好都市との交流を推進する											
目	10	後期基本計画	90	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>				総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	31													
A 事業目的・内容・実績								B 事業計画額・決算額等						

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 国際交流関係事務等の補助のため、語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)を活用し、地域において国際交流活動に従事する国際交流員を配置する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・国際交流関係事務の補助 ・地域住民に対する語学指導への協力 ・民間国際交流団体の事業活動に対する助言、参画</p>	R3	・韓国語教室 全26回 ・文化講座 2回 ・日韓オンライン交流会(両協会)通訳等	R3計画 4,229 当初予算 4,229 決算額 2,577				4,229	
	R4	・韓国語教室 全46回 ・文化講座 3回 ・放課後チャレンジ教室 全7回 ・韓国交流事業時翻訳・通訳等	R4計画 5,000 当初予算 4,463 決算額 4,714				5,000	
	R5		R5計画 5,000 当初予算 4,533 決算額				5,000	
	R6		R6計画 5,000 当初予算 決算額				5,000	
	R7		R7計画 5,000 当初予算 決算額				5,000	
	R3 ~ R7 合計			計画額 24,229 当初予算 13,225 決算額 7,291				24,229

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 活動事業数	事業数(年間)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値					
					%	実績値	9	11			
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					%	実績値					
D 成果指標	1 活動事業参加者数	参加者数(年間)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値					
					%	実績値	400	500			
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					%	実績値					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 韓国機張郡等との交流における翻訳通訳や先方との連絡調整のほか、国際交流協会事業の文化講座(料理教室等)の開催や公民館の韓国語教室講師として市民に語学指導や異文化交流を行う上で必要な事業(人材)である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 インバウンド対応や国際化の推進に積極的に取り組む。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
18001	3

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	まちづくり推進課	係名	企画調整係
-----	----------	----	-------

事業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	国際交流協会事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (370)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち								
款	2	施策	4 文化・芸術の振興								
項	1	施策展開	③ 友好都市との交流を推進する								
目	10	後期基本計画	90	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	31										

個別計画名	期間	年度	～	年度
	期間	年度	～	年度

令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
国際交流協会補助金	1,537

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 民間レベルで国際交流事業を展開している豊後大野市国際交流協会(平成17年10月設立)の事業活動を支援することで、市民の国際理解や国際感覚を高め、国際人の育成を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・豊後大野市国際交流協会への運営補助</p>	R3	・豊後大野市国際交流協会運営補助金交付	R3計画 1,537				1,537
			当初予算 1,537				1,537
			決算額 478				478
	R4	・豊後大野市国際交流協会運営補助金交付	R4計画 1,537				1,537
			当初予算 1,537				1,537
			決算額 731				731
	R5		R5計画 1,537				1,537
			当初予算 1,537				1,537
			決算額				
	R6		R6計画 1,537				1,537
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 1,537				1,537
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 7,685				7,685
			当初予算 4,611				4,611
			決算額 1,209				1,209

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 交流事業数(協会主催)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	回	目標値	7	7	7	7	7
					実績値	7	9			
					% 達成率	100	128.6			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 交流事業参加者数(協会主催)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	650	人	目標値	500	500	500	500	500
					実績値	650	770			
					% 達成率	130	154			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	2点		2点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	14点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			14点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
文化講座や市内で暮らす外国人向けの日本語教室などの活動に取り組んでいる。外国人材の受け入れ・共生に向けて市と連携して取り組む事業もあり、今後の事業継続のためには引き続きサポートする必要がある。	国際化の推進のため、引き続き支援する。

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
18001	4

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	まちづくり推進課	係名	企画調整係
-----	----------	----	-------

事業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	中国荊州区交流事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (369)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち								
款	2	施策	4 文化・芸術の振興								
項	1	施策展開	③友好都市との交流を推進する								
目	10	後期基本計画	90	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	31										

個別計画名	期間	年度	～	年度
	期間	年度	～	年度

令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
通信運搬費	14

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 「友好都市交流協定」(平成18年10月1日)を結んでいる中国荊州区との交流事業。</p> <p>※東日本大震災以来、交流が途絶えていたが、平成30年12月に区長以下訪問団が来日。その際交わした覚書により令和元年度は荊州区を訪問予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため延期となつて以降、訪問時期等については未定。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ※未定</p>	R3	・表敬訪問等交流なし	R3計画 14 当初予算 14 決算額				14	
	R4	・表敬訪問等交流なし	R4計画 14 当初予算 14 決算額				14	
	R5		R5計画 14 当初予算 14 決算額				14	
	R6		R6計画 14 当初予算 決算額				14	
	R7		R7計画 14 当初予算 決算額				14	
	R3 ~ R7 合計			計画額 70 当初予算 42 決算額				70 42

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
		<input type="checkbox"/> 総合計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	7点	3点	7点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	1点		1点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
平成30年度から再開した中国荊州区との交流について、新型コロナウイルス感染症の影響で表敬訪問が実現できず、交流内容の協議ができていない。本格的な交流再開には十分な調整が必要である。	国内外の情勢等も含め、適正に事業を実施する。

I 令和6年度の事業の方向性

⇒ A. 現状のまま継続

事業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	韓国機張郡交流事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (369)														
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額				
款	2	施策	4 文化・芸術の振興											
項	1	施策展開	③友好都市との交流を推進する											
目	10	後期基本計画	90	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>				総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	31													
A 事業目的・内容・実績								B 事業計画額・決算額等						

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 旧清川村で「友好協力宣言」(平成15年9月19日)を締結し、豊後大野市に引き継いでいる韓国機張郡との交流事業。</p> <p>※合併後も中学生のホームステイ事業(社会教育課)や一般のホームステイ事業などで交流をしている。一般のホームステイ交流は隔年で受入と訪問を繰り返し行っており、令和2年度は受入の年となっていたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・ホームステイ交流(一般)受入予定(※未定)</p>	R3	・オンライン交流会(日韓両協会役員等) ※ホームステイ受入中止	R3計画 1,495 当初予算 1,495 決算額				1,495	
	R4	・機張郡からの訪問団受け入れ(R4.11.18~20)	R4計画 1,295 当初予算 1,495 決算額 1,422				1,295	
	R5		R5計画 1,495 当初予算 1,601 決算額				1,495	
	R6		R6計画 1,295 当初予算 決算額				1,295	
	R7		R7計画 1,495 当初予算 決算額				1,495	
	R3 ~ R7 合計			計画額 7,075 当初予算 4,591 決算額 1,422				7,075

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値				
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値				
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画				目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合計画				実績値				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	9点 /25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 豊後大野市日韓国際交流協会(清川町)が主体となり、令和4年度、3年ぶりに機張郡から訪問団の受け入れを行った。令和5年度は機張郡を訪問する予定であり、従来のホームステイ交流の再開及び今後の交流内容等に向けて協議する予定である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 国内外の情勢等も含め、適正に事業を実施する。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
18001	6

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	まちづくり推進課	係名	企画調整係
-----	----------	----	-------

事業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	韓国益山市交流事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (369)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち								
款	2	施策	4 文化・芸術の振興								
項	1	施策展開	③友好都市との交流を推進する								
目	10	後期基本計画	90	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	31										

個別計画名	期間	年度	～	年度
	期間	年度	～	年度

令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
通信運搬費	14

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 旧三重町の真名野長者伝説と益山市に伝わる武王伝説が類似していることで始まったもので、「友好交流協定」(平成17年8月22日)を結んでいる韓国益山市との交流事業。</p> <p>※益山市の「ソドン祭り」や三重町の「らいでん祭り」に相互で交流を行っていたが、平成28年の益山市との協議により、隔年での訪問は止め、市長就任時の訪問や記念事業の際での訪問等に切り替えている。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ※未定</p>	R3	表敬訪問実施なし	R3計画 14 当初予算 14 決算額				14	
	R4	・益山市議会からの表敬訪問受け入れ (R5.3.15)	R4計画 14 当初予算 14 決算額				14	
	R5		R5計画 14 当初予算 14 決算額				14	
	R6		R6計画 14 当初予算 決算額				14	
	R7		R7計画 14 当初予算 決算額				14	
	R3 ~ R7 合計			計画額 70 当初予算 42 決算額				70 42

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画								
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画								
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画								
	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画								

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	9点	3点	9点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 平成28年の益山市との協議により、隔年での訪問は止め、市長就任時の訪問や記念事業の際での訪問等に切り替えている。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 国内外の情勢等も含め、適正に事業を実施する。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	外国人材受入・共生事業委託事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (370)														
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称 外国人材受入・共生事業委託料	当初予算額 1,000				
款	2	施策	4 文化・芸術の振興											
項	1	施策展開	③友好都市との交流を推進する											
目	10	後期基本計画	90	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>				総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	31													

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 増加傾向にある外国人市民が、地域社会で生活していくために必要な日本語能力を身につけながら地域住民と関わる機会を増やし、お互いが地域の一員としてより暮らしやすくなることを目指すことを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・日本語教室の開催 ・ニーズ調査 ・ボランティアスキルアップ研修</p>	R3	・日本語教室の開催 12回 ・ニーズ調査 15事業所 ・ボランティアスキルアップ研修 9回	R3計画 500 当初予算 1,001 決算額 361				500	
	R4	・日本語教室の開催 14回 ・新規ボランティア養成講座 12回 ・ボランティアスキルアップ研修 5回	R4計画 500 当初予算 1,000 決算額 334				500	
	R5		R5計画 500 当初予算 決算額				500	
	R6		R6計画 500 当初予算 決算額				500	
	R7		R7計画 500 当初予算 決算額				500	
	R3 ~ R7 合計			計画額 2,500 当初予算 2,001 決算額 695		1,001		2,500 1,000 349

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 日本語教室開催回数	教室開催回数(年間)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	50	70	90	120	150
					%	実績値	12	14			
					%	達成率	24	20			
D 成果指標	1 日本語教室等の外国人受講者数	教室参加人数(年間延べ人数)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	500	750	950	1,400	1,750
					%	実績値	37	45			
					%	達成率	7.4	6			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	17点	4点	17点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
外国人を雇用している事業所等に対するニーズ調査によると、日本語教室の開催に対する要望が強く、今後増加が予想される外国人に対し有効な事業と考える。今後は国際交流協会の自主事業として実施する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
市内在住の外国の方々の生活等しやすい環境づくりに努める。

I 令和6年度の事業の方向性 B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

事業	交流促進事業	細事業	地域間交流促進事業	実施計画事業	交流イベント事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (369)														
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額				
款	2	施策	4 文化・芸術の振興											
項	1	施策展開	③友好都市との交流を推進する											
目	10	後期基本計画	90	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>				総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	31													
A 事業目的・内容・実績								B 事業計画額・決算額等						

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 旧朝地町が昭和62年から始めた東京都台東区等との友好都市交流事業。  <令和4年度の実績内容(計画)> ・隅田川花火大会友好都市交流(台東区) ・ふるさとPRフェスタ出店(台東区)	R3	※台東区との交流事業中止	R3計画 1,007 当初予算 1,007 決算額 119				1,007	
	R4	・まるごとみやま市民まつり(みやま市) ※台東区との交流事業は中止	R4計画 1,007 当初予算 1,005 決算額 63				1,007	
	R5		R5計画 1,007 当初予算 1,010 決算額				1,007	
	R6		R6計画 1,007 当初予算 決算額				1,007	
	R7		R7計画 1,007 当初予算 決算額				1,007	
	R3 ~ R7 合計			計画額 5,035 当初予算 3,022 決算額 182				5,035

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 交流事業数	事業数(年間)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値		1			
						% 達成率		50			
D 成果指標	1 交流事業参加者数	参加者数(年間)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
						実績値		350			
						% 達成率		35			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	12点	3点	12点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	2点		2点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		2点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		2点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から交流事業のほとんどが中止となった。今後の交流再開に向けて、有効な交流方法等について考える必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き、適正に事業実施をする。
---	--

事業	行政事務情報化推進事業	細事業	基幹電算事務事業	実施計画事業	基幹電算事務事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策	10 情報管理、情報化の推進		期間	年度	年度			ソフトウェア使用料	105,655
項	1	施策展開	⑤行政デジタルシフトの推進		期間	年度	年度			システム改修業務委託料	39,980
目	11	後期基本計画	71 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当			機械器具費	10,456
決算	32									自治体DX対応業務委託料	21,125

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 基幹系等電算システムの円滑な運営を図り、行政業務を支援する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・行政手続の電子申請化の推進 ・AIツール(RPA、OCR)の活用による業務改善</p>	R3	通常の電算システム、機器管理業務は通年通り。行政手続オンライン化については国のスケジュールに沿って計画し、令和4年度中の構築となった。AIツールの活用については、いくつかの業務で実運用が開始できた。別途、業務改善ツールとして「Kintone」を導入し活用推進を行った。	R3計画 139,097	1,064			138,033
			当初予算 139,097	1,064			138,033
			決算額 133,842	1,500		33	132,309
	R4	・基幹情報系関連システム等改修(セキュリティ関連等) ・行政手続オンライン化対応(子育て・介護関係) ・財務会計電子決裁化対応(機器整備) ・業務改善ツール活用(Kintone、電子申請システム、RPA等)	R4計画 140,000				140,000
			当初予算 192,701	10,563			182,138
			決算額 180,365	3,967			176,398
	R5		R5計画 140,000				140,000
			当初予算 157,550	14,180			143,370
			決算額				
	R6		R6計画 140,000				140,000
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 140,000				140,000	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 699,097	1,064			698,033
			当初予算 489,348	25,807			463,541
			決算額 314,207	5,467		33	308,707

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 行政手続電子申請化数	市民の行政手続きの電子申請化数(国推進の子育て、介護、被災者支援等)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	13	業務	目標値	26	35			
						実績値	3	36			
						% 達成率	11.5	102.9			
2 AI-OCR、RPA活用人材の育成	AI-OCR、RPA活用人材の育成	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	業務	目標値	5	10				
					実績値	2	7				
					% 達成率	40	70				
D 成果指標	1 行政手続き電子申請件数	行政手続き電子申請件数(びったりサービス利用件数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	件	目標値	100	1,000			
						実績値	1	47			
						% 達成率	1	4.7			
2 AI-OCR、RPA活用業務数	AI-OCR、RPA活用業務数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	業務	目標値	5	10				
					実績値	7	12				
					% 達成率	140	120				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	17点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			16点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
<p>・基幹、情報系システムに関するセキュリティ関係の更新を多く対応(2要素認証、仮想ブラウザ、無害化ファイル交換システム等)。</p> <p>・子育て関係15手続き、介護関係11手続きについて、マイナポータルを介したオンライン申請対応を実施し、令和5年当初から利用可能となっている。(国の指針による必修手続き以外にも、消防関係のオンライン手続きを数件整備完了)</p> <p>・別途市民生活課にてマイナポータルを介した引っ越しワンストップの仕組みを構築しており、令和5年2月末から運用を開始している。</p> <p>令和4年度のマイナポータルからの申請のほとんどが転入転出手続きであり、その他選挙の不在者投票用紙の申請が5件程度あった。</p> <p>・歳入、歳出伝票の電子決裁対応において、必要な機器類の設置や運用のための仕組みを構築し、順調稼働している。</p> <p>・業務改善対応については、当初予定していた庁内への普及活動が思うように実施できなかった(マイナンバーカード普及の影響)。</p> <p>・RPA活用については、年度内に完了目標としていた業務については、ほぼ対応が終了した。</p>	<p>行政事務情報化推進事業の実施にあたっては、その効果の検討を十分に行い、事務事業の効率化に資するよう計画的な改善を図る。</p>

事業	行政事務情報推進事業	細事業	情報ネットワーク管理事業	実施計画事業	情報ネットワーク管理事業	終了年度	なし
----	------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (284)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	ICT環境整備事業	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策 10 情報管理、情報化の推進	期間 R2 年度 ~ R3 年度		情報NW保守業務委託料	13,368	
項	1	施策展開 ⑤行政デジタルシフトの推進	期間 年度 ~ 年度		情報NW改修業務委託料	24,434	
目	11	後期基本計画 71 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			インターネット使用料	1,041	
決算	32				電柱共架料	1,245	

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 本庁、支所及び出先機関(市内小中学校等の接続を含む)を結ぶ情報ネットワークの円滑な運営管理。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・情報ネットワーク保守業務委託 ・イントラネット保守委託料 ・インターネット接続環境利用料 ・その他ネットワーク接続関連経費</p>	R3	例年通り情報ネットワーク全体の保守管理については大きな問題もなく、GIGAスクール事業等に関連した必要な変更や対策はしっかり対応した。 庁舎内Wi-Fi環境整備については、本庁及び支所、出先機関をはじめ、災害時避難場所となる各公民館についても環境整備(予算は総務係の庁舎等建築予算を利用)を行い年度内に完了した。	R3計画 17,562				17,562
			当初予算 17,562				17,562
			決算額 14,533				14,533
	R4	・庁舎内Wi-Fi整備(施設追加等) ・情報ネットワーク保守 ・イントラネット共架電柱移設対応	R4計画 19,000				19,000
			当初予算 19,271				19,271
			決算額 19,205	532			18,673
	R5		R5計画 19,000				19,000
			当初予算 22,051				22,051
			決算額				
	R6		R6計画 19,000				19,000
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 19,000				19,000	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 93,562				93,562
			当初予算 58,884				58,884
			決算額 33,738	532			33,206

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 庁舎内Wi-Fi環境整備箇所	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		2	目標値	14	14	14	14	14
					実績値	14	20			
					% 達成率	100	142.9			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 庁舎内リモート会議数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		会議	目標値	5	10	20	30	40
					実績値	10	15			
					% 達成率	200	150			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	18点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎内Wi-Fi整備については、必要なすべての施設に整備完了でき、市民解放用のフリーWi-Fiも利用可能とした。</li> <li>・情報ネットワークについてはトラブルもなく例年通り安定した運用ができています。</li> <li>・イントラネットでは県より一部道路拡幅による共架電柱の移転対応を実施(一部県より補償あり)</li> <li>・指標としている庁内会議のオンライン化は、ウィズコロナ移行により対面重視に戻っており件数は伸びていないが、県主催の担当者会議やオンラインセミナーの活用等で飛躍的に増えており、整備した環境が有効に活用できている。</li> </ul>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>整備したオンライン環境が有効に活用できるよう保守管理はもとより、必要な改善を図る。</p>
---	--

事業	行政事務情報化推進事業	細事業	情報化推進事務費	実施計画事業	情報化推進事務事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (286)				個別計画名 ICT環境整備事業 期間 R2 年度 ~ R3 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称 GISライセンス料 4,736 ペーパーレス会議利用料 1,530 OA機器廃棄業務委託料 50 駐車場等使用料 3
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち		
款	2	施策	10 情報管理、情報化の推進		
項	1	施策展開	⑤行政デジタルシフトの推進		
目	11	後期基本計画	71 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	32				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 庁舎内共通業務に関する統合型サービス利用推進  <令和4年度の取組内容(計画)> ・ペーパーレス会議室システム運用管理 ・庁舎内統合型GISシステム運用管理	R3	ペーパーレス会議システムは主に議室を中心に稼働し、県内議員団等集議のあるシステムを導入した。活用のための研修会を開催でき、実運用を開始することができた。ペーパーレス会議システムは課長クラスの会議でも有効活用ができており、議レールやその他庁内会議等ではタブレット接続ネットワーク内に共有ファイルサーバーを設置することでペーパーレス会議を実施する。庁内統合型GISシステムに關しては契約していた見込課利用部分も統合した。議室データ管理ツール稼働は、別事業(後継事務事業)の活用にてシステムライセンスで契約し、実証テストを実施し、別事業(後継事務事業)の活用にてシステムライセンスを導入して活用する予定となった。	R3計画 6,374				6,374	
				当初予算 6,374				6,374
				決算額 5,536				5,536
	R4	・ペーパーレス会議システム運用管理 ・庁舎内統合型GISシステム運用管理	R4計画 7,500				7,500	
				当初予算 6,408				6,408
				決算額 6,170				6,170
	R5		R5計画 6,670				6,670	
				当初予算 6,670				6,670
				決算額				
	R6		R6計画 7,500				7,500	
			当初予算					
			決算額					
R7		R7計画 7,500				7,500		
			当初予算					
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 35,544				35,544	
			当初予算 19,452				19,452	
			決算額 11,706				11,706	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 タブレット、リモートパソコン導入 ・議員用、管理職用ペーパーレス会議用 ・リモートワーク、WEB会議活用	<input type="checkbox"/> 総合戦略		5	台	目標値	200	200	200	200
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値	205	205		
						% 達成率	102.5	102.5		
2 業務データ一元管理ツール導入	クラウド型データ一元管理ツール(KINTONE想定)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		ライ	セン	目標値	35	80	100	100
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値	35	80		
						% 達成率	100	100		
D 成果指標	1 ペーパーレス会議数実績 ※議会、庁内連絡会議等	<input type="checkbox"/> 総合計画		会	議	目標値	5	10	20	30
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	10	70		
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	200	700		
2 データ一元管理業務数	クラウド型データ一元管理ツールを利用し複数年情報レコードが管理された業務数	<input type="checkbox"/> 総合計画		業	務	目標値	3	10	30	40
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	3	10		
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	100	100		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	22点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	
		22点	22点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 ・ペーパーレス会議については多くの会議でシステムとタブレットにより活用されている。会議にて紙印刷しないということがスタンダードになりつつある。実際に用紙の削減にもつながっている。  
 ・GISシステムについては、これまで通り安定した運用、活用ができています。  
 ※活動指数として「クラウド型データ一元管理ツール」を挙げているが、基幹電算事務事業の予算であるため以降はそちらへ振替

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 事務の効率化及び経費の削減に資するよう今後も利活用の促進を図る必要がある

事業	地域情報化推進事業	細事業	携帯不感地域解消事業	実施計画事業	携帯不感地域解消事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (281)											
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策	10 情報管理、情報化の推進		期間	年度	年度			鉄塔土地借上料	600
項	1	施策展開	④携帯電話不感地域を狭める		期間	年度	年度			立木伐採委託料	100
目	11	後期基本計画	71 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当			火災等保険料	75
決算	33										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 携帯電話不感地域に対し、市で整備した光ケーブルインフラを利用した携帯電話アンテナ設置を推進し情報通信格差是正を図る  <令和4年度の取組内容(計画)> 市の事業で整備した携帯電話基地局(10基地局)の維持管理	R3	民間携帯電話サービス事業者により、国に報告していた市内携帯電話不感地域はエリア的にはすべて解消となった。一部電波の受信状況が良くない地域等もあり、個別にサービス事業者へ報告も行っている。またその地域の利用者からも、直接サービス事業者へ連絡いただくよう協力いただいている。	R3計画 775				775
			当初予算 775				775
			決算額 657				657
	R4	市の事業で整備した携帯電話基地局(10基地局)の維持管理	R4計画 775				775
			当初予算 775				775
			決算額 775				775
	R5		R5計画 775				775
			当初予算 775				775
			決算額				
	R6		R6計画 775				775
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 775				775
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 3,875				3,875
			当初予算 2,325				2,325
			決算額 1,432				1,432

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 市内携帯電話サービス提供者数	市内携帯電話サービス提供者数 (R2.4)		3	社	目標値	4	4	4	4	4
						実績値	4	4			
						% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 携帯電話不感地域解消箇所数	携帯電話不感地域総務省報告数 (R2.4) 不感地域 6か所		1	箇所	目標値	6	6	6	6	6
						実績値	6	6			
						% 達成率	100	100			

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	19点	4点	19点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 ・携帯電話不感地域については、KDDIが令和3年から4年にかけて市内で電波の届かない地域に対して、自主事業にて実施し完了している。  
 ・令和4年に臨時事業にて、これまで設置した携帯電話基地局に貸し出している伝送路の図面化を実施。  
 ・当面は現在稼働している携帯電話基地局において、サービス事業者が撤退しない限り、保守管理継続していく。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 市の事業で整備した携帯電話基地局(10基地局)の維持管理を継続する。

事業	ケーブルテレビ管理事業	細事業	ケーブルテレビ管理事業	実施計画事業	ケーブルテレビ管理事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額					
款	2	施策	10 情報管理、情報化の推進		期間	年度	年度			ケーブルテレビ運営業務委託料	106,319			
項	1	施策展開	③ケーブルテレビ事業を充実する		期間	年度	年度			ケーブルテレビ関係機器更新工事諸費	99,000			
目	12	後期基本計画	71 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>			総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	自主放送番組制作業務委託料	38,858
決算	34											ケーブルテレビ施設管理委託料	21,889	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; コミュニティ情報の基盤となる番組制作及びケーブルテレビ設備・機器の維持・更新を行い、行政情報の伝達及びテレビ放送等の安定したサービス提供を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 行政情報と放送番組等サービスを安定供給するため、伝送路の維持管理、設備・機器の保守及び更新を行う。</p>	R3	週間!情報トレインを中心とした自主放送番組を制作し、市民への情報提供を行った。テレビ放送や通信サービス等を安定供給するため、伝送路の維持管理、設備・機器の保守及び更新を行った。	R3計画	348,796	700	318,242	29,854	
			当初予算	348,796	700	318,242	29,854	
			決算額	378,433	800	249,267	128,366	
	R4	週間!情報トレインを中心とした自主放送番組を制作し、市民への情報提供を行った。テレビ放送や通信サービス等を安定供給するため、伝送路の維持管理、設備・機器の保守及び更新を行った。	R4計画	347,985		318,242	29,743	
			当初予算	349,734		326,980	22,754	
			決算額	383,130		326,392	56,738	
	R5		R5計画	347,985		318,242	29,743	
			当初予算	355,401		329,038	26,363	
			決算額					
	R6		R6計画	347,985		318,242	29,743	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画	347,985		318,242	29,743	
		当初予算						
		決算額						
		R3 ~ R7 合計	計画額	1,740,736	700	1,591,210	148,826	
			当初予算	1,053,931	700	974,260	78,971	
			決算額	761,563	800	575,659	185,104	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ケーブルテレビ設備・機器更新	<input type="checkbox"/> 総合戦略	95,700	千円	目標値	97,900	97,900	97,900	97,900	97,900
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	95,700	95,700			
					% 達成率	97.8	97.8			
D 成果指標	1 ケーブルテレビ加入率	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	88.4	%	目標値	89	89	89	89	90
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	88.5	92.17			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	99.4	103.6			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		23点	23点
		/25点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
通信ネットワーク機器の生産が1Gから10Gへとシフトしている。今後は、通信ネットワーク機器について1Gが入手できない状況が見込まれることから、10Gへの移行を検討する必要がある。ただし、機器更新の費用も多額となるため、今後はインターネットサービスの拡張等を視野に入れながら計画的に機器更新を実施していく。	通信ネットワークの高速化が進み、1G機器の生産が10Gへシフトしているため、今後の機器更新では10G機器への移行が必要となってくる。市民の利便性の確保及び財政上の負担を考慮しながら計画的に事業を進める必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	文化振興事業	細事業	総合文化センター自主事業	実施計画事業	総合文化センター自主事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市文化振興計画	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策	4 文化・芸術の振興	期間	H29年度～R8年度	文化芸術振興事業補助金	160
項	1	施策展開	①文化・芸術活動を推進する	期間	年度～年度	県美展巡回展負担金	80
目	13		後期基本計画 90 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			総合文化センター運営審議会委員報酬	33
決算	35					県美展市長賞負担金	15

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 市民に文化芸術の鑑賞機会を提供するため、幅広い年代に向けた各種事業の実施</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 文化芸術の振興及び市民の鑑賞機会を提供するため、事業を展開する。 【受託事業】 ・第17回豊後大野市美術展・第18回絵本原画展・第10回アルテヴィーヴァコンサート・第20回ほのぼのおおのラブLive2022・第18回豊後大野市芸術祭・しげまつり! 地球が HOKORI プロジェクト・えいとびあ寄席 【自主事業】 ・寺子屋えいとびあ・プレミアムコンサートシリーズ・エンターテイメントシリーズ・次世代育成シリーズ・エイトピアおおの探検隊・エイトピアおおの大ホールひとりじめ・エイトピア映画上映会・コスミックカラレッジin豊後大野・アートマネジメント講座・エイトピアの日</p>	R3	市民に文化芸術鑑賞機会を提供するため、幅広い年代に向けた各種事業を実施した。 ・受託事業:7事業の内2事業 2回開催 入場者数:692人 ・自主事業:10事業の内10事業 50回開催 入場者数:2,795人	R3計画 298 当初予算 298 決算額 228				298	
	R4	・受託事業:8事業の内7事業 開催 入場者数:3,617人 ・自主事業:10事業の内10事業 開催 入場者数:3,488人(延べ数) 鑑賞型:4回開催 入場者数1,502人 参加創造型:5回開催 参加者数1,296人(延べ数) 育成普及型:49回開催 参加者数 690人(延べ数)	R4計画 300 当初予算 298 決算額 213				300	
	R5		R5計画 当初予算 決算額					
	R6		R6計画 300 当初予算 決算額				300	
	R7		R7計画 300 当初予算 決算額				300	
	R3～R7合計			計画額 1,198 当初予算 596 決算額 441				1,198 596 441

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 総合文化センター自主事業 入場者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2,909	人	目標値	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
					実績値	2,795	3,488			
					% 達成率	39.9	49.8			
D 成果指標	1 文化活動の活性化自主事業の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	19	回	目標値	48	48	48	48	48
					実績値	50	65			
					% 達成率	104.2	135.4			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大が低調となったことからイベント自粛モードも緩み、各事業の開催は、コロナ前とほぼ同数となり、入場者、参加者も前年を大きく超えてコロナ前の水準まで回復した。また、貸し館による利用者も、延べ数で19,000人超となり、コロナ前20,000人超には届かなかったが、完全に回復傾向となった。  
このことは、コロナ禍による制限を逆手に取り、少人数参加でも可能な育成普及型のイベントやワークショップなどの参加創造型のイベントを拡充するなど、粘り強い事業展開を図り、存在感を伸ばした結果だと看取できる。  
ただし、活動指標への到達にはまだ遠いことから、今後も、プレミアムコンサートなど、エイトピアおおのが誇る文化ホール活用した鑑賞型事業、コロナ禍で培った小規模でも根強い人気のある育成普及型、参加創造型、これらの事業を推進するための両輪として、引き続き拡充、拡大していきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
引き続き、事業の支援を行うとともに、適正に事業の実施を行う。

事業番号	枝番
23002	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	まちづくり推進課	係名	朝倉文夫記念館係
-----	----------	----	----------

事業	文化振興事業	細事業	朝倉文夫記念館自主事業	実施計画事業	朝倉文夫記念館自主事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (364)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市文化振興計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	2	施策	4 文化・芸術の振興					
項	1	施策展開	①文化・芸術活動を推進する					
目	13	後期基本計画	90 P					<input type="checkbox"/> 過疎計画
決算	35						印刷製本費	622
						広告料	285	
						通信運搬費	129	
						自動車等借上げ料	1,617	

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 朝倉文夫記念館及び文化ホールで自主事業を行うことにより、市民への美術鑑賞の機会を提供し、美術に関する感性を醸成する。また、美術制作を楽しんでいる市民に発表の場を提供し、文化活動を支援する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・県内作家による個展等2回、共催展(県美展巡回展)1回開催 ・外に出る美術館事業 10か所程度 ・朝倉文夫・兄弟等に関する調査及び小冊子発行</p>	R3	・県内作家による個展2回、県内のアマチュア作家を対象とした美術コンクール 1回、大分県美術協会の共催事業 1回開催 入場者数 計2,074人 ・外に出る美術館 6回実施 参加者数131人 ・朝倉文夫・兄弟等に関する調査 6回実施、小冊子「朝倉文夫 第5集」の発行	R3計画 2,070 当初予算 2,070 決算額 1,811			350	1,720	
	R4	・県内作家による個展等2回、共催展(県美展巡回展)1回開催 ・外に出る美術館事業 10か所 ・朝倉文夫・兄弟等に関する調査及び小冊子「日本近代彫塑の巨匠 朝倉文夫No.6」を発行	R4計画 3,500 当初予算 3,091 決算額 2,087			200	3,300	
	R5		R5計画 2,500 当初予算 2,518 決算額			350	2,150	
	R6		R6計画 3,500 当初予算 決算額			200	3,300	
	R7		R7計画 2,500 当初予算 決算額			350	2,150	
	R3 ~ R7 合計			計画額 14,070 当初予算 7,679 決算額 3,898			1,450	12,620

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 朝倉記念館鑑賞型事業の入場者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1,460	人	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	2,074	1,143			
	2 朝倉記念館参加型事業の参加者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	695	人	目標値	300	300	300	300	300
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	131	191			
D 成果指標	1 文化活動の活性化自主事業の数	<input type="checkbox"/> 総合計画	2	回	目標値	3	2	3	2	3
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	3	2			
	2 -	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100	100		
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
さまざまな美術作品の鑑賞や体験の機会を提供するとともに、創作した作品の発表の機会を提供することによって、市民の豊かな感性を育む、市の文化振興のために必要な事業である。また、「外に出る美術館事業(出前講座)1や隔年開催で実施している「市内小中学生招待事業」は、朝倉文夫の作品や大分アンパ彫刻展の作品などを鑑賞することにより、幼い頃より芸術に親しみ、子どもたちの芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うことに寄与している事業と言える。現在もポスター、チラシ、DMハガキの配布や、ホームページ、ケーブルテレビ、市報、新聞等による広報活動を行っているが、まだまだPRが不足しているのが課題である。報道各社への取材依頼やSNSによる情報発信など、有効な広報の方法を検討して集客につなげたい。	施設の情報発信により、市民が利用しやすい環境づくりを進め、適正に事業の実施を行う。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	文化振興事業	細事業	大分アジア彫刻展事業	実施計画事業	大分アジア彫刻展事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (364)										
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市文化振興計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	2	施策	4 文化・芸術の振興							
項	1	施策展開	①文化・芸術活動を推進する							
目	13	後期基本計画	90 P					<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	35									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 日本近代彫刻の基礎を築いた本市出身の彫刻家朝倉文夫を顕彰し、アジアの新進彫刻家の登竜門となる彫刻展を開催する。彫刻展を開催することで、地方から全国・世界へ向けて文化情報の発信を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・実行委員会、最終審査会(6月) ・第16回大分アジア彫刻展(10月~11月) ・東アジア文化都市事業 大分アジア彫刻展紹介展 韓国慶州市・中国温州市(9月~11月) ・紹介展 県内2箇所(1~2月) ・専門委員会(2月)</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>実行委員会、第16回大分アジア彫刻展作品募集応募総数172点</li> <li>第一次及び第二次審査会、専門委員会を実施</li> <li>関連事業として、巨大猫制作第3弾「立ち上がる猫」の作品制作を実施 観覧者数 2642人</li> <li>「立ち上がる猫」制作風景写真展1回、過去の入賞作品を展示する紹介展 県内外で5回開催</li> </ul>	R3計画 3,900			3,000	900	
				当初予算 3,900			3,000	900
				決算額 3,900			3,000	900
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>実行委員会、最終審査会(6月)</li> <li>第16回大分アジア彫刻展(10月~11月)</li> <li>東アジア文化都市事業 大分アジア彫刻展紹介展 韓国慶州市・中国温州市(9月~11月)</li> <li>紹介展 県内2箇所(1~2月)</li> <li>専門委員会(2月)</li> </ul>	R4計画 6,900				6,900	
				当初予算 6,900			6,000	900
				決算額 6,900			6,000	900
	R5			R5計画 3,900				3,900
				当初予算 3,900			3,000	900
				決算額				
	R6			R6計画 6,900				6,900
			当初予算					
			決算額					
R7			R7計画 3,900				3,900	
			当初予算					
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 25,500			3,000	22,500	
			当初予算 14,700			12,000	2,700	
			決算額 10,800			9,000	1,800	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7			
C 活動指標	1 彫刻展本展等の入場者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,619	人	目標値		2,500		2,500				
					実績値	2,642	2,054						
						%	達成率	82.2					
	2 彫刻展の応募者数	彫刻展の応募者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	311	人	目標値	300		300		300		
実績値						172							
						%	達成率	57.3					
						%	達成率						
D 成果指標	1 文化活動の活性化事業の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	5	回	目標値		5						
					実績値	6	8						
						%	達成率	160					
						%	達成率						

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
アジア地域在住の50歳未満の新進彫刻家を対象とした特色ある国際公开展であり、平成4年度から大分県との共催で実施している事業である。彫刻家朝倉文夫の出身地である当市で、鑑賞する機会が少ないアジアの現代彫刻の展覧会を開催することにより、地域文化の向上にも寄与している。また、R4年度は東アジア文化都市2022大分の都市間交流事業として、初となる国外での作品紹介展を中国と韓国で行うことができた。  
新型コロナウイルスの影響を受けて応募数が減少したため、今後、専用ホームページやSNSでの広告掲載、動画による紹介等の応募数増加に向けた取り組みを行う。特に中国の応募が減少したので、窓口機関となる中国美術家協会に引き続き協力を依頼する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
SNSなどの情報発信ツールを活用し、出展数の増加の増に努め、適正に事業の実施を行う。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業番号	23004	枝番	1
------	-------	----	---

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	まちづくり推進課	係名	文化芸術振興係
-----	----------	----	---------

事業	文化振興事業	細事業	神楽会館自主事業	実施計画事業	神楽会館自主事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (364)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市文化振興計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策	4 文化・芸術の振興				
項	1	施策展開	①文化・芸術活動を推進する				
目	13	後期基本計画	90 P				
決算	35				期間	年度 ~ 年度	

事務運営事業委託料	8,200
燃料費	125
消耗品費	80
手数料	52

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 郷土芸能の拠点施設としての役割を担い、各団体の公演実績を重ね、郷土芸能の継承と団体の育成を目指している。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・毎月の神楽公演開催 ・郷土芸能の継承と育成 ・多目的ホール運営</p>	R3	神楽一般公演、特別講演を実施(実施8回、4回はコロナで中止)した。 ・公演回数:8回 入場者数:932人	R3計画 8,509 当初予算 8,509 決算額 7,232			2,415	6,094	
	R4	神楽一般公演、特別公演の企画・実施 公演回数:12回 入場者数:1,728人 ※4月~8月は新型コロナウイルス感染症防止拡大のため入場制限	R4計画 8,500 当初予算 8,509 決算額 8,223			2,415	6,094	
	R5		R5計画 8,500 当初予算 決算額				8,500	
	R6		R6計画 8,500 当初予算 決算額				8,500	
	R7		R7計画 8,500 当初予算 決算額				8,500	
	R3 ~ R7 合計			計画額 42,509 当初予算 17,018 決算額 15,455			2,415	40,094
							4,830	12,188
							982	14,473

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 神楽会館自主事業の入場者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	553	人	%	目標値	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
						実績値	932	1,728			
						達成率	38.8	72			
D 成果指標	1 文化活動の活性化自主事業の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	7	回	%	目標値	12	12	12	12	12
						実績値	8	12			
						達成率	66.7	100			

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	15点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		15点	15点
		3点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大が低調となったことからイベント自粛モードも緩み、公演の開催回数は、コロナ前と同数となった。入場者数も1,728人となり、前年対比1.8倍となりコロナ前の水準に回復し、貸し館利用も回復傾向にある。このことは、コロナ禍においても、実施回数の削減や入場制限等、感染リスクの低減化に十分取り組みながら、公演を粘り強く開催し、根強いファン層を手放さなかった結果である。ただし、活動指標への到達にはまだ遠いことから、今後も、引続き事業の拡充、拡大を推進していく。	利用者増に向け、情報発信を行う。

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	文化振興施設管理事業	細事業	総合文化センター管理事業	実施計画事業	総合文化センター管理事業	終了年度	なし
----	------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (367)											
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 豊後大野市文化振興計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称 総合文化センター指定管理委託料 77,781 総合文化センター改修工事請負費 1,980		
款	2	施策	4 文化・芸術の振興								
項	1	施策展開	②文化活動施設を整備する								
目	13	後期基本計画	90 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略			<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	36										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 文化施設や郷土の作家作品等を後世に引き継ぐとともに、市民の主体的な文化活動を積極的に推進するため、文化施設環境を整備する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 施設の有効利用、市民が利用しやすい施設環境の整備 ・総合文化センター指定管理委託 ・総合文化センター大ホール調光特性発生器取替工事 ・総合文化センター各所天井修繕 ・指定管理施設緊急運営負担</p>	R3	施設の利用者の安全確保に努め、市民等が利用しやすい施設整備を行った。 ・敷地内の樹木剪定 ・舞台照明設備改修工事 ・WiFi環境整備工事	R3計画 97,114 当初予算 97,114 決算額 99,049	2,000		52	97,114 97,114 96,997	
	R4	施設の有効利用及び利用者への安全確保に努め、市民等が利用しやすい施設環境の整備を図った。 ・令和4年度指定管理事業 総合文化センター指定管理委託76,861,784円 ・修繕・工事事業 大ホール調光特性発生器取替工事 1,980,000円 天井各所修繕 1,188,000円 指定管理施設緊急運営負担交付事業 1,858,000円	R4計画 97,000 当初予算 79,764 決算額 81,887				97,000 79,764 81,887	
	R5		R5計画 97,000 当初予算 84,231 決算額		6,200		97,000 78,031	
	R6		R6計画 97,000 当初予算 決算額				97,000	
	R7		R7計画 97,000 当初予算 決算額				97,000	
	R3 ~ R7 合計			計画額 485,114 当初予算 261,109 決算額 180,936	2,000		52	485,114 254,909 178,884

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 総合文化センターの利用者数	総合文化センターの利用者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	22,311	人	目標値	62,000	62,000	62,000	62,000	62,000
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	25,737	40,177			
					% 達成率	41.5	64.8			
D 成果指標 1 年間利用者数	総合文化センターの年間利用者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	22,311	人	目標値	62,000	62,000	62,000	62,000	62,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	25,737	40,177			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	41.5	64.8			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F 評価 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
総合文化センターは、経年劣化による修理や改修工事が増加しており、市民の利便性や修繕の優先度を考慮し、ローリングを行いながら修繕計画の見直しを進めている。今後、見直した計画を基に舞台照明や音響設備等の修繕改修を行う。また、ウクライナ危機にかかる物価高騰により緊急的な負担金の交付も行い、施設の有効利用、市民の安全確保、利用しやすい環境の整備にも努めた。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
利用者増を図り、計画的な施設の改修の取組む。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
24002	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	まちづくり推進課	係名	朝倉文夫記念館係
-----	----------	----	----------

事業	文化振興施設管理事業	細事業	朝倉文夫記念公園管理事業	実施計画事業	朝倉文夫記念公園管理事業	終了年度	なし
----	------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→(367)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
款	2	施策	4 文化・芸術の振興
項	1	施策展開	②文化活動施設を整備する
目	13	後期基本計画	90 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	36		

個別計画名	豊後大野市文化振興計画
期間	H29年度 ~ R8年度
期間	年度 ~ 年度

令和4年度主な歳出名称	当初予算額
朝倉文夫記念公園施設管理委託料	5,272
光熱水費	2,440
展示品購入費	1,000

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 文化施設や郷土の作家作品等を後世に引き継ぐとともに、市民の主体的な文化活動を積極的に推進するため、文化施設環境を整備する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・記念公園及び各施設の管理 ・朝倉文夫、兄弟らの作品・資料収集</p>	R3	・記念公園及び各施設の管理 ・文化ホール地下水対策工事 ・吊り橋奥土間コン修繕 ・朝倉文夫、兄弟らの作品・資料収集	R3計画 64,082 当初予算 64,082 決算額 57,721			49,820	14,262	
	R4	・記念公園及び各施設の管理 ・朝倉文夫、兄弟らの作品・資料収集	R4計画 50,000 当初予算 14,585 決算額 14,386			1,009	13,576	
	R5		R5計画 50,000 当初予算 19,493 決算額			4,077	15,416	
	R6		R6計画 50,000 当初予算 決算額				50,000	
	R7		R7計画 50,000 当初予算 決算額				50,000	
	R3 ~ R7 合計			計画額 264,082 当初予算 98,160 決算額 72,107			49,820	214,262

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 朝倉文夫記念館の来館者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3,176	人	目標値 実績値 達成率	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
						3,523	3,521			
						58.7	58.7			
D 成果指標	1 年間利用者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3,176	人	目標値 実績値 達成率	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
						3,523	3,521			
						58.7	58.7			

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 文化施設の維持管理、公園の環境整備を行い、施設の長寿命化を図る。R4年度は文化ホール通路の舗装修繕を行った。また、朝倉文夫やその兄弟の作品や資料の収集を行った。経年劣化により、施設の維持や改修には多額の費用を要するが、優先順位や実施方法を検討しながら、今後も市民が利用しやすい文化施設環境の整備を計画的に行う。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 施設の計画的改修に取組み、施設全体の管理の見直しの検討も必要。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
24006	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	まちづくり推進課	係名	文化芸術振興係
-----	----------	----	---------

事業	文化振興施設管理事業	細事業	神楽会館管理事業	実施計画事業	神楽会館管理事業	終了年度	なし
----	------------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (367)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市文化振興計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	2	施策	4 文化・芸術の振興							
項	1	施策展開	②文化活動施設を整備する							
目	13	後期基本計画	90 P					<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	36									

神楽会館施設管理委託料	946
舞台設備操作業務委託料	370
自家用電気工作物保安管理委託料	350
施設警備委託料	198

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 文化施設や郷土の作家作品等を後世に引き継ぐとともに、市民の主体的な文化活動を積極的に推進するため、文化施設環境を整備する。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; 施設の有効利用、市民が利用しやすい施設環境の整備 ・神楽会館南面壁修繕 ・神楽会館駐車場照明ランプ取替修繕</p>	R3	施設の有効利用及び利用者への安全確保に努め、市民等が利用しやすい施設環境の整備を図った。 ・神楽会館楽屋入口屋根設置工事	R3計画 5,620 当初予算 5,620 決算額 6,236			1,050	4,570	
	R4	施設の有効利用、市民が利用しやすい施設環境の整備のため、以下の修繕を行った。 ・神楽会館南面壁修繕 ・神楽会館駐車場照明ランプ取替修繕	R4計画 5,600 当初予算 5,579 決算額 5,014			1,050	4,529	
	R5		R5計画 5,600 当初予算 23,200 決算額				23,200	
	R6		R6計画 5,600 当初予算 決算額				5,600	
	R7		R7計画 5,600 当初予算 決算額				5,600	
	R3 ~ R7 合計			計画額 28,020 当初予算 34,399 決算額 11,250			1,050	26,970
							2,100	32,299
							310	10,940

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 神楽会館の利用者数	神楽会館の利用者数	2,914	人	目標値	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
					実績値	4,497	6,152			
					% 達成率	32.1	43.9			
D 成果指標	1 年間利用者数	神楽会館の年間利用者数	2,914	人	目標値	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
					実績値	4,497	6,152			
					% 達成率	32.1	43.9			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 神楽会館は、劣化等による修理が増加しており、優先度を考慮しながら計画的に設備等の修繕を行う。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 利用しやすい施設をめざし、計画的改修を検討する。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	税務総務事業	細事業	税務総務事業	実施計画事業	税務総務事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策	4 主体的で計画的な行政運営の推進		期間	年度	年度			市税過誤納還付金	14,000
項	2	施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化		期間	年度	年度			会計年度任用職員報酬	1,895
目	1	後期基本計画	80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		期間	年度	年度			大分県軽自動車税運路協議会負担金	699
決算	38				期間	年度	年度			普通旅費	400

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 税務管理行政の円滑な遂行</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 公平・公正かつ適正な課税・徴収を行うための事務を行う。</p>	R3	税務の管理に関する事業	R3計画 18,512				18,512
			当初予算 18,512				18,512
			決算額 10,946				10,946
	R4	税務の管理に関する事業	R4計画 18,000				18,000
			当初予算 18,450				18,450
			決算額 14,014				14,014
	R5		R5計画 18,000				18,000
			当初予算 18,000				18,000
			決算額				
	R6		R6計画 18,000				18,000
			当初予算 18,000				18,000
			決算額				
	R7		R7計画 18,000				18,000
			当初予算 18,000				18,000
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 90,512				90,512
			当初予算 90,962				90,962
			決算額 24,960				24,960

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 過誤納金の減少	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12,199	千円	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
					実績値	7,409	10,780			
					% 達成率	61.7	89.8			
D 成果指標	1 適正な課税資料の収集	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
E 評価対象外の理由	0 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 税務の管理に関する事業として適正に実施されている。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 税務管理行政の円滑な遂行に寄与できていると考える。今後も、税制改正等への適時・適切な対応に努めるとともに、DXへの取り組みも推進していきたい。
--	---

事業	賦課徴収事業	細事業	賦課徴収事業	実施計画事業	賦課徴収事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策	4 主体的で計画的な財政運営の推進		期間	年度	年度			土地鑑定評価業務委託料	19,477
項	2	施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化		期間	年度	年度			固定資産評価替業務委託料	16,830
目	2	後期基本計画	80 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当			課税システム改修業務委託料	12,863
決算	39									手数料	11,255

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 行政施策を継続的かつ安定的に供給するため 税収を確保する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 行政施策を継続的かつ安定的に供給するため 税収を確保する。</p>	R3	市県民税の賦課業務。固定資産税の賦課業務。軽自動車税の賦課業務。国民健康保険税の賦課業務。滞納者に対する催告及び徴収業務等。	R3計画 100,530			4,784	95,746
			当初予算 100,530			4,784	95,746
			決算額 87,713			5,223	82,490
	R4	公平・公正かつ適正な課税・徴収を行う。総合収納システム改修業務・課税システム改修業務を行う。	R4計画 60,000				60,000
			当初予算 87,354			4,460	82,894
			決算額 93,413	14,228		4,509	74,676
	R5		R5計画 60,000				60,000
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 60,000				60,000
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 60,000				60,000
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 340,530			4,784	335,746
			当初予算 187,884			9,244	178,640
			決算額 181,126	14,228		9,732	157,166

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 収納率の向上	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	96.8	%	目標値	97	97	97	97	97
					実績値	97.85	98.3			
					達成率	100.9	101.3			
2 納税に対する啓発		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	13	件	目標値	13	13	13	13	13
					実績値	13	13			
					達成率	100	100			
D 成果指標	1 税収の確保	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					達成率					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 税の賦課・徴収業務において適正な事業が実施されている。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 本市の貴重な自主財源である税収の確保、税負担の公正性の確保のため、公平・公正かつ適正な課税の下、徴収率の向上に寄与できていると考える。令和4年度の本市の徴収率は98.3%と大分県内で第3位の結果であったが、県平均が98.5%であり、県平均に達していなかった。今後も、同様の取り組みを一層進めていくとともに、時代の要請に応じた固定資産情報システム及び収納システム、並びに市民サービス向上のための納付手段の構築にも努めていきたい。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	選挙啓発事業	細事業	選挙啓発事業	実施計画事業	選挙啓発事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策	10 情報管理、情報化の推進		期間	年度	年度			印刷製本費	149
項	4	施策展開	②広聴・広報活動を充実する		期間	年度	年度			消耗品費	100
目	2	後期基本計画	71 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当			通信運搬費	18
決算	42										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 執行機関から独立し、選挙に関する事務を管理、また選挙が公正に行われることを目的とする</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 啓発活動の実施 ・啓発ポスター募集 ・広報誌作成 ・明るい選挙推進協議会開催</p>	R3	啓発活動の実施 ・啓発ポスター募集 ・広報誌作成 ・明るい選挙推進協議会開催	R3計画 267 当初予算 267 決算額 174				267	
	R4	啓発活動の実施 ・啓発ポスター募集 ・広報誌作成 ・明るい選挙推進協議会開催	R4計画 267 当初予算 267 決算額 206				267	
	R5		R5計画 267 当初予算 260 決算額				260	
	R6		R6計画 267 当初予算 決算額				267	
	R7		R7計画 267 当初予算 決算額				267	
	R3 ~ R7 合計			計画額 1,335 当初予算 794 決算額 380				1,335 794 380

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 啓発ポスターの募集人数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	427	人	目標値	300	300	300	300	300
					実績値	419	373			
					% 達成率	139.7	124.3			
2 模擬投票の開催数	R3~R4は実績なし	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	回	目標値	3	3	3	3	3
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 投票率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	80	%	目標値	80	80	80	80	80
					実績値	59.04	54.93			
					% 達成率	73.8	68.7			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値 実績値 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	15点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 啓発ポスターの募集、広報誌の作成、明るい選挙推進協議会による街頭啓発活動は概ね計画通り実施 令和2年を最後にコロナの影響で出来なかった学校で行う出前授業等については、今後も状況を見ながら対応が出来るように準備は整えておく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 選挙啓発の目的は市民の投票率の維持、向上であるので目的達成に向けた取り組みの強化を図っていく必要がある。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	監査委員事業	細事業	監査委員事業	実施計画事業	監査委員事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.1 (305)

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額						
款	2	施策	4 主体的で計画的な行政運営の推進		期間	年度	年度			監査委員報酬	2,112				
項	6	施策展開	①庁内の人づくり・組織づくり		期間	年度	年度			消耗品費	406				
目	1	後期基本計画	80 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>			総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>	費用弁償	147
決算	46											研修会等負担金	118		

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 普通地方公共団体の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理等を監査する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt;  <input type="checkbox"/> 例月現金出納検査 4月から3月まで  <input type="checkbox"/> 決算審査 6月から8月まで  <input type="checkbox"/> 定期監査・行政監査 9月から3月まで  <input type="checkbox"/> 財政援助団体等監査 5月から3月まで</p>	R3	<input type="checkbox"/> 例月現金出納検査 4月から3月まで <input type="checkbox"/> 決算審査 6月から8月まで <input type="checkbox"/> 定期監査・行政監査 9月から3月まで <input type="checkbox"/> 財政援助団体等監査 5月から3月まで	R3計画 3,007				3,007	
		当初予算 3,007	決算額 2,626				2,626	
	R4	<input type="checkbox"/> 例月現金出納検査 4月から3月まで <input type="checkbox"/> 決算審査 6月から8月まで <input type="checkbox"/> 定期監査・行政監査 9月から3月まで <input type="checkbox"/> 財政援助団体等監査 5月から3月まで <input type="checkbox"/> 事務監査請求 1月から3月まで <input type="checkbox"/> 住民監査請求 4月から5月まで	R4計画 3,000				3,000	
		当初予算 2,922	決算額 2,692				2,692	
	R5		R5計画 3,000				3,000	
		当初予算 2,922	決算額				2,922	
	R6		R6計画 3,000				3,000	
		当初予算	決算額					
	R7		R7計画 3,000				3,000	
		当初予算	決算額					
	R3 ~ R7 合計			計画額 15,007				15,007
				当初予算 8,851				8,851
				決算額 5,318				5,318

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 定期・行政監査実施対象部署数 本庁支所の全部署及び小中学校、幼稚園、学校支援センターなどの対象部署数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	54	課	目標値	54	54	54	54	54
					実績値	54	54			
					% 達成率	100	100			
2 財政援助団体等監査実施対象団体数	財政援助団体等監査実施計画に基づくもの	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	8	団体	目標値	6	6	6	6	6
					実績値	1	2			
					% 達成率	16.7	33.3			
D 成果指標	1 定期・行政監査における報告・指摘・注意部署数 監査業務を通じて、報告、指摘、注意の部署がないことを目標とする	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	16	課	目標値					
					実績値	21	19			
					% 達成率					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	14点	25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
① 各課の協力の下、決算審査を前倒して実施したことにより、参議院選挙事務の支援を円滑に実施することができた。 ② 2年連続で住民監査請求の監査を実施し、法定の期限内に請求人に対し監査結果を通知することができた。 ③ 選挙管理委員会事務局と協力の下、県内で35年ぶりに提出された事務監査請求について、代表者証明書の交付から、事務監査請求の受付までの事務を法定どおりに進めることができた。 ④ 突然提出される監査請求に対応するため、情報収集に努めるとともに、法や判例、行政実例等の理解を深める。 ⑤ 財政援助団体等監査は、団体数としては2団体にとどまったが、そのうちの1団体については、補助金及び4つの指定管理について監査することができた。	定期的に行う監査については、年間監査計画に基づいてしっかりと実施することができた。必要と認めるときに行う監査については、住民からの要求監査への対応等で達成率が低くなっているが、今後は目標値を達成できるよう改善を図ってきたい。

事業	社会福祉総務事業	細事業	遺族会援護事業	実施計画事業	遺族会援護事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No. (125)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		遺族会補助金	507
款	3	2 地域福祉の充実		自動車等借上料	339
項	1	①地域福祉活動を推進する		追悼式祭壇作成委託料	110
目	1	後期基本計画 40 P		消耗品費	52
決算	47	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 市遺族会連合会が実施している戦没者遺族の福祉の向上や英霊顕彰の活動等に要する費用の一部補助することにより、戦争体験を伝えることなど恒久平和の実現に関わる活動につながる。また、戦没者の追悼及び慰霊事業を実施する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・市遺族会連合会への運営補助 ・戦没者に対する追悼及び慰霊に関する事業(市戦没者追悼式・大分県戦没者追悼式)</p>	R3	・市遺族会連合会への運営補助金の交付 ・戦没者に対する追悼及び慰霊に関する事業(市戦没者追悼式は縮小開催。県戦没者追悼式は中止)	R3計画 1,013 当初予算 1,013 決算額 674		32		1,013 1,013 642	
	R4	・市遺族会連合会への運営補助金の交付 ・戦没者に対する追悼及び慰霊に関する事業(市戦没者追悼式は縮小開催。県戦没者追悼式は中止)	R4計画 1,013 当初予算 1,025 決算額 670				1,013 1,025 670	
	R5		R5計画 1,013 当初予算 1,003 決算額				1,013 1,003	
	R6		R6計画 1,013 当初予算 決算額				1,013	
	R7		R7計画 1,013 当初予算 決算額				1,013	
	R3 ~ R7 合計			計画額 5,065 当初予算 3,041 決算額 1,344		32		5,065 3,041 1,312

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 遺族会連合会役員会議	遺族会連合会役員会議数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	4	回	目標値 4	4	4	4	4
					実績値 4	4				
					% 達成率 100	100				
D 成果指標	1 役員会議参加人数	遺族会連合会役員会議参加人数(延べ人数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値 44	44	44	44	44
					実績値 48	40				
					% 達成率 109.1	90.9				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	18点	3点	18点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
連合会の会員数減少については引き続き課題となっている。会の体制は会員の中でも検討・協議を行っているが見直しまで至っていないため、体制整備が進む中で補助金のあり方についても考えていかなければならない。県・市戦没者追悼式については、感染症の状況等による開催内容の変更を前年度に引き続きたが、来年度の開催計画等については、通常実施と同様の内容で取り組みたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
連合会の会員数が減少する中、補助金額の見直し等も今後の課題となると考えるが、引き続き変更しない内容での支援が必要。県・市戦没者追悼式については、これまでどおりの実施内容で取り組みたい。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	社会福祉総務事業	細事業	社会福祉協議会支援事業	実施計画事業	豊後大野市社会福祉協議会補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (123)		個別計画名	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	豊後大野市社会福祉協議会補助金	55,000
款	3	II 地域福祉の充実		
項	1	①地域福祉活動を推進する		
目	1	後期基本計画 40 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	47			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 社会福祉協議会は地域福祉の推進を図ることを目的とした団体であり、地域共生社会の実現に向けた取組みを進める上で社協が実施する地域福祉事業の実施に対して予算の範囲内で補助金を交付する。</p> <p>&lt;令和4年度取組内容(計画)&gt; 社協が実施する地域福祉のための各種事業に係る費用に対して行なう補助。</p>	R3	運営補助金の交付	R3計画 55,000				55,000
			当初予算 55,000				55,000
			決算額 55,000				55,000
	R4	運営補助金の交付	R4計画 55,000				55,000
			当初予算 55,000				55,000
			決算額 55,000				55,000
	R5		R5計画 55,000				55,000
			当初予算 55,000				55,000
			決算額				
	R6		R6計画 55,000				55,000
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 55,000				55,000
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 275,000				275,000
			当初予算 165,000				165,000
			決算額 110,000				110,000

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 地区社協の設置及び運営支援 地区社協の設置数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		7	箇所	目標値	7	7	7	7
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値	7	7		
						% 達成率	100	100		
D 成果指標	1 地区社協の連絡会の開催 連絡会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画			回	目標値	1	1		
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	1			
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	100	—		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		18点	18点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 市社協の実施事業の精査及び運営状況のほか、運営補助金以外の市より委託等行っている事業で交付されている人件費との充当状況の重複確認などを実施し、関係課と交付内容の正当性について随時協議を行いながら市社協と補助金額について毎年確認する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市社会福祉協議会の実施事業の精査及び事業で交付されている人件費との充当状況の重複確認などを実施し、関係課と交付内容の正当性について随時協議を行っていく。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	社会福祉総務事業	細事業	社会福祉協議会支援事業	実施計画事業	地域福祉推進大会補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (123)		個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額			
会計	一般		政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち							
款	3		施策	2 地域福祉の充実							
項	1		施策展開	①地域福祉活動を推進する							
目	1		後期基本計画	40	P	<input type="checkbox"/>			過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略
決算	47							地域福祉推進大会補助金	250		

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 地域福祉の意識を高め身近に感じることを目的に開催される地域福祉推進大会の運営に要する経費について、予算の範囲内で補助金を交付する。  <令和4年度の取組内容(計画)> 市地域福祉推進大会の運営補助。	R3	表彰式のための縮小開催。	R3計画 250				250
			当初予算 250				250
			決算額 78				78
	R4	市地域福祉推進大会開催に係る運営補助。(開催内容:表彰式及び講演会)	R4計画 250				250
			当初予算 250				250
			決算額 250				250
	R5		R5計画 250				250
			当初予算 250				250
			決算額				
	R6		R6計画 250				250
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 250				250
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,250				1,250
			当初予算 750				750
			決算額 328				328

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 地域福祉推進大会関係団体 関係団体数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	13	団体	目標値	13	12	12	12	12
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	12	12			
		% 達成率			92.3	100				
D 成果指標	1 地域福祉推進大会参加者 参加者人数	<input type="checkbox"/> 総合計画	25	人	目標値	300	300	300	300	300
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値		500			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率		166.7			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	22点	4点	22点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 本年度は、通常開催となり市民向けに講演会を実施したが、講演内容においては現時点で市民に関わってもらいたい分野を毎年協議、検討が必要。  
 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 開催方法、講演内容については毎年協議・検討が必要である。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	社会福祉総務事業	細事業	避難行動要支援者対策事業	実施計画事業	避難行動要支援者対策事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図№→ (126)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	3	施策	2 地域福祉の充実		期間	年度 ~ 年度			避難行動要支援者管理システム改修業務委託料	998	
項	1	施策展開	②災害時における地域福祉を支援する						消費品費	509	
目	1	後期基本計画	40 P							避難行動要支援者システム保守委託料	324
決算	47									通信運搬費	55

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 平常時から避難行動要支援者に関する情報の把握や関係者との情報共有等を行なうことで災害時の避難・誘導の支援体制を整備する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・避難行動要支援者の把握及び名簿の作成 ・平常時からの情報提供を行なう旨の意思確認 ・協力員の設置について(自治委員へ協力依頼) ・個別避難計画の作成</p>	R3	・避難行動要支援者の把握及び名簿の作成、平常時からの情報提供を行なう旨の意思確認の実施。 ・協力員の設置については、自治委員へ協力依頼し要支援者への支援体制の推進をはかった。 ・個別避難計画作成準備にあたっては庁内の関係部署との検討会議を開催した。	R3計画 760 当初予算 760 決算額 664				760 760 664	
	R4	・避難行動要支援者の把握及び名簿の作成、平常時からの情報提供を行なう旨の意思確認の実施。 ・協力員の設置については、自治委員へ協力依頼し要支援者への支援体制の推進をはかった。 ・個別避難計画作成にあたっては庁内の関係部署との検討会議の開催及びシステムにハザード情報を導入し優先的に作成が必要な方の把握ができるよう整備した。	R4計画 535 当初予算 1,932 決算額 2,037				535 1,932 2,037	
	R5		R5計画 535 当初予算 1,236 決算額				535 1,236	
	R6		R6計画 535 当初予算 決算額				535	
	R7		R7計画 535 当初予算 決算額				535	
	R3 ~ R7 合計			計画額 2,900 当初予算 3,928 決算額 2,701				2,900 3,928 2,701

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 避難行動要支援者名簿の情報提供先	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	5	団体	目標値	5	5	5	5	5
					実績値	5	5			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 避難行動要支援者名簿の情報提供同意者	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	66	%	目標値	66	68	70	72	75
					実績値	55	55			
					% 達成率	83.3	80.9			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		19点	19点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>個別避難計画作成のため、今後さらに関係機関等と連携し事業の推進を図ることが重要となる。個別避難計画の作成と並行して福祉避難所の指定についても、関係施設と協議を行い進捗していく。平常時からの情報提供及び計画作成の同意についての取組は引き続き進めていく。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>個別避難計画作成のため、関係機関等と連携が更に重要となる。常日頃より情報提供及び計画作成の同意についての取組を引き続き進めていく。</p>
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	社会福祉総務事業	細事業	社会福祉関係総務事務費	実施計画事業	社会福祉関係総務事務事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (123)		会計 一般	政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	3	施策	2 地域福祉の充実		期間	年度 ~ 年度	行旅病人行旅死亡人援護費	227	
項	1	施策展開	①地域福祉活動を推進する				通信運搬費	209	
目	1	後期基本計画	40 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	消耗品費	189
決算	47				<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	統計指導員・調査員報酬	75

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 地域福祉全般に係る各種事業(地域福祉計画に関する事・社会福祉法人監査に関する事・特別弔慰金等援護事務に関する事・行旅病人行旅死亡人に関する事)を実施する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・第11回特別弔慰金支給業務 ・社会福祉法人監査業務 ・行旅病人行旅死亡人に係る救護及び援護業務 ・国民生活基礎調査 ・地域共生社会構築連携(庁内)会議業務</p>	R3	・第4期地域福祉計画の策定 ・第11回特別弔慰金支給業務(2カ年目) ・社会福祉法人監査はコロナ感染症の拡大のため、予定していた3カ所の実施ができず1カ所の実施となった ・行旅死亡人の取扱い1件 ・地域共生社会構築連携会議2回開催、作業部会の設置(3部門)	R3計画 4,359 当初予算 4,359 決算額 4,102	357			4,002 4,002 3,675	
	R4	・第11回特別弔慰金支給業務(3カ年目) ・社会福祉法人監査はコロナ感染症の拡大のため、予定していた6カ所の実施ができず5カ所の実施となった ・行旅死亡人の取扱い1件 ・地域共生社会構築連携会議3回開催 ・国民生活基礎調査の実施	R4計画 692 当初予算 838 決算額 531	266		65	426 382 352	
	R5		R5計画 692 当初予算 754 決算額	266			426 380	
	R6		R6計画 692 当初予算 決算額	266			426	
	R7		R7計画 692 当初予算 決算額	266			426	
	R3 ~ R7 合計			計画額 7,127 当初予算 5,951 決算額 4,633	1,421		85	5,706 4,764 4,027

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 社会福祉法人指導監査の実施 実施法人数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	4	箇所	目標値	3	4	3	3	4
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	5			
		%			達成率	33.3	125			
D 成果指標	1 社会福祉法人指導監査での文書指摘 社会福祉法人指導監査での文書指摘がなかった法人数	<input type="checkbox"/> 総合計画	4	箇所	目標値	2	3	2	2	3
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	50			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	3点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点	3点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点	3点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	4点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	3点
			16点	16点
			25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
戦没者特別弔慰金支給事業の請求期間が最終年度であったため、来年度は主に国債交付のみとなるが、交付後の各種手続き等の問い合わせへの対応を支所も含めた担当間で共有が必要である。地域共生社会の実現に向けた取組で重層的支援体制整備事業の実施に向けた準備を進めていくこととなるため、庁内外それぞれの関係部署との連携が今後の課題である。また、コロナウイルス感染症拡大の影響で実施できなかった社会福祉法人指導監査については、来年度実施予定の法人に加えて実施する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
戦没者特別弔慰金支給事業の請求期間がR4で終了した。R5は主に国債交付のみとなるが、交付後の各種手続き等の問い合わせへの対応を支所担当も含め共有する。地域共生社会の実現に向けた取組で重層的支援体制整備事業の実施に向けた準備をR5から進めていくこととなるため、庁内外それぞれの関係部署との連携が今後の課題である。また、コロナウイルス感染症拡大の影響で実施できなかった社会福祉法人指導監査については、来年度実施予定の法人に加えて実施する。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	社会福祉総務事業	細事業	生活困窮者自立支援事業	実施計画事業	住居確保給付事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	----------	------	----

総合計画体系図№.1 (163)										
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち					個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	6 社会保障の充実						住居確保給付金	333
項	1	施策展開	①低所得者福祉を充実する							
目	1	後期基本計画	48 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略		<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	47									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 休業・離職等により住居を失った又はそのおそれのある者に対し、住まいを確保し、安心して就職活動ができるよう、家賃に充てるための費用を支給することにより自立の促進を図る。  <令和4年度の取組内容(計画)> 申請に基づく給付金の支給	R3	申請に基づく給付事業であるが、申請がなかった。	R3計画 333	249			84
			当初予算 333	249			84
			決算額				
	R4	申請に基づく給付事業であるが、申請がなかった。	R4計画 333	249			84
			当初予算 333	249		84	
			決算額				
	R5		R5計画 333	249			84
			当初予算 333	249		84	
			決算額				
	R6		R6計画 333	249			84
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 333	249			84
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,665	1,245			420
			当初予算 999	747		168	84
			決算額				

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 給付対象者 対象者数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
				%	達成率					
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
				%	達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	17点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			17点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 生活困窮者自立支援法に基づく必須事業の一つである。支給実績はないが、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、事業を継続する必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 生活困窮者自立支援法に基づく必須事業の一つである。生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、事業を継続する必要がある。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	社会福祉総務事業	細事業	生活困窮者自立支援事業	実施計画事業	子どもの学習・生活支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (163)		会計 一般	政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額				
款	3	施策	6 社会保障の充実		期間	年度 ~ 年度	会計年度任用職員報酬	1,083				
項	1	施策展開	①低所得者福祉を充実する				講師謝礼金	480				
目	1	後期基本計画	48 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	社会保険料(会計年度任用職員分)	174
決算	47									施設等使用料	159	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 貧困の連鎖を防止するため、生活困窮世帯の子どもに対する学習支援をすることを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・支援対象世帯に学習ボランティアを派遣 ・学習支援員を中心とした関係機関との情報共有</p>	R3	支援対象世帯に、学習支援、関係機関との情報共有や連絡調整を実施した。	R3計画 2,382	1,191		1,191		
			当初予算	2,382	1,191		1,191	
			決算額	1,747	873		874	
	R4	支援対象世帯に、学習支援、関係機関との情報共有や連絡調整を実施した。	R4計画 2,382	1,191		1,191		
			当初予算	2,367	1,183		1,184	
			決算額	1,765	882		883	
	R5		R5計画 2,382	1,191		1,191		
			当初予算	2,064	1,031		1,033	
			決算額					
	R6		R6計画 2,382	1,191		1,191		
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 2,382	1,191		1,191		
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額 11,910	5,955		5,955		
			当初予算 6,813	3,405		3,408		
			決算額 3,512	1,755		1,757		

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 学習ボランティア	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	8	人	目標値	8	8	8	8	8
					実績値	6	7			
	%	達成率	75	87.5						
	2 学習・生活支援	支援対象者(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	10	人	目標値	10	10	10	10
実績値						7	12			
%		達成率	70	120						
D 成果指標		1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値				
	実績値									
	%					達成率				
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画				目標値				
						実績値				
						%	達成率			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	17点	3点	17点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
			25点		25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。学習支援を中心に生活困窮世帯の子どもが抱える課題の解決を図ることで、貧困の連鎖を防止することに寄与する事業であるため、今後も継続する必要がある。	生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。学習支援を中心に生活困窮世帯の子どもが抱える課題の解決を図ることで、貧困の連鎖を防止することに寄与する事業であるため、今後も継続する必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	社会福祉総務事業	細事業	生活困窮者自立支援事業	実施計画事業	生活困窮者自立相談支援事業委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	-------------------	------	----

総合計画体系図№→ (163)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額					
款	3	施策	6 社会保障の充実												
項	1	施策展開	①低所得者福祉を充実する												
目	1	後期基本計画	48	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画					<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	47														

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<事業の目的> 生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、さまざまな支援を一体的かつ計画的に行うことにより、生活困窮者の自立の促進を図ることを目的とする。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・豊後大野市社会福祉協議会に委託 ・自立相談支援調整会議を開催し、関係者の情報共有と支援内容の協議を行う。	R3	豊後大野市社会福祉協議会に委託し事業を実施した。また、関係者の情報共有と支援内容の協議を行った。
	R4	豊後大野市社会福祉協議会に事務委託し事業を実施した。また、関係者の情報共有と支援内容の協議を行った。
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	11,324	6,750		4,574
当初予算	11,324	6,750		4,574
決算額	8,537	6,402		2,135
R4計画	11,324	6,750		4,574
当初予算	11,478	6,750		4,728
決算額	9,946	6,750		3,185
R5計画	11,324	6,750		4,574
当初予算	11,471	6,750		4,721
決算額				
R6計画	11,324	6,750		4,574
当初予算				
決算額				
R7計画	11,324	6,750		4,574
当初予算				
決算額				
計画額	56,620	33,750		22,870
当初予算	34,273	20,250		14,023
決算額	18,483	13,152		5,320

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 自立相談	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	182	件	目標値					
					実績値	121	76			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
						目標値				
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
						目標値				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	17点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			17点
			25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</b> 生活困窮者自立支援法に基づく必須事業の一つである。複合的な課題を抱える生活困窮者に対して、包括的な支援を今後も継続して提供が必要であるとともに、関係職員が研修でスキルの向上を図るなど、さらに事業の充実に努めるべきである。	<b>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</b> 生活困窮者自立支援法に基づく必須事業の一つである。複合的な課題を抱える生活困窮者に対して、包括的な支援を今後も継続して提供が必要であるとともに、関係職員が研修でスキルの向上を図るなど、さらに事業の充実に努める必要がある。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

事業	社会福祉総務事業	細事業	生活困窮者自立支援事業	実施計画事業	家計改善支援事業委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (163)		個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	家計改善支援事業委託料	957
款	3	施策	6 社会保障の充実		
項	1	施策展開	①低所得者福祉を充実する		
目	1	後期基本計画	48 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	47				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 家計収支の均衡が取れていないなど、家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、家計の視点から必要な情報提供や専門的な助言・指導等の支援を行うことにより、早期に相談者の生活が再生されることを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・グリーンコープ生活協同組合おおいに委託 ・家計再生プランの作成を通じて家計収支の均衡を図るなどの出納管理の支援を行う。 ・滞納や負債を把握し、債務整理の調整等の支援を行う。</p>	R3	グリーンコープ生活協同組合おおいに委託し事業を実施した。	R3計画 957	638		319	
			当初予算 957	638		319	
			決算額 270	179		91	
	R4	グリーンコープ生活協同組合おおいに事務委託し事業を実施した。	R4計画 957	638		319	
			当初予算 957	638		319	
			決算額 544	363		181	
	R5		R5計画 957	638		319	
			当初予算 957	638		319	
			決算額				
	R6		R6計画 957	638		319	
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 957	638		319	
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 4,785	3,190		1,595	
			当初予算 2,871	1,914		957	
			決算額 814	542		272	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 家計改善支援 支援対象者数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		5	人	目標値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値	4	9		
						% 達成率				
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率	目標値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値				
						% 達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	16点	3点	16点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。生活困窮者の多くが家計に関わる問題を抱えていることを踏まえれば、事業の必要性は大きい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。家計に関わる事案を抱えていることを踏まえれば、事業の必要性は大きい。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
40007	5

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	社会福祉課	係名	生活保護係
-----	-------	----	-------

事業	社会福祉総務事業	細事業	生活困窮者自立支援事業	実施計画事業	生活困窮者支援食料支給事業	終了年度	R4
----	----------	-----	-------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (163)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	6 社会保障の充実						生活困窮者支援食料支給事業費	100
項	1	施策展開	①低所得者福祉を充実する							
目	1	後期基本計画	48	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画			<input type="checkbox"/>	総合戦略
決算	47									

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 緊急に支援が必要な生活困窮者に対し食料を現物支給することにより、その福祉の向上に資することを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 豊後大野市社会福祉協議会により生活資金(緊急小口資金)の借入申込書が受理された者で、貸付金の交付までに緊急に支援が必要な生活困窮者等に対し、食料の支援を行う。</p>	R3	実績なし	R3計画 100			100	
			当初予算 100			100	
			決算額				
	R4	実績なし	R4計画 100			100	
			当初予算 100			100	
			決算額				
	R5		R5計画 100			100	
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 100			100	
			当初予算				
			決算額				
R3 ~ R7 合計			計画額 500			500	
			当初予算 200			200	
			決算額				

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 生活困窮者支援食料支給 支援対象者数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
				%	達成率					
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
				%	達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	2点		2点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	14点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			14点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
生活困窮者支援事業の窓口である社会福祉協議会においてフードバンク事業を行っていることもあり、当該事業の利用に至らないケースがある。セーフティネットの意義はあるが、近年実績がないことから事業を廃止する。	生活困窮者支援事業の窓口である社会福祉協議会においてフードバンク事業を行っていることもあり、当該事業の利用に至らないケースがある。セーフティネットの意義はあるが、近年実績がないことから事業を廃止する。

I 令和6年度の事業の方向性	E 廃止
----------------	------

事業	社会福祉総務事業	細事業	生活困窮者自立支援事業	実施計画事業	就労準備支援事業委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (163)		会計 一般	政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	3	施策	6 社会保障の充実		期間	年度 ~ 年度	就労準備支援事業委託料	1,344		
項	1	施策展開	①低所得者福祉を充実する							
目	1	後期基本計画	48 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	47									

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 一般就労に従事する準備としての基礎能力の形成を目的として、生活リズムを整える、他者と適切なコミュニケーションを図ることができるようになるなどといった日常生活自立や社会参加自立に関する支援から、就労体験の利用の機会を提供等を行い、一般就労に向けた技法や知識の習得等を通じて、生活困窮者の自立の促進を図ることを目的とする。	R3	ワーカーズコープに委託し、実施した。	R3計画 1,347	898		449	
			当初予算	1,347	898		449
			決算額	1,347	898		449
	R4	ワーカーズコープに事務委託し事業を実施した。	R4計画 1,347	898		449	
			当初予算	1,344	896		448
			決算額	1,288	858		430
	R5		R5計画 1,347	898		449	
			当初予算	1,392	927		465
			決算額				
	R6		R6計画 1,347	898		449	
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 1,347	898		449	
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 6,735	4,490		2,245	
			当初予算 4,083	2,721		1,362	
			決算額 2,635	1,756		879	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 就労準備支援	支援対象者数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	人	目標値				
						実績値	1	1		
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率				
						目標値				
D 成果指標	1 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値				
						実績値				
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率				
						目標値				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	16点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			16点
			25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。単にハローワークで職業相談や職業訓練では解決できず、複合的な課題がある者に対しては当該事業が必要である。また、対象者が単年度で一般就労に移行するものではなく、成果は乏しいが継続する必要がある。ワーカーズコープで探しているが、協力(受入)企業が少ないことが課題である。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。ハローワークで職業相談や職業訓練では解決できず、複合的な課題がある者に対しては当該事業が必要である。また、対象者が単年度で一般就労に移行するものではなく、成果は乏しいが継続する必要があるため、今後は協力企業を増やすことが必要である。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	民生・児童委員関係事業	細事業	民生・児童委員関係補助金	実施計画事業	民生児童委員協議会補助事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	--------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (127)											
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち					個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称 民生児童委員協議会補助金	当初予算額 7,031	
款	3	施策	2 地域福祉の充実								
項	1	施策展開	②災害時における地域福祉を支援する								
目	1	後期基本計画	40	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>				総合戦略
決算	48										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 市民生児童委員協議会の運営に資するため、予算の範囲内で補助金を交付する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 民児協が相互の研鑽を深めるために実施する全体の研修会または、各町単位の研修会、部会活動、主任児童委員活動等の事業実施に係る補助。</p>	R3	民児協で主催した合同研修会の開催、また、各町単位の研修会、部会活動、主任児童委員活動等の事業を実施し、市の関係する事業にも積極的に協力、参加した。	R3計画 7,031				7,031
			当初予算 7,031				7,031
			決算額 7,031				7,031
	R4	民児協で主催した合同研修会の開催、また、各町単位の研修会、部会活動、主任児童委員活動等の事業を実施し、市の関係する事業にも積極的に協力、参加した。	R4計画 7,031				7,031
			当初予算 7,031				7,031
			決算額 7,031				7,031
	R5		R5計画 7,031				7,031
			当初予算 7,031				7,031
			決算額				
	R6		R6計画 7,031				7,031
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 7,031				7,031
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 35,155				35,155
			当初予算 21,093				21,093
			決算額 14,062				14,062

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 市民児協主催の研修会 研修会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		回	目標値	2	2	2	2	2
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1			
					% 達成率	50	50			
D 成果指標	1 市民児協主催の研修会への参加 研修会の延べ参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画		人	目標値	210	210	210	210	210
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	130	109			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	61.9	51.9			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画		% 達成率						

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>コロナ禍で研修会の実施が1回となったが、引き続き活動に必要な制度等について、知識を深めることは重要であるため、環境が整い次第通常の開催ができるよう市としても協力が必要である。 また、地域共生社会の実現に向けて、地域の力で解決できる活動も求められている中、民生委員児童委員においては、その職務を発揮できるよう引き続きの支援と連携体制が必要と考える。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>地域共生社会の実現に向けて、民生委員児童委員においては、その職務を発揮できるよう引き続きの支援と連携体制が必要と考える。</p>
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	障害者相談支援事業	実施計画事業	障害者相談支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (156)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	期間	R3 年度 ~ R5 年度	地域生活支援事業委託料	20,000
款	3	施策	5 障がい福祉の充実	期間		
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	年度		
目	2	後期基本計画	46 P			
決算	52					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 障がいのある人や障がいのある人を介護する人などからの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、障がい福祉サービスの利用支援などの必要な支援を行うとともに、虐待の防止やその早期発見のための関係機関との連絡調整など、権利擁護のために必要な援助を行う。また、特に必要と認められる能力を有する専門職員を配置し地域における相談支援事業者などに対する専門的な指導・助言、情報収集・提供、人材育成の支援、地域移行に向けた取り組みを実施することにより、相談支援機能の強化を図る。  <令和4年度の取組内容(計画)> 2ヶ所の相談支援事業所と委託契約を行い、専門的知識を有する相談員が対応を行う。	R3	2ヶ所の相談支援事業所と委託契約を行い、専門的知識を有する相談員が対応を行った。	R3計画	20,000	7,272		12,728
	当初予算	20,000	7,272		12,728		
	決算額	20,000	6,599		13,401		
	R4	2ヶ所の相談支援事業所と委託契約を行い、専門的知識を有する相談員が対応を行った。	R4計画	20,000	7,272		12,728
	当初予算	20,000	6,738		13,262		
	決算額	20,000	6,751		13,249		
	R5		R5計画	20,000	7,272		12,728
	当初予算	20,000	6,738		13,262		
	決算額						
	R6		R6計画	20,000	7,272		12,728
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画	20,000	7,272		12,728
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額	100,000	36,360		63,640
			当初予算	60,000	20,748		39,252
			決算額	40,000	13,350		26,650

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 委託相談支援事業所	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		2	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	2			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	17点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	／25点	—点
			17点
			／25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者及び事業内容が定められているので、それに沿って社会福祉法人が設置している指定一般相談支援事業所に事業を委託している。当面は現行の形で実施するが、国が自治体に設置を促進している基幹相談支援センターを検討する中で、障害者相談支援事業のあり方も今後協議を行っていく。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者及び事業内容が定められているので、それに沿って社会福祉法人が設置している指定一般相談支援事業所に事業を委託している。国・県の補助事業であり、今後も現行で移行する。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	日常生活用具給付事業	実施計画事業	日常生活用具給付事業	終了年度	なし
----	----------	-----	------------	--------	------------	------	----

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実					地域生活支援事業費	12,521
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実						
目	2		後期基本計画	46	P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	52								

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 障がい者等に対して、日常生活用具を給付することにより、日常生活の便宜を図り福祉の増進を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; 障がい者等に対して、日常生活用具を給付することにより、日常生活の便宜を図り福祉の増進を図る。</p>	R3	申請受付、給付決定、支払業務等	R3計画 12,903	5,805			7,098
			当初予算 12,903	5,805			7,098
			決算額 12,259	5,402			6,857
	R4	申請受付、給付決定、支払業務等実施。	R4計画 12,903	5,805			7,098
			当初予算 12,521	5,634			6,887
			決算額 10,119	4,562			5,557
	R5		R5計画 12,903	5,805			7,098
			当初予算 12,354	5,559			6,795
			決算額				
	R6		R6計画 12,903	5,805			7,098
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 12,903	5,805			7,098
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 64,515	29,025			35,490
			当初予算 37,778	16,998			20,780
			決算額 22,378	9,964			12,414

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
D 成果指標	1 支給件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	965	件	目標値	1,085	1,085	1,085	1,085	1,085
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	996	830			
	2-	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	91.8	76.5		
		<input type="checkbox"/> 総合計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	15点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で支給の対象となる用具や対象者が定められているので、それに沿って給付してあり、必要不可欠な事業として継続していく。	障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で支給の対象となる用具や対象者が定められているので、それに沿って給付してあり、必要不可欠な事業として継続していく。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	移動支援事業	実施計画事業	移動支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------	--------	--------	------	----

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実					地域生活支援事業費	4,727	
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実							
目	2		後期基本計画 46 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	52									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 屋外での移動が困難な障がい者等に対して、外出の為に支援を行い、地域における自立生活・社会参加を促す。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 本事業におけるサービスの内容は、次に掲げるもので、利用対象者の日常生活上必要と認められる移動支援とする。 (1) 官公庁や金融機関への外出、公的行事への参加、生活必需品の買い物等生活上必要不可欠な外出 (2) その他対象者の社会参加を図る上で、市長が特に必要と認めるもの前項のサービスの提供範囲は、原則として1日の範囲内で用務を終えるものに限るものとする。</p>	R3	契約を締結した9事業所に委託して事業を実施した。	R3計画 5,112	2,299			2,813	
				当初予算 5,112	2,299			2,813
				決算額 4,210	1,855			2,355
	R4	契約を締結した9事業所に委託して事業を実施した。	R4計画 5,112	2,299			2,813	
				当初予算 4,727	2,127			2,600
				決算額 5,321	2,399			2,922
	R5			R5計画 5,112	2,299			2,813
				当初予算 6,211	2,794			3,417
				決算額				
	R6			R6計画 5,112	2,299			2,813
				当初予算				
				決算額				
	R7			R7計画 5,112	2,299			2,813
				当初予算				
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 25,560	11,495			14,065	
			当初予算 16,050	7,220			8,830	
			決算額 9,531	4,254			5,277	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値				
		%				達成率				
		目標値								
D 成果指標	1 事業利用延べ時間	<input type="checkbox"/> 総合計画	1,932	時間		目標値	2,700	2,700	2,700	2,700
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	1,679	1,923		
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	%				達成率	62.2	71.2		
		目標値				30	30	30	30	
2 実利用人数	<input type="checkbox"/> 総合計画	27	人		目標値	30	30	30	30	
	<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	25	30			
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率	83.3	100		
					目標値					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	14点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者と事業内容等が定められており、適切な事業運営が確保できると認められる社会福祉法人等に委託している。事業を継続して、障がい者等の地域での自立生活や社会参加の促進を図る。	障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者と事業内容等が定められており、適切な事業運営が確保できると認められる社会福祉法人等に委託している。障がい者等の地域での自立生活や社会参加の促進を図るため、事業の継続が必要。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	訪問入浴サービス事業	実施計画事業	訪問入浴サービス事業	終了年度	なし
----	----------	-----	------------	--------	------------	------	----

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実					地域生活支援事業費	1,996	
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実							
目	2		後期基本計画 46 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	52									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 訪問による居宅での入浴サービスを提供し、身体障がい者の身体の清潔の保持及び心身機能の維持等を図り、もって日常生活の支援、福祉の増進を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 訪問入浴介護員を派遣し、訪問入浴サービスを提供する。</p>	R3	訪問入浴介護員を派遣し、訪問入浴サービスを提供した。	R3計画 614	276			338
			当初予算 614	276			338
			決算額 908	400			508
	R4	訪問入浴介護員を派遣し、訪問入浴サービスを提供した。	R4計画 614	276			338
			当初予算 1,996	897			1,099
			決算額 1,292	582			710
	R5		R5計画 614	276			338
			当初予算 2,033	913			1,120
			決算額				
	R6		R6計画 614	276			338
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 614	276			338
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 3,070	1,380			1,690
			当初予算 4,643	2,086			2,557
			決算額 2,200	982			1,218

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標 1 実施箇所数		<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	箇所	目標値	1	1	1	1	1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	1	1			
		% 達成率				100	100				
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値					
		% 達成率									
D 成果指標 1 実利用者数		<input type="checkbox"/> 総合計画			人	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	1	1			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	100	100			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	20点	20点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		
		20点	20点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者及び事業内容が定められており、適切な事業運営が確保できると認められる民間事業所に事業を委託している。介護保険法の適用を受けられない日常生活を営むことに支障のある在宅の身体障がい者を対象としており、必要な事業として今後も継続していく。	障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者及び事業内容が定められており、適切な事業運営が確保できると認められる民間事業所に事業を委託している。介護保険法の適用を受けられない日常生活を営むことに支障のある在宅の身体障がい者を対象としており、今後も事業として継続が必要。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	日中一時支援事業	実施計画事業	日中一時支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実					地域生活支援事業委託料	10,238
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実						
目	2		後期基本計画	46	P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	52								

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 障がい者等の日中における活動の場を確保し、日常的に介護している家族の一時的な休息を支援する。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; 障がい者等を一時的に預かり、日常活動の場を提供するとともに、社会に適応するための恒常的な訓練を行う。</p>	R3	障がい者等を一時的に預かり、日常活動の場を提供するとともに、社会に適応するための恒常的な訓練を行った。	R3計画 4,282	1,926			2,356
			当初予算 4,282	1,926			2,356
			決算額 7,124	3,139			3,985
	R4	障がい者等を一時的に預かり、日常活動の場を提供するとともに、社会に適応するための恒常的な訓練を行った。	R4計画 7,200	3,240			3,960
			当初予算 10,238	4,606			5,632
			決算額 8,831	3,981			4,850
	R5		R5計画 7,200	3,240			3,960
			当初予算 10,038	4,516			5,522
			決算額				
	R6		R6計画 7,200	3,240			3,960
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 7,200	3,240			3,960
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 33,082	14,886			18,196
			当初予算 24,558	11,048			13,510
			決算額 15,955	7,120			8,835

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 実施箇所数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	11	箇所	目標値	11	11	11	11	11
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	9	8			
		% 達成率			81.8	72.7				
D 成果指標	1 実利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	21	人	目標値	20	20	20	20	20
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	25	28			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	125	140			
E 評価対象外の理由	0 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	20点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
		20点	20点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で対象者が定められており、適切な事業運営が確保できる指定障害福祉サービス事業所及び社会福祉法人等に事業を委託している。今後も必要な事業として継続していく。	障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で対象者が定められており、適切な事業運営が確保できる指定障害福祉サービス事業所及び社会福祉法人等に事業を委託している。利用者が増えており、今後も必要な事業として継続する。

事業	地域生活支援事業	細事業	自動車改造助成事業	実施計画事業	自動車改造助成事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額					
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実					期間	年度 ~ 年度	地域生活支援事業補助金	200			
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実					期間	年度 ~ 年度					
目	2	後期基本計画	46	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画				<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	52													

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
<p>&lt;事業の目的&gt; 身体障がい者に対して、自動車の改造に要する経費の一部を助成し、身体障がい者の社会活動への参加を促進する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 市内に住所を有し、身体障害者手帳の交付を受けている上肢、下肢又は体幹機能障害者であって、実施要綱の要件に該当するものへ自動車の改造に要する費用の一部を助成する。</p>	R3	市内に住所を有し、身体障害者手帳の交付を受けている上肢、下肢又は体幹機能障害者であって、実施要綱の要件に該当するものへ自動車の改造に要する費用の一部を助成した。	R3計画	200				200	
				当初予算	200				200
				決算額	50				50
	R4	市内に住所を有し、身体障害者手帳の交付を受けている上肢、下肢又は体幹機能障害者であって、実施要綱の要件に該当するものへ自動車の改造に要する費用の一部を助成した。	R4計画	200				200	
				当初予算	200				200
				決算額	100				100
	R5			R5計画	200				200
				当初予算	200				200
				決算額					
	R6			R6計画	200				200
				当初予算					
				決算額					
	R7			R7計画	200				200
				当初予算					
			決算額						
		R3 ~ R7 合計	計画額	1,000				1,000	
			当初予算	600				600	
			決算額	150				150	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
D 成果指標	1 自動車改造助成件数	<input type="checkbox"/> 総合計画		3	件	目標値	2	2	2	2
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	1	1		
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	50	50		
		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	12点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 身体障がい者の社会活動を促進するために必要な事業。今後も現行の予算内で事業を実施予定。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 身体障がい者の社会活動を促進するために必要な事業のため、今後も現行の予算内で事業を実施。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	地域活動支援センター事業	実施計画事業	地域活動支援センター事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (158)		会計 一般	政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策 5 障がい者福祉の充実			地域生活支援事業委託料	25,780
項	1	施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実				
目	2	後期基本計画 46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	52					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 就労等が困難な障がい者等を通所させ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進を図る。  <令和4年度の取組内容(計画)> (1) 地域活動支援センターII型 基礎的事業(地域活動支援センターの基本事業として、利用者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供等地域の実情に応じた支援を行った。以下同じ。)に加えて、地域において雇用、就労が困難な在宅障害者等に対し、機能訓練、社会適応訓練及び入浴サービス等の支援を行う。 (2) 地域活動支援センターIII型 基礎的事業に加えて、作業訓練、社会適応訓練等を中心とする事業を行い、小規模作業所として5年以上の運営実績がある法人等が実施する。	R3	1) 地域活動支援センターII型 基礎的事業(地域活動支援センターの基本事業として、利用者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供等地域の実情に応じた支援を行った。加えて、地域において雇用、就労が困難な在宅障害者等に対し、機能訓練、社会適応訓練及び入浴サービス等の支援を行った。	R3計画 24,441	3,150			21,291
	当初予算	24,441	3,150			21,291	
	決算額	24,989	2,930			22,059	
	R4	1) 地域活動支援センターII型 基礎的事業(地域活動支援センターの基本事業として、利用者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供等地域の実情に応じた支援を行った。加えて、地域において雇用、就労が困難な在宅障害者等に対し、機能訓練、社会適応訓練及び入浴サービス等の支援を行った。	R4計画 24,441	3,150			21,291
	当初予算	25,780	3,150			22,630	
	決算額	25,574	3,179			22,395	
	R5		R5計画 24,441	3,150			21,291
	当初予算	28,249	3,150			25,099	
	決算額						
	R6		R6計画 24,441	3,150			21,291
当初予算							
決算額							
R7		R7計画 24,441	3,150			21,291	
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 122,205	15,750			106,455
			当初予算 78,470	9,450			69,020
			決算額 50,563	6,109			44,454

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標 1 委託施設数		<input type="checkbox"/> 総合戦略	4	箇所	目標値	4	4	4	4	4
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4	4			
		% 達成率			100	100				
D 成果指標 1 事業利用者数		<input type="checkbox"/> 総合計画	22	人	目標値	22	22	22	22	22
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	22	24			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	109.1			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	22点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で事業内容等が定められており、適切な事業運営が確保できる社会福祉法人等に事業を委託している。地域において就労が困難な障がい者等に対して、自立と生きがいを高める必要不可欠な事業であり、今後も事業を継続していく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で事業内容等が定められており、適切な事業運営が確保できる社会福祉法人等に事業を委託している。地域において就労が困難な障がい者等に対して、自立と生きがいを高める必要不可欠な事業であるため、今後も継続していく。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	聴覚障害者支援事業	実施計画事業	聴覚障害者支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (158)															
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち					個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額					
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実						地域生活支援事業委託料	1,594					
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実						会計年度任用職員報酬	1,444					
目	2		後期基本計画	46	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画		<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>	社会保険料(会計年度任用職員分)	237
決算	52													期末手当	181

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 意思疎通を図ることに支障がある障がい者が、自立した日常生活又は社会生活を営めるよう支援を行い、意思疎通の円滑化を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・手話通訳者設置事業 ・手話通訳者及び要約筆記者派遣事業 ・手話奉仕員養成研修事業</p>	R3	・手話通訳者設置事業 ・手話通訳者及び要約筆記者派遣事業 ・手話奉仕員養成研修事業 以上事業を行った。	R3計画 3,780	1,701			2,079	
			当初予算 3,780	1,701			2,079	
			決算額 3,323	1,464			1,859	
	R4	・手話通訳者設置事業 ・手話通訳者及び要約筆記者派遣事業 ・手話奉仕員養成研修事業 以上事業を行った。	R4計画 3,780	1,701			2,079	
			当初予算 3,785	1,702			2,083	
			決算額 3,329	1,478			1,851	
	R5		R5計画 3,780	1,701			2,079	
			当初予算 3,651	1,642			2,009	
			決算額					
	R6		R6計画 3,780	1,701			2,079	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 3,780	1,701			2,079	
			当初予算					
		決算額						
		R3 ~ R7 合計	計画額 18,900	8,505			10,395	
			当初予算 11,216	5,045			6,171	
			決算額 6,652	2,942			3,710	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 手話奉仕員養成研修	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	手話奉仕員養成研修事業数	2	事業	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2	2			
	2 手話通訳者及び要約筆記者派遣	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	手話通訳者及び要約筆記者派遣数	78	件	目標値	101	101	101	101	101
						実績値	85	76			
					%	達成率	100	100			
					%	達成率	84.2	75.3			
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	目標値					
						実績値					
						達成率					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	目標値					
						実績値					
						達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	18点	5点	18点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。社会福祉課に手話通訳者1名を週4日配置するとともに手話通訳者及び要約筆記者の派遣を社会福祉法人大分県聴覚障害者協会に委託し実施している。聴覚障がい者等の社会参加を促進するため、今後も必要不可欠な事業として実施していく。	障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。社会福祉課に手話通訳者1名を週4日配置するとともに手話通訳者及び要約筆記者の派遣を社会福祉法人大分県聴覚障害者協会(以下、協会という。)に委託し実施している。聴覚障がい者等の社会参加を促進するため、今後も必要不可欠な事業として実施していく。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	その他地域生活支援事務費	実施計画事業	成年後見制度利用支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実					手数料	120			
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実					地域生活支援事業補助金	84			
目	2	後期基本計画	46	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画		<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	52											

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 成年後見制度の利用が必要と認められる障がい者に対して、成年後見制度利用の申立てに要する経費や後見人の報酬を助成するなど、成年後見制度の利用を支援する。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; 成年後見支援センターの職員と連携し、制度の相談及び支援に取り組む。</p>	R3	成年後見支援センターの職員と連携し、制度の相談及び支援に取り組んだ。	R3計画 204	91			113
			当初予算	204	91		113
			決算額				
	R4	成年後見支援センターの職員と連携し、制度の相談及び支援に取り組んだ。	R4計画 204	91			113
			当初予算	204	91		113
			決算額	1			1
	R5		R5計画 204	91			113
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 204	91			113
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 204	91			113
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,020	455		565	
			当初予算 408	182		226	
			決算額 1			1	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 成年後見制度利用支援 成年後見制度助成件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		件	目標値	1	1	1	1	1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略		%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	12点	3点	12点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。障がい者の権利擁護を図るため、今後も不可欠な事業として実施していく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 経済力・判断力が必要な方に対して、今後も必要な事業として成年後見支援センターと連携して成年後見制度の利用促進を図る。
--	--

事業	地域生活支援事業	細事業	その他地域生活支援事務費	実施計画事業	自動車運転免許取得助成事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (158)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	5 障がい者福祉の充実		地域生活支援事業補助金	100
款	3	施策	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実			
項	1	施策展開	後期基本計画 46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	2					
決算	52					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 身体障がい者に対して免許の取得に要する費用の一部を助成することにより、身体障がい者の就労等社会活動への参加を促進する。  <令和4年度の実績内容(計画)> 市内に住所を有する身体障がい者手帳を保持する者で、その他実施要綱の要件を満たす者へ、第一種普通自動車運転免許の取得に要する費用の一部を助成する。	R3	市内に住所を有する身体障がい者手帳を保持する者で、その他実施要綱の要件を満たす者へ、第一種普通自動車運転免許の取得に要する費用の一部を助成した。	R3計画 100				100	
				当初予算 100				100
				決算額 100				100
	R4	市内に住所を有する身体障がい者手帳を保持する者で、その他実施要綱の要件を満たす者へ、第一種普通自動車運転免許の取得に要する費用の一部を助成した。	R4計画 100				100	
				当初予算 100				100
				決算額 100				100
	R5		R5計画 100				100	
				当初予算 100				100
				決算額				
	R6		R6計画 100				100	
				当初予算				
				決算額				
	R7		R7計画 100				100	
				当初予算				
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 500				500	
			当初予算 300				300	
			決算額 200				200	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
D 成果指標	1 免許取得助成件数	<input type="checkbox"/> 総合計画		1	目標値	1	1	1	1	1	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1	1				
	2-	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100	100			
		<input type="checkbox"/> 総合計画			%	達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	18点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	18点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 身体障がい者の就労等社会参加を促進するために必要な事業。今後も現行の予算内で事業を実施していく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 身体障がい者の就労等社会参加を促進するために必要な事業。今後も現行の予算内で事業を実施していく。
---	--

事業番号	枝番
43014	4

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係
-----	-------	----	--------

事業	地域生活支援事業	細事業	その他地域生活支援事務費	実施計画事業	理解促進研修・啓発事業(福祉教室)	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	-------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (158)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実				
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実				
目	2	後期基本計画	46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	52						

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合える共生社会を目指し、障がいに対する理解の促進を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; 地域の団体や学校等によびかけし、障がい福祉教室を開催する。</p>	R3	地域の団体や学校等によびかけし、障がい福祉教室を開催した。	R3計画 90 当初予算 90 決算額 10	40			50
	R4	地域の団体や学校等によびかけし、障がい福祉教室を開催に取り組んだ。(実績なし)	R4計画 90 当初予算 90 決算額	40			50
	R5		R5計画 90 当初予算 90 決算額	40			50
	R6		R6計画 90 当初予算 決算額	40			50
	R7		R7計画 90 当初予算 決算額	40			50
	R3 ~ R7 合計			計画額 450 当初予算 270 決算額 10	200		250

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 障がい福祉教室	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1				
					% 達成率	100				
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1点		1点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1点	8点	1点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	/25点	—点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう共生社会を目指し、障がい者に対する理解の促進を図るため、必要な事業。内容について検討を行い、今後も必要な事業として継続していく。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう共生社会を目指し、障がい者に対する理解の促進を図るため、必要な事業。内容について検討を行い、今後も必要な事業として継続していく。</p>
--	---

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	障害程度区分認定等事務事業	実施計画事業	障害程度区分認定等事務事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (158)		会計 一般	政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指す	個別計画名	期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	5 障がい福祉の充実		期間 年度 ~ 年度	障害者自立支援認定審査会委員報酬	816
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実			手数料	624
目	2	後期基本計画	46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			費用弁償	69
決算	52					地域生活支援事業委託料	40

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等								
事業の目的と内容		年度	主な活動実績		財源内訳 (単位:千円)					
					事業費計	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に定める障害支援区分認定のために調査を実施し、医師の意見書を求め、それらの内容に基づいて認定審査会を開催する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 豊後大野市障害者自立支援認定審査会を定期的に開催。</p>		R3	豊後大野市障害者自立支援認定審査会を定期的に開催した。	R3計画	1,662				1,662	
				当初予算	1,662					1,662
				決算額	1,381					1,381
		R4	豊後大野市障害者自立支援認定審査会を定期的に開催した。	R4計画	1,662					1,662
				当初予算	1,586					1,586
				決算額	1,400					1,400
		R5		R5計画	1,662					1,662
				当初予算	1,643					1,643
				決算額						
		R6		R6計画	1,662					1,662
				当初予算						
				決算額						
		R7		R7計画	1,662					1,662
				当初予算						
		決算額								
		R3 ~ R7 合計		計画額	8,310				8,310	
				当初予算	4,891				4,891	
				決算額	2,781				2,781	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 豊後大野市障害者自立支援認定審査会	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
					実績値	12	12			
					% 達成率	100	100			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	20点	5点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>市町村は、介護給付費等の支給対象となる障害福祉サービスの支給申請があった場合、障害支援区分の認定を行うこととされており、その判定を行う審査会の運営及び認定に係る医師意見書等の聴取、認定調査に関する事務事業がある。令和4年度は障害支援区分の不服申立てはなく、公正に行うことができた。障害者総合支援法に基づく義務的な事業のため、今後も継続していく。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>市町村は、介護給付費等の支給対象となる障害福祉サービスの支給申請があった場合、障害支援区分の認定を行うこととされており、その判定を行う審査会の運営及び認定に係る医師意見書等の聴取、認定調査に関する事務事業があり公正に行えた。障害者総合支援法に基づく義務的な事業のため、今後も継続する。</p>
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	巡回支援専門員派遣事業	実施計画事業	巡回支援専門員派遣事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No. (158)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額					
款	3	施策	5 障がい福祉の充実												
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実												
目	2	後期基本計画	46	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画					<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	52														

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
<p>&lt;事業の目的&gt; 発達面で気になる子どもについて、発達障がいに関する知識を有する専門員が子育て支援施設等へ巡回支援を実施し、施設等の職員や障がい児の保護者等に対し、障がいや特性の早期把握、早期発見、早期対応のための助言等の支援を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 子育て支援施設等の支援を担当する職員や障がい児の保護者に対し、巡回による支援を基本とし、子育て支援施設等からの派遣依頼に応じて専門員を派遣する。また、必要に応じて、その他の方法(特定の場所を拠点とした面談や講習)による支援を行う。</p>	R3	子育て支援施設等の支援を担当する職員や障がい児の保護者に対し、巡回による支援を基本とし、子育て支援施設等からの派遣依頼に応じて専門員を派遣した。また、必要に応じて、その他の方法(特定の場所を拠点とした面談や講習)による支援を行った。	R3計画 当初予算 決算額	306 306 68	136 136 30			170 170 38	
	R4	子育て支援施設等の支援を担当する職員や障がい児の保護者に対し、巡回による支援を基本とし、子育て支援施設等からの派遣依頼に応じて専門員を派遣した。また、必要に応じて、その他の方法(特定の場所を拠点とした面談や講習)による支援を行った。	R4計画 当初予算 決算額	306 306 221	136 136 99			170 170 122	
	R5		R5計画 当初予算 決算額	306   	136   			170   	
	R6		R6計画 当初予算 決算額	306   	136   			170   	
	R7		R7計画 当初予算 決算額	306   	136   			170   	
	R3 ~ R7 合計			計画額 当初予算 決算額	1,530 612 289	680 272 129			850 340 160

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 委託事業所数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	件	目標値	1	1	1	1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	1	1		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値				
D 成果指標	1 巡回支援専門員の派遣	<input type="checkbox"/> 総合計画		4	件	目標値	18	18	18	18
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	4	13		
	2 -	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	22.2	72.2		
		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値								
<input type="checkbox"/> 個別計画		% 達成率								

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で事業内容及び実施方法等が定められており、適切な事業の運営が確保できる団体に事業の実施を委託している。国の制度改正により、令和5年度から地域障害児支援体制強化事業の補助事業となる。関係課と連携し、専門機関とつながっていない発達面で気になる子どもにも幅広いアドバイスする事業を継続していく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で事業内容及び実施方法等が定められており、適切な事業の運営が確保できる団体に事業の実施を委託している。専門機関につながっていない発達面で気になる子どもの支援に幅広い視点からアドバイスする事業であり今後も必要。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
44002	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係
-----	-------	----	--------

事業	障害福祉サービス事業	細事業	在宅重度障害者住宅改造助成事業	実施計画事業	在宅重度障害者住宅改造助成事業	終了年度	なし
----	------------	-----	-----------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (158)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額					
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実											
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実											
目	2	後期基本計画	46	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画				<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	53													

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 障がい者が生活しやすくするため住宅改造に要する費用の助成を行い、障がいがあっても自立した生活を送ることができるよう支援する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・制度の周知(市報) ・窓口対応</p>	R3	市報やホームページで制度の周知を実施した。	R3計画 800	400			400
			当初予算	800	400		400
			決算額				
	R4	市報やホームページで制度の周知を実施した。	R4計画 800	400			400
			当初予算	800	400		400
			決算額				
	R5		R5計画 800	400			400
			当初予算	800			800
			決算額				
	R6		R6計画 800	400			400
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 800	400			400
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 4,000	2,000			2,000
			当初予算 2,400	800			1,600
			決算額				

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値				
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値				
D 成果指標	1 助成件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	在宅重度障害者住宅改造助成件数	1	件	目標値	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率								
	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値								
		<input type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率							

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	10点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	1点	1点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
県の補助事業を活用した事業。令和4年度は事業の申請者がいなかったが、障がいのある人が自宅で安心して生活するために必要な事業として継続していく。	県の補助事業を活用した事業である。障がいのある方が自宅で安心して生活するために段差の解消等、そのための改修経費は多額を要することから、今後も事業として継続が必要。

I 令和6年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業	障害福祉サービス事業	細事業	重度心身障害者医療費給付事業	実施計画事業	重度心身障害者医療費助成事業	終了年度	なし
----	------------	-----	----------------	--------	----------------	------	----

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額							
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実							期間	年度 ~ 年度					
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実							期間	年度 ~ 年度					
目	2	後期基本計画	46	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画						<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	53															

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 心身に一定の障がいを持つ重度心身障害者に対し、その医療費の一部を助成することで保健の向上及び福祉の増進を図る  <令和4年度の取組内容(計画)> 申請受付、助成決定、支払業務等	R3	申請受付、助成決定、支払業務等 支給対象者数1,159人 給付件数25,670件	R3計画 120,000	60,000		1	59,999	
			当初予算 120,000	60,000		1	59,999	
			決算額 105,838	52,644		549	52,645	
	R4	申請受付、助成決定、支払業務等 支給対象者数1,109人 給付件数24,913件	R4計画 120,000	60,000			60,000	
			当初予算 110,400	55,200		1	55,199	
			決算額 101,086	50,219		647	50,220	
	R5		R5計画 120,000	60,000			60,000	
			当初予算 108,000	54,000			54,000	
			決算額					
	R6		R6計画 120,000	60,000			60,000	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 120,000	60,000			60,000	
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額 600,000	300,000		1	299,999	
			当初予算 338,400	169,200		2	169,198	
			決算額 206,924	102,863		1,196	102,865	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1,204	人	目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
D 成果指標	1 受給者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	1,204	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1,159	1,109			
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画	達成率	96.6	92.4					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	15点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 県の補助事業を活用した事業。医療機関の受診が多い重度心身障がい者に対して医療費を助成することは、精神的、経済的負担を軽減する。重度心身障がい者が地域で安心して暮らすために今後も必要な事業として継続していく。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 県の補助事業を活用した事業。医療機関の受診が多い重度心身障がい者に対して医療費を助成することで、精神的、経済的負担を軽減。重度心身障がい者が地域で安心して暮らすために今後も必要な事業である。
---	--

事業	障害福祉サービス事業	細事業	身体障害児(者)補装具給付事業	実施計画事業	身体障害児(者)補装具給付事業	終了年度	なし
----	------------	-----	-----------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (158)		個別計画名	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実	身体障害児(者)補装具給付費 13,800
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	
目	2	後期基本計画	46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	53			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 身体の欠損又は損なわれた身体機能を補完・代替する用具について、購入又は修理に要した費用を支給することで住みやすい環境の中で自立した生活を送ることができるよう支援する。  <令和4年度の取組内容(計画)> 申請受付、給付決定、支払業務等。	R3	申請受付、給付決定、支払業務等 者:87件 児:8件	R3計画 13,800	10,350			3,450
			当初予算 13,800	10,350			3,450
			決算額 8,363	7,431			932
	R4	申請受付、給付決定、支払業務等	R4計画 13,800	10,350			3,450
			当初予算 13,800	10,350			3,450
			決算額 9,036	6,777			2,259
	R5		R5計画 13,800	10,350			3,450
			当初予算 11,400	8,550			2,850
			決算額				
	R6		R6計画 13,800	10,350			3,450
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 13,800	10,350			3,450
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 69,000	51,750			17,250
			当初予算 39,000	29,250			9,750
			決算額 17,399	14,208			3,191

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 給付件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	130	件	目標値	130	130	130	130	130
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	95	109			
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	73.1	83.9			
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	16点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	16点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 法令に定められた事務であり、障がいのある方が日常生活や就労がしやすくなり、自立と社会参加に繋がる必要不可欠な事業。今後も継続して実施していく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 法令に定められた事務である。障がいのある方が自立と社会参加に繋がる必要不可欠な事業として、今後も継続が必要。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
44004	2

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係
-----	-------	----	--------

事業	障害福祉サービス事業	細事業	身体障害児(者)補装具給付事業	実施計画事業	軽度・中度聴覚障がい児支援事業	終了年度	なし
----	------------	-----	-----------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (158)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実		期間	年度 ~ 年度	身体障害児(者)補装具費給付費	60
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実					
目	2	後期基本計画	46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	53							

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 公的助成を受けられない軽度・中度の聴覚障がい児に対して補聴器の交付を行うことにより、早期からの言語発達やコミュニケーション能力の獲得及び学力向上を支援する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 申請受付、給付決定、支払業務等</p>	R3	申請受付、給付決定、支払業務等 給付件数 1件	R3計画 60	30			30
			当初予算	60	30		30
			決算額	77	38		39
	R4	相談受付等	R4計画 60	30			30
			当初予算	60	30		30
			決算額				
	R5		R5計画 60	30			30
			当初予算	60	30		30
			決算額				
	R6		R6計画 60	30			30
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 60	30			30
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 300	150		150	
			当初予算 180	90		90	
			決算額 77	38		39	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値					
		%				達成率					
C 活動指標	2	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値					
		%				達成率					
D 成果指標	1 給付人数	補聴器給付児童数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	人		目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
						%	達成率	100			
D 成果指標	2		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						%	達成率				

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	12点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1点	25点	1点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
県の補助事業を活用し、身体障害者手帳の交付対象とならない軽度又は中度の難聴児を支援している。令和4年度は対象児がいなかったが、補聴器を利用することによって、言語の習得、教育等で健やかな成長が期待できる事業であり、今後も継続が必要。	県の補助事業を活用し、身体障害者手帳の交付対象とならない軽度又は中度の難聴児を支援している。補聴器を利用することによって、言語の習得等が期待できる事業であり、今後も継続が必要。

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	障害福祉サービス事業	細事業	特別障害者手当等給付事業	実施計画事業	特別障害者手当等給付事業	終了年度	なし
----	------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (158)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実		期間	年度	～	年度	特別障害者手当等給付費	23,500	
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実		期間	年度	～	年度			
目	2	後期基本計画	46 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	53										

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 特別障害者手当:精神又は身体に著しく重度の障がい者有し、日常生活において常時特別の介護を必要とする特別障がい者に対して手当を支給することにより特別障がい者の福祉の向上を図る。</p> <p>障害者福祉手当:常時介護を必要とする重度障がい児に対して、手当を支給することにより特別障がい児の福祉の向上を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 申請受付、給付決定、支払業務等</p>	R3	市報やホームページ等で制度を周知。申請受付、給付決定、支払業務等を実施。	R3計画 24,905	18,678			6,227
			当初予算 24,905	18,678			6,227
			決算額 20,381	15,286			5,095
	R4	市報やホームページ等で制度を周知。申請受付、給付決定、支払業務等を実施。	R4計画 24,905	18,678			6,227
			当初予算 23,500	17,625			5,875
			決算額 20,885	15,516			5,369
	R5		R5計画 24,905	18,678			6,227
			当初予算 23,220	17,415			5,805
			決算額				
	R6		R6計画 24,905	18,678			6,227
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 24,905	18,678			6,227
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 124,525	93,390			31,135
			当初予算 71,625	53,718			17,907
			決算額 41,266	30,802			10,464

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略	904	件	目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
					%	達成率					
D 成果指標	1 支給件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	904	件	目標値	952	952	952	952	952	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	856	856				
	<input type="checkbox"/> 個別計画	%			達成率	89.9	89.9				
						%	達成率				
2-	<input type="checkbox"/> 総合計画	目標値									
	<input type="checkbox"/> 総合戦略	実績値									
					%	達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	14点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づく事業。市報やホームページ等で制度の周知に努めている。今後も在宅で重度の障がい者も常時介護を必要とする人の生活を支援するため、必要不可欠な事業として継続していく。	特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づく事業。市報やホームページ等で制度の周知に努めている。今後も在宅で重度の障がい者も常時介護を必要とする人の生活を支援するため、必要不可欠な事業。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業番号	枝番
44009	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係
-----	-------	----	--------

事業	障害福祉サービス事業	細事業	デイケア等交通費助成事業	実施計画事業	デイケア等交通費助成事業	終了年度	なし
----	------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (158)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実		期間	年度 ~ 年度		
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実		期間	年度 ~ 年度		
目	2	後期基本計画	46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	53							

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 在宅の精神障がい者がデイケア等へ通所するための交通費を助成することによりデイケア等の利用を促進し、精神障がい者の福祉の増進を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 申請受付、支給決定、支払業務等</p>	R3	申請受付、支給決定、支払業務等	R3計画 1,000 当初予算 1,000 決算額 561				1,000	
	R4	申請受付、支給決定、支払業務等	R4計画 1,000 当初予算 1,000 決算額 472				1,000	
	R5		R5計画 1,000 当初予算 1,000 決算額				1,000	
	R6		R6計画 1,000 当初予算 決算額				1,000	
	R7		R7計画 1,000 当初予算 決算額				1,000	
	R3 ~ R7 合計			計画額 5,000 当初予算 3,000 決算額 1,033				5,000 3,000 1,033

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値						
D 成果指標	1 支給件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	108	件	目標値	130	130	130	130	130	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	87	74				
	<input type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率			66.9	56.9					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値						
<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値									
		<input type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率								

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	14点	4点	14点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市の単独事業。市内に精神科の病院がないため、精神障がい者を経済的に支援を行うことは精神障がい者の福祉増進につながる重要な事業である。今後も事業を継続していく。	市内に精神科の病院がないため、精神障がい者を経済的に支援を行うことは精神障がい者の福祉増進につながる重要な事業である。市の単独事業ではあるが、精神障がい者を支援するためにも必要である。

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	障害福祉サービス事業	細事業	配食サービス事業	実施計画事業	配食サービス事業	終了年度	なし
----	------------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (158)		個別計画名	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実	配食サービス委託料 519
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	
目	2	後期基本計画	46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	53			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 食事の確保が困難な障がい者に対して、定期的に居宅を訪問して栄養のバランスをとれた食事を提供するとともに、安否を確認することにより、住み慣れた地域社会の中で引き続き生活していくことを支援し、福祉の向上を図る。  <令和4年度の取組内容(計画)> 申請受付、支給決定、支払業務等	R3	申請受付、支給決定、支払業務等	R3計画 519				519
			当初予算 519				519
			決算額 265				265
	R4	申請受付、支給決定、支払業務等	R4計画 519				519
			当初予算 519				519
			決算額 373	15			358
	R5		R5計画 519				519
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 519				519
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 519				519
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 2,595				2,595
			当初予算 1,038				1,038
			決算額 638	15			623

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 利用人数	<input type="checkbox"/> 総合計画		2	人	目標値 5	5	5	5	5
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率	3	3			
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	60	60			
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	12点	3点	12点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
65歳未満の在宅の障がい者の食の支援を行っている。今後も高齢者福祉課と連携して配食サービスの提供を図っていく。	65歳未満の在宅の障がい者の食の支援を行っていることから、市の単独事業であるが、今後も高齢者福祉課と連携して配食サービスの提供を図っていく必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
44011	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係
-----	-------	----	--------

事業	障害福祉サービス事業	細事業	障害福祉サービス事業	実施計画事業	介護給付・訓練等給付事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (157)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実				
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実				
目	2	後期基本計画	46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	53						

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付を行い、福祉の増進を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 申請受付、給付決定、支払業務等</p>	R3	申請受付、給付決定、支払業務等を遅滞なく実施した。	R3計画 1,211,178	908,383			302,795
			当初予算 1,211,178	908,383			302,795
			決算額 1,156,991	867,744			289,247
	R4	申請受付、給付決定、支払業務等を遅滞なく実施した。	R4計画 1,211,178	908,383			302,795
			当初予算 1,203,242	902,431			300,811
			決算額 1,187,441	888,180			299,261
	R5		R5計画 1,211,178	908,383			302,795
			当初予算 1,243,685	932,763			310,922
			決算額				
	R6		R6計画 1,211,178	908,383			302,795
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 1,211,178	908,383			302,795
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 6,055,890	4,541,915			1,513,975
			当初予算 3,658,105	2,743,577			914,528
			決算額 2,344,432	1,755,924			588,508

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標		<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値					
						実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				目標値					
						実績値					
D 成果指標	1 日中活動系サービス利用延人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	4,847	人		目標値	5,376	5,568	5,568	5,568	
						実績値	4,760	5,076			
						達成率	88.5	91.2			
	2	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%		目標値				
							実績値				
							達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	15点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 障害者総合支援法に基づく障がい者等に必要不可欠な事業。障がい者等の安定した暮らしの実現に貢献しており、今後も継続実施が必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 障害者総合支援法に基づく障がい者等に必要不可欠な事業。障がい者等の安定した暮らしの実現に貢献しており、今後も継続して行うことが必要。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業	障害福祉サービス事業	細事業	障害福祉サービス事業	実施計画事業	障害児通所給付通所給付事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図№→ (157)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実		障害福祉サービス費	179,644
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実			
目	2	後期基本計画	46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	53					

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 障がいが見出され、早期に療育が必要である子どもが、障がい児通所支援や相談支援体制の充実により、適切な時期に適切な療育を受けることができるようにする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 受給者へ障がい児通所支援(児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、障がい児相談支援等)の給付費を支給する</p>	R3	受給者へ障がい児通所支援(児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、障がい児相談支援等)の給付費を支給した。	R3計画 166,412	124,723			41,689	
			当初予算	166,300	124,723			41,577
			決算額	166,412	129,833			36,579
	R4	受給者へ障がい児通所支援(児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、障がい児相談支援等)の給付費を支給した。	R4計画 166,300	124,723			41,577	
			当初予算	179,644	134,733			44,911
			決算額	164,072	124,775			39,297
	R5		R5計画 166,300	124,723			41,577	
			当初予算					
			決算額					
	R6		R6計画 166,300	124,723			41,577	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 166,300	124,723			41,577	
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額 831,612	623,615			207,997	
			当初予算 345,944	259,456			86,488	
			決算額 330,484	254,608			75,876	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 児童発達支援利用延人数	<input type="checkbox"/> 総合計画	529	人	目標値	600	600	600	600	600
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	690	703			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	115	117.2			
	2 放課後等デイサービス利用延人数	<input type="checkbox"/> 総合計画	1,322	人	目標値	1,380	1,380	1,380	1,380	1,380
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1,455	1,401			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	105.4	101.5			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	17点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		17点	17点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 児童福祉法に基づき実施している。今後も必要な事業として継続していく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 児童福祉法に基づき実施している。今後も必要な事業として継続していく。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	46001
枝番	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係
-----	--------------	----	--------------

事業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	差別をなくす市民のつどい事業	実施計画事業	差別をなくす市民のつどい事業	終了年度	なし
----	---------------	-----	----------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (380)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度 豊後大野市部落差別解消推進教育・啓発基本計画 期間 H30 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現			講演委託料	200
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する			消耗品費	50
目	4	後期基本計画	94 P			託児業務委託料	17
決算	55					食糧費	2

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 大分県では、部落差別問題の早期解決を目指すことを目的に、同和対策審議会答申があった8月を「差別をなくす運動月間」と定め、啓発活動を集中的に実施しています。豊後大野市においても、この趣旨に則り、部落差別をはじめあらゆる差別の解消とお互いの人権が尊重された地域社会の実現を目的に「差別をなくす市民のつどい」を市内3会場でを行います。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 「差別をなくす市民のつどい」講演会 講師 絆創膏の会 大湾 昇さん 演題 出会いと表現～あることをないことにしない～ ①8月26日(金) 18:30～エイトピア ②8月27日(土) 10:00～神楽会館 ③8月27日(土) 13:30～大野公民館 その他、市報やCATV等を活用した広報・啓発活動(人権啓発パネル展)</p>	R3	「差別をなくす市民のつどい」講演会 講師 絆創膏の会 大湾 昇さん 演題 出会いと表現～あることをないことにしない～ 8/27～28 市内3会場で実施予定だったが、コロナ禍のため中止。 横断幕等の掲示と、人権パネル展(教科書無償化の運動、市内7公民館で2ヶ月間巡回)による啓発活動を行った。	R3計画 268 当初予算 268 決算額 35				268 268 35	
	R4	「差別をなくす市民のつどい」講演会 講師 絆創膏の会 大湾 昇さん 演題 出会いと表現～あることをないことにしない～ 8月26日(金) エイトピア 8月27日(土) 神楽会館・大野公民館 ・377名参加、関心・理解度93.6% その他、市報やCATV等を活用した広報・啓発活動(人権啓発パネル展「水戸社100年の今 私たちにできること」8/7～10/7)	R4計画 269 当初予算 269 決算額 259				269 269 259	
	R5		R5計画 268 当初予算 269 決算額				268 269	
	R6		R6計画 268 当初予算 決算額				268	
	R7		R7計画 268 当初予算 決算額				268	
	R3 ~ R7 合計			計画額 1,341 当初予算 806 決算額 294				1,341 806 294

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 講演会の実施箇所数 市内3会場で実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略	453	会場	目標値	3	3	3	3	3
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値		3			
		% 達成率				100				
D 成果指標	1 参加者数 講演会への参加者数(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画	82.3	人	目標値	460	480	500	520	540
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値		377			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率		78.5			
2 アンケート結果	アンケート結果で関心・理解が深まった割合(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画	82.3	%	目標値	84	86	88	90	92
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値		93.7			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率		109			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	24点	5点	24点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>講師 大湾昇さんは、部落差別問題やいじめの問題に精通されており、差別やいじめをなくすための熱い思いを3会場で語っていただいた。参加した市民の皆さんには、地域の中で子どもたちや高齢者の居場所になれる自分をめざすきっかけになった。 参加者377名、関心・理解度が深まった93.7%、満足度97.7%。 「水戸社100年の今、私たちにできること」と題しての人権啓発パネル展は、7公民館で実施し、市民啓発を進めることができた。 今後も、部落差別問題を中心課題として、あらゆる差別の解消に向け講演会やパネル展などを実施し、正しい理解の浸透と豊かな人権感覚を養っていきたい。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>人権啓発については、行政が主体的に実施すべき取組であり、今後も各団体や関係機関と連携を図り、着実に啓発事業を進めていく必要がある。特に社会が多様化、複雑化する中、市民の人権課題に関する正しい理解や認識を深め、丁寧な啓発活動に取り組んでいく。</p>
---	---

I 令和6年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

事業番号	46002
枝番	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係
-----	--------------	----	--------------

事業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	人権を守る市民のつどい事業	実施計画事業	人権を守る市民のつどい事業	終了年度	なし
----	---------------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (376)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現							
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する							
目	4	後期基本計画	94 P					<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	55									
		A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 1948(昭和23)年12月10日に国連で採択された「世界人権宣言」を記念して、12月4日から10日までの1週間を「人権週間」と定め、広く国民に人権意識の高揚を呼びかけている。豊後大野市でもこの趣旨に則り、あらゆる差別の解消と、お互いの人権が尊重された地域社会の実現を目的に、「人権を守る市民のつどい」事業や人権講座等を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 「人権を守る市民のつどい」 12月10日(土)10時~ エイトピアおおの 第1部 人権標語・ポスター表彰式 第2部 人権講演会 講師 劇団一人ぼっち 「LETTER(幸せの手紙)」</p> <p>そのほか、各地域人権教育・啓発推進協議会による人権講座</p>	R3	「人権を守る市民のつどい」 12月4日(土)10時~ エイトピアおおの 第1部 人権標語・ポスター表彰式 第2部 人権講演会 講師 中西麻耶さん 「あきらめない心」 そのほか、各地域人権教育・啓発推進協議会による人権講座 ・11/17 大野 石川美津子「部落差別とわたし」、職員による多様な性について ・12/2 朝地 谷口久枝さん「つながるいのち・つながる心」 ・12/3 大野 大野 大野 大野「出会いと表現~あることをないことにしない~」	R3計画	293	100			193
	当初予算	293	100			193		
	決算額	241	106			135		
	R4	「人権を守る市民のつどい」 12月10日(土) エイトピアおおの 第1部 人権標語・ポスター表彰式 第2部 人権講演会 講師 劇団一人ぼっち 演題「LETTER(幸せの手紙)」 ・238名参加、関心・理解度94.3% そのほか、各地域人権教育・啓発推進協議会による人権講座	R4計画	293	100			193
	当初予算	294	100			194		
	決算額	197	100			97		
	R5		R5計画	293	100			193
	当初予算	294	100			194		
	決算額							
	R6		R6計画	293	100			193
	当初予算							
	決算額							
	R7		R7計画	293	100			193
	当初予算							
	決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額	1,465	500			965
			当初予算	881	300			581
			決算額	438	206			232

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 講演会、人権講座の開催回数 講演会、人権講座の開催回数(令和7年度)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	7	回	目標値	7	7	7	8	8
					実績値	4	3			
					% 達成率	57.1	42.9			
D 成果指標	1 参加者数 つどいの参加者数(令和7年度)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	175	人	目標値	200	220	250	270	300
					実績値	297	238			
					% 達成率	148.5	108.2			
2 アンケート結果 つどいのアンケート結果で関心・理解が深まった割合(令和7年度)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	94	%	目標値	94.5	95	95	95	95	
				実績値	89	94.3				
				% 達成率	94.2	99.3				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	21点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
劇団一人ぼっちさんの公演は、外国人差別、部落差別、一人親家庭への差別など様々な許せない差別の現実を一人芝居の中で熱く演じていただき、参加者の人権意識の高揚を図ることができた。238名が参加され、アンケートの結果、関心・理解が深まった94.3%、満足度94.8%であった。また、各町の地域人権教育・啓発推進協議会による人権講座においても、専門の講師により地域住民の人権意識の高揚を図ることができた。今後も、市民の人権意識の高揚を図るため、様々な人権課題の解決につながる講演会や講座等を行う。	市民がさまざまな人権問題について理解を深めることで、差別やいじめなどの人権侵害のない社会の構築につながるから、多様化する人権課題に対し、より多くの市民が人権について理解を深め、考える機会を提供できる方法について検討していく。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
46003	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係
-----	--------------	----	--------------

事業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	人権ポスター、標語募集事業	実施計画事業	人権ポスター、標語募集事業	終了年度	なし
----	---------------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (376)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現					
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する					
目	4	後期基本計画	94 P					<input type="checkbox"/> 過疎計画
決算	55						印刷製本費	366
						記念品代	84	
						人権問題講師団会議謝礼金	56	
						消耗品費	10	

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 市民にとって幅広く「人権」について考えるきっかけや、市民の人権意識の高揚を図ることを目的に、「人権を守り、差別をなくす」標語及びポスターを募集する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 「人権を守り、差別をなくす」標語及びポスターの募集 【募集期間】 市内小中高校 5月1日~9月30日 一般その他 8月1日~9月30日</p> <p>市人権問題講師、美術指導経験者による審査により、優秀賞と入選作品を選び、12月の「人権を守る市民のつどい」で表彰。 優秀賞・入選作品のポスターやリーフレットを作成し、市内各学校や公共施設等に掲示。 リーフは市内全戸配布。</p>	R3	「人権を守り、差別をなくす」標語及びポスターの募集 【募集期間】 市内小中高校 5月1日~9月30日 一般その他 8月1日~9月30日 ポスターに170人、標語に2538人が取り組んでいただき、審査により優秀賞12点と入選作品を表彰した。 優秀賞・入選作品は、「ポスターやリーフレットにして、全戸配布や学校・公共施設等に掲示し、啓発した。」	R3計画	521	237		284
	当初予算	521	237		284		
	決算額	317	231		86		
	R4	「人権を守り、差別をなくす」標語及びポスターの募集 ・応募 ポスター273点、標語2483点 優秀賞と入選作品を選び、12月の「人権を守る市民のつどい」で表彰。 優秀賞・入選作品のポスターやリーフレットを作成し、市内各学校や公共施設等に掲示。リーフは市内全戸配布し啓発した。	R4計画	521	237		284
	当初予算	521	237		284		
	決算額	334	237		97		
	R5		R5計画	521	237		284
	当初予算	521	237		284		
	決算額						
	R6		R6計画	521	237		284
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画	521	237		284
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額	2,605	1,185		1,420
			当初予算	1,563	711		852
			決算額	651	468		183

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 募集の周知	募集の周知回数(市報、HP、校長会、差別をなくす市民のつどい等 令和7年度)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	4	回	目標値	4	4	5	5	6
						実績値	4	4			
						% 達成率	100	100			
2 審査会	審査会の回数(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1	
					実績値	1	1				
					% 達成率	100	100				
D 成果指標	1 応募数	ポスター応募総数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	124	枚	目標値	127	131	134	137	140
						実績値	150	273			
						% 達成率	118.1	208.4			
	2 応募数	人権標語応募総数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2,579	点	目標値	2,590	2,600	2,610	2,620	2,630
						実績値	2,538	2,483			
						% 達成率	98	95.5			

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	3点
		21点	21点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
小中学生、三重総合高校生徒を中心に2400点以上の人権標語の応募があった。市民にとって、身近な人権について考えるきっかけになったと考える。今回の応募作品もは、コロナ禍での人権課題、いじめやスマホの問題、性の多様性などを敏感に捉えた作品が多かった。人権を守る市民のつどいで、優秀賞のみを表彰したが、参加者からは好評であった。優秀作品のポスターやリーフを全戸配布等しているため、今後も市民が身近なところで人権感覚を磨ききっかけになると考える。	差別のない明るい地域社会の実現に向けて、市民にとって幅広く「人権」について考えるきっかけとなり人権意識の高揚を図るため引き続き効果的な取り組みを推進していく必要がある。関係団体との連携協力による啓発活動を継続することで人権意識の高揚を図る。

I 令和6年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
46004	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係
-----	--------------	----	--------------

事業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	人権研修事業	実施計画事業	人権研修事業	終了年度	なし
----	---------------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.1 (376)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称 講師謝礼金 実費弁償	当初予算額 45 40	
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現				
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する				
目	4	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	55				期間	年度 ~ 年度	

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 部落差別をはじめあらゆる差別の解消と、お互いの人権が尊重された地域社会の実現のために、人権研修講師の派遣や紹介等を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 各種団体や企業に人権研修を呼びかけ、その研修に講師を派遣したり、講師の紹介を行う。人権問題講師の育成(県の研修会等)。</p>	R3	各種団体や企業に人権研修を呼びかけ、その研修に講師を派遣したり、講師の紹介を行う。令和3年度は、派遣が9件、紹介が7件となっている。コロナ禍のため、計画していたが、中止になっている。市内47社には、人権研修の講師派遣制度について毎年案内を出している。	R3計画 85 当初予算 85 決算額				85	
	R4	各種団体や企業に人権研修を呼びかけ、その研修に講師を派遣したり、講師の紹介を行う。令和4年度は、派遣が17件、紹介が6件。市内47社には、人権研修の講師派遣制度等について毎年案内している。	R4計画 85 当初予算 85 決算額				85	
	R5		R5計画 85 当初予算 85 決算額				85	
	R6		R6計画 85 当初予算 決算額				85	
	R7		R7計画 85 当初予算 決算額				85	
	R3 ~ R7 合計			計画額 425 当初予算 255 決算額				425 255

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 各種団体や企業への呼びかけ数	各種団体や企業への人権研修呼びかけ数(令和7年度末)	47	社	目標値	47	48	49	50	51
					実績値	47	47			
					% 達成率	100	97.9			
2 人権問題講師数	人権問題講師の人数(令和7年度末)	12	人	目標値	12	12	13	13	13	
				実績値	12	12				
				% 達成率	100	100				
D 成果指標	1 講師の派遣・紹介数	人権研修の講師派遣・紹介数	20	回	目標値	21	22	25	27	29
					実績値	16	23			
					% 達成率	76.2	104.6			
					2 -	目標値				
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		19点	19点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 団体や企業への人権研修は、派遣が17件、紹介を6件行った。部落差別解消法の周知や、令和3年度に実施した人権問題に関する市民意識調査結果から考える身近な人権課題など、あらゆる差別の解消に向けた正しい理解と、人権意識の高揚が図られた。今後も、市内の団体や企業に人権研修の重要性を理解していただきながら、講師派遣制度の紹介も重ねていく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 人権を尊重し、あらゆる差別のない住みよい社会の実現をめざすとともに企業等の自主・自発的な人権研修の推進を図ることが必要である。また、派遣事業講師の周知・広報を強化するとともに、企業・団体等からの講師派遣要請に対応できるよう講師派遣事業の充実を図る。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
46005	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係
-----	--------------	----	--------------

事業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	人権・部落差別解消推進事務事業	実施計画事業	社会を明るくする運動推進委員会補助事業	終了年度	なし
----	---------------	-----	-----------------	--------	---------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (382)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度	令和4年度主な歳出名称 社会を明るくする運動推進委員会補助金	当初予算額 100
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現			
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する			
目	4	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	55					

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 社会を明るくする運動豊後大野市推進委員会を組織し、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築く。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 社会を明るくする運動豊後大野市推進委員会を組織している(会長は市長)。</p> <p>○社会を明るくする運動メッセージ伝達式 ○キャンペーンの実施 ハーレークラブによる広報、キャンペーン車等による市内広報、市内小中学校へ社明作文の依頼と啓発用品の配布 ○豊後大野市大会(社明作文の発表、講演会)の実施 7月11日エイトピアおおの ○広報活動</p>	R3	<p>社会を明るくする運動豊後大野市推進委員会を組織している(会長は市長)。</p> <p>○社会を明るくする運動メッセージ伝達式 ○キャンペーンの実施 ○キャンペーン車等による市内広報、市内小中学校へ社明作文の依頼と啓発用品の配布 ○豊後大野市大会(社明作文の発表、講演会)の実施 7月11日エイトピアおおの ○広報活動</p>	R3計画 100 当初予算 100 決算額 53				100	
	R4	<p>社会を明るくする運動豊後大野市推進委員会を組織している(会長は市長)。</p> <p>○社会を明るくする運動メッセージ伝達式 ○キャンペーンの実施 ハーレークラブによる広報、キャンペーン車等による市内広報、市内小中学校へ社明作文の依頼と啓発用品の配布 ○豊後大野市大会(社明作文の発表、講演会)の実施 7月16日エイトピアおおの ・189名参加 ○広報活動</p>	R4計画 100 当初予算 100 決算額 67				100	
	R5		R5計画 100 当初予算 100 決算額				100	
	R6		R6計画 100 当初予算 決算額				100	
	R7		R7計画 100 当初予算 決算額				100	
	R3 ~ R7 合計			計画額 500 当初予算 300 決算額 120				500 300 120

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 広報活動	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	回	目標値	3	3	4	4	4
					実績値	3	4			
					% 達成率	100	133.3			
D 成果指標	1 参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	320	人	目標値	140	150	350	160	165
					実績値	123	189			
					% 達成率	87.9	126			
E	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>豊後大野市では、保護司会、更生保護女性会、BBS会、協力雇用主会が多年にわたって更生保護関係団体として、地域活動に取り組んでいただいている。市が10万円、保護司会が13万円を出し合って、社会を明るくする運動豊後大野市推進委員会として啓発活動や講演会等を実施しており、7月の強調月間を中心に各種啓発活動を行い、市民理解の促進を図った。昨年3月に策定した再犯防止計画に沿った取り組みも行っている。今後も、更生保護関係団体と協力しながら、安全で安心なまちづくりを推進する。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>犯罪のない誰もが安心して生活できる社会を実現するため、関係団体と協力しながら事業を推進する必要がある。また、関係団体が円滑に職務を遂行できるよう引き続き更生保護活動を支援する必要がある。</p>
---	--

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業番号	46005
枝番	2

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係
-----	--------------	----	--------------

事業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	人権・部落差別解消推進事務事業	実施計画事業	地域人権教育啓発推進協議会補助事業	終了年度	なし
----	---------------	-----	-----------------	--------	-------------------	------	----

総合計画体系図№→ (376)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現					
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する					
目	4	後期基本計画	94 P					<input type="checkbox"/> 過疎計画
決算	55						地域人権教育啓発推進協議会補助金	1,260

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 部落差別をはじめあらゆる差別の解消と、お互いの人権が尊重された地域社会の実現を目的に、地域ぐるみ(町毎)での自主的な学習・啓発活動を支援する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 各町の地域人権教育・啓発推進協議会による地域ぐるみでの自主・自発的な人権学習・啓発活動。各町の代表による連絡会議を組織し、連携・情報共有を行う。</p>	R3	7町の地域人権教育・啓発推進協議会による地域ぐるみでの自主・自発的な人権学習・啓発活動を行っている。各町の代表による連絡会議を組織し、連携・情報共有もしている。	R3計画 1,260				1,260
			当初予算 1,260				1,260
			決算額 831				831
	R4	7町の地域人権教育・啓発推進協議会による地域ぐるみでの自主・自発的な人権学習・啓発活動を実施。各町の代表による連絡会議を組織し、連携・情報共有も行った。	R4計画 1,260				1,260
			当初予算 1,260				1,260
			決算額 902				902
	R5		R5計画 1,260				1,260
			当初予算 1,260				1,260
			決算額				
	R6		R6計画 1,260				1,260
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 1,260				1,260
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 6,300				6,300
			当初予算 3,780				3,780
			決算額 1,733				1,733

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 連絡協議会の開催数	連絡協議会の開催回数(令和7年度)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2	2			
						%	達成率	100	100		
D 成果指標	1 講座・講演会等の参加者数	講座・講演会等の参加者数(令和7年度)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,056	人	目標値	1,070	1,200	1,400	1,600	1,800
						実績値	1,264	1,562			
						%	達成率	118.1	130.2		
E 評価対象外の理由	0 評価対象					目標値					
						実績値					
						%	達成率				

(対象外事業はF~I欄未記入可)

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	5点	23点	25点
	なっていない ⇒ なっている			
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		
	優先度低い ⇒ 優先度高い			
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		
できなかった ⇒ できた				
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点			
1 → 2 → 3 → 4 → 5				
推移していない ⇒ 推移した				
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点			
1 → 2 → 3 → 4 → 5				
推移していない ⇒ 推移した				

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

この協議会は平成21年度から設置され、部落差別問題をはじめあらゆる差別の解消に向け、地域ぐるみで自主的な学習・啓発活動を行うことにより、人権尊重の精神に富んだ明るく住みよいまちづくりに寄与することを目的としている。各町で地域ごとに精通した団体代表や、人権擁護委員、人権問題講師団、福祉団体等の方が委員となり、各町独自の啓発活動や講演会などを行い、様々な差別の解消に向け尽力いただいている。今後も自治会やサロン、学校、職場など地域の小さい単位での学習や啓発活動を行い、差別のない明るいまちづくりを進める。また、各町の役員による連絡会議を開催し、情報共有や連携を深める。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

地域ぐるみでの自主・自発的な人権学習は「身近な人権について」から考える機会となり効果的な啓発活動である。全ての人の人権が尊重される差別のない社会の実現に向け引き続き人権啓発の推進を図ることが必要である。

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業番号	46005
枝番	3

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係
-----	--------------	----	--------------

事業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	人権・部落差別解消推進事務事業	実施計画事業	部落解放同盟大分県連合会大野支部補助事業	終了年度	なし
----	---------------	-----	-----------------	--------	----------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (380)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度 豊後大野市部落差別解消推進教育・啓発基本計画 期間 H30 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称 部落解放同盟連絡協議会補助金 1,200	当初予算額 1,200
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現			
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する			
目	4	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	55					

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 部落差別をはじめあらゆる差別の解消と、お互いの人権が尊重された地域社会の実現を目的に、運動団体の活動を支援する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 運動団体は、部落差別問題の完全解消に向け、様々な啓発活動に取り組むとともに、各種研修会等に参加している。市は、運動団体と定期協議を行い、情報交換等を行っている。</p>	R3	運動団体は、部落差別問題の完全解消に向け、様々な啓発活動に取り組むとともに、各種研修会等に参加している。令和3年度はコロナ禍により活動が制限されている。市は、運動団体と情報交換等を行っている。	R3計画 1,200 当初予算 1,200 決算額 164				1,200	
	R4	運動団体は、部落差別問題の完全解消に向け、様々な啓発活動に取り組むとともに、各種研修会等に参加している。基本計画の改定等でも連携。市は、運動団体と定期協議を行い、情報交換等を行っている。	R4計画 1,200 当初予算 1,200 決算額 358				1,200	
	R5		R5計画 1,200 当初予算 1,200 決算額				1,200	
	R6		R6計画 1,200 当初予算 決算額				1,200	
	R7		R7計画 1,200 当初予算 決算額				1,200	
	R3 ~ R7 合計			計画額 6,000 当初予算 3,600 決算額 522				6,000 3,600 522

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 運動団体との定期協議	運動団体との定期協議回数(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	2	回	目標値	2	2	2	2	2
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値		1			
		% 達成率				50				
D 成果指標 1 人権を学ぶ子ども会等への参加	人権を学ぶ子ども会等地域の子どもたちとの関わりへの参加回数	<input type="checkbox"/> 総合計画	2	回	目標値	2	2	3	4	5
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	6	6			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	300	300			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	20点	4点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		3点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点
			20点	20点
			25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 人権を尊重し、あらゆる差別のない住みよい社会の実現をめざすため、大野支部が行う事業に対し、補助金を交付している。令和4年度もコロナ禍により、各種研修会等が中止となったため多くの活動ができていないが、人権を学ぶ子ども会や、高校生人権学習会、甘藷植え付け体験など地域交流事業等に積極的に参加いただき、地域の子どもたちを励ましていただいた。 大野支部との意見交換会も行い、情報交換等もしている。 今後も部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向け、大野支部の活動に対し予算の範囲内で支援したい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 部落差別のない社会を実現するためには、地域社会の実情を踏まえつつ、部落差別の解消に関する施策を実施する必要があり、目的や基本理念を共有でき、かつ具体的な地域社会での活動実績が伴う団体へ支援し円滑な事業実施を図る。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	男女共同参画事業	細事業	男女共同参画社会啓発事業	実施計画事業	男女共同参画社会啓発事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (383)										
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第2次豊後大野市男女共同参画基本計画(改訂版) 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称		当初予算額		
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現			講師謝礼金	230			
項	1	施策展開	②男女共同参画社会づくりを推進する			男女共同参画推進協議会委員謝礼金	138			
目	4	後期基本計画	94 P			<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	実費弁償	105
決算	56								消耗品費	65

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 男女共同参画社会の実現に向けて、人権尊重・男女平等の意識を育てる啓発・教育を推進する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画市民のつどい、市民講座、出前講座の実施及び市報、広報誌、ケーブルテレビ、ホームページ等各種媒体において啓発を実施する。また、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を導入したことから、多様な性のあり方について重点的に啓発を行う。</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>第15回男女共同参画市民のつどいを開催 参加者 一般171人 実行委員等関係者31人</li> <li>男女共同参画啓発講座等の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民講座 1回 参加者13人</li> <li>癒しのコンサート 参加者 一般158人 実行委員等関係者13人</li> <li>放課後チャレンジ教室 5カ所 参加者 93人</li> <li>パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度導入関連啓発・研修等 29回 参加者703人</li> </ul> </li> </ul>	R3計画	923				923
	当初予算	923					923	
	決算額	853					853	
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>第16回男女共同参画市民のつどいを開催 参加者 一般172人 実行委員会等関係者27人</li> <li>男女共同参画啓発講座等の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民講座 5回 参加者 183人</li> <li>癒しのコンサート 参加者 一般162人 実行委員等関係者 8人</li> <li>放課後チャレンジ教室 7カ所 参加者 112人</li> <li>男女共同参画出前講座 5カ所 参加者 73人</li> </ul> </li> </ul>	R4計画	773				773
	当初予算	725					725	
	決算額	445					445	
	R5			R5計画	773			773
	当初予算	725					725	
	決算額							
	R6			R6計画	773			773
当初予算								
決算額								
R7			R7計画	2,273			2,273	
当初予算								
決算額								
R3 ~ R7 合計			計画額	5,515			5,515	
			当初予算	2,373			2,373	
			決算額	1,298			1,298	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 啓発講座や講演会の回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	9	回	目標値	16	17	18	19	20
					実績値	8	18			
	% 達成率	50	105.9							
2 各種審議会等委員の女性登用率	各種審議会・委員会等委員の女性登用状況調査(毎年実施)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	34.5	%	目標値	38	41	44	47	50
					実績値	36.4	35.9			
					% 達成率	95.8	87.6			
D 成果指標	1 社会全体において男女が平等と感じる割合	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	17.5	%	目標値					30
					実績値					
	% 達成率									
2 「男は仕事、女は家庭」という考え方に同調しない人の割合	令和7年度に実施する市民意識調査(5年に1度実施)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	72.1	%	目標値					75
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	21点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
令和4年度は、コロナ禍ではあったが感染対策を講じつつ啓発事業を行うことができた。市民講座では、男女共同参画基本計画の重点目標に沿った内容の様々なジャンルの講座を行い、参加者が固定化しないように努めた。また、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度導入に伴い、制度の周知および性の多様性の理解について、各種団体に向き積極的な研修会・講座の実施に努めた。今後も、あらゆる場面・世代等において男女共同参画社会が浸透していくよう啓発事業を継続する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
女性の登用やワークライフバランスの推進など、男女が共に働きやすい環境作りや多様化する生き方・働き方に対応し、誰もが自分らしい生活を送ることができる男女共同参画社会の形成を促進するため、関係課や関係機関との連携を図るとともに、あらゆる手段を検討するなど丁寧な事業実施に努め、着実な男女共同参画事業の推進に取り組んでいく必要がある。また、性的マイノリティに対する理解を深めるため啓発活動を推進する。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館運営事業	実施計画事業	地域交流事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	--------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現			費用弁償(会計年度任用職員分)	75
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する			講師謝礼金	30
目	5	後期基本計画	94 P			実費弁償	19
決算	57	過疎計画	<input type="checkbox"/>			消耗品費	10

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 第2種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む 相談事業や文化・教育及び人権に関する学習会を通じて部落差別問題をはじめさまざまな人権課題の解決に取り組む</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 自立支援等のための訪問活動を実施し地域福祉の推進を図る 休日開館や各種クラブ活動、レクリエーション、教養、文化活動等各種講座を開催し、地域住民相互の交流・促進を図る ・相談事業(随時) ・交流促進講座(ヨガ教室)4回開催予定 ・児童館児童と地区住民の交流 甘藷植付け収穫体験 植付け体験 令和4年6月予定 収穫体験 おいも収穫祭 令和4年11月予定 ・休日等開館 24日開館予定</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流促進ヨガ教室(4回 延べ272人)</li> <li>地域交流促進事業(甘藷植付け及び収穫体験、おいも収穫祭 延べ132名)</li> <li>休日開館(25日)</li> </ul>	R3計画	36	27			9
	当初予算	36	27			9		
	決算額	32	2			30		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域交流促進事業(甘藷植付け及び収穫体験 延べ22名)</li> <li>休日開館(24日)</li> </ul>	R4計画	36	27			9
	当初予算	134	100			34		
	決算額	93	47			46		
	R5		R5計画	36	27			9
	当初予算	122	91			31		
	決算額							
	R6		R6計画	36	27			9
	当初予算							
	決算額							
	R7		R7計画	36	27			9
	当初予算							
決算額								
R3 ~ R7 合計			計画額	180	135			45
			当初予算	292	218			74
			決算額	125	49			76

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 広報啓発活動	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
					実績値	12	12			
	% 達成率	100	100							
2 参加者数	交流事業の参加者数(甘藷植付け収穫体験、おいも収穫祭)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	130	人	目標値	120	120	120	120	120
					実績値	132	22			
					% 達成率	110	18.3			
D 成果指標	1 発行回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
					実績値	12	12			
	% 達成率	100	100							
2 参加者数	地域交流促進のため休日開館を含む交流事業の参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	130	人	目標値	120	120	120	120	120
					実績値	104	85			
					% 達成率	86.7	70.8			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	24点	5点	24点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 仮事務所への移転、コロナ禍の影響で縮小したり実施出来なかった事業もあった。5年度以降は新しい施設において事業を推進する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 「隣保館設置運営要綱」に基づき、福祉と人権の拠点施設として事業を展開しているが、その基本として部落差別問題の解決をめざす人材や組織の育成が大切であり地域コミュニティの活性化につながる事業として必要である。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館運営事業	実施計画事業	調査研究事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	--------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称 調査研究事業謝礼金 消耗品費 実費弁償	当初步算額 84 66 7
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現			
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する			
目	5	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	57					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 第2種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む 相談事業や文化・教育及び人権に関する学習会を通じて部落差別問題をはじめさまざまな人権課題の解決に取り組む</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 専門的知識のある有識者を活用し、基礎となるデータ収集を行うとともにあらゆる隣保館事業の基礎となる地域の実態把握するため地域住民の生活の実態を調査し、生活の改善向上を図る ・社会調査及び研究事業調査研究会3回開催予定 ・地域の実情に応じた実態調査の実施</p>	R3	調査研究会(1回) 相談(388回)	R3計画 115 当初予算 115 決算額 25	86			29
	R4	調査研究会(1回) 相談(385回)	R4計画 115 当初予算 157 決算額 69	86			29
	R5		R5計画 115 当初予算 157 決算額	86	117		29
	R6		R6計画 115 当初予算 決算額	86			29
	R7		R7計画 115 当初予算 決算額	86			29
	R3 ~ R7 合計			計画額 575 当初予算 429 決算額 94	430		145

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2	
					実績値	1	1				
	% 達成率	50	50								
2 相談件数	来館・訪問等による受付件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	480	回	目標値	480	480	480	480	480	
					実績値	388	385				
					% 達成率	80.8	80.2				
D 成果指標	1 利用者延べ人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	1,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
					実績値	1,068	1,268				
					% 達成率	106.8	63.4				
	2 相談件数	定期訪問活動回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	600	600	600	600	600
						実績値	653	667			
						% 達成率	108.8	111.2			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	20点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
調査研究会を1回実施し、啓発資料のまとめに向けて事務局案を提示することができた。相談事業については、健康相談が7割を占めている。単身高齢者などへの重点的な訪問をするなど、今後も地域の状況を把握し、適確な支援に繋げていくことが必要と考えられる。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
相談事業や調査研究事業は、隣保館事業の軸となるものであり本事業の必要性は非常に高い。地域課題である高齢化が一段と進行していく状況に対応するため、さらなる相談事業の充実や福祉の向上をめざすことが必要である。また、実態調査については、関係部署・関係団体との連携強化を図りながら早急に取り組むべき課題である。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館運営事業	実施計画事業	ふれあい教室事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (378)									
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち				個別計画名 豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現					講師謝礼金	190
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する					自動車等借上料	81
目	5	後期基本計画	94 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>		消耗品費	42
決算	57			<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>		通信運搬費	40

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 第2種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む 相談事業や文化・教育及び人権に関わる学習会を通じて部落差別問題をはじめさまざまな人権課題の解決に取り組む  <令和4年度の取組内容(計画)> 各種体験活動を通して住民相互の交流の促進を図る ・ふれあい教室(4教室) 料理教室・絵手紙教室・実用書道教室 手編み教室 5月から10回開催予定	R3	・ふれあい教室事業(4教室32回 210人)	R3計画	377	283			94
				当初予算	377	283		94
				決算額	258	16		242
	R4	・ふれあい教室事業(5教室43回291人)	R4計画	377	283			94
				当初予算	384	288		96
				決算額	304	152		152
	R5		R5計画	377	283			94
				当初予算	395	296		99
				決算額				
	R6		R6計画	377	283			94
				当初予算				
				決算額				
	R7		R7計画	377	283			94
				当初予算				
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	1,885	1,415		470	
			当初予算	1,156	867		289	
			決算額	562	168		394	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	33	回	目標値	40	40	40	40	40
					実績値	32	43			
	% 達成率	80	107.5							
2 参加者数	ふれあい教室の参加者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	250	人	目標値	230	230	230	230	230
					実績値	210	291			
					% 達成率	91.3	126.5			
D 成果指標	1 参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	250	人	目標値	230	230	230	230	230
					実績値	210	291			
	% 達成率	91.3	126.5							
2 アンケート結果	アンケート調査から習熟度、満足度の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値	70	70	70	70	70
					実績値	70	70			
					% 達成率	100	100			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	22点	5点	22点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 継続参加する方が多かった。参加者を対象に実施した人権学習では意識の高さを確認できた。今後も人権啓発及び交流の推進のため、参加者の要望にも対応しながら事業を継続する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、住民相互の交流促進のための事業展開が必要である。令和5年度新隣保館開館によりこの機会に更に多くの市民の声を反映しながら事業推進を図る。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	48001
枝番	4

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	隣保館係
-----	--------------	----	------

事業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館運営事業	実施計画事業	出前隣保館事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図№→ (378)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度主な歳出名称 講師謝礼金 実費弁償 消耗品費 通信運搬費	当初予算額 173 25 16 6
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現			
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する			
目	5	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	57					

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 第2種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む 相談事業や文化・教育及び人権に関する学習会を通じて部落差別問題をはじめさまざまな人権課題の解決に取り組む</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 教養・娯楽、保健福祉、軽スポーツ等通じて高齢者の健康保持や人権意識の高揚及び住民交流を図ることを目的とし開催 民間保健師による健康相談、血圧測定等を実施 ・出前隣保館(2地区集会所)、まちなかサロン(隣保館) 5月から10回開催 ・合同交流会 10月開催予定</p>	R3	出前隣保館事業(2地区16回、隣保館7回、合同交流会1回 延べ138人)	R3計画 225	169			56
	当初予算	225	169			56	
	決算額	141	9			132	
	R4	出前隣保館事業(2地区17回、1地区1回、隣保館9回、合同交流会1回 延べ135人)	R4計画 225	169			56
	当初予算	220	165			55	
	決算額	21	11			10	
	R5		R5計画 225	169			56
	当初予算	77	57			20	
	決算額						
	R6		R6計画 225	169			56
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 225	169			56
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 1,125	845			280
			当初予算 522	391			131
			決算額 162	20			142

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 開催回数 出前隣保館、まちなかサロンの開催回数(令和7年度)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	27	回	目標値	27	27	27	27	27
					実績値	24	26			
					% 達成率	88.9	96.3			
D 成果指標	1 参加者数 出前隣保館、まちなかサロン参加者数(令和7年度)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	27	27	27	27	27
					実績値	24	26			
					% 達成率	88.9	96.3			
2 アンケート結果	アンケート調査から習熟度、満足度の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値	80	80	80	80	80
					実績値	80	80			
					% 達成率	100	100			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		22点	22点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 コロナ禍の影響で予定どおりの実施が出来なかったが、今後も相談事業や文化・教育及び人権に関する学習会など参加者に密着した内容で事業を継続する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 地域課題である高齢化が進行している状況の中、今後も人権啓発及び市民の生活改善を図るため、地域の住民同士のコミュニケーションを通して人権について考える場を今後も継続して提供していく必要がある。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性	⇒ A.現状のまま継続
----------------	-------------

事業番号	枝番
48001	5

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	隣保係係
-----	--------------	----	------

事業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館運営事業	実施計画事業	フィールドワーク事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	------------	------	----

総合計画体系図№一(380)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度主な歳出名称 講師謝礼金 草刈委託料 通信運搬費 燃料費	当初予算額 100 52 34 4
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現			
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する			
目	5	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	57					

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 第2種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む 相談事業や文化・教育及び人権に関する学習会を通じて部落差別問題をはじめさまざまな人権課題の解決に取り組む</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 部落差別問題をはじめ広く人権に関する理解を深めるため、日常生活に根ざした啓発活動を行う ・フィールドワーク研修「むらを歩いて」の開催 ・フィールドワーク研修講師団会議の開催 ・隣保館主催人権講座の開催 7月、11月2回開催予定</p>	R3	・フィールドワーク研修「むらを歩いて」(2回 延べ138人) ・フィールドワーク研修講師団会議(4回)	R3計画 113 当初予算 113 決算額 27	39		60	14	
	R4	・フィールドワーク研修「むらを歩いて」(7回 延べ53人) ・フィールドワーク研修講師団会議(4回)	R4計画 113 当初予算 193 決算額 43	39		60	14	
	R5		R5計画 113 当初予算 285 決算額	39	213	60	72	
	R6		R6計画 113 当初予算 決算額	39		60	14	
	R7		R7計画 113 当初予算 決算額	39		60	14	
	R3 ~ R7 合計			計画額 565 当初予算 591 決算額 70	195	343	300	70

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	27	回	目標値	10	20	20	20	20
					実績値	12	7			
	2 開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	回	目標値	3	3	3	3	3
					実績値	4	4			
D 成果指標	1 開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	10	20	20	20	20
					実績値	12	7			
	2 アンケート結果	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値	80	80	80	80	80
					実績値	80	80			
					達成率	100	100			

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	23点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	
			23点	23点
			25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ禍の影響及び地域との調整のため、フィールドワーク研修が実施できない期間があった。今後の事業継続に向けては、地域の理解を進め、フィールドワーク講師団と協議しながら取り組む。	地域内を歩く現地研修は地域の理解と協力が必要である。より効果的な啓発事業のあり方について地域の方やフィールドワーク研修講師団と協議しながら事業の展開を図ることが必要である。

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館管理事業	実施計画事業	隣保館管理事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.1 (382)											
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現						施設警備委託料	129	
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する						修繕料	100	
目	5		後期基本計画 94 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略		<input type="checkbox"/>	隣保館施設管理委託料	53
決算	57										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 第2種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む 隣保館の維持及び修繕を実施し建物の管理に関する業務や貸館を行う</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 隣保館仮事務所で、きめ細かな人権啓発、交流機会の推進を図る ・施設管理及び修繕 ・施設管理委託</p>	R3	隣保館解体工事に伴い令和3年9月1日から仮事務所へ移転 ・施設警備委託	R3計画 当初予算 決算額	1,235 1,235 441	75 75 35	120 120 5	1,040 1,040 401	
	R4	隣保館解体工事に伴い仮事務所にて業務を進めた。 ・施設警備委託	R4計画 当初予算 決算額	1,235 282 1,129	75 75 565		1,160 207 564	
	R5		R5計画 当初予算 決算額	1,235 918	75 75	30	1,130 843	
	R6		R6計画 当初予算 決算額	1,235	75	30	1,130	
	R7		R7計画 当初予算 決算額	1,235	75	30	1,130	
	R3 ~ R7 合計			計画額 当初予算 決算額	6,175 2,435 1,570	375 225 600	210 120 5	5,590 2,090 965

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 人権啓発、交流機会の推進 隣保館数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	館	目標値	1	1	1	1	1	
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1				
		%			達成率	100	100				
2 人権啓発、交流機会の推進	利用者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	5,270	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1,068	1,268				
		%			達成率	106.8	126.8				
D 成果指標	1 人権啓発、交流機会の推進 隣保館数	<input type="checkbox"/> 総合計画		館	目標値	1	1	1	1	1	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1	1				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100	100			
	2 人権啓発、交流機会の推進	利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画		人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1,068	1,268			
			<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	106.8	126.8		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 隣保館解体工事に伴い令和3年9月1日から仮事務所へ移転したため、貸館事業は中止していた。公民館施設も利用しながら人権啓発、交流機会の推進を図った。新しい施設は規模が縮小され、これまでよりも利用者が少なくなることが見込まれる。利用者数の目標について検討を要する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 令和4年度未まで仮事務所まで業務を行っていたことから大野公民館等近隣施設相互の連携を図り、無駄を排した効果的な施設管理を行った。令和5年度開館の新隣保館について、市民に対してこれまで以上に「いつでもだれでも利用できる」隣保館として周知を含めた広報が必要であると考える。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館建設事業	実施計画事業	隣保館建設事業	終了年度	R4
----	-----------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.1 (382)												
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現						隣保館建設工事請負費	150,000		
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する						隣保館周辺整備工事請負費	11,000		
目	5	後期基本計画	94 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略		<input type="checkbox"/>	コロナ充当	調査設計管理委託料	2,823
決算	57											

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 第2種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む。隣保館はコミュニティセンターを併設した施設として昭和58年に開設され活用してきたが老朽化に伴い、解体工事を施工し、令和4年度新隣保館建築隣保館事業の推進と利用者の処遇の向上を図る。  <令和4年度の取組内容(計画)> 隣保館新築工事を行う	R3	工事設計委託	R3計画 13,669 当初予算 13,669 決算額 5,223	13,669	10,700		2,969	
	R4	隣保館新築工事	R4計画 155,000 当初予算 163,823 決算額 179,558	73,125	77,700	3,000	4,175	
	R5		R5計画 当初予算 決算額					
	R6		R6計画 当初予算 決算額					
	R7		R7計画 当初予算 決算額					
	R3 ~ R7 合計			計画額 168,669 当初予算 177,492 決算額 184,781	73,125	88,400	3,000	7,144

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 協議回数 関係機関等との協議回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	3	3			
					実績値	2	2			
					% 達成率	66.7	66.7			
D 成果指標	1 進捗状況 工程表の進捗度	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		事業	目標値	1	1			
					実績値	1	1			
					% 達成率	100	100			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	23点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 旧隣保館の解体工事の完了が遅くなり、また工事費用の変動もあったが、年度内に新しい施設を完成させることができた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 新隣保館に係る条例改正等議会提案を行うなど、計画的な事業推進を図った。令和5年3月、隣保館運営審議会や関係団体の声を反映した新隣保館を完成させることができた。今後より良い事業の推進を図ることが課題である。
--	--

事業番号	50001
枝番	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	老人福祉総務事業	細事業	はり、きゆう治療費助成金	実施計画事業	はり、きゆう治療費助成事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (144)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実			期間	年度 ~ 年度	はり、きゆう治療費助成金	3,200	
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する			期間	年度 ~ 年度	印刷製本費	32	
目	1	後期基本計画	44 P			<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	通信運搬費	6
決算	59									

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; はり、きゆう、マッサージの施設を利用する者の経費を助成することにより、健康保持と福祉増進に寄与する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・利用券交付申請者に対し「はり、きゆう等施設利用券」を交付する。 ・指定施術担当者からの助成金請求書に基づき支払を行う。</p>	R3	70歳以上高齢者数は、令和4年3月末現在で12,233人であり、うち7.0%に当たる857人が、はり・きゆう治療費助成金を利用した。利用者一人当たりの利用回数は、3.2回(2,770回÷857人)であった。	R3計画 3,239			791	2,448	
			当初予算	3,239			791	2,448
			決算額	2,804			650	2,154
	R4	70歳以上高齢者数は、令和5年3月末現在で12,168人であり、うち6.8%に当たる828人が、はり・きゆう治療費助成金を利用した。利用者一人当たりの利用回数は、3.2回(2,675回÷828人)であった。	R4計画 3,239			791	2,448	
			当初予算	3,238			669	2,569
			決算額	2,708			631	2,077
	R5		R5計画 3,239			791	2,448	
			当初予算	3,140			650	2,490
			決算額					
	R6		R6計画 3,239			791	2,448	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 3,239			791	2,448	
			当初予算					
		決算額						
		R3 ~ R7 合計	計画額 16,195			3,955	12,240	
			当初予算 9,617			2,110	7,507	
			決算額 5,512			1,281	4,231	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 実利用者数	年間申請者数	805	人	目標値	900	900	900	900	900
					実績値	857	828			
					達成率	95.2	92			
D 成果指標	2 -				目標値					
					実績値					
					達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	12点	3点	12点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
70歳以上高齢者の6.8%に当たる828人が、はり・きゆう治療費助成金を利用したことから、高齢者の健康保持と福祉の向上に寄与したと考える。健康保持、医療費の抑制にも効果がある事業であるため、積極的に広報をすることにより、年間利用者数の増加に努めたい。	70歳以上の高齢者の6.8%に当たる828人がはり・きゆう治療費助成金を利用しており、高齢者の健康保持と福祉の向上に寄与したと考えられる。健康保持、医療費の抑制にも効果がある事業であるため、より積極的な広報を行い年間利用者数の増加に努める必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性

⇒ A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
50002	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	老人福祉総務事業	細事業	敬老祝品支給事業	実施計画事業	敬老祝品支給事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (152)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実		記念品代	908
項	2	施策展開	③生きがいづくりを推進する		敬老祝品配送業務委託料	259
目	1	後期基本計画	44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		消耗品費	138
決算	59				通信運搬費	9

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位: 千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 80歳及び100歳に到達した高齢者に対して、敬老祝品を支給することにより長寿を祝福し敬老の意を表す。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・80歳祝品: 基準日(9/1)において80歳に達した方に対し、800円相当の祝品を送付する。 ・100歳祝品: 100歳の誕生日を迎えた方に対し、10,000円相当の祝品と祝辞を持参する。</p>	R3	80歳に達した481人に三重総合高校のジャムセット(お祝いメッセージ入り)を送付し、100歳に達した32人に羽毛布団と祝辞を持参した。	R3計画 1,229				1,229	
				当初予算				1,229
				決算額				1,009
	R4	80歳に達した494人に三重総合高校のジャムセット(お祝いメッセージ入り)を送付し、100歳に達した38人に羽毛布団と祝辞を持参した。	R4計画 1,229				1,229	
				当初予算				1,314
				決算額				1,097
	R5			R5計画 1,229				1,229
				当初予算				1,282
				決算額				
	R6			R6計画 1,229				1,229
				当初予算				
				決算額				
	R7			R7計画 1,229				1,229
				当初予算				
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 6,145				6,145	
			当初予算 3,825				3,825	
			決算額 2,106				2,106	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 80歳到達者	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	476	人	目標値	490	500	500	500	500
					実績値	481	494			
	2 100歳到達者	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	39	40	目標値	40	40	40		
					実績値	32	38			
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					達成率					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画				目標値				
						実績値				
						達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	12点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 長寿を祝う本事業は、高齢者福祉の目的である生きがいや喜びに繋がっている。高齢者世帯数は、令和5年3月末現在で7,310世帯、全体の46%を超え年々増加している。高齢者の健康保持や生きがいづくりのため、今後も80歳及び100歳に到達した高齢者に対して、敬老祝品を贈呈する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 長寿を祝う本事業は、高齢者福祉の目的である生きがいや喜びに繋がっており、今後も事業の継続は必要である。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
50003	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	老人福祉総務事業	細事業	ねんりんピック	実施計画事業	ねんりんピック事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (152)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち								
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実								
項	2	施策展開	③生きがいがづくりを推進する								
目	1	後期基本計画	44	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	59										

個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画	
	期間	R3 年度 ~ R5 年度
期間	年度 ~ 年度	

令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
自動車等借上料	176
食糧費	102
通信運搬費	11

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 様々な分野で参加することができる「豊の国ねんりんピック」に参加することで、高齢者の生きがいがづくりと地域活動の仲間づくりを目指す。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 大会開催の周知、競技団体への参加要請を行う。</p>	R3	豊の国ねんりんピックに係る関係団体打合せ会議の参加や参加申込の集約など、大会に向け準備を進めていたが、コロナ禍の影響により、大会すべてが中止となった。	R3計画 289				289
			当初予算 289				289
			決算額 4				4
	R4	4年ぶりの開催であったが、大会開催の周知、競技団体への参加要請を行った結果、12競技、111名がねんりんピックに参加した。	R4計画 289				289
			当初予算 289				289
			決算額 70				70
	R5		R5計画 289				289
			当初予算 330				330
			決算額				
	R6		R6計画 289				289
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 289				289
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,445				1,445
			当初予算 908				908
			決算額 74				74

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 参加競技団体数	参加競技団体数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	14	団体	目標値	15	15	15	15	15
						実績値		12			
						% 達成率		80			
D 成果指標	1 介護認定新規申請者の平均年齢	介護認定新規申請者の平均年齢	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	83.1	歳	目標値	83	83	83	83	83
						実績値	83.4	84.2			
						% 達成率	100.5	101.5			
E 評価対象外の理由	O 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)									

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			15点
			25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>様々な競技に参加することができるねんりんピックは、今後も広く広報するとともに、参加についても支援が必要である。高齢者の豊かな技術等を発揮できる場づくりの充実のため、今後も事業の継続が必要である。大会事務局が示す参加要請数に満たない競技がある。このため、大会開催の周知、競技団体への参加要請を早めに行う。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>競技団体の役員交代などにより、参加要請がスムーズに行えない問題はあるが、高齢者の豊かな技術等を発揮できる場づくりの充実のため、今後も事業の継続が必要である。</p>
---	---

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
50004	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	老人福祉総務事業	細事業	権利擁護事業	実施計画事業	権利擁護対応専門相談事業委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (148)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち								
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実								
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する								
目	1	後期基本計画	44	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	59										

個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画		
期間	R3 年度	～	R5 年度
期間	年度	～	年度

令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
権利擁護対応専門相談事業委託料	88

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、困難事例の専門職への相談や、関係機関等の対応力向上のための研修に対する講師派遣依頼を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 必要に応じ、「大分高齢者虐待対応専門職チーム(弁護士・社会福祉士)」の派遣依頼を行う。</p>	R3	高齢者虐待防止ネットワーク連絡会を開催し、大分高齢者虐待対応専門職チーム(弁護士・社会福祉士)による講演を行った。	R3計画 88				88
			当初予算 88				88
			決算額 22				22
	R4	大分高齢者虐待対応専門職チーム(弁護士・社会福祉士)に3件の電話相談を行ったが、派遣を依頼するほどの困難事例が発生しなかった。	R4計画 88				88
			当初予算 88				88
			決算額				
	R5		R5計画 88				88
			当初予算 88				88
			決算額				
	R6		R6計画 88				88
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 88				88
			当初予算				
		決算額					
		R3～R7合計	計画額 440				440
			当初予算 264				264
			決算額 22				22

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 虐待防止ネットワーク連絡会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	12点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	25点	—点
		12点	12点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 高齢者虐待等における困難事例対応のため、今後も大分県高齢者虐待対応専門職チームへの派遣依頼は必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 令和4年度は派遣を依頼する困難事例は発生していないが、高齢者虐待等における困難事例対応のため、引き続き大分県高齢者虐待対応専門職チームへの派遣依頼は必要である。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業番号	50004
枝番	2

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	老人福祉総務事業	細事業	権利擁護事業	実施計画事業	成年後見支援センター委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (148)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち								
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実								
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する								
目	1	後期基本計画	44	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	59										

個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画	
期間	R3 年度	～ R5 年度
期間	年度	～ 年度

令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
成年後見支援センター委託料	7,345

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 「成年後見制度の利用の促進に関する法律」に基づき、法基本計画で示される中核機関として成年後見支援センターを設置し、認知症高齢者や精神・知的障がい等で判断能力が不十分な方々の相談に応じるとともに、地域の関係機関とのネットワークの構築を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 成年後見支援センター業務を豊後大野市社会福祉協議会に委託し、成年後見制度の利用を促進するための各種施策に取り組む。</p>	R3	豊後大野市成年後見支援センターを設置し、豊後大野市社会福祉協議会に委託した。主な活動は、相談業務34件、申立支援2件、市民後見人養成講座8回、運営協議会2回、担当者会議11回であった。
	R4	成年後見支援センター業務を豊後大野市社会福祉協議会に委託し、成年後見制度の利用を促進するための取組を行った。主な取組は、相談46件、申立支援13件、運営協議会2回、受任調整10回であった。
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	4,339	743			3,596
当初予算	4,339	743			3,596
決算額	3,073	594			2,479
R4計画	4,339	743			3,596
当初予算	7,345	1,567			5,778
決算額	5,726	1,838			3,888
R5計画	4,339	743			3,596
当初予算	10,779	2,511			8,268
決算額					
R6計画	4,339	743			3,596
当初予算					
決算額					
R7計画	4,339	743			3,596
当初予算					
決算額					
計画額	21,695	3,715			17,980
当初予算	22,463	4,821			17,642
決算額	8,799	2,432			6,367

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C	1 市民後見人養成講座修了者	過去の実績から算出	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	5	5	5	5	5
						実績値	11	1			
						% 達成率	220	20			
2 -			<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					
D	1 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由	O 評価対象	(対象外事業はF～I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	達成状況	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	11点	3点	11点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		2点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
判断能力が不十分な認知症高齢者等が財産管理等の必要性がある場合、成年後見制度などを利用しながら住み慣れた地域において安心して暮らしていくため、成年後見支援センターは重要である。引き続き、制度の周知や相談体制の充実に取り組んで行く。	成年後見支援センターを社会福祉協議会に委託し、成年後見制度の利用を促進するための取組を行った。判断能力が不十分な認知症高齢者等が財産管理等の必要性がある場合、成年後見制度などを利用しながら住み慣れた地域において安心して暮らしていくため、成年後見支援センターは重要であり、引き続き制度の周知や相談体制の充実に取り組む必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
50005	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	老人福祉総務事業	細事業	老人福祉事務費	実施計画事業	老人福祉事務事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (148)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち			
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実			
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する			
目	1	後期基本計画	44 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	59					

個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画		
期間	R3 年度	～	R5 年度
期間	年度	～	年度

令和4年度主な歳出名称	当初予算額
地域福祉基金積立金	839
燃料費	100
修繕料	76

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> ・地域福祉基金利子積立 ・公用車維持管理  <令和4年度取組内容(計画)> ・地域福祉基金利子積立 ・公用車維持管理	R3	地域福祉基金の定期預金利息648,093円を積み立てた。所管する公用車1台の維持管理として、車検等を適正に行った。	R3計画 1,116 当初予算 1,116 決算額 813			874	242	
	R4	地域福祉基金の預金利息559,275円を積み立てた。所管する公用車1台の維持管理を適正に行った。	R4計画 1,116 当初予算 1,015 決算額 670			874	242	
	R5		R5計画 1,116 当初予算 966 決算額			874	242	
	R6		R6計画 1,116 当初予算 決算額			874	242	
	R7		R7計画 1,116 当初予算 決算額			874	242	
	R3～R7合計			計画額 5,580 当初予算 3,097 決算額 1,483			4,370	1,210

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画								
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画								
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画								
	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画								

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	9点	9点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	／25点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 豊後大野市地域福祉基金条例第4条に基づき運用益金の処理を行った。また、一般介護予防事業に使用している所管する公用車1台の維持管理を行った。今後も適正に事務事業を行う。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 公用車1台の維持管理など、適正に事務事業を行えた。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性	⇒ A.現状のまま継続
----------------	-------------

事業番号	51001
枝番	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	在宅老人福祉事業	細事業	在宅老人福祉事業	実施計画事業	老人クラブ補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (152)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実					
項	2	施策展開	③生きがいがづくりを推進する					
目	2	後期基本計画	44 P					<input type="checkbox"/> 過疎計画
決算	60						老人クラブ補助金	7,540

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 健康づくり、学習活動、社会奉仕活動等を通じて、その知識や経験を活かして地域を豊かにする社会活動に取り組んでいる老人クラブの活動を支援する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・豊後大野市老人クラブ連合会への補助金交付 ・豊後大野市単位老人クラブへの補助金交付 ・老人クラブの加入促進のため、広報等に取組む。</p>	R3	老人クラブ連合会の地域助け合い事業及び健康づくり事業、体制強化事業並びに単位老人クラブ(81クラブ)に対し、経費の一部を助成し、老人クラブ会員相互の親睦と高齢者の福祉増進を図った。	R3計画 7,921	5,280			2,641	
			当初予算	7,921	5,280			2,641
			決算額	6,730	4,320			2,410
	R4	老人クラブ連合会の地域助け合い事業及び健康づくり事業、体制強化事業並びに単位老人クラブ(77クラブ)に対し、経費の一部を助成し、老人クラブ会員相互の親睦と高齢者の福祉増進を図った。	R4計画 7,921	5,280			2,641	
			当初予算	7,540	5,026			2,514
			決算額	6,813	4,454			2,359
	R5		R5計画 7,921	5,280			2,641	
			当初予算	7,056	4,704			2,352
			決算額					
	R6		R6計画 7,921	5,280			2,641	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 7,921	5,280			2,641	
			当初予算					
		決算額						
		R3 ~ R7 合計	計画額 39,605	26,400			13,205	
			当初予算 22,517	15,010			7,507	
			決算額 13,543	8,774			4,769	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 1 老人クラブ数	老人クラブ数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	86	クラブ	目標値	86	86	86	86	86
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	81	77			
		%			達成率	94.2	89.5			
2 市報等広報掲載回数	市報等広報掲載回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	2	回	目標値	2	2	2	2	2
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	2	2			
		%			達成率	100	100			
D 1 介護認定新規申請者の平均年齢	介護認定新規申請者の平均年齢	<input type="checkbox"/> 総合計画	83.1	歳	目標値	83	83	83	83	83
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	83.4	84.2			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100.5	101.5		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)		
			評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		
			25点	3点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
自身の健康保持、教養を高める学習活動、社会奉仕活動等を通じて、生きがいがづくりを目指すことはもとより、地域の支え合い活動を担うべく老人クラブの活動は、ますます重要になっている。このため、今後も事業の継続が必要である。クラブ数、加入率ともに減少傾向にあるため、積極的に広報することにより、加入者の増加に努めたい。	自身の健康保持、教養を高める学習活動、社会奉仕活動等を通じた生きがいがづくりなど、地域の支え合い活動を担う老人クラブの活動は重要である。そうした活動への補助など行えたが、クラブ数、加入率ともに減少傾向にあり、課題も多い。

I 令和6年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業番号	枝番
51002	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	在宅老人福祉事業	細事業	在宅高齢者住宅改造助成事業	実施計画事業	在宅高齢者住宅改造助成事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→(144)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実					
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する					
目	2	後期基本計画	44 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	60							

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 高齢者の自立を支援し、介護者の負担軽減を図るために、居住する住宅を改造する必要があると認められる高齢者に対し、改造工事を行う場合に必要な費用の一部を助成する。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; ・申請書類の審査 ・補助金の交付決定 ・工事の進捗管理 ・対象者への補助金助成 ・県補助金の申請、請求、実績報告等、補助金交付要綱に基づき処理する。</p>	R3	段差解消5件、便器取替1件、手すり取付1件の改造工事費用の一部を助成した。	R3計画 2,001	999			1,002
	当初予算	2,001	999			1,002	
	決算額	1,625	812			813	
	R4	段差解消5件の改造工事費用の一部を助成した。	R4計画 2,001	999			1,002
	当初予算	2,000	999			1,001	
	決算額	1,315	657			658	
	R5		R5計画 2,001	999			1,002
	当初予算	2,000	999			1,001	
	決算額						
	R6		R6計画 2,001	999			1,002
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 2,001	999			1,002
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 10,005	4,995			5,010
			当初予算 6,001	2,997			3,004
			決算額 2,940	1,469			1,471

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 利用物件数	予算の範囲内	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	8	件	目標値	5	5	5	5	5
						実績値	7	5			
						% 達成率	140	100			
D 成果指標	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	12点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点
		12点	12点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 高齢者等が自宅において暮らしやすい生活ができるようにするため、今後も高齢者の自立を支援し、介護者の負担の軽減を図る。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 段差解消5件の改造工事の一部助成を行った。今後も高齢者等が自宅において暮らしやすい生活ができるよう高齢者の自立を支援するため、介護者の負担の軽減を図るとともに、事業の周知を行う必要がある。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業番号	51003
枝番	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	在宅老人福祉事業	細事業	緊急通報装置設置事業	実施計画事業	緊急通報装置設置事業	終了年度	なし
----	----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (144)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実	
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する	
目	2	後期基本計画	44 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	60			

個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画
期間	R3 年度 ~ R5 年度
期間	年度 ~ 年度

令和4年度主な歳出名称	当初予算額
緊急通報サービス利用事業委託料	342
手数料	160
通信運搬費	25

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt;</p> <p>ひとり暮らし高齢者等に対して緊急通報装置を通じた見守りサービスを提供することにより、急病・事故等の際における不安感の緩和を図り、緊急時に迅速かつ適切な対応を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市報等で周知を行う。</li> <li>・委託事業者との契約及び支払事務等</li> <li>・利用者からの申請に基づき決定、廃止等</li> </ul>	R3	ひとり暮らし高齢者等の世帯に緊急通報装置を貸与することにより、高齢者の日常生活における不安感を解消し、急病・災害などの緊急時に迅速に対応した。実利用者は109人、日常生活の相談は26件、緊急通報は4件であった。
	R4	ひとり暮らし高齢者等の世帯に緊急通報装置を貸与することにより、高齢者の日常生活における不安感を解消し、急病・災害などの緊急時に迅速に対応した。実利用99人、日常生活の相談25件、緊急通報7件であった。
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	921			896	25
当初予算	921			896	25
決算額	469			320	149
R4計画	921			896	25
当初予算	527			495	32
決算額	298			290	8
R5計画	921			896	25
当初予算	494			462	32
決算額					
R6計画	921			896	25
当初予算					
決算額					
R7計画	921			896	25
当初予算					
決算額					
計画額	4,605			4,480	125
当初予算	1,942			1,853	89
決算額	767			610	157

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C	1 新規利用者数	新規利用者数の推移による数値	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	8	人	目標値	15	15	15	15	15	
						実績値	15	10				
						% 達成率	100	66.7				
2	実利用者数	実利用者数の推移による数値	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	111	人	目標値	110	110	110	110	110	
						実績値	109	99				
						% 達成率	99.1	90				
D	1 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値						
						実績値						
						% 達成率						
	2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
							実績値					
							% 達成率					

E 評価対象外の理由	O 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	評価方法	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	12点	3点	12点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コールセンターによる24時間365日の体制で日常生活の相談から毎日の安否確認等も行っており、在宅生活を送るうえでの安心感に繋がっているため、今後も事業の継続が必要である。緊急時に駆けつけることのできる近隣者の協力支援も必要であることから、今後も事業内容の理解のために周知を行う。	引き続き、ひとり暮らし高齢者等の世帯に緊急通報装置を貸与することで、高齢者の日常生活における不安感を解消し、急病・災害などの緊急時に迅速に対応する必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
51004	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	在宅老人福祉事業	細事業	在宅老人福祉事業(委託事業分)	実施計画事業	へき地サロン送迎事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (152)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実			在宅老人福祉事業委託料	224
項	2	施策展開	③生きがいづくりを推進する			通信運搬費	2
目	2	後期基本計画	44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	60						

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; へき地で開催されるサロンに参加するため移動する方法を支援することにより、要介護状態になることを予防し、地域社会において自立した生活を送ることができる。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・対象者への利用券の交付 ・事業者からの請求に基づく支払 ・タクシー事業者委託契約事務</p>	R3	へき地で開催されるサロンに参加するため、タクシーによる送迎を延べ利用者51名に行った。	R3計画 226 当初予算 226 決算額 119			224	2	
	R4	へき地で開催されるサロンに参加するため、タクシーによる送迎を延べ利用者64名に行った。	R4計画 226 当初予算 226 決算額 156			224	2	
	R5		R5計画 226 当初予算 226 決算額			224	2	
	R6		R6計画 226 当初予算 決算額			224	2	
	R7		R7計画 226 当初予算 決算額			224	2	
	R3 ~ R7 合計			計画額 1,130 当初予算 678 決算額 275			1,120	10

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 実施サロン数	実施サロン数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	箇所	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2	2			
						% 達成率	100	100			
2 延べ利用者数	延べ利用者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	47	人	目標値	60	60	60	60	60	
					実績値	51	64				
					% 達成率	85	106.7				
D 成果指標	1 サロンの開催回数	サロンの開催回数(2箇所合計)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	13	回	目標値	20	20	20	20	20
						実績値	13	17			
						% 達成率	65	85			
						2 -					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	2点	2点	2点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	2点	2点
		13点	13点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 令和4年度の事業実施地域において、地域振興協議会と協議・検討を行った結果、あいのりタクシーを利用したサロン送迎に移行することができた。このため、事業を廃止する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 令和4年度の事業実施地域において、地域振興協議会と協議・検討を行い、あいのりタクシーを利用したサロン送迎に移行することができたため、事業は廃止する。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → E. 廃止

事業番号	枝番
51007	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	在宅老人福祉事業	細事業	配食サービス事業	実施計画事業	配食サービス事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (144)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実							
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する							
目	2	後期基本計画	44 P	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当						
決算	60						期間	年度 ~ 年度	配食サービス委託料	29,000
								通信運搬費	85	
								印刷製本費	83	

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 食事の確保が困難な高齢者に対し、バランスの取れた食事の提供と安否確認を行うことで地域での生活を支援する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・配食サービス事業申請の受付・審査・決定・変更・廃止等 ・配食サービス事業所からの請求に基づく支払 ・配食サービス事業所指定事務 ・配食サービス事業所委託契約事務</p>	R3	配食サービス事業者と契約し、食事の確保が困難な高齢者(実利用者239名)に対し、バランスの取れた食事の提供と安否確認を行った。	R3計画 29,168				1,668	
				当初予算 29,168				1,668
				決算額 27,858				2,758
	R4	配食サービス事業者と契約し、食事の確保が困難な高齢者(実利用者240名)に対し、バランスの取れた食事の提供と安否確認を行った。	R4計画 29,168				1,668	
				当初予算 29,168				1,668
				決算額 24,532				1,632
	R5			R5計画 29,168				1,668
				当初予算 29,167				1,667
				決算額				
	R6			R6計画 29,168				1,668
				当初予算				
				決算額				
	R7			R7計画 29,168				1,668
				当初予算				
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 145,840				8,340	
			当初予算 87,503				5,003	
			決算額 52,390				4,390	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 実利用者数	実利用者数	390	人	目標値	400	400	400	400	400
					実績値	239	240			
	2 利用食数	利用食数	66,807	食	目標値	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
					実績値	67,672	59,806			
D 成果指標	1 -				目標値					
					実績値					
					達成率					
	2 -					目標値				
						実績値				
						達成率				

E 評価対象外の理由	O 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	2点	2点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点
		11点	11点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 自分で料理をすることが困難で、かつ、買い物も不自由な高齢者がいる。在宅で自立した生活を支援するため、今後も事業の継続が必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 配食サービス事業者と契約し、食事の確保が困難な高齢者に対し、バランスの取れた食事の提供と安否確認を行った。 在宅で自立した生活を支援するため、今後も事業の継続が必要である。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
51008	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	在宅老人福祉事業	細事業	高齢者世帯リフォーム支援事業	実施計画事業	高齢者世帯リフォーム支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図№.1 (144)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実				
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する				
目	2	後期基本計画	44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	60						
						高齢者世帯リフォーム支援事業補助金	600

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 高齢者の暮らしの安全確保のためバリアフリー改修工事等を行った住宅の所有者に対し、規定の補助金を交付する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・市報、市HP及び市内居宅支援事業所への周知 ・申請受付・審査・決定通知等、補助金交付要綱に基づき処理する。 ・県補助金の申請、請求、実績報告等、補助金交付要綱に基づき処理する。</p>	R3	高齢者のために行う浴室改修工事(1件)に対し、補助金を交付した。	R3計画 600	300			300
			当初予算 600	300			300
			決算額 200	100			100
	R4	高齢者のために行う浴室改修工事(2件)に対し、補助金を交付した。	R4計画 600	300			300
			当初予算 600	300			300
			決算額 600	300			300
	R5		R5計画 600	300			300
			当初予算 600	300			300
			決算額				
	R6		R6計画 600	300			300
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 600	300			300
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 3,000	1,500			1,500
			当初予算 1,800	900			900
			決算額 800	400			400

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 利用物件数	予算の範囲内	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	1	件	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	1	2			
						% 達成率	50	100			
2 市報等広報回数	市報等広報回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2	
					実績値	2	1				
					% 達成率	100	50				
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	目標値					
						実績値					
						% 達成率					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由	O 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	2点	2点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点
		11点	11点
		/25点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
高齢者のいる世帯に対しバリアフリー改修工事の費用を補助することにより、暮らしの安全確保や住環境の向上を図るため、今後も事業の継続が必要である。今後も広報及びパンフレットを窓口を設置することにより、利用者の増加に努めたい。	高齢者のために行う浴室改修工事(2件)に対し、補助金を交付した。高齢者のいる世帯に対しバリアフリー改修工事の費用を補助することにより、暮らしの安全確保や住環境の向上を図るため、今後も事業の継続が必要である。併せて今後も周知を行い、利用者の増加に努める必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	在宅老人福祉事業	細事業	認知症予防推進対策事業	実施計画事業	認知症高齢者個人賠償責任保険事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (144)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実			認知症高齢者個人賠償責任保険料	232
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する				
目	2	後期基本計画	44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	60						

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 認知症高齢者と介護家族を市が加入する損害賠償責任保険の保険対象者とする事で、安心して在宅生活を送れるようにすること。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 随時、保険対象者の受付を行う。</p>	R3	令和4年3月末の登録者は78名で、前年度より6名の増加。年度内の異動内訳は新規加入12名、廃止6名である。
	R4	令和5年3月末時点の加入者は62名である。令和4年度中の異動は新規加入6名、廃止22名であった。
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3 計画	232		230	2
当初予算	232		230	2
決算額	142		141	1
R4 計画	232		230	2
当初予算	232		230	2
決算額	174		50	124
R5 計画	232		230	2
当初予算	232		230	2
決算額				
R6 計画	232		230	2
当初予算				
決算額				
R7 計画	232		230	2
当初予算				
決算額				
計画額	1,160		1,150	10
当初予算	696		690	6
決算額	316		191	125

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 保険対象者の数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	74	人	目標値	70	75	80	85	90
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	78	62			
		% 達成率			111.4	82.7				
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	2点	2点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点
		11点	11点
		／25点	／25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>事業開始から4年が経過したが、事故等は起きておらず、保険の請求も0件である。また、啓発の効果で少しずつであるが加入者は増えているが、令和4年度は死亡や施設入所等が重なり廃止が新規加入者を上回り、減少となった。 本事業は、第8期介護保険事業計画の認知症施策における基本目標である「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」を実現するために重要な事業であると考えている。 今後も他の認知症施策と併せて啓発を行ない、加入者の増大に努めたい。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>認知症高齢者と介護家族を市が加入する損害賠償責任保険の保険対象者として、安心して在宅生活を送れるようにすることが目的であり、今後も事業の継続が必要である。</p>
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	在宅老人福祉事業	細事業	認知症予防推進対策事業	実施計画事業	認知症カフェ運営事業委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (147)											
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち					個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実						認知症カフェ運営事業委託料	2,230	
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する								
目	2	後期基本計画	44	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	60										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> WHOによると、認知症予防（認知症の進行を遅らせること）には他者との交流が有効とされ、令和元年6月に閣議決定された「認知症施策推進大綱」においても、認知症カフェの普及が明記されています。 本市においても認知症の予防や認知症の方本人・家族の相談窓口とするため、認知症カフェを設置します。  <令和4年度の取組内容(計画)> 認知症カフェを設置し、毎週1回の開設を行います。	R3	コロナ禍の影響で、長らく開催を見合わせており、再開後も感染症対策として参加数の調整を行い、毎週水曜日の週1回の開催、参加者は2班に分け、隔週で参加と制限を設けて実施し、年間で参加者798人とスタッフ779人の参加であった。	R3計画 2,230			2,220	10
	当初予算	2,230			2,220	10	
	決算額	1,929			1,900	29	
	R4	コロナ禍の影響で、感染症対策を新たに行った。毎週1回水曜日に開催し、参加者を2班に分け、隔週で参加するようにして参加人数の調整を行った。年間で48回実施し、延べ参加者1258人とスタッフ761人の参加であった。	R4計画 2,230			2,220	10
	当初予算	2,230			2,230		
	決算額	2,000				2,000	
	R5		R5計画 2,230			2,220	10
	当初予算	2,230			2,220	10	
	決算額						
	R6		R6計画 2,230			2,220	10
当初予算							
決算額							
R7		R7計画 2,230			2,220	10	
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 11,150			11,100	50
			当初予算 6,690			6,670	20
			決算額 3,929			1,900	2,029

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標 1 認知症カフェの参加者延べ人数	市が委託している「カフェひなたぼっこ」の延べ利用者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	771	人	目標値	800	800	800	800	800
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	798	1,258			
		%			達成率	99.8	157.3			
D 成果指標 1 認知症カフェのスタッフ延べ人数	認知症カフェの参加者が増加することに伴い、ボランティアスタッフの増加も見込まれます。社会の中で役割を持つことが認知症予防に資するとされるため、「カフェひなたぼっこ」におけるスタッフ延べ人数を評価指標とした。	<input type="checkbox"/> 総合計画	880	人	目標値	900	900	900	900	900
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	779	761			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	86.6	84.6		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		16点	16点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 コロナ禍の中、感染症対策を施しながら認知症カフェを開催することで、認知症の予防や認知症の方本人・家族の相談窓口としての機能を果たすことができました。  
 本事業は、認知症の進行を遅らせ、住み慣れた自宅で安心して暮らすために認知症の方本人・家族の居場所相談窓口として重要な役割を持っている。  
 感染症対策で、令和4年度よりカフェの開催を週1回に変更し、人数制限を設けるなど支援者の手間が増えているが、認知症の方本人・家族が安心して生活できるような支援を継続している。  
 今後もカフェの開催が安定して継続できるように、委託事業者の指導及び支援を行っていく。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 住み慣れた地域で安心して暮らすために認知症の方本人・家族の居場所相談窓口として重要な役割を持つ事業であり、今後もカフェの開催が安定して継続できるように、委託事業者の指導及び支援を行っていく必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	51013
枝番	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	地域包括ケア推進係
-----	--------	----	-----------

事業	在宅老人福祉事業	細事業	地域包括ケアシステム事業	実施計画事業	コミュニティカフェ運営事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→(147)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実			消耗品費	230
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する			講師謝礼金	70
目	2	後期基本計画	44 P			<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	実費弁償
決算	60						

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 住み慣れた地域で、高齢者の方がここから健康を保つため、自立した生活を継続し、元気なところから通う地域拠点とする居場所(コミュニティカフェ)の充実を推進します。</p> <p>地域住民が主体となって週一回の通いの場が、介護予防や高齢者の支え合いを重視し、継続して運営できるように行う</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 現在、各町1か所、計7か所のコミュニティカフェが週1回以上、介護予防等に取り組める場所を、継続して運営できるように支援を行う。</p>	R3	コロナ禍で7か所のカフェが休止と感染症対策を施しての実施を断続的に行った。再開時に安心して開催できるように感染症対策の助言や指導などの支援を行った。	R3計画 321			321	
	当初予算	321			321		
	決算額	65			31	34	
	R4	コロナ禍で7か所のカフェが、休止と感染症対策を施しての実施を断続的に行った。再開時に安心して開催できるように、感染症対策の助言や指導などの支援を行った。延べ参加者は4654人であった。	R4計画 321			321	
	当初予算	321			321		
	決算額	87			41	46	
	R5		R5計画 321			321	
	当初予算	321			321		
	決算額						
	R6		R6計画 321			321	
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 321			321	
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 1,605			1,605	
			当初予算 963			963	
			決算額 152			72	80

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 コミュニティカフェの開設数	各町に1か所開設しているコミュニティカフェを継続運営する。	7	箇所	目標値	7	7	7	7	7
					実績値	7	7			
					% 達成率	100	100			
2 コミュニティカフェ参加者延べ人数	7か所のコミュニティカフェの延参加者の実数	4,910	人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
				実績値	5,513	4,654				
				% 達成率	110.3	93.1				
D 成果指標	1 介護認定新規申請者の平均年齢	介護認定新規申請者の平均年齢	83.1	歳	目標値	83	83	83	83	83
					実績値	83.4	84.2			
					% 達成率	100.5	101.5			
2 -										

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		18点	18点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
住み慣れた地域で、高齢者の方がここから健康を保つため、自立した生活を継続し、元気なところから通う地域拠点とする居場所(コミュニティカフェ)を各町1か所整備を行い、継続的に開催できるように支援を行ってきた。休止期間、閉じこもりがちな高齢者が多かったとの話も聞き、継続的に開催できる居場所の必要性を確認でき、本事業は高齢者が安心して地域で済み続けるために必要である。今後も継続して開催できるように支援をするとともに、コミュニティカフェが介護予防の地域拠点として、活動を小地域に広げていくことも視野に入れて支援を行って行く。	住み慣れた地域で高齢者がここから健康を保つため、自立した生活を継続し、元気なところから通う居場所づくりとしてコミュニティカフェの充実を推進している。コロナ禍で7か所のカフェ休止や感染症対策を断続的に実施するなど、充分な開催が行えない時期があった。高齢者が安心して地域で済み続けるために必要な事業であり、活動を小地域に広げていくことも視野に入れながら、継続して支援を行う必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	在宅老人福祉事業	細事業	地域包括ケアシステム事業	実施計画事業	サロン等介護予防派遣事業委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (150)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	4 高齢者福祉の充実		サロン等介護予防派遣事業委託料	114
款	3	施策	③生きがいづくりを推進する			
項	2	施策展開				
目	2	後期基本計画	44 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	60	A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等	

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 社会福祉協議会がいきいきサロン事業に基づいた活動を実施する団体に対し、社会福祉協議会にボランティア登録している講師等を派遣する際の講師派遣委託を行う。  <令和4年度の取組内容(計画)> 登録講師派遣に係る委託料の契約及び支払い。	R3	各地区のサロンにボランティア登録講師を24回派遣した。	R3計画 114			114	
			当初予算 114			114	
			決算額 29			29	
	R4	各地区のサロンにボランティア登録講師を38回派遣した。	R4計画 114			114	
			当初予算 114			114	
			決算額 46			46	
	R5		R5計画 114			114	
			当初予算 114			114	
			決算額				
	R6		R6計画 114			114	
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 114			114	
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 570			570	
			当初予算 342			342	
			決算額 75			29	46

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 講師派遣回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	26	回	目標値	50	50	50	50	50
					実績値	24	38			
					% 達成率	48	76			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 介護認定新規申請者の平均年齢	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	83.1	83	目標値	83	83	83	83	83
					実績値	83.4	84.2			
					% 達成率	100.5	101.5			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	2点	2点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		14点	14点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 ボランティア登録している講師(保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士、運動トレーナー、レクレーションインストラクター等)をサロンに派遣し、介護予防に関する知識の普及啓発を行っている。地域において自主的な介護予防に向けた取組みが実施されるため、今後も事業の継続が必要である。コロナ禍の影響により、派遣事業が予定どおり行えなかった。コロナ禍の影響、リーダーの高齢化等により存続が難しくなっているサロンも少なくないため、今後も社会福祉協議会と連携しながらリーダー及び後継者の育成強化に努めたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 地域において自主的な介護予防の取組みが実施されるために今後も事業の継続が必要である。また、社会福祉協議会と連携しながらリーダー及び後継者の育成強化に努める必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	在宅老人福祉事業	細事業	地域包括ケアシステム事業	実施計画事業	サロン事業補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (150)											
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち					個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実						サロン事業補助金	1,600	
項	2	施策展開	③生きがいづくりを推進する								
目	2	後期基本計画	44	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	60										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 要介護及び要支援状態になるおそれのある高齢者が居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、自主的に介護予防活動等を行っている団体に、予算の範囲内において補助金を交付する。  <令和4年度の取組内容(計画)> 社会福祉協議会が行ういきいきサロン事業に登録している団体に、補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。	R3	豊後大野市自主的介護予防活動等補助金交付要綱に基づき、社会福祉協議会が行ういきいきサロン事業に登録している141団体に、補助金を交付した。	R3計画 1,320				1,320	
	当初予算	1,320				1,320		
	決算額	696				696		
	R4	豊後大野市自主的介護予防活動等補助金交付要綱に基づき、社会福祉協議会が行ういきいきサロン事業に登録している130団体に、補助金を交付した。	R4計画 1,320				1,320	
	当初予算	1,600				1,600		
	決算額	830				460	370	
	R5		R5計画 1,320				1,320	
	当初予算	1,600				1,600		
	決算額							
	R6		R6計画 1,320				1,320	
	当初予算							
	決算額							
	R7		R7計画 1,320				1,320	
当初予算								
決算額								
R3 ~ R7 合計			計画額 6,600				6,600	
			当初予算 4,520				4,520	
			決算額 1,526				1,156	370

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 サロン数	サロン数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	147	箇所	目標値	145	145	145	145	145
						実績値	141	130			
						% 達成率	97.2	89.7			
D 成果指標	1 介護認定新規申請者の平均年齢	介護認定新規申請者の平均年齢	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	83.1	歳	目標値	83	83	83	83	83
						実績値	83.4	84.2			
						% 達成率	100.5	101.5			
E 評価対象外の理由	O 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)									

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			15点
			25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 地域の高齢者が身近なところで気軽に集まることができるサロンは、ひとり暮らしや閉じこもりがちな高齢者が、定期的な交流を通じて生きがいや楽しみを持つことができるよう、また、活動の活性化が図られるよう、今後も事業の継続が必要である。コロナ禍の影響、リーダーの高齢化等により存続が難しくなっているサロンも少なくないため、今後も社会福祉協議会と連携しながらリーダー及び後継者の育成強化に努めたい。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 社会福祉協議会が行ういきいきサロン事業に登録している130団体に、補助金を交付した。ひとり暮らしや閉じこもりがちな高齢者が、定期的な交流を通じて生きがいや楽しみを持つことができるために事業の継続が必要である。なお、今後も社会福祉協議会と連携しながらリーダー及び後継者の育成強化が必要となる。
---	--

事業	在宅老人福祉事業	細事業	居宅介護用品券交付事業	実施計画事業	居宅介護用品券交付事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ (148)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実			居宅介護用品券交付事業費	2,100
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する			消耗品費	53
目	2	後期基本計画	44 P			通信運搬費	25
決算	60		<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			印刷製本費	20

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 居宅で家族等から介護を受ける高齢者等の介護用品購入に係る費用に対し、月あたり7,000円の給付券を交付することにより、家族等の経済的負担を軽減するとともに、住み慣れた地域で生活することを支援する。要介護4以上の要介護高齢者及び家族介護者ともに非課税世帯に属する方が対象。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・申請に基づき決定・廃止事務等 ・事業所からの請求に基づき支払い</p>	R3	介護用品購入に係る費用に対し、ひと月5,000円の給付券を実利用者30名に交付した。
	R4	介護用品購入に係る費用に対し、1月当たり7,000円の給付券を実利用者34名に交付した。
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	1,787			1,700	87
当初予算	1,787			1,700	87
決算額	1,031			900	131
R4計画	1,787			1,700	87
当初予算	2,198			2,100	98
決算額	1,709			1,590	119
R5計画	1,787			1,700	87
当初予算	2,183			2,100	83
決算額					
R6計画	1,787			1,700	87
当初予算					
決算額					
R7計画	1,787			1,700	87
当初予算					
決算額					
計画額	8,935			8,500	435
当初予算	6,168			5,900	268
決算額	2,740			2,490	250

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 実利用者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	217	人	目標値	50	50	50	50	50
					実績値	30	34			
					% 達成率	60	68			
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	11点	3点	11点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		2点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 居宅において要介護高齢者の介護を行う家族介護者の経済的負担の軽減と要介護高齢者の住み慣れた地域で生活することを支援するため、今後も事業の継続が必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 居宅で要介護高齢者の介護を行う家族介護者の経済的負担の軽減と要介護高齢者の住み慣れた地域での生活を支援するために今後も事業の継続が必要と考える。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	52001
枝番	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	老人施設措置事業	細事業	養護老人ホーム措置事業	実施計画事業	老人ホーム入所措置事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (148)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち								
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実								
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する								
目	3	後期基本計画	44	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	61										

個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画
期間	R3 年度 ~ R5 年度
期間	年度 ~ 年度

令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
老人ホーム入所措置費	95,242

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 居宅において養護を受けることが困難な高齢者を公の責任において養護し、高齢者の生活の安定を確保する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 老人ホーム入所判定審査票を基に入所判定会議で措置の適否を判断しますが、事前に本人、家族、ケアマネ、民生委員及び関係機関等でケース会議を開催し、他に利用できる支援や施設はないか検討する。</p>	R3	老人福祉法第11条に基づき、要保護老人を養護老人ホームに措置した。令和4年3月末現在で常楽荘に34人、三国寮に6名を措置している。
	R4	老人福祉法第11条に基づき、要保護老人を養護老人ホームに措置した。令和5年3月末現在で常楽荘に32人、三国寮に6名を措置している。
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	103,689			16,340	87,349
当初予算	103,785			16,340	87,445
決算額	78,958			15,524	63,434
R4計画	103,689			16,340	87,349
当初予算	95,330			15,294	80,036
決算額	75,482			16,525	58,957
R5計画	103,689			16,340	87,349
当初予算	94,932			16,419	78,513
決算額					
R6計画	103,689			16,340	87,349
当初予算					
決算額					
R7計画	103,689			16,340	87,349
当初予算					
決算額					
計画額	518,445			81,700	436,745
当初予算	294,047			48,053	245,994
決算額	154,440			32,049	122,391

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 利用施設数	市内施設数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	2	施設	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2	2			
						% 達成率	100	100			
D 成果指標	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	12点	3点	12点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
環境上の理由及び経済的な理由により家庭で生活を続けていくことが困難な高齢者等に対して、今後も必要に応じて養護老人ホームへの入所措置を図っていく。	環境上の理由や経済的な理由により、身寄りがなく自力で暮らせない等家庭で生活を続けていくことが困難な高齢者等に対して、必要に応じて養護老人ホームへの入所措置を図っていき、生活の安定を確保するために事業を継続する必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業番号	枝番
54001	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	老人施設管理事業	細事業	高齢者福祉施設管理事業	実施計画事業	清川高齢者生活福祉センター指定管理委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	-----------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (148)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度主な歳出名称 清川高齢者生活福祉センター等指定管理委託料	当初予算額 6,400					
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実											
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する											
目	5	後期基本計画	44	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画				<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	63													

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 劣悪な住宅環境や高齢による身体虚弱等のため自立した生活には不安があるが、身の周りのことは自分でできる高齢者等に住居を提供する。 平成31年度～令和3年度までの3年間、豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定している。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・指定管理先の更新等 ・指定管理料の年度協定締結 ・指定管理料の支払 ・入退居及び負担金徴収等に関する事務</p>	R3	清川高齢者生活福祉センターみつば苑等を豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定し、高齢者に住居を提供した。令和4年3月末現在で入居者は4人であった。	R3計画 6,400 当初予算 6,400 決算額 6,400			42	6,358	
	R4	清川高齢者生活福祉センターみつば苑等を豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定し、高齢者に住居を提供した。令和5年3月末現在で入居者は4人であった。	R4計画 6,400 当初予算 6,400 決算額 6,400			42	6,358	
	R5		R5計画 6,400 当初予算 6,400 決算額 6,400			42	6,358	
	R6		R6計画 6,400 当初予算 決算額			42	6,358	
	R7		R7計画 6,400 当初予算 決算額			42	6,358	
	R3 ~ R7 合計			計画額 32,000 当初予算 19,200 決算額 12,800			210	31,790

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値						
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 総合計画			%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	3点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点	3点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点	3点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	9点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	9点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 家族の援助が困難な状況で、独立した生活に不安のある高齢者に対して、今後も居宅を提供することにより、福祉の増進を図る。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 高齢者に対して居住機能を提供することにより、高齢者が安心して生活を送れるように支援しており、高齢者の福祉の増進を図るために今後も継続していく必要がある。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業番号	枝番
54001	2

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	老人施設管理事業	細事業	高齢者福祉施設管理事業	実施計画事業	大飼高齢者生活福祉センター指定管理委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	-----------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (148)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度主な歳出名称 大飼高齢者生活福祉センター指定管理委託料	当初予算額 8,200
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実			
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する			
目	5	後期基本計画	44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	63					

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 劣悪な住宅環境や高齢による身体虚弱等のため自立した生活には不安があるが、身の周りのことは自分でできる高齢者等に住居を提供する。 平成31年度～令和3年度までの3年間、豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定している。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・指定管理先の更新等 ・指定管理料の年度協定締結 ・指定管理料の支払 ・入退居及び負担金徴収等に関する事務</p>	R3	大飼高齢者生活福祉センターふれあい荘等を豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定し、高齢者に住居を提供した。令和4年3月末現在で入居者は6人であった。
	R4	大飼高齢者生活福祉センターふれあい荘等を豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定し、高齢者に住居を提供した。令和5年3月末現在で入居者は5人であった。
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	8,200			28	8,172
当初予算	8,200			42	8,158
決算額	8,200			48	8,152
R4計画	8,200			28	8,172
当初予算	8,200			96	8,104
決算額	8,200			87	8,113
R5計画	8,200			28	8,172
当初予算	8,200			168	8,032
決算額					
R6計画	8,200			28	8,172
当初予算					
決算額					
R7計画	8,200			28	8,172
当初予算					
決算額					
計画額	41,000			140	40,860
当初予算	24,600			306	24,294
決算額	16,400			135	16,265

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C	1-		<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値				
			<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値				
	2-		<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値				
			<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値				
D	1-		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
			<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
	2-		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
			<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
			<input type="checkbox"/> 個別計画				目標値				
							実績値				
							達成率				

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	R2実績値	単位	達成度	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
					評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5			3点	9点	/25点	3点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5			3点			3点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5			3点			3点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5			—点			—点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5			—点			—点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 家族の援助が困難な状況で、独立した生活に不安のある高齢者に対して、今後も居宅を提供することにより、福祉の増進を図る。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 高齢者に対して居住機能を提供することにより、高齢者が安心して生活を送れるように支援しており、高齢者の福祉の増進を図るために今後も継続していく必要がある。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業番号	枝番
54001	3

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	老人施設管理事業	細事業	高齢者福祉施設管理事業	実施計画事業	朝地憩いの村指定管理委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.→(148)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち								
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実								
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する								
目	5	後期基本計画	44	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	63										

個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画	
	期間	R3 年度 ~ R5 年度
期間	年度 ~ 年度	

令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
朝地憩いの村指定管理委託料	6,400

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 劣悪な住宅環境や高齢による身体虚弱等のため自立した生活には不安があるが、身の周りのことは自分でできる高齢者等に住居を提供する。 平成31年度～令和3年度までの3年間、豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定している。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・指定管理先の更新等 ・指定管理料の年度協定締結 ・指定管理料の支払 ・入退居及び負担金徴収等に関する事務</p>	R3	朝地憩いの村居住部門等を豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定し、高齢者に住居を提供した。令和4年3月末現在入居者は4人であった。
	R4	朝地憩いの村居住部門等を豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定し、高齢者に住居を提供した。令和5年3月末現在入居者は6人であった。
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	6,400			70	6,330
当初予算	6,400			70	6,330
決算額	6,400				6,400
R4計画	6,400			70	6,330
当初予算	6,400				6,400
決算額	6,400				6,400
R5計画	6,400			70	6,330
当初予算	6,400				6,400
決算額					
R6計画	6,400			70	6,330
当初予算					
決算額					
R7計画	6,400			70	6,330
当初予算					
決算額					
計画額	32,000			350	31,650
当初予算	19,200			70	19,130
決算額	12,800				12,800

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C	1-		<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値					
			<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値					
	2-		目標値									
			実績値									
D	1-		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
			<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
	2-		<input type="checkbox"/> 個別計画				目標値					
			実績値									
	1-		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
			<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
	2-		<input type="checkbox"/> 個別計画				目標値					
			実績値									

E 評価対象外の理由	O 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	9点	3点	9点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
				9点		9点
				25点		25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 家族の援助が困難な状況で、独立した生活に不安のある高齢者に対して、今後も居宅を提供することにより、福祉の増進を図る。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 高齢者に対して居住機能を提供することにより、高齢者が安心して生活を送れるように支援しており、高齢者の福祉の増進を図るために今後も継続していく必要がある。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業番号	枝番
54001	4

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	老人施設管理事業	細事業	高齢者福祉施設管理事業	実施計画事業	生活支援ハウス事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (148)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実				
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する				
目	5	後期基本計画	44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	63						
A 事業目的・内容・実績						B 事業計画額・決算額等	

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 高齢者生活福祉センター(3箇所)の老朽化に伴う施設設備の更新工事等を行い、入居者の安全及び施設の長寿命化を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 施設の長寿命化のため計画的な施設設備の更新工事を行う。</p>	R3	生活支援ハウス改修工事、朝地憩いの村改修工事、大飼高齢者生活福祉センター改修工事、清川みつば苑ボイラー取替え工事、清川高齢者生活福祉センター改修工事を行った。	R3計画 17,543 当初予算 17,543 決算額 16,913				17,543
	R4	朝地憩いの村改修工事12,177千円、大飼高齢者生活福祉センター改修工事1,439千円、清川高齢者生活福祉センター改修工事1,298千円、デイサービスセンター悠々改修工事8,415千円を行った。	R4計画 17,543 当初予算 34,620 決算額 23,329	13,000		8,000	17,543
	R5		R5計画 17,543 当初予算 11,022 決算額				11,022
	R6		R6計画 17,543 当初予算 決算額				17,543
	R7		R7計画 17,543 当初予算 決算額				17,543
	R3 ~ R7 合計			計画額 87,715 当初予算 63,185 決算額 40,242	13,000	8,000	87,715

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略								
		<input type="checkbox"/> 個別計画								
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略								
		<input type="checkbox"/> 個別計画								
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画								
		<input type="checkbox"/> 総合戦略								
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画								
		<input type="checkbox"/> 総合計画								

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	9点	3点	9点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 高齢者生活福祉センターの老朽化が進んでおり、修繕や器具の更新が必要となっている。入居者の安全及び施設の長寿命化を図るため、今後も計画的な修繕等を行っていく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 老朽化が進んでおり、修繕や器具の更新が必要となっている。入居者の安全及び施設の長寿命化を図るため、今後も計画的に修繕等を行う必要がある。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	児童福祉総務事業	細事業	児童福祉事務費	実施計画事業	子育て支援従事者スキルアップ事業委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------	--------	----------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (134)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 子育て支援従事者スキルアップ事業委託料	当初予算額 400
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	②保育サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>			
目	1					
決算	65					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 子どもを安心して育てることができる体制を整備するためには、子育て支援従事者のサービスの質の向上が求められている。そこで、資質向上研修を実施する。  <令和4年度の取組内容(計画)> 子育て支援従事者の質の向上を図ることを目的に開催する研修会等を実施する事業者に委託する。	R3	子育て支援従事者のスキルアップを図るための研修を実施した。《放課後児童支援員資質向上研修(4回開催、98人参加)、保育の質の向上研修(1回開催、83人参加)》	R3計画 400	200			200
	当初予算	400	200			200	
	決算額	375	187			188	
	R4	子育て支援従事者のスキルアップを図るための研修を実施した。《放課後児童支援員資質向上研修(4回開催、88人参加)、保育の質の向上研修(2回開催、163人参加)》	R4計画 400	200			200
	当初予算	400	200			200	
	決算額	395	197			198	
	R5		R5計画 400	200			200
	当初予算	400	200			200	
	決算額						
	R6		R6計画 400	200			200
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 400	200			200
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 2,000	1,000			1,000
			当初予算 1,200	600			600
			決算額 770	384			386

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 研修開催	研修を開催した回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	回	目標値	2	2	2	2	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	3	6			
		% 達成率			150	300				
D 成果指標 1 参加人数	研修会への参加人数	<input type="checkbox"/> 総合計画	215	人	目標値	200	200	200	200	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	181	251			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	90.5	125.5			
2 研修内容の理解度	「理解できた」「だいたい理解できた」と回答した人数/参加人数	<input type="checkbox"/> 総合計画	71.6	%	目標値	70	70	70	70	70
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	75.5	75.6			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	107.9	108			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	19点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	4点
			19点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 令和4年度は、参加人数に制限をかけなかったことから、目標人数を上回った。研修内容についての理解度は目標を達成できたが、研修内容を検討し、さらに理解度を上げていく必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 子育て支援従事者の資質向上のための研修を、教育保育協議会及び放課後児童クラブ連絡協議会に委託して行い、一定の成果を上げている。今後においては、研修内容の検討を行い理解度を上げて資質向上に努める事業を行っていく。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	児童福祉総務事業	細事業	児童福祉事務費	実施計画事業	保育所等業務効率化推進事業補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------	--------	-------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (136)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 保育所等業務効率化推進事業補助金	当初予算額 3,000
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	②保育サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1					
決算	65					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 多様な保育需要に対応するために、認定こども園等や病児保育施設においてICT化を推進し、子どもを安心して育てることができる環境整備を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 私立認定こども園等のICT等を活用した業務システムの導入に係る経費に対し補助する。</p>	R3	保育所等においてICTを活用した業務支援システムを導入した。《保育所等(1か所)、病児保育施設(3か所)》	R3計画 3,090	1,960			1,130
			当初予算 2,430	1,520			910
			決算額 1,260	840			420
	R4	保育所等においてICTを活用した業務支援システムを導入した。《保育所等(1か所)》	R4計画 3,000	2,000			1,000
			当初予算 3,000	2,000			1,000
			決算額 750	500			250
	R5		R5計画 3,000	2,000			1,000
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 3,000	2,000			1,000
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 3,000	2,000			1,000
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 15,090	9,960			5,130
			当初予算 5,430	3,520			1,910
			決算額 2,010	1,340			670

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 事業対象となる施設	補助金対象施設数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	か所	目標値	5	5			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4	1			
		% 達成率			80	20				
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								
D 成果指標 1 補助金対象施設件数	補助金件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	1	か所	目標値	5	5			
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	4	1			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	80	20			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	16点	3点	16点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
			25点		25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 保育所等に、園児情報の共有や指導計画の作成等を行うことができる児童管理システムの導入により業務の効率化を図ることができた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 保育所等のICT化導入を支援し、子育て支援サービスの充実に努めていく。保護者及び事務の軽減を図るために工夫を凝らしたシステム導入を積極的な支援を行っていく。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	児童福祉総務事業	細事業	児童福祉事務費	実施計画事業	認可外保育施設衛生・安全対策事業補助事業	終了年度	R7
----	----------	-----	---------	--------	----------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (136)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 認可外保育施設衛生・安全対策事業補助金	当初予算額 20
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	②保育サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1					
決算	65					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 多様な保育需要に対応するために認可外保育施設において、子どもを安心して育てることができる環境整備を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 認可外保育施設を利用する未就学児に対する健康診断を実施するために必要となる経費を補助する。</p>	R3	認可外保育施設を利用する未就学児に健康診断を実施するために必要となる経費に対し補助した。《実施施設1か所》	R3計画 20	10			10
	当初予算	20	10			10	
	決算額	20	10			10	
	R4	認可外保育施設を利用する未就学児に健康診断を実施するために必要となる経費に対し補助した。《実施施設1か所》	R4計画 20	10			10
	当初予算	20	12			8	
	決算額	20	10			10	
	R5		R5計画 20	10			10
	当初予算	20	10			10	
	決算額						
	R6		R6計画 20	10			10
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 20	10			10
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 100	50			50
			当初予算 60	32			28
			決算額 40	20			20

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 事業対象となる施設	補助金対象施設数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		か所	目標値	1	1	1	1	1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1			
		% 達成率	100		100					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								
D 成果指標 1 補助件数	補助金件数	<input type="checkbox"/> 総合計画		か所	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	1	1		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画		% 達成率						

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	21点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
			21点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 認可外保育施設を利用する未就学児に対する健康診断を実施することで、安心して子どもを育てることのできる環境を整備することができた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 一定の成果を上げているので、今後も引き続き、環境整備に努めなければならない。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	児童福祉総務事業	細事業	子ども・子育て支援総務事業	実施計画事業	子ども・子育て支援総務事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (133)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 子ども・子育て会議委員報酬 費用弁償 消耗品費 託児業務委託料	当初予算額 299 55 40 14
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
項	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する			
目	1	後期基本計画	42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	65					

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 子ども・子育て会議を開催し、支援事業の進捗状況を確認するとともに、子育て支援の重要性に対する関心や理解を深め、子育てサービスにつながる事業の充実を図る。  <令和4年度の取組内容(計画)> 子ども・子育て会議の開催及び地域子ども・子育て支援事業計画の中間見直しを行った。	R3	子ども・子育て会議を2回開催し、教育・保育の量や提供体制等について検証・協議した。	R3計画 247 当初予算 247 決算額 145				247	
	R4	子ども・子育て会議を2回開催し、教育・保育の量や提供体制等について検証・協議し、中間見直しを行った。	R4計画 250 当初予算 408 決算額 617				250	
	R5		R5計画 2,400 当初予算 3,856 決算額				2,400	
	R6		R6計画 250 当初予算 決算額				250	
	R7		R7計画 2,500 当初予算 決算額				2,500	
	R3 ~ R7 合計			計画額 5,647 当初予算 4,511 決算額 762				5,647

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 地域子ども・子育て支援事業数値目標の検証	地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保方策」を設定しており、事業が円滑に実施されているか数値目標の検証が必要である。	<input type="checkbox"/> 総合戦略	30	事業	目標値	30	30	30	30	30
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	30	30			
		% 達成率			100	100				
D 成果指標 1 子ども子育て会議	子ども子育て会議の開催数	<input type="checkbox"/> 総合計画	2	回	目標値	2	3	2	2	2
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	2	2			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	66.7			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	21点	3点	21点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 「子ども・子育て会議」は、子ども・子育て支援法第77条第1項の規定に基づき設置している機関で、教育・保育の量や提供体制、教育・保育施設の利用定員等に関して意見を聴き、子ども・子育て支援事業計画(キラキラこどもプラン)に反映させている。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 会議の開催により、数値目標等の検証・協議を行い一定の成果を上げている。引続き、教育・保育の量や提供体制等について検証・協議していく必要がある。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	児童福祉総務事業	細事業	ブックスタート支援事業	実施計画事業	ブックスタート支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (133)										
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実					記念品代	360	
項	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する							
目	1	後期基本計画	42 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	65									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 赤ちゃんが生まれた家庭に絵本を贈り、赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心触れ合う時間を持つきっかけを作る。 また、行政の各種施策を含む行政機関との繋がりを持つ機会を作る。  <令和4年度の取組内容(計画)> 親子の絆づくりを目的に出産祝品として絵本を保護者に贈呈する。	R3	出産祝い品として絵本を136セット贈呈した。	R3計画 360			300	60
			当初予算 360			300	60
			決算額 310			300	10
	R4	出産祝い品として絵本を113セット贈呈した。	R4計画 360			300	60
			当初予算 360			300	60
			決算額 286			200	86
	R5		R5計画 360			300	60
			当初予算 360			300	60
			決算額				
	R6		R6計画 360			300	60
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 360			300	60
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,800			1,500	300
			当初予算 1,080			900	180
			決算額 596			500	96

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 絵本購入セット数	絵本購入セット数(年度末)	170	セット	目標値	170	170	170	170	170
					実績値	170	150			
					% 達成率	100	88.2			
2 -					目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 絵本配布セット数	絵本配布セット数	160	セット	目標値	160	165	165	170	170
					実績値	136	113			
					% 達成率	85	68.5			
2 -					目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 出生数の減少により令和4年度は113セットの贈呈となったが、赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心触れ合う時間を持つきっかけづくりに寄与できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 乳児家庭全戸訪問の際に保健師が育児指導とともに手渡しており、一定の成果を上げている。今後においても、赤ちゃんと保護者が絵本を介して心触れ合う時間のきっかけ作りの支援に努めなければならない。
---	--

事業番号	枝番
56009	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係
-----	--------	----	--------

事業	児童福祉総務事業	細事業	子育て世帯リフォーム支援事業	実施計画事業	子育て世帯リフォーム支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (133)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち								
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実								
項	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する								
目	1	後期基本計画	42 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>	
決算	65										

個別計画名	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画		
期間	R2 年度	～	R6 年度
期間	年度	～	年度

令和4年度主な歳出名称	当初予算額
子育て世帯リフォーム支援事業補助金	3,300

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 子育て世帯の住宅環境の向上、三世帯同居による子育て及び世代間支援を図るため、市内の子育て世帯が行う持ち家の改修工事の一部を補助する。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; 子育て世帯リフォーム支援事業の周知と改修工事の一部を補助する。</p>	R3	子どものための改修工事等に対し補助した。《子育て支援型1件、三世帯同居支援型2件》	R3計画 3,300 当初予算 3,300 決算額 1,800	1,650			1,650	
	R4	子どものための改修工事等に対し補助した。《子育て支援型2件、三世帯同居支援型1件》	R4計画 2,550 当初予算 3,300 決算額 1,350	1,275			1,275	
	R5		R5計画 2,550 当初予算 3,300 決算額	1,275			1,275	
	R6		R6計画 2,550 当初予算 決算額	1,275			1,275	
	R7		R7計画 2,550 当初予算 決算額	1,275			1,275	
	R3～R7合計			計画額 13,500 当初予算 9,900 決算額 3,150	6,750			6,750

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 相談件数	子育て世帯リフォーム支援事業の相談	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	18	件	目標値	20	20	20	20	20
						実績値	13	20			
						% 達成率	65	100			
D 成果指標	1 補助金交付	子育て世帯リフォーム支援事業補助金の交付件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	3	件	目標値	5	4	4	4	4
						実績値	3	3			
						% 達成率	60	75			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	17点	3点	17点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 補助金交付件数が目標4件に対し3件となった。補助金について相談はあったが、申請にはいたらなかった。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 子育て世帯の住宅環境の向上や三世帯同居による子育て及び世代間支援を図ることができ、一定の成果を上げている。今後も、市報等により周知を図っていく必要がある。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性

⇒ A. 現状のまま継続

事業	児童福祉総務事業	細事業	子育てほっとクーポン活用事業	実施計画事業	子育てほっとクーポン活用事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (133)									
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実					子育てほっとクーポン交付金	4,380
項	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する					子育てほっとクーポンシステム保守委託料	132
目	1		後期基本計画	42	P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		消耗品費	20
決算	65							通信運搬費	5

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 子育て家庭の経済的負担等の軽減を図るとともに各種子育てサービスなどの利用促進を図るため、クーポンを配布する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; クーポンの配布と利用のあったクーポンの換金を行う。</p>	R3	地域の子育て支援サービスが利用できるクーポンを交付した。《172人、337冊》	R3計画 4,548	2,195			2,353
			当初予算	4,548	2,195		2,353
			決算額	3,603	1,878		1,725
	R4	地域の子育て支援サービスが利用できるクーポンを交付した。《114人、235冊》	R4計画 4,548	2,195			2,353
			当初予算	4,537	2,190		2,347
			決算額	3,075	1,607		1,468
	R5		R5計画 4,548	2,195			2,353
			当初予算	3,637	1,740		1,897
			決算額				
	R6		R6計画 4,548	2,195			2,353
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 4,548	2,195			2,353
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 22,740	10,975		11,765	
			当初予算 12,722	6,125		6,597	
			決算額 6,678	3,485		3,193	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 クーポン交付冊数	クーポン交付冊数(年度末)	327	冊	目標値	327	327	327	327	327
					実績値	337	235			
	% 達成率	103.1	71.9							
2 利用可能サービスの拡充	利用可能サービス数(令和7年度末)	15	個	目標値	15	16	16	17	17	
				実績値	15	15				
				% 達成率	100	93.8				
D 成果指標	1 クーポン換金額	クーポン換金額(年度末)	2,197.5	千円	目標値	2,197.5	2,197.5	2,197.5	2,197.5	2,197.5
					実績値	3,447.5	2,923.5	93.8		
	% 達成率	156.9	133	4.3						
	2 -									

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	17点	3点	17点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 令和3年度に「おむつ・ミルクの購入」と「産後ケア事業」のサービスを追加した。クーポンの利用実績では、「おむつ・ミルクの購入」が全体の74.6%、「インフルエンザ予防接種」が12.5%を占めた。国の「出産・子育て応援給付金」の創設に伴い、令和5年度以降は、おおい子育てほっとクーポンの交付はしないこととなった。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 子育て家庭の経済的負担等の軽減を図ることができ、一定の成果を上げている。
---	--

事業	児童福祉総務事業	細事業	子育て応援券給付事業	実施計画事業	子育て応援券給付事業	終了年度	なし
----	----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (133)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2年度～R6年度	令和4年度 主な歳出名称 子育て応援給付金 子育て応援券運営業務委託料 印刷製本費 消耗品費	当初予算額 6,815 1,000 236 20
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>			
目	1			期間	年度	年度
決算	65					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 子育てに必要な用品の購入費用等を補助することで子育て家庭の経済的負担を軽減し、市内で安心して子育てができる環境を作る。  <令和4年度の取組内容(計画)> 利用可能用品及びサービスの周知と応援券を交付する。	R3	粉ミルクや授乳関連用品など、子育てに必要な用品を購入できる券を発行した。《144人、430冊》	R3計画 8,426			8,000	426
			当初予算 8,426			8,000	426
			決算額 5,962			5,800	162
	R4	粉ミルクや授乳関連用品など、子育てに必要な用品を購入できる券を発行した。《102人、312冊》	R4計画 8,426			8,000	426
			当初予算 8,083			7,800	283
			決算額 4,652			4,200	452
	R5		R5計画 8,426			8,000	426
			当初予算 3,260			2,950	310
			決算額				
	R6		R6計画 8,426			8,000	426
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 8,426			8,000	426
			当初予算				
		決算額					
R3～R7合計			計画額 42,130			40,000	2,130
			当初予算 19,769			18,750	1,019
			決算額 10,614			10,000	614

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 応援券交付冊数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	474	冊	目標値	474	474	474	474	474
					実績値	430	312			
					% 達成率	90.7	65.8			
D 成果指標	1 応援券換金額	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	4,561	千円	目標値	4,561	4,561	4,561	4,561	4,561
					実績値	4,806	3,503			
					% 達成率	105.4	76.8			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	19点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	19点	4点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
応援券の交付冊数は、出生数の減少により目標を達成していないが、保護者からは大変喜ばれている。令和元年度までは一律2万円だったが、令和2年度から第1子2万円、第2子3万円、第3子4万円、第4子以降5万円と内容を充実させている。また、応援券を利用できる期間が満1歳までとなっているが、応援券は子育てほっとクーポンと違い、お尻拭きなどのベビー用品の購入に使えるため、現時点で1年という期間の延長を望む声はない。国の「出産・子育て応援給付金」は創設に伴い、令和5年度以降子育て応援券は交付しないことになった。	市の独自事業として、子育て家庭の経済的負担の軽減に寄与し保護者からの評判も良く、一定の成果を上げている。

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	要保護児童対策事業	実施計画事業	要保護児童対策事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (131)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 会計年度任用職員報酬 社会保険料(会計年度任用職員分) 期末手当 費用弁償(会計年度任用職員分)	当初予算額 1,255 198 157 75	
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実				
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する				
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	1				期間	年度 ~ 年度	
決算	66						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 児童福祉法に基づき要保護児童対策地域協議会を設置し、機能強化を図るため、家庭相談員を配置し専門性を強化し相談業務の実施及び児童虐待の予防、対策を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・ケース記録、共同管理台帳の作成 ・緊急受理会議、ケース検討会議 ・児童虐待対応研修 ・要保護児童等に関する情報共有システムの整備</p>	R3	要保護児童対策地域協議会の代表者会議、実務者会議、児相連絡会、ケース会議を行い情報交換、支援方針の見直し等を行った。支援の実施状況の進行管理と関係機関との連絡調整を行った。	R3計画 1,947	1,298			649
			当初予算	1,947	1,298		649
			決算額	1,708	1,218		490
	R4	要保護児童対策地域協議会の代表者会議・児相連絡会・実務者会議・個別支援会議・ケース検討会議を行い情報交換・支援方針の見直し等を行った。支援の実施状況の進行管理と関係機関との連絡調整を行った。	R4計画 2,520	1,680			840
			当初予算	1,933	1,288		645
			決算額	1,706	1,213	7	486
	R5		R5計画 2,520	1,680			840
			当初予算	2,360	1,572		788
			決算額				
	R6		R6計画 2,520	1,680			840
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 2,520	1,680			840	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 12,027	8,018		4,009	
			当初予算 6,240	4,158		2,082	
			決算額 3,414	2,431	7	976	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7		
C 活動指標	1 各機関の連携による支援	<input type="checkbox"/> 総合戦略	68	回	目標値	70	70	70	70	70		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	55	40					
		% 達成率			78.6	57.1						
		2 児童虐待相談			目標値	100	100	100	100	100		
	家庭児童相談室で扱った児童虐待相談件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	104	件	実績値	132	113					
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率			132	113						
D 成果指標	1 実務者会議の開催	<input type="checkbox"/> 総合計画			12	回	目標値	12	12	12	12	12
		<input type="checkbox"/> 総合戦略					実績値	12	12			
	<input type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率	100	100								
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画	目標値									
		<input type="checkbox"/> 総合戦略	実績値									
		<input type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率									

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	21点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	4点
			20点
			25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>虐待の危険度や緊急度の判断等を伴うものが多く、緊急受理会議を開催し、その後の支援内容の決定等、週3日の家庭相談員不在時多く、組織的に意思決定や状況の確認や面談等ほとんど職員での対応となった。支援の内容の検討に苦慮した。虐待通告等に対する緊急対応やその後の支援、関係機関との連携等を適切に実施するために、専門的知識を要する方の人員体制の確保強化や専門職による体制の充実が望まれる。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>児童福祉法第25条に基づき設置しており、関係機関と連携し、一定の成果を上げている。取扱案件が複雑化及び増加傾向にあり、今後においては、専門的な人員体制により組織を更に強化し、関係機関との連携及び支援や見守りが必要である。</p>
---	---

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子ども家庭総合支援拠点事業	実施計画事業	子ども家庭総合支援拠点事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (131)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 会計年度任用職員報酬 1,255 社会保険料(会計年度任用職員分) 198 期末手当 157 費用弁償(会計年度任用職員分) 75	当初予算額
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する			
項	3	施策展開				
目	1	後期基本計画	42 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	66			期間	年度 ~ 年度	

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> すべての子どもの権利を擁護し、子どもとその家庭及び妊産婦を対象に、実情の把握、子ども等に関する相談全般から通所・在宅支援を中心としたより専門的な相談対応や必要な調査、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務を行うため、子ども家庭総合支援拠点を設置する。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・子ども家庭支援全般に係る業務実情の把握、情報の提供、相談等への対応、総合調整 ・要支援児童、要保護児童、特定妊婦への支援業務 ・相談、通告の受付、受理会議、調査、支援、指導、児童記録表の作成	R3	子どもの実情の把握、関係機関への情報の提供、相談等の対応、関係機関との総合調整を行った。児童記録表の作成、特定妊婦等への支援業務を行った。	R3計画 1,778	889			889	
				当初予算 1,778	889			889
				決算額 1,715	889			826
	R4	子どもの実情の把握、関係機関への情報の提供、相談等の対応、管家果取との総合調整を行った。児童記録表の作成、業務を行った。	R4計画 2,320	1,160			1,160	
				当初予算 1,764	882			882
				決算額 1,985	1,095			890
	R5		R5計画 2,320	1,160			1,160	
				当初予算 8,666	4,332			4,334
				決算額				
	R6		R6計画 2,320	1,160			1,160	
				当初予算				
				決算額				
	R7		R7計画 2,320	1,160			1,160	
				当初予算				
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 11,058	5,529			5,529	
			当初予算 12,208	6,103			6,105	
			決算額 3,700	1,984			1,716	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ケース会議	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	68	回	目標値	70	70	70	70	70
					実績値	55	40			
	%	達成率	78.6	57.1						
	2 児童虐待相談	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	104	件	目標値	100	100	100	100	100
実績値					132	113				
%	達成率	132	113							
D 成果指標	1 個別支援会議の開催	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	28	回	目標値	28	28	28	28	28
					実績値	28	28			
	%	達成率	100	100						
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画				目標値				
実績値										
%	達成率									

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	20点		点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点			点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点			点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点			点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		／25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 支援の方針や見直し、子ども家庭支援員の不在時の対応など、支援の経過を残すためにもケースに関する記録がないと適切な対応ができないため児童記録表の作成が大切だが、受理した段階での児童記録表の作成はできなかった。今後児童福祉法が改正されてR6年度に向けて子ども家庭センターの設置が求められており、妊娠期から子育てや子どもに関する相談を受けて支援につなげるマネジメントができる人材の体制整備に努める必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 子どもの実情の把握、関係機関への情報提供、相談対応等を行い、一定の成果を上げているが、複雑なケースが増加傾向にある。今後は、相談や支援などの対応に専門性が求められているため、効果的・計画的な人材育成が必要となっている。

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	地域子育てサポート事業	実施計画事業	地域子育てサポート事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ (129)		会計 一般	政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 火災保険料 89 託児業務委託料 24 講師謝礼金 40 消耗品費 20	当初予算額
款	3	施策 3 結婚・出産・子育て支援の充実				
項	3	施策展開 ①子育て支援サービスを充実する				
目	1	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	66					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 地域子育てサポート事業・・・子育ての手助けをして欲しい人「よろしく会員」と手伝い出来る人「まかせて会員」が相互援助活動を行うことにより子育て支援を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 会員間の総合援助活動の連絡・調整やまかせて会員の養成講習会を実施する。</p>	R3	「まかせて会員」(14人)が「よろしく会員」(88人)を地域の中で援助した。《預かり57件、送迎18件》	R3計画 193	128			65
			当初予算 193	128			65
			決算額 145	96			49
	R4	まかせて会員(14人)がよろしく会員(94人)を地域の中で相互援助した。(預かり68件・送迎0件)	R4計画 193	128			65
			当初予算 173	114			59
			決算額 149	106			43
	R5		R5計画 193	128			65
			当初予算 149	98			51
			決算額				
	R6		R6計画 193	128			65
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 193	128			65
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 965	640			325
			当初予算 515	340			175
			決算額 294	202			92

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 よろしく会員登録者数	よろしく会員登録者数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	83	人	目標値	83	85	85	90	90
						実績値	88	94			
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率	106	110.6			
D 成果指標	1 相互援助活動の実施数	相互援助活動の実施数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	58	件	目標値	55	55	60	60	65
						実績値	75	68			
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率	136.4	123.6			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	22点	4点	22点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
			22点		22点	
			25点		25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 現時点では需要と供給のバランスは保たれている。令和3年度から令和4年度にかけて、活動件数が微増した。今後需要が伸びていけば、まかせて会員の確保が課題となる。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 子育て世帯から必要とされている事業であり、一定の成果を上げている。今後においては、需要の伸びを想定して、更なる「まかせて会員」の確保に努めなければならない。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て短期支援事業	実施計画事業	子育て短期支援事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (131)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 子育て短期支援事業委託料	当初予算額 515	
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実				
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する				
項	3	施策展開					
目	1	後期基本計画	42 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	66						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等							
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
<p>&lt;事業の目的&gt; 保護者の疾病その他の理由により家庭において子どもを養育することが一時的に困難となった場合等に、児童養護施設等において一定期間、養育・保護を行うことにより、これらの子ども及びその家庭の福祉の向上を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・実施施設との委託契約 ・利用の申請受付 ・実施施設の受け入れ状況等の審査、可否決定、通知 ・実施施設へ委託、利用 ・実施施設への経費の支払 ・里親活用に向けて準備</p>	R3	保護者が出産、就労等の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合、実施施設において保護をおこなった。3施設と委託契約し、利用の際は事前に見学、利用の申請の受付、可否決定、通知、実施施設へ委託、経費の支払を行った。	R3計画 当初予算 決算額	679 679 423	372 372 327			307 307 96	
	R4	保護者が出産、就労等の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合、実施施設において保護をおこなった。4施設と委託契約し、利用の際は事前に見学、利用の申請の受付、可否決定、通知、支援施設へ委託、経費の支払いを行った。	R4計画 当初予算 決算額	679 515 1,341	372 342 618			307 173 723	
	R5		R5計画 当初予算 決算額	679 876	372 584			307 292	
	R6		R6計画 当初予算 決算額	679	372			307	
	R7		R7計画 当初予算 決算額	679	372			307	
	R3 ~ R7 合計			計画額 当初予算 決算額	3,395 2,070 1,764	1,860 1,298 945			1,535 772 819

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 短期入所生活援助利用	<input type="checkbox"/> 総合戦略	63	日	目標値	108	108	108	108	108
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	143	241			
	% 達成率	132.4	223.2							
2 委託実施施設	短期入所生活援助事業を委託した実施施設数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	3	箇所	目標値	3	4	4	4	4
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	3	4			
		% 達成率			100	100				
D 成果指標	1 利用児童数	<input type="checkbox"/> 総合計画	4	人	目標値	5	5	5	5	5
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	5	11			
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率	100	220						
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	24点	24点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
利用の申請があった場合、実施施設の受け入れ可能な場合は速やかに決定を行い、利便を考慮し、弾力的運営に努めた。R4年度は特定妊婦からの出産後見守り支援の利用が4名や、ネグレクト傾向にあり定期的に利用するケースが多く、事業費が大幅に増えた。ショートステイ利用者の9割が要保護児童対策協議会の共同管理台帳登録の児童だった。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
家庭での一時的な養育困難時に、施設で養育・保護を行うことで、児童の福祉に必要な事業であり一定の成果を上げている。今後においては、利用件数の増加が見込まれ、実施施設の開拓に努める必要がある。

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	地域子育て支援拠点事業	実施計画事業	家庭訪問型子育て支援事業委託事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (131)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 家庭訪問型子育て支援事業委託料 3,306
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実		
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する		
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
目	1				
決算	66				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 家庭訪問型子育て支援事業(ホームスタート)では、地域等から孤立する可能性のある家庭に訪問し、悩みを聞いたり、共に行動することで徐々に地域や他の親との交流を促す。  <令和4年度の取組内容(計画)> 家庭訪問型子育て支援事業を行う事業所に委託して実施する。	R3	ホームビジター養成講座(全9回)を開催するとともに、傾聴や協働等の活動を行った。《新ビジター4人、訪問件数8件(訪問回数69回)》	R3計画 3,288	2,192			1,096
			当初予算 3,288	2,192			1,096
			決算額 3,306	2,204			1,102
	R4	ホームビジター養成講座(全9回)を開催するとともに、傾聴や協働等の活動を行った。新ビジター3名 訪問件数9件(訪問回数93回)	R4計画 3,306	2,204		1,000	1,102
			当初予算 3,306	2,204	1,000		102
			決算額 3,306	2,204			1,102
	R5		R5計画 3,306	2,204			1,102
			当初予算 3,306	2,204	1,040		62
			決算額				
	R6		R6計画 3,306	2,204			1,102
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 3,306	2,204			1,102
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 16,512	11,008			5,504
			当初予算 9,900	6,600	2,040		1,260
			決算額 6,612	4,408			2,204

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標 1 家庭訪問型子育て支援事業の継続	家庭訪問型子育て支援施設	<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	か所	目標値	1	1	1	1	1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	1	1			
						% 達成率	100	100			
D 成果指標 1 家庭訪問型子育て支援事業ボランティア養成講座の開催	ホームビジター養成講座の開催数	<input type="checkbox"/> 総合計画		9	回	目標値	9	9	9	9	9
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	9	9			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	100	100			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		23点	23点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 本市で実施している「ホームセンターやしの実」は、日本発のホームスタート事業に取り組んだ団体の一つであり、毎年ホームビジター養成講座を開催し、現在50人が登録されている。そのホームビジターが、転入や産後などで地域等から孤立する可能性のある家庭を訪問し、悩みを聞いたり、共に行動することで徐々に地域や他の親との交流を促すなど、子育て世帯を応援する重要な取組の一つである。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 妊娠・出産や子育てに悩みを抱える妊産婦や育児不安を持つ家庭の要請に対し、家庭訪問を行い子育て中の親子を支援する事業であり、一定の成果を上げている。今後においてもホームビジターの育成を図り、子育て世代を応援していくよう努めなければならない。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	地域子育て支援拠点事業	実施計画事業	地域子育て支援センター委託事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (131)													
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち					個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 地域子育て支援センター委託料 33,980	当初予算額			
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実										
項	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する										
目	1	後期基本計画	42	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/>				総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	66												

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
<p>&lt;事業の目的&gt; 市内6カ所(三重、清川、緒方、大野、犬飼)に支援センターを設置し、子育て中の親の孤独感や不安感、負担の増大等に対応することで、地域の子育て中の親子の交流促進や育児相談等を行う。 支援センター交流事業「なかよしこよしのつどい」を行い、センター間・保護者間の交流をする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 支援センター事業を委託し、子育てに関する相談や親子の交流の場の提供等を行う。</p>	R3	市内4カ所に支援センター事業を委託し、子育てに関する相談や親子の交流の場の提供等を行った。	R3計画	33,421	22,280			11,141	
				当初予算	33,421	22,280			11,141
				決算額	33,980	22,653			11,327
	R4	市内4カ所に支援センター事業を委託し、子育てに関する相談や親子の交流の場の提供等を行った。	R4計画	33,980	22,652			11,328	
				当初予算	33,980	22,652	10,700		628
				決算額	33,988	22,658	11,200		130
	R5			R5計画	33,980	22,652			11,328
				当初予算	33,988	22,658	10,760		570
				決算額					
	R6			R6計画	33,980	22,652			11,328
				当初予算					
				決算額					
	R7			R7計画	33,980	22,652			11,328
				当初予算					
			決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	169,341	112,888			56,453	
			当初予算	101,389	67,590	21,460		12,339	
			決算額	67,968	45,311	11,200		11,457	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 地域子育て支援拠点数 地域子育て支援拠点数(年度末)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	4	か所	目標値	4	4	4	4	4
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4	4			
		% 達成率			100	100				
D 成果指標	1 利用人数 利用人数(年度末)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	5,351	人	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	5,125	5,576			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	85.4	92.9			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	20点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	4点
			20点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 「子育て支援センター」は、子育て相談や子育て情報の提供のほか、親子の交流を図る場を提供する総合的な子育て支援拠点である。新型コロナウイルスの影響により利用人数は減少していたが、収束に向かうにつれて、多少の増加になりつつある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 新型コロナウイルスの影響により閉鎖した時期もあり利用人数が減少しているが、子育て中の親子に、子育て情報の提供、親子の交流を図る場を提供して、一定の成果を上げている。 今後においても専門的職員を置く子育て支援の拠点として、子育て相談や地域の親子の交流の場の提供に努めなければならない。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	保育対策等促進事業	実施計画事業	一時保育事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.1 (135)											
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち					個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実						保育対策事業補助金	2,340	
項	3	施策展開	②保育サービスを充実する								
目	1	後期基本計画	42 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/>	総合戦略		<input type="checkbox"/>	コロナ充当	
決算	66										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 保育所等を利用していない家庭において、一時的に家庭での保育が困難となった場合に、児童を一時的に預かる事業  <令和4年度の取組内容(計画)> 一時保育を行う事業所に対し補助金を交付する。	R3	6か所の私立保育所等で延べ174人の子どもを一時保育を行った。	R3計画 2,340	1,272	908	160	
			当初予算 2,340	1,272	908	160	
			決算額 313	313			
	R4	4か所の私立保育所等で延べ80人の子どもを一時保育を行った。	R4計画 2,340	1,272	908	160	
			当初予算 2,340	1,468		872	
			決算額 203	525		-322	
	R5		R5計画 2,340	1,272	908	160	
			当初予算 2,340	1,678		662	
			決算額				
	R6		R6計画 2,340	1,272	908	160	
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 2,340	1,272	908	160	
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 11,700	6,360	4,540	800	
			当初予算 7,020	4,418	908	1,694	
			決算額 516	838		-322	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 実施施設	一時保育事業を実施した私立の施設数(一年度)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	8	か所	目標値	10	10	10	10	10
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	6	4			
		% 達成率			60	40				
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								
D 成果指標 1 利用人数	一時保育を利用した人数(一年度)	<input type="checkbox"/> 総合計画	236	人	目標値	350	350	350	350	350
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	174	80			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	49.7	22.9			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		17点	17点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 保護者の就労等により、保育所等を利用する児童が増加しているため、利用者が減少している。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 保育所等を利用していない家庭において、断続的または緊急一時的に育児が困難になる場合、保育所等が預かることで子育て支援に一定の成果を上げている。
--	---

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	保育対策等促進事業	実施計画事業	預かり保育事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------	--------	---------	------	----

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 保育対策等促進事業費補助金	当初予算額 13,920
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実						
項	3	施策展開	②保育サービスを充実する						
目	1	後期基本計画	42 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	66							期間	年度 ~ 年度

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	B 事業計画額・決算額等				
			事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 子ども・子育て支援事業を実施し、子ども・保護者の置かれている環境に応じ適切な利用を促進する。  <令和4年度の実績内容(計画)> 預かり保育を行う認定こども園等に対し、補助金を交付する。	R3	7か所の私立保育所等で延べ3,234人の子どもを預かり保育を行った。	R3計画	13,920	9,280		4,640
			当初予算	13,920	9,280		4,640
			決算額	10,200	7,003		3,197
	R4	7か所の私立認定こども園等で延べ2,008人の児童を預かり、保育を行った。	R4計画	14,400	9,600		4,800
			当初予算	13,920	9,280		4,640
			決算額	9,155	7,972		1,183
	R5		R5計画	14,400	9,600		4,800
			当初予算	14,052	9,368		4,684
			決算額				
	R6		R6計画	14,400	9,600		4,800
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画	14,400	9,600		4,800
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額	71,520	47,680		23,840
			当初予算	41,892	27,928		13,964
			決算額	19,355	14,975		4,380

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 1 実施施設	預かり保育事業を実施した私立の施設数(一年度)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	7	か所	目標値	13	13	13	13	13
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7	7			
		% 達成率			53.9	53.9				
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								
D 1 利用人数	預かり保育を利用した人数(一年度)	<input type="checkbox"/> 総合計画	3,809	人	目標値	4,000	4,000	3,900	3,900	3,800
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	3,234	2,008			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	80.9	50.2			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	17点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			17点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 保護者の就労等により、預かり保育の利用が減少している。保護者の負担を軽減するためにも、今後においても必要な事業である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 保護者の勤務の都合により、教育時間前後に保育を行う事業で、通常の教育時間の前後や長期休業期間に教育活動を行うことで、一定の成果を上げている。今後においても必要な事業である。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
57013	4

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係
-----	--------	----	--------

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	保育対策等促進事業	実施計画事業	延長保育事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.→ (135)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実				
項	3	施策展開	②保育サービスを充実する				
目	1	後期基本計画	42	P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	66						

個別計画名	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画		
期間	R2	年度	～ R6
年度	～	年度	

令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
保育等対策事業補助金	23,638

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 就労形態の多様化に伴い、開所時間を超過して在籍園児を保育する事業</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; 延長保育を行う保育所等に対し補助金を交付する。</p>	R3	10か所の私立保育所等で延べ353人の園児に延長保育を行った。	R3計画 22,145	14,762			7,383
			当初予算 22,145	14,762			7,383
			決算額 13,246	8,980			4,266
	R4	10か所の私立保育所等で延べ8534人の園児に延長保育を行った。	R4計画 23,450	15,633			7,817
			当初予算 23,638	15,758			7,880
			決算額 4,363	8,117			-3,754
	R5		R5計画 23,450	15,633			7,817
			当初予算 24,679	16,450			8,229
			決算額				
	R6		R6計画 23,450	15,633			7,817
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 23,450	15,633			7,817
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 115,945	77,294			38,651
			当初予算 70,462	46,970			23,492
			決算額 17,609	17,097			512

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 1 実施施設	延長保育事業を実施した私立の施設数(一年度)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	10	か所	目標値	12	12	12	12	12
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	10	9			
		% 達成率			83.3	75				
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								
D 1 利用人数	延長保育を利用した人数(一年度)	<input type="checkbox"/> 総合計画	366	人	目標値	450	450	450	450	450
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	353	406			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	78.4	90.2			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	17点	3点	17点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 保護者の就労等により利用が増加している。国の補助基準により補助額は減額している。利用者ニーズに対応するため今後においても必要な事業である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 保護者の仕事等社会的活動と子育てとの両立の支援に、一定の成果を上げており、今後においても必要な事業である。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	保育対策等促進事業	実施計画事業	特別支援保育事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (135)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2年度～R6年度	令和4年度 主な歳出名称 保育対策等促進事業補助金	当初予算額 10,677
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	②保育サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1					
決算	66					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 保育が必要である児童のうち、心身に障害を有する者の保育所における受入れを促進し、障がい児の健全な発達を図る。(県補助対象事業としてスタートするが、現在では県補助対象外につき市単事業として他市同様継続して実施。)  <令和4年度の取組内容(計画)> 障がい児を保育するために職員を加配した園に対し、財政支援を行う。	R3	8か所の保育所等が障がい児を受け入れるために職員を加配し17人の園児を保育した。	R3計画 10,677				10,677
	当初予算	10,677				10,677	
	決算額	14,877				14,877	
	R4	8か所の保育所等が障がい児を受け入れるために職員を加配し25人の園児を保育した。	R4計画 10,677				10,677
	当初予算	10,677				10,677	
	決算額	20,957				20,957	
	R5		R5計画 10,677				10,677
	当初予算	10,676				10,676	
	決算額						
	R6		R6計画 10,677				10,677
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 10,677				10,677
	当初予算						
決算額							
R3～R7合計			計画額 53,385			53,385	
			当初予算 32,030			32,030	
			決算額 35,834			35,834	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 1 実施施設	特別支援保育事業を実施した施設数(一年度)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	8	か所	目標値	6	6	6	6	6
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	8	8			
		% 達成率			133.3	133.3				
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								
D 1 受入人数	補助の対象となった園児数(一年度)	<input type="checkbox"/> 総合計画	17	人	目標値	10	10	10	10	10
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	17	25			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	170	250			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	22点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
			22点
			25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 平成14年度までは国の補助事業として実施していたが、平成15年度から一般財源化され、現在は市単事業として実施している。 利用人は、8園で25人の利用となっているが、障がい児の特性に応じた集団生活を通じて児童の心身の健全な発達を促すためにも必要な事業である。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 障がい児の受け入れ体制の充実とともに、保育士等の研修を通じて支援体制を整えることで、一定の成果を上げている。保護者への相談支援や養育支援などに取り組む必要がある。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	保育対策等促進事業	実施計画事業	施設等利用給付事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (135)										
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち					個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実						保育対策等促進事業補助金	6,804
項	3	施策展開	②保育サービスを充実する							
目	1	後期基本計画	42 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略		<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	66									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 要件を満たした保護者が支払った施設等利用費について、子ども・子育て支援法第30条の十一の規定に基づき、償還する。  <令和4年度の取組内容(計画)> 1号認定の預かり保育利用料や認可外保育の保護者負担金として支払った分を、償還払いにより給付する。	R3	1号の預かり保育利用料は、16人に対し141件、認可外保育施設の保護者負担金は、3人に対し12件の償還払いによる給付をした。	R3計画 6,804	5,103			1,701
			当初予算 6,804	5,103			1,701
			決算額 1,916	1,916			
	R4	1号の預かり保育利用料は、14人に対し132件、認可外保育施設の保護者負担金は、9人に対し97件の償還払いによる給付をした。	R4計画 6,804	5,103			1,701
			当初予算 6,804	5,103			1,701
			決算額 3,789	2,929			860
	R5		R5計画 6,804	5,103			1,701
			当初予算 5,448	4,086			1,362
			決算額				
	R6		R6計画 6,804	5,103			1,701
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 6,804	5,121			1,683
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 34,020	25,533			8,487
			当初予算 19,056	14,292			4,764
			決算額 5,705	4,845			860

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 認定者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	29	人	目標値	20	20	20	20	20
					実績値	21	23			
	2	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率	105	115			
D 成果指標	1 助成件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	212	件	目標値	200	200	200	200	200
					実績値	177	229			
	2	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率	88.5	114.5			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	18点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		4点
		18点	18点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 子ども・子育て支援法に基づき実施する事業であり、今後も継続して実施する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 子ども・子育て支援法に基づき実施する事業である。そのため、今後も必要な事業として実施する。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	乳児家庭全戸訪問事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (131)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1			期間	年度 ~ 年度	
決算	66					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> すべての乳児のいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、その居宅において様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図ることを目的とする。	R3	すべての乳児のいる家庭(122戸)を訪問し支援を行った。ホームスタートなど子育て支援に関する情報提供を行い、育児に関する相談に応じ、心身の様子や養育環境の把握を行い、必要に応じてケース対応会議を開催し、サービスの提供につなげることが出来た。	R3計画	230	152		78
			当初予算	230	152		78
			決算額	221	149		72
	R4	すべての乳児のいる家庭を訪問し支援を行った。ホームスタートなど子育て支援に関する情報提供を行い、育児に関する相談に応じ、心身の様子や養育環境の把握を行い、産後うつ検討会を毎月開催し支援方針を検討しサービスの提供につなげることができた。	R4計画	230	152		78
			当初予算	203	134		69
			決算額	208	136		72
	R5		R5計画	230	152		78
			当初予算	215	142		73
			決算額				
	R6		R6計画	230	152		78
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画	230	152		78	
		当初予算					
		決算額					
		計画額	1,150	760		390	
		当初予算	648	428		220	
		決算額	429	285		144	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 乳児家庭訪問率	対象家庭に対する乳児家庭訪問数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	100	100			
					達成率	100	100			
D 成果指標 1 子育て情報の提供実施	訪問家庭に対する子育て支援に関する情報の提供数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	100	100			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			達成率	100	100			
2 産後うつ検討数	産後うつ検討会でのハイリスク妊婦の支援延検討数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画	149	人	目標値	120	120	120	120	120
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	128	54			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			達成率	106.7	45			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F 評価 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	23点	5点	23点
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 今後は新生児訪問の機会を通じて、保健師等が支援の必要な家庭を把握し、子ども家庭支援員等の連携・協力し、児童福祉と母子保健が一体的に支援を実施する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 保健師らが乳児のいる家庭の全戸訪問を行い、赤ちゃんの発育状況の確認をしながら、育児や母親の産後の経過などについて、相談・助言活動を行う。産後うつ等の把握や適切なサービス提供等を行っており、一定の成果を上げている。今後においても必要な事業である。

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	医療的ケア児保育支援モデル事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (131)		会計 一般	政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 協議会委員謝礼金 消耗品費 実費弁償	当初予算額 102 50 10
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
項	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する			
目	1	後期基本計画	42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	66					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 保育所等において医療的ケア児の受け入れを可能とするための体制を整備し、医療的ケア児の地域生活支援の向上を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・医療的ケア児の受け入れについて検討 ・関係機関との連絡体制の構築 ・施設や保護者との調整 ・施設計画の策定 ・検討会の設置</p>	R3	医療的ケア児の保育園の受け入れについてケース会議は行ったが、検討会の設置には至らなかった。	R3計画 162				162	
				当初予算 162				162
				決算額				
	R4	医療的ケア児の入園希望対象児がいなかった。	R4計画 162				162	
				当初予算 162				162
				決算額				
	R5		R5計画 162				162	
				当初予算 162				162
				決算額				
	R6		R6計画 162				162	
				当初予算				
				決算額				
	R7		R7計画 162				162	
			当初予算				162	
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 810				810	
			当初予算 486				486	
			決算額					

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 検討会の設置	医療的ケア児の受け入れについて検討会の設置(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		回	目標値	1	1	1	1	1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
					% 達成率					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
					% 達成率					
D 成果指標 1 医療的ケア児の受け入れ	医療的ケア児の保育所等への入所希望に対して、受け入れ可能数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画		% 目標値			100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 実績値					
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画		% 目標値						
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			15点
			25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>令和3年度医療的ケア児の保育園への入所等について、検討会を開催する予定だったが、対象時が令和2年度末に転出し、新たな入園希望者がおらず検討会の設置には至らなかった。今後、保育園入所のみならず医療的ケア児及びその家族に対する支援に関して、医療、保健、福祉、教育等の関係機関との連絡調整を行い、多職種連携による支援情報集約と相談支援の拠点化が必要である。事業の手段を改善して、拡充が望ましいと考える。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>医療的ケア児及びその家族が希望する地域の保育所等に入所し、地域の子どもたちと生活できるよう支援するために、必要な事業である。多職種連携による支援情報集約と相談支援の体制づくりについて検討していかねばならない。</p>
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	家庭訪問型子育て支援事業委託事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (131)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 家庭訪問型子育て支援事業委託料 313 消耗品費 157	
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する			
項	3	施策展開				
目	1	後期基本計画	42 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	66					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 乳児家庭全戸訪問事業等により把握した保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童若しくは保護者に監護させることが不適当であると認められた児童及びその保護者又は出産後の養育について出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦に対し、その養育が適切に行われるよう当該居宅において育児家事の援助、養育に関する相談、指導、助言その他必要な支援を行うことを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 産後間もない養育者に対し、育児不安の解消や養育技術の提供等のため相談や支援を行う。訪問等により支援が必要であると認めた家庭への支援内容の決定、訪問支援者との経過の把握、進行管理や、支援の最終決定の判断、委託先への委託料の支払。</p>	R3	(育児家事援助 43件) 食事、衣類、生活環境等、不適切な養育状態にある家庭に、民間団体を活用して、育児家事援助等の支援の提供を行った。(専門的相談支援 92件) 妊娠期からの継続的な支援を必要とする家庭に、助産師等による訪問支援を行った。	R3計画 538	358			180
	当初予算	538	358			180	
	決算額	347	294			53	
	R4	(育児家事援助 70件) 食事、衣類、生活環境等、不適切な養育状態にある家庭に、民間団体を活用して、育児家事援助等の支援の提供を行った。(専門的相談支援 65件) 妊娠期からの継続的な支援を必要とする家庭に、助産師等による訪問支援を行った。	R4計画 775	516			259
	当初予算	470	312			158	
	決算額	519	328			191	
	R5		R5計画 775	516			259
	当初予算	539	358			181	
	決算額						
	R6		R6計画 775	516			259
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 775	516			259
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 3,638	2,422			1,216
			当初予算 1,547	1,028			519
			決算額 866	622			244

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 育児家事援助支援利用世帯数 育児家事援助支援を利用した世帯数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		2	世帯	目標値	4	5	5	6	6
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	4	8			
		% 達成率	100			160					
2 ケース検討会議	対象家庭への具体的支援の内容、期間、方法、計画の策定等ケース検討会議の開催数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		4	回	目標値	8	8	8	10	10
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	7	20			
		% 達成率	87.5			250					
D 成果指標	1 家庭訪問 保健師、助産師等による家庭訪問し、養育に関する相談、指導、助言、養育技術の提供等の支援 専門的相談支援(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画		63	件	目標値	95	95	94	93	92
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	92	55			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	96.8	57.9			
		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画		% 達成率							

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	19点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 出産後間もない時期の養育者には、専門的相談支援ということで保健師、助産師、栄養士等が相談・支援を行った。食事、衣類、生活環境等について、不適切な養育状態にある家庭や、福祉サービスにつながない児童のいる家庭に対し、民間団体と3か所委託契約を結んで、育児・家事援助・通院送迎に重点を置いた必要な支援につなぐことができた。今後、虐待のおそれやそのリスクを抱える家庭や、ヤングケアラーの家庭に対しても、養育環境の維持・改善等の支援が必要である。支援の対象や訪問支援者等の拡充・検討に努めたい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 出産後間もない時期の養育者及び生活環境等支援が必要な養育状態にある家庭について、必要な支援につなぐことができたことで一定の成果を上げている。今後においては、支援の対象や訪問支援者等の拡充・検討に努めなければならない。
---	--

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	利用者支援事業(母子保健型)	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No. (131)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 会計年度任用職員報酬 2,252 社会保険料(会計年度任用職員分) 337 期末手当 282 費用弁償(会計年度任用職員分) 262	当初步算額
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する			
項	3	施策展開				
目	1	後期基本計画	42 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	66					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 母子保健に関する相談に対応するため母子保健型を設置し、妊娠から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供する。保健師、助産師、臨床心理士等の専門職が、すべての妊産婦等の状況を継続的に把握し、必要に応じて関係機関と協力して支援プランを作成することにより、妊産婦等に対しきめ細やかな支援を実施する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・妊産婦等の様々な悩みに対する相談支援、情報提供、助言、保健指導 ・妊産婦、乳幼児等の実情の把握 ・支援プランの策定 ・産婦人科、保健所等関係機関と連携、連絡調整</p>	R3	・妊娠から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する相談に対応した。・支援を必要とする者が利用できるサービスを選定し、情報提供した。・支援を必要とする妊産婦を早期に把握し、関係機関と協力して支援プランを作成した。配慮が必要な子育て家庭への支援をした。母子手帳の交付数(118人)	R3計画 3,100	2,066			1,034
			当初予算 3,100	2,066			1,034
			決算額 3,212	3,210			2
	R4	・妊娠から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する相談に対応した。・支援を必要とする者が利用できるサービスを選定し、情報提供した。・支援を必要とする妊産婦を早期に把握し、関係機関と協力して支援プランを作成した。配慮が必要な子育て家庭への支援をした。母子手帳の交付数(125人)	R4計画 3,100	2,066			1,034
			当初予算 3,877	3,230			647
			決算額 3,837	3,773			64
	R5		R5計画 3,100	2,066			1,034
			当初予算 3,244	2,702			542
			決算額				
	R6		R6計画 3,100	2,066			1,034
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 3,100	2,066			1,034	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 15,500	10,330			5,170
			当初予算 10,221	7,998			2,223
			決算額 7,049	6,983			66

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
C 活動指標	1 支援プランの作成率	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100			
					達成率	100	100			
2 経過確認入電	経過確認のための延電話入電回数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	614	回	目標値	750	700	700	700	700
					実績値	641	598			
					達成率	85.5	85.4			
D 成果指標	1 育児指導数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	73	人	目標値	50	40	40	40	70
					実績値	111	89			
					達成率	222	222.5			
2 産後うつ検討数	産後うつ検討会でのハイリスク妊婦の支援検討数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	149	人	目標値	130	130	120	120	120
					実績値	128	120			
					達成率	98.5	92.3			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	20点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
助産師が中心に特定妊婦、産後うつの方への対応など、多様なニーズに対応してくれた。コロナの影響でパパママ広場が昨年度から開催できていないが、心身の不調や育児不安のある方や、希望する妊婦さんへ、個別で育児技術支援(89名)を開催した。妊娠期の過ごし方や、子どものとの関わり方等、きめ細かな支援を行ってくれた。メンタル支援を要する妊婦さんには、産後も引き続き訪問やカウンセリングをしてきた。臨床心理士も相談業務・発達相談会等業務・かじり業務。今後も引き続き円滑かつ効果的に事業が行えるように努めたい。R6から子ども家庭総合支援拠点(児童福祉)と子育て世代包括支援センター(母子保健)の一体的に相談支援を行う機能を有する機関の設置に努めたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
妊娠から子育て期までの支援を切れ目なく提供するための相談支援やサービスの情報提供や支援プランの策定等を行うため「子育て世代包括支援センター」の設置を行っている。配慮が必要な家庭への支援に一定の成果を上げている。今後についても、子育て家庭への相談・助言等を行い必要な支援を行っていく必要がある。

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	幼児精密健診事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (131)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実					
項	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する					
目	1	後期基本計画	42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	66			期間	年度 ~ 年度	幼児精密健診事業出務謝礼金	679	
							実費弁償	96

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<事業の目的> 幼児精密健診を実施し、育児支援・発達障害の早期発見・支援・相談を行い、子どもの成長発達に関する親の理解を深め、一貫した支援体制につなげる。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・幼児精密健診利用者の予約受付、調整 ・事業出務者へ担当ケースについて情報提供、連絡調整 ・幼児精密健康診査の実施 ・出務謝礼金、実費弁償の支払事務	R3	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため9月と1月の相談会は中止としたが、11月に臨時的相談会を開催し、年度内に計9回の相談会を実施した。R3の幼児健診で要精密と判断され医療機関につなげていない26名のうち18名が幼児健診フォローとして発達相談を利用した。
	R4	新型コロナウイルス感染症に留意しながら、当初の計画どおり計10回の相談会を実施した。R4年度の幼児健診で要精密と判断された17名と、R3年度の幼児健診で要精密と判断された後、相談会未参加だった8名の計25名のうち、19名が幼児健診フォローとして発達相談会を利用した。
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	775			775
当初予算	775			775
決算額	647			647
R4計画	775			775
当初予算	775			775
決算額	639			639
R5計画	775			775
当初予算	775			775
決算額				
R6計画	775			775
当初予算				
決算額				
R7計画	775			775
当初予算				
決算額				
計画額	3,875			3,875
当初予算	2,325			2,325
決算額	1,286			1,286

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 発達相談会実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略		8	回	目標値	10	10	10	10
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	9	10		
	2 発達相談会利用者	<input type="checkbox"/> 総合戦略		50	人	目標値	80	80	80	80
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	56	62		
						% 達成率	90	100		
D 成果指標	1 幼児健診フォロー数	<input type="checkbox"/> 総合計画		67	% 達成率	目標値	70	70	70	70
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	69	76		
							% 達成率	98.6	108.6	
							% 達成率			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	23点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点
		23点	23点
		25点	25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</b> 幼児精密健診を実施することにより、早期発見、早期支援につなげることができている。保健師と連携をとりながら幼児健診フォローとして相談会につなげている。臨床心理士が個別に発達相談に応じたり、医療機関につなぐために必要に応じて検査をしたり、個々の子どもへきめ細やかな支援ができている。	<b>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</b> 幼児精密健診の実施により、発達障害の早期発見を行うとともに、保護者の育児支援の体制づくりを行っており、一定の成果を上げている。今後においても、個々の子どもへのきめ細やかな支援に努めていかなければならない。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	妊婦乳児支援事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (131)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実					
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する					
項	3	施策展開						
目	1	後期基本計画	42 P	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	66						妊婦乳児健診委託料	17,602
					妊婦乳児健診助成金	664		
					手数料	255		
					育児等保健指導事業委託料	40		

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 妊婦の健康の保持増進を図り、安全・安心な妊娠・出産に資するため妊婦健康診査を実施する。母胎や胎児の健康確保を図る上で、定期的な健康診査の受診を勧奨する。聴覚障害は早期に発見され適切な支援を行われた場合は、聴覚障害による音声言語発達等への影響が最小限に抑えられることから早期発見・早期療育が図られるよう全ての新生児を対象として出生時に医療機関での健診を実施する。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・国保連、助産所へ委託料、手数料の支払事務 ・償還払いの処理 ・母子手帳交付時受診券交付 ・転入、転出妊婦への受診券の差し替え	R3	・妊婦健康診査(2,154件) ・新生児聴覚検査(145件) ・乳児健康診査(264件) ・ペリネイタルビジット事業 転入妊婦へ受診券の差し替え(17名)	R3計画 20,707		18,700		2,007
	当初予算	20,707		18,700		2,007	
	決算額	14,234		14,200		34	
	R4	・妊婦健康診査 ・新生児聴覚検査 ・乳児健康診査 ・ペリネイタルビジット事業 ・転入妊婦へ受診券の差し替え	R4計画 19,612		16,753		2,859
	当初予算	18,561		16,700		1,861	
	決算額	11,621		11,200		421	
	R5		R5計画 19,612		16,753		2,859
	当初予算	18,281				18,281	
	決算額						
	R6		R6計画 18,517		15,768		2,749
当初予算							
決算額							
R7		R7計画 18,517		15,768		2,749	
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 96,965		83,742		13,223
			当初予算 57,549		35,400		22,149
			決算額 25,855		25,400		455

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 妊婦乳児健康診査費	妊婦乳児健康診査費延件数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	2,287	件	目標値	2,380	2,310	2,310	2,240	2,240
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	2,770	3,556			
		% 達成率			116.4	153.9				
D 成果指標 1 母子手帳の交付	母子手帳の交付数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画	150	人	目標値	166	164	162	160	158
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	118	125			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	71.1	76.2			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	23点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	4点
			23点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 母子保健法の規定に基づき、今後も妊婦健康診査について積極的に把握、受診勧奨、早期の支援に努めていきたい。国の2分の1の補助もあるので多胎児を妊娠した妊婦へ追加で受診する健康診査の費用を補助して、多胎妊婦の負担軽減も図ってきたい。妊婦に対する健康診査についての望ましい基準まで事業を拡充したい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 母体や胎児の健康確保を図る目的で定められた健診を受診してもらうための経済的負担の軽減に一定の成果を上げている。今後については、検診回数が多い多胎児妊婦への負担軽減に努めていきたい。
---	--

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	産後ケア事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.1 (133)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 産後ケア事業委託料	当初予算額 495
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>			
目	1					
決算	66					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 分娩施設退院後から一定の期間、病院において助産師等の看護職が中心となり、母子に対して母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育むことにより、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援することで、産後うつ病や育児不安、児童虐待などの問題を未然に防ぐことを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・県医師会、助産師会と委託契約 ・利用相談、事業説明、利用意向確認、申請受理 ・承認、不承認審査、予約確定、通知 ・キャンセルや変更の把握 ・利用料の支払、利用者アンケートの実施</p>	R3	乳児訪問や産婦健診等から、支援が必要な妊婦を早期に把握し、産後ケアの利用につなげることができた。宿泊型(11回・実2人) デイサービス型(13回・実7人)	R3計画 495	247			248
			当初予算 495	247			248
			決算額 667	247			420
	R4	乳児訪問や産婦健診等から、支援が必要な妊婦を早期に把握し、産後ケアの利用につなげることができた。宿泊型(8回・実4人) デイサービス型(3回・実1人)	R4計画 693	346			347
			当初予算 495	247			248
			決算額 375	247			128
	R5		R5計画 693	346			347
			当初予算 495	247			248
			決算額				
	R6		R6計画 693	346			347
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 693	346			347	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 3,267	1,631			1,636
			当初予算 1,485	741			744
			決算額 1,042	494			548

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 産後ケア利用者	<input type="checkbox"/> 総合戦略		2	人	目標値	3	5	5	5
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	9	5		
	2 産後ケア利用医療機関	<input type="checkbox"/> 総合戦略		2	箇所	目標値	3	3	3	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	9	4		
						% 達成率	300	133.3		
D 成果指標	1 利用満足度	<input type="checkbox"/> 総合計画		2	人	目標値	3	5	5	5
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	9	5		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画		2	%	目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
						% 達成率	300	100		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	23点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
			23点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 産後ケアを必要とする母子に対し、心身のケアや育児のサポート等の産後ケアの利用につなげることができた。しかし本市は現在出産後4か月までとしているため、今後利用回数等は現状のまま、利用できる期間をR4年度から生後1歳未満まで拡充した。市内に利用出来る産婦人科がなくなったので、その対策等今後検討していく必要がある。県ではアウトリーチ型も検討課題になっている。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 母子とその家族が健やかな育児ができるための事業であり、支援が必要な妊婦に必要な支援を行うことができ、一定の成果を上げた。今後においては、市内に利用できる産婦人科がなくなったことから、利用期間の拡充等検討していく必要がある。
--	---

事業番号	枝番
57015	8

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	子育て支援課	係名	家庭支援係
-----	--------	----	-------

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	産婦健診事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------	--------	--------	------	----

総合計画体系図№→ (133)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実					
項	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する					
目	1	後期基本計画	42 P	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画				
決算	66							

令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
妊婦乳児健診委託料	1,600
妊婦乳児健診助成金	50
手数料	31

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt;</p> <p>産婦の産後うつや自殺予防、新生児への虐待予防等を図るため、産後2週間・産後1か月など出産後間もない時期の産婦に対する健康診査による費用を助成することにより、産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を整備する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国保連、助産所へ委託料、手数料の支払事務</li> <li>・償還払いの処理</li> <li>・母子保健衛生費国庫補助金事務(産婦健康診査事業)</li> </ul>	R3	地域における全ての産婦を対象に、産後2週間、産後1か月の産婦健康診査2回分に係る費用について、助成を行った。産婦健康診査の結果報告から、母体の精神状態の把握等を行い、支援が必要と判断される産婦に対し、事業を実施した。
	R4	全ての産婦を対象に、産後2週間、産後1か月の産婦健康診査2回分に係る費用について、助成を行った。産婦健康診査の結果報告から、母体の精神状態の把握等を行い、支援が必要と判断される産婦に対し事業を実施した。2週間89名・1ヶ月100名
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	1,885	942			943
当初予算	1,885	942			943
決算額	1,050	925			125
R4計画	1,783	891			892
当初予算	1,681	800			881
決算額	940	800			140
R5計画	1,783	891			892
当初予算	1,578	775			803
決算額					
R6計画	1,681	841			840
当初予算					
決算額					
R7計画	1,681	841			840
当初予算					
決算額					
計画額	8,813	4,406			4,407
当初予算	5,144	2,517			2,627
決算額	1,990	1,725			265

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 市内の産婦人科との定期連絡会開催回数	定期連絡会の開催回数 R3.10で産科を閉じたため、定期連絡会は開催なくなった。	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12		
						実績値	8					
	%	達成率	66.7									
2 産婦健診受診数	産後2週間・産後1か月の産婦健診受診数		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値	240	240	220	220	210	
						実績値	210	189				
						%	達成率	87.5	78.8			
D 成果指標	1 産婦人科からの情報提供数	精神面でのフォローが必要となる産婦のスクリーニング数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値	5	5	5	5	5	
						実績値	17	10				
						%	達成率	340	200			
	2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
							実績値					
							%	達成率				

E 評価対象外の理由	O 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている 優先度低い ⇒ 優先度高い できなかった ⇒ できた 1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか			5点	21点	5点	21点
			5点		5点	
			4点		4点	
			2点		2点	
			5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 産婦健康診査を2回実施し、実施機関から結果報告を受けて、支援が必要な産婦の把握をすることができた。支援が必要な産婦の把握につながっている。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 支援が必要と判断される産婦に対しては産後ケア事業を実施するなど、一定の成果を上げることができた。今後についても、退院直後の産婦の健診支援について現状のまま継続する必要がある。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性	⇒ A.現状のまま継続
----------------	-------------

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	幼児療育支援事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (131)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 幼児健診事業出務謝礼金 実費弁償	当初予算額 350 56	
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実				
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する				
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	1				期間	年度 ~ 年度	
決算	66						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 療育機関受診や訓練を必要とする児は多く、訓練まで待機期間が長かったり、枠がなく家庭でそのまま対応しているケースも多くある。療育機関が対応できない中、地域で少しでも療育支援を始めていくため。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・幼児療育参加者の予約受付、調整 ・事業出務者へ担当ケースについて情報提供、連絡調整 ・幼児療育支援事業の実施 ・出務謝礼金、実費弁償の支払事務</p>	R3	きらきら教室を年4回実施、3歳児クラスの子どもとその保護者に園や保健師より声をかけてもらい22名(実11名)の参加があった。作業療法士より参加者全員に助言をもらった。教室に年2回以上の参加者は4名いた。	R3計画 325 当初予算 325 決算額 194				325	
	R4	きらきら教室を年8回実施、3歳児クラスの子どもとその保護者に園や保健師より声をかけてもらい99名の参加があった。作業療法士より32名に助言をもらった。プレ授業は市内すべての小学校によびかけて86名参加し、作業療法士から37名の方がアドバイスをもらった。	R4計画 447 当初予算 406 決算額 372				447	
	R5		R5計画 447 当初予算 770 決算額				447	
	R6		R6計画 447 当初予算 決算額				447	
	R7		R7計画 447 当初予算 決算額				447	
	R3 ~ R7 合計			計画額 2,113 当初予算 1,501 決算額 566				2,113 1,501 566

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ミニ児童発達・プレ授業体験参加者	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	30	100	100	100	100
					実績値	58	185			
	% 達成率	193.3	185							
2 個別相談対象者	教室参加者のうち専門職が個別に対応した件数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値	20	20	60	70	80
					実績値	25	69			
					% 達成率	125	345			
D 成果指標	1 医療機関等への受診期間月数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		月	目標値	5	5	3	3	3
					実績値	1				
	% 達成率	20	—							
2 —		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		月	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	23点	5点	23点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>令和3年度から新規の事業としてスタートした。プレ授業(86名)、きらきら教室(99名)共に事業効果は高いと感じます。きらきら教室についても作業療法士さんからの助言を32名もらい、プレ授業についても日頃から子ども様子の様子に周囲から指摘をうけ精神的にきつい思いをしていた保護者(37名)が作業療法士さんから個別のアドバイスをもらえた。今後も就学前の支援や園への支援等拡充しながら続けていきたい。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>小学校就学の前年にプレ授業、園に通う3歳児にきらきら教室を開催した際に、作業療法士の助言の機会を作ることにより、保護者からの相談を受けたり療育機関につなげることができ、一定の成果を上げている。今後については、療育機関受診や訓練を必要とする児童や保護者の育児不安の解消のため、支援の拡充に努めなければならない。</p>
--	---

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	支援対象児童等見守り強化事業	実施計画事業	支援対象児童等見守り強化事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	----------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (130)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 支援対象児童等見守り強化事業補助金	当初予算額 4,550
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1			期間	年度 ~ 年度	
決算	66					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待のリスクが高まる恐れがあることを踏まえ、支援ニーズの高い子ども等を見守り、必要な支援につなげることができる体制の強化を推進するため、子どもの居宅を訪問するなどし、食事の提供等を通じた子どもの見守り体制を強化する。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・弁当の提供、子ども等の状況の把握(週2回) ・情報提供(月1回) ・配食の連絡調整	R3	子ども食堂と連携して、週2回の食事の提供を行い、子どもの状況把握を行った。年間99日、1日コロナのため臨時に中止にした。要対協の構成メンバーにいたった子ども食堂と相互連携し、毎月情報共有をし、地域における子どもの見守り体制の強化を支援した。	R3計画 5,950 当初予算 5,950 決算額 4,370	5,950				
	R4	子ども食堂と連携して、週2回の食事の提供を行い、子どもの状況把握を行った。要対協の構成メンバーにいたった子ども食堂と相互連携し、毎月情報共有をし、地域における子どもの見守り体制の強化を支援した。	R4計画 2,016 当初予算 4,550 決算額 5,950		3,033		2,016	
	R5		R5計画 2,016 当初予算 4,550 決算額		3,791		759	
	R6		R6計画 2,016 当初予算 決算額				2,016	
	R7		R7計画 2,016 当初予算 決算額				2,016	
	R3 ~ R7 合計			計画額 14,014 当初予算 15,050 決算額 10,320	5,950			8,064
								2,276
					8,131			2,189

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 週2回の食事の提供	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	60	回	目標値	100	50	50	50	50
					実績値	99	100			
	2 食事の提供世帯数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		世帯	目標値	800	800	800	800	800
					実績値	824	1,062			
D 成果指標	1 子どもの見守りのための食事の提供	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		食	目標値	3,500	4,000	4,000	4,000	4,000
					実績値	3,351	3,949			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		24点	24点
		25点	25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</b> 要保護児童対策協議会の支援対象児童として登録されている子どもの居宅を訪問し、状況の把握や、食事の提供を行うことで、生活環境の把握ができ、養育支援訪問事業等で、家事援助等の支援に結ぶことが出来た。支援が必要であるにも関わらず行政の支援につながらない家庭など、継続的な関わりが必要な家庭に対し食事を提供する事で保護者が支援を受けやすくなった。今後は、ヤングケアラーと言われるケアを担う子どもの家庭に対しても、この事業が支援策にしていきたい。	<b>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</b> 支援ニーズが必要な子どもを見守り、必要な支援につなげる体制強化を行うため、居宅を訪問し食事提供を行うなど生活状況の把握をすることができたことで一定の成果を上げている。今後についても継続して支援を行い、ヤングケアラーの家庭に対しても支援につなげていかなければならない。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	出産・子育て応援交付金事業	実施計画事業	出産・子育て応援交付金事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (133)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			期間	年度 ~ 年度		
項	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する			期間	年度 ~ 年度		
目	1	後期基本計画	42	P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略		
決算	66								

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 全ての妊婦、子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、妊娠の届出や出生の届出を行った妊娠・子育て世帯等に対し、経済的負担の軽減を図る出生・子育て応援給付金を一体的に行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、妊娠の届出や出生の届出を行った、妊娠・子育て世帯等に対し、きらきら子育て応援金を給付する。</p>	R3		R3計画				
			当初予算				
			決算額				
	R4	令和4年4月以降に妊娠出産した人に166人、出産した人82人に、きらきら子育て応援金を給付した。	R4計画				
			当初予算	16,750			16,750
			決算額	12,500	10,332		2,168
	R5		R5計画				
			当初予算	23,548	13,666		9,882
			決算額				
	R6		R6計画	2,016			2,016
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画	2,016			2,016
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	4,032		4,032	
			当初予算	40,298	13,666	26,632	
			決算額	12,500	10,332	2,168	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 妊娠時の母子手帳交付	母子手帳交付者数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値		100			
						実績値		118			
						% 達成率		118			
2			<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		世帯	目標値					
						実績値					
						% 達成率					
D 成果指標	1 出生後の赤ちゃん訪問	赤ちゃん訪問件数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			目標値		100			
						実績値		115			
						% 達成率		115			
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	21点	3点	21点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 令和4年度途中からの導入となったが、令和4年度中に妊娠・出産した方からは大変喜ばれた。 伴走型相談支援と出産・子育て応援給付が一体となり、関係機関と連携し、必要な支援につなぐよう充実を図る。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 伴走型相談支援の充実を図るとともに経済的負担を軽減するための事業であり、おおむね目的は達成できたと思われる。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	放課後児童健全育成事業	細事業	放課後子どもプラン推進事業	実施計画事業	放課後児童健全育成事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	---------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (132)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2年度～R6年度	令和4年度 主な歳出名称		当初予算額		
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実		放課後児童健全育成事業委託料		111,147		
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する		会計年度任用職員報酬		7,696		
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	788	
目	1							費用弁償(会計年度任用職員分)	651
決算	68							期末手当	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学生に対し、放課後や長期休みに適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る事業。  <令和4年度の取組内容(計画)> 委託または直営により放課後児童健全育成事業を行う。	R3	13か所の放課後児童クラブで634人の登録児童を受入れを行った。	R3計画 103,397	68,904	29,200		5,293	
			当初予算	103,397	68,904	29,200		5,293
			決算額	103,014	65,530	28,400		9,084
	R4	13か所の放課後児童クラブで591人の登録児童を受入れを行った。	R4計画 116,000				116,000	
			当初予算	118,461	78,962	34,400		5,099
			決算額	122,157	71,636		31,500	19,021
	R5		R5計画 122,000				122,000	
			当初予算	137,736	91,808	38,600		7,328
			決算額					
	R6		R6計画 128,000				128,000	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 134,000				134,000	
			当初予算					
		決算額						
R3～R7合計			計画額 603,397	68,904	29,200		505,293	
			当初予算 359,594	239,674	102,200		17,720	
			決算額 225,171	137,166	28,400	31,500	28,105	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 放課後児童クラブ施設数 放課後児童クラブの施設数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	13	か所	目標値	13	13	13	13	13
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	13	13			
		% 達成率			100	100				
D 成果指標	1 登録児童数 年間の登録児童数	<input type="checkbox"/> 総合計画	651	人	目標値	550	550	550	500	500
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	634	549			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	115.3	99.8			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	22点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	4点
			22点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 核家族化や共働き世帯の増加に伴い、放課後児童クラブの需要は高まっているが、放課後児童クラブの支援員や補助員の確保が課題となっている。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 保護者の就労等により、放課後児童クラブの重要性が高まっている。放課後や長期休みに適切な遊びや生活の場を与えることができたことで、一定の成果を上げている。今後においては、支援員や補助員の確保について努めていかなければならない。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	放課後児童健全育成事業	細事業	放課後子どもプラン推進事業	実施計画事業	放課後児童クラブ巡回派遣事業委託事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	---------------	--------	--------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (132)												
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 放課後児童クラブ巡回派遣事業委託料	当初予算額 216			
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実									
項	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する									
目	1	後期基本計画	42 P	<input checked="" type="checkbox"/>	過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/>				総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	68											

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 放課後児童クラブへの作業療法士による巡回派遣を実施し、支援を担当する職員や児童の保護者に対し、障がいや特性の早期把握、早期対応のための助言等の支援を行う事業。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 放課後児童クラブを対象に希望調査を行い、巡回アドバイザーを派遣する。</p>	R3	6クラブに対し巡回派遣を行い、1クラブ当たり平均25人の児童が参加した。	R3計画 216	108			108
			当初予算	216	108		108
			決算額	144	96		48
	R4	7クラブに対し巡回派遣を行い、1クラブ当たり平均25人の児童が参加した。	R4計画 216	108			108
			当初予算	216	108		108
			決算額	156	90		66
	R5		R5計画 216	108			108
			当初予算	312	156		156
			決算額				
	R6		R6計画 216	108			108
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 216	108			108
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	1,080	540		540
			当初予算	744	372		372
			決算額	300	186		114

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 派遣事業の実施回数	巡回派遣の実施回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	5	件	目標値	8	8	8	8	8
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	6	7			
		% 達成率			75	87.5				
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								
D 成果指標 1 参加児童数	1クラブ当たりの平均参加児童数	<input type="checkbox"/> 総合計画	28	人	目標値	30	30	30	30	30
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	25	25			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	83.3	83.3			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	18点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	／25点	3点
			18点
			／25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>令和4年度は8クラブの希望があったが、新型コロナの影響等によりアドバイザーとの日程調整ができなかったクラブが1つあり、結果として7クラブへの派遣となった。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>放課後児童クラブの職員と作業療法士が連携して、生活の場から子供の育ちを支援する取組は重要であり、今後、各クラブと情報共有しながら、児童の健やかな成長の支援となるよう事業を行っていく必要がある。</p>
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	放課後児童健全育成事業	細事業	放課後子どもプラン推進事業	実施計画事業	保護者負担金減免事業補助事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	---------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (132)									
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称		当初予算額	
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			保護者負担金減免事業補助金		864	
項	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する						
目	1	後期基本計画	42 P	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	68								

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 放課後児童クラブを利用する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、保護者負担金の一部を助成することにより、円滑な放課後児童クラブの利用促進を図り、児童の健全育成を支援することを目的とする事業。  <令和4年度の取組内容(計画)> 保護者負担金の減免となる保護者へ助成する。	R3	37人の対象児童に667,478円の保護者負担金の減免を行った。	R3計画 864	432			432
			当初予算	864	432		432
			決算額	668	333		335
	R4	31人の対象児童に563,300円の保護者負担金の減免を行った。	R4計画 864	432			432
			当初予算	864	432		432
			決算額	563	281		282
	R5		R5計画 864	432			432
			当初予算	828	414		414
			決算額				
	R6		R6計画 864	432			432
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 864	432			432
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	4,320	2,160		2,160
			当初予算	2,556	1,278		1,278
			決算額	1,231	614		617

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 減免対象児童数	保護者負担金の減免対象児童数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	39	人	目標値	45	45	45	45	45
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	37	31			
		% 達成率			82.2	68.9				
D 成果指標 1 減免額	保護者負担金の減免額	<input type="checkbox"/> 総合計画	622,715	円	目標値	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	667,478	563,300			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	95.4	80.5			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	3点
		17点	17点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 保護者負担金の減免申請期間を通年とする要綱改正を行ったが周知不足だった。周知を行うことにより利用しやすい制度となったため申請数が増えることが予想される。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 保護者負担金の一部を助成することによって保護者の経済的負担の軽減を図ることができ、健全育成の支援に一定の成果を上げている。
---	---

事業	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	細事業	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	実施計画事業	3号補正給付事業(低所得のひとり親世帯)	終了年度	R4
----	--------------------	-----	--------------------	--------	----------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (133)		会計 一般	政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
項	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する			
目	1	後期基本計画	42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	69					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; コロナ克服・新時代開拓のための経済対策において、0歳から18歳までの子どもに1人当たり10万円の臨時特別給付金を支給する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 支給 ①令和3年9月分の児童手当の受給者 ②16歳から18歳までの児童の養育者 ③令和4年3月31日までに生まれた児童の児童手当受給者 ①~③へ対象児童1人につき10万円支給</p>	R3	児童手当受給者 3,871人 高校生 374人 計4,245人 支給額 424,500,000円 (R4繰越分 39人 3,900,000円含む)	R3計画 当初予算 決算額	422,498	422,498			
	R4	R4繰越分 39人 3,900,000円 振込手数料 3,190円	R4計画 当初予算 決算額	9,494	5,006		4,488	
	R5		R5計画 当初予算 決算額					
	R6		R6計画 当初予算 決算額					
	R7		R7計画 当初予算 決算額					
	R3 ~ R7 合計			計画額 当初予算 決算額				4,488 4,487
				430,888	426,401			4,487

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 子育て世帯への給付数	18歳以下の児童を養育する子育て世帯への給付数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		人	目標値	4,300	50			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4,245	39			
					% 達成率	98.7	78			
D 成果指標 2		<input type="checkbox"/> 総合戦略		% 達成率	目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	23点	—点	—点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点			
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点			
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点			
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点			

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 R3年度事業で当初は先行給付として5万円現金で残りはクーポンという国の方針でしたが、途中で10万円全額現金支給可能になり、支給者も満足する内容だったと思う。R4年度は繰越分のみで、事業終了。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 コロナ禍における子育て世帯への経済対策として一定の成果をあげたと評価する。
--	---

事業	教育・保育施設運営事業	細事業	教育・保育施設運営事業	実施計画事業	教育・保育施設運営事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (134)										
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち					個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度		
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実							
項	3	施策展開	②保育サービスを充実する							
目	2	後期基本計画	42 P	<input checked="" type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略		<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	72									
		令和4年度 主な歳出名称						当初予算額		
		保育所運営費						1,072,267		

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 教育・保育事業を実施するため管内・管外の教育・保育施設へ運営費を交付する。これにより、教育・保育サービスの充実を図り、子育てしやすい環境整備を整える。  <令和4年度の取組内容(計画)> 教育・保育施設運営事業や大分県にこ保育支援事業に係る経費を各保育所等に給付する。	R3	教育・保育を必要とする小学校就学前の子どもを、市内15園、市外7園に委託し教育・保育を行った。	R3計画 1,130,728	807,577	17,112	4,517	301,522
			当初予算 1,130,728	807,577	17,112	4,517	301,522
			決算額 1,029,462	753,961	10,176	6,460	258,865
	R4	教育・保育を必要とする小学校就学前の子どもを、市内15園、市外14園に委託し教育・保育を行った。	R4計画 1,120,439	799,501	17,100	4,471	299,367
			当初予算 1,040,487	740,391		6,576	293,520
			決算額 1,045,241	767,913		7,571	269,757
	R5		R5計画 1,109,233	791,505	17,100	4,426	296,202
			当初予算 1,053,140	739,336		8,059	305,745
			決算額				
	R6		R6計画 1,098,138	783,589	17,100	4,381	293,068
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 1,087,155	775,753	17,100	4,337	289,965
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 5,545,693	3,957,925	85,512	22,132	1,480,124
			当初予算 3,224,355	2,287,304	17,112	19,152	900,787
			決算額 2,074,703	1,521,874	10,176	14,031	528,622

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 委託施設数	入所を委託する市内外の教育・保育施設数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	24	か所	目標値	20	20	20	20	20
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	22	29			
		% 達成率			110	145				
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								
D 成果指標 1 待機児童	待機児童数(4月1日時点)	<input type="checkbox"/> 総合計画		人	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		19点	19点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 教育・保育ニーズに対応できるよう、教育・保育の量と提供体制の適正化を図る必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 教育保育を必要とする小学校就学前の子どもを教育・保育するため、内・外の教育・保育施設の運営を委託しサービスの充実を図り、育てやすい環境整備を整えることに一定の成果を上げている。今後においては、教育・保育ニーズに対応できるよう、量と提供体制の適正化を図る必要がある。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	児童館管理運営事業	細事業	児童館運営事業	実施計画事業	児童館運営事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.1 (132)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 会計年度任用職員報酬 大飼ふれあい児童館運営業務委託料 朝地児童館指定管理委託料 光熱水費	当初予算額 8,759 3,900 3,741 1,513
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	4			期間	年度 ~ 年度	
決算	76					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 児童、乳幼児及びその保護者相互の交流の場をつくり、母親クラブ等の地域組織活動の育成を図る事業。  <令和4年度の取組内容(計画)> 児童館の運営を委託や直営により行う。	R3	5か所の児童館で延べ11,450人に対し、児童等の遊びの場や親子の交流の場を提供した。	R3計画 26,427	1,754			24,673
			当初予算 26,427	1,754			24,673
			決算額 24,986	1,527			23,459
	R4	5か所の児童館で延べ12,053人に対し、児童等の遊びの場や親子の交流の場を提供した。	R4計画 26,427	1,754			24,673
			当初予算 25,773	3,174			22,599
			決算額 25,538	3,401			22,137
	R5		R5計画 26,427	1,754			24,673
			当初予算 23,433	250			23,183
			決算額				
	R6		R6計画 26,427	1,754			24,673
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 26,427	1,754			24,673
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 132,135	8,770			123,365
			当初予算 75,633	5,178			70,455
			決算額 50,524	4,928			45,596

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 児童館管理運営事業の継続 児童館施設数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	5	か所	目標値	5	5	5	5	5
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	5	5			
		% 達成率			100	100				
D 成果指標	1 児童館利用人数 児童館利用人数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	11,422	人	目標値	11,500	11,500	11,500	11,500	11,500
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	11,450	12,053			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	99.6	104.8			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		19点	18点
		／25点	／25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</b> 児童館は、地域のすべての子どもたちの遊びなどの拠点施設である。5か所の児童館のうち、三重町以外の4館は、放課後児童クラブを併設しており、児童館と放課後児童クラブの子どもたちの交流が行われている。しかし、児童館の中で、年間の利用者数が平均で1人や3人の児童館があることや、職員の確保が困難となっている状況から、今後、児童館のあり方を検討する必要がある。	<b>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</b> 児童の健全な居場所づくりの促進など健全な育成を推進する場であるが、放課後児童クラブとの併設により、利用者が非常に少ない児童館にもある。職員の確保が困難となっている状況もあり、将来に向けてのあり方を検討する必要がある。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	公立教育・保育施設管理運営事業	細事業	公立教育・保育施設管理運営事業	実施計画事業	公立教育・保育施設管理運営事業	終了年度	なし
----	-----------------	-----	-----------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (135)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 給食調理業務委託料 会計年度任用職員報酬 賄材料費 光熱水費	当初步算額 18,903 17,796 7,042 2,354
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	②保育サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P			
目	5		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	77					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 幼児期の教育・保育は人格形成の基盤と生涯にわたる学習の基礎を培う極めて重要なものであり、子どもたちへの質の高い教育・保育の実施に努めます。また、保護者や地域の子育て力の向上を支援するため、保育サービスの拡充を図ります。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・子どもの健全育成の支援 ・多様な保育サービスの充実</p>	R3	園児一人ひとりの発達状況に応じた保育・教育を実施した。また保護者や地域のニーズに応え、一時保育、延長保育、病後児保育事業を実施した。さらに、職員はスキルアップのための研修に参加した。	R3計画 62,020	5,904	1,980	4,278	49,858	
			当初予算 62,020	5,904	1,980	4,278	49,858	
			決算額 54,738	5,159	1,424	4,003	44,152	
	R4	園児一人ひとりの発達状況に応じた保育・教育を実施した。また保護者や地域のニーズに応え、一時保育、延長保育、病後児保育事業を実施した。さらに、職員はスキルアップのための研修に参加した。	R4計画 62,020	5,904	1,980	4,278	49,858	
			当初予算 59,774	6,122		3,913	49,739	
			決算額 61,284	3,877		5,147	52,260	
	R5		R5計画 62,020	5,904	1,980	4,278	49,858	
			当初予算					
			決算額					
	R6		R6計画 62,020	5,904	1,980	4,278	49,858	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 62,020	5,904	1,980	4,278	49,858	
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額 310,100	29,520	9,900	21,390	249,290	
			当初予算 121,794	12,026	1,980	8,191	99,597	
			決算額 116,022	9,036	1,424	9,150	96,412	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標 1 入所者数	年度末(3月31日時点)の在園児数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	81	人	目標値	80	80	80	80	80
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	78	77			
					% 達成率	97.5	96.3			
D 成果指標 1 「安心して子どもを預けることができる」と回答した割合	補方保育園保護者アンケートの「保育園のこと」に関する項目で、「安心して子どもを預けることができる」の設問で、A(とてもそう思う)、B(そう思う)と回答した割合。※回答は、A(とてもそう思う)、B(そう思う)、C(あまりそう思わない)、D(そう思わない)、E(よくわからない)、F(該当しない)の6種	<input type="checkbox"/> 総合計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	96.5	100			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	96.5	100			
2 「子ども一人一人を理解し、大切に保育している」と回答した割合	補方保育園保護者アンケートの「保育園のこと」に関する項目で、「子ども一人一人を理解し、大切に保育している」の設問で、A(とてもそう思う)、B(そう思う)と回答した割合。※回答は、A(とてもそう思う)、B(そう思う)、C(あまりそう思わない)、D(そう思わない)、E(よくわからない)、F(該当しない)の6種	<input type="checkbox"/> 総合計画	91.2	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	91.2	97.9			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	91.2	97.9			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	20点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 在園児数や各種保育サービスの利用者数は、少子化と新型コロナウイルス感染症等の影響等で減少しているが、保護者と面談や随時情報共有を行う等、連携を図りながら、園児一人ひとりの発達段階に応じた保育・教育や、核家族化や保護者の就労形態の多様化等に対応した各種事業が実施できた。 特に近年は、支援が必要な子どもが増え、保育教諭は研修等を受講しスキルアップに努めながら、関係機関と連携を取り合い、個々の発達状況・特性にあった保育・教育を実施している。 また、食育にも力を入れており、園庭で栽培した野菜を給食の食材の一部として使用することで、園児は野菜が持つ種子や収穫した野菜が給食へと変っていく過程を学び、食を身近に感じ興味を深めている。 さらに、毎月1回避難訓練を実施し、園児は災害から安全に避難し身を守る方法を学んでいる。 今後も地域の方々と交流等、様々な経験を通じて豊かな人間性をもった園児の育成を目指してきたい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市内唯一の公立保育園として、関係機関と連携を取り合い、個々の発達状況・特性にあった保育・教育を実施し、一定の成果を上げている。 今後においても、職員のスキルアップを図り、保護者のニーズに応えながら、地域とともに豊かな人間性をもった園児の育成に努めていかなければならない。
---	--

事業	公立教育・保育施設管理運営事業	細事業	地域子育て支援拠点事業	実施計画事業	地域子育て支援拠点事業	終了年度	なし
----	-----------------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (129)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 会計年度任用職員報酬 1,209 社会保険料(会計年度任用職員分) 209 期末手当 152 費用弁償(会計年度任用職員分) 124	当予算額
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	5					
決算	77					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 地域の子育て家庭に対する育児支援を行うため、身近な地域で、育児不安についての相談・助言その他の援助や、親子の交流の場の提供を目的に、子育て支援センターの運営に努めます。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・園行事への参加 ・誕生会 ・親子クッキング ・避難訓練 ・父親支援事業 ・遠足 ・育児相談 ・家庭教育学級</p>	R3	地域における子育ての拠点として、在宅親子や出産予定がある夫婦等の交流の場づくりや、育児に関する情報提供や育児相談等が実施できた。	R3計画	1,845	1,230		615	
				当初予算	1,845	1,230		615
				決算額	1,620	1,054		566
	R4	地域における子育ての拠点として、在宅親子や出産予定がある夫婦等の交流の場づくりや、育児に関する情報提供や育児相談等が実施できた。	R4計画	1,845	1,230		615	
				当初予算	1,914	1,276		638
				決算額	1,560	1,025		535
	R5		R5計画	1,845	1,230		615	
				当初予算				
				決算額				
	R6		R6計画	1,845	1,230		615	
				当初予算				
				決算額				
	R7		R7計画	1,845	1,230		615	
				当初予算				
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額	9,225	6,150		3,075	
			当初予算	3,759	2,506		1,253	
			決算額	3,180	2,079		1,101	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 子育て支援センター開所日数	子育て支援センター利用日数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	213	日	目標値	240	240	240	240	240
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	229	242			
					% 達成率	95.4	100.8			
D 成果指標 1 地域子育て支援拠点事業の充実	延べ利用者数(大人、子ども)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	1,253	人	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1,469	703			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	97.9	46.9			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	3点	3点
		18点	19点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 地域の出生数が激減していること、新型コロナウイルス感染症拡大等による利用者の来所控え等があり、利用者数は前年度に比べると大きく減少している。しかし、家庭で孤立しがちな子育て中の親子の定期的な来所や出産予定者の利用等もあり、利用者の交流の場づくりや子育てに関する情報提供・相談対応等が実施できた。今後の課題は、利用者の増を図ることであり、子育て支援センターを利用したことがない在宅親子が気軽に立ち寄ってもらえるような環境づくりを行うほか、保健師の新生児訪問や乳幼児健診の際等に更に周知に努めていきたい。また、民生児童委員等にも、地域の在宅親子へ支援センター利用の声をかけをお願いしていく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 育児不安についての相談・助言等援助や親子交流の場の提供を行い、一定の成果を上げている。今後は、新規利用者を増やすとともに、センター同士の連携を強化し充実した事業展開を行っていく。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	生活保護事務事業	細事業	生活保護適正実施推進事業	実施計画事業	診療報酬明細書点検等充実事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (162)		個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	レセプト点検業務委託料	1,070
款	3	施策	6 社会保障の充実	手数料	24
項	4	施策展開	①低所得者福祉を充実する		
目	1	後期基本計画	48 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	78				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 診療報酬明細書の点検強化等を実施することにより、医療扶助の適正化を図ることを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・点検業務を委託し、月点検・縦覧点検を実施する。</p>	R3	点検業務を委託し、月点検・縦覧点検を実施した。	R3計画 1,146	859			287
			当初予算	1,146	859		287
			決算額	997	757	240	
	R4	点検業務を委託し、月点検・縦覧点検を実施した。	R4計画 1,146	859			287
			当初予算	1,094	819		275
			決算額	910	682		228
	R5		R5計画 1,146	859			287
			当初予算	1,094	819		275
			決算額				
	R6		R6計画 1,146	859			287
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 1,146	859			287
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 5,730	4,295		1,435	
			当初予算 3,334	2,497		837	
			決算額 1,907	1,439	240	228	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 点検実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12	月	目標値	12	12	12	12	12
					実績値	12	12			
						% 達成率	100	100		
	2 点検実施	縦覧点検実施月数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	4	月	目標値	4	4	4	4
実績値						4	4			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標		1 点検件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12,163	件	目標値				
	実績値					11,334	10,908			
						% 達成率				
	2 点検件数	縦覧点検件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3,620	件	目標値				
実績値						3,383	3,152			
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	16点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			16点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 レセプトを活用し、健康管理の対象者、頻回受診者、後発医薬品の使用割合が低い者、重複調剤の防止が徹底されていない者、他法他施策を活用できる者などを適切な支援につなげるため継続が必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 健康管理の対象者等レセプトを活用し、適切な支援につなげるため継続が必要。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	生活保護総務事業	細事業	生活保護受給者就労支援事業	実施計画事業	生活保護受給者就労支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	6 社会保障の充実					期間	年度	～	年度	被保護者就労支援事業委託料	4,569
項	4	施策展開	①低所得者福祉を充実する					期間	年度	～	年度		
目	1	後期基本計画	48	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画		<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当		
決算	78												

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 被保護者の就労の支援に関する問題について、被保護者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うことにより、被保護者の自立の促進を図ることを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・豊後大野市社会福祉協議会に委託 ・生活保護現業員と共に対象者を訪問し、情報提供や就労活動の支援を行う。</p>	R3	豊後大野市社会福祉協議会に委託し、生活保護現業員と共に対象者の訪問を実施した。
	R4	豊後大野市社会福祉協議会に事務委託し、生活保護現業員と共に対象者の訪問を実施した。
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	4,642	3,481			1,161
当初予算	4,642	3,481			1,161
決算額	1,762	1,338		424	
R4計画	4,642	3,481			1,161
当初予算	4,569	3,426			1,143
決算額	1,654	1,240		414	
R5計画	4,642	3,481			1,161
当初予算	4,569	3,426			1,143
決算額					
R6計画	4,642	3,481			1,161
当初予算					
決算額					
R7計画	4,642	3,481			1,161
当初予算					
決算額					
計画額	23,210	17,405			5,805
当初予算	13,780	10,333			3,447
決算額	3,416	2,578		424	414

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 訪問支援 対象者への訪問支援の実施率	<input type="checkbox"/> 総合戦略	60	%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	60	60			
					達成率					
D 成果指標	1 就労達成 対象者の就労率	<input type="checkbox"/> 総合計画	25	%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	25	22			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	16点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	／25点	3点
			16点
			／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
適正かつ有効な就労支援によって、就労や増収が実現し生活保護から脱却することを目標とするが、就労に向けて課題を抱える者の増加や対象者の高齢化が進んでいることから、手法を見直したうえで継続が必要である。	有効な就労支援によって、就労や増収が実現し生活保護から脱却することを目標であるが、対象者の高齢化等が進んでいることから、手法を見直す必要がある。

事業	生活保護事務事業	細事業	生活保護事務費	実施計画事業	生活保護事務事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額					
款	3	施策	6 社会保障の充実					期間	年度 ~ 年度	生活保護システム使用料	3,860			
項	4	施策展開	①低所得者福祉を充実する					期間	年度 ~ 年度	通信運搬費	971			
目	1	後期基本計画	48	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画				<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	手数料	719
決算	78									内科嘱託医報酬	654			

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
<p>&lt;事業の目的&gt; 生活保護の適正な運営を確保することを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; ・収入資産調査の充実強化等による認定事務の適正化 ・職員の資質向上のための研修の実施 ・被保護者健康管理のため市の実施する基本健診の受診の勧奨 ・システムの維持管理</p>	R3	収入資産調査の充実強化により認定事務の適正化を図った。職員研修はコロナ禍により中止されたため不参加。	R3計画 7,719				1	7,718	
			当初予算	7,719				1	7,718
			決算額	17,652					17,652
	R4	収入資産調査の充実強化により認定事務の適正化を図った。職員研修は4名が社会福祉主事資格認定課程を受講した。	R4計画 7,719					1	7,718
			当初予算	8,106				1	8,105
			決算額	13,264				1	13,263
	R5		R5計画 7,719					1	7,718
			当初予算	12,332	3,304			1	9,027
			決算額						
	R6		R6計画 7,719					1	7,718
			当初予算						
			決算額						
	R7		R7計画 7,719					1	7,718
			当初予算						
		決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額	38,595			5	38,590	
			当初予算	28,157	3,304		3	24,850	
			決算額	30,916			1	30,915	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 収入資産調査	収入資産調査の実施率	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値				
						実績値	100	100		
							達成率			
	2 職員研修	職員研修参加率	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値				
実績値							100			
						達成率				
D 成果指標	1 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値				
						実績値				
						達成率				
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値				
						実績値				
						達成率				

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	17点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			17点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 生活保護事務の効率化と省力化をめざし、DX推進を行う必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 生活保護事務の効率化と省力化を図るため、台帳等のDX推進を行うことが必要。
---	---

事業	食育推進事業	細事業	食育推進事業	実施計画事業	食育推進事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.1 (113)															
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち					個別計画名 第2次豊後大野市食育推進計画 期間 H26 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額					
款	4	施策	I 保健・医療サービスの充実						食育推進事業委託料	539					
項	1	施策展開	①健康づくり活動を推進する						食育推進協議会委員謝礼金	60					
目	1		後期基本計画	38	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画		<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>	消耗品費	40
決算	81													講師謝礼金	10

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 生活習慣病など、市民一人ひとりが日常的に食生活を通じて、健康づくりに取り組むことができる</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・関係機関と連携しながら、食育推進協議会(年2回)食育作業部会(年2回)を開催予定で食育計画の推進を図る。 ・人権、部落差別解消推進課の【男女共同市民のつどい】にて「食育キャンペーン」を実施し、参加者へ減塩レシピを配布した。 ・市民への啓発を目的にケーブルテレビや市報で食育の情報提供をおこなう。</p>	R3	・関係機関と連携しながら、食育推進協議会(年2回:内1回資料送付)食育作業部会(年3回:内1回資料送付)を開催し、食育計画の推進を図った。 ・人権、部落差別解消推進課の【男女共同市民のつどい】にて「食育キャンペーン」を実施し、参加者へ減塩レシピを配布した。 ・市民への啓発を目的にケーブルテレビや市報で食育の情報提供を行った。	R3計画	718			500	218
	当初予算	718			500	218		
	決算額	251			160	91		
	R4	・関係機関と連携しながら、食育推進協議会(年2回:内1回資料送付)食育作業部会(年2回:内1回資料送付)を開催し、食育計画の推進を図った。 ・人権、部落差別解消推進課の【男女共同市民のつどい】にて「食育キャンペーン」を実施し、参加者へ減塩レシピを配布した。 ・市民への啓発を目的にケーブルテレビや市報で食育の情報提供を行った。	R4計画	718			500	218
	当初予算	662			500	162		
	決算額	354			236	118		
	R5		R5計画	718			500	218
	当初予算	620			450	170		
	決算額							
	R6		R6計画	718			500	218
	当初予算							
	決算額							
	R7		R7計画	718			500	218
	当初予算							
決算額								
R3 ~ R7 合計			計画額	3,590			2,500	1,090
			当初予算	2,000			1,450	550
			決算額	605			396	209

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1	食生活改善推進協議会へ委託している【食育推進事業】への参加数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	251	人	目標値	300	1,000	1,000	1,000	1,000
					実績値	318	500			
					達成率	106	50			
					達成率					
D 成果指標 1	食育に関心を持っている人の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	80	%	目標値		95			
					実績値		77.6			
					達成率		81.7			
					達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 毎年、食育推進協議会や作業部会で、活動を共有しながら方針について話し合い食育を推進している。今後も関係課や関係機関、団体と協力して市民への啓発を行う予定である。活動指標の食育推進事業への参加延べ人数については、令和元年度までは1,000人を超えていたが、コロナ禍の影響で人数が減少している。ただ、令和4年度は、令和2、3年度と比較すると徐々に参加延べ人数も増えてきており、今後も感染対策をとりながら目標値を目指した事業を実施していきたい。  
 なお、令和4年度に行ったアンケート調査の結果等をもとに、令和5年度に第3次食育推進計画策定を行うが、食育推進協議会及び作業部会で検討をかさねていきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 新型コロナウイルス感染防止を図りながら、食育推進協議会や作業部会、キャンペーンや市報等を通じ第2次食育計画の推進を図った。令和5年度においては、第3次食育計画に向け食育推進協議会及び作業部会で検討をかさねていきたい。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	食育推進事業	細事業	食生活改善事業	実施計画事業	食生活改善事業	終了年度	なし
----	--------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.1 (113)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名	第2次豊後大野市食育推進計画 期間 H26 年度 ~ R5 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	4	施策	I 保健・医療サービスの充実								
項	1	施策展開	①健康づくり活動を推進する								
目	1	後期基本計画	38	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画					<input type="checkbox"/>
決算	81										

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
<p>&lt;事業の目的&gt; 市民が主体的に健康づくりや生活習慣病の予防対策、健康管理に取り組み、生涯にわたり健康でゆたかな人生を送ることができるよう、市民への食育の推進に取り組む。食育を推進する中心的なボランティア組織である、豊後大野市食生活改善推進協議会の活動支援と、新規会員の育成を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 市民が主体的に健康づくりや生活習慣病の予防対策、健康管理に取り組み、生涯にわたり健康でゆたかな人生を送ることができるよう、市民への食育の推進に取り組む。食育を推進する中心的なボランティア組織である、豊後大野市食生活改善推進協議会の活動支援と、新規会員の育成を行う。</p>	R3	1.豊後大野市食生活改善推進協議会の活動支援を行った。・食推協の各支部のリーダーを対象に研修を行う・自主研修の実施支援・総会及び交流会の開催支援・役員会の実施 2.新規の豊後大野市食生活改善推進員の育成(食生活改善指導者講習会の実施)を行った。・講習会の周知(チラシ設置・市報、HP)・講習会の開催(年10回・修了者11名)	R3計画 当初予算 決算額	352 352 269				352 352 269	
	R4	1.豊後大野市食生活改善推進協議会の活動支援を行った。・食推協の各支部のリーダーを対象に研修を行う・伝達講習会の実施支援・総会及び交流会の開催支援・役員会の実施 2.新規の豊後大野市食生活改善推進員の育成(食生活改善指導者講習会の実施)を行った。・講習会の周知(チラシ設置・市報、HP)・講習会の開催(年10回・修了者4名)	R4計画 当初予算 決算額	352 277 275				352 277 275	
	R5		R5計画 当初予算 決算額	352 277				352 277	
	R6		R6計画 当初予算 決算額	352				352	
	R7		R7計画 当初予算 決算額	352				352	
	R3 ~ R7 合計			計画額 当初予算 決算額	1,760 906 544				1,760 906 544

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 研修会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	5	回	目標値	4	5	5	5	5	
					実績値	2	4				
						%	達成率	50	80		
	2 新規の豊後大野市食生活改善推進員の育成	豊後大野市食生活改善推進員の新規加入者数(年度末当初)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	6	人	目標値	8	10	10	10	10
実績値						10	4				
%						達成率	125	40			
D 成果指標	1 食育活動者の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	210	人	目標値	203	200	200	200	200	
					実績値	203	187				
						%	達成率	100	93.5		
	2 各支部での伝達講習会開催回数	各支部での伝達講習会開催回数(研修会の開催回数×7支部。ただし、三重支部は1回の研修会後に4回の伝達講習会を行っている。)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	34	回	目標値	36	45	40	40	40
実績値						17	40				
%						達成率	47.2	88.9			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 食生活改善推進協議会の支援を行い、推進員が地域で積極的に活動できるように支援しており、食育の推進ができています。新規の推進員の育成にも力を入れ、令和4年度は4名の推進員を養成。今後も食育、健康づくりを推進するため事業の継続を必要とする。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 去年、一昨年と新型コロナウイルス感染症の影響で、事業や会議等従来どおりには実施ができなかったが、令和4年度は3年降りに食生活改善推進協議会の総会を開催し、事業についても感染対策を行いながら、徐々に活動回数も増えてきている状況となっている。 今後においても、引き続き感染対策を行いながら地域に出向いていく回数を増やし、会食を通じ食育の普及につとめていけるように支援していく。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	精神保健事業	細事業	精神保健相談事業	実施計画事業	精神保健相談事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (114)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	第2次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ~ R5 年度 豊後大野市自殺対策行動計画 期間 H31 年度 ~ R5 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	4	施策	I 保健・医療サービスの充実			臨床心理士出務謝礼金	219
項	1	施策展開	①健康づくり活動を推進する			消耗品費	10
目	1	後期基本計画	38 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	82						

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こころの悩みや精神障がいをもった方が、地域の中で安心して暮らせるよう、相談しやすい環境づくりをおこなう。</li> <li>・精神に関する病気になったときに、重症化しないで、早期に医療にかかることができるよう、啓発を行う。</li> </ul> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○精神保健相談事業</li> <li>・市民の心の健康づくりに関する相談や精神障がい者の自立支援(回復・社会復帰)に向けての相談、訪問の実施</li> <li>・精神障がい者家族会への支援・アルコール関連問題に関する健康教室の実施</li> </ul>	R3	○精神保健相談事業 ・精神保健相談延261件・訪問指導延456件・電話相談延203件・電子メール相談7件 ・精神障がい者家族会への支援・アルコール依存症家族会と断酒会の支援を行った。
	R4	○精神保健相談事業 ・こころの相談会(毎月1回) 12回 相談件数37件 ・保健師による精神保健相談延334人、訪問指導延23人、電話相談239人 ・精神障がい者家族会への支援・アルコール依存症家族会と断酒会の支援を行った。
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	229	229			
当初予算	229	229			
決算額	213	212			1
R4計画	229	229			
当初予算	229	229			
決算額	213	212			1
R5計画	229	229			
当初予算	219	219			
決算額					
R6計画	229	229			
当初予算					
決算額					
R7計画	229	229			
当初予算					
決算額					
計画額	1,145	1,145			
当初予算	677	677			
決算額	426	424			2

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 精神保健相談を受けた件数	保健師が精神保健相談を受けた件数(保健事業実績報告より算出 訪問指導分)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	136	人	目標値	136	136	136	136	136
						実績値	456	232			
	2 アルコール関連問題に関する健康教室開催数	アルコール関連問題等に関する健康教室開催数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	7	7	7	7	7
						実績値	13	5			
D 成果指標	1 こころの相談会利用者数	年間のこころの相談会利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	30	人	目標値	30	31	32	33	34
						実績値	34	37			
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						%	達成率	113.3	119.4		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている 優先度低い ⇒ 優先度高い できなかった ⇒ できた 推移していない ⇒ 推移した 推移していない ⇒ 推移した	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか			3点	15点	3点	15点
			3点		3点	
			3点		3点	
			3点		3点	
			3点		3点	
			/25点		/25点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>毎月1回臨床心理士による「こころの相談会」を開催し、丁寧に傾聴し、悩みごとなどご本人の考えの整理・助言を実施している。また保健師が対応する精神保健相談も増加していることから、市民のこころの健康に対応するため、相談窓口の周知も引き続き行いながら事業の継続が必要である。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>相談窓口を市民や関係者に広く知ってもらうため、こころの相談会と豊肥保健所が実施する精神保健相談の掲示物を作成し、医療機関や関係機関に配布し掲示を依頼した。本市における高齢者の自殺が増加していることから、今後も民生委員や各種団体、市報等を通じ相談会の周知を行っていく必要がある。</p>
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	精神保健事業	細事業	自殺対策事業	実施計画事業	自殺対策事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.1 (114)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	豊後大野市自殺対策行動計画 期間 H31 年度 ~ R5 年度 第2次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ~ R5 年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額		
款	4	施策	I 保健・医療サービスの充実			自殺対策行動計画アンケート調査委託料	1,210		
項	1	施策展開	①健康づくり活動を推進する			会計年度任用職員報酬	726		
目	1	後期基本計画	38 P			消耗品費	403		
決算	82	過疎計画	<input type="checkbox"/>			総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 自殺に関する地域全体の意識関心を高め、自殺のない町を目指した住みやすい地域づくり、個別相談の支援体制などの充実を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ○普及開発事業：地域研修会(こころの健康教室)、自殺対策キャンペーン等の実施 ○連携強化：自殺対策連絡協議会・委員会(庁内所属長)・作業部会(関係課職員)、未遂者対応機関連絡会。 ○支援者育成：ゲートキーパー養成研修会等 ○相談体制の強化：こころのホットライン(電話相談)、精神保健相談、遺族支援会議</p>	R3	<p>○人材養成事業：自殺対策連絡協議会2回・委員会1回・作業部会2回開催、ゲートキーパー養成研修会2回24名参加 ○普及啓発事業：自殺対策キャンペーン1,300人グッズ配布 ○電話相談事業：豊後大野市こころのホットラインによる電話相談1,283件 ○こころの相談会12回34名 ○こころの健康教室13会場275名</p>
	R4	<p>○普及開発事業：地域研修会(こころの健康教室)5回121人参加、自殺対策キャンペーン3会場4回、グッズ配布439人 ○連携強化：自殺対策連絡協議会2回・委員会1回・作業部会1回、未遂者対応機関連絡会1回 ○支援者育成：ゲートキーパー養成研修1回16人参加、フォローアップ研修1回11人参加 ○相談体制の強化：こころのホットライン(電話相談)延596件、精神保健相談延534人、訪問指導延232人、電話相談239人、遺族支援会議開催</p>
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

事業費計	財源内訳 (単位：千円)			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	1,644	826	714	104
当初予算	1,644	826	714	104
決算額	1,509	700	390	419
R4計画	1,644	826	714	104
当初予算	3,194	1,602	714	878
決算額	2,441	1,259	714	468
R5計画	1,644	826	714	104
当初予算	2,803	1,426	714	663
決算額				
R6計画	1,644	826	714	104
当初予算				
決算額				
R7計画	1,644	826	714	104
当初予算				
決算額				
計画額	8,220	4,130	3,570	520
当初予算	7,641	3,854	2,142	1,645
決算額	3,950	1,959	1,104	887

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 ゲートキーパー受講者数	年間のゲートキーパー受講者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	115	人	目標値	30	30	30	30	30
						実績値	40	27			
						% 達成率	133.3	90			
D 成果指標	1 自殺死亡率(人口10万人対)	厚生労働省 地域における基礎資料より自殺者数/人口10万人対 ※実績値は前年度分を記載	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	16.7		目標値	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4
						実績値	22.6	18.2			
						% 達成率	156.9	126.4			
D 成果指標	2 自殺SMR値	5年間の自殺に係る標準化死亡比 全国を100とする。100以下であることを目標とする。 ※実績値は前年度分を記載	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	83.8		目標値	100	100	100	100	100
						実績値	94.4	106.9			
						% 達成率	94.4	106.9			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>自殺対策連絡協議会や作業部会等で方針を話し合い自殺対策に取り組んでおり、今後も関係各課、関係機関と協働して取り組む必要がある。令和4年度は、アルコールやスマホ依存、うつ病に力を入れ、市民への啓発に力を入れた。近年高齢者の自殺が増えていることから、今後は高齢者への対策に力を入れる必要がある。令和5年度は、高齢者に関する頻度が高いケアマネージャーを対象に、ゲートキーパー養成研修を開催するよう計画している。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>自殺の背景となっているといわれるアルコール関連問題(依存症)を主なテーマとして令和3~4年度は自治委員、民生児童委員、各町のこころをつなぐ仲間づくり推進委員会、一般市民等を対象に健康教室を開催し、地域での声かけや見守りの大切さを周知した。また、啓発グッズを作成し市内大型店舗等でのキャンペーン時や支所窓口で配布し、こころの悩みの相談先を普及啓発した。今後も関係機関や関係団体と連携しながらこころの健康づくりを推進していく必要がある。</p>
--	---

I 令和6年度の事業の方向性

⇒ A. 現状のまま継続

事業	子ども医療費助成事業	細事業	子ども医療費助成事業	実施計画事業	子ども医療費助成事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (133)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称		当初予算額
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実		子ども医療費助成金		101,580
款	4	施策	①子育て支援サービスを充実する		手数料		2,930
項	1	施策展開	後期基本計画 42 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
目	1			期間	年度 ~ 年度	通信運搬費	31
決算	83						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 市内在住の0歳～15歳(中学校卒業まで)の乳幼児、児童の保険診療分の医療費を助成する。  <令和4年度の取組内容(計画)> 中学校卒業までの乳幼児、児童の保険診療分の医療費を助成する。	R3	中学生までの医療費を延べ3,316人、42,771件の助成を行った。	R3計画 112,668	20,888		56,754	35,026
			当初予算 112,668	20,888		56,754	35,026
			決算額 96,909	20,803		46,236	29,870
	R4	中学生までの医療費を延べ3,329人、42,660件の助成を行った。	R4計画 87,000	17,050		44,100	25,850
			当初予算 105,102	22,040		73,936	9,126
			決算額 92,520	17,991		72,499	2,030
	R5		R5計画 87,000	17,050		44,100	25,850
			当初予算 104,371	21,919		73,325	9,127
			決算額				
	R6		R6計画 87,000	17,050		44,100	25,850
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 87,000	17,050		44,100	25,850
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 460,668	89,088		233,154	138,426
			当初予算 322,141	64,847		204,015	53,279
			決算額 189,429	38,794		118,735	31,900

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 助成件数	現物給付・償還払い助成件数	41,997	件	目標値	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
					実績値	42,771	42,660			
					% 達成率	106.9	106.7			
2 -					目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 助成対象者	助成対象者数	3,405	人	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
					実績値	3,316	3,329			
					% 達成率	110.5	111			
2 -					目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	22点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
			22点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 子ども医療費助成事業の市独自として、乳幼児は入院時食事療養費、小中学生は通院・調剤・歯科・入院時食事療養費を助成しているが、今後、県や他市の状況をみながら高校生まで対象を拡大することを検討する時期がくると考えている。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 子どもの傷病の早期発見・早期治療を促進し、医療費助成を引続き実施することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減を図ることを目的とする。子どもの保健の向上を図るとともに、保護者の子育て支援に寄与することで、一定の成果を上げることができた。今後は他市状況等を勘案し、対象年齢拡大の検討を行っていく。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	74001
枝番	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	市民生活課	係名	健康づくり支援係
-----	-------	----	----------

事業	地域医療推進事業	細事業	救急医療対策事業	実施計画事業	小児救急医療対策事業費補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No. (121)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	4	施策	I 保健・医療サービスの充実						小児救急医療対策事業費補助金	644	
項	1	施策展開	③地域医療環境を充実する								
目	1	後期基本計画	38	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画			<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>
決算	84										

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 輪番制方式により診療を行う市内の医療機関に対し、予算の範囲内において補助金を交付することにより、休日等における小児救急患者の医療の確保を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・小児救急医療対策事業費補助 休日における小児救急患者の診療(豊後大野市民病院9時~12時、みやわき小児科8時45分~12時)に対し、基準事業費(2,930円/時間)を市民病院及びみやわき小児科に補助した。</p>	R3	・小児救急医療対策事業費補助 休日における小児救急患者の診療(豊後大野市民病院9時~12時、みやわき小児科8時45分~12時)に対し、基準事業費(2,930円/時間)を市民病院及びみやわき小児科に補助した。	R3計画 633	316			317
			当初予算	633	316		317
			決算額	648	316		332
	R4	・小児救急医療対策事業費補助 休日における小児救急患者の診療(豊後大野市民病院9時~12時、みやわき小児科8時45分~12時)に対し、基準事業費(2,930円/時間)を市民病院及びみやわき小児科に補助した。	R4計画 633	316			317
			当初予算	644	321		323
			決算額	641	320		321
	R5		R5計画 633	316			317
			当初予算	644	321		323
			決算額				
	R6		R6計画 633	316			317
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 633	316			317
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 3,165	1,580		1,585	
			当初予算 1,921	958		963	
			決算額 1,289	636		653	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1	小児救急医療対策事業費補助金交付決定率	<input type="checkbox"/> 総合戦略	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	100	100			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標 1	休日等における年間小児患者延べ数	<input type="checkbox"/> 総合計画	1,609	人	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1,614	2,023			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
輪番制方式により診療を行う市内の医療機関に対し、予算の範囲内において補助金を交付することにより、休日等における小児救急患者の医療の確保が図られているため、今後も事業は継続していく。令和元年度以前は小児救急休日診療件数は3,500件を超えていたが、新型コロナウイルス感染症の影響や出生数の減少等により2年度、3年度は約1,600件と減少した。令和4年度は約2,000件と少しずつではあるが、診療件数が増えつつある状況となっている。	保護者が、休日でも身近な場所で安心してこどもの受診ができるように、今後も小児科への助成を行っていく必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業番号	74002
枝番	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	市民生活課	係名	健康づくり支援係
-----	-------	----	----------

事業	地域医療推進事業	細事業	地域医療対策事業	実施計画事業	地域医療対策事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (120)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	4	施策	I 保健・医療サービスの充実						病院事業特別会計負担金	382,270	
項	1	施策展開	③地域医療環境を充実する						病院統合整備基金積立金	154	
目	1	後期基本計画	38	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画			<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>
決算	84										

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 地域医療の中核を担う市民病院の安定した経営を維持し、市民が安心して医療が受けられる体制づくりを進めていくため、地域医療の中核を担っている市民病院に対し地方債償還費分、及び交付税算入分を基準額に準じて補助するもの。 (交付税対象区分:二次救急医療、小児医療、へき地医療、感染症医療など) 普通交付税、特別交付税で算入される額、国の地方公営企業への繰出基準に基づいた補助</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 地域医療の中核を担う市民病院への繰出基準等に基づく運営費等に対する補助を行う。</p>	R3	地域医療の中核を担う市民病院への繰出基準等に基づく運営費等に対する補助を行った。	R3計画 377,849			4,564	373,285	
				当初予算 377,849			4,564	373,285
				決算額 373,107			4,512	368,595
	R4	地域医療の中核を担う市民病院への繰出基準等に基づく運営費等に対する補助を行った。	R4計画 377,849			4,564	373,285	
				当初予算 382,424			4,537	377,887
				決算額 362,769			4,483	358,286
	R5		R5計画 377,849			4,564	373,285	
				当初予算 363,590			4,513	359,077
				決算額				
	R6		R6計画 377,649			4,564	373,085	
				当初予算				
				決算額				
	R7		R7計画 377,849			4,564	373,285	
				当初予算				
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,889,045			22,820	1,866,225	
			当初予算 1,123,863			13,614	1,110,249	
			決算額 735,876			8,995	726,881	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 救急搬送における市内への搬送率 豊後大野市消防署年間搬送数より市内搬送件数/搬送件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	58.8	%	目標値	50	50	50	50	50
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	58.9	55.6			
					達成率	117.8	111.2			
D 成果指標	1 市内医療機関受診率 医科入院外 市内医療機関受診件数/受診件数 (国民健康保険資料より)	<input type="checkbox"/> 総合計画	64.2	%	目標値	50	50	50	50	50
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	64.5	64.3			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率	129	128.6			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由	O 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	15点	15点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		
	3点	25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 市民が安心して医療が受けられる体制づくりを進めていくため、今後も継続していく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 地域医療の中核を担っている市民病院に対し、今後も運営費の助成を行っていく必要がある。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	母子保健事業	細事業	幼児健診事業	実施計画事業	1歳6か月・3歳児健康診査事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (133)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名 第2次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ~ R5 年度 第3次豊後大野市子ども子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	4	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実					幼児健診委託料	1,706
項	1	施策展開	①子育て支援サービスを充実する					幼児健診事業出務謝礼金	493
目	1		後期基本計画	42	P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		消耗品費	228
決算	85						医薬材料費	118	

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	B 事業計画額・決算額等				
			事業費計	財源内訳 (単位:千円)			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
<事業の目的> 母子保健法により行政の実施が義務づけられている健診。(対象は1歳6か月児、3歳児)医師、歯科医師の診察、発育発達チェック、子育てへの助言と支援を行うために実施している。  <令和4年度の取組内容(計画)> 新型コロナウイルス感染症感染対策を講じながら、少人数にて幼児健康診査を実施している。1歳6か月児健診と3歳児健診はそれぞれ月に1回実施。精密検査が必要な幼児には、医療機関の受診や発達相談会の参加を勧奨している。	R3	新型コロナウイルス感染症感染対策を講じながら、少人数にて幼児健康診査を実施した。1歳6か月児健診:11回156名受診(受診率98.7%)。3歳児健診:22回238名受診(受診率99.2%)。未受診児の把握と精密検査が必要な幼児には、医療機関の受診や発達相談会を勧め、フォローを行った。	R3計画	3,140			3,140
			当初予算	3,140			3,140
			決算額	2,343			2,343
	R4	新型コロナウイルス感染症感染対策を講じながら、少人数にて幼児健康診査を実施した。1歳6か月児健診:12回159名受診(受診率98.4%)。3歳児健診:12回190名受診(受診率98.4%)。未受診児の把握と精密検査が必要な幼児には、医療機関の受診や発達相談会を勧め、フォローを行った。	R4計画	2,500			2,500
			当初予算	2,632			2,632
			決算額	1,948			1,948
	R5		R5計画	2,500			2,500
			当初予算	2,037			2,037
			決算額				
	R6		R6計画	2,500			2,500
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画	2,500			2,500
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額	13,140			13,140
			当初予算	7,809			7,809
			決算額	4,291			4,291

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標 1 対象者への周知	対象者への通知数・通知回数・勧奨数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100			
					達成率	100	100			
2 コロナ禍でも適切な月齢に応じて実施できた幼児健康診査実施率	幼児健診実施回数/感染対策と適切な月齢を考慮した幼児健診予定回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100			
					達成率	100	100			
D 成果指標 1 幼児健診未受診者の状況把握率	未受診者の状況把握数/未受診者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100			
					達成率	100	100			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 1歳6か月児健診、3歳児健診は母子保健法に定められた事業であり、コロナ禍以降感染対策をとりながら受診率も維持できている。また、未受診者把握、要精密者へのフォローもしている。必要な感染対策や待ち時間の短縮策を講じながら、今後も事業の継続を行っていく必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 幼児健康診査においては、感染症対策と待ち時間の短縮を目的に人数制限を行いつつ高い受診率をあげている。アンケートはログフォームの活用、問診票取り込みにはAIOCRを導入し、入力事務の事務量削減につとめることができた。今後においても、全員の児の健康状態や家庭状況を把握し、1人1人の子どもにあったサービスや対応をしていく。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	母子保健事業	細事業	幼児健診事業	実施計画事業	5歳児すこやか相談会事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (133)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度主な歳出名称 5歳児すこやか相談会事業出席謝礼金 5歳児相談会診療支援負担金 消耗品費	当初予算額 255 250 10
款	4	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実						
項	1	施策展開	①子育て支援サービスを充実する						
目	1		後期基本計画	42	P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	85								

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 5歳児を対象に、医療・保健・福祉・教育等の連携により発達相談会を実施することで、発達障がい等の早期発見・早期支援の実施、保護者の育児不安の軽減・幼児虐待予防等について、豊後大野市すべての子どもが安心して就学できることを目指す。さらにそのフォロー体制の充実を図る。また、引き続き認定こども園・保育所・幼稚園等との連携を深め、支援の必要な子どもとその保護者が相談会につながるよう努める。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・5歳児すこやか相談会連絡会の開催(2回) ・5歳児すこやか相談会の実施(計5日間) ・療育・医療機関との情報共有、受診勧奨</p>	R3	・5歳児すこやか相談会連絡会3回開催 ・5歳児すこやか相談会の実施(計3日間)コロナで2回中止となり、12月の発達相談会に医師を派遣対象者204名、利用者30名(14.7%) ・要精密・要医療児については、発達相談会で経過をみたり、医療機関の受診勧奨等を行い支援した。	R3計画 443 当初予算 443 決算額 194				443	
	R4	・5歳児すこやか相談会連絡会2回開催 ・5歳児すこやか相談会の実施(計5日間)対象者178名(アンケート回収172名)、参加希望者30名、参加者30名(16.9%) ・要精密・要医療児については、発達相談会で経過をみたり、医療機関の受診勧奨等を行い支援した。	R4計画 443 当初予算 515 決算額 217				443	
	R5		R5計画 443 当初予算 516 決算額				443	
	R6		R6計画 443 当初予算 決算額				443	
	R7		R7計画 443 当初予算 決算額				443	
	R3 ~ R7 合計			計画額 2,215 当初予算 1,474 決算額 411				2,215 1,474 411

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 連絡会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	3	2			
					% 達成率	150	100			
2 5歳児すこやか相談会への受診勧奨	5歳児すこやか相談会の周知回数(個別通知、園経由・地区担当保健師からの声かけ)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 5歳児すこやか相談会のフォロー実施率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100			
					% 達成率	100	100			
					目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 相談会実施前後に、子育て支援課、社会福祉課、学校教育課、保健所と連絡会を開催し、情報共有、事業の見直しを行っており、今後も各課が連携して事業を実施していく必要がある。要精密者の支援も丁寧にしており、子どもや保護者が安心して就学できるよう支援している。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 子ども1人1人が安心して就学が迎えられるように、年3回関係課、関係機関連絡会を開催し、情報の共有・連携を図った。令和4年度は医師派遣が2日間であるため、医師診察の対象者の選定方法を検討し、残り3日は臨床心理士、言語聴覚士による対応を実施した。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	母子保健事業	細事業	幼児健診事業	実施計画事業	視力スクリーニング検査委託事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No. (133)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名 第2次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ~ R5 年度 第3次豊後大野市子ども子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	4	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実					視力スクリーニング検査委託料	210
項	1	施策展開	①子育て支援サービスを充実する						
目	1		後期基本計画	42	P	<input type="checkbox"/> 過疎計画		<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	85								

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 視覚(視力)障害の早期発見を目的として、視力スクリーニングを実施する。  <令和4年度の取組内容(計画)> 1歳6か月児、3歳児を対象とした幼児健康診査時に視力スクリーニング検査を実施し、要精密児に対しては精密券を発行し、受診勧奨を行う。	R3	1歳6か月健診、3歳児健診にて実施。1歳6か月健診受診者156名 要精密3名 3歳児健診受診者238名 要精密4名 要精密児については、精密券を発行し、受診勧奨を行った。	R3計画 252 当初予算 252 決算額 231				252	
	R4	1歳6か月健診、3歳児健診にて視力スクリーニングを実施。1歳6か月健診受診者159名 要精密1名 3歳児健診受診者190名 要精密2名 要精密児については、精密券を発行し、受診勧奨を行った。精密受診率100%	R4計画 200 当初予算 210 決算額 189				200	
	R5		R5計画 200 当初予算 168 決算額				200	
	R6		R6計画 200 当初予算 決算額				200	
	R7		R7計画 200 当初予算 決算額				200	
	R3 ~ R7 合計			計画額 1,052 当初予算 630 決算額 420				1,052

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 幼児健診において視力スクリーニング検査を実施した割合	視力スクリーニング検査実施回数/幼児健康診査実施回数(1歳6か月児、3歳児)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	100	100			
					達成率	100	100			
D 成果指標 1 要精密フォロー児の精密受診割合	疾病の早期発見、治療に結びつく指標として精密検査受診率 精密検査受診児数/要精密児数	<input type="checkbox"/> 総合計画	91.7	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	71.4	100			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率	71.4	100			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 市内小児科医の協力により、幼児健診受診者全員に視力スクリーニング検査を実施し、検査もスムーズにできている。要精密児については受診勧奨を行い、早期診断、早期治療に結びついている。 県内で3歳児健診での機器を使用したスクリーニングを実施する自治体は増えてきたが、1歳6か月健診のスクリーニング実施は県下でも少数である。今後も精密者への受診勧奨を行い、眼疾患の早期発見、早期治療に結びつける必要がある。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 視覚の感受性の高い時期(1歳半頃)に、本人が表現する必要のない他覚的視力検査で、早期に弱視・斜視・近視などを発見し治療につなげることができた。今後も継続して視力スクリーニング検査を行っていく必要がある。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
71002	4

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	市民生活課	係名	親子健康係
-----	-------	----	-------

事業	母子保健事業	細事業	幼児健診事業	実施計画事業	フッ素塗布事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No. (133)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち								
款	4	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実								
項	1	施策展開	①子育て支援サービスを充実する								
目	1	後期基本計画	42	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	85										

個別計画名	第2次豊後大野市健康づくり計画	期間	H26年度	～	R5年度
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画	期間	R2年度	～	R6年度

令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
フッ素塗布事業委託料	352
通信運搬費	28

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; フッ素塗布受診票を利用することで歯予防とかかりつけ医をつくるきっかけが出来る。をきっかけに歯の予防ができる。対象を2歳児とすることで早期からの予防意識を高めることにつながり、保護者自身の歯科保健への関心を高めることができる。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 2歳児を対象に、3歳までに利用できるフッ素塗布受診票を2枚郵送し、委託した医療機関で塗布を実施する。</p>	R3							
	R4	3歳までにフッ素塗布を行えるよう、2歳児156人にフッ素塗布受診票を2枚郵送した。1回目利用 44人(受診率28.2%)、2回目利用 25人	R3計画 当初予算 決算額					
	R5		R4計画 当初予算 決算額	380 380 76			380 380 76	
	R6		R5計画 当初予算 決算額	380 248			380 248	
	R7		R6計画 当初予算 決算額	380			380	
			R7計画 当初予算 決算額	380			380	
			R3～R7合計	計画額 当初予算 決算額	1,520 628 76			1,520 628 76

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 対象者への周知	対象者への通知数・2歳の誕生日を迎えた幼児への周知数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		%	目標値		100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値		100			
					達成率		100			
D 成果指標 1 3歳児歯科健診1人平均むし歯本数	健診受診児全員のむし歯の総本数/歯の総本数	<input type="checkbox"/> 総合計画	0.8	本数	目標値		0.7	0.5	0.5	0.3
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	0.38	0.49			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率		70			
2 3歳児歯科健診むし歯を持つ児の割合	健診受診児でむし歯を持つ児の人数/健診受診児数	<input type="checkbox"/> 総合計画	20.7	%	目標値		20	19	18	17
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	37.8	16.3			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率		81.5			

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF～I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和4年度に始まった新規事業であり、令和4年度中はフッ素塗布受診票の使用期限がまだ残っているため、令和5年3月末時点での初回フッ素塗布受診率は28.2%にとどまっている。また歯科医療機関では、医療保険を利用しているフッ素塗布も行われているため、フッ素塗布受診票を持っていない2歳児が受診した場合は、受診票を利用していただくよう歯科医療機関へ依頼した。未受診児の保護者へは、歯科衛生士が電話でフッ素塗布の必要性や受診勧奨を実施しており、今後も、歯予防を目的に事業を継続していく必要がある。	令和4年度より開始した新規事業であり、歯予防のために定期的なフッ素塗布が有効であることを引き続き普及啓発することや、個別の受診勧奨にあわせて、歯科保健指導を実施することで、保護者の歯科保健への関心を高めていく必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業	母子保健事業	細事業	愛育会事業	実施計画事業	愛育会事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------	--------	-------	------	----

総合計画体系図No.1 (133)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称 講師謝礼金 愛育会委託料 自動車等借上料	当予算額 10 180 75	
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実				
款	4	施策	①子育て支援サービスを充実する				
項	1	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>				
目	1				期間	年度 ~ 年度	
決算	85						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 愛育会は地域の子育てのボランティアとして、子育て中の保護者が、子どもや子育てについて様々な悩みや不安を抱え、地域から孤立することがないよう、相互に交流するきっかけとなる機会や環境づくりのため、地域に住む親子が集える場を提供している。市は豊後大野市愛育会に親子交流事業を委託(対象:愛育会員が市民対象に事業実施)</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・分班長会議、班会議の開催 ・定期総会及び会員研修会の開催 ・新規会員募集のための愛育会員養成講習会の開催(年1回) ・市委託事業:親子交流事業(年9回×20000円) ・県助成事業:地域交流促進事業(令和4年度は124,000円を要求)</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>分班長会議6回・各班会議実施</li> <li>定期総会及び会員研修会の実施</li> <li>新規会員募集のための愛育会員養成講習会の年1回開催</li> <li>市委託事業:親子交流事業 4回113名参加</li> <li>県助成事業:地域交流促進事業 10回339名参加</li> <li>声かけ訪問活動実施</li> </ul>	R3計画 265				265
	当初予算	265				265	
	決算額	80				80	
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>分班長会議6回・各班会議48回</li> <li>定期総会及び会員研修会の実施</li> <li>新規会員募集のための愛育会員養成講習会 1回開催</li> <li>市委託事業:親子交流事業 8回222名参加</li> <li>県助成事業:地域交流促進事業 15回358名参加</li> <li>声かけ訪問活動実施 延べ35,107人</li> </ul>	R4計画 265				265
	当初予算	265				265	
	決算額	160				160	
	R5		R5計画 265				265
当初予算	265				265		
決算額							
R6		R6計画 265				265	
当初予算							
決算額							
R7		R7計画 265				265	
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 1,325				1,325
			当初予算 795				795
			決算額 240				240

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 分班長会議と班会議の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	19	回	目標値	14	14	14	14	14
					実績値	36	54			
	% 達成率	257.1	385.7							
2 会員研修会の開催回数	会員研修会(年1回)開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 親子交流事業・地域交流促進事業の実施割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100			
					% 達成率	100	100			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、規模を縮小して実施した親子交流事業もあるが、感染対策を講じながら愛育会のピーアールも含めた事業運営ができている。行政としては愛育会からの相談対応や育成を行っており、活動が健康づくりや子育て支援に結びつくように支援している。また、新規会員養成をし、少しずつではあるが、新規会員を増やし、会の活動が維持できるような体制づくりを行っている。今後も自主的な活動が継続できるように支援する必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>分班長会議や各班会議において地域課題について情報の共有を行い、地域での事業の実施や声かけに役立てた。また感染対策をとりながら、集合型の交流事業が復活できた。今後も、地域で親子の仲間づくり、交流、安心して子育てが行える環境づくりを目的に、愛育会活動を支援するとともに、子育て支援課、子育て支援センター、児童館等に事業の協力を求め支援者の負担の軽減を図りながら、愛育会の育成につとめていく必要がある。</p>
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	母子保健事業	細事業	周産期等保健事業	実施計画事業	すくすくひろば運営事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図№→ (133)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名	第3次豊後大野市子ども子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	4	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実								
項	1	施策展開	①子育て支援サービスを充実する								
目	1	後期基本計画	42	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画					<input type="checkbox"/>
決算	85										

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 生後3か月から5か月の乳児とその保護者を対象し、離乳食や歯のお手入れ等の育児に関する情報提供を専門職から行なう。 また、成長・発達の確認の場とするとともに、参加者同士の交流の場となるよう努める。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・奇数月にすくすくひろばを開催する。 ・子育て支援センターや児童館の紹介を行なう。 ・継続フォローが必要な対象者に対して、教室参加への勧奨を行なう。 ・愛育会員へ協力を得ることで、地域で子育てを見守る体制づくりへつなげる。</p>	R3	奇数月にすくすくひろばを開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で3回実施31組参加 ・子育て支援センターや児童館の紹介を行なった。 ・継続フォローが必要な対象者に対して、教室参加への勧奨を行なった。 ・愛育会員へ協力を得ることで、地域で子育てを見守る体制づくりへつなげた。
	R4	奇数月にすくすくひろばを開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で4回実施(2回中止)、22組(55人)参加 ・子育て支援センターや児童館の紹介を行なった。 ・継続フォローが必要な対象者に対して、教室参加への勧奨を行なった。 ・愛育会員へ託児協力を得ることで、地域で子育てを見守る体制づくりへつなげた。
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	13			13
当初予算	13			13
決算額				
R4計画	13			13
当初予算	17			17
決算額				
R5計画	13			13
当初予算				
決算額				
R6計画	13			13
当初予算				
決算額				
R7計画	13			13
当初予算				
決算額				
計画額	65			65
当初予算	30			30
決算額				

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 教室参加の周知 すくすくひろば開催について周知回数(個別通知、要フォローに対しては地区担当保健師より電話や訪問にて参加勧奨を行なう)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1			
D 成果指標	1 教室参加率 すくすくひろばへの参加率(参加組数÷対象組数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	56.3	%	目標値	60	60	60	60	60
					実績値	44.9	20.8			
2 要フォロー者への教室参加への声かけ実施割合	赤ちゃん訪問時等でのEPDS高値であった者・育児支援者がいない・N/Aの方等、要フォロー者の教室参加の声かけ実施数/要フォロー者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100			
						達成率	100	100		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		15点	15点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 新型コロナウイルス感染症の影響で、2回中止となり、開催回数は4回と少なかったが、参加者には栄養や歯科保健の情報提供ができた。また、参加できなかった方には、ホームページでの情報発信や個別相談対応ができた。今後も乳児期に必要な健康情報を提供するとともに、保護者の仲間づくり、子育て支援センターや愛育会の見守り等につなげていく必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 教室に参加できない保護者のために、講義内容を収録した動画を市ホームページにアップし離乳食と歯科保健の正しい普及につとめた。育児を学ぶ場や交流の場を希望する保護者も多く、今後においても感染対策を行いながら開催していくことが必要である。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	母子保健事業	細事業	周産期等保健事業	実施計画事業	妊婦歯科健康診査事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (115)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度 第2次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ~ R5 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	4	施策	I 保健・医療サービスの充実					妊婦歯科健診委託料	275
項	1	施策展開	②疾病予防を推進する					印刷製本費	27
目	1		後期基本計画	38	P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		消耗品費	5
決算	85							通信運搬費	2

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	B 事業計画額・決算額等				
			事業費計	財源内訳 (単位:千円)			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 口腔内が不衛生になりやすい妊娠中に、歯科健診を勧めることで、う歯・歯周病の口腔内疾患の発見や、適切な治療へつなげることを目的とする。  <令和4年度の取組内容(計画)> 母子健康手帳交付時に妊娠中に歯科健診を委託歯科医療機関で受けられる受診券を交付する。	R3	母子健康手帳交付時に妊娠中の歯科保健について説明し、医療機関で受けられる妊婦歯科健診の受診券を交付した。受診者47名(受診率40.1%)	R3計画	309			309
			当初予算	309			309
			決算額	155		155	
	R4	母子健康手帳交付時に妊娠中の歯科保健について説明し、医療機関で受けられる妊婦歯科健診の受診券を妊婦125人に交付した。受診者46人(受診率36.8%)	R4計画	309			309
			当初予算	309			309
			決算額	143			143
	R5		R5計画	297			297
			当初予算	225			225
			決算額				
	R6		R6計画	292			292
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画	287			287
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額	1,494			1,494
			当初予算	843			843
			決算額	298		155	143

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標 1 妊婦への歯科保健指導率	妊婦への歯科保健実施数/母子手帳発行数(妊婦数)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100			
					達成率	100	100			
D 成果指標 1 妊婦歯科健診を受けた人の割合	妊婦歯科健診受診者数/母子手帳発行数(妊婦数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	40	%	目標値	40	41	42	43	44
					実績値	40.1	36.8			
					達成率	100.3	89.8			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 母子手帳交付時に、歯科保健について説明し、安定期に入ったら歯科健診を実施することを勧めている。歯科健診受診券の交付をきっかけに歯科保健指導、歯科受診で、母親自身が歯科保健の関心を高め、適切な治療に結びついている。妊娠中に歯科保健への意識を高めることで乳児期、幼児期の歯科保健にもつながるため、今後も事業の継続が必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 妊娠中は、身体のさまざまな変化の影響で口腔環境が悪くなり、むし菌や歯周病菌が体内に入り込むと早産などのリスクが高くなるため、母子手帳交付時に歯科受診券を発行し歯科健診の受診勧奨を行った。今後においても、継続して妊婦への歯科健診の受診勧奨を行っていく。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	予防接種事業	細事業	定期予防接種事業	実施計画事業	定期予防接種事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (117)												
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち					個別計画名 豊後大野市新型コロナウイルス等 対策行動計画(H27年3月策定) 期間 年度 ~ 年度 第3次豊後大野市子ども・子育て支援 事業計画「きらきらこどもプラン」 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	4	施策	I 保健・医療サービスの充実						予防接種委託料	83,803		
項	1	施策展開	②疾病予防を推進する						通信運搬費	488		
目	2	後期基本計画	38	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>	印刷製本費	449
決算	86								<input type="checkbox"/>	コロナ充当	手数料	240

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防するために、予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。また、予防接種による健康被害の迅速な救済を図る。(予防接種法より)</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 次の対象疾病について対象となる市民へ予防接種(委託医療機関における個別接種)を実施する。 ○乳幼児: Hib(ヒブ)、小児肺炎球菌、B型肝炎、4種混合、結核(BCG)、MR(麻しん・風しん)、水痘、日本脳炎 ○小中高生: ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん) ○高齢者: インフルエンザ、高齢者肺炎球菌 ○成人男性(S37.4.2~S54.4.1生): 風しん抗体検査・予防接種</p>	R3	○乳幼児: Hib(ヒブ) 575名、小児肺炎球菌574名、B型肝炎414名、4種混合599名、結核(BCG) 143名、MR(麻しん・風しん) 352名、水痘277名、日本脳炎447名、二種混合151名、ロタウイルス283名 ○小中高生: ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん) 83名 ○高齢者: インフルエンザ8,750名、高齢者肺炎球菌520名 ○成人男性(S37.4.2~S54.4.1生): 風しん抗体検査205名・予防接種67名	R3計画	81,495	2,598	26,500	52,397	
	R4	○乳幼児: Hib(ヒブ) 428名、小児肺炎球菌428名、B型肝炎318名、4種混合438名、結核(BCG) 107名、MR(麻しん・風しん) 330名、水痘237名、日本脳炎660名、二種混合168名、ロタウイルス245名 ○小中高生: ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん) 168名 ○高齢者: インフルエンザ8,705名、高齢者肺炎球菌481名 ○成人男性(S37.4.2~S54.4.1生): 風しん抗体検査116名・予防接種24名	R4計画	82,000	2,600	27,000	52,400	
	R5		R5計画	82,000	2,600	27,000	52,400	
	R6		R6計画	82,000	2,600	27,000	52,400	
	R7		R7計画	82,000	2,600	27,000	52,400	
	R3 ~ R7 合計			計画額	409,495	12,998	134,500	261,997
				当初予算	250,148	6,109	85,000	159,039
				決算額	125,586	1,184	49,500	74,902

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標 1 定期予防接種の接種勧奨を行う	幼児健診の受診者に対し、接種状況を確認の上、未接種のワクチンについては勧奨を行う。	<input type="checkbox"/> 総合戦略	100	%	目標値	100	100	100	100	100	
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	100	100				
					達成率	100	100				
D 成果指標 1 MR1期予防接種率	接種率=MR1期ワクチン接種者数/対象者数 ※「麻しん風しん予防接種第1期・第2期対象者に関する調査票(厚生労働省健康局結核感染症課)」より	<input type="checkbox"/> 総合計画	100	%	目標値	95	95	95	95	95	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	85	87				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率	89.5	91.6				
	2 MR2期予防接種率	接種率=MR2期ワクチン接種者数/対象者数 ※「麻しん風しん予防接種第1期・第2期対象者に関する調査票(厚生労働省健康局結核感染症課)」より	<input type="checkbox"/> 総合計画	102.5	%	目標値	95	95	95	95	95
			<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	97.2	96.1			
			<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率	102.3	101.2			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 予防接種法に基づいた定期予防接種を実施しているため、事業の継続は今後も必要。MRワクチン予防接種については、機会をとらえ何年度も接種勧奨をしており、今後も接種勧奨を必要とする。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 予防接種法に基づき定期予防接種を実施しているため、事業の継続は今後も必要。予防接種は個人の感染予防・重症化の防止という目的とともに、多くの人が接種を受けることにより、感染症のまん延を防止するという社会的な意義も持つことから、市として定期予防接種対象者への個別通知や正しい知識の普及啓発に努めていく必要がある。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
76004	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	市民生活課	係名	健康づくり支援係
-----	-------	----	----------

事業	予防接種事業	細事業	任意予防接種事業	実施計画事業	任意予防接種事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (117)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画「きらきらこどもプラン」 期間 R2 年度 ~ R6 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額					
款	4	施策	I 保健・医療サービスの充実					任意予防接種助成金	4,354					
項	1	施策展開	②疾病予防を推進する					予防接種委託料	1,570					
目	2	後期基本計画	38	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画		<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>	消耗品費	4
決算	86													

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防するために、予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。また、予防接種による健康被害の迅速な救済を図る。 ※任意予防接種は予防接種法によるものではないが、その目的や重要性は定期接種と同様。(日本小児科学会H1P「定期接種と任意接種のワクチン」より)</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 次の対象疾病について対象となる市民へ予防接種(委託医療機関における個別接種)を実施する。 ○乳幼児：おたふくかぜ ○乳幼児～小中学生：子どものインフルエンザ ○成人(妊娠を希望する女性等)：風しん</p>	R3	○乳幼児：おたふくかぜ148名 ○乳幼児～小中学生：子どものインフルエンザ1,594名 ○成人(妊娠を希望する女性等)：風しん27名
	R4	○乳幼児：おたふくかぜ136名 ○乳幼児～小中学生：子どものインフルエンザ1,380名 ○成人(妊娠を希望する女性等)：風しん12名 ○子宮頸がんワクチン 1名
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

事業費計	財源内訳 (単位：千円)			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	6,013			6,013
当初予算	6,013			6,013
決算額	2,651			2,651
R4計画	6,100			6,100
当初予算	5,928			5,928
決算額	2,246			2,246
R5計画	6,100			6,100
当初予算	5,898			5,898
決算額				
R6計画	6,100			6,100
当初予算				
決算額				
R7計画	6,100			6,100
当初予算				
決算額				
計画額	30,413			30,413
当初予算	17,839			17,839
決算額	4,897			4,897

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 おたふくかぜ予防接種の周知	<input type="checkbox"/> 総合戦略	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	100	100			
					達成率	100	100			
2 幼児健診時の接種勧奨実施率	幼児健診時に接種状況確認の上、未接種のワクチンについては勧奨を行う。接種勧奨数/幼児健診受診者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	100	100			
					達成率	100	100			
D 成果指標	1 おたふくかぜ接種率	<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値	90	90	90	90	90
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	101.36	100.74			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率	112.6	111.9			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		15点	15点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 任意接種費の負担軽減により、接種率を高め疾病予防につながっているため、今後も事業の継続が必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 定期予防接種とともに、任意接種についても適切な情報提供を行い、疾病予防に努めていく。 特に、子宮頸がんワクチンの償還払いについては令和4年度に開始となったため、市報、ホームページ等で引き続き制度の周知に努めていきたい。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業番号	77001
枝番	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	市民生活課	係名	健康づくり支援係
-----	-------	----	----------

事業	健康づくり増進事業	細事業	健康増進事業	実施計画事業	健康増進事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.1 (112)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	第2次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ~ R5 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	4	施策	I 保健・医療サービスの充実					
項	1	施策展開	①健康づくり活動を推進する					
目	2	後期基本計画	38	P				
決算	87							

検査検診委託料	4,376
会計年度任用職員報酬	1,688
健康づくり計画作成業務委託料	1,742
通信運搬費	573

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 生活習慣病の予防、重症化予防の為、豊後大野市健康づくり計画に基づき健康増進事業の各種事業を実施し、市民の健康増進および生活習慣病予防を推進する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 以下の健康増進事業に取り組む 1. 健康教育の実施 50回/年 1,000名 2. 健康相談の実施 90回/年 1,200名 3. 訪問指導 100回/年 4. 健康診査 ・基本健診 40歳未満の市民 ・被保護世帯 ・骨粗しょう症検診 190名 ・肝炎ウイルス検診 200名 ・歯周疾患健診 350名</p>	R3	1. 健康教育の実施 50回/年 956名 2. 健康相談の実施 45回/年 486名 3. 訪問指導 72日/年 69名 4. 健康診査 ・基本健診40歳未満の市民 120名・被保護世帯 9名 ・骨粗しょう症検診 225名・肝炎ウイルス検診 113名 ・歯周疾患健診 443名 成果指標①脳血管疾患標準化死亡率 R3実績値(男性94.5、女性98.4) 成果指標②健康寿命(お達者年齢) R3実績値(男性79.62歳、女性84.11歳)
	R4	1. 健康教育の実施 73回/年 916名 2. 健康相談の実施 90回/年 874名 3. 訪問指導 126日/年 165名 4. 健康診査 ・基本健診40歳未満の市民 133名・被保護世帯 14名 ・骨粗しょう症検診 230名・肝炎ウイルス検診 131名 ・歯周疾患健診 386名 成果指標①脳血管疾患標準化死亡率 R3実績値(男性94.5、女性98.4) 成果指標②健康寿命(お達者年齢) R3実績値(男性79.62歳、女性84.11歳)
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	8,146	1,940	3,800	2,406
当初予算	8,146	1,940	3,800	2,406
決算額	6,821	1,940	3,132	1,749
R4計画	8,146	1,940	3,800	2,406
当初予算	9,489	2,146	3,800	3,543
決算額	7,598	2,096	3,800	1,702
R5計画	8,146	1,940	3,800	2,406
当初予算	9,690	2,114		7,576
決算額				
R6計画	8,146	1,940	3,800	2,406
当初予算				
決算額				
R7計画	8,146	1,940	3,800	2,406
当初予算				
決算額				
計画額	40,730	9,700	19,000	12,030
当初予算	27,325	6,200	7,600	13,525
決算額	14,419	4,036	6,932	3,451

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 健康教育実施回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	19	回	目標値	20	20	20	20	20
					実績値	53	73			
	2 健康相談実施回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	49	回	目標値	50	50	50	50	50
					実績値	45	90			
					%	達成率	265	365		
D 成果指標	1 脳血管疾患標準化死亡率	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
	2 健康寿命(お達者年齢)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		歳	目標値					
					実績値					
					%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>コロナ禍の影響で、受診者は減少傾向ではあるが、受けやすい体制づくりをし、受診率向上に向けて取り組んでいる。令和4年度に、第3次健康づくり計画策定のための市民アンケートを実施したが、令和5年度はアンケート調査の結果等をもとに健康づくり計画の策定を行う予定である。健康づくり計画の目標指標を達成しながら総合計画の成果指標達成に近づけていきたい。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>集団健診では、昨年度に引き続き事前予約制とし感染対策を行いながら事業を実施した。市民が希望の健診が受けられるように、休日健診、働き盛り健診、障がい者健診等市民のニーズをいかした健診の体制づくりを整えた。健康教育では、高血圧や糖尿病の重症化を予防するため、オンラインを活用したり、運動指導士によるDVDを作成しケーブルテレビで放映した。今後KDBシステム、マップシステムを活用した資料を作成し、保健指導に活用していく。</p>
--	---

I 令和6年度の事業の方向性

⇒ A. 現状のまま継続

事業	健康づくり増進事業	細事業	がん検診事業	実施計画事業	がん検診事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No. (115)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名 第2次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	4	施策	I 保健・医療サービスの充実					検査検診委託料	51,258
項	1	施策展開	②疾病予防を推進する					印刷製本費	237
目	2		後期基本計画	38	P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		通信運搬費	77
決算	87							託児業務委託量	74

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 主要死因の1位である悪性新生物の早期発見を目的に、各種のがん検診を実施し、一人ひとりが健康づくりを進められる環境をつくる</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 新型コロナウイルス感染防止策を徹底しながら3密の回避、事前予約制とし、スムーズに受診できる体制づくりに努める。また、女性が受けやすいレディース検診、無料クーポン券の送付や働き世代が受診しやすいよう土曜・日曜健診の実施や、協会けんぽと連携した未受診者への通知等啓発を引き続き行う。さらに疾病の早期発見、早期治療の目的達成の為、精密検査未受診者への受診勧奨を委託先と協力して徹底する。</p>	R3	胃がん検診:40歳以上の男女対象1,430名・肺がん検診3,488名・大腸がん検診2,906名・子宮頸がん検診2,239名(クーポン受診者除く)・乳がん検診:2,158名・前立腺がん検診1,118名 女性特有のがん検診:子宮頸がん検診クーポン利用受診者19名(対象101名)受診率18.8%・乳がん検診クーポン利用受診者38名(対象168名)受診率22.6%	R3計画 51,588 当初予算 51,588 決算額 46,882	2,055			51,588 51,588 44,827
	R4	胃がん検診:40歳以上の男女対象1,323名・肺がん検診3,147名・大腸がん検診2,762名・子宮頸がん検診2,211名(クーポン受診者除く)・乳がん検診:2,129名・前立腺がん検診1,064名 女性特有のがん検診:子宮頸がん検診クーポン利用受診者35名(対象98名)受診率35.7%・乳がん検診クーポン利用受診者38名(対象163名)受診率23.3%	R4計画 51,588 当初予算 51,646 決算額 41,348			51,588 51,646 41,348	
	R5		R5計画 51,588 当初予算 51,738 決算額			3,800 47,938	
	R6		R6計画 51,588 当初予算 決算額			51,588	
	R7		R7計画 51,588 当初予算 決算額			51,588	
	R3 ~ R7 合計			計画額 257,940 当初予算 154,972 決算額 88,230	2,055		3,800 151,172 86,175

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 子宮頸がん・乳がん検診(クーポン券)受診勧奨 要精密者への受診勧奨	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	7	回	目標値	8	8	8	8	8
					実績値	8	8			
					達成率	100	100			
D 成果指標	1 子宮頸がん・乳がん検診(クーポン券)受診状況 2 精密検査受診状況	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	26.1	%	目標値	30	30	40	50	50
					実績値	21.2	23.3			
					達成率	70.7	77.7			
		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	88.7	%	目標値	95	95	100	100	100
					実績値	86.5	87.3			
					達成率	91.1	91.9			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 主要死因の1位である悪性新生物の早期発見を目的に、各種のがん検診を実施しているため、今後も事業の継続が必要である。受診勧奨や受けやすい体制づくりを行っており、受診者が増えるように今後も取り組んでいく必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市民が、がん検診を受けやすいように、大腸がんの郵送健診や託児付きレディース健診など健診体制を整えた。精密未受診者の方には、個別の電話かけを行い受診勧奨を促した。本市における悪性新生物による死亡率が高いことから、今後においてもがん検診の体制整備、普及啓発につとめていく必要がある。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	健康づくり増進事業	細事業	高齢者の保健事業と介護予防一体的事業	実施計画事業	高齢者の保健事業と介護予防一体的事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	--------------------	--------	--------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (115)													
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち					個別計画名 第2次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	4	施策	I 保健・医療サービスの充実						会計年度任用職員報酬	2,589			
項	1	施策展開	②疾病予防を推進する						社会保険料(会計年度任用職員分)	374			
目	2	後期基本計画	38	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	KDBシステム導入業務委託料	349
決算	87										期末手当	282	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に実施し、切れ目のない支援に結びつけ、自立した生活ができる期間の延伸とQOL向上を目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・KDBシステム等を活用した保健・医療・介護情報の分析 ・高齢者への個別支援 ①健康状態不明者把握 ②糖尿病性腎症重症化予防事業 ・通いの場等への積極的な関与 ①集団健診時の健康相談 31回 ②サロンやカフェ等での健康教室 5回/町(各団体1回)</p>	R3		R3計画				
	R4	・KDBシステムを導入し、地区分析を行い、保健・医療・介護情報を即やリーフレットにて市民へ周知。 ・管理栄養士、歯科衛生士の医療専門職2名を配置し、健康相談、健康教室を実施 ・健康状態不明者把握81/81(100%) ・集団健診時の健康相談31/31(100%) ・サロン、カフェ等での健康教室	当初予算				
	R5		決算額	4,478		4,000	478
	R6		当初予算				
	R7		決算額	4,112		3,699	413
	R3 ~ R7 合計		当初予算	3,997		3,997	
			決算額				
			計画額				
		当初予算	8,475		7,997	478	
		決算額	4,112		3,699	413	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 健康状態不明者実態把握	<input type="checkbox"/> 総合戦略		%	目標値		100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 個別計画		%	実績値		100			
	2 集団健診時等の健康相談	<input type="checkbox"/> 総合戦略		%	目標値		100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 個別計画		%	実績値		100			
				%	達成率		100			
D 成果指標	1 健康状態不明者の保健・医療等への接続率	<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値			30	40	40
		<input type="checkbox"/> 総合戦略		%	実績値					
	<input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率						
2 後期高齢者健診受診率(75歳到達者)	令和4年度に勧奨した新規被保険者(75歳到達者)の健診受診率 KDBにより質問項目回答内容の経年変化	<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値			40	41	41
		<input type="checkbox"/> 総合戦略		%	実績値					
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>令和4年度の新規事業であるが、高齢者福祉課、市民生活課国保年金係と健康推進室が一体となり、県後期高齢者医療広域連合や地域包括支援センター、市医師会等と連携し事業に取り組んでいる。国保データベースシステムを活用した地域の健康課題の分析、高齢者への個別支援、通いの場等への積極的な関与等の取組を行い、健康状態不明者の実態把握(率)、集団健診時等の健康相談(率)とも100%の実績を残すことができた。令和5年度についても、継続し事業の推進に努めていく。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>令和4年度からの事業開始となったが、保健師、歯科衛生士等の医療専門職が受診勧奨、フレイル対策、疾病予防といった視点から保健事業と一体となって高齢者の介護予防事業に関わる事が可能となった。今後も関係課、関係機関との連携を深め、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活と社会参加ができるようになることを目指し、事業を進めていく。</p>
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	環境衛生事業	細事業	公衆衛生事業	実施計画事業	狂犬病予防事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.1 (230)		III 豊かなくらしと安心を実感できるまち		個別計画名	第3次豊後大野市環境基本計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称		当初予算額	
会計	一般	政策	5 環境衛生の推進			期間	年度 ~ 年度	畜犬登録管理システム保守委託料	385
款	4	施策	④公衆衛生を推進する			期間	年度 ~ 年度	消耗品費	212
項	1	施策展開	後期基本計画 60 P					通信運搬費	125
目	3		<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					印刷製本費	44
決算	88								

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 狂犬病予防法に基づく予防注射の対応及び犬の登録、異動、死亡、飼育方等への対応を行う。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・予防注射の実施 ・犬の登録、異動、死亡等の届出処理 ・(システムの保守管理を委託し、台帳へ入力を実施) ・犬システムのキントーンへの移行 ・迷い犬、犬の飼い方への苦情対応	R3	・予防注射の実施(1,447頭) ・犬の登録(132頭)、異動、死亡等の届出処理 ・(システムの保守管理を委託し、台帳へ入力を実施) ・迷い犬、犬の飼い方への苦情対応	R3計画 762			762	
			当初予算 762				762
			決算額 645				645
	R4	・予防注射の実施(1402頭) ・犬の登録(130頭)、異動、死亡等の届出処理 ・(システムの保守管理を委託し、台帳へ入力を実施) ・犬システムのキントーンへの移行を行った。 ・迷い犬、犬の飼い方への苦情対応	R4計画 762			762	
			当初予算 766				766
			決算額 763				763
	R5		R5計画 762				762
			当初予算 718				718
			決算額				
	R6		R6計画 762				762
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 762				762	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 3,810			3,810	
			当初予算 2,246			2,246	
			決算額 1,408			1,408	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 狂犬病予防注射頭数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,539	頭	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
					実績値	1,447	1,402			
					% 達成率	90.4	87.6			
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	13点	3点	13点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 法令に基づくもの及び市民の生活環境を改善するために必要不可欠な事業であり、精査しながら対応していく必要がある。犬の登録頭数、注射頭数は人口と同じで全体数が減少しているため、今後も減少が続くと思われる。また、令和4年6月から犬のマイクロチップ義務化(ペットショップやブリーダーなど犬猫を販売する事業者のみ義務化)が法改正により施行された。これに伴い国は登録等のワンストップ化のサービスを進めています。手数料等の徴収問題もあり大分県内の市町村はともまだ加入をしていない。他市の状況や条例の適用等をふまえ、今後とも加入については検討していく。  
 なお、犬の登録についてはR5年2月よりkintoneを利用して登録が出来るように移行が完了し、R4年度までのシステム保守委託料が今後削減ができることとなった。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 法令に基づくもの及び市民の生活環境を改善するために必要不可欠な事業である。犬の登録及び注射は全体数が減少傾向が続くと考えられる。また、令和4年6月の犬のマイクロチップ義務化が法改正により施行された。これに伴い国は登録等のワンストップ化サービスを推進しているが、手数料等の徴収問題関係により県内市町村未加入状態である。他市の状況や条例適用等を踏まえ、今後の加入要検討である。  
 なお、業務改善の一環として、犬の登録システムをkintone利用に令和4年度末に移行を完了した。現在の保守委託料の削減を図る。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	環境衛生事業	細事業	公衆衛生事業	実施計画事業	悪臭防止事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.→ (230)

会計	一般	政策	III 豊かな暮らしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	4	施策	5 環境衛生の推進		期間	年度	年度	手数料	3,861	
項	1	施策展開	④公衆衛生を推進する		期間	年度	年度	臭気調査委託料	106	
目	3	後期基本計画	60 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	88									

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 三重町三重原地域周辺の養豚業者からと思われる悪臭問題の解決に向け平成21年9月から「三重原地域環境問題代表者会議」を開催して協議を重ねており、解決に向け悪臭防止法及び本市の基準に基づいた臭気指数の調査を行う。 また、悪臭の発生状況について地域住民からの意見を聞くためにモニタリング調査として三重原区から10名選任してもらい、毎月報告をいただく。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・悪臭防止法に基づいた臭気指数の測定(臨時の発生時の対応) ・地域住民へ臭気測定のモニタリング調査を委託</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>悪臭防止法に基づいた臭気指数の測定7回(2,926千円)</li> <li>地域住民へ臭気測定のモニタリング調査を委託(106千円)</li> <li>循環型自然消臭法試験導入業務委託の実施(3,564千円)</li> </ul>
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>悪臭防止法に基づいた臭気指数の測定(臨時の発生時の対応)</li> <li>→対象業者の廃業表明によりR4年度に予定されていた臭気指数調査は行わなかった。</li> <li>・地域住民へ臭気測定のモニタリング調査を委託(106千円)</li> </ul>
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	3,868			3,868
当初予算	3,868			3,868
決算額	6,596			6,596
R4計画	3,868			3,868
当初予算	3,967			3,967
決算額	106			106
R5計画	2,200			2,200
当初予算	546			546
決算額				
R6計画	2,200			2,200
当初予算				
決算額				
R7計画	2,200			2,200
当初予算				
決算額				
計画額	14,336			14,336
当初予算	8,381			8,381
決算額	6,702			6,702

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 臭気指数の測定回数 地域住民からの要望及び予算による	<input type="checkbox"/> 総合戦略	8	回	目標値	8	8	5	5	5
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7				
		%			達成率	87.5				
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
	<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
	<input type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	16点	4点	16点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>令和4年4月に行われた代表者会議において1養豚業者より廃業の表明がなされたため、悪臭防止法に基づく臭気測定の実施は見送りとなった。今後は、廃止にむけての確認と情報収集に務め、臭気の改善の動向と今後の取組について検討する必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>担当係長の意見と同様で、令和4年4月に行われた代表者会議において1養豚業者より廃業の表明がなされたため、悪臭防止法に基づく臭気測定の実施は見送りとなった。今後は、廃業にむけての確認と情報収集に務め、臭気の改善の動向と今後の取組について検討する必要がある。収集した情報については、精査の上で関係自治区との情報共有が必要な対応と考える。</p>
---	---



事業	環境衛生事業	細事業	公衆衛生事業	実施計画事業	食品衛生協会補助事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (230)		個別計画名	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	
款	4	施策	5 環境衛生の推進	食品衛生協会補助金 200
項	1	施策展開	④公衆衛生を推進する	
目	3	後期基本計画	60 P	
決算	88	過疎計画	<input type="checkbox"/>	
		総合戦略	<input type="checkbox"/>	
		コロナ充当	<input type="checkbox"/>	

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 豊後大野市食品衛生協会は食品関係業者により組織された団体として昭和38年に発足して以来、食品に起因する伝染病、食中毒の発生防止、食品の品質と食品衛生の向上に努めている。</p> <p>食中毒などの食品事故の防止のために巡回指導、食品衛生安全情報普及事業、衛生教育事業等さまざまな活動を行っている協会の安定化を図り、食品に起因する衛生上の危害を防止し、公衆衛生の向上及び推進に寄与することを目的として補助金を交付する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 豊後大野市食品衛生協会の令和4年度の事業に対し、補助金の交付を行う。</p>	R3	豊後大野市食品衛生協会の令和3年度の事業に対し、補助金の交付を行った。	R3計画 200				200
			当初予算 200				200
			決算額 200				200
	R4	豊後大野市食品衛生協会の令和4年度の事業に対し、補助金の交付を行った。	R4計画 200				200
			当初予算 200				200
			決算額 200				200
	R5		R5計画 200				200
			当初予算 200				200
			決算額				
	R6		R6計画 200				200
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 200				200
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,000				1,000
			当初予算 600				600
			決算額 400				400

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
D 成果指標	1 食中毒の発生抑制	<input type="checkbox"/> 総合計画			件	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	16点	3点	16点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
コロナ渦の中で食品衛生協会に加盟する飲食業等の事業所は大変苦勞をされてきました。食中毒を起こさないよう、さまざま取組について今後も支援していく必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
係長意見と同様で、食中毒を起こさせないため、さまざまな取組を今後とも支援していく。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	環境衛生事業	細事業	飲料用水施設改善補助事業	実施計画事業	飲料用水施設改善補助事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (189)										
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち					個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	4	施策	2 上下水道の整備						飲料用水施設開演補助金	13,300
項	1	施策展開	① 上下水道等を整備する							
目	3	後期基本計画	54 P	<input checked="" type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略		<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	88									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 市民の健康増進と公衆衛生の確保及び生活環境の改善を図るため、市内の公営水道区域外の飲料用水施設の新設及び修繕に係る費用の一部を助成する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・飲料用水施設改善補助金の交付(8件)</p>	R3	・飲料用水施設改善補助金の交付(8件)	R3計画 13,330				13,330	
			当初予算 13,330				13,330	
			決算額 3,774				3,774	
	R4	・飲料用水施設改善補助金の交付(9件)	R4計画 13,330				13,330	
			当初予算 13,300				13,300	
			決算額 4,372				4,372	
	R5		R5計画 13,330				13,330	
			当初予算 13,960				13,960	
			決算額					
	R6		R6計画 13,330				13,330	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 13,330				13,330	
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額 66,650				66,650	
			当初予算 40,590				40,590	
			決算額 8,146				8,146	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業実施数 過去の実績を踏まえ下限を設定する。	<input type="checkbox"/> 総合戦略	19	件	目標値	10	10	10	10	10
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	8	9			
		% 達成率			80	90				
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略		%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	16点	4点	16点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>補助件数については地元からの申請に基づくため、年度にばらつきが見られる。また、R4年度の市補助要綱では1/3補助(対象事業費400万円)であったが、令和5年度からは1/2補助(対象事業500万円)への要綱改正を行った。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>地元申請に基づくため、年度間で件数・金額にばらつきが見られる。年度末に要綱改正し、令和5年度からは1/2補助(対象事業費500万円)とすることができた。問い合わせも多く、希望する需要が多いのではないかと考えられる。また、年度末の相談については令和5年度の実施の奨励等も行ったことから、より希望件数増となる可能性が見込まれる。状況によっては、当初予算額以上の要望となる可能性もある。</p>
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	環境衛生事業	細事業	環境衛生事務費	実施計画事業	自動車騒音監視業務委託事業	終了年度	なし
----	--------	-----	---------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (403)

会計	一般	政策	VI 豊かな自然を未来に残し伝えるまち	個別計画名	第3次豊後大野市環境基本計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	4	施策	2 環境保全の推進				
項	1	施策展開	①環境保全対策を推進する				
目	3	後期基本計画 100 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>					
決算	88			期間	年度 ~ 年度	自動車騒音監視業務委託料	2,629

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 豊後大野市内における自動車騒音の状況について、騒音規制法第18条第1項の規定に基づき、環境省が配布する面的評価支援システムを使用して常時監視を実施し、対象路線の面的評価を行い環境基準の達成の把握、環境省への報告資料を作成し、総合的な道路環境の各種施策への反映、公表することを目的とする。(権限移譲により平成24年度から当該事業を市が行うこととなっている。)</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・自動車騒音監視業務委託 (16区間)</p>	R3	・自動車騒音監視業務委託 (7路線12区間、実測4地点)	R3計画 2,530				2,530	
				当初予算 2,530				2,530
				決算額 2,618				2,618
	R4	・自動車騒音監視業務委託 (11路線、16区間)	R4計画 2,500				2,500	
				当初予算 2,629				2,629
				決算額 2,255				2,255
	R5		R5計画 2,500				2,500	
				当初予算 2,310				2,310
				決算額				
	R6		R6計画 2,200				2,200	
				当初予算				
				決算額				
	R7		R7計画 2,200				2,200	
				当初予算				
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 11,930				11,930	
			当初予算 7,469				7,469	
			決算額 4,873				4,873	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 対象路線数 実施計画により5年ローテーションで対象路線を調査している	<input type="checkbox"/> 総合戦略	4	路線	目標値	7	11	5	5	4
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7	11			
		% 達成率			100	100				
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	11点	11点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 法令に基づくものであり必須の事業となっている。今後も道路交通センサスの状況による計画を見直ししながら、事業については入札を行い事業費の削減に務めていく必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 法令に基づくものであり必須事業である。道路交通センサスの状況による計画を見直し、入札を行い事業費の削減に務めていく。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	環境衛生事業	細事業	小規模給水施設整備事業	実施計画事業	小規模給水施設整備事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (189)								
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	
款	4	施策	2 上下水道の整備		期間	年度	年度	
項	1	施策展開	①上水道等を整備する		期間	年度	年度	
目	3	後期基本計画	54 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	88							

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 平成30年度に小規模給水施設水源確保等支援事業(大分県補助)で整備した三重町松谷地区・小切畑地区の給水施設の修繕を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・三重町松谷地区の給水施設の補修(1箇所)</p>	R3	・三重町松谷地区の給水施設の補修(1箇所)	R3計画 200				200
			当初予算 200				200
			決算額 158				158
	R4	・小規模集落等水源整備事業(1箇所) 大野町中原区矢射渡水道組合 ・三重町松谷地区の給水施設の補修(1箇所)	R4計画 200				200
			当初予算 200				200
			決算額 12,265	6,000		60	6,205
	R5		R5計画 200				200
			当初予算 24,147	11,973		1,196	10,978
			決算額				
	R6		R6計画 200				200
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 200				200
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,000				1,000
			当初予算 24,547	11,973		1,196	11,378
			決算額 12,423	6,000		60	6,363

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	13点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>県の小規模集落に対する新たな補助事業(R4~R6)を活用して施設整備を図る。また、平成30年度に小規模給水施設水源確保等支援事業(大分県補助)で整備した三重町松谷地区・小切畑地区の給水施設の修繕を行っているが地元移管を含めて検討する必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>今後とも事業費が1,000万円前後のもので、県事業に該当する場合には、積極的な県の小規模集落に対する新たな補助事業(R4~R6)を活用して施設整備を図る。令和4年度事業については、年度末の事業完成をみたが、他の業務を含めた計画的なスケジューリングを心掛けないと地元で迷惑をかける場合が懸念される。また、平成30年度に小規模給水施設水源確保等支援事業(大分県補助)で整備した三重町松谷地区・小切畑地区の給水施設の修繕を行っているが地元移管を含めて今後検討する必要がある。</p>
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	葬斎場事業	細事業	葬斎場管理運営事業	実施計画事業	葬斎場管理運営事業	終了年度	なし
----	-------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (229)

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	4	施策	5 環境衛生の推進		期間	年度	～	年度	葬斎場運転管理業務委託料	24,830
項	1	施策展開	④公衆衛生を推進する		期間	年度	～	年度	修繕料	7,866
目	4	後期基本計画	60 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当		光熱水費	8,526
決算	89							燃料費	4,655	

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 人生の終焉となる葬斎場について、墓地・埋葬に関する法律及び条例、規則に則り、維持管理を適正に行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・葬斎場運転管理の業務委託 ・警備、浄化槽、エレベータ、火葬炉等の保守管理、点検業務の委託 ・燃料、光熱水費の支払、消耗品の購入及び修繕発生時の対応 ・臼杵市(野津町分)からの事務委託による精算業務</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>葬斎場運転管理の業務委託</li> <li>警備、浄化槽、エレベータ、火葬炉等の保守管理、点検業務の委託</li> <li>燃料、光熱水費の支払、消耗品の購入及び修繕発生時の対応</li> <li>臼杵市(野津町分)からの事務委託による精算業務</li> </ul>	R3計画 56,928			17,025	39,903
			当初予算 56,928			17,025	39,903
			決算額 48,252			16,210	32,042
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>葬斎場運転管理の業務委託</li> <li>警備、浄化槽、エレベータ、火葬炉等の保守管理、点検業務の委託</li> <li>燃料、光熱水費の支払、消耗品の購入及び修繕発生時の対応</li> <li>臼杵市(野津町分)からの事務委託による精算業務</li> </ul>	R4計画 56,928			17,025	39,903
			当初予算 56,234			18,379	37,855
			決算額 57,765			18,193	39,572
	R5		R5計画 56,928			17,025	39,903
			当初予算 56,379			17,312	39,067
			決算額				
	R6		R6計画 56,928			17,025	39,903
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 56,928			17,025	39,903
			当初予算				
		決算額					
		計画額 284,640			85,125	199,515	
		当初予算 169,541			52,716	116,825	
		決算額 106,017			34,403	71,614	
		R3 ~ R7 合計					

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 火葬業務件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	861	件	目標値	820	820	820	820	820
					実績値	821	938			
					% 達成率	100.1	114.4			
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	13点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点
		13点	13点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>法令等により市が実施主体であることが定められており、必須の事業となっている。施設については建設から8年(平成27年3月20日竣工)を経過しており、今後も計画的な補修修繕及び維持管理に努め、委託業者と連携を密にして運営を行う必要がある。世界的な半導体不足による修繕の部品調達などが課題となっているが、その時々々の状況で対応を行っていく。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>法令等により市が実施主体であることが定められており、必須の事業である。施設については、今後も計画的な補修修繕及び維持管理に努め、委託業者と連携を密にして運営を行う。新型コロナウイルス感染者火葬対応や世界的半導体不足による修繕部品調達などが課題で、その内容によって対応を行う。</p> <p>残骨灰処理のうち有価物の対応については、今後とも継続的な課題と捉えている。</p>
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	清掃総務事業	細事業	一般廃棄物適正処理事業	実施計画事業	一般廃棄物適正処理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (221)										
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	豊後大野市一般廃棄物処理基本計画 期間 H24年度 ~ R8年度 令和3年度一般廃棄物処理計画【実施計画】 期間 R3年度 ~ R3年度	令和4年度 主な歳出名称		当初予算額		
款	4	施策	5 環境衛生の推進			消耗品費	30			
項	2	施策展開	①廃棄物対策を充実する			通信運搬費	6			
目	1	後期基本計画	60 P			<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	91									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び本市の条例、規則に基づき一般廃棄物処理業の許可更新事務を行う。 また、市道沿いの小動物の死骸処理を行う。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・一般廃棄物処理業の許可更新事務 ・小動物の死骸処理	R3	・一般廃棄物処理業の許可更新事務 8件 ・小動物の死骸処理 27件	R3計画 36 当初予算 36 決算額 17			16	20	
	R4	・一般廃棄物処理業の申請事務 3件 更新2件(許可2件) 新規1件(不許可1件) ・小動物の死骸処理 30件	R4計画 36 当初予算 36 決算額 11			4	32	
	R5		R5計画 36 当初予算 67 決算額			16	20	
	R6		R6計画 36 当初予算 決算額			4	32	
	R7		R7計画 36 当初予算 決算額			16	20	
	R3 ~ R7 合計			計画額 180 当初予算 139 決算額 28			56	124
							36	103
							22	6

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 一般廃棄物処理業の許可更新件数 現在許可されている業者数(2年更新)(新規申請の審査を含む)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	3	件	目標値	8	2	8	2	8
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	8	3			
		% 達成率			100	150				
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	13点	3点	13点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</b> 一般廃棄物処理業の許可更新事務については、関係法令に基づくものであり、粛々と進める必要がある。今後の課題としては令和9年度の新環境センター稼働に向けて、令和8年度で本市の一般廃棄物処理基本計画が終了するため、新たに策定が必要となる。 小動物の死骸処理については、土日祝日、時間外も環境衛生課係内職員で対応しており、他市ではシルバー人材センター等に委託しているところもあるが、本市では職員で対応している状況である。	<b>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</b> 一般廃棄物処理業許可更新事務については、関係法令に基づくもので、粛々と進める必要がある。今後の課題としては令和9年度の新環境センター稼働に向けて、令和8年度で本市の一般廃棄物処理基本計画が終了するため、新たに策定が必要となる。 小動物死骸処理の土日祝日時間外対応は、他市では委託しているところもあるが、本市では職員で対応しており、今後の検討課題と考えられる。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	清掃総務事業	細事業	塵芥処理事業	実施計画事業	段ボールコンポスト支給事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (223)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市一般廃棄物処理基本計画 期間 H24年度 ~ R8年度 令和3年度一般廃棄物処理計画【実施計画】 期間 R3年度 ~ R3年度	令和4年度 主な歳出名称 消耗品費 484	当初予算額 484
款	4	施策 5 環境衛生の推進				
項	2	施策展開 ②循環型社会を形成する				
目	1	後期基本計画 60 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	91					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 家庭から排出される生ごみの減量の推進及びリサイクルに関する市民の意識の高揚を図るため。  <令和4年度の取組内容(計画)> 段ボールコンポストセットの給付(200基)し、モニタリング調査を行う。	R3	段ボールコンポストセットについては100セットを59人へ給付した。モニタリング調査のアンケート結果については59名中53名の回答があり、取組が簡単だったが約6割、今後も取組たいが約5割であった。「混ぜるのが大変」、「夏場の臭いや虫の発生」などの気になる点もあれば、「いい堆肥ができた」、「ごみの減量化ができた」などの意見があった。	R3計画 400				400
			当初予算 400				400
			決算額 198				198
	R4	段ボールコンポストセットについては200セットを63人へ給付した。モニタリング調査のアンケート結果については63名中56名の回答があり、今後も取組たいが約6割であった。	R4計画 400				400
			当初予算 484				484
			決算額 401				401
	R5		R5計画 400				400
			当初予算 572				572
			決算額				
	R6		R6計画 400				400
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 400				400	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 2,000				2,000
			当初予算 1,456				1,456
			決算額 599				599

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	目標値					
						実績値					
						達成率					
						目標値					
D 成果指標	1) 生ごみの排出量(家庭系ごみ)	豊後大野市一般廃棄物処理基本計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	7,818	ト	目標値	7,277	7,178	7,080	6,981	6,883
						実績値	7,725	7,570			
						達成率	106.2	105.5			
						目標値					
D 成果指標	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	目標値					
						実績値					
						達成率					
						目標値					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点	
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	14点	—点	14点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	／25点	3点	／25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</b> 段ボールコンポストの給付については、これまで畑で使用していたコンポスターに変わり新たに令和3年度から取組を開始したものである。(R3:100セット、R4:200セット) R4年度のアンケート結果からは、約6割が今後も取組たいとの結果であった。今後も継続的に事業を続ける必要がある。 また成果指標については前年度より減となっているものの目標値に到達しなかった。値には段ボールコンポストが影響する燃えるごみの他、不燃物、粗大ごみ、資源ゴミ、プラスチックも含まれており、今後もごみの減量に向け啓発を行っていく必要がある。	<b>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</b> 段ボールコンポスト給付については、新たに令和3年度から取組を開始したものである。アンケート結果からは、ごみの減量化に対する意識付けという目標は達したと考える。 本給付事業については、令和3年度からの継続事業ではあるが、令和4年度は給付数増(200セット、R3:100セット)で市民のごみ減量化に対する意識高揚を継続して図る必要がある。 成果指標については、目標値に到達しなかった。しかし、値には段ボールコンポストが影響する燃えるごみ以外のごみも含まれており、今後ともごみの減量啓発を行っていくことが必要。
---	---

事業	清掃総務事業	細事業	塵芥処理事業	実施計画事業	不法投棄対策事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (402)		会計 一般	政策 VI 豊かな自然を未来に残し伝えるまち	個別計画名 豊後大野市一般廃棄物処理基本計画 期間 H24年度～R8年度 第3次豊後大野市環境基本計画 期間 R2年度～R6年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	4	施策 2 環境保全の推進			消耗品費	149
項	2	施策展開 ①環境保全対策を推進する			手数料	185
目	1	後期基本計画 100 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	91					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 不法投棄の撲滅に向けた啓発と発生時の処理を関係機関と連携して行う。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・不法投棄防止対策等支援事業(看板20本作成) ・不法投棄された廃棄物の処理	R3	・不法投棄防止対策等支援事業(看板20本作成) ・不法投棄された廃棄物の処理【家電リサイクル分(テレビ、冷蔵庫、洗濯機)、タイヤほか】	R3計画 334	49			285	
			当初予算	334	49			285
			決算額	232	49			183
	R4	・不法投棄防止対策等支援事業(看板20本作成) ・不法投棄された廃棄物の処理【家電リサイクル分(テレビ、冷蔵庫、洗濯機)、タイヤほか】	R4計画 334	49			285	
			当初予算	334	49			285
			決算額	335	49			286
	R5		R5計画 334	49			285	
			当初予算	309	61			248
			決算額					
	R6		R6計画 334	49			285	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 334	49			285	
			当初予算					
		決算額						
R3～R7合計			計画額	1,670	245		1,425	
			当初予算	977	159		818	
			決算額	567	98		469	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値					
						%	達成率				
						目標値					
D 成果指標	1 不法投棄発生件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	14	件		目標値	13	12	11	10	9
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	17	26			
		<input type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率	130.8	216.7		
						目標値					
2-	<input type="checkbox"/> 総合計画					実績値					
	<input type="checkbox"/> 総合戦略					%	達成率				
	<input type="checkbox"/> 個別計画					目標値					
						実績値					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	11点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	／25点	2点
			11点
			／25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 不法投棄防止に対する啓発及び発見後に処理等の取組を継続して行っているが、実際の不法投棄発生件数は本年度は増加する結果となった。 発見された不法投棄は本年度より前から発生したものも多く、不法投棄撲滅の取組は地道な啓発活動が必要である。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 不法投棄防止に対する啓発及び発見後に処理等の取組を継続して行っている。しかしながら、実際の不法投棄発生件数は増加する結果となった。 不法投棄撲滅の取組は、地道な啓発活動が必要である。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	生活排水処理事業	細事業	浄化槽設置整備事業	実施計画事業	浄化槽設置整備事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (191)														
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち					個別計画名 生活排水処理施設整備構想 期間 H28 年度 ~ R8 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称 合併処理浄化槽設置整備事業費補助金 224,220	当初予算額				
款	4	施策	2 上下水道の整備											
項	2	施策展開	②生活排水処理を推進する											
目	2	後期基本計画	54	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>				総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	92													

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 単独浄化槽やくみ取り便槽を合併処理浄化槽へ転換することにより、河川や水路などの効用水域の水質保全、公共衛生が向上し、住民の生活環境の向上が図られる。  <令和4年度の取組内容(計画)> 単独浄化槽、くみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換補助事業 目標基数250基	R3	単独浄化槽、くみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換補助事業 基数220基	R3計画 222,670	154,502			68,168	
			当初予算 222,670	154,502			68,168	
			決算額 190,326	141,116			49,210	
	R4	単独浄化槽、くみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換補助事業 基数211基	R4計画 222,670	154,502			68,168	
			当初予算 224,220	155,665			68,555	
			決算額 193,978	137,907			56,071	
	R5		R5計画 222,670	154,502			68,168	
			当初予算 234,720	158,330			76,390	
			決算額					
	R6		R6計画 222,670	154,502			68,168	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 222,670	154,502			68,168	
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額 1,113,350	772,510			340,840	
			当初予算 681,610	468,497			213,113	
			決算額 384,304	279,023			105,281	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 1 合併処理浄化槽転換基数	年度末転換完了基数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	228	基	目標値	200	200	200	200	200
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	220	211			
		%			達成率	110	105.5			
D 1 汚水処理人口普及率	汚水処理人口/住民基本台帳人口×100	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	64.5	%	目標値	68.4	70.3	72.3	74.3	76.4
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	66.6	70			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率	97.4	99.6			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	4点
			24点
			25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</b> 前年度より設置基数は減少したものの、設置基数211基で、生活排水処理処理構想で目標としている年間200基は超えている。 浄化槽の台帳整理分が整備されたことなどで、生活排水処理処理構想で目標としている汚水処理人口普及率の年度目標とはほぼ同じ69.98%となっているが、全国平均、県平均よりも低いことから今後も予算限度いっぱいでの250基設置に向けて取組みを進めていく必要がある。 また、設置基数が減少してきていることから、制度の周知を行ない、現状の事業推進を更に進めると共に、汚水処理人口普及率上昇に向けて新たな推進策等を検討する必要がある。	<b>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</b> 「豊後大野市生活排水処理施設整備構想」では令和7年度末の生活排水処理率76.4%を目標としている。 令和4年度は合併処理浄化槽への転換が計画の84.4%と高い水準であった。 しかし、年度末の生活排水処理率は69.98%であり目標達成には年度設置予定基数の250基をクリアしていかなければならない。 令和4年度より汲み取り槽からの転換についても配管、撤去に係る補助要件が追加となった。 啓発活動を行い事業の推進に努めたい。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	一般廃棄物処理事業	細事業	一般廃棄物処理事業	実施計画事業	一般廃棄物処理事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (219)										
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	豊後大野市一般廃棄物処理基本計画 期間 H24 年度 ~ R8 年度 令和3年度一般廃棄物処理計画 期間 R3 年度 ~ R3 年度	令和4年度 主な歳出名称		当初予算額		
款	4	施策	5 環境衛生の推進			ごみ収集・処分業務委託料	234,039			
項	2	施策展開	①廃棄物対策を充実する			清掃センター施設管理委託料	119,749			
目	3	後期基本計画	60 P			<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	修繕料	35,994
決算	93					光熱水費	56,276			

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 一般廃棄物処理事業(ごみ収集・処分業務)  <令和4年度の取組内容(計画)> ・計画区域内における一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないうちに収集、運搬、処分する。 ・市民の健康で文化的な生活と環境保全の確保と廃棄物の減量及び資源の循環的な利用による環境負荷の低減を図る。	R3	・計画区域内における一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないうちに収集、運搬、処分をおこなった。 ・市民の健康で文化的な生活と環境保全の確保と廃棄物の減量及び資源の循環的な利用による環境負荷の低減が図られた。	R3計画 511,215			154,742	356,473
			当初予算 511,215			154,742	356,473
			決算額 515,061			145,613	369,448
	R4	・計画区域内における一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないうちに収集、運搬、処分をおこなった。 ・市民の健康で文化的な生活と環境保全の確保と廃棄物の減量及び資源の循環的な利用による環境負荷の低減が図られた。	R4計画 511,215			62,400	511,215
			当初予算 595,921			186,613	346,908
			決算額 681,773			195,697	486,076
	R5		R5計画 543,092			177,971	365,121
			当初予算 543,092			177,971	365,121
			決算額				
	R6		R6計画 511,215				511,215
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 511,215				511,215	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 2,587,952			332,713	2,255,239
			当初予算 1,650,228		62,400	519,326	1,068,502
			決算額 1,196,834			341,310	855,524

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略								
		<input type="checkbox"/> 個別計画								
		%								
C 活動指標	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略								
		<input type="checkbox"/> 個別計画								
		%								
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画								
		<input type="checkbox"/> 総合戦略								
		<input type="checkbox"/> 個別計画								
D 成果指標	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画								
		<input type="checkbox"/> 総合戦略								
		<input type="checkbox"/> 個別計画								

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	9点	9点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	／25点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
課題 焼却炉の老朽化に伴い計画的な修繕を行っているが、その分片炉での稼働日数が多いためごみの搬入量においっかず、施設でストックしている状況にある。また台風14号の影響により草木の搬入も増加した。 改善策 ごみの分け方・出し方保存版等を活用して分別強化を促進するとともに、生ごみの水切り等と呼びかけた。搬入者や電話対応においても分別の徹底等お伝えした。使用済小型家電の減量を行うため宅配収集業者の活用を住民に周知した。	新型コロナウイルス感染拡大防止により外出自粛となったため、家庭での可燃ごみの増加と、家の片付け等による不燃ごみ粗大ごみが増加した。給付金の支給による影響なのか家電の買換による使用済小型家電の持込みも増加している状況である。 コロナウイルスに関連しての一時的な増加と思われるが、ごみの分け方・出し方保存版等を活用して市民便利講座の開催等で分別強化を促進するとともに、生ごみの水切り等と呼びかけた。また、使用済小型家電の減量を行うため宅配収集業者の活用を住民に周知を図った。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	一般廃棄物処理事業	細事業	一般廃棄物処理施設整備事業	実施計画事業	一般廃棄物処理施設整備事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市一般廃棄物処理基本計画 期間 H24 年度 ~ R8 年度 令和3年度一般廃棄物処理計画【実施計画】 期間 R3 年度 ~ R3 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	4	施策	5 環境衛生の推進		散気管交換工事請負費	24,200
項	2	施策展開	①廃棄物対策を充実する			
目	3	後期基本計画	60 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	93					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 一般廃棄物処理事業(ごみ収集・処分業務)</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ごみ処理施設の信頼性及び安全性を維持するために設備・機器の適切な保全及び管理を行い、ごみ処理に支障をきたすことなく安定的かつ継続的な業務を行う。</p>	R3	ごみ処理施設の信頼性及び安全性を維持するために設備・機器の適切な保全・管理及び修繕を行い、ごみ処理に支障をきたすことなく安定的かつ継続的な業務を行った。	R3計画 57,915			7,800	50,115
			当初予算 57,915			7,800	50,115
			決算額 54,780				54,780
	R4	ごみ処理施設の信頼性及び安全性を維持するために設備・機器の適切な保全・管理及び修繕を行い、ごみ処理に支障をきたすことなく安定的かつ継続的な業務を行った。	R4計画 24,200			23,214	986
			当初予算 24,200			23,214	986
			決算額 24,178				24,178
	R5		R5計画 31,900			24,237	7,663
			当初予算 31,900			24,237	7,663
			決算額				
	R6		R6計画 24,200			23,214	986
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 24,200			23,214	986
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 162,415			101,679	60,736
			当初予算 114,015			55,251	58,764
			決算額 78,958				78,958

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
		% 達成率									
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値					
		% 達成率									
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値						
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
		% 達成率									
	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
		% 達成率									

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	4点	11点 /25点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
意見 焼却炉下部に設置している散気管が摩耗により減肉しており機能維持と安定稼働のため交換工事が必要となった。 R9年度の新環境センター稼働開始までに、今後も交換や修繕を必要とする箇所はさらに増えると思われる。 課題 可燃処理施設は20年を経過しており、経年劣化による修繕が目立っている。また、機械設備も同様に修繕が必要となっているが、製造中止の物が多く、新環境センター稼働開始までに高額な支出が予想される。	可燃処理施設は20年を経過しており、R9年度の新環境センター稼働開始までには機械設備の部品交換や修繕を必要とする箇所はさらに増える可能性があり、高額な支出が予想される。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	一般廃棄物処理事業	細事業	一般廃棄物処理事業	実施計画事業	一般廃棄物処理事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (227)								
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	豊後大野市一般廃棄物処理基本計画	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	4	施策	5 環境衛生の推進		期間	H24年度 ~ R8年度	包括運転管理委託料	227,331
項	2	施策展開	③汚水処理対策を充実する		令和3年度 一般廃棄物処理計画【実施計画】		白鹿浄化センター施設管理委託料	6,045
目	4		後期基本計画 60 P		期間	R3年度 ~ R3年度	白鹿浄化センター設備維持補修工事請負費	63,800
決算	94		<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 一般廃棄物処理事業(ごみ収集・処分業務)</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・収集、搬入されたし尿及び浄化槽汚泥を、微生物処理や膜分離装置等で適正に処理を行う。 ・処理過程で発生する脱水汚泥は発酵後に袋詰めを行い堆肥化(農地還元)を行う。 ・施設運転管理業務を民間(JKO)に委託。</p>	R3	・収集、搬入されたし尿及び浄化槽汚泥を、微生物処理や膜分離装置等で適正に処理を行った。 ・処理過程で発生する脱水汚泥は発酵後に袋詰めを行い堆肥化(農地還元)を行った。 ・施設運転管理業務を民間(西日本JKO)に委託。	R3計画 234,564			26,384	208,180
			当初予算 234,564			26,384	208,180
			決算額 233,116			26,028	207,088
	R4	・収集、搬入されたし尿及び浄化槽汚泥を、微生物処理や膜分離装置等で適正に処理を行った。 ・処理過程で発生する脱水汚泥は発酵後に袋詰めを行い堆肥化(農地還元)を行い市民へ配布した。 ・施設運転管理業務を民間(JKO)に委託し円滑に事業がなされた。	R4計画 301,025			95,782	205,243
			当初予算 301,025			85,782	215,243
			決算額 296,517			35,586	260,931
	R5		R5計画 347,393		80,400	59,243	207,750
			当初予算 347,393		80,400	59,243	207,750
			決算額				
	R6		R6計画 301,025			85,782	215,243
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 301,025			85,782	215,243
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,485,032	80,400	352,973	1,051,659	
			当初予算 882,982	80,400	171,409	631,173	
			決算額 529,633		61,614	468,019	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
											目標値
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	目標値					
						実績値					
						達成率					
						目標値					
D 成果指標	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	目標値					
						実績値					
						達成率					
						目標値					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	11点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	12点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
<p>課題</p> <p>施設や機器の老朽化が進んでいたため令和2年度までに大規模な改修を実施し、それ以外の修繕は更新時期に合わせて行うこととしていた。また、簡易な修繕は運転時に確認されるため施設運転管理業務委託の契約範囲内で行っている。</p> <p>更新時期を向かえる、中央制御室電子機器配電盤や汚泥処理槽などは高額な更新費用が必要で、時期が重なるため計画的な予算の確保が必要となる。</p> <p>改善策</p> <p>施設運転管理業務委託先の契約期間が3年であることから、現時点での長期計画は難しい。また、他社との契約となった場合、同様に更新工事に係る長期設計が難しい為、随意契約を行うか、契約期間を最低5年に延長し長期の包括運転管理をする必要がある。</p>	<p>令和2年度までに大規模な改修をおこない、それ以外の修繕は更新時期に合わせて行うこととしており、簡易な修繕は運転時に確認されるため施設運転管理業務委託の契約範囲内で行っている。</p> <p>また、更新時期を向かえる中央制御室電子機器配電盤や汚泥処理槽などは高額な更新費用が必要で、更新時期が重なるため予算の確保が必要となることから今後の検討課題である。</p> <p>施設運転管理業務委託先の契約期間が3年であり、他社との契約となった場合に更新工事に係る長期設計は難しい為、随意契約を行うか、契約期間を最低5年に延長し長期の更新計画を設計する必要がある。</p>

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	雇用団体等助成事業	細事業	雇用労政事業	実施計画事業	豊後大野地区労働者福祉協議会補助事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	--------	--------	--------------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	5	施策	6 雇用環境の向上		期間	年度 ~ 年度		
項	1	施策展開	③勤労者福祉を向上する		期間	年度 ~ 年度		
目	1	後期基本計画	34 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	95							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 豊後大野地区労働者福祉協議会(以下「労働者福祉協議会」という。)が労働者福祉の向上を図ることを目的に行う事業に要する経費について、補助金を交付する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 労働者福祉協議会が主催又は協賛する労働者福祉に関する活動やボランティア活動に対して予算の範囲内で補助金を支出する。</p>	R3	労働者福祉協議会が主催又は協賛する労働者福祉に関する活動やボランティア活動に対して予算の範囲内で補助金を支出した。	R3計画 135				135
			当初予算 135				135
			決算額 135				135
	R4	労働者福祉協議会が主催又は協賛する労働者福祉に関する活動やボランティア活動に対して予算の範囲内で補助金を支出した。	R4計画 135				135
			当初予算 135				135
			決算額 135				135
	R5		R5計画 135				135
			当初予算 135				135
			決算額				
	R6		R6計画 135				135
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 135				135
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 675				675
			当初予算 405				405
			決算額 270				270

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 労働者福祉活動の回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	5	5	5	5	5
					実績値	1	2			
					達成率	20	40			
					達成率					
D 成果指標	1 労働者福祉活動の参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	390	390	390	390	390
					実績値	350	550			
					達成率	89.7	141			
					達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	2点	12点	2点	12点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	2点		2点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	2点		2点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		2点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
福祉研修会やスポーツ大会を実施することで労働者福祉の向上を図れたが、ボランティア活動等は未実施であったため、活動指標を満たすようにする必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
労働者福祉の向上や地域貢献を図るよう、引き続き活動を進めていただく必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	雇用団体等助成事業	細事業	雇用労政事業	実施計画事業	豊肥地域シルバー人材センター補助事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	--------	--------	--------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (111)				個別計画名	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち		期間	年度 ~ 年度	豊肥地域シルバー人材センター補助金	12,000
款	5	施策	6 雇用環境の向上		期間	年度 ~ 年度		
項	1	施策展開	③勤労者福祉を向上する					
目	1		後期基本計画 34 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	95							

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 公益社団法人豊肥地域シルバー人材センター(以下「シルバー人材センター」という。)が高年齢者の福祉の増進に資することを目的に行う事業(高年齢者就業機会確保事業や雇用開発支援事業)に要する経費について、補助金を交付する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 竹田市から均等割及び高齢者人口割の負担金を徴したうえで、シルバー人材センターへ補助金を支出する。なお、補助金の額は、当市が支出する額(竹田市分含む)と同額を国も補助している。</p>	R3	年度末会員数421人(うち豊後大野市297人)で、請負事業の受注件数は3,789件、受注金額は212,166,226円。就業延人数は32,905人。	R3計画 12,000			5,399	6,601	
				当初予算 12,000			5,399	6,601
				決算額 12,000			5,399	6,601
	R4	年度末会員数423人(うち豊後大野市299人)で、請負事業の受注件数は3,617件、受注金額は202,609,164円。就業延人数は29,729人。	R4計画 12,000			5,399	6,601	
				当初予算 12,000			5,379	6,621
				決算額 12,000			5,379	6,621
	R5		R5計画 12,000			5,379	6,621	
				当初予算 12,000			5,379	6,621
				決算額				
	R6		R6計画 12,000			5,379	6,621	
				当初予算				
				決算額				
	R7		R7計画 12,000			5,379	6,621	
				当初予算				
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 60,000			26,935	33,065	
			当初予算 36,000			16,157	19,843	
			決算額 24,000			10,778	13,222	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 受注件数	豊肥地区シルバー人材センターが受注した請負事業件数	3,698	件	目標値	3,700	3,710	3,720	3,730	3,740
					実績値	3,789	3,617			
					% 達成率	102.4	97.5			
					% 達成率					
D 成果指標	1 シルバー人材センターの会員数	シルバー人材センターに登録している高齢者数	458	人	目標値	450	450	450	450	450
					実績値	421	423			
					% 達成率	93.6	94			
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	16点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			16点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊肥地域の過疎高齢化や改正高年齢雇用安定法(事業主に対して65歳までの雇用確保と70歳までの就業確保の努力義務)施行の影響による会員確保の課題(全国的に減少傾向)や、会員の平均年齢の上昇があるなか、地域への質で低廉な労働力の供給あるいは高齢者の生きがいの場の確保に貢献している。なお、当該補助金は、高齢者の就業に関する普及宣伝や安全就業対策、会員の技能習得、会員の自主活動支援等、会員の労働で得る収入では賄いきれない不採算な部分を、本市と竹田市及び国(厚生労働省)で補助するものであるため、今後も必要と考える。	シルバー人材センターは、高齢者の能力の活用・生きがいがづくりの場として必要な組織であり、引き続き補助を行う必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	農業委員会事業	細事業	農業委員会事業	実施計画事業	農業委員会事業	終了年度	なし
----	---------	-----	---------	--------	---------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	6	施策	1 農業の振興		期間	年度 ~ 年度	農地利用最適化推進委員報酬	10,440	
項	1	施策展開	⑤農地利用の最適化を推進する				農業委員会委員報酬	5,352	
目	1	後期基本計画	24 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	費用弁償	1,512
決算	96							農地利用状況調査システム導入及びデータ作成業務委託料	1,206

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 農業委員・農地利用最適化推進委員の報酬、費用弁償等、農業委員会事業の事務管理費</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 農地法第3条許可(審査及び許可) 農地法第4条許可 農地法第5条許可 農地移動適正化あっせん(売買、貸借) 各種証明書の発行(買受適格証明、非農地証明、耕作証明等) 農地利用の最適化(担い手への集積・集約化・耕作放棄地の発生防止・解消・新規参入の促進) 農業委員会だよりの発行(年2回) 市及び県へ要望書の提出 農業者団体との意見交換会</p>	R3	権利移動:61件、転用:40件、利用権:104件	R3計画	20,707	4,272		16,435
			当初予算	20,707	4,272		16,435
			決算額	17,490	3,353	24	14,113
	R4	権利移動:53件、転用:41件、利用権:146件	R4計画	20,707	4,272		16,435
			当初予算	21,101	4,387		16,714
			決算額	18,658	3,674	24	14,960
	R5		R5計画	20,707	4,272		16,435
			当初予算	20,775	3,482	419	16,874
			決算額				
	R6		R6計画	20,707	4,272		16,435
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画	20,707	4,272		16,435
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	103,535	21,360		82,175
			当初予算	62,583	12,141	419	50,023
			決算額	36,148	7,027	48	29,073

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 農業者団体との意見交換会	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1		目標値	1	1			
					実績値	1	1			
						% 達成率	100	100		
	2 農業委員会だよりの発行	年2回	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2		目標値	2	2		
実績値						2	2			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 農業委員会総会の開催	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12		目標値	12	12			
					実績値	12	12			
						% 達成率	100	100		
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値				
実績値										
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		23点	22点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 主な支出は、農業委員・農地利用最適化推進委員の報酬、費用弁償である。農地利用の最適化を推進のため、農業委員、農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局が連携し、それぞれの使命を十分果たし取り組む必要がある。使命を果たすためには必要な事業である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 農業委員会は「農地利用の最適化」を最重要業務として活動してきた。農業委員、農地利用最適化推進委員の両委員が相互に連携し「農地利用の最適化」の成果を上げるには必要な業務である。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	農業委員会事業	細事業	機構集積支援事業	実施計画事業	機構集積支援事業	終了年度	なし
----	---------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ ( 38 )

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興		期間	年度 ~ 年度	備品購入費	427
項	1	施策展開	⑤農地利用の最適化を推進する		期間	年度 ~ 年度	消耗品費	426
目	1	後期基本計画	24 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				通信運搬費	230
決算	96						印刷製本費	8

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 機構集積支援事業 利用状況調査(農地パトロール)により、市内全域の農地の利用状況を調査し、遊休農地の所有者に対して利用意向調査を実施する。また、意向調査の結果により農地中間管理機構への通知及び公告・勧告等の手続きを行う。  <令和4年度の取組内容(計画)> 事前調査説明会 利用状況調査(農地パトロール) 市内全域の農地の利用状況を調査 遊休農地の所有者に利用意向調査を実施 意向調査の結果により農地中間管理機構への通知及び公告・勧告等の手続き実施	R3	調査面積: 6,080ha 遊休面積: 346.2ha 解消面積: 15.7ha	R3計画 572	572			
	R4	調査面積: 6,080ha 遊休面積: 365ha 解消面積: 24ha	当初予算 572	572			
			決算額 425	421			4
	R5		R4計画 500	500			
			当初予算 1,091	869			222
			決算額 528	412			116
	R6		R5計画 500	500			
			当初予算 637	637			
			決算額				
	R7		R6計画 500	500			
			当初予算				
			決算額				
			R7計画 500	500			
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 2,572	2,572			
			当初予算 2,300	2,078			222
			決算額 953	833			120

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略								
		<input type="checkbox"/> 個別計画								
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略								
		<input type="checkbox"/> 個別計画								
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画								
		<input type="checkbox"/> 総合戦略								
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画								
		<input type="checkbox"/> 総合計画								

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	4点
		17点	20点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 遊休農地発生抑制のため、農地の集積・集約、新規参入の促進について目標を設定し取り組む。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 農業者の高齢化・後継者不足により、中山間地域の耕作条件不利地域においては遊休農地は増加傾向にある。利用状況調査を通じて今後は守る農地の境目を見極める必要がある。
--	--

事業	農企企画事業	細事業	農業振興地域整備促進事業	実施計画事業	農業振興地域整備促進事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (37)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次豊後大野市農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興			農地情報データ更新委託料	490
項	1	施策展開	④持続的かつ安定的な農業経営の確立			農業振興地域整備促進協議会委員報酬	161
目	3		後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			費用弁償	30
決算	97					通信運搬費	18

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 総合的に農業の振興を図ることが必要であると認められる地域について、その地域の整備に関し必要な措置を講じ、農業の健全な発展を図るとともに、国土資源の合理的な利用に寄与すること。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・農業振興地域整備促進計画の作成及び変更に関する業務。 ・農業振興地域整備促進協議会の開催</p>	R3	農業振興地域整備促進協議会を7月・12月・3月に開催。(除外8筆8,323.33㎡、編入11筆4,438㎡、用途変更4筆486㎡、農地内移動9筆88,345㎡)	R3計画 737 当初予算 737 決算額 603				737	
	R4	農業振興地域整備促進協議会を7月・10月・12月・3月に開催。(除外7筆9,581㎡、編入29筆33,480㎡、用途変更6筆10,264㎡) 地図情報システムの農地情報更新。	R4計画 737 当初予算 706 決算額 615				737	
	R5		R5計画 737 当初予算 711 決算額				737	
	R6		R6計画 737 当初予算 決算額				737	
	R7		R7計画 737 当初予算 決算額				737	
	R3 ~ R7 合計			計画額 3,685 当初予算 2,154 決算額 1,218				3,685 2,154 1,218

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 農業振興地域整備促進協議会開催	<input type="checkbox"/> 総合戦略	3	回	目標値	4	4	4	4	4
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	3	4			
	2 協議会委員による現地調査	<input type="checkbox"/> 総合戦略	2	回	目標値	4	4	4	4	4
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	3	4			
D 成果指標	1 農用地区域の維持	<input type="checkbox"/> 総合計画	6,884	ha	目標値	6,884	6,884	6,884	6,884	6,884
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	6,884	6,887			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 農業振興地域整備促進計画の作成及び変更は市が行う事業であるため必要である。計画の変更(除外)には現地調査を行い、代替用地の有無や、計画の変更に伴い農用地区域内における総合的な利用に支障を及ぼす恐れがないか等の確認を行い、安易な農振農用地からの除外を防いでいる。 今後も、農業の健全な発展を図るために農業振興地域整備促進計画の作成及び変更により、優良農地の確保・保全に努めたい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市の業務として、今後も、農業の健全な発展を図るために農業振興地域整備促進計画の作成及び変更により、優良農地の確保・保全に努める。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	農企企画事業	細事業	農業団体等支援事業	実施計画事業	農林業振興公社運営補助事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-----------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (9)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次豊後大野市農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成				
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	97						

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 農地の保全や受託作業の受け皿、また新規就農者の育成の場である豊後大野市農林業振興公社の運営を補助する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 担い手不足、遊休農地や荒廃農地の増大、鳥獣害の増大、異常気象等農業を取り巻く環境の厳しい中、農地の保全・担い手補助・担い手の育成を念頭に事業を実施する農林業振興公社の支援を行う。</p>	R3	運営補助金の交付。	R3計画 37,240				37,240	
			当初予算	37,240				37,240
			決算額	37,240				37,240
	R4	運営補助金の交付。	R4計画 37,240				37,240	
			当初予算	37,240				37,240
			決算額	37,240				37,240
	R5		R5計画 37,240				37,240	
			当初予算	37,240				37,240
			決算額					
	R6		R6計画 37,240				37,240	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 37,240				37,240	
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額 186,200				186,200	
			当初予算 111,720				111,720	
			決算額 74,480				74,480	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 農林業振興公社の運営支援 公社運営を支援するために、年2回、推進会議を実施する。	<input type="checkbox"/> 総合戦略	37,240	回	目標値	2	2	2	2	2
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	2			
		% 達成率			50	100				
D 成果指標	1 農林業振興公社の安定運営の支援 公社運営補助金を交付して安定的な運営を支援することにより、受託事業を継続させ、市内の農業の維持に寄与する。	<input type="checkbox"/> 総合計画	37,240	千円	目標値	37,240	37,240	37,240	37,240	37,240
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	37,240	37,240			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100			
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

(対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>市農林業振興公社は、農作業の受託事業やインキュベーションファーム事業等による担い手の育成事業に取り組み、本市農業振興の一翼を担っている。本市の農業の発展と農地の保全の観点から、今後も継続した支援が必要であると考え、</p> <p>課題として、市公社の自主財源である農作業受託収入の減少が危惧されている。特に水稲防除の受託事業について、近年では近隣の認定農業者や農業法人、企業などのドローンによる防除へ移行する農業者が増加し、市公社への受託が激減している。水稲防除に代わる新たな収益事業を開拓していく必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>令和5年度第1回理事会において、公社で作成した経営改善方策を報告している。今後も、指導を継続しながら、持続可能な組織運営を検討する。</p>
---	---

I 令和6年度の事業の方向性

⇒ A. 現状のまま継続

事業	農政企画事業	細事業	農政企画事務事業	実施計画事業	農政企画事務事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次豊後大野市農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称		当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興			水土里情報システム利用負担金	384	
項	1	施策展開	④持続的かつ安定的な農業経営の確立			修繕料	214	
目	3	後期基本計画	23 P			燃料費	133	
決算	97					自動車損害保険料	40	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 農政企画業務の円滑な推進  <令和4年度の取組内容(計画)> 農業振興課が所管する公用車2台の管理及び地理情報システムの運用等。	R3	農業振興課が所管する公用車2台の管理及び地理情報システムの運用等。	R3計画 696				696	
			当初予算	696				696
			決算額	555				555
	R4	農業振興課が所管する公用車2台の管理及び地理情報システムの運用等。	R4計画 696				696	
			当初予算	857				857
			決算額	740				740
	R5		R5計画 696				696	
			当初予算	606				606
			決算額					
	R6		R6計画 696				696	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 696				696	
			当初予算					
		決算額						
		R3 ~ R7 合計	計画額 3,480				3,480	
			当初予算 2,159				2,159	
			決算額 1,295				1,295	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 技術習得のための研修会参加	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	4	人	目標値	6	4	4	4	4
					実績値	6	8			
	2 公用車の定期的な点検	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	4	回	目標値	4	4	4	4	4
					実績値	4	4			
D 成果指標	1 水土里情報システムの操作技術修得者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	60	%	目標値	86.7	80	80	80	80
					実績値	86.7	86.7			
					達成率	100	108.4			
	2 公用車修繕料の抑制	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	95	千円	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	36	121			
					達成率	36	121			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	23点	3点	23点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 農業振興課で使用する公用車2台の管理を行っている。今後も車検時期に注意するとともに、運行前や定期的な点検に努め、適切に管理していく。 また、地理情報システムは農業の各事業で活用しており、事業の進捗管理や計画を作成する上で欠くことのできないシステムであると考えている。令和4年度はシステムをクラウド型に変更し、より利用しやすい環境を整えた。今後も、各事業担当者や連携し最新の農地情報の把握に努める。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 公用車及び地理情報システムについて、適切に管理をしていく。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	農企企画事業	細事業	農地中間管理事業	実施計画事業	機構集積協力金交付金事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (44)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次豊後大野市農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	⑥農業生産基盤を整備する				
目	3	後期基本計画	24 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	97						

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<事業の目的> 担い手への農地の集積・集約化を加速させるため、機構を通じた農地の集積・集約化等を促進する。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・地域集積協力金交付事業 地域内の農地の一定割合を機構に貸し付けた地域への協力金  ・経営転換協力金交付事業 機構に農地を貸し付けることにより、経営転換またはリタイアした農業者への協力金(R5年度廃止)	R3	機構集積協力金 4,821,900円の交付 <内訳> ・地域集積協力金 12地区 2,781a 4,268,400円 ・経営転換協力金交付事業 7戸 369a 553,500円
	R4	機構集積協力金 1,538,800円の交付 <内訳> ・地域集積協力金 8地区 876a 1,435,800円 ・経営転換協力金交付事業 3戸 103a 103,000円
	R5	
	R6	
	R7	
		R3 ~ R7 合計

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	9,000	9,000			
当初予算	9,000	9,000			
決算額	4,822	4,822			
R4計画	9,000	9,000			
当初予算	7,500	7,500			
決算額	1,539	1,539			
R5計画	9,000	9,000			
当初予算	5,450	5,450			
決算額					
R6計画	8,000	8,000			
当初予算					
決算額					
R7計画	8,000	8,000			
当初予算					
決算額					
計画額	43,000	43,000			
当初予算	21,950	21,950			
決算額	6,361	6,361			

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 説明会開催による事業の推進 農地中間管理事業の推進を目的とした説明会の実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略	4	回	目標値	4	4	4	4	4
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7	6			
		% 達成率			175	150				
D 成果指標	1 担い手への農地集積 農地中間管理事業を利用した新規集積面積	<input type="checkbox"/> 総合計画	74	ha	目標値	35	35	35	35	35
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	40	47			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	114.3	134.3			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 まとまった農地の貸付を希望する地域や、農業部門の減少やリタイアを機に農地の貸付を希望する個人に対して協力金を交付することで、農地中間管理機構を通じた担い手への農地集積が図られた。 また、将来の地域内の農地について住民同士が話し合うきっかけとなった。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 担い手への農地集積が図られ、将来の地域内の農地について住民同士が話し合うきっかけとなった。引き続き制度の周知を図りながら、制度利用を推進する。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性

⇒ A. 現状のまま継続

事業	農政企画事業	細事業	農地中間管理事業	実施計画事業	事業事務委託事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (44)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 第4次豊後大野市農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称 会計年度任用職員報酬 3,532 社会保険料(会計年度任用職員分) 567 期末手当(会計年度任用職員分) 438 時間外・休日勤務手当 348
款	6	施策 1 農業の振興	初期計画		
項	1	施策展開 ⑥農業生産基盤を整備する	中期計画		
目	3	後期基本計画 24 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	年度 ~ 年度		
決算	97				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 農地中間管理事業の円滑な事業推進を図る。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・事業推進員2名を雇用 ・地区説明会の開催	R3	・事業推進員2名を雇用 ・地区説明会の開催 7地区 ・R3年度集積面積 80.5ha (うち新規39.9ha)	R3計画 5,644			5,404	240
			当初予算 5,644			5,404	240
			決算額 5,322			5,280	42
	R4	・事業推進員2名を雇用 ・地区説明会の開催 6地区 ・R4年度集積面積 60.7ha (うち新規46.8ha)	R4計画 5,644			5,404	240
			当初予算 5,697			5,457	240
			決算額 6,016			5,800	216
	R5		R5計画 5,644			5,404	240
			当初予算 5,347			5,107	240
			決算額				
	R6		R6計画 5,644			5,404	240
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 5,644			5,404	240
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 28,220			27,020	1,200
			当初予算 16,688			15,968	720
			決算額 11,338			11,080	258

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 説明会開催による事業の推進 農地中間管理事業の推進を目的とした説明会の実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略	4	回	目標値	4	4	4	4	4
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7	6			
		% 達成率			175	150				
D 成果指標	1 担い手への農地集積 農地中間管理事業を利用した新規集積面積	<input type="checkbox"/> 総合計画	74	ha	目標値	35	35	35	35	35
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	40	47			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	114.3	134.3			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		23点	23点
		25点	25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 説明会の開催により、地元関係者の理解が深まった。その結果、目標値を上回る農地集積が図られた。 今後は、人・農地プランに代わる地域計画の策定に向けた地域での話し合いにより、担い手への農地集積を推進していく。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 人農地プランが法定化され、目標地図・地域計画の取組により、これまで以上に地域での協議が行われる。今後も農地集積を加速していく。
---	--

事業	農業振興事業	細事業	営農普及サポート支援事業	実施計画事業	営農普及サポート支援事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (10)		個別計画名	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	
款	6	施策	1 農業の振興	普及支援協力員謝礼金 270
項	1	施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興	
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	98			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; JA等農業団体、県及び市行政等による営農普及指導体制の確立を図るとともに、食農教育の推進に向けた取り組みを支援する。</p> <p>&lt;令和4年度取組内容(計画)&gt; 営農普及協力員の配置により、市の主要作物である夏秋ピーマン、かんしょ、里いも、白ねぎの相談指導体制の強化を図る。また、園芸重点推進品目の栽培マニュアルを作成し、営農支援サポートに活用する。</p>	R3	営農普及協力員の配置(9名)を行った。内訳はピーマン3名、白ねぎ1名、かんしょ2名、里いも3名。	R3計画 270				270
			当初予算 270				270
			決算額 60				60
	R4	営農普及協力員はJA部会で人選ができず、支援体制の強化が図られなかった。栽培マニュアルは、市、県、JAの担当が協力して作成できた。	R4計画 460			190	270
			当初予算 460			190	270
			決算額 50			50	
	R5		R5計画 270				270
			当初予算 270				270
			決算額				
	R6		R6計画 270				270
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 270				270	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,540			190	1,350
			当初予算 1,000			190	810
			決算額 110			50	60

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 営農普及ネットワーク協議会及び連絡会議の開催	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	1	1			
					% 達成率	50	50			
D 成果指標	1 営農普及協力員の指導、相談対応件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	27	27	27	27	27
					実績値	11				
					% 達成率	40.7				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	12点	3点	12点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	2点		2点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		2点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		2点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
営農普及協力員については、夏秋ピーマン、かんしょ、里いも、白ねぎの主要品目に対して、JA(部会)からの推薦をいただき、生産者に対する相談支援や行政と部会の連携役として活動することとなっているが、令和2年度以降、コロナ禍で活動が制限され、思うような活動ができなかったことや、自身の農業経営との両立が困難などの理由から協力員のなり手がなく、令和4年度においては協力員の人選ができなかった。  
ウイズコロナ時代の到来で、営農指導のあり方を再検討する時期にきており、現在、市、県、JA各関係機関の実務担当者で組織する営農普及連絡会議の中で、農業版DXの活用を意識した新しい営農指導体制の構築の検討を開始した。パソコンやスマートフォン等のツールを活用したデータ分析など、限られた人員でできる営農指導強化を図っていききたい。  
栽培マニュアル(栽培ごよみ)の作成については、豊肥振興局生産流通部の普及員、JA豊肥営農経済センターの営農指導員等の協力のもとで作成することができた。このことで新規就農相談時の説明資料として活用することもでき、営農指導の際のツールとしても活用することができるようになった。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
作成した栽培マニュアルを有効活用するとともに、関係機関と連携した農家指導を推進する。

事業	農業振興事業	細事業	安全・安心農業推進事業	実施計画事業	安全・安心農業推進事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (13)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興				
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	98					認定認証取得支援補助金	100
						試薬廃液処分委託料	20
						通信運搬費	20
						講師謝礼金	20

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 安全・安心な農業を推進することにより、生産者と消費者の相互理解を深め、本市の地域性を生かした持続型農業の確立を図る。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・土壌分析の実施 ・土壌分析講習会の開催 ・GAP認定取得等支援	R3	土壌分析の実施 2団体 土壌分析講習会の開催 1回	R3計画 191 当初予算 191 決算額 36				191	
	R4	・土壌分析の実施(2団体) ・土壌分析講習会の開催(1回)	R4計画 180 当初予算 180 決算額 41				180	
	R5		R5計画 161 当初予算 161 決算額				161	
	R6		R6計画 191 当初予算 決算額				191	
	R7		R7計画 191 当初予算 決算額				191	
	R3 ~ R7 合計			計画額 914 当初予算 532 決算額 77				914

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 土壌分析講習会の開催	<input type="checkbox"/> 総合戦略		回	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 GAP認定取得件数	<input type="checkbox"/> 総合計画		件	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 安全・安心農業を推進することを目的として、有機農業の実践や緑肥施用による取組を市内の2団体(豊後大野市有機農業推進協議会・朝地町平井川保全会)が実施した。合わせて効果検証を目的として土壌分析を実施し、分析結果をもとに講習会を開催することができたが、2団体のうち、朝地町平井川保全会は年々会員の減少が進み、本事業に取り組む農業者が減少している。有機農業の実践という括りではハードルが高く、なかなか取り組む農業者の増加が見込めない状況となっているが、国の進める「みどりの食料システム戦略」に沿って、「減農薬・減化学肥料」の実践など、持続可能な安全・安心農業の取り組みから少しずつ進めていきたい。現在、JAの美奈子部会とゴーヤ部会の有志の協力をいただき、地域資源(豚ふん堆肥)を活用した減化学肥料の実証事業を実施している。「効果あり」の結果が出れば豚ふん堆肥の活用が有効な他品目にも推進を広げていきたい。  
 GAP取得認定取得支援については、R4年度実績としてはなかったが、年度末にやさしいピーマングループのメンバーからGAP取得に向けて準備をしているとの連絡を受けたこともあり、幅広く取得支援を行っていくこととした。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 化学肥料の低減に向けて、堆肥を活用するための実証事業は有効であった。今後も、新たな方策の検討も含めて継続的に取組を進める。

事業	農業振興事業	細事業	環境保全型農業直接支払交付金事業	実施計画事業	環境保全型農業直接支払交付金事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (16)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興				
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	98						

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し、交付金の直接支払を行うもの</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 事業実施者：豊後大野市有機農業推進協議会、朝地町平井川保全会 事業内容：有機農業、緑肥(カバークロープ)施用</p>	R3	事業実施者：豊後大野市有機農業推進協議会(2戸)、朝地町平井川保全会(5戸) 実施面積：緑肥施用7.46ha、有機農業4.4ha	R3計画 1,202	890			312
			当初予算	1,202	890		312
			決算額	996	745		251
	R4	事業実施者：豊後大野市有機農業推進協議会(2戸)、朝地町平井川保全会(5戸) 実施面積：有機農業4.44ha、緑肥施用8.28ha	R4計画 1,202				1,202
			当初予算	1,057	788		269
			決算額	1,050	785		265
	R5		R5計画 1,202				1,202
			当初予算	1,057	788		269
			決算額				
	R6		R6計画 1,202				1,202
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 1,202				1,202
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 6,010	890			5,120
			当初予算 3,316	2,466			850
			決算額 2,046	1,530			516

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 事業実施主体との協議	<input type="checkbox"/> 総合戦略		2	回	目標値	2	2	2	2	
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	7	2			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略				%	達成率	350	100		
		<input type="checkbox"/> 個別計画					目標値				
D 成果指標	1 緑肥施用、有機農業の実施	<input type="checkbox"/> 総合計画		17.9	ha	目標値	13.9	14	14	14	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	11.86	12.72			
	2 -	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率	85.3	90.9		
		<input type="checkbox"/> 総合計画					目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	16点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	／25点	3点
			16点
			／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者(農業団体)に対し、交付金の直接支払を行う「環境保全型農業直接支払交付金事業(国庫事業)」に取り組んだ。市内2団体(豊後大野市有機農業推進協議会(緒方町2戸)、朝地町平井川保全会(朝地町5戸))が実施継続して取り組んでいるものの、参画者の増加に至っていない。国は「みどりの食料システム戦略」の中で環境負荷低減に取り組む生産者の支援を打ち出していることから、引き続き本事業に取り組む生産者の支援を行っていく。また、新たに減農薬、減化学肥料に取り組む生産者に対しても本事業の活用推進を図っていきたい。	国の「みどりの食料システム戦略」の事業活用も視野にいれながら、今後の推進方針を検討する。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	農業振興事業	細事業	流通・販売戦略推進事業	実施計画事業	流通・販売戦略推進事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (12)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興			ホームページ保守管理委託料	264
項	1	施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興			普通旅費	145
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			消耗品費	100
決算	98					燃料費	10

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 産地収益力向上をめざした生産から流通、販売、消費までを捉えた販売戦略を構築することを目的として、トップセールスによる販売促進や本市HPの見直しを行うもの。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・販売促進活動及び物流調査 ・大分の野菜畑豊後大野ホームページ保守管理委託</p>	R3	・ホームページ保守管理委託(里丸君HP) 264千円 ・ホームページ等作成委託料 495千円	R3計画 1,020 当初予算 1,020 決算額 815				1,020	
	R4	・大分の野菜畑豊後大野ホームページ保守管理委託264千円	R4計画 525 当初予算 524 決算額 282				525	
	R5		R5計画 494 当初予算 414 決算額				494	
	R6		R6計画 525 当初予算 決算額				525	
	R7		R7計画 525 当初予算 決算額				525	
	R3 ~ R7 合計			計画額 3,089 当初予算 1,958 決算額 1,097				3,089

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 トップセールスによる販売促進	<input type="checkbox"/> 総合戦略		回	目標値	1	1	1	1	1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								
2 市HPの見直し(協議、検討)	業者との打合せ等の回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		回	目標値	3	3	3	3	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	3	3			
		% 達成率	100		100					
D 成果指標	1 年間農業生産目標額 82億円	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画		億円	目標値	82	82	82	82	82
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	62	63.4			
		% 達成率	75.6		77.3					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>販売促進におけるトップセールスの実施については、令和4年7月にJAおおいと豊後大野生産部会連絡協議会と連携し、福岡大同青果市場で実施する準備をしていたが、第7波の影響で参加予定者にコロナ罹患者が発生したこともあり、実施ができなかった。しかし、令和5年5月8日からは感染症法上の位置づけが2類から5類へと移行したため、経済活動が徐々にコロナ禍前の状況にもどつつある。多くのJA各支部においても、R5事業計画の中で販売促進活動の再開を計画していることから、連携して販売促進活動に取り組む。</p> <p>大分の野菜畑豊後大野ホームページについては、JA部会の紹介や市特産物を活用した加工品の紹介など積極的なPRに努めている。今後はホームページでのこまめな情報発信をもとより、ホームページ以外のツール(Instagramなど)活用についても調査研究の必要があると考える。担当者を中心に他市町の情報収集を行い、より良い情報発信に努めたい。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>新型コロナウイルスが5類に移行したことから、福岡以外でのトップセールスも積極的に取り組んでいく。</p>
---	---

I 令和6年度の事業の方向性



B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

事業	担い手支援事業	細事業	担い手団体補助事業	実施計画事業	認定農業者連絡協議会補助事業	終了年度	R7
----	---------	-----	-----------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (1)											
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち					個別計画名 第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	6	施策	1 農業の振興						認定農業者連絡協議会補助金	340	
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成								
目	3	後期基本計画	23	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	99										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 豊後大野市認定農業者連絡協議会の活動費の一部を補助することにより、認定農業者相互の親睦と融和を図り、情報交換や研修などを通じ、会員個々の技術と生活の安定に資する。  <令和4年度の取組内容(計画)> 情報交換や研修などを通じ、認定農業者相互の親睦と融和を図り、会員個々の技術と生活の安定を図った。	R3	■ふるさとまつり コロナにより中止 ■研修会の開催 清川支部のみ開催 他支部はコロナにより中止 ■おおい認定農業者組織ネットワーク研修会への参加 コロナによりオンラインにより研修受講	R3計画 340				340
	当初予算	340				340	
	決算額	319				319	
	R4	■ふるさとまつりがぶんどおおいのフェスタに名称変更され12月に開催されたが、内容が変更されたため不参加 ■研修会の開催 三重、清川、大野支部のみ開催。他支部はコロナにより中止 ■九州農業担い手サミットinおおい、おおい認定農業者組織ネットワーク研修会への参加 ■前年度繰越金が補助申請額以上であったため、基準により令和4年度の補助金の支給なし	R4計画 340				340
	当初予算	340				340	
	決算額						
	R5			R5計画 340			
当初予算	340					340	
決算額							
R6			R6計画 340				340
当初予算							
決算額							
R7			R7計画 340				340
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 1,700				1,700
			当初予算 1,020				1,020
			決算額 319				319

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 研修会の開催	各支部研修 7回	<input type="checkbox"/> 総合戦略		回	目標値	7	7	7	7	7
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	3			
		% 達成率			14.3	42.9				
D 成果指標 1 会員数の確保		<input type="checkbox"/> 総合計画	194	名	目標値	220	220	220	220	220
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	180	179			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	81.8	81.4			
2 認定農業者数		<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	362	経営体	目標値	370	370	370	370	370
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	356	364			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	96.2	98.4			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F 評価 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	14点	3点	14点
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		2点	
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 豊後大野市農業の担い手である認定新規就農者が、自らの経営に資する研修や視察を行う組織として更なる充実強化を図っていかなければならない。令和4年度についてもコロナにより活動がほぼ出来ていない。加入していない認定農業者が存在しており、会員確保の取組みが課題である。また、後継者確保の意識の醸成と取組みを進めていかなければならない。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 新型コロナウイルスが5類に移行したことから、後継者や会員の確保を強力に推進する。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	担い手支援事業	細事業	担い手団体補助事業	実施計画事業	新農業者協議会補助事業	終了年度	R7
----	---------	-----	-----------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (2)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興協議会 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成				
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	99						
						新農業者協議会補助金	190

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 豊後大野市新農業者協議会の活動費の一部を補助することにより、農業青年・新規就農者・女性農業者等が、将来に向け農業技術・経営管理知識等を習得するための各種研修会を開催した。 ■経営研修会の開催 ■先進地視察研修 コロナにより中止 農業青年・新規就農者・女性農業者等が、将来に向け農業技術・経営管理知識等を習得するための各種研修会を開催した。 ■農業塾の開催 ■先進地視察研修 熊本県阿蘇市 <令和4年度の取組内容(計画)> ■経営研修会の開催 ■先進地視察研修	R3	農業青年・新規就農者・女性農業者等が、将来に向け農業技術・経営管理知識等を習得するための各種研修会を開催した。 ■経営研修会の開催 ■先進地視察研修 コロナにより中止	R3計画 190 当初予算 190 決算額 26				190	
	R4	農業青年・新規就農者・女性農業者等が、将来に向け農業技術・経営管理知識等を習得するための各種研修会を開催した。 ■農業塾の開催 ■先進地視察研修 熊本県阿蘇市	R4計画 190 当初予算 190 決算額 92				190	
	R5		R5計画 190 当初予算 190 決算額				190	
	R6		R6計画 190 当初予算 決算額				190	
	R7		R7計画 190 当初予算 決算額				190	
	R3 ~ R7 合計			計画額 950 当初予算 570 決算額 118				950 570 118

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 経営研修会の開催	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	回	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1			
	2 先進地視察研修の実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略		回	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値		1			
D 成果指標	1 会員数の確保	<input type="checkbox"/> 総合計画	52	名	目標値	50	50	50	50	50
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	52	56			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	104	112			
		<input type="checkbox"/> 個別計画		達成率						

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			15点
			25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</b> 就農初期の農業青年・新規就農者・女性農業者等が、様々な研修や交流を行う組織として存在意義は高い。 例年開催している農業塾は今後の農業経営に大いに貢献している。 アンケート等で会員の欲する研修ニーズの把握に努めているが、回収率や意見聴取等の取組みが必要。	<b>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</b> 会員50名を超える農業青年の団体であり、当市の中心的な農業者の団体となっている。自己研鑽のための研修や視察等、積極的な活動を支援していく。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	担い手支援事業	細事業	担い手団体補助事業	実施計画事業	法人連絡協議会補助事業	終了年度	R7
----	---------	-----	-----------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No. (6)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策 1 農業の振興					
項	1	施策展開 ①多様な担い手の確保・育成					
目	3	後期基本計画 23 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	99						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 豊後大野市集落営農法人連絡協議会の活動費の一部を補助することにより、集落営農法人の相互の情報交換や研修など自己研鑽を通じ、集落営農法人の経営の安定的な発展を図ることを目的とする。  <令和4年度の取組内容(計画)> ■研修会・検討会の開催 ■先進地視察研修	R3	資材検討会の開催。研修会、視察研修はコロナにより中止となった。補助金については会の繰越額が、補助金額を上回ったため今年度は支給していない。	R3計画 250 当初予算 250 決算額				250	
	R4	燃料高騰対策として各法人へ軽油へ200リットル支援。インボイス説明会、県内(由布市)の先進地視察研修の実施。補助金については前年度の繰越額が、補助金額を上回ったため支給をしていない。	R4計画 250 当初予算 250 決算額				250	
	R5		R5計画 250 当初予算 250 決算額				250	
	R6		R6計画 250 当初予算 決算額				250	
	R7		R7計画 250 当初予算 決算額				250	
	R3 ~ R7 合計			計画額 1,250 当初予算 750 決算額				1,250 750

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 研修会・検討会の開催	<input type="checkbox"/> 総合戦略	2	回	目標値	10	10	10	10	10
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	3	4			
	2 先進地視察研修	年1回			目標値	1	1	1	1	1
					実績値		1			
				%	達成率	30	40			
D 成果指標	1 会員数の維持	<input type="checkbox"/> 総合計画	32	法人	目標値	33	33	33	33	33
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	32	31			
	<input type="checkbox"/> 個別計画	%			達成率	97	93.9			
	2 -						%	達成率		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		2点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 集落営農法人相互の情報交換や研修などを通じ、経営の安定的な発展を図ることを目的としており必要な組織。  
 集落営農法人は地域の農地を守る重要な役割を担ってきたが、オペレーターや構成員の高齢化等の影響で解散に至る深刻な問題が発生している。  
 常時雇用を確保し、規模拡大に取り組んでいる法人もあるが、小規模法人もあり、法人間で大きな差がある。  
 存続に向け、県、市、JA等関係機関と協力して支援を今後行うことが必要。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 協議会の活動を充実するためには、各法人の経営発展が必要である。関係機関と連携しながら、有効な支援策を検討する。

事業番号	枝番
93003	10

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係
-----	-------	----	--------

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	新規就農支援交付金事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ ( 2 )

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成				
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	99						

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 50歳以上55歳以下の新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ■就農相談 ■就農計画支援 ■交付金の交付</p>	R3	50歳以上55歳以下の新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とし実施した。 ■就農相談 2名 ■就農計画支援 2名 ■交付金の交付 2名	R3計画 1,200 当初予算 1,200 決算額 1,200			1,200		
	R4	50歳以上55歳以下の新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とし実施した。 ■交付金の交付 2名	R4計画 1,200 当初予算 2,400 決算額 1,200			1,200		
	R5		R5計画 1,200 当初予算 2,100 決算額				2,100	
	R6		R6計画 1,200 当初予算 決算額			1,200		
	R7		R7計画 1,200 当初予算 決算額			1,200		
	R3 ~ R7 合計			計画額 6,000 当初予算 5,700 決算額 2,400			6,000 3,600 2,400	2,100

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 就農状況確認 年1回	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	回	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1			
		% 達成率			100	100				
D 成果指標	1 営農継続者数 補助事業活用者の営農継続者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	4	名	目標値	4	6	8	10	12
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	4	4			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	66.7			

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	16点	16点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 国の支援の対象とならない新規就農者を支援する市独自の事業であり、相談から就農計画の支援、交付金の交付まで一体的にサポートすることができた。 課題は県事業との年齢要件を調整する必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 今後は、制度の周知に力を入れ、対象者の掘り起こしに取り組む。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	法人就農支援交付金事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	-------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成				
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	99						
						法人就農支援交付金	1,200

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 集落営農法人の後継者確保を図ることを目的とする。  <令和4年度の取組内容(計画)> ■制度の周知・広報活動 ■実績把握	R3	集落営農法人の後継者確保を図ることを目的とし、1法人1名に交付した。	R3計画 1,800			1,800		
			当初予算 1,800			1,800		
			決算額 300				300	
	R4	集落営農法人の後継者確保を図ることを目的としているが令和4年度は対象者がなく、実績把握のみとなった。	R4計画 1,800			1,800		
			当初予算 1,200			1,200		
			決算額					
	R5		R5計画 1,800			1,800		
			当初予算 1,200				1,200	
			決算額					
	R6		R6計画 1,800			1,800		
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 1,800			1,800		
		当初予算						
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額 9,000			9,000		
			当初予算 4,200			3,000	1,200	
			決算額 300				300	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 集落営農法人役員会における制度説明 年1回	<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	回	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値	1	1			
						% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 後継者確保数 後継者の営農継続数	<input type="checkbox"/> 総合計画		1	名	目標値	1	2	3	4	5
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	1	1			
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	100	50			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	2点	2点	2点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	2点	2点
		14点	14点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 構成員が高齢化している集落営農法人の後継者を確保する上で、必要不可欠な事業である。ただし、雇用就農ができる法人経営体は限られており、現在の交付金がそれを後押しできているか疑問が残るところである。また、要件は厳しくなるが、国と同趣旨の事業があるためそれを活用する法人もあり、市の現在の対象等の範囲や内容について拡充等の検討の余地があると考える。法人への市事業の周知方法を積極的に行うことが必要。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 法人支援については、市としての大きな課題である。各法人の経営状況等を分析しながら、より有効な支援策を検討していく。

事業番号	枝番
93003	12

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係
-----	-------	----	--------

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	生涯現役世代育成支援交付金事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→(1)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興			生涯現役世代育成支援交付金	1,200
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成				
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	99						

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 56歳以上65歳以下の新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ■就農相談 ■就農計画支援 ■交付金の交付</p>	R3	認定農業者連絡協議会、農業大学校への事業説明を行い、制度の周知を行った。	R3計画 1,200 当初予算 1,200 決算額			1,200		
	R4	認定農業者連絡協議会、農業大学校への事業説明を行い、制度の周知を行った。 ■相談件数2件	R4計画 1,200 当初予算 1,200 決算額			1,200		
	R5		R5計画 1,200 当初予算 1,200 決算額			1,200	1,200	
	R6		R6計画 1,200 当初予算 決算額			1,200		
	R7		R7計画 1,200 当初予算 決算額			1,200		
	R3 ~ R7 合計			計画額 6,000 当初予算 3,600 決算額			6,000	1,200

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 就農相談兼制度の周知	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	2			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 営農継続者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	補助事業活用者の営農継続者数	名	目標値	2	2	2	2	2
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	14点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	25点	2点
			14点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 意欲のある退職世代の就農意欲の喚起及び就農の定着を図るうえで必要な事業である。周知により2件の相談を受けたが、所得要件等が該当せず、令和5年度への持ち越しとなった。引き続き大分県農業大学校を中心に制度の周知を行う必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 制度の周知に力を入れながら、対象者の掘り起こしに努める。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
93003	13

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係
-----	-------	----	--------

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	広域営農機械施設整備事業	終了年度
----	---------	-----	------------	--------	--------------	------

総合計画体系図No.→(1)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成				
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	99						

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 集落営農法人等が農業用機械施設を導入し、経営の多角化や規模拡大を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 麦・大豆の生産拡大 ハイクリトラクター、中耕ディスクの導入</p>	R3	令和4年度からの事業	R3計画				
			当初予算				
			決算額				
	R4	1経営体が事業実施。ハイクリトラクター、小橋中耕ディスクの導入を導入した。	R4計画	1,400	700		700
			当初予算	1,400	700		700
			決算額	1,181	590		591
	R5		R5計画	1,400	700		700
			当初予算	1,400			1,400
			決算額				
	R6		R6計画	1,400	700		700
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画	1,400	700		700
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額	5,600	2,800		2,800
			当初予算	2,800	700		2,100
			決算額	1,181	590		591

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 就農相談兼制度の周知	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値		1			
					% 達成率		50			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 営農継続者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		名	目標値	2	2	2	2	2
					実績値		1			
					% 達成率		50			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			15点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 集落営農法人等が経営の多角化や規模拡大を図る上で必要な事業であり、機械等を導入することで労働力不足の解消を図ることもできる。引き続き周知を行い、対象の掘り起こしを行う必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 規模拡大を図る上で有効な県事業である。今後も、県事業が活用可能な経営規模への支援を推進する。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	担い手育成支援事業	終了年度	なし
----	---------	-----	------------	--------	-----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成				
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	99						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的>  <令和4年度の実績内容(計画)> ・市認定農業者連絡協議会及び協支部 ・市集落営農法人連絡協議会 ・市新農業者協議会 各団の農業経営能力及び栽培技術等の向上に資する取り組みを支援する。	R3	令和4年度からの事業	R3計画					
	R4	認定農業者連絡協支部2支部(清川、犬飼)のみ実施。他団体についてはコロナのため事業実施ができず、また研修会への参加がなかった。	当初予算					
	R5		決算額					
	R6		R4計画	450			450	
	R7		当初予算	450			450	
	R3~R7合計		決算額	88			88	
				R5計画	450			450
				当初予算	450			450
				決算額				
				R6計画	450			450
			当初予算					
			決算額					
			R7計画	450			450	
			当初予算					
			決算額					
			計画額	1,800			1,800	
			当初予算	900			900	
			決算額	88			88	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 制度の周知	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値		1	1	1	1
					実績値		1			
					% 達成率		100			
D 成果指標	1 交付対象事業	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	認定農業者連絡協議会及び各支部、集落営農法人連絡協議会、新農業者協議会への研修事業実施	事業	目標値		9	8	9	8
					実績値		2			
					% 達成率		22.2			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	13点	3点	13点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	2点		2点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		2点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 令和3年度に廃止した担い手育成総合支援協議会補助事業の後を受け、必要な施策を引き続き行うため令和4年度より新たに創設された。しかしながら令和4年度はコロナの影響もあり団体のほとんどの事業が実施ができなかった。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 新型コロナウイルスが5類に移行したことから、積極的な活用を推進していく。
---	--

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	経営多角化機械施設整備事業	終了年度	なし
----	---------	-----	------------	--------	---------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称 経営多角化機械施設整備事業補助金	当初予算額 1,933
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成				
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	99						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 集落営農法人等が農業用機械施設等を導入し、経営の多角化や規模拡大を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ハンマーナイフモア、スライドモアの導入</p>	R3	令和4年度からの事業	R3計画					
	R4	1 経営体が事業実施。サンヨーハンマーナイフモア、ニプロスライドモアを導入した。	当初予算					
			決算額	1,933	1,288		645	
	R5		当初予算	1,933	1,288		645	
			決算額	1,277	850		427	
	R6		当初予算	1,933	1,288		645	
			決算額					
	R7		当初予算	1,933	1,288		645	
			決算額					
	R3 ~ R7 合計			計画額	7,732	5,152		2,580
				当初予算	1,933	1,288		645
				決算額	1,277	850		427

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 就農相談兼制度の周知	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2	
						実績値		1			
						達成率		50			
D 成果指標	1 営農継続者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		名	目標値	2	2	2	2	2	
						実績値		1			
						達成率		50			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 集落営農法人の経営の多角化や規模拡大を図る上で必要な事業であり、機械等導入することで労働力不足の解消を図ることもできる。引き続き周知を行い、対象の掘り起こしを行う必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 事業が活用可能な法人の育成が必要である。関係機関と協議しながら、有効策を検討する。
--	---

事業番号	枝番
93003	16

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係
-----	-------	----	--------

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	新規就農者経営発展支援事業補助金	終了年度	なし
----	---------	-----	------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (1)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成				
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	99						
						【概算】新規就農者経営発展支援事業補助金	21,000

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 経営開始時に49歳以下の認定新規就農者に対し、経営開始資金として最大450万円、機械・施設等導入費として375万円を支援する。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; 経営開始資金2組4名 機械・施設等導入費4組</p>	R3	令和4年度からの事業	R3計画 当初予算 決算額					
	R4	経営開始資金3組5名 機械・施設の導入支援3組5名	R4計画 当初予算 決算額	21,000 21,000 13,497	21,000 21,000 13,497			
	R5		R5計画 当初予算 決算額	21,000	21,000			
	R6		R6計画 当初予算 決算額	21,000	21,000			
	R7		R7計画 当初予算 決算額	21,000	21,000			
	R3 ~ R7 合計			計画額 当初予算 決算額	84,000 21,000 13,497	84,000 21,000 13,497		

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 就農相談兼制度の周知	<input type="checkbox"/> 総合戦略		回	目標値	2	2	2	2	2
		<input type="checkbox"/> 個別計画		%	実績値		3			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略		%	達成率		150			
		<input type="checkbox"/> 個別計画								
D 成果指標	1 営農継続者数	<input type="checkbox"/> 総合計画		名	目標値	2	2	2	2	2
		<input type="checkbox"/> 総合戦略		%	実績値		5			
	2 -	<input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率		250			
		<input type="checkbox"/> 総合計画								

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	16点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			16点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 次世代を担う新規就農者の農業経営開始にあたっては、不安定な経営となり所得の確保等が課題となることから、資金の交付、機械・施設等の導入支援は非常に有効である。引続き周知を図り、対象者の支援を行う必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 新規就農者の支援策として、非常に有効である。対象者と十分に協議しながら、有効活用を図る。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	農業次世代人材投資事業補助事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	-----------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称 農業次世代人材投資事業補助金	当初予算額 36,750
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成				
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	99						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 交付予定者31名</p>	R3	次世代を担う青年の就農意欲の喚起と、就農直後の経営確立を支援することを目的とし、26組29名に資金を交付した。	R3計画 31,500	31,500			
			当初予算 31,500	31,500			
			決算額 28,704	28,704			
	R4	次世代を担う青年の就農意欲の喚起と、就農直後の経営確立を支援することを目的とし、28名に資金を交付した。	R4計画 25,000	25,000			
			当初予算 36,750	36,750			
			決算額 27,458	27,458			
	R5		R5計画 25,000	25,000			
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 25,000	25,000			
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 25,000	25,000			
			当初予算				
			決算額				
		R3 ~ R7 合計	計画額 131,500	131,500			
			当初予算 68,250	68,250			
			決算額 56,162	56,162			

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 青年等就農計画作成指導	1組2名	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		組	目標値	5	2	2	2	2
						実績値	4	8			
						% 達成率	80	400			
D 成果指標	1 営農継続者数	次世代人材投資資金の交付対象者及び交付が終了した者の営農継続数/営農継続者数/交付対象者及び交付終了者の総数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	65	名	目標値	75	79	83	87	91
						実績値	78	84			
						% 達成率	104	106.3			
E 評価対象外の理由	O 評価対象		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		21点	21点
		/25点	/25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>新規就農者の就農意欲を大きく後押しする国の事業で、これまでも本市の新規就農者の確保に大きな成果を上げてきた。今年度も交付継続者、交付修了者の就農状況を確認するとともに、営農相談を行い確実な定着に向け事業を行った。課題はこの交付金ありきでなく、真に農業起業を目指す就農者の確保を行うことが必要。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>交付継続者、交付修了者の就農状況を確認するとともに、確実な定着に向けて営農相談等を行う。</p>
--	---

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	企業等農業参入推進事業補助事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (4)									
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち		個別計画名	第4次農業振興計画		令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興			期間	R3 年度 ~ R7 年度	企業等農業参入推進事業補助金	3,000
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成			期間	年度 ~ 年度		
目	3		後期基本計画 23 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	99								

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 県外の優良な企業的農業経営体の誘致や市内外の意欲ある他産業企業からの農業参入を推進することを目的とする。  <令和4年度の取組内容(計画)> ■参入企業の情報収集 ■1経営体の事業実施	R3	当初2社の参入企業に対して事業予定であったが、採択申請に至らず事業未実施。	R3計画 7,500	5,000			2,500
			当初予算	7,500	5,000		2,500
			決算額				
	R4	1経営体が事業実施。トラクターの導入を行った。	R4計画 6,000	4,000			2,000
			当初予算	3,000	2,000		1,000
			決算額	2,863	1,908		955
	R5		R5計画 6,000	4,000			2,000
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 6,000	4,000			2,000
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 6,000	4,000			2,000
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 31,500	21,000			10,500
			当初予算 10,500	7,000			3,500
			決算額 2,863	1,908			955

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 セミナーへの参加	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	%	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
						達成率	100				
2 企業参入PT会議への参加	年1回	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	%	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1	1			
						達成率	100	100			
D 成果指標	1 年度毎の参入数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	社	%	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2	1			
						達成率	100	50			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	目標値					
						実績値					
						達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	2点		2点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	13点	2点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			13点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 優良企業体の参入は必要不可欠であり、参入の推進には必要な事業である。今年度は1経営体、事業を実施することができた。県と連携をとりながら、技術、経験を持った企業の参入を推進する必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 優良企業体の参入は必要不可欠であり、参入の推進には必要な事業である。
--	--

事業番号	枝番
93003	4

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係
-----	-------	----	--------

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	担い手経営強化対策事業補助事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (5)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額			
款	6	施策	1 農業の振興		期間	年度	～	年度			担い手経営強化対策事業補助金	20,000	
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成		期間	年度	～	年度					
目	3	後期基本計画	23 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当						
決算	99												

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 農業の担い手の確保及び育成を図りつつ、経営規模を拡大することを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 機械導入 20件予定</p>	R3	14経営体が事業実施し、機械導入に伴い約10haの規模拡大を行った。	R3計画 17,000 当初予算 17,000 決算額 11,752			17,000		
	R4	19経営体が事業実施し、機械導入に伴い約13haの規模拡大を行った。	R4計画 15,000 当初予算 20,000 決算額 16,635			15,000		
	R5		R5計画 15,000 当初予算 決算額			15,000		
	R6		R6計画 15,000 当初予算 決算額			15,000		
	R7		R7計画 15,000 当初予算 決算額			15,000		
	R3～R7合計			計画額 77,000 当初予算 37,000 決算額 28,387			77,000	37,000 28,387

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 機械導入件数	事業実施年度における機械導入経営体数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	18	経営体	目標値	15	15	15	15	15
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	14	19			
		% 達成率			93.3	126.7				
D 成果指標 1 経営規模の拡大面積	事業実施初年度からの拡大面積実績(H28～)	<input type="checkbox"/> 総合計画	50	ha	目標値	60	70	80	90	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	60	73			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	104.3			
2 経営規模の拡大頭数	事業実施初年度からの拡大頭数実績(H28～)	<input type="checkbox"/> 総合計画	11	頭	目標値	13	15	17	19	21
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	11	42			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	84.6	280			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>認定農業者、認定新規就農者の確保・育成に取り組む上で、大きく寄与してきた市単独事業である。今年度は19経営体が事業実施を行い機械導入を行った。規模拡大を要件としており、これまで事業の目的を十分に達成していると考えている。課題としては、3年経過後の経営体の経営状況の確認を農業改善計画のヒアリング時等でフォローし、永続的な取組ができていくか確認する必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>認定農業者、認定新規就農者の確保・育成に大きく寄与してきた市単独事業である。規模拡大を要件としており、これまで事業の目的を十分に達成していると考えている。今後、要件の見直し等柔軟に対応しながら継続する。</p>
---	--

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	親元就農給付金事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ ( 3 )		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	6	施策 1 農業の振興	親元就農給付金					6,500
項	1	施策展開 ①多様な担い手の確保・育成						
目	3	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当						
決算	99							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 農業後継者の就農意欲の喚起と就農の定着を図ることを目的とする。  <令和4年度の取組内容(計画)> “準備型認定2名 経営開始型認定2名”	R3	農業後継者の就農意欲の喚起と就農の定着のため、準備型2名、開始型2名の経営発展計画を認定し、交付金を交付した。	R3計画 3,500	1,750			1,750
			当初予算	3,500	1,750		1,750
			決算額	5,000	2,500		2,500
	R4	農業後継者の就農意欲の喚起と就農の定着のため、準備型2名、開始型3名の経営発展計画を認定し、継続者と合わせ準備型2名、開始型6名に交付金を交付した。	R4計画 5,000	2,500			2,500
			当初予算	6,500	3,250		3,250
			決算額	9,000	4,500		4,500
	R5		R5計画 5,000	2,500			2,500
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 5,000	2,500			2,500
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 5,000	2,500			2,500
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 23,500	11,750		11,750	
			当初予算 10,000	5,000		5,000	
			決算額 14,000	7,000		7,000	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 研修計画の作成	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		名	目標値	2	2	2	2	2	
						実績値	2	5			
	2 経営発展計画の作成	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		名	目標値	2	2	2	2	2	
						実績値	2	5			
D 成果指標	1 営農継続者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	名	目標値	7	9	9	9	9	
						実績値	7	10			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100	111.1			
							目標値				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	19点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	／25点	4点
			19点
			／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 豊後大野市農業の課題である後継者確保にとって、非常に意義ある事業である。今年度は農業大学校研修中の準備型2名と経営開始型6名に交付を行った。制度の周知が十分とは言えず、既に要件を満たしている経営体も存在する可能性がある。今後は認定農業者連絡協議会等を通じ、広く制度の周知を行い後継者確保に努める必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 今後も認定農業者への直接通知を行い、制度の周知拡大に努める。
--	--

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	新規就農者負担軽減対策事業補助事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	-------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (2)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称 新規就農者負担軽減対策事業補助金	当初予算額 4,890
款	6	施策 1 農業の振興					
項	1	施策展開 ①多様な担い手の確保・育成					
目	3	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	99						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 認定新規就農者の就農初期段階における常用機械の導入に要する経費の負担軽減を図ることにより、円滑な就農を図ることを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt;                      ■青年等就農計画作成支援                      ■常用機械導入補助                      ■農作業サポート支援                      ■新規就農者所得安定対策</p>	R3	就農初期に必要な機械等の取得を支援し、農業生産の相当部分を担うような農業構造を確立した。	R3計画 4,890	930	1,330	2,630	
			当初予算 4,890	930	2,330	1,630	
			決算額 761	507		254	
	R4	配偶者が妊娠中であり農作業が困難なため、外部雇用をの経費を農作業サポート支援として1経営体へ支援し、負担軽減を図った。	R4計画 4,220	193	166	3,861	
			当初予算 4,890	930	2,330	1,630	
			決算額 337	168		169	
	R5		R5計画 4,220	193	166	3,861	
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 4,220	193	166	3,861	
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 4,220	193	166	3,861	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 21,770	1,702	1,994	18,074	
			当初予算 9,780	1,860	4,660	3,260	
			決算額 1,098	675		423	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 青年等就農計画作成支援 青年等就農計画認定申請者数/認定数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	12	名	目標値	8	4	4	4	4
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4	5			
					% 達成率	50	125			
					目標値					
D 成果指標	1 営農継続者数 補助事業活用者の営農継続数	<input type="checkbox"/> 総合計画	12	名	目標値	20	24	28	32	36
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	18	19			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	90	79.2			
					目標値					
E 評価対象外の理由	0 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
					目標値					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	15点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 認定新規就農者において経営開始時の収入が不安定な時期であっても、農業機械導入の導入は必要である。また、配偶者の妊娠等によりサポートが必要な時期でもあり必要な事業である。令和4年度は1経営体に農作業サポート支援を行った。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 経営開始時の収入が不安定な時期や配偶者の妊娠等、適切なサポートを提供していく。
--	---

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	女性就農者確保対策事業補助事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (7)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称		当初予算額
款	6	施策 1 農業の振興				女性就農者確保対策事業補助金	1,500	
項	1	施策展開 ①多様な担い手の確保・育成						
目	3	後期基本計画 23 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	99							

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 就労環境等の整備を図ることにより、女性就農者の促進を図ることを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 女性用トイレ等の整備</p>	R3	1 経営体(集落営農法人)のトイレ改修を行い、女性就農者の就労環境の整備を図った。令和4年度に女性就農者を正規雇用する。	R3 計画 750	375			375
			当初予算	750	375		375
			決算額	750	375		375
	R4	2 経営体(集落営農法人)のトイレ改修を行い、女性就農者の就労環境の整備を図った。	R4 計画 750	375			375
			当初予算	1,500	750		750
			決算額	1,308	653		655
	R5		R5 計画 750	375			375
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6 計画 750	375			375
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7 計画 750	375			375
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 3,750	1,875			1,875
			当初予算 2,250	1,125			1,125
			決算額 2,058	1,028			1,030

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 補助事業の実施	実施件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	2				
					% 達成率	100	200				
2 -			<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値					
					実績値						
					% 達成率						
D 成果指標	1 女性就農者数	正規・又は臨時職員雇用目標数/実績	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		名	目標値	1	1	1	1	1
					実績値		1				
					% 達成率		100				
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		名	目標値					
					実績値						
					% 達成率						

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 女性就農者の就労環境整備に関する事業はこれまで希望する多くの声があった。それを補完する事業で効果に大きな期待がかかる。今年度は2経営体のトイレ改修を行った。ただし、農地に女性用トイレを整備するには、水環境の大きな壁があり事業実施は限られた経営体に留まる。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 事業推進により、女性農業従事者の確保に努める。
--	---

事業番号	枝番
93003	9

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係
-----	-------	----	--------

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	後継ぎ支援交付金事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ ( 3 )

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成				
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	99						

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 認定農業者の後継ぎを確保することを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt;            ■就農相談            ■就農計画支援            ■交付金の交付</p>	R3	交付金 4経営体に交付 就農状況報告 5経営体	R3計画 1,950 当初予算 1,950 決算額 750			1,950		
	R4	R4対象者がいなかったため、交付実績なし 就農状況報告 5経営体	R4計画 1,200 当初予算 1,200 決算額			1,200		
	R5		R5計画 1,200 当初予算 決算額			1,200		
	R6		R6計画 1,200 当初予算 決算額			1,200		
	R7		R7計画 1,200 当初予算 決算額			1,200		
	R3 ~ R7 合計			計画額 6,750 当初予算 3,150 決算額 750			6,750	3,150 750

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 就農状況確認 年1回	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	回	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1			
		% 達成率			100	100				
D 成果指標	1 営農継続者数 補助事業活用者の営農継続者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	7	名	目標値	7	9	9	9	11
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	7	7			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	77.8			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	2点	11点	25点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	2点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	2点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 県事業の親元就農給付金との大きな違いがなく、対象年齢の引き上げで新規採択者の見込みがない。制度の見直しが必要。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 令和5年度中に、制度の見直しをする。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性



B. 見直しの上で継続-5 統合

事業	担い手支援事業	細事業	担い手支援事務費	実施計画事業	農業次世代人材投資事業	終了年度	R7
----	---------	-----	----------	--------	-------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興	期間	R3 年度 ~ R7 年度	普通旅費	382
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成	期間	年度 ~ 年度	消耗品費	150
目	3		後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			印刷製本費	148
決算	99					通信運搬費	100

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 担い手確保・育成業務実施に当たっての事務費及び農業次世代人材投資資金交付事務等  <令和4年度の実績内容(計画)> ■旅費 ■消耗品費 ■印刷製本費 ■役務費	R3	担い手確保・育成業務実施に当たっての事務費	R3計画 753	350			403
			当初予算	753	350		403
			決算額	350	350		
	R4	■旅費 ■消耗品費 ■印刷製本費 ■役務費	R4計画 700	350			350
			当初予算	780	350		430
			決算額	400	320		80
	R5		R5計画 700	350			350
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 700	350			350
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 700	350			350
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 3,553	1,750		1,803	
			当初予算 1,533	700		833	
			決算額 750	670		80	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 インキュベーションファームパンフレット作成	500部	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,000	部	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
						実績値	1,000	800			
						% 達成率	100	80			
D 成果指標	1 就農相談件数	相談数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	20	件	目標値	20	20	20	20	20
						実績値	23	52			
						% 達成率	115	260			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 農業次世代人材投資資金交付事務に必要な事務費。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 事業実施に必要な事務費である。
--	---

事業	インキュベーションファーム事業	細事業	インキュベーションファーム事業	実施計画事業	インキュベーションファーム事業	終了年度	R7
----	-----------------	-----	-----------------	--------	-----------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興	期間	R3 年度 ~ R7 年度	機械器具費	3,611
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成	期間	年度 ~ 年度	農地確保委託料	300
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			修繕料	300
決算	100					ホームページ保守点検委託料	264

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 次代の農業及び地域を担う新規就農者をホームページ等を通じて全国から募集し、次代の豊後大野市農業の担い手を確保する。また、新規就農者技術習得研修施設(インキュベーションファーム)における栽培・管理等の実践研修、簿記研修等の農業経営研修により、新規就農者の育成を図ることを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 第12期生の募集。 第10期生の2年目の研修支援及び就農支援。 第12期生の1年目の研修支援。</p>	R3	第9期生の就農支援 2組就農 第10期生の2年目の研修支援 2組 第11期生の募集 2組入校	R3計画 11,440 当初予算 11,440 決算額 3,501			11,440	1	
	R4	第10期生の就農支援 2組就農 第11期生の2年目の研修支援 2組 第12期生の募集 3組入校	R4計画 500 当初予算 4,485 決算額 3,786			500	159	
	R5		R5計画 1,500 当初予算 決算額					
	R6		R6計画 1,500 当初予算 決算額			1,500		
	R7		R7計画 1,500 当初予算 決算額			1,500		
	R3 ~ R7 合計			計画額 16,440 当初予算 15,925 決算額 7,287			16,440	160

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 農地の確保	<input type="checkbox"/> 総合戦略	63.3	a	目標値	50	50	50	50	50
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	50	50			
	% 達成率	100			100					
2 就農フェアへの参加	"おおいと就農・就業フェア(福岡)(東京)おんせん県おおいと就農応援フェア(大分)(大阪)(東京)おおいと農業法人等合同就農相談会(大分)"	<input type="checkbox"/> 総合戦略	5	回	目標値	5	5	5	5	5
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	5	8			
		% 達成率			100	160				
D 成果指標	1 研修生の就農	<input type="checkbox"/> 総合計画	2	組	目標値	2	2	3	3	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	2	2			
	<input type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率			100	100				
2 研修生の確保	3組(定員)	<input type="checkbox"/> 総合計画	2	組	目標値	2	2	3	3	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	2	3			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	150			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
豊後大野市が全国に誇る就農システムであるインキュベーションファーム事業。令和4年度までに23組46名が研修を終了し、市内に就農。そのうち1組が離農したが22組44名が営農を継続し、市内農家の中でも非常に優秀な成績で豊後大野市農業を牽引している。令和4年度は10期生2組4名が就農し、11期生2組4名が2年目の模擬経営、12期生3組6名が入校し基礎実践研修をスタートさせた。今後も、本市の新規就農システムとして拡充していく必要がある。課題としては、就農学校の乱立により研修生の争奪戦となり、毎年確保に苦労している。また、研修終了後の住居(空き家)の確保も課題である。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
研修終了後の住居確保について、改善の要望が出ている。関係課と連携して、満足度の向上に取り組む。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	園芸振興事業	細事業	園芸産地整備事業	実施計画事業	園芸産地整備事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興				
目	4	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	101			期間	年度 ~ 年度	次代へ繋ぐ園芸産地整備事業補助金	91,342
						技術支援アドバイザー謝礼金	300

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 水田の畑地化による米から高収益な園芸品目への生産転換を加速するとともに、園芸団地づくり計画に位置づけられた大規模園芸産地の育成を重点的に推進し、農業産出額の向上をめざすもの</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 県のおおいた園芸産地づくり支援事業や短期集中県域支援品目生産拡大推進事業などを活用して農業生産基盤整備の取り組みができた。 事業実施品目:ピーマン、かんしょ、白ねぎ、小ねぎ、葉たばこ、ぶどう等</p>	R3	活力あふれる園芸産地整備事業補助金(県事業)を活用して、栽培施設、生産基盤、機械施設等の整備を行うことができた。 事業実施品目:ピーマン、高糖度かんしょ、白ねぎ、ぶどう、キウイ	R3計画 149,059	104,994			44,065	
			当初予算	149,059	104,994			44,065
			決算額	45,484	34,258			11,226
	R4	県補助事業を活用し、園芸産地づくりを推進するための栽培施設、生産基盤、機械施設等の整備に対し補助金を交付する。 事業実施品目:ピーマン、かんしょ、白ねぎ、小ねぎ、葉たばこ、ぶどう等	R4計画 100,000	66,666			33,334	
			当初予算	91,642	64,620			27,022
			決算額	61,645	40,773			20,872
	R5		R5計画 66,213	51,077			15,136	
			当初予算	66,213	48,613			17,600
			決算額					
	R6		R6計画 100,000	66,666			33,334	
		当初予算						
		決算額						
R7		R7計画 100,000	66,666			33,334		
		当初予算						
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	515,272	356,069		159,203	
			当初予算	306,914	218,227		88,687	
			決算額	107,129	75,031		32,098	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 夏秋ピーマン生産額:6.0億円、白ねぎ生産額:2.1億円	<input type="checkbox"/> 総合戦略		億円	目標値	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%	実績値	7	11.9			
	2 さとも生産額:1.4億円、かんしょ生産額:4.8億円	<input type="checkbox"/> 総合戦略		億円	目標値	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%	実績値	6	5.9			
D 成果指標	1 園芸重点品目の販売金額26.4億円	<input type="checkbox"/> 総合計画		億円	目標値	26.4	26.4	26.4	26.4	26.4
		<input type="checkbox"/> 総合戦略		%	実績値	26.1	24.9			
	2 -	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率	98.9	94.3			
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	16点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			16点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
県補助事業を活用してピーマンハウス等栽培施設整備事業をはじめ、生産基盤整備事業、農業用機械整備事業等に取り組んだ。令和3年度と比較して事業取下げ件数も減少し、農業者からの要望に対する支援ができたものと考えている。課題としては、資材費高騰が長引いていることあるが、農業用機械整備に関連し、注文から納品までの納期がかなりかかる状況となっている。機械導入を予定している者については、いち早く事業計画に着手し、交付決定から入札、契約、発注までの事務処理を速やかにすることが求められる。担当者を含め、スケジュール管理を徹底したい。	本事業については、事業費も高額であることから、早期計画と早期着手に努める。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	園芸振興事業	細事業	園芸産地整備事業	実施計画事業	白ねぎ導入・拡大支援対策	終了年度	R5
----	--------	-----	----------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No. (10)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興				
目	4	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	101			期間	年度 ~ 年度		

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 白ねぎ導入・拡大支援対策に伴う技術支援アドバイザー設置対策による新規事業開設農業者等への技術支援及び機械整備支援を行う  <令和4年度の取組内容(計画)> ・白ねぎ用機械導入 ・肥料、農薬代購入費助成 ・種苗代購入費助成 ・土壌改良材購入費助成	R3	技術支援アドバイザー 1名 225千円 白ねぎ機械導入 6,518千円 〃 種苗等助成 13,798千円 〃 土壌改良 3,550千円	R3計画 8,225	4,112			4,113
			当初予算 8,225	4,112			4,113
			決算額 23,866	14,778			9,088
	R4	・白ねぎ用機械導入 ・肥料、農薬代購入費助成 ・種苗代購入費助成 ・土壌改良材購入費助成	R4計画 8,225	4,112			4,113
			当初予算 93,798	58,437			35,361
			決算額 58,286	41,775			16,511
	R5		R5計画 96,881	69,057			27,824
			当初予算 96,881	69,057			27,824
			決算額				
	R6		R6計画				
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画				
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 113,331	77,281			36,050
			当初予算 198,904	131,606			67,298
			決算額 82,152	56,553			25,599

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 技術支援相談対応	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値	45	60	60		
					実績値	45				
	2 補助事業申請事務	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値	8	8	8		
					実績値	8	21			
					%	達成率	100	262.5		
D 成果指標	1 補助金交付件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値	8	8	8		
					実績値	26	29			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					%	達成率	325	362.5		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 令和5年度を目標年次としてスタートした「ねぎ100億円プロジェクト推進事業」を活用し、農業用機械整備や肥料・農薬、種苗費助成事業に29名が取り組み、白ねぎの規模拡大や産地化が図られた。当初、本市に設定された50haの農地集積及び耕作者のマッチングに対しては、80haの集積農地ができ、耕作者確保についても、白ねぎ用農地とし58.6haのマッチングができた。令和5年度においても引き続き、耕作者のマッチングができていない農地について県(豊肥振興局)と連携し、白ねぎの耕作者確保を第一義として取り組む。白ねぎの耕作者が見つからない場合は、県と協議しながらかんしよやさといもなどの推進品目により耕作者確保を行っていきたい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 ねぎ100億円プロジェクトに、大いに貢献できた。今後も適切な栽培が継続できるように関係機関と協力して指導体制等を充実する。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	園芸振興事業	細事業	団体補助金	実施計画事業	JAおおいたぶんご大野生産部会補助事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------	--------	---------------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興	期間	R3 年度 ~ R7 年度	JAおおいたぶんご大野生産部会補助金	1,498
項	1	施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興	期間	年度 ~ 年度		
目	4	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	101						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; JAおおいたぶんご大野生産部会に所属する各部会の取組を支援し、農業産出額の向上につなげ、農業所得、経営の安定を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; JAおおいた豊後大野生産部会に対する活動補助。 ・販売促進活動(トップセールス) ・部会(20部会)ごとの独自活動支援 ・安全、安心な農作物の安定供給</p>	R3	JAおおいたぶんご大野生産部会に対し活動補助金を交付した。部会毎に安全で安心な食糧を安定的に供給する体制づくりに向けて活動を行った。	R3計画 1,498				1,498	
				当初予算 1,498				1,498
				決算額 1,498				1,498
	R4	JAおおいた豊後大野生産部会に対し、活動補助金を交付。部会ごとに安全で安心な食料を安定的に供給する体制づくりを行った。	R4計画 1,498				1,498	
				当初予算 1,498				1,498
				決算額 1,498				1,498
	R5		R5計画 1,498				1,498	
				当初予算 1,498				1,498
				決算額				
	R6		R6計画 1,498				1,498	
				当初予算				
				決算額				
	R7		R7計画 1,498				1,498	
				当初予算				
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 7,490				7,490	
			当初予算 4,494				4,494	
			決算額 2,996				2,996	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 トップセールスによる販売促進 JAぶんごおおの生産部会における総会、役員会の開催	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	%	目標値	1	1	1	1	1
						実績値					
						達成率					
D 成果指標	1 年間農業産出額 82億円	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		億	円	目標値	82	82	82	82	82
						実績値	62	63.4			
						達成率	75.6	77.3			
E 評価対象外の理由	O 評価対象				%	目標値					
						実績値					
						達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>JAおおいた豊後大野生産部会連絡協議会(20部会)に対し、部会ごとの活動を支援し、農業産出額の向上につなげることを目的として補助金を交付した。 令和4年7月に福岡大同青果市場にトップセールスを計画していたが、参加予定者にコロナ感染者が出たことからトップセールスは実施できなかったが、生産部会連絡協議会役員数名とJA担当者のみで福岡大同青果へ販促活動を行った。各部会においても、栽培技術講習会の開催や目標意識の実施など、販売額向上の取り組みが再開できたことは一定の評価ができるものである。 令和5年度においては、7月にトップセールスを計画しており、市場や消費者に向けてPR活動を積極的に行いたい。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>JAおおいたぶんご大野生産部会に所属する各部会の取組を支援し、農業産出額の向上につなげ、農業所得、経営の安定を図る。</p>
---	---

事業	園芸振興事業	細事業	団体補助金	実施計画事業	葉たばこ生産協議会補助事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (10)													
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち					個別計画名 第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	6	施策	1 農業の振興						葉たばこ生産協議会補助金	110			
項	1	施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興										
目	4		後期基本計画	23	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画		<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	101												

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 葉たばこ生産協議会の育成強化と耕作技術と経営の改善、強化を図り、産地収益力の向上に資するため、協議会育成活動等に要する経費について補助するもの。  <令和4年度取組内容(計画)> ・ピクリン缶の収集および缶つぶし(適正処理) ・生産コスト低減の検討 ・健苗育成	R3	・ピクリン缶の収集及び缶つぶし(適正処理) ・生産コスト低減の検討 ・健苗育成(共同育苗実施)	R3計画 180				180	
			当初予算	180				180
			決算額	180				180
	R4	・ピクリン缶の収集および缶つぶし(適正処理) ・生産コスト低減の検討 ・健苗育成(共同育苗実施)	R4計画 180				180	
			当初予算	110				110
			決算額	110				110
	R5		R5計画 110				110	
			当初予算	110				110
			決算額					
	R6		R6計画 180				180	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 180				180	
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額 830				830	
			当初予算 400				400	
			決算額 290				290	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 総会、役員会の開催		<input type="checkbox"/> 総合戦略		2	回	目標値	3	3	3	3
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値	6	5		
		% 達成率				200	166.7			
2 ピクリン缶回収及び処分作業		<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	回	目標値	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値	1	1		
		% 達成率				100	100			
D 成果指標 1 葉たばこ販売金額の維持	葉たばこについては、制度上、新規作付けが認められていないため、現状の販売金額維持を目標とする。	<input type="checkbox"/> 総合計画		2	億円	目標値	2	2	2	2
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	1.8	1.1		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	90	55		
		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		15点	15点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 葉たばこ生産協議会に対して、品質の統一化(高位標準化)を図ることを目的として補助金を交付した。共同育苗の実施や農業空き缶(ピクリン缶)の共同適正処理などに協議会として取り組み、葉たばこ廃作により耕作者が減少する中においても積極的な活動が図られている。引き続き葉たばこ生産者の活動支援を継続していきたい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き葉たばこ生産者の活動支援を継続していく。
--	--

事業	園芸振興事業	細事業	戦略品目産地化プロジェクト支援事業	実施計画事業	戦略品目産地化プロジェクト支援事業	終了年度	R5
----	--------	-----	-------------------	--------	-------------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興	期間	R3 年度 ~ R7 年度	戦略品目産地化プロジェクト支援事業補助金	1,150
項	1	施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興	期間	年度 ~ 年度		
目	4		後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	101						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 園芸重点品目の産地化及びブランド化を早期に図るための整備事業に対し補助金を交付するもの。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・産業用ドローン購入支援 ・地域資源(豚ふん堆肥)活用実証事業 ・堆肥散布機購入支援	R3	・夏秋なす施設整備 申請なし ・かんしょ貯蔵庫改修 1件	R3計画 375 当初予算 375 決算額 90				375	
	R4	・産業用ドローン購入支援(1件) ・地域資源(豚ふん堆肥)活用実証事業(美なす部会・ゴーヤ部会) ・堆肥散布機購入支援(市農林業振興公社)	R4計画 500 当初予算 1,150 決算額 1,704				500	
	R5		R5計画 2,129 当初予算 2,129 決算額				2,129	
	R6		R6計画 当初予算 決算額					
	R7		R7計画 当初予算 決算額					
	R3 ~ R7 合計			計画額 3,004 当初予算 3,654 決算額 1,794				3,004

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業申請事務 夏秋なす施設整備(2件) かんしょ貯蔵庫改修(3件)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		件	目標値	5	5	5		
		<input type="checkbox"/> 個別計画		件	実績値	1	5			
				%	達成率	20	100			
D 成果指標	1 補助金交付件数 補助金を交付した件数(補助事業実施により生産拡大に取り組んだ件数)	<input type="checkbox"/> 総合計画		件	目標値	5	5	5		
		<input type="checkbox"/> 総合戦略		件	実績値	1	5			
		<input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率	20	100			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 スマート農業の推進として白ねぎ農家1件が産業用ドローンの導入を行った。また、資材高騰により、肥料・農業の高騰も続いていることから、地域資源(豚ふん堆肥)活用実証事業としてJA美なす部会、ゴーヤ部会の有志の協力を得て、実証事業に取り組んだ。加えて堆肥散布にかかる作業受託を行うことを目的として、市農林業振興公社に堆肥散布機1台の導入支援を行った。  
 今後の課題として、スマート農業をはじめ、省力化機械整備の支援を積極的に行うため、引き続きJAの各部会等に幅広く事業推進(アナウンス)を行うことが重要と考えている。加えて、県、JAの各担当者とも情報共有しながら、事業推進を図っていきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 今後も確実な事業周知に努めながら、スマート農業をはじめ、省力化機械整備の支援を積極的に推進する。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	園芸振興事業	細事業	戦略品目産地化プロジェクト支援事業	実施計画事業	重量野菜省力化支援事業	終了年度	R5
----	--------	-----	-------------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (10)									
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち		個別計画名	第4次農業振興計画		令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興			期間	R3 年度 ~ R7 年度	重量野菜省力化支援事業補助金	348
項	1	施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興			期間	年度 ~ 年度		
目	4		後期基本計画 23 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	101								

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 高齢化等により重量物野菜の積み込み等の作業の軽減を図るための経費を補助する  <令和4年度の取組内容(計画)> アシストスーツ購入支援	R3	パワースーツ 3基導入	R3計画 500				500
			当初予算 500				500
			決算額 204				204
	R4	アシストスーツ購入支援:1件(さといも農家)	R4計画 500				500
			当初予算 348				348
			決算額 68				68
	R5		R5計画 500				500
			当初予算 413				413
			決算額				
	R6		R6計画				
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画				
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,500				1,500
			当初予算 1,261				1,261
			決算額 272				272

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業申請事務 コンテナ積み込みクレーン導入(1件) パワースーツ導入(2件)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		件	目標値	3	3	3		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	3	1			
		% 達成率	100		33.3					
D 成果指標	1 補助金交付件数 補助金を交付した件数(補助事業実施により生産拡大に取り組んだ件数)	<input type="checkbox"/> 総合計画		件	目標値	3	3	3		
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	3	1			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	33.3			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 園芸重点推進品目のうち、重量野菜であるかんしょ、さといもの生産振興を図るため、農作業の省力化を目的としたアシストスーツの導入推進を図った。令和4年度はさといも農家1件の導入支援を行った。予算規模としては5台分を確保し、かんしょ部会、さといも部会に導入支援のアナウンスを行ってきたが、実績として2か年で4基の導入にとどまっており、引き続き重量野菜生産者に対してアナウンスをしっかりと行っていきたい。また、各メーカーから新しい機種も続々とリリースされていることから、栽培講習会などの際に機種説明等も改めて実施していきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 今後も確実な事業周知に努めながら、アシストスーツ等の導入を推進する。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	園芸振興事業	細事業	戦略品目産地化プロジェクト支援事業	実施計画事業	労働環境改善補助事業	終了年度	R5
----	--------	-----	-------------------	--------	------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興				
目	4	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	101			期間	年度 ~ 年度		

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 圃場等で行う農作業等の労働環境改善を行うための経費を補助する  <令和4年度の実績内容(計画)> 簡易トイレ設置	R3	簡易トイレ設置 0箇所	R3計画 300 当初予算 300 決算額				300	
	R4	簡易トイレ設置:2か所	R4計画 300 当初予算 438 決算額 176				300	
	R5		R5計画 300 当初予算 300 決算額				300	
	R6		R6計画 当初予算 決算額					
	R7		R7計画 当初予算 決算額					
	R3 ~ R7 合計			計画額 900 当初予算 1,038 決算額 176				900

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業申請事務	簡易トイレ設置支援(3件)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値 3 実績値 2 達成率 66.7%	3	3	3	
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率 66.7%				
D 成果指標	1 補助金交付件数	補助金を交付した件数(補助事業実施により生産拡大に取り組んだ件数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値 3 実績値 2 達成率 66.7%	3	3	3	
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 簡易トイレの整備など労働環境改善を目的とした「労働環境改善支援事業」を実施した。令和4年度において2か所(2件)の整備ができ、労働環境改善が図られ、特に女性労働者に対する環境整備が進んだことは一定の評価ができる。令和5年度においても簡易トイレ設置に対する相談はいただいており、引き続き、労働環境改善の取り組みを推進していきたい。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き、簡易トイレ設置等の労働環境改善の取り組みを推進していく。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	経営所得安定対策等交付金事業	細事業	経営所得安定対策等推進事業	実施計画事業	経営所得安定対策等推進事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (19)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市水田収益力強化 ビジョン 期間 R3 年度 ~ 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称 経営所得安定対策等推進事業補助金 15,050
款	6	施策 1 農業の振興			
項	1	施策展開 ②収益力の向上をめざした生産振興			
目	5	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	102				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 経営所得安定対策等交付金事業の実施(米の生産調整等)</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 経営所得安定対策等の実施 ・畑作物の直接支払交付金事務 ・水田活用の直接支払交付金事務 ・水田・畑作経営所得安定対策事務(収入減少影響緩和対策)</p>	R3	経営所得安定対策等の実施 ・畑作物の直接支払交付金事務 ・水田活用の直接支払交付金事務 ・水田・畑作経営所得安定対策事務(収入減少影響緩和対策)	R3計画 20,000	20,000			
			当初予算 20,000	20,000			
			決算額 15,596	15,596			
	R4	経営所得安定対策等の実施 ・畑作物の直接支払交付金事務 ・水田活用の直接支払交付金事務 ・水田・畑作経営所得安定対策事務(収入減少影響緩和対策)	R4計画 15,000	14,000			1,000
			当初予算 15,050	15,050			
			決算額 15,665	15,665			
	R5		R5計画 14,000	13,000			1,000
			当初予算 15,050	15,050			
			決算額				
	R6		R6計画 13,000	12,000			1,000
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 13,000	12,000			1,000
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 75,000	71,000			4,000
			当初予算 50,100	50,100			
			決算額 31,261	31,261			

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 説明会の開催	説明会の回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1	18			
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
D 成果指標	1 米の生産調整の達成率	達成率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100	100			
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
					達成率	100	100				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点
			25点		25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
米の生産調整である必要に応じた主食用水稲の作付け計画は達成できた。経営所得安定対策推進事務において、営農計画書及び交付申請書の配布と回収、電算入力、転換作物の現地確認と電算入力等の業務及び農政局への報告及び申請業務は問題無く完了した。また、令和4年度から水田協力員を廃止した代わりに、「交付金取扱者説明会」及び「営農計画書相談会」をそれぞれの対象者・町毎に開催し、制度の周知や営農計画書の配布・回収、農地等に対する相談を行った。今後も、「交付金取扱者説明会」及び「営農計画書相談会」を継続して実施したいが、市全域を対象とした開催にするのか、令和4年度と同様に町毎の開催にするのか、開催回数や開催時間等を検討していく。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
今後も、「交付金取扱者説明会」及び「営農計画書相談会」を継続して実施したいが、市全域を対象とした開催にするのか、令和4年度と同様に町毎の開催にするのか、開催回数や開催時間等を検討していく。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	中山間地域等直接支払事業	細事業	中山間地域等直接支払推進事業	実施計画事業	中山間地域等直接支払推進事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	----------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (46)												
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち					第4次豊後大野市農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	6	施策	1 農業の振興						消耗品費	621		
項	1	施策展開	⑦地域資源を活かした農村づくり						機械器具費	415		
目	6	後期基本計画	24	P	<input checked="" type="checkbox"/>	過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	通信運搬費
決算	103								中山間データ更新委託料	154		

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 中山間地域等、耕作の条件不利地において、集落協定等を締結し、5年間に上継続して農業生産活動を行う農業者等に対し、田・畑別、傾斜別に単価を設定して直接支払交付金を交付する。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; 各協定を対象とした説明会を年1回開催するとともに、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募る。 また、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書類による審査を行う。</p>	R3	各協定を対象とした説明会を開催するよう準備を進めたが、コロナ禍により中止した。代わりに資料配付を行い、電話や面談などで協定からの質疑に答えることで制度の周知を図った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。その他、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書類による審査を行った。	R3計画 1,155	568			587
		当初予算	1,155	568			587
		決算額	1,144	568			576
	R4	令和4年度も各協定を対象とした説明会を開催するよう準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症拡大の観点から開催を中止した。代わりに資料配付を行い、電話や面談などで協定からの質疑に答えることで制度の周知を図った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。その他、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書類による審査を行った。	R4計画 1,000	500			500
		当初予算	1,587	784			803
		決算額	1,559	763			796
	R5		R5計画 1,000	500			500
		当初予算	1,182	581			601
		決算額					
	R6		R6計画 1,000	500			500
	当初予算						
	決算額						
R7		R7計画 1,000	500			500	
	当初予算						
	決算額						
		R3 ~ R7 合計	計画額 5,155	2,568			2,587
			当初予算 3,924	1,933			1,991
			決算額 2,703	1,331			1,372

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 説明会の開催及び広報活動	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	回	目標値	3	3	3	3	3
					実績値	3	3			
					% 達成率	100	100			
2 実施状況の確認	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2	
				実績値	2	2				
				% 達成率	100	100				
D 成果指標	1 協定農用地	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	2,386	ha	目標値	2,388	2,390	2,390	2,391	2,391
					実績値	2,419	2,407			
					% 達成率	101.3	100.7			
					2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画				
					目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	20点	3点	20点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 第5期対策3年目が終了し、制度について概ね周知ができていると思われる。しかし、未だに集落協定内での争議で苦情や相談を受けることから、本制度の徹底や地域内での合意形成の重要性を協定役員等に対して説明していきたい。 また、新規に取り組む意向がある地域に対して必要な支援を行うことで、耕作放棄を防止し農用地の減少を防止していきたい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 集落協定内での争議で苦情や相談を受けることから、本制度の徹底や地域内での合意形成の重要性を協定役員等に対して説明していく。 また、新規に取り組む意向がある地域に対して必要な支援を行うことで、耕作放棄を防止し農用地の減少を防止していきたい。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	中山間地域等直接支払事業	細事業	中山間地域等直接支払交付金	実施計画事業	中山間地域等直接支払交付金事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	---------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (46)												
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち					第4次豊後大野市農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	6	施策	1 農業の振興						中山間地域等直接支払交付金	424,196		
項	1	施策展開	⑦地域資源を活かした農村づくり									
目	6		後期基本計画	24	P	<input checked="" type="checkbox"/>	過疎計画		<input checked="" type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	103											
A 事業目的・内容・実績									B 事業計画額・決算額等			

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 中山間地域等、耕作の条件不利地において、集落協定等を締結し、5年間以上継続して農業生産活動を行う農業者等に対し、田・畑別、傾斜別に単価を設定して直接支払交付金を交付する。  <令和4年度の取組内容(計画)> 各協定を対象とした説明会を年1回開催するとともに、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募る。 また、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書類による審査を行う。	R3	各協定を対象とした説明会を開催するよう準備を進めたが、コロナ禍により中止した。代わりに資料配付を行い、電話や面談などで協定からの質疑に答えることで制度の周知を図った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。その他、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書類による審査を行った。	R3計画 398,619	298,963			99,656
	当初予算	398,619	298,963			99,656	
	決算額	414,218	310,663			103,555	
	R4	令和4年度も各協定を対象とした説明会を開催するよう準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症拡大の観点から開催を中止した。代わりに資料配付を行い、電話や面談などで協定からの質疑に答えることで制度の周知を図った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。その他、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書類による審査を行った。	R4計画 414,500	310,875			103,625
	当初予算	424,196	318,146			106,050	
	決算額	414,584	310,938			103,646	
	R5		R5計画 415,000	311,250			103,750
	当初予算	424,161	318,120			106,041	
	決算額						
	R6		R6計画 415,000	311,250			103,750
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 415,000	311,250			103,750
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 2,058,119	1,543,588			514,531
			当初予算 1,246,976	935,229			311,747
			決算額 828,802	621,601			207,201

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 説明会の開催及び広報活動	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	回	目標値	3	3	3	3	3
					実績値	3	3			
					% 達成率	100	100			
2 実施状況の確認	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2	
				実績値	2	2				
				% 達成率	100	100				
D 成果指標	1 協定農用地	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	2,386	ha	目標値	2,388	2,390	2,390	2,391	2,391
					実績値	2,419	2,407			
					% 達成率	101.3	100.7			
					2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画				
E 評価対象外の理由						O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)				

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	23点	23点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</b> 令和4年度は全体の面積は令和3年度の2,419haから12ha減少し2,407haとなった。ただし、新たに加算等に取り組む集落協定があり交付金額は令和3年度の414,504千円から220千円増加の414,584千円となった。引き続き本制度への取組参加について市民に向け周知をしていきたい。 また、集落協定を対象とした説明会について、新型コロナウイルス感染症対策によりR3年度及びR4年度は中止とし、制度説明の文書を発送することでそれに代えた。今後は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したため、再び説明会を開催し制度の周知を図りたい。	<b>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</b> 集落協定内での争議で苦情や相談を受けることから、本制度の徹底や地域内での合意形成の重要性を協定役員等に対して説明していく。 また、新規に取り組む意向がある地域に対して必要な支援を行うことで、耕作放棄を防止し農用地の減少を防止していきたい。
--	---

事業	農業施設管理事業	細事業	農業施設管理事業	実施計画事業	農業施設管理事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (50)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 第4次豊後大野市農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称 江府原公園外灯LEDソーラー取付工事 緒方江府原公園水源移設等工事請負費 三重農村環境改善センター指定管理委託料 千歳農村環境改善センター施設管理委託料	当初予算額 3,685 3,102 2,000 1,309
款	6	施策 1 農業の振興				
項	1	施策展開 ⑦地域資源を活かした農村づくり				
目	7	後期基本計画 24 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	104					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 施設の適切な管理運営を図る。  <令和4年度の取組内容(計画)> 農業施設の維持管理 【対象施設】 ・農村環境改善センター ・農村環境改善センター ①三重農村環境改善センター(指定管理) ②千歳農村環境改善センター ・農村公園 ①緒方江府原公園(外灯LEDソーラー工事・ポーリング及び水源移設工事) ②緒方中央農村公園 ③千歳農村公園 ・農林水産物直売所 ①千歳特産物直売所	R3	農業施設の維持管理 【対象施設】 ・農村環境改善センター ①三重農村環境改善センター(指定管理) ②千歳農村環境改善センター ・農村公園 ①緒方江府原公園 ②緒方中央農村公園 ③千歳農村公園 ・農林水産物直売所 ①千歳特産物直売所 施設の修繕 ・千歳農村環境改善センター(空調機器及び玄関ボーヤ柱) 2,119,700円 施設の工事 ・千歳特産物直売所浄化槽設置工事 11,770,000円	R3計画 6,050			164	5,886
			当初予算 6,011			152	5,859
			決算額 19,333			169	19,164
	R4	農業施設の維持管理 【対象施設】 ・農村環境改善センター ①三重農村環境改善センター(指定管理) ②千歳農村環境改善センター ・農村公園 ①緒方江府原公園 ②緒方中央農村公園 ③千歳農村公園 ・農林水産物直売所 ①千歳特産物直売所 施設の修繕 ・江府原農村公園(外灯LED設置工事・水廻り等工事) 5,999,400円 ・千歳農村公園(広木伐採・解体撤去委託・施設設計委託・浄化槽清掃委託・解体撤去工事) 10,000円 ・緒方中央公園(駐車場区画編成工事) 140,800円	R4計画 6,050		5,000	164	5,886
			当初予算 12,721			168	7,553
			決算額 22,704			11,021	11,683
	R5		R5計画 6,050			164	5,886
			当初予算 66,263			5,168	61,095
			決算額				
	R6		R6計画 6,050			164	5,886
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 6,050			164	5,886	
		当初予算					
		決算額					
		計画額 30,250			820	29,430	
		当初予算 84,995	5,000		5,488	74,507	
		決算額 42,037			11,190	30,847	
		R3 ~ R7 合計					

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 1 農業施設の管理	法定検査等各施設の点検を実施し、施設の安全かつ適正な管理に努める。※浄化槽法定検査×3、浄化槽維持管理×3、遊具点検×1、水質検査×1、消防設備点検×1、自家用電気工作物点検×1	<input type="checkbox"/> 総合戦略	10	件	目標値	10	10	10	10	10
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	10	10			
		% 達成率			100	100				
D 1 農業用施設修繕料の抑制	修繕の効果を検証し、適切な予算執行に努め、必要な分のみ修繕を行う。	<input type="checkbox"/> 総合計画	127	千円	目標値	300	300	300	300	300
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	2,414	261			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	804.7	87			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 令和4年度においては、大分県が実施する大野川護岸工事に伴う公園内施設の移設のための撤去工事や、移設施設の設計などを行った。また、老朽化していた農村公園内の設備等を更新する工事を行った。  
 令和5年度には千歳農村公園内に新たな施設を建設する。  
 今後も施設毎に利用状況や必要性等を検証する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 今後も施設毎に利用状況や必要性等を検証し、適正な維持管理に努める。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	道の駅等管理運営事業	細事業	道の駅等管理事業	実施計画事業	道の駅等管理事業	終了年度	なし
----	------------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (98)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	豊後大野市観光振興ビジョン 期間 H30 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	5 観光の振興				
項	1	施策展開	③観光拠点の整備・活用				
目	8	後期基本計画	32 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	105					道の駅あさじ施設整備改修工事 申請費	18,000
						道の駅原尻の滝施設整備改修工事 申請費	17,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 一般道路の利用者等に対し、良好な休憩の場及び道路情報を提供するとともに、観光等の情報発信や地場産品の販売等を通じ、広域的な交流の促進及び市内の産業振興を図るための拠点として、道の駅を設置するものである。 (道の駅) 道の駅みえ、道の駅きよかわ、道の駅原尻の滝、道の駅あさじ及び道の駅おの(里の駅) やすらぎ交差点</p> <p>※令和2年度に長寿命化計画を策定したので、その結果に基づいて令和4年度以降に改修となるため、令和4年度以降の計画額は増となる。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ○道の駅(5駅) 合同イベントの実施による誘客 ○道の駅原尻の滝及び道の駅あさじの電気設備等改修 ○必要に応じ適宜修繕</p>	R3	<input type="checkbox"/> 指定管理料の支出 <input type="checkbox"/> 道の駅(5駅) 合同イベントの実施による誘客 <input type="checkbox"/> 道の駅おのの駐車場改修工事 <input type="checkbox"/> 必要に応じ適宜修繕 <input type="checkbox"/> コロナ禍に対応した指定管理施設緊急運営負担金の支出
	R4	<input type="checkbox"/> 道の駅(5駅) 合同イベントの実施による誘客 <input type="checkbox"/> 道の駅原尻の滝及び道の駅あさじの電気設備等改修 <input type="checkbox"/> 必要に応じ適宜修繕
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	39,242			39,242
当初予算	34,242			34,242
決算額	71,678		30	71,648
R4計画	75,889			75,889
当初予算	75,889	1,000	1,000	73,889
決算額	82,698	700	979	81,019
R5計画	50,000			50,000
当初予算	54,027			54,027
決算額				
R6計画	50,000			50,000
当初予算				
決算額				
R7計画	50,000			50,000
当初予算				
決算額				
計画額	265,131			265,131
当初予算	164,158	1,000	1,000	162,158
決算額	154,376	700	1,009	152,667

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 道の駅等管理事業 指定管理者数(道の駅・里の駅)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	6	社	目標値	6	6	6	6	6
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	6	6			
		% 達成率			100	100				
D 成果指標	1 レジ客数 道の駅(観光入込客数の1/2)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	65	万人	目標値	70	72	75	78	82.5
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	63	62			
		% 達成率			90	86.1				
2 農産物販売額 道の駅		<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	4.3	億円	目標値	4.5	4.6	4.7	4.8	5
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	4.1	4.2			
		% 達成率			91.1	91.3				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	16点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			19点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
令和4年度においてもコロナ取束の兆しが見えない中、特に夏場の第7波や年末年始の第8波など、引き続き厳しい状況下にあったが、令和2年度と令和3年度に支出した緊急運営負担金を支出することなくそれぞれの指定管理者の経営努力で年度末まで頑張っていた。市としては、施設長寿命化計画に基づく大規模改修を、令和4年度から本格的に開始するほか、集客力の落ちる冬季に道の駅合同イベントへの補助金を交付するなどして、市民共通の財産であり地域活性化の拠点でもある道の駅の運営を支援してきた。令和5年度も引き続き物価高騰の厳しい経営環境の中での運営となりそうであるが、地域の雇用や農産物出荷者の生活を守るためにも引き続き指定管理者による管理運営を継続していく必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
道の駅の設置者である市として引き続き施設の適正な維持・管理を行う必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性

⇒ A. 現状のまま継続

事業	畜産業振興事業	細事業	組織育成対策事業	実施計画事業	和牛振興会補助事業	終了年度	なし
----	---------	-----	----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No. (26)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興		期間	年度 ~ 年度		
項	2	施策展開	③畜産業を支援する		期間	年度 ~ 年度		
目	1		後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	106							

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 和牛振興会の実施する研修会、振興大会等の経費を含む運営に対し支援し、本市の和牛繁殖農家の飼養技術の向上と生産意欲の高揚を図ることを目的とする。  <令和4年度の取組内容(計画)> 令和4年度計画 飼養技術研修会 各共進会参加 等	R3	飼養技術研修会の実施 各種研修会への参加 全共候補牛巡回指導 等	R3計画 570 当初予算 570 決算額 570				570	
	R4	飼養技術研修会の実施 各種研修会への参加 各共進会参加 等	R4計画 570 当初予算 570 決算額 570				570	
	R5		R5計画 570 当初予算 570 決算額 570				570	
	R6		R6計画 570 当初予算 決算額				570	
	R7		R7計画 570 当初予算 決算額				570	
	R3 ~ R7 合計			計画額 2,850 当初予算 1,710 決算額 1,140				2,850 1,710 1,140

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 研修会等の実施 2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	5	10			
					% 達成率	250	500			
D 成果指標	1 - 2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点
		14点 / 25点	14点 / 25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 新型コロナウイルスの影響で和牛振興大会の開催は見送ったが、飼養技術研修会の実施、各種研修会への参加、各共進会への参加等の活動は実施した。和牛農家の現状での課題は、後継者不足、高齢化による農家戸数の減少である。後継者に関しては、大規模農家の子弟が就農するものの新規就農者は厳しい状況にある。今後もヘルパー制度の活用や農業大学校生への働き掛けを行ないながら新規就農者の確保に努めるとともに、和牛振興会の組織強化を通じ個々の農家の経営規模拡大、経営基盤強化を進め後継者の就農を促進する。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 今後も和牛振興会の組織強化を通じ、個々の農家の経営規模拡大、経営基盤強化を進め後継者の就農を促進する。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	畜産業振興事業	細事業	組織育成対策事業	実施計画事業	酪農組合補助事業	終了年度	なし
----	---------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興		期間	年度 ~ 年度	酪農組合補助金	50
項	2	施策展開	③畜産業を支援する					
目	1	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	106							

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 酪農組合の実施する研修会等の経費を含む運営に対し支援し、本市の酪農家の飼養技術の向上と生産意欲の高揚を図ることを目的とする。  <令和4年度の取組内容(計画)> 令和4年度計画 飼養技術研修会 等	R3	飼養技術研修会の実施	R3計画 50				50
			当初予算 50				50
			決算額 50				50
	R4	飼養技術研修会の実施	R4計画 50				50
			当初予算 50				50
			決算額 50				50
	R5		R5計画 50				50
			当初予算 50				50
			決算額				
	R6		R6計画 50				50
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 50				50
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 250				250
			当初予算 150				150
			決算額 100				100

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 研修会等の実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1			
					% 達成率	100	100			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	12点	3点	12点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 飼養技術研修会を実施した。本市の酪農業最大の課題は農家戸数の減少であり、現在の酪農家は1戸となった。酪農家の支援を継続していかなければならない。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市内の酪農家は1戸まで減少している。今後の支援策を十分に検討する。
--	--

事業	畜産業振興事業	細事業	各共進会对策事業	実施計画事業	各共進会对策事業	終了年度	なし
----	---------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興		期間	年度	～	年度	共進会出品補助金	5,535
項	2	施策展開	③畜産業を支援する		期間	年度	～	年度		
目	1	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当							
決算	106									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 市・県共進会に牛を出品する経費に対し支援し、出品農家の負担軽減と共進会参加に対する意識の高揚を図ることを目的とする  <令和4年度の取組内容(計画)> 市・県共進会及び全国共進会に出品	R3	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため肉用牛の部、乳牛の部は中止、肉牛の部のみ開催され4頭出品した。	R3計画 3,085				3,085	
			当初予算	3,085				3,085
			決算額	91				91
	R4	全共へ1頭、県共へ7頭出品。全共では優等賞7席。県共では2頭が最優秀賞主席となった。	R4計画 3,085				3,085	
			当初予算	5,535				5,535
			決算額	2,689				2,689
	R5		R5計画 3,085				3,085	
			当初予算	2,576				2,576
			決算額					
	R6		R6計画 3,085				3,085	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 3,085				3,085	
			当初予算					
		決算額						
		R3～R7合計	計画額 15,425				15,425	
			当初予算 11,196				11,196	
			決算額 2,780				2,780	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
					%	達成率					
D 成果指標	1 事業量	<input type="checkbox"/> 総合計画		4	頭	目標値	4	24	24	24	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	4	7			
		<input type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率	100	29.2		
2-	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値						
	<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値						
	<input type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	14点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	／25点	3点
			／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 全共へ1頭、県共へ7頭出品し、全共では優等賞7席、県共では2頭が最優秀賞主席となり優秀な成績を収めることができた。共進会は農家の和牛改良推進と生産意欲向上に欠かせないものであるため、今後とも支援を行う。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 共進会の支援を通じ、優良牛の育成を促す。
--	--

事業	畜産業振興事業	細事業	畜産業振興事務費	実施計画事業	畜産業振興事務事業	終了年度	なし
----	---------	-----	----------	--------	-----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興		期間	年度 ~ 年度	畜産センター運営負担金	1,000
項	2	施策展開	③畜産業を支援する				普通旅費	497
目	1	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				燃料費	283
決算	106						和牛検査場管理委託料	193

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 畜産センターの運営や和牛検査場の管理を行うことにより、円滑な畜産業振興を図ることを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; 令和4年度計画 畜産センター運営負担金 1,000千円 和牛検査場管理委託料 193千円 等</p>	R3	畜産センター運営負担金 702千円 燃料費 262千円 等	R3計画 2,330				2,330
			当初予算 2,330				2,330
			決算額 2,113				2,113
	R4	畜産センター運営負担金 665千円 燃料費 268千円 等	R4計画 2,330				2,330
			当初予算 2,630				2,630
			決算額 1,472				1,472
	R5		R5計画 2,330				2,330
			当初予算 2,246				2,246
			決算額				
	R6		R6計画 2,330				2,330
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 2,330				2,330
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 11,650				11,650
			当初予算 7,206				7,206
			決算額 3,585				3,585

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値						
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
	<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値						
	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率						

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	3点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点	3点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点	4点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	10点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	10点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 畜産振興に係る事務的予算であるが、今後とも事務事業を精査し費用対効果が得られる効率的な事務の執行を行う。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 畜産振興に係る事務的予算である。率的な事務の執行に努める。
---	---

事業	乳・肉用牛改良促進事業	細事業	種雄牛造成推進事業	実施計画事業	種雄牛造成推進事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (26)		個別計画名	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	
款	6	施策	1 農業の振興	種雄牛造成推進事業補助金 150
項	2	施策展開	③畜産業を支援する	
目	1	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	108			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 肉用牛改良組合が認定する指定牛に指定交配を行うに当たり、指定交配種付け助成を行うことにより、種雄牛造成の推進と畜産農家の和牛改良意識の高揚を図ることを目的とする。	R3	対象牛がおらず実績は0頭です。	R3計画 150				150
			当初予算 150				150
			決算額				
	R4	対象牛がおらず実績は0頭です。	R4計画 150				150
			当初予算 150				150
			決算額				
	R5		R5計画 150				150
			当初予算 150				150
			決算額				
	R6		R6計画 150				150
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 150				150
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 750				750
			当初予算 450				450
			決算額				

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 事業量	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値	5	5	5	5	5
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	3点	8点	3点	10点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	1点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	1点		1点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 R4は対象牛がいなかったが、必要な事業であるため継続したい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 優秀な県有種雄牛の育成は大きな課題である。今後も継続的に取り組む。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	乳・肉用牛改良促進事業	細事業	優良雌牛確保対策事業	実施計画事業	優良雌牛確保対策事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (22)											
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち					個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	6	施策	1 農業の振興						優良雌牛確保対策事業補助金	10,000	
項	2	施策展開	③畜産業を支援する								
目	1	後期基本計画	23	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	108										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 和牛繁殖農家の雌牛導入及び自家保留に対し支援することにより、飼養頭数の維持、増頭を目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度取組内容(計画)&gt; ①指定牛及び高育種価牛の導入及び自家保留に対し1頭あたり100千円を助成 ②①以外の導入及び自家保留に対し1頭あたり50千円を助成 令和4年度計画 ①77頭 ②77頭</p>	R3	①系統牛、指定牛及び高育種価牛の導入及び自家保留に対し1頭あたり100千円を助成 ②①以外の導入及び自家保留に対し1頭あたり50千円を助成 令和3年度実績 ①86頭 ②52頭	R3計画 10,000 当初予算 10,000 決算額 11,200				10,000	
	R4	①系統牛、指定牛及び高育種価牛の導入及び自家保留に対し1頭あたり100千円を助成 ②①以外の導入及び自家保留に対し1頭あたり50千円を助成 令和4年度実績 ①58頭 ②50頭	R4計画 10,000 当初予算 10,000 決算額 8,300				10,000	
	R5		R5計画 10,000 当初予算 13,500 決算額				10,000	
	R6		R6計画 10,000 当初予算 決算額				10,000	
	R7		R7計画 10,000 当初予算 決算額				10,000	
	R3 ~ R7 合計			計画額 50,000 当初予算 33,500 決算額 19,500				50,000

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 事業量	<input type="checkbox"/> 総合計画	103	頭	目標値	150	150	150	150	150
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	138	108			
	<input type="checkbox"/> 個別計画	達成率			92	72				
	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値								
		<input type="checkbox"/> 個別計画	達成率							

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	14点	3点	14点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
農家は高育種価牛の導入保留に努めたが計画頭数には届かなかった。この事業は県の増頭事業の補完事業として実施しており、一戸あたりの平均飼養頭数の増加に大きく影響している事業であると認識しているため、今後も継続していきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
一戸あたりの平均飼養頭数の増加に大きく影響している事業であるため、今後も継続していきたい。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
101004	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	農業振興課	係名	畜産振興係
-----	-------	----	-------

事業	乳・肉用牛改良促進事業	細事業	優良乳用牛導入事業	実施計画事業	優良乳用牛導入事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (26)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち				
款	6	施策	1 農業の振興				
項	2	施策展開	③畜産業を支援する				
目	1	後期基本計画	23	P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	108						

個別計画名	期間	年度	～	年度
	期間	年度	～	年度

令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
優良乳用牛導入事業補助金	1,200

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 高能力な初任牛を県外から購入し個々の経営内の改良増殖に対し支援し、経営の安定強化を図ることを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度取組内容(計画)&gt; 導入金額が600千円以上のものに対し、購入価格の30%以内で助成する。助成上限1頭あたり300千円 令和4年度計画4頭</p>	R3	R3導入実績無し。	R3計画 1,350				1,350
			当初予算 1,350				1,350
			決算額				
	R4	R4導入実績無し。	R4計画 1,350				1,350
			当初予算 1,200				1,200
			決算額				
	R5		R5計画 1,350				1,350
			当初予算 1,200				1,200
			決算額				
	R6		R6計画 1,350				1,350
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 1,350				1,350
			当初予算				
		決算額					
		R3～R7合計	計画額 6,750				6,750
			当初予算 3,750				3,750
			決算額				

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値					
D 成果指標	1 事業量	助成頭数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	頭	目標値	5	5	5	5	5
						実績値					
						達成率					
	2-		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						達成率					

E 評価対象外の理由	O 評価対象	(対象外事業はF～I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	2点	2点	2点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1点	10点	10点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	2点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 R4は導入実績がありませんでしたが、戸数の減少が著しい酪農家を支える重要な事業として、今後も継続していきたい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 酪農家を支える重要な事業として、今後も継続していきたい。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業	経営基盤強化対策事業	細事業	畜産経営基盤強化事業	実施計画事業	畜産経営基盤強化事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (26)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興		期間	年度 ~ 年度		
項	2	施策展開	③畜産業を支援する					
目	1		後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>					
決算	109							

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 国及び県の補助事業に該当するものを除き、畜産農家又は営農集団に、施設の新築、改造及び増築、家畜排せつ物処理施設の設置及び機械導入並びに飼料生産用機械導入に要する経費を支援し、畜産農家の経営基盤強化を目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度取組内容(計画)&gt; 事業費の1/2を補助、補助上限700千円 令和4年度計画 施設整備 19件 機械整備 7件</p>	R3	施設整備10件 機械整備11件	R3計画 14,415 当初予算 14,415 決算額 10,232				14,415	
	R4	施設整備 9件 機械整備 9件	R4計画 15,000 当初予算 15,765 決算額 9,852				15,000	
	R5		R5計画 15,000 当初予算 17,150 決算額				15,000	
	R6		R6計画 15,000 当初予算 決算額				15,000	
	R7		R7計画 15,000 当初予算 決算額				15,000	
	R3 ~ R7 合計			計画額 74,415 当初予算 47,330 決算額 20,084				74,415

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 事業量	<input type="checkbox"/> 総合計画	23	件	目標値	28	30	30	30	30
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	21	18			
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	75	60			
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	15点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	15点	4点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 本事業は、国県補助事業に該当しないものを補完する事業であり、国県補助事業の要件である大規模農家に該当しない中小規模農家の多い本市で、中小規模農家の経営改善に大きく寄与するものです。今後とも継続して事業を行い農家を支援していきたい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 中小規模農家の経営改善に大きく寄与しており、今後とも支援を継続していきたい。
--	--

事業	経営基盤強化対策事業	細事業	乳用牛保留事業	実施計画事業	乳用牛保留事業	終了年度	なし
----	------------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.→ (26)														
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち					個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称 乳用牛保留事業補助金	当初予算額 500				
款	6	施策	1 農業の振興											
項	2	施策展開	③畜産業を支援する											
目	1	後期基本計画	23	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>				総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	109													

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 乳牛飼養農家で生産された乳用牛を自家保留し、育成牛として飼養管理に要する経費の一部を支援し、経営の安定化を図ることを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 自家保留1頭につき50千円助成 令和4年度計画10頭</p>	R3	自家保留1頭につき50千円助成 令和3年度実績9頭	R3計画 750				750
			当初予算 750				750
			決算額 526	138			388
	R4	自家保留1頭につき50千円助成 令和4年度実績15頭	R4計画 500				500
			当初予算 500				500
			決算額 750				750
	R5		R5計画 500				500
			当初予算 750				750
			決算額				
	R6		R6計画 500				500
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 500				500
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 2,750				2,750
			当初予算 2,000				2,000
			決算額 1,276	138			1,138

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 事業量	助成頭数	<input type="checkbox"/> 総合計画	7	頭	目標値	15	10	10	10
			<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	9	15		
			<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	60	150		
	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	12点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 本事業は農家戸数の減少著しい酪農家を支える重要な事業と位置づけている。事業規模は小さいが、今後も継続していきたい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 酪農家を支える重要な事業と位置づけている。今後も継続していきたい。
--	---

事業	経営基盤強化対策事業	細事業	肉用牛生産基盤拡大緊急支援事業	実施計画事業	繁殖雌牛安定生産対策事業	終了年度	なし
----	------------	-----	-----------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (22)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興		期間	年度 ~ 年度		
項	2	施策展開	③畜産業を支援する		期間	年度 ~ 年度		
目	1	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	109							

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 繁殖雌牛の増頭を行う際の経費の一部を支援し、「おおいた豊後牛」のうち、より高品質な牛肉である「おおいた和牛」の生産基盤を強化することを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 繁殖雌牛の増頭1頭あたり105千円補助 令和4年度計画90頭</p>	R3	繁殖雌牛の増頭1頭あたり105千円補助 令和3年度実績56頭	R3計画 6,300 当初予算 6,300 決算額 5,880	3,150			3,150	
	R4	繁殖雌牛の増頭1頭あたり105千円補助 令和4年度実績47頭	R4計画 6,300 当初予算 6,300 決算額 4,935	3,150			3,150	
	R5		R5計画 6,300 当初予算 9,450 決算額	3,150			9,450	
	R6		R6計画 6,300 当初予算 決算額	3,150			3,150	
	R7		R7計画 6,300 当初予算 決算額	3,150			3,150	
	R3 ~ R7 合計			計画額 31,500 当初予算 22,050 決算額 10,815	15,750			15,750 15,750 5,407

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 事業量	<input type="checkbox"/> 総合計画	68	頭	目標値	60	60	60	60	60
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	56	47			
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	93.3	78.3			
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	16点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	／25点	4点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 本事業は県単の増頭事業であり、補助要件に高育種価要件があり、市内農家の高育種価牛の導入推進に好影響を与えているため、今後も継続していきたい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市内農家の高育種価牛の導入推進に好影響を与えているため、今後も継続していきたい。
---	--

事業	農道維持管理事業	細事業	農道維持管理事業	実施計画事業	農道維持管理事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (41)		個別計画名	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	期間	農道維持補修工事請負費	3,000
款	6	年度	通信運搬費	1,328
項	3	年度	農業水利施設管理道路管理委託料	600
目	1	年度	非常用設備点検委託料	1,672
決算	110			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 農道の適正な維持管理により、農耕車両及び一般通行車両等通行者が安全に通行できる状態を確保する。</p> <p>&lt;令和4年度取組内容(計画)&gt; ・農道除草作業委託(1路線 延長L=1,440m) ・農道維持補修工事 ・農業水利施設管理道路管理委託</p>	R3	・農道除草作業委託(1路線 延長L=1,440m) ・農道維持補修工事 ・農業水利施設管理道路管理委託	R3計画 6,334 当初予算 6,334 決算額 5,332			1,076	5,258	
	R4	・農道除草作業委託(1路線 延長L=1,440m) ・農道維持補修工事 ・農業水利施設管理道路管理委託	R4計画 6,334 当初予算 7,801 決算額 5,841			1,076	5,258	
	R5		R5計画 6,334 当初予算 6,945 決算額			1,076	5,258	
	R6		R6計画 6,334 当初予算 決算額			1,076	5,258	
	R7		R7計画 6,334 当初予算 決算額			1,076	5,258	
	R3 ~ R7 合計			計画額 31,670 当初予算 21,080 決算額 11,173			5,380	26,290

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 農道維持管理事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	6,334	千円	目標値	6,334	6,334	6,334	6,334	6,334
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	5,332	5,841			
		% 達成率			84.2	92.2				
D 成果指標	1 農道維持管理事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	6,334	千円	目標値	6,334	6,334	6,334	6,334	6,334
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	5,332	5,841			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	84.2	92.2			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
遠隔地の市管理農道における土砂撤去、除雪、溶解剤散布等の維持管理及び農道施設の点検等対応。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
農道施設の維持管理に必要である。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	農道維持管理事業	細事業	原材料支給事業	実施計画事業	原材料支給事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------	--------	---------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額		
款	6	施策	1 農業の振興		期間	年度	～	年度			原材料費(地元申請支給分)	18,000
項	3	施策展開	⑥農業生産基盤を整備する		期間	年度	～	年度				
目	1		後期基本計画 24 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当									
決算	110											

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 既存農業者の意欲向上や新規就農を支援するため、ほ場、農道、用排水施設などの農業生産基盤を整備し、生産性向上による農業の競争力強化を図ります。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 原材料支給 農業用施設に対する原材料支給 (2戸以上の共同で施行されるもの) 45地区×400千円</p>	R3	原材料支給 農業用施設に対する原材料支給 (2戸以上の共同で施行されるもの) 38件	R3計画 18,000 当初予算 18,000 決算額 12,785		17,100		900	
	R4	原材料支給 農業用施設に対する原材料支給 (2戸以上の共同で施行されるもの) 39地区実施	R4計画 18,000 当初予算 18,000 決算額 13,128		17,100		900	
	R5		R5計画 18,000 当初予算 16,000 決算額		17,100	15,200	800	
	R6		R6計画 18,000 当初予算 決算額		17,100		900	
	R7		R7計画 18,000 当初予算 決算額		17,100		900	
	R3 ~ R7 合計			計画額 90,000 当初予算 52,000 決算額 25,913		85,500	49,400	4,500
						25,100		813

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 原材料費	総事業費	18,000	千円	目標値	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
					実績値	12,785	13,128			
					% 達成率	71	72.9			
D 成果指標	1 原材料費	総事業費	18,000	千円	目標値	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
					実績値	12,785	13,128			
					% 達成率	71	72.9			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	4点	20点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 自治区からの申請も多く、農業用施設に対し必要な材料を支給する事業は継続するべきである。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 自治区からの申請も多く、事業の継続が必要。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	農業農村整備事業	細事業	市営土地改良事業	実施計画事業	農業基盤整備促進事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (41)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	6	施策	1 農業の振興		期間	年度 ~ 年度			農業基盤整備促進事業計画書作成業務委託料	21,780	
項	3	施策展開	⑥農業生産基盤を整備する		期間	年度 ~ 年度			農業基盤整備促進事業工事請負費	42,000	
目	1	後期基本計画	24 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略			<input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	111										

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 既存農業者の意欲向上や新規就農を支援するため、ほ場、農道、用排水施設などの農業生産基盤を整備し、生産性向上による農業の競争力強化を目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; 水門改修(牧原・羽飛) n=2箇所 農道・水路改修(柴山) n=1箇所 地域ストマネ調査委託 L=20km</p>	R3	・農業体質強化基盤整備事業 ・農地耕作条件改善事業 農業用施設の更新・改修 1.0式	R3計画 33,000 当初予算 33,000 決算額 43,710	22,770		2,460	7,770	
	R4	水門改修(牧原・羽飛) n=2箇所 農道・水路改修(柴山) n=1箇所 地域ストマネ調査委託 L=20km	R4計画 51,500 当初予算 63,780 決算額 69,391	34,500	9,800	4,400	2,800	
	R5		R5計画 51,500 当初予算 56,000 決算額	34,500	9,800	4,400	2,800	
	R6		R6計画 51,500 当初予算 決算額	34,500	9,800	4,400	2,800	
	R7		R7計画 51,500 当初予算 決算額	34,500	9,800	4,400	2,800	
	R3 ~ R7 合計			計画額 239,000 当初予算 152,780 決算額 113,101	160,770	39,200	20,060	18,970

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 農業基盤整備促進事業費	総事業費	53,229	千円	目標値	33,000	51,500	51,500	51,500	51,500
					実績値	43,710	69,391			
	2 -				%	達成率	132.5	134.7		
					目標値					
D 成果指標	1 農業基盤整備促進事業費	総事業費	53,229	千円	目標値	33,000	51,500	51,500	51,500	51,500
					実績値	43,710	69,391			
	2 -				%	達成率	132.5	134.7		
					目標値					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	4点	20点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	4点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	4点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	
		15点	20点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
○課題 土地改良施設は老朽化により更新時期を迎えているが、更新事業とその分担金が大きな課題となっている。	土地改良施設の更新事業は、国・県の補助事業を活用し、施設管理者の負担の軽減を図る。
○対策 国・県の補助事業を活用し、施設管理者の負担の軽減を図る。	

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	農業農村整備事業	細事業	市営土地改良事業	実施計画事業	経営体育成土地利用調整推進事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (41)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興		期間	年度 ~ 年度		
項	3	施策展開	⑥農業生産基盤を整備する		期間	年度 ~ 年度		
目	1	後期基本計画	24 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略		
決算	111	A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等			

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 既存農業者の意欲向上や新規就農を支援するため、ほ場、農道、用排水施設などの農業生産基盤を整備し、生産性向上による農業の競争力強化を目的とする。あわせて中心経営体への農地集積率に応じて事業費負担を助成する農地集積促進事業への取組を推進します。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・大分県農業経営高度化支援事業 土地利用調査調整事業費 宇田枝・上田原・保全合理化(豊後大野) 農地集積図作成委託 1.0式 推進協議会業務委託 1.0式	R3	・大分県農業経営高度化支援事業 土地利用調査調整事業費 【宇田枝地区】 農地集積図作成委託 1.0式 推進協議会業務委託 1.0式	R3計画 1,150	920			230
			当初予算	1,150	920		230
			決算額	1,045	800		245
	R4	・大分県農業経営高度化支援事業 土地利用調査調整事業費 宇田枝・上田原・保全合理化(豊後大野) 農地集積図作成委託 1.0式 推進協議会業務委託 1.0式	R4計画 1,150	920			230
			当初予算	3,100	2,480		620
			決算額	3,091	2,400		691
	R5		R5計画 2,300	1,840			460
			当初予算	2,100	1,680		420
			決算額				
	R6		R6計画 2,300	1,840			460
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 2,300	1,840			460
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 9,200	7,360		1,840	
			当初予算 6,350	5,080		1,270	
			決算額 4,136	3,200		936	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 経営体育成土地利用調整推進事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,100	千円	目標値	1,150	1,150	2,300	2,300	2,300
						実績値	1,045	3,091			
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
D 成果指標	1 経営体育成土地利用調整推進事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,100	千円	目標値	1,150	1,150	2,300	2,300	2,300
						実績値	1,045	3,091			
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	4点	17点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	4点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	
		15点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 ・大分県農業経営高度化支援事業(土地利用調査調整事業費:宇田枝・上田原地区)は集積業務委託は農地集積率アップのため必要であり、推進協議会委託については農地集積促進に欠かせない事業である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 ・大分県農業経営高度化支援事業は農地集積率アップのため必要な事業である。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	農業農村整備事業	細事業	市宮土地改良事業	実施計画事業	農業用ため池ハザードマップ作成業務委託事業	終了年度	R4
----	----------	-----	----------	--------	-----------------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	6	施策	1 農業の振興		期間	年度 ~ 年度					
項	3	施策展開	⑥農業生産基盤を整備する						農業用ため池ハザードマップ作成業務委託	7,599	
目	1	後期基本計画	24 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略			<input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	111										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> ため池が自然災害により破堤、はん濫等した時に危険となる場所や避難する場所を地図上に示し、事前に危険な状態を市民に知らせることにより、自主的な避難や普段からの備えの強化に活用することを目的とする。  <令和4年度の実績内容(計画)> R3 国補正分 17地区	R3	ため池ハザードマップ作成委託 R3当初 12地区 R3国補正 17地区	R3計画 5,100	5,100			
			当初予算 5,100	5,100			
			決算額 11,900	11,900			
	R4	R3 国補正分 17地区	R4計画 5,500	5,500			
			当初予算 7,599	7,599			
			決算額 6,743	6,743			
	R5		R5計画				
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画				
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画					
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 10,600	10,600			
			当初予算 12,699	12,699			
			決算額 18,643	18,643			

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 農業用ため池ハザードマップ作成業務委託料	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3,960	千円	目標値	5,100	5,500	1,500		
					実績値	11,900	6,743			
					% 達成率	233.3	122.6			
D 成果指標	1 農業用ため池ハザードマップ作成業務委託料	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3,960	千円	目標値	5,100	5,500	1,500		
					実績値	11,900	6,743			
					% 達成率	233.3	122.6			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	4点	20点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	4点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	4点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	
		15点	20点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
R3国補正(R4繰越)により、防災重点ため池ハザードマップ作成委託業務終了。	R4繰越業務で完了。

事業	農業農村整備事業	細事業	土地改良区育成事業	実施計画事業	土地改良区運営補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ (45)		個別計画名	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	
款	6	施策	1 農業の振興	土地改良区運営補助金 11,708
項	3	施策展開	⑥農業生産基盤を整備する	
目	1	後期基本計画	24 P	
決算	111	過疎計画	<input type="checkbox"/>	
		総合戦略	<input type="checkbox"/>	
		コロナ充当	<input type="checkbox"/>	

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 市が補助金を交付することにより、土地改良区は土地改良財産を適正に維持管理し、各農家の農業生産性の維持向上につなげ、農業所得・経営の安定を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; 豊後大野市土地改良推進協議会に加入している、若しくは市内に事務所を有し、恒常的に職員を雇用する土地改良区に対し運営補助金を交付する。 ・交付申請 ・指令書送付 ・概算払 ・実績報告 ・精算</p>	R3	豊後大野市土地改良推進協議会に加入している、若しくは市内に事務所を有し、恒常的に職員を雇用する13土地改良区に対し運営補助金を合計で11,831,000円交付した。	R3計画 11,831				11,831	
				当初予算 11,831				11,831
				決算額 11,831				11,831
	R4	豊後大野市土地改良推進協議会に加入している、若しくは市内に事務所を有し、恒常的に職員を雇用する13土地改良区に対し運営補助金を合計で11,708,000円交付した。	R4計画 11,708					11,708
				当初予算 11,708				11,708
				決算額 11,708				11,708
	R5		R5計画 11,585					11,585
				当初予算 11,585				11,585
				決算額				
	R6		R6計画 11,462					11,462
				当初予算				
				決算額				
	R7		R7計画 11,462					11,462
				当初予算				
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 58,048				58,048	
			当初予算 35,124				35,124	
			決算額 23,539				23,539	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 交付金額	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	11,954	千円	目標値	11,831	11,708	11,585	11,462	11,462
					実績値	11,831	11,708			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 交付件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	13	件	目標値	13	13	13	13	13
					実績値	13	13			
					% 達成率	100	100			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	22点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	22点
		22点	22点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
土地改良区は、市の基幹産業である農業の振興に必要不可欠な土地改良財産を適正に維持管理しており、今後も継続的に事業実施していく必要がある。	今後も継続的に事業実施していく必要がある。

事業	農業農村整備事業	細事業	土地改良区育成事業	実施計画事業	土地改良区事業補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ (45)		個別計画名	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	
款	6	施策	1 農業の振興	土地改良区事業補助金 1,481
項	3	施策展開	⑥農業生産基盤を整備する	
目	1	後期基本計画	24 P	
決算	111	過疎計画	<input type="checkbox"/>	
		総合戦略	<input type="checkbox"/>	
		コロナ充当	<input type="checkbox"/>	

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 土地改良施設維持管理適正化事業を実施する土地改良区等に対し、市が補助を行うことにより、土地改良施設の機能を保持し、耐用年数を確保する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・緒方井路土地改良区及び長谷緒土地改良区が実施する土地改良施設維持管理適正化事業に対し補助金を交付する。 ・新規事業要望有無の確認 ・交付申請 ・指令書送付 ・着手届受領 ・実績報告 ・検査 ・請求後支払</p>	R3	・緒方井路土地改良区が実施する井上・野尻幹線水路と野間用排水路における土地改良施設維持管理適正化事業に対し負担率に応じた補助金を交付した。	R3計画 237				237	
				当初予算 237				237
				決算額 237				237
	R4	・緒方井路土地改良区が実施する井上・野尻幹線水路と野間用排水路における土地改良施設維持管理適正化事業に対し負担率に応じた補助金を交付した。 ・長谷緒土地改良区が実施する大村放水門における土地改良施設維持管理適正化事業に対し負担率に応じた補助金を交付した。	R4計画 582				582	
				当初予算 1,481				1,481
				決算額 1,473				1,473
	R5		R5計画 318				318	
				当初予算 111,187	82,800			28,387
				決算額				
	R6		R6計画 318				318	
				当初予算				
				決算額				
	R7		R7計画 318				318	
				当初予算				
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,773				1,773	
			当初予算 112,905	82,800			30,105	
			決算額 1,710				1,710	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 交付金額	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	309	千円	目標値	237	582	318		318
					実績値	237	1,473			
					% 達成率	100	253.1			
D 成果指標	1 交付事業件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	件	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	4			
					% 達成率	100	200			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	20点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	25点
		17点	
		25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 市は、土地改良区管で実施する土地改良施設維持管理適正化事業について、改良区の負担率に応じた補助金を交付しているが、市内の土地改良施設の不良箇所を減らしていくことで、施設の長寿命化のみならず、災害や事故を未然に防ぐことにも繋がるため、今後も継続して推進する必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 土地改良区のお朽化した施設の長寿命化は必要であり、今後も継続して推進する必要がある。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	農業農村整備事業	細事業	県営等土地改良事業	実施計画事業	県営等土地改良事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (41)													
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち					個別計画名	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	6	施策	1 農業の振興										
項	3	施策展開	⑥農業生産基盤を整備する										
目	1	後期基本計画	24	P	<input checked="" type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>				総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	111												
A 事業目的・内容・実績								B 事業計画額・決算額等					

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 既存農業者の意欲向上や新規就農を支援するため、ほ場、農道、用排水施設などの農業生産基盤を整備し、生産性向上による農業の競争力強化を図ります。あわせて中心経営体への農地集積率に応じて事業費負担を助成する農地集積促進事業への取組を推進します。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 県営中山間地域総合整備事業負担金 豊後大野東部地区 豊後大野西部2期地区 豊後大野地区 県営経営体育成基盤整備事業負担金 宇田枝地区 県営ため池等整備事業負担金 白水ため池 県営農業水利施設保全合理化事業負担金 事業実施 10地区</p>	R3	県営中山間地域総合整備事業 県営経営体育成基盤整備事業 県営ため池等整備事業 県営農業水利施設保全合理化事業	R3計画 114,996 当初予算 114,996 決算額 135,430	114,996	43,500	31,212	40,284	
	R4	県営中山間地域総合整備事業負担金 豊後大野東部地区 豊後大野西部2期地区 豊後大野地区 県営経営体育成基盤整備事業負担金 宇田枝地区 県営ため池等整備事業負担金 白水ため池 県営農業水利施設保全合理化事業負担金 事業実施 10地区	R4計画 173,466 当初予算 124,641 決算額 126,749	173,466	95,285	73,166	5,015	
	R5		R5計画 111,791 当初予算 159,109 決算額	111,791	57,702	51,052	3,037	
	R6		R6計画 124,170 当初予算 決算額	124,170	62,730	58,138	3,302	
	R7		R7計画 136,400 当初予算 決算額	136,400	67,687	65,150	3,563	
	R3 ~ R7 合計			計画額 660,823 当初予算 398,746 決算額 262,179	660,823	326,904	278,718	55,201

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 県営事業負担金	総事業費	75,248	千円	目標値	114,996	173,466	111,791	124,170	136,400
					実績値	135,430	126,749			
	2 -				%	達成率	117.8	73.1		
						目標値				
D 成果指標	1 県営事業負担金	総事業費	75,248	千円	目標値	114,996	173,466	111,791	124,170	136,400
					実績値	135,430	126,749			
	2 -				%	達成率	117.8	73.1		
						目標値				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		20点	20点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 土地改良施設は老朽化により更新時期を迎えているが、更新事業とその分担当が大きな課題となっている。 国・県の補助事業を活用し、施設管理者の負担の軽減を図る。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 土地改良施設の更新事業は、国・県の補助事業を活用し、施設管理者の負担の軽減を図る。
---	---

事業	農業農村整備事業	細事業	多面的機能支払交付金事業	実施計画事業	多面的機能支払交付金事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→(46)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次豊後大野市農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 生物多様性ぶんごおの戦略 期間 R4 年度 ~ R9 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	6	施策	1 農業の振興			多面的機能支払交付金	99,000			
項	3	施策展開	⑦地域資源を活かした農村づくり			時間外・休日勤務手当	286			
目	1	後期基本計画	24 P			<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	消耗品費	180
決算	111							水土里情報システム利用負担金	528	

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 農業や農村が持つ多面的な機能の維持や、機能の発揮を図るための地域の共同活動を支援し、地域資源の適切な保全管理を推進する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・活動組織に対し交付金支出 ・全組織を対象とした事務説明会を開催 ・組織からの相談受け付け、助言及び指導を実施 ・活動報告書の審査受領 ・事業拡大のための広報活動 ・新規実施希望地区に対する事業の説明 ・現地調査</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動組織に対し交付金支出</li> <li>全組織を対象とした事務説明会を開催</li> <li>組織からの相談を受け付け、助言及び指導を実施</li> <li>活動報告書の審査受領</li> <li>事業拡大のための広報活動</li> <li>新規実施希望地区に対する事業の説明</li> <li>現地調査</li> </ul>	R3計画 111,460	83,810			27,650
			当初予算 111,460	83,810			27,650
			決算額 106,409	79,936		54	26,419
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動組織に対し交付金支出</li> <li>全組織を対象とした事務説明会を開催</li> <li>組織からの相談を受け付け、助言及び指導を実施</li> <li>活動報告書の審査受領</li> <li>事業拡大のための広報活動</li> <li>中山間直払い取組中の集落協定への多面説明会の開催</li> <li>新規実施希望地区に対する事業の説明</li> <li>現地調査</li> </ul>	R4計画 100,762	75,786			24,976
			当初予算 100,106	75,356			24,750
			決算額 97,639	73,355		107	24,177
	R5		R5計画 103,860	78,110			25,750
			当初予算 104,760	78,760			26,000
			決算額				
	R6		R6計画 106,860	80,360			26,500
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 109,860	82,610			27,250
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 532,802	400,676			132,126
			当初予算 316,326	237,926			78,400
			決算額 204,048	153,291		161	50,596

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 交付金額	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	106,287	千円	目標値	110,600	99,902	103,000	106,000	109,000
					実績値	105,648	97,639			
					% 達成率	95.5	97.7			
D 成果指標	1 取組面積	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	2,055	ha	目標値	2,101	1,934	1,994	2,052	2,110
					実績値	2,056	1,804			
					% 達成率	97.9	93.3			
	2 -				目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	17点	4点	17点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 令和3年度までで5年間の活動期間が満了する組織が多く、令和4年度の活動組織数や協定農用地面積が減少したため、令和4年度中は中山間直接支払に取組中の集落協定に対する説明会を行うなどして新規掘り起こしに務めた。今後も実施が可能と考えられる地域を抽出するなどして推進を図る。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 活動を終了する組織があるため協定農用地面積が減少する見込みであるが、新規拡充に努める。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地籍調査事業	細事業	地籍調査事業	実施計画事業	地籍調査事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.→ (206)

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	国土調査事業第7次十箇年計画 期間 R2 年度 ~ R11 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	4 土地利用・景観の整備			測量設計調査委託料	181,670
項	3	施策展開	②地籍調査を推進する			会計年度任用職員報酬	1,749
目	2	後期基本計画	58 P			事務支援システムリース料	1,146
決算	112					消耗品費	620

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 地籍調査とは、主に市町村が主体となって、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査。「地籍」の情報が行政の様々な場面で活用されている。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt;                      ・三重町内田 (F II-2, G, H) 0.18㎦                      ・大野町片島 (F II-2, G, H) 0.23㎦                      ・千歳町船田 (F II-2, G, H) 0.20㎦                      ・清川町白尾 (C, E, F I, F II-1) 0.49㎦                      ・朝地町綿田 (C, E, F I, F II-1) 0.54㎦                      ・千歳町船田 (E, F I, F II-1) 0.55㎦                      ・三重町奥畑 (C, R D 1-2) 3.11㎦                      合計5.30㎦※換算面積(㎦)                      ・法務局送付、問合せ対応等</p>	R3	・三重町内田 (F II-2, G, H) 0.03 ・三重町内田 (F II-2, G, H) 0.06 ・清川町白尾 (F II-2, G, H) 0.17 ・千歳町船田 (F II-2, G, H) 0.14 ・三重町内田 (C, E, F I, F II-1) 0.62 ・大野町片島 (C, E, F I, F II-1) 0.75 ・千歳町船田 (E, F I, F II-1) 0.60 合計2.37㎦ ※換算面積(㎦) ・リモートセンシング技術を用いた山村部の地籍調査準備作業	R3計画	144,279	100,590		120	43,569
	当初予算	144,279	100,590		120	43,569		
	決算額	136,446	100,590		147	35,709		
	R4	・大野町片島 (F II-2, G, H) 0.23㎦ ・千歳町船田 (F II-2, G, H) 0.20㎦ ・清川町白尾 (C, E, F I, F II-1) 0.49㎦ ・朝地町綿田 (C, E, F I, F II-1) 0.54㎦ ・千歳町船田 (E, F I, F II-1) 0.55㎦ ・三重町奥畑 (C, R D 1-2) 3.11㎦ 合計5.30㎦※換算面積(㎦) ・法務局送付、問合せ対応等	R4計画	230,000	172,500		120	57,380
	当初予算	187,604	120,000		120	67,484		
	決算額	153,956	114,915		91	38,950		
	R5		R5計画	270,000	202,500		120	67,380
	当初予算	162,163	120,943			41,220		
	決算額							
	R6		R6計画	280,000	210,000		120	69,880
	当初予算							
	決算額							
	R7		R7計画	220,000	165,000		120	54,880
	当初予算							
決算額								
R3 ~ R7 合計			計画額	1,144,279	850,590		600	293,089
			当初予算	494,046	341,533		240	152,273
			決算額	290,402	215,505		238	74,659

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 調査済面積(進捗率)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	49.5	%	目標値	50.23	50.85	51.62	52.41	53.07
					実績値	49.93	50.92			
					達成率	99.4	100.1			
D 成果指標	1 調査済面積(進捗率)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	49.5	%	目標値	50.23	50.85	51.62	52.41	53.07
					実績値	49.93	50.92			
					達成率	99.4	100.1			
E 評価対象外の理由	O 評価対象				目標値					
					実績値					
					達成率					

(対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		20点	20点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的な事業実施に広範な知識や経験が必要となるため、研修等を活用し各担当の専門性を高める。</li> <li>・高齢化等により年々調査が困難化している。調査を円滑・効率的に行うため、新たな調査手法等を活用する。</li> <li>・過去の成果についての問合せが増加しており、現在の調査業務に支障とならないよう体制を整備する必要がある。</li> </ul>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>進捗率向上のため、新たな調査手法を推進する必要がある。</p>
---	--

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	公有林管理整備事業	細事業	公有林整備委託事業	実施計画事業	公有林整備委託事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち				個別計画名	豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	6	施策	2 林業の振興								
項	4	施策展開	③未整備森林を整備する								
目	1	後期基本計画	26	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画					<input type="checkbox"/>
決算	113							森林地図情報システム保守点検委託料	1,617		
								公有林下刈委託料	384		
								公有林調査委託料	3,251		
								分取林購入費	14,560		

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 公有林の適正管理及び継続的な整備を行い、森林価値の向上と山林の健全化を図る</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 森林地図情報システムによる効率、効果的な公有林管理を行う。また、公有林の下刈りや県行分取造林の分取権購入等を行うことにより、適切な管理を行う。</p>	R3	森林の計画的な整備・保全を推進するため、森林地図情報の更新を図った。また、公有林の下刈等を行い、森林の健全化を図った。	R3計画 1,791			2	1,789
			当初予算 1,791			2	1,789
			決算額 1,501				1,501
	R4	森林の計画的な整備・保全を推進するため、森林地図情報の更新を図った。また、公有林の下刈等を行い、森林の健全化を図った。そして、市有林として継続的に収益が見込まれる県行分取造林の分取権買取を行った。	R4計画 1,791			2	1,789
			当初予算 20,234			2	20,232
			決算額 16,076				16,076
	R5		R5計画 1,791			2	1,789
			当初予算 4,865			2	4,863
			決算額				
	R6		R6計画 1,791			2	1,789
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 1,791			2	1,789
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 8,955			10	8,945
			当初予算 26,890			6	26,884
			決算額 17,577				17,577

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 公有林管理整備事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1,990	千円	目標値	1,791	1,791	1,791	1,791	1,791
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1,501	16,076			
		% 達成率			83.8	897.6				
D 成果指標	1 公有林管理整備事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	1,990	千円	目標値	1,791	20,234	1,791	1,791	1,791
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1,501	16,076			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	83.8	79.5			
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	16点	3点	16点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市内に多く存在する公有林の管理を適切に行って行くため、森林地図情報の更新を図ることや、公有林の下刈りを計画的に行い、森林の健全化を図ることは重要。しかしながら、市が所有する公有林は多く、手つかずの公有林もあることから、台帳整備や現況把握が今後の課題。	市が所有する公有林の台帳整備や現況把握について、令和4年度から調査委託を行い公有林の適切な管理を行う。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	森林等整備事業	細事業	竹林再生事業	実施計画事業	竹林再生事業	終了年度	なし
----	---------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.1 (58)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市森林整備計画 期間 H29年度 ~ R8年度	令和4年度 主な歳出名称 竹林再生事業補助金	当初予算額 1,377
款	6	施策 2 林業の振興				
項	4	施策展開 ②林業生産基盤を整備する				
目	2	後期基本計画 26 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	114					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 竹材・たけのこ生産地として持続的管理が見込める荒廃竹林の再生や竹チップ等の利活用を推進し、市土の保全と竹資源の有効活用を図る。  <令和4年度の実績内容(計画)> 市内の荒廃竹林(1.2ha)において、伐竹、片付け及びチップ化を行う事業に関し補助を行う。	R3	令和3年度については、県予算の豊肥地区への配分が無く、事業実施できなかった。	R3計画 1,598	1,598			
			当初予算 1,598	1,598			
			決算額				
	R4	放置された竹林において、不良、大径竹を伐採し、より生産性の高い竹林へ整備することが出来た。	R4計画 1,600	1,600			
			当初予算 1,377	1,377			
			決算額 932	932			
	R5		R5計画 1,600	1,600			
		当初予算 1,541	1,541				
		決算額					
	R6		R6計画 1,600	1,600			
		当初予算					
		決算額					
	R7		R7計画 1,600	1,600			
		当初予算					
		決算額					
	R3 ~ R7 合計		計画額 7,998	7,998			
			当初予算 4,516	4,516			
			決算額 932	932			

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 竹林再生事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	762	千円	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値		932			
		% 達成率				58.3				
D 成果指標 1 竹林再生事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	762	%	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値		932			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率		58.3			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	16点	3点	16点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
			25点		25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 市内に事業実施を希望する事業者があり、事業の財源についても全額県費という有利な事業であるため、次年度以降も事業継続を行ってほしい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 事業の財源についても全額県費という有利な事業であるため、次年度以降も事業継続を行ってほしい。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	森林等整備事業	細事業	造林事業	実施計画事業	造林事業	終了年度	なし
----	---------	-----	------	--------	------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	豊後大野市森林整備計画	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	2 林業の振興	期間	H29年度 ~ R8年度	造林事業補助金	21,773
項	4	施策展開	②林業生産基盤を整備する	期間	年度 ~ 年度		
目	2	後期基本計画	26 P	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	114						

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 森林の保全及び価値の向上を図るための基盤整備事業を行う</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 人工造林97ha、下刈172.27ha、獣害防止施設(シカネット)27,700m、獣害防止施設(幼齢木保護ネット)16,500本、保育間伐10haに対して、国・県の補助額に対する上乗せ補助を行う。</p>	R3	再造林/41.39ha、付帯施設/21,600m、下刈/200.97ha、保育間伐/2.22ha、間伐/53.52haに対して補助金交付を行い、森林の健全化を図るための施策が実施できた。
	R4	再造林/54.39ha、付帯施設/32,082m、下刈/173.22ha、保育間伐/5.86haに対して補助金交付を行い、森林の健全化を図るための施策が実施できた。
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	23,697	14,000			9,697
当初予算	23,697	14,000			9,697
決算額	17,302				17,302
R4計画	20,000				20,000
当初予算	21,773				21,773
決算額	15,905				15,905
R5計画	20,000				20,000
当初予算	39,882			25,000	14,882
決算額					
R6計画	20,000				20,000
当初予算					
決算額					
R7計画	20,000				20,000
当初予算					
決算額					
計画額	103,697	14,000			89,697
当初予算	85,352	14,000		25,000	46,352
決算額	33,207				33,207

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 造林事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	32,880	千円	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
			<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	17,302	15,905			
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略		%	達成率	86.5	79.5			
			<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 造林事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	32,880	千円	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
			<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	17,302	15,905			
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画		%	達成率	86.5	79.5			
			<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					

E 評価対象外の理由	O 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	2点		2点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市内の森林整備に関し、森林経営計画の促進と造林事業補助金の交付は不可欠であり、今後も事業を推進していく。整備を行う市内事業体については、増えていない状況であるが、市外の事業体が市内の森林整備を行う状況が増えている状況。それに伴い、事業費も増加することから、補助率や財源についても検討していく必要がある。	森林整備を行う面積が増えているため、森林経営計画の促進と造林事業補助金の交付は不可欠であり、今後も事業を推進していく。

I 令和6年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業番号	枝番
107005	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	農林整備課	係名	林業振興係
-----	-------	----	-------

事業	森林等整備事業	細事業	森林等整備事業関係団体補助事業	実施計画事業	大野川漁業協同組合補助事業	終了年度	なし
----	---------	-----	-----------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ ( 55 )

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	2 林業の振興				
項	4	施策展開	①林業経営体を支援する				
目	2	後期基本計画 26 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	114						

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 森林の保全及び価値の向上を図るための基盤整備事業を行う</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 大野川漁業協同組合に対し、630千円の補助を行う。</p>	R3	大野川漁業協同組合に対して、630千円の補助金交付を行った。	R3計画 630				630
			当初予算 630				630
			決算額 630				630
	R4	大野川漁業協同組合に対して、630千円の補助金交付を行った。	R4計画 630				630
			当初予算 630				630
			決算額 630				630
	R5		R5計画 630				630
			当初予算 630				630
			決算額				
	R6		R6計画 630				630
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 630				630
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 3,150				3,150
			当初予算 1,890				1,890
			決算額 1,260				1,260

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 1 大野川漁業協同組合補助事業	大野川漁業協同組合補助金交付要綱	<input type="checkbox"/> 総合戦略	630	千円	目標値	630	630	630	630	630
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	630	630			
		% 達成率			100	100				
C 2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								
D 1 大野川漁業協同組合補助事業	大野川漁業協同組合補助金交付要綱	<input type="checkbox"/> 総合計画	630	千円	目標値	630	630	630	630	630
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	630	630			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100			
D 2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	18点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		4点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 カワウの処理、工場の水利使用、稚鮎の放流に関して、補助金交付を行っている。内水面事業の推進において重要な事業であり、今後も継続を行っていく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 内水面事業の推進において重要な事業であり、今後も継続を行っていく。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	森林等整備事業	細事業	森林等整備事業関係団体補助事業	実施計画事業	作業班雇用安定推進事業補助事業	終了年度	なし
----	---------	-----	-----------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (55)										
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち					個別計画名 豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	2 林業の振興						作業班雇用安定推進事業補助金	206
項	4	施策展開	①林業経営体を支援する							
目	2	後期基本計画	26	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>
決算	114									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 森林の保全及び価値の向上を図るための基盤整備事業を行う</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 大野郡森林組合、佐伯広域森林組合に対して、森林組合作業班員の林業退職共済の掛金に対する補助を行う。</p>	R3	大野郡森林組合、佐伯広域森林組合に対して、森林組合作業班員の林業退職共済の掛金に対する補助を行った。	R3計画	206				206
			当初予算	206				206
			決算額	172				172
	R4	大野郡森林組合、佐伯広域森林組合に対して、森林組合作業班員の林業退職共済の掛金に対する補助を行った。	R4計画	206				206
			当初予算	206				206
			決算額	146				146
	R5		R5計画	206				206
			当初予算					
			決算額					
	R6		R6計画	206				206
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画	206				206
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	1,030				1,030
			当初予算	412				412
			決算額	318				318

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 作業班雇用安定推進事業補助事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	108	千円	目標値	206	206	206	206	206
					実績値	172	146			
					% 達成率	83.5	70.9			
D 成果指標	1 作業班雇用安定推進事業補助事業	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	108	千円	目標値	206	206	206	206	206
					実績値	172	146			
					% 達成率	83.5	70.9			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		15点	15点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>豊後大野市在住で年間150日以上就労した森林組合作業班員(いわゆる1人親方)の林業退職共済の掛金に対する補助を行う事業である。森林組合作業班員においては、森林組合作業班員の確保に苦慮している状況であり、今後も支援していく。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>森林組合作業班員の林業退職共済の掛金に対する補助を行い、森林組合作業班員の確保に支援をしていく。</p>
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	森林等整備事業	細事業	簡易作業路整備事業	実施計画事業	簡易作業路整備事業	終了年度	なし
----	---------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち		個別計画名	豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	2 林業の振興					
項	4	施策展開	①林業経営体を支援する					
目	2	後期基本計画	26 P	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画				
決算	114							

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<b>&lt;事業の目的&gt;</b> R3 幅員2.0m以上の15路線、5,000mの作業路開設に伴い、500円/mの補助金交付を行った。 R4 令和4年度予算計上無し R5 R6 R7 <b>&lt;令和4年度取組内容(計画)&gt;</b> 椎茸生産支援対策事業における低コスト簡易作業路整備事業や森林経営管理制度における森林作業道整備事業を事業化しているため、その事業範囲内で補助を行う。	R3		R3計画 2,500	2,500			
	当初予算	2,500	2,500				
	決算額	2,500				2,500	
	R4		R4計画 2,500				2,500
	当初予算						
	決算額						
	R5		R5計画 2,500				2,500
	当初予算						
	決算額						
	R6		R6計画 2,500				2,500
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 2,500				2,500
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 12,500	2,500			10,000
			当初予算 2,500	2,500			
			決算額 2,500				2,500

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 簡易作業路整備事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	5,000	千円	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	2,500				
		% 達成率			100					
D 成果指標	1 簡易作業路整備事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	5,000	千円	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	2,500				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100				
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	2点	2点	2点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	2点	2点	2点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	2点	2点	2点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	6点	6点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	25点	25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 森林経営計画における国・県による作業道整備補助金、椎茸栽培に関する低コスト簡易作業路緊急整備事業補助金など、作業道整備に関する補助金は他の事業でもあり、また令和2年度には、森林経営管理制度における作業道開設補助金も新設したところである。簡易作業路整備事業補助金については、これらの補助金と重複する部分もあり、今後の事業実施については検討する。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 作業道整備に関する補助金は他の事業でもあり、事業実施については検討を要する。
---	---

事業番号	枝番
108001	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	農林整備課	係名	林業振興係
-----	-------	----	-------

事業	椎茸生産支援対策事業	細事業	椎茸生産基盤整備事業	実施計画事業	低コスト簡易作業路緊急整備事業補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	---------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (62)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称 低コスト簡易作業路緊急整備事業補助金	当初予算額 300
款	6	施策	2 林業の振興				
項	4	施策展開	②林業生産基盤を整備する				
目	2	後期基本計画	26 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	115						

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	
<p>&lt;事業の目的&gt; 椎茸原木搬出用の簡易作業路を開設することで、省力化・低コスト化を図り、椎茸の品質向上と生産規模の拡大に取り組む。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; 市内要望延長 600m 補助率 (県単事業)400円/m+(市義務負担)100円/m=500円/m 補助対象 一路線延長100m以上で、対象面積0.1ha当たり、概ね100mまでとする。 事業費 600m×500円=300,000円</p>	R3	2路線、800mに対し、500円/mの補助金交付を行った。	
	R4	2路線、600mに対し、500円/mの補助金交付を行った。	
	R5		
	R6		
	R7		
	R3 ~ R7 合計		

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	400	320			80
当初予算	400	320			80
決算額	400	320			80
R4計画	400	320			80
当初予算	300	240			60
決算額	300	240			60
R5計画	400	320			80
当初予算	300	240			60
決算額					
R6計画	400	320			80
当初予算					
決算額					
R7計画	400	320			80
当初予算					
決算額					
計画額	2,000	1,600			400
当初予算	1,000	800			200
決算額	700	560			140

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 低コスト簡易作業路緊急整備事業補助事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	600	千円	目標値	400	400	400	400	400
			<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	400	300			
			%			達成率	100	75			
D 成果指標	1 低コスト簡易作業路緊急整備事業補助事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	600	千円	目標値	400	400	400	400	400
			<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	400	300			
			<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100	75		

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	19点	3点	19点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
椎茸原木の搬出等の作業効率を上げるための簡易作業路整備に対する補助制度であり、日本一の乾椎茸産地である本市において、重要な事業であると考えており、今後も継続していく。	椎茸原木の搬出等の簡易作業路整備補助制度は乾椎茸産地である本市において、重要な事業であると考えており、今後も継続が必要。

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	椎茸生産支援対策事業	細事業	椎茸生産基盤整備事業	実施計画事業	しいたけ増産体制整備総合対策事業補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	----------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (60)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称 しいたけ増産体制整備総合対策事業補助金	当初予算額 9,061
款	6	施策 2 林業の振興				
項	4	施策展開 ②林業生産基盤を整備する				
目	2	後期基本計画 26 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	115					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 椎茸生産施設等を整備することで、省力化・低コスト化を図り、椎茸の品質向上と生産規模の拡大に取り組む。  <令和4年度の実績内容(計画)> バックホウ1台、乾燥機1台、ハウス2棟、重機等運転技能講習支援1名に対して補助を行う。	R3	ハウス(2棟)、乾燥機(2台)、重機講習(2名)に対して補助を行った。	R3計画 6,000 当初予算 6,000 決算額 5,516	4,000			2,000	
	R4	散水施設1台・林内作業車1台・重機等運転技能講習2名・省エネ型椎茸乾燥機16台に対して補助を行った。	R4計画 6,000 当初予算 9,061 決算額 17,137	4,000		2,000	2,373	
	R5		R5計画 6,000 当初予算 2,333 決算額	4,000			717	
	R6		R6計画 6,000 当初予算 決算額	4,000			2,000	
	R7		R7計画 6,000 当初予算 決算額	4,000			2,000	
	R3 ~ R7 合計			計画額 30,000 当初予算 17,394 決算額 22,653	20,000		2,000	10,000 5,717 4,152

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 しいたけ増産体制整備総合対策事業補助事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	636	千円	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	5,516	17,137			
		% 達成率			91.9	285.6				
D 成果指標 1 しいたけ増産体制整備総合対策事業補助事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	636	千円	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	5,516	17,137			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	91.9	285.6			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
合計		16点	16点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 乾しいたけ生産者の生産基盤強化を行う施設整備に対する補助金であり、日本一の乾椎茸産地である本市において、重要な事業であると考えており、今後も継続していく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 乾しいたけ生産者の生産基盤強化の補助は重要な事業であり、今後も継続が必要
--	--

事業	椎茸生産支援対策事業	細事業	椎茸生産基盤整備事業	実施計画事業	乾しいたけ新規参入者支援事業補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	--------------------	------	----

総合計画体系図No.→ ( 60 )		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称 乾しいたけ新規参入者支援事業補助金	当初予算額 1,200
款	6	施策 2 林業の振興				
項	4	施策展開 ②林業生産基盤を整備する				
目	2	後期基本計画 26 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	115					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 生産機械・施設等の整備に係る経費について助成することで、椎茸生産の担い手の確保・育成に取り組む。  <令和4年度の取組内容(計画)> ほだ木造成 4名(6,000本)に対して補助を行う。	R3	乾燥機(1台)、作業車(1台)、チェーンソー(2台)、ほだ木造成 1,500本×3名に対して補助を行った。	R3計画 3,675	2,100			1,575
			当初予算 3,675	2,100			1,575
			決算額 2,212	1,323			889
	R4	スライサー 1台、発電機 1台、チェーンソー 1台、ほだ木造成 6名(9,000本)に対して補助を行った。	R4計画 3,675	2,100			1,575
			当初予算 1,200	600			600
			決算額 2,204	1,168			1,036
	R5		R5計画 3,675	2,100			1,575
			当初予算 3,000	1,500			1,500
			決算額				
	R6		R6計画 3,675	2,100			1,575
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 3,675	2,100			1,575
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 18,375	10,500			7,875
			当初予算 7,875	4,200			3,675
			決算額 4,416	2,491			1,925

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標 1 乾しいたけ新規参入者支援事業補助事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1,800	千円	目標値	3,675	3,675	3,675	3,675	3,675
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	2,212	2,204			
		%			達成率	60.2	60			
D 成果指標 1 乾しいたけ新規参入者支援事業補助事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	1,800	千円	目標値	3,675	3,675	3,675	3,675	3,675
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	2,212	2,204			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	60.2	60		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		16点	16点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 乾椎茸生産新規参入者の参入しやすい支援体制の整備を行う補助制度であり、日本一の乾椎茸産地である本市において、重要な事業であると考えており、今後も継続していく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 乾椎茸生産新規参入者への補助制度は重要な事業であり、今後も継続が必要。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	椎茸生産支援対策事業	細事業	椎茸生産基盤整備事業	実施計画事業	ファーマーズスクール事業補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	------------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち				個別計画名	豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	2 林業の振興							
項	4	施策展開	②林業生産基盤を整備する							
目	2	後期基本計画	26	P	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略				
決算	115							期間	年度 ~ 年度	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 椎茸生産に係る研修経費について助成することで、就業体制を整備し、椎茸生産の担い手の確保・育成に取り組む。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; 独立型(継続)2名、親元型(継続)1名、親元型(新規1名)に対して補助を行う。</p>	R3	独立準備型2名、親元準備型1名に対して、補助を行った。	R3計画 3,200	1,600			1,600
			当初予算	3,200	1,600		1,600
			決算額	2,300	1,150		1,150
	R4	独立経営型2名、親元準備型2名、親元経営型1名に対して、補助を行った。	R4計画 3,200	1,600			1,600
			当初予算	2,300	1,150		1,150
			決算額	2,350	1,175		1,175
	R5		R5計画 3,200	1,600			1,600
			当初予算	1,750	874		876
			決算額				
	R6		R6計画 3,200	1,600			1,600
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 3,200	1,600			1,600
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 16,000	8,000		8,000	
			当初予算 7,250	3,624		3,626	
			決算額 4,650	2,325		2,325	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ファーマーズスクール事業補助事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	2,300	千円	目標値	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	2,300	2,350			
		% 達成率			71.9	73.4				
D 成果指標	1 ファーマーズスクール事業補助事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	2,300	千円	目標値	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	2,300	2,350			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	71.9	73.4			
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	16点	3点	16点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 新規椎茸生産者の担い手育成を行う補助事業であり、日本一の乾椎茸産地である本市において、担い手育成のための重要な事業であると考えており、今後も継続していく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 新規椎茸生産者の担い手育成を行う補助事業であり、継続していく必要がある。
--	--

事業	椎茸生産支援対策事業	細事業	椎茸種駒補助事業	実施計画事業	椎茸種駒補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	豊後大野市森林整備計画	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	2 林業の振興	期間	H29年度～R8年度	椎茸種駒補助金	5,874
項	4	施策展開	②林業生産基盤を整備する	期間	年度～年度	通信運搬費	10
目	2	後期基本計画	26 P	<input checked="" type="checkbox"/>	過疎計画		
決算	115			<input type="checkbox"/>	総合戦略		
				<input type="checkbox"/>	コロナ充当		

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 椎茸種駒の購入者に補助金を交付することで、椎茸の増産を図り、生産者の生活と経営の安定に資する。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; 乾しいたけ生産量の安定化と生産者確保のため2万駒以上の植菌者に対し補助する。</p>	R3	95名、5,239,900駒に対して補助を行った。	R3計画 6,538				6,538
			当初予算 6,538				6,538
			決算額 5,250				5,250
	R4	101名、5,053,360駒に対して補助を行った。	R4計画 6,300				6,300
			当初予算 5,884				5,884
			決算額 5,053				5,053
	R5		R5計画 6,000				6,000
			当初予算 10,985				10,985
			決算額				
	R6		R6計画 5,700				5,700
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 5,400				5,400
			当初予算				
		決算額					
R3～R7合計			計画額 29,938				29,938
			当初予算 23,407				23,407
			決算額 10,303				10,303

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 椎茸種駒補助事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	5,255	千円	目標値	6,538	6,300	6,000	5,700	5,400
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	5,250	5,053			
		% 達成率			80.3	80.2				
D 成果指標	1 椎茸種駒補助事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	5,255	千円	目標値	6,538	6,300	6,000	5,700	5,400
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	5,250	5,053			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	80.3	80.2			
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		16点	16点
		／25点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
乾しいたけ生産量の安定化と生産者確保のため2万駒以上の植菌者に対する補助制度であり、日本一の乾椎茸産地である本市において、重要な事業であると考えており、今後も継続していく。	日本一の乾椎茸産地である本市において、重要な事業であり継続する必要がある。

事業番号	枝番
108003	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	農林整備課	係名	林業振興係
-----	-------	----	-------

事業	椎茸生産支援対策事業	細事業	椎茸生産支援対策事業関係団体補助事業	実施計画事業	椎茸振興会補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	--------------------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (62)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	2 林業の振興				
項	4	施策展開	②林業生産基盤を整備する				
目	2	後期基本計画 26 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	115						

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 椎茸生産関係団体の活動支援を通じて椎茸産業の振興を図り、生産農林家の所得の向上と経営の安定に資する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 豊後大野市椎茸振興会補助金 700千円</p>	R3	豊後大野市椎茸振興会に対して700千円の補助を行った。	R3計画 700				700
			当初予算 700				700
			決算額 700				700
	R4	豊後大野市椎茸振興会に対して700千円の補助を行った。	R4計画 700				700
			当初予算 700				700
			決算額 700				700
	R5		R5計画 700				700
			当初予算 700				700
			決算額				
	R6		R6計画 700				700
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 700				700
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 3,500				3,500
			当初予算 2,100				2,100
			決算額 1,400				1,400

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 椎茸振興会補助事業 豊後大野市椎茸振興会補助金交付要綱	<input type="checkbox"/> 総合戦略	700	千円	目標値	700	700	700	700	700
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	700	700			
		% 達成率			100	100				
D 成果指標	1 椎茸振興会補助事業 豊後大野市椎茸振興会補助金交付要綱	<input type="checkbox"/> 総合計画	700	千円	目標値	700	700	700	700	700
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	700	700			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100			

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		18点	18点
		/25点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 日本一の乾椎茸産地である本市において、その生産を支える豊後大野市椎茸振興会の存在は重要と考えており、今後も支援していく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 豊後大野市椎茸振興会の活動は重要であり今後も支援していく。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	有害鳥獣等被害対策事業	細事業	有害鳥獣被害防止対策事業	実施計画事業	有害鳥獣被害防止対策事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ ( 52 )		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市鳥獣被害防止計画 期間 R2 年度 ~ R4 年度 豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策 1 農業の振興			有害鳥獣被害防止対策事業補助金	13,000
項	4	施策展開 ⑧有害鳥獣対策を強化する			燃料費	300
目	2	後期基本計画 24 P	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		修繕料	50
決算	116				通信運搬費	50

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 有害鳥獣による農林産物の被害防止を目的として設置するものに対し、購入経費を助成することで、本市における農林産物被害の軽減に資する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 電気柵・防護柵・複合柵、ワイヤーメッシュ、支柱の購入に対して補助を行う。</p>	R3	電気柵(120セット)、防護柵(1件)、防護ネット(10件)、ワイヤーメッシュ柵(51件)、ワイヤーメッシュ柵支柱(40件)に対して補助を行った。	R3計画 11,444	3,659			7,785
	当初予算	11,444	3,659			7,785	
	決算額	9,098	2,958			6,140	
	R4	電気柵(92セット)、防護ネット(7件)、ワイヤーメッシュ柵(20件)、ワイヤーメッシュ柵支柱(17件)に対して補助を行った。	R4計画 11,444	3,659			7,785
	当初予算	13,444	4,479		5,000	3,965	
	決算額	6,222	2,215			4,007	
	R5		R5計画 11,444	3,659			7,785
	当初予算	13,075	3,931			9,144	
	決算額						
	R6		R6計画 11,444	3,659			7,785
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 11,444	3,659			7,785
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 57,220	18,295		38,925	
			当初予算 37,963	12,069	5,000	20,894	
			決算額 15,320	5,173		10,147	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 有害鳥獣被害防止対策事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	8,993	千円	目標値	11,444	11,444	11,444	11,444	11,444
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	9,098	6,222			
		% 達成率			79.5	54.4				
D 成果指標	1 有害鳥獣被害防止対策事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	8,993	千円	目標値	11,444	11,444	11,444	11,444	11,444
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	9,098	6,222			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	79.5	54.4			
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	16点	3点	16点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 市内の農地において、シカ、イノシシ等の鳥獣被害は継続して発生しており、有害鳥獣の捕獲と被害防止を一体的に進めていくことが重要。そのため、今後も事業実施を継続していく。 また、サル群れによる被害が多く見られるようになり、今後の課題である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 有害鳥獣の捕獲と被害防止は一体的に進めていくことが重要であり、今後も事業実施の継続が必要である。 また、サル群れによる被害が多く見られるようになり、今後の課題である。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	有害鳥獣等被害対策事業	細事業	有害鳥獣捕獲事業	実施計画事業	有害鳥獣捕獲事業補助事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	----------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ ( 52 )		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市鳥獣被害防止計画 期間 R2 年度 ~ R4 年度 豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策 1 農業の振興			有害鳥獣捕獲事業補助金	54,000
項	4	施策展開 ⑧有害鳥獣対策を強化する				
目	2	後期基本計画 24 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	116					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 有害鳥獣等の被害対策強化と電気柵等の設置指導を行い農林産物を被害から守る  <令和4年度の取組内容(計画)> シカ3,460頭、イノシシ3,170頭、サル44頭、小動物754頭の捕獲に対し補助を行う。	R3	イノシシ 3,097頭、シカ3,586頭、サル23頭、小動物810頭の捕獲に対して補助を行った。	R3計画 54,000	35,408			18,592
			当初予算 54,000	35,408			18,592
			決算額 54,047	38,885			15,162
	R4	イノシシ 4,119頭、シカ 3,227頭、サル9頭、小動物1,134頭の捕獲に対して補助を行った。	R4計画 54,000	35,408			18,592
			当初予算 54,000	35,180	15,000	3,820	3,820
			決算額 55,164	40,145			15,019
	R5		R5計画 54,000	35,408			18,592
			当初予算 59,260	42,220			17,040
			決算額				
	R6		R6計画 54,000	35,408			18,592
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 54,000	35,408			18,592
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 270,000	177,040			92,960
			当初予算 167,260	112,808	15,000		39,452
			決算額 109,211	79,030			30,181

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 有害鳥獣捕獲事業補助事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	46,180	千円	目標値	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	54,047	55,164			
		% 達成率			100.1	102.2				
		目標値								
D 成果指標	1 有害鳥獣捕獲事業補助事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	46,180	千円	目標値	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	54,047	55,164			
	<input type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率			100.1	102.2				
		目標値								
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
	<input type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率								
		目標値								

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	19点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	／25点	4点
			19点
			／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 市内の農地において、シカ、イノシシ等の鳥獣被害は継続して発生しており、有害鳥獣の捕獲と被害防止を一体的に進めていくことが重要。そのため、今後も事業実施を継続していく。また、サルの群れによる被害が多く見られるようになり、今後の課題である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 有害鳥獣の捕獲と被害防止を一体的に進めていくことが重要であり、事業実施の継続は必要。また、サルの群れによる被害が多く見られるようになり、今後の課題である。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
109004	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	農林整備課	係名	林業振興係
-----	-------	----	-------

事業	有害鳥獣等被害対策事業	細事業	有害鳥獣等被害防止対策事業関係団体補助事業	実施計画事業	猟友会補助事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.→ (54)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
款	6	施策	1 農業の振興
項	4	施策展開	⑧有害鳥獣対策を強化する
目	2	後期基本計画	24 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	116		

個別計画名	豊後大野市鳥獣被害防止計画
期間	R2年度～R4年度
個別計画名	豊後大野市森林整備計画
期間	H29年度～R8年度

令和4年度主な歳出名称	当初予算額
猟友会補助金	2,500

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 有害鳥獣等の被害対策強化と電気柵等の設置指導を行い農林産物を被害から守る</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 豊後大野市猟友会補助金 2,500千円</p>	R3	豊後大野市猟友会に対して、2,500千円の補助を行った。	R3計画 2,500				2,500
			当初予算	2,500			2,500
			決算額	2,500			2,500
	R4	豊後大野市猟友会に対して、2,500千円の補助を行った。	R4計画 2,500				2,500
			当初予算	2,500			2,500
			決算額	2,500			2,500
	R5		R5計画 2,500				2,500
			当初予算	2,500			2,500
			決算額				
	R6		R6計画 2,500				2,500
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 2,500				2,500
			当初予算				
		決算額					
		R3～R7合計	計画額 12,500			12,500	
			当初予算 7,500			7,500	
			決算額 5,000			5,000	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 猟友会補助事業	豊後大野市猟友会補助金交付要綱	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2,500	千円	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
						実績値	2,500	2,500			
						% 達成率	100	100			
2 -			<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					
D 成果指標	1 猟友会補助事業	豊後大野市猟友会補助金交付要綱	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2,500	千円	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	
						実績値	2,500	2,500			
						% 達成率	100	100			
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF～I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		19点	19点
		／25点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市における有害鳥獣捕獲事業に支援をいただく重要な組織であり、市としても支援していくことが重要。継続して、事業実施を行う。	有害鳥獣捕獲事業に支援をいただく重要な組織であり、継続して事業実施を行う。

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	有害鳥獣等被害対策事業	細事業	有害鳥獣等被害防止対策事業関係団体補助事業	実施計画事業	鳥獣被害対策協議会補助事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------------	--------	---------------	------	----

会計 一般		政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	豊後大野市鳥獣被害防止計画 期間 R2 年度 ~ R4 年度 豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興			鳥獣被害対策協議会補助金	830
項	4	施策展開	⑧有害鳥獣対策を強化する				
目	2	後期基本計画	24 P			<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	116						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 有害鳥獣等の被害対策強化と電気柵等の設置指導を行い農林産物を被害から守る  <令和4年度の取組内容(計画)> 鳥獣被害対策協議会補助金 830千円	R3	箱わな購入、初心者狩猟講習会、緩衝帯整備、サル用捕獲檻運用に係る通信費、防護柵設置用資材移動運搬費に対して830千円の補助を行った。	R3計画 500				500	
			当初予算	500				500
			決算額	830				830
	R4	箱わな購入、初心者狩猟講習会、緩衝帯整備、サル用捕獲檻運用に係る通信費、防護柵設置用資材移動運搬費に対して830千円の補助を行った。	R4計画 500				500	
			当初予算	830				830
			決算額	830				830
	R5		R5計画 500				500	
			当初予算	830				830
			決算額					
	R6		R6計画 500				500	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 500				500	
		当初予算						
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	2,500			2,500	
			当初予算	2,160			2,160	
			決算額	1,660			1,660	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 鳥獣被害対策協議会補助事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	500	千円	目標値	500	500	500	500	500
					実績値	830	830			
					% 達成率	166	166			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 鳥獣被害対策協議会補助事業	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	500	千円	目標値	500	500	500	500	500
					実績値	830	830			
					% 達成率	166	166			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	18点	3点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点
			25点		25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
有害鳥獣被害対策において、鳥獣被害対策協議会による防護柵設置や箱わな購入、初心者狩猟講習会助成、緩衝帯整備等は重要な事業であり、今後も継続を行う。	有害鳥獣被害対策において重要な事業であり、今後も継続を行う。

事業	森林経営管理事業	細事業	森林環境譲与税基金管理事業	実施計画事業	森林環境譲与税基金管理事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称	森林環境譲与税基金積立金	当初予算額	62,054
款	6	施策	2 林業の振興						
項	4	施策展開	③未整備森林を整備する						
目	2	後期基本計画	26 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当						
決算	117								

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 整備森林の整備を促進し、健全な育成と、公益的機能の増進を図り、地域林業の振興を図る。  <令和4年度の取組内容(計画)> 森林環境譲与税(一般財源) 62,052千円 森林環境譲与税基金預金利子 1千円 森林経営管理事業立木売払収入 1千円	R3	森林環境譲与税として48,073千円が譲与された。また、クスギ林整備における売払い収入が99,884円あり、森林環境譲与税とあわせて基金積立を行った。	R3計画 47,949			1	47,948
			当初予算 47,949			1	47,948
			決算額 48,173			100	48,073
	R4	森林環境譲与税として58,230千円が譲与された。また、クスギ林整備における売払い収入が172,243円あり、森林環境譲与税とあわせて基金積立を行った。	R4計画 62,053			1	62,052
			当初予算 62,054			2	62,052
			決算額 58,403			173	58,230
	R5		R5計画 62,053			1	62,052
			当初予算 59,895			1	59,894
			決算額				
	R6		R6計画 76,155			1	76,154
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 76,155			1	76,154
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 324,365			5	324,360
			当初予算 169,898			4	169,894
			決算額 106,576			273	106,303

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 1 森林環境譲与税基金管理事業	森林環境譲与税	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	47,951	千円	目標値	47,949	62,053	62,053	76,155	76,155
					実績値	48,173	58,403			
					%	達成率	100.5	94.1		
D 1 森林環境譲与税基金管理事業	森林環境譲与税	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	47,951	千円	目標値	47,949	62,053	62,053	76,155	76,155
					実績値	48,173	58,403			
					%	達成率	100.5	94.1		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		19点	19点
		／25点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 森林環境譲与税として58,230千円が譲与された。今後も譲与額は増額される予定であり、適切に基金管理を行う。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 譲与された森林環境譲与税は基金として適切に管理を行う。
---	---

事業番号	枝番
302002	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	農林整備課	係名	林業振興係
-----	-------	----	-------

事業	森林経営管理事業	細事業	森林経営管理事業	実施計画事業	森林経営管理事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (63)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	2 林業の振興				
項	4	施策展開	③未整備森林を整備する				
目	2	後期基本計画	26 P				
決算	117			期間	年度 ~ 年度	未整備森林抽出業務委託料	20,000
						未整備森林調査業務委託料	13,000
						森林経営管理業務委託料	13,000
						森林作業道整備事業補助金	6,400

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 未整備森林の整備を促進し、健全な育成と、公益的機能の増進を図り、地域林業の振興を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ①未整備森林抽出業務 ②未整備森林調査業務 ③森林経営管理事業 ④未整備森林情報管理システム保守業務 ⑤林道等改修事業 ⑥森林作業道整備事業 ⑦荒廃森林整備事業 ⑧再造林担い手確保支援事業 ⑨林業就業環境改善事業 ⑩林業作業員育成支援事業 ⑪林業機械等導入支援事業 ⑫林業技術資格取得支援事業(新規) ⑬森林クラウドシステム使用料(新規) ⑭林業振興協議会運営費 ⑮位普及啓発 ⑯事務員費 ⑰事務費</p>	R3	森林環境譲与税の使途として示されている①森林整備、②人材育成・担い手支援、③木材利用の促進、④普及啓発、⑤実行体制整備に従い、事業実施を行った。	R3計画 48,839	890		47,949	
	当初予算	48,839	890		47,949		
	決算額	33,510	1,304		32,206		
	R4	森林環境譲与税の使途として示されている①森林整備、②人材育成・担い手支援、③木材利用の促進、④普及啓発、⑤実行体制整備に従い、事業実施を行った。	R4計画 62,053	890		61,163	
	当初予算	70,803	915		69,888		
	決算額	53,727	940		52,787		
	R5		R5計画 62,053	890		61,163	
	当初予算	37,290	3,807		33,483		
	決算額						
	R6		R6計画 76,155	890		75,265	
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 76,155	890		75,265	
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 325,255	4,450		320,805	
			当初予算 156,932	5,612		151,320	
			決算額 87,237	2,244		84,993	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 森林経営管理事業	総事業費	40,059	千円	目標値	48,839	62,053	62,053	76,155	76,155
					実績値	33,510	53,727			
	2 -				目標値					
					実績値					
D 成果指標	1 森林経営管理事業	総事業費	40,059	千円	目標値	48,839	62,053	62,053	76,155	76,155
					実績値	33,510	53,727			
	2 -				目標値					
					実績値					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	16点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	16点
		16点	16点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 令和5年度以降、森林環境譲与税譲与金が更に増額される見込みであり、未整備森林の整備を更に加速していく必要がある。 林業振興協議会およびプロジェクトチーム、林業事業者の意見も取り入れながら、有効な方策を事業化していく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 令和5年度以降、森林環境譲与税譲与金が更に増額される見込みであり、未整備森林整備等を更に加速していく必要がある。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	治山林道整備事業	細事業	林道維持管理事業	実施計画事業	林道維持管理事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (57)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	6	施策	2 林業の振興		期間	年度 ~ 年度			橋梁点検業務委託料	9,000
項	4	施策展開	②林業生産基盤を整備する		期間	年度 ~ 年度			林道維持補修工事請負費	8,000
目	3	後期基本計画	26 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略			<input type="checkbox"/> コロナ充当	草刈等委託料
決算	118						林道維持作業委託料	270		

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 低コストでの優良材生産を可能にするため、植栽・除伐・間伐・枝打ち・下刈りといった森林整備を効率的に実施できるように林道・作業道の整備を推進するなど、造林を支援します。  <令和4年度の取組内容(計画)> 林道維持補修工事請負費 林道補修 橋梁点検業務委託料 橋梁14橋 草刈等委託料 除草作業委託等	R3	林道維持補修工事請負費 橋梁点検業務委託料 トンネル1件・橋梁1件・詳細設計1件 草刈等委託料	R3計画 23,788	5,400			18,388
	当初予算	23,788	5,400			18,388	
	決算額	22,103	5,320			16,783	
	R4	林道維持補修工事請負費 林道補修 橋梁点検業務委託料 橋梁14橋 草刈等委託料 除草作業委託等	R4計画 18,000				18,000
	当初予算	22,659	5,400			17,259	
	決算額	21,647	4,884			16,763	
	R5		R5計画 18,000				18,000
	当初予算	36,791	11,850			24,941	
	決算額						
	R6		R6計画 18,000				18,000
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 18,000				18,000
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 95,788	5,400			90,388
			当初予算 83,238	22,650			60,588
			決算額 43,750	10,204			33,546

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 林道維持管理事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	20,845	千円	目標値	23,788	18,000	18,000	18,000	18,000
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	22,103	21,647			
		% 達成率			92.9	120.3				
D 成果指標	1 林道維持管理事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	20,845	千円	目標値	23,788	18,000	18,000	18,000	18,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	22,103	21,647			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	92.9	120.3			
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

(対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		20点	20点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 林道施設点検は必ず5年に一度は行うものなので、計画的に予算化して点検を行うものとする。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 林道施設点検後の補修箇所について、計画的に予算化して実行する。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	治山林道整備事業	細事業	管理林道整備事業	実施計画事業	管理林道整備事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	6	施策	2 林業の振興		期間	年度 ~ 年度			林道積算システム使用料	420
項	4	施策展開	②林業生産基盤を整備する		期間	年度 ~ 年度			三宅山線開設推進協議会負担金	30
目	3	後期基本計画	26 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当							
決算	118									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 低コストでの優良材生産を可能にするため、植栽・除伐・間伐・枝打ち・下刈りといった森林整備を効率的に実施できるように林道・作業道の整備を推進するなど、造林を支援します。  <令和4年度の実績内容(計画)> 林道積算システム使用料 林道積算システム 1式	R3	林道積算システム使用料 林道積算システム 1式	R3計画 450 当初予算 450 決算額 420				450	
	R4	林道積算システム使用料 林道積算システム 1式	R4計画 420 当初予算 450 決算額 419				420	
	R5		R5計画 420 当初予算 458 決算額				420	
	R6		R6計画 420 当初予算 決算額				420	
	R7		R7計画 420 当初予算 決算額				420	
	R3 ~ R7 合計			計画額 2,130 当初予算 1,358 決算額 839				2,130 1,358 839

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 林道積算システム使用料 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	450	千円	目標値	450	420	420	420	420
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	420	419			
		% 達成率			93.3	99.8				
D 成果指標	1 林道積算システム使用料 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	450	千円	目標値	450	420	420	420	420
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	420	419			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	93.3	99.8			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
事業継続するために林道積算システムを継続して契約することが必要になる。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
事業継続するために林道積算システムを継続して契約することが必要になる。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	治山林道整備事業	細事業	治山事業	実施計画事業	治山事業	終了年度	なし
----	----------	-----	------	--------	------	------	----

総合計画体系図No.1 (57)												
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち					個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	6	施策	2 林業の振興						治山工事請負費	5,000		
項	4	施策展開	②林業生産基盤を整備する						治山事業測量設計委託料	500		
目	3	後期基本計画	26	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	原材料費
決算	118									大分県治山林道協会負担金	263	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 低コストでの優良材生産を可能にするため、植栽・除伐・間伐・枝打ち・下刈りといった森林整備を効率的に実施できるように林道・作業道の整備を推進するなど、造林を支援します。  <令和4年度の実績内容(計画)> 県営治山事業付帯工事 大野町泉地区	R3	治山工事請負費 大飼町西ノ平地区(黒松) 流末排水路整備 L=65.8m	R3計画 9,242 当初予算 9,242 決算額 3,672				9,242	
	R4	県営治山事業付帯工事 大野町泉地区	R4計画 1,242 当初予算 6,063 決算額 10,539				1,242	
	R5		R5計画 1,242 当初予算 6,107 決算額				1,242	
	R6		R6計画 1,242 当初予算 決算額				1,242	
	R7		R7計画 1,242 当初予算 決算額				1,242	
	R3 ~ R7 合計			計画額 14,210 当初予算 21,412 決算額 14,211				14,210

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 治山事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	570	千円	目標値 9,242 実績値 3,672 達成率 39.7	1,242	1,242	1,242	1,242
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	848.6				
D 成果指標	1 治山事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	570	千円	目標値 9,242 実績値 3,672 達成率 39.7	1,242	1,242	1,242	1,242
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	848.6				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 県営治山事業を進める上で付帯工事が伴ってくるので県営事業と同時期に行う必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 県営治山事業を進める上で付帯工事が伴ってくるので事業は継続する必要がある。
--	---

事業	消費生活相談事業	細事業	消費生活相談事業	実施計画事業	消費生活相談事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	7	施策	7 交通安全・防犯対策の推進		期間	年度 ~ 年度	消費生活相談業務委託料	1,462
項	1	施策展開	③消費者対策を充実する				消耗品費	300
目	2	後期基本計画	64 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				専門相談員育成委託料	132
決算	119						燃料費	160

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 消費者安全法第10条第2項の規定に基づき、豊後大野市消費生活センターを設置している。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 電話や来庁による相談受付に加え、出前講座やホームページにより、積極的な啓発に努める。また、毎月弁護士に消費生活相談に関する指導を受ける。</p>	R3	電話や来庁による相談受付を実施した。また、毎月弁護士に消費生活相談に関する指導を受けた。	R3計画 2,240				2,240
			当初予算 2,240				2,240
			決算額 2,240				2,240
	R4	電話や来庁による相談受付を実施した。また、毎月弁護士に消費生活相談に関する指導を受けた。	R4計画 2,131				2,131
			当初予算 2,131				2,131
			決算額 2,075				2,075
	R5		R5計画 3,177				3,177
			当初予算 3,177				3,177
			決算額				
	R6		R6計画 3,177				3,177
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 3,177				3,177
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 13,902				13,902
			当初予算 7,548				7,548
			決算額 4,315				4,315

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 相談件数	市消費生活センターで受けた相談件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	61	件	目標値	80	80	80	80	80
						実績値	104	103			
						% 達成率	130	128.8			
D 成果指標	1 被害回復額	消費生活相談センターを介して相談者がクリーニングオフ等で救済された金額	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2,765	千円	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
						実績値	3,609	2,803			
						% 達成率	120.3	93.4			
E 評価対象外の理由	O 評価対象		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	17点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	
			25点	16点
			25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
消費者安全法により市町村には消費生活センターを設置する努力義務があり、本市においては「豊後大野市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例」を制定して消費生活相談業務をおこなっているため、継続した取り組みが必要である。	消費者安全法により市町村には消費生活センターを設置する努力義務があり、本市においては「豊後大野市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例」を制定して消費生活相談業務を実施している。消費者を守るために事業の継続は必要である。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	商工業振興事業	細事業	商工業推進事業	実施計画事業	商工会補助事業	終了年度	なし
----	---------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No. ( 77 )

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	7	施策	4 商業・サービス業の振興		期間	年度 ~ 年度		
項	1	施策展開	①経営基盤を強化する					
目	2	後期基本計画	30 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	120							

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 商工会が行う小規模事業者に対する指導事業及び商工業の振興と安定を図るための事業に要する経費について、補助金を交付する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 補助金の交付により、経営指導員の取組を支援することにより、小規模事業者の経営の改善及び商工業の振興を図る。 ・創業セミナーの共催 ・各種補助金採択支援(持続化補助金、ものづくり補助金、経営革新補助金、事業承継補助金) ・各種計画承認(事業継続力強化計画承認、経営革新等承認)</p>	R3	・会員事業所からの相談受付及び経営指導 ・コロナ関連の支援金、給付金等の申請支援 ・創業セミナーの開催	R3計画 17,700 当初予算 17,700 決算額 17,700			4	17,696	
	R4	・会員事業所からの相談受付及び経営指導 ・各種補助金・給付金等の申請支援 ・創業セミナーの開催	R4計画 17,400 当初予算 17,400 決算額 17,400			4	17,396	
	R5		R5計画 17,000 当初予算 17,000 決算額			4	16,996	
	R6		R6計画 17,000 当初予算 決算額			4	16,996	
	R7		R7計画 17,000 当初予算 決算額			4	16,996	
	R3 ~ R7 合計			計画額 86,100 当初予算 52,100 決算額 35,100			20	86,080

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 経営等に関する指導件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	3,847	件	目標値	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4,231	3,452			
	2 創業相談	<input type="checkbox"/> 総合戦略	15	件	目標値	20	20	20	20	20
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	21	11			
D 成果指標	1 商工会員数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	834	人	目標値	856	866	876	886	896
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	849	852			
	2 事業所数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画			目標値					1,537
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1,497	1,497			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点	
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	16点	3点	17点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>通常の経営指導やコロナ禍・物価高騰対策等における各種補助金・給付金等の申請支援あるいは融資相談等により、会員事業所の経営改善に貢献しており、担当の経営指導員が会員事業者を伴走型でサポートする体制が確立している。高齢化や人口の減少等で会員数の維持拡大は容易ではないが、今後も事業者に寄り添った経営指導あるいは創業支援・後継者支援等により、本市商工業の発展を図っていただきたい。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>市内小規模事業者の経営維持や改善を図るための経営指導や各種補助金(持続化補助金、ものづくり補助金等)の支援や創業セミナーの開催等により市内商工業の振興が図られており事業の継続が必要である。</p>
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	商工業振興事業	細事業	商工業推進事業	実施計画事業	中小企業振興資金融資関連事業	終了年度	なし
----	---------	-----	---------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (76)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	7	施策 4 商業・サービス業の振興			期間	年度 ~ 年度	中小企業振興資金預託金	30,000
項	1	施策展開 ①経営基盤を強化する					融資制度資金保証料補助金	850
目	2	後期基本計画 30 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	120							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 豊後大野市中小企業振興条例の規定に基づき、中小企業者等に対して必要な施策を講ずることにより、経営の改善及び経営基盤の強化の促進を図り、もって本市の商工業の発展に資することを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 豊後大野市中小企業振興資金融資規則第6条で定める融資資金として1千万円ずつ3つの取扱金融機関に預託し、この預託金を原資として金融機関から融資を受けた市内事業者に、同規則第12条で定める保証料補助金を交付する。</p>	R3	指定金融機関(大分銀行、県信用組合、豊和銀行)に1千万円ずつ預託し、指定金融機関が豊後大野市中小企業振興資金を市内事業者に貸し付ける際に必要となる保証料を、市が補助した。	R3計画 30,850			30,000	850
	当初予算	30,850			30,000	850	
	決算額	30,350			30,000	350	
	R4	指定金融機関(大分銀行、県信用組合、豊和銀行)に1千万円ずつ預託し、指定金融機関が豊後大野市中小企業振興資金を市内事業者に貸し付ける際に必要となる保証料を、市が補助した。	R4計画 30,850			30,000	850
	当初予算	30,850			30,000	850	
	決算額	30,190			30,000	190	
	R5		R5計画 30,850			30,000	850
	当初予算	30,850			30,000	850	
	決算額						
	R6		R6計画 30,850			30,000	850
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 30,850			30,000	850
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 154,250			150,000	4,250
			当初予算 92,550			90,000	2,550
			決算額 60,540			60,000	540

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 取扱金融機関の数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	社	目標値	3	3	3	3	3
					実績値	3	3			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 資金貸付件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値	3	3	3	3	3
					実績値	3	1			
					% 達成率	100	33.3			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 豊後大野市中小企業振興条例に基づき、産業振興対策及び創業者支援として、市内の中小企業者等が事業資金の融資を受けやすくなるための預託金と保証料補助金であり、今後も本市の産業振興及び創業者支援のために必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 豊後大野市中小企業振興条例に基づき、産業振興対策及び創業者支援として、市内の中小企業者等が事業資金の融資を受けやすくなるための預託金と保証料補助金であり、今後も本市の産業振興及び創業者支援のために必要である。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	商工業振興事業	細事業	商工業推進事業	実施計画事業	商業活性化支援事業補助事業	終了年度	なし
----	---------	-----	---------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (78)														
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち					個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称 商業活性化支援事業補助金	当初予算額 176,500				
款	7	施策	4 商業・サービス業の振興											
項	1	施策展開	①経営基盤を強化する											
目	2	後期基本計画	30	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>				総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input checked="" type="checkbox"/>
決算	120													

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 市内景気の回復に向けた消費喚起及び地域の商工業者の振興による地域経済の活性化のため、豊後大野市商工会が実施するプレミアム商品券事業に要する経費に対して補助金を交付するもの  <令和4年度の取組内容(計画)> ○商品券(プレミアム率30%)の販売 ○飲食専用商品券(プレミアム率40%)の販売  ※令和4年12月補正した179,804千円は、令和5年度に繰り越したため、ここでは計上していません。	R3	○レインボーシティ商品券(プレミアム率20%)の販売 ○飲食専用商品券(プレミアム率30%)の販売	R3計画 44,000 当初予算 44,000 決算額 42,254	44,000			4	
	R4	○商品券(プレミアム率30%)の販売 3~5月と9~1月の2回実施 ○飲食専用商品券(プレミアム率40%)の販売 7月中旬~1月中旬 ※令和4年12月補正した179,804千円は、令和5年度に繰り越したため、ここでは計上していません。	R4計画 176,500 当初予算 176,500 決算額 272,092	152,250			24,250	
	R5		R5計画 11,000 当初予算 179,804 決算額	164,072			15,732	
	R6		R6計画 11,000 当初予算 決算額				11,000	
	R7		R7計画 11,000 当初予算 決算額				11,000	
	R3 ~ R7 合計			計画額 253,500 当初予算 400,304 決算額 314,346	196,250			57,250
								39,982
							28,069	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標 1 商品券等プレミアム分の額	プレミアム付き商品券及び飲食店専用券のプレミアム分の金額の総額(令和5年度以降は感染症対応地方創生臨時交付金がないものとして目標値を設定)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	52,128	千円	目標値	39,000	260,000	10,000	10,000	10,000
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	38,890	259,283			
D 成果指標 1 域内の消費喚起	市民等が購入したプレミアム付き商品券や飲食店専用券の経済効果(換金額)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	312,769	千円	目標値	219,000	1,110,000	110,000	110,000	110,000
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	218,443	1,107,021			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	16点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		16点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 コロナ禍における商工業者支援策として実施した。今後も、コロナ禍や物価高騰に対応するために国県の交付金・補助金を最大限活用しながら、市内事業者の経営支援や市民の生活支援に役立てたい。 ※感染症対応地方創生臨時交付金や大分県消費喚起プレミアム商品券事業補助金がなくなった場合は、事業の廃止又は縮小を検討する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 コロナ禍や物価高騰が続く状況においては、域内の消費喚起や事業所の経営支援として、プレミアム率を上乗せすること等でより成果が表れた事業となった。今後も域内の消費を喚起し、市内事業者を支援するために必要な事業である。なお、実施回数やプレミアム率については、情勢等を考慮する必要がある。
--	--

事業	商工業振興事業	細事業	商工業推進事業	実施計画事業	小規模事業者経営改善資金利子補給補助事業	終了年度	なし
----	---------	-----	---------	--------	----------------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	7	施策	4 商業・サービス業の振興		期間	年度	年度			小規模事業者経営改善資金利子補給補助金	6,168
項	1	施策展開	①経営基盤を強化する		期間	年度	年度				
目	2	後期基本計画	30 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	120										

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 小規模事業者の経営の安定と発展を図るため、株式会社日本政策金融公庫による小規模事業者経営改善資金の融資を受けた小規模事業者に対し、借り入れた融資にかかる償還利子の一部について、利子補給補助金を交付するもの。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・商工会から請求のあった各債務者の償還利子の一部を要綱に基づき補助する。 ・年末までに補助要綱を改正する(期間延長)。</p>	R3	当該利子補給は、コロナ禍前から実施しているものであるが、令和3年度は、コロナ禍に対応した様々な低利率融資があったため、小規模事業者経営改善資金の融資実績や当該利子補給の給付額が例年より伸びなかった。
	R4	・商工会から請求のあった各債務者の償還利子の一部を要綱に基づき補助した。 ・補助要綱を改正し、事業実施期間を延長した。
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	8,942				8,942
当初予算	8,942				8,942
決算額	4,919				4,919
R4計画	6,168				6,168
当初予算	6,168				6,168
決算額	3,661				3,661
R5計画	9,000				9,000
当初予算	6,781				6,781
決算額					
R6計画	9,000				9,000
当初予算					
決算額					
R7計画	9,000				9,000
当初予算					
決算額					
計画額	42,110				42,110
当初予算	21,891				21,891
決算額	8,580				8,580

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 新規借入件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	46	件	目標値	50	50	50	50	50
					実績値	29	36			
					% 達成率	58	72			
D 成果指標	1 新規借入額	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	290,000	千円	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
					実績値	125,400	234,700			
					% 達成率	41.8	78.2			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	17点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	／25点	3点
			17点
			／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 コロナ禍に対応した国県や金融機関等による低利な融資が多数あり、コロナ前と比較すれば給付額が減少傾向であるが、それらの融資条件に合わない(コロナとは直接関係ない)融資が必要な事業者がいるほか、過去に融資を受けた事業者の利子補給も必要のため、引き続き実施する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 市内小規模事業者が、事業継続と経営の安定を図るために利用する融資(マル経資金)に対して、市が行う利子補給は事業者の支援として必要である。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	商工業振興事業	細事業	商工業推進事業	実施計画事業	ものづくり生産性向上緊急促進事業補助	終了年度	R5
----	---------	-----	---------	--------	--------------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
款	7	施策	4 商業・サービス業の振興		期間	年度 ~ 年度		
項	1	施策展開	②商業・サービス業を活性化する					
目	2	後期基本計画	30 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	120							

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 新型コロナウイルス感染拡大の影響で経営状況が悪化した中小企業や個人事業主の支援。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 国が実施するものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金を活用した設備投資等の事業が完了したものに本市補助金を交付する。</p>	R3	国が実施するものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金を活用した設備投資等の事業が完了したものに本市補助金を7件交付した。	R3計画	8,750	3,000			5,750
				当初予算	8,750	3,000		5,750
				決算額	8,265	3,000		5,265
	R4	国が実施するものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金を活用した設備投資等の事業が完了したものに本市補助金を13件交付した。	R4計画	20,000	14,000			6,000
				当初予算	20,000	14,000		6,000
				決算額	12,943	12,000		943
	R5		R5計画	7,500				7,500
				当初予算	7,500			7,500
				決算額				
	R6		R6計画					
				当初予算				
				決算額				
	R7		R7計画					
				当初予算				
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額	36,250	17,000			19,250
			当初予算	36,250	17,000			19,250
			決算額	21,208	15,000			6,208

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 国のものづくり補助金採択件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	5	件	目標値	10	5	1		
					実績値	15	7			
					% 達成率	150	140			
					% 達成率					
D 成果指標	1 市補助金交付件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	件	目標値	4	12	3		
					実績値	7	13			
					% 達成率	175	108.3			
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
感染症対応地方創生臨時交付金を充当した臨時的な補助事業であるため、令和5年度まで現行通り継続する。	感染症対応地方創生臨時交付金を充当した臨時的な補助事業であり令和5年度までの事業となる。

事業	商工業振興事業	細事業	特産品販路拡大事業	実施計画事業	求評・商談会委託事業	終了年度	なし
----	---------	-----	-----------	--------	------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	7	施策	4 商業・サービス業の振興		期間	年度	～	年度	求評・商談会等実施委託料	1,870
項	1	施策展開	②商業・サービス業を活性化させる		期間	年度	～	年度		
目	2	後期基本計画	30 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当							
決算	120									

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 中小企業・小規模企業活性化基本条例第11条の地域資源の利活用による産業の発展及び創出という基本方針にのっとり、中小企業者等の特産品の販路を拡大する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ○市商工会による本市特産品の商談会を開催する。</p>	R3	○オンライン商談会の開催 コロナ禍におけるギフト需要に特化した商談会にしたため成約数が伸びた。
	R4	○オンライン商談会の開催 ○東京都内や大分市内での本市特産品求評会・PRの実施
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	880				880
当初予算	880				880
決算額	880				880
R4計画	1,870				1,870
当初予算	1,870				1,870
決算額	1,700				1,700
R5計画	1,000				1,000
当初予算	1,000				1,000
決算額					
R6計画	1,000				1,000
当初予算					
決算額					
R7計画	1,000				1,000
当初予算					
決算額					
計画額	5,750				5,750
当初予算	3,750				3,750
決算額	2,580				2,580

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 商談会開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 成約件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	6	件	目標値	6	7	8	9	10
					実績値	24	12			
					% 達成率	400	171.4			

E 評価対象外の理由 ○評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	18点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	／25点	3点
			18点
			／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 本市特産品製造事業者と市商工会の経営指導員等が協議を重ねながら準備を進め、デパートや通販事業者等のバイヤーと契約が成立するなどの成果が出ている。また、新型コロナウイルス感染症の影響が低下してきたため、オンライン商談会以外にも、実店舗やイベント会場での求評会も行うことができた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 今後も本市の魅力発信のために継続する必要がある。
---	--

事業	商工業振興事業	細事業	特産品販路拡大事業	実施計画事業	ブランド認証・特産品PR事業	終了年度	なし
----	---------	-----	-----------	--------	----------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額		
款	7	施策	4 商業・サービス業の振興		期間	年度	年度				
項	1	施策展開	②商業・サービス業を活性化させる		期間	年度	年度				
目	2	後期基本計画	30 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当			県公式オンラインショップ販促事業委託料	3,700
決算	120									印刷製本費	1,518
							PRイベント等実施委託料	1,500			
							消耗品費	1,000			

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt;</p> <p>市内で生産された、農林水産物等を活用した加工品等の商品を豊後大野市ブランドとして認証するなどして、広く情報発信することで、消費拡大、地域産業の振興、地域経済の活性化を図るとともに、豊後大野市の魅力を向上させることを目的としています。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt;</p> <p>○新規ブランド認証品の審査選定 ○県公式オンラインショップ販促事業委託(本市産品への割引クーポン付与) ○PRイベント等実施委託</p>	R3	○ブランド認証審査会を開催し、新規ブランド認証品を5商品選定した。 ○京王百貨店で豊後大野市ブランド認証品フェアを開催したり、博多大丸百貨店と本市の魅力発信に関する協定書を締結するなどした。	R3計画 10,795				10,795
			当初予算 10,795				10,795
			決算額 9,162				9,162
	R4	○新規ブランド認証品の審査選定 ○県公式オンラインショップ販促事業委託(本市産品への割引クーポン付与) ○PRイベント等実施委託	R4計画 10,390				10,390
			当初予算 10,390				10,390
			決算額 8,410	3,000			5,410
	R5		R5計画 10,000				10,000
			当初予算 11,184				11,184
			決算額				
		R6		R6計画 10,000			
		当初予算					
		決算額					
	R7		R7計画 10,000				10,000
		当初予算					
		決算額					
	R3 ~ R7 合計		計画額 51,185				51,185
			当初予算 32,369				32,369
			決算額 17,572	3,000			14,572

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ブランド認証審査会数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1			
	% 達成率	100	100							
2 特産品フェア参加回数	市外・県外のデパートやイベント会場等における特産品フェア等(例:新宿高野フェア、日本野菜ソムリエコンベンション、大分都市広域圏イベント)で、本市が経費の一部を負担して特産品を出展した回数(数日間連続で行われるものも1回でカウントする)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	2	5	7	10
					実績値	2	13			
					% 達成率	200	650			
D 成果指標	1 ブランド認証品数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	9	品	目標値	15	20	30	40	50
					実績値	14	24			
	% 達成率	93.3	120							
2 ブランド認証品販売実績額	豊後大野市ブランド認証商品の各年度内販売実績額の合計	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		千円	目標値	10,000	15,000	17,000	18,000	20,000
					実績値	14,000	20,506			
					% 達成率	140	136.7			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	18点	3点	18点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 豊後大野市ブランド認証制度も3年度目となり、新たに10商品3事業者が認証され、全部で24商品10事業者となった。また、県公式オンラインショップでの本市産品への割引付与や市外県外イベントでの本市特産品のPR・販売等により、市外の方へ本市の魅力を発信できた。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 今後も引き続きブランド認証や特産品のPRを進めていきたい。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	商工業振興事業	細事業	商業集積地管理事業	実施計画事業	商業集積地管理事業	終了年度	なし
----	---------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額			
款	7	施策	4 商業・サービス業の振興		期間	年度 ~ 年度			交流とにぎわいの拠点施設屋外トイレ解体工事請負費	2,000	
項	1	施策展開	②商業・サービス業を活性化する		期間	年度 ~ 年度			交流とにぎわいの拠点施設管理委託料	1,410	
目	2	後期基本計画	30 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略			<input type="checkbox"/> コロナ充当	交流とにぎわいの拠点施設広告塔改修工事請負費	793
決算	120								光熱水費	624	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 豊後大野市の特性をいかした魅力ある地域づくりを目指し、地域間交流の推進及びにぎわいの場を創出するとともに、利便性に優れた魅力ある商業地を形成するため。(朝地) 交流とにぎわいの拠点施設</p> <p>&lt;令和4年度取組内容(計画)&gt; 各施設の維持管理及び使用料の徴収。屋外トイレの解体、広告塔の改修。</p>	R3	朝地町の交流とにぎわいの拠点施設(朝地サンサン通り)の維持管理を行った。	R3計画 2,809			1,691	1,118
			当初予算 2,809			1,691	1,118
			決算額 4,053			3,777	276
	R4	朝地町の交流とにぎわいの拠点施設(朝地サンサン通り)の維持管理を行った。また、屋外トイレの解体や広告塔の改修も行った。	R4計画 5,607			1,640	3,967
			当初予算 5,686			1,020	4,666
			決算額 5,686				5,686
	R5		R5計画 5,070			1,321	3,749
			当初予算 5,070				5,070
			決算額				
	R6		R6計画 2,809			1,321	1,488
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 2,809			1,321	1,488
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 19,104			7,294	11,810
			当初予算 13,565			2,711	10,854
			決算額 9,739			3,777	5,962

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 貸付可能区画数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	6	件	目標値	6	6	6	6	6
					実績値	6	6			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 貸付実行区画数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	6	件	目標値	6	6	6	6	6
					実績値	6	6			
					% 達成率	100	100			
E 評価対象外の理由	0 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊後大野市交流とにぎわいの拠点施設条例に基づいて、適切に施設管理し、貸付審査委員会も適宜開催できた。当該施設の貸付地に大分県農協が設置しているAコープ朝地店は、中九州道路竹田ICまでの開通等により令和2年2月に閉店となっている。	Aコープ朝地店の閉店等を受け、施設の見直しが必要。

事業	企業誘致推進事業	細事業	企業誘致推進事業	実施計画事業	企業誘致推進事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	7	施策	3 工業の振興		期間	年度 ~ 年度			企業立地助成金	12,407
項	1	施策展開	①企業誘致を推進する		期間	年度 ~ 年度			情報関連企業誘致促進事業補助金	4,000
目	2	後期基本計画	28 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		期間	年度 ~ 年度			印刷製本費	776
決算	121								普通旅費	262

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 地域活力の向上や雇用の場の創出のために、企業誘致や地場企業の増設を推進する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ○企業立地助成金(増設) ○立地企業の事業所・工場等への訪問 ○立地企業との意見・情報交換 ○企業立地案内冊子の作成・配布</p>	R3	○大分県企業立地推進課との連絡調整 ○企業ガイドブックの作成・配布 ○立地企業の事業所・工場等への訪問 ○立地企業の工場増設等への支援 ○立地企業の本社訪問(隔年:R3年度実施)	R3計画 18,510 当初予算 18,510 決算額 13,902			5	18,505
	R4	○大分県企業立地推進課との連絡調整 ○企業立地案内冊子の作成・配布 ○立地企業の事業所・工場等への訪問 ○立地企業の工場増設等への支援	R4計画 17,468 当初予算 13,468 決算額 13,468			5	17,463
	R5		R5計画 5,061 当初予算 5,161 決算額			5	5,056
	R6		R6計画 5,061 当初予算 決算額		5	5,056	
	R7		R7計画 5,061 当初予算 決算額		5	5,056	
	R3 ~ R7 合計			計画額 51,161 当初予算 37,139 決算額 27,370		25	51,136

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 立地企業訪問回数 立地企業の工場等を訪問した回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	30	回	目標値	30	30	30	30	30
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	35	37			
		% 達成率			116.7	123.3				
D 成果指標	1 立地企業数等 誘致企業の数及び企業立地促進条例第3条の指定を受けて事業所を新設又は増設した企業数(累積)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	6	社	目標値	7	7	8	9	10
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	7	8			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	114.3			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	19点	3点	17点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 立地企業については、助成金による設備投資支援や過疎地域自立促進特別措置法による固定資産税の減免さえあれば、工場の増設や設備投資、それに伴う従業員の増員等が見込めることがあるので、引き続き地場企業との情報交換を続けるとともに、大分県企業立地推進課等関係機関と連携を図りながら空き工場の情報等を発信し新規の誘致を進める。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 立地企業を訪問し、意見交換をするなどして情報の収集や市の情報提供に努めている。また、企業誘致を促進するための補助制度は引き続き継続する必要がある。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	観光振興事業	細事業	観光情報発信PR事業	実施計画事業	観光ポスター・パンフレット作成事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------------	--------	-------------------	------	----

総合計画体系図No.→ ( 93 )

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	豊後大野市観光振興ビジョン 期間 H30 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	7	施策	5 観光の振興			印刷製本費	631
項	1	施策展開	②観光情報発信を強化する				
目	3	後期基本計画	32 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	122						

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<事業の目的> 豊後大野市の地域資源や観光情報を市内外へ広く発信するため、観光パンフレットを作成し市内外に配付設置した。 おでかけマップ 修正増刷 15,000部 新しい旅 修正増刷 10,000部 阿蘇くじゅう高千穂広域マップ印刷 1,625部 チューリップフェスタスタンプラリー台紙 5,000部  <令和4年度の取組内容(計画)> ・観光パンフレットの増刷(新しい旅パンフレット修正増刷(10,000部)) ・観光マップの増刷(おでかけマップ修正増刷15,000部)	R3	地域資源や観光情報を市内外へ広く発信するため、観光パンフレットを作成し市内外に配付設置した。 おでかけマップ 修正増刷 15,000部 新しい旅 修正増刷 10,000部 阿蘇くじゅう高千穂広域マップ印刷 1,625部 チューリップフェスタスタンプラリー台紙 5,000部
	R4	地域資源や観光情報を市内外へ広く発信するため、観光パンフレットを作成し市内外に配付設置した。 おでかけマップ 修正増刷 15,000部 新しい旅 修正増刷 8,000部
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	707				707
当初予算	707				707
決算額	890				890
R4計画	707				707
当初予算	631				631
決算額	631				631
R5計画	707				707
当初予算	668				668
決算額					
R6計画	707				707
当初予算					
決算額					
R7計画	707				707
当初予算					
決算額					
計画額	3,535				3,535
当初予算	2,006				2,006
決算額	1,521				1,521

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1	パンフレット設置箇所	市内外の観光案内所、観光施設等でのパンフレット設置箇所	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	20	箇所	25	30	35	38	40
							25	30			
							100	100			
D 成果指標	1	観光入込客数	観光入込客数(道の駅レジ客数2倍)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	130	万人	140	144	150	156	165
							128	124			
							91.4	86.1			
	2	観光ポータルサイトアクセス件数	ぶんご大野市の旅公社のホームページアクセス件数(令和2年度改修)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	9,515	件	50,000	65,000	80,000	90,000	100,000
							70,056	99,390			
							140.1	152.9			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	22点	4点	20点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 紙の観光マップ等はデジタル社会の時代においても誘客のツールとして必要。印刷部数は、どれも概ね1年で消費する部数を印刷している。毎年印刷を行うのは、観光に関する情報は変更が随時発生するため、毎年細かい修正を行いつつ印刷する必要がある。今年度は紙代の高騰により印刷できる部数が限られた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 紙の観光マップ等はデジタル社会の時代においても誘客のツールとして必要。印刷部数は、どれも概ね1年で消費する部数を印刷している。観光情報は、随時更新していかなければならないため、毎年修正して増刷をする必要があり継続して取組む必要がある。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	観光振興事業	細事業	観光情報発信PR事業	実施計画事業	広告事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------------	--------	------	------	----

総合計画体系図No.1 (93)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市観光振興ビジョン 期間 H30年度 ~ R7年度	令和4年度主な歳出名称 当初予算額 ホットタウンインフォメーション 839 広告委託料 iナビおおいた業務委託料 374 広告料 300
款	7	施策 5 観光の振興			
項	1	施策展開 ②観光情報発信を強化する			
目	3	後期基本計画 32 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	122				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 豊後大野市の各種イベントや観光情報を市内外へ広く発信するため、メディア等を活用した情報発信を行った。 ・ホットタウンインフォメーション広告委託 放送回数147回 ・iナビおおいた業務委託 情報掲載計187回 ・九州王国プレミアム広告 記事掲載1回  <令和4年度の取組内容(計画)> ・ラジオ番組内でのスポットCM放送業務 ・インターネット、テレビ、ラジオを活用した情報発信業務 ・雑誌等での広告業務	R3	本市の各種イベントや観光情報を市内外へ広く発信するために、メディア等を活用した情報発信を行った。 ・ホットタウンインフォメーション広告委託 放送回数147回 ・iナビおおいた業務委託 情報掲載計187回 ・九州王国プレミアム広告 記事掲載1回	R3計画 1,513 当初予算 1,513 決算額 1,322				1,513	
	R4	本市の各種イベントや観光情報を市内外へ広く発信するために、メディア等を活用した情報発信を行った。 ・ホットタウンインフォメーション広告委託 放送回数157回 ・iナビおおいた業務委託 情報掲載計217回 ・月刊シティ情報おおいた広告掲載2回 ・月刊サーン8月号広告掲載1回	R4計画 1,513 当初予算 1,513 決算額 1,508				1,513	
	R5		R5計画 1,513 当初予算 1,513 決算額				1,513	
	R6		R6計画 1,513 当初予算 決算額				1,513	
	R7		R7計画 1,513 当初予算 決算額				1,513	
	R3 ~ R7 合計			計画額 7,565 当初予算 4,539 決算額 2,830				7,565 4,539 2,830

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標 1 観光情報等の告知回数	メディアでの観光・イベント情報等の告知回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	20	回	目標値	25	30	35	35	35
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	25	30			
		% 達成率			100	100				
D 成果指標 1 観光入込客数	観光入込客数(道の駅レジ客数2倍)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	130	万人	目標値	140	144	150	156	165
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	128	124			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	91.4	86.1			
2 観光ポータルサイトアクセス件数	ぶんど大野市の旅公社のホームページアクセス件数(令和2年度改修)	<input type="checkbox"/> 総合計画	9,515	件	目標値	50,000	65,000	80,000	90,000	100,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	70,056	99,390			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	140.1	152.9			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		20点	20点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 本市の各種イベントや観光情報を市内外へ広く発信するために、メディア等を活用した情報発信を行う必要がある。 FMラジオ、AMラジオ、インターネット、TV、雑誌と多様なメディアを活用した情報発信により、市外からの来訪を促すとともに豊後大野市のPRが図れた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 本市への誘客を促進するためには、メディア、雑誌等を活用した情報発信が必要であり事業を継続する必要がある。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	観光振興事業	細事業	観光振興事業	実施計画事業	情報発信支援事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ ( 93 )

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	7	施策	5 観光の振興		期間	年度 ~ 年度	会計年度任用職員報酬	9,960
項	1	施策展開	②観光情報発信を強化する				自動車等借上料	2,640
目	3	後期基本計画	32 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				住宅賃貸借料	2,560
決算	122						社会保険料(会計年度任用職員分)	1,510

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 豊後大野市の観光振興ビジョンの実現を目指し、観光振興を推進していくために「地域おこし協力隊」を募集する。宿泊施設「里の旅リゾート・ロジキよかわ」の運営等を行い定住に繋げる。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・市内指定管理施設の運営支援 ・豊後大野市の地域資源を活用した体験型・交流型ツーリズム商品の造成 ・豊後大野市の魅力情報発信・観光振興業務</p>	R3	令和3年度は1名の隊員が退任し、新たに3名の隊員が着任したことで隊員は4名となった。それぞれの協力隊が地域での活動を行い、協力隊フェイスブックで随時情報発信を行った。また、3月には令和3年度の活動報告会を開催した。	R3計画 23,382 当初予算 23,460 決算額 14,761				23,382 23,460 14,754	
	R4	・豊後大野市の地域資源を活用した体験型・交流型ツーリズム商品の造成 ・豊後大野市の魅力情報発信・観光振興業務 ・令和4年度の隊員数 4名 (年度末で2名が退任) ・3月 活動報告会を実施	R4計画 23,382 当初予算 19,481 決算額 14,561			7	23,382 19,481 14,550	
	R5		R5計画 23,382 当初予算 10,826 決算額				23,382 10,826	
	R6		R6計画 23,382 当初予算 決算額				23,382	
	R7		R7計画 23,382 当初予算 決算額				23,382	
	R3 ~ R7 合計			計画額 116,910 当初予算 53,767 決算額 29,322			18	116,910 53,767 29,304

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 活動報告会の実施 地域おこし協力隊員の活動について年1回自ら発信を行う	<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	回	目標値	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値	1	1		
		% 達成率	100			100				
2 豊後大野市の情報発信	地域おこし協力隊の活動を通じ、フェイスブックやSNS等を活用し豊後大野市の情報発信を行う。	<input type="checkbox"/> 総合戦略		29	回	目標値	14	24	24	24
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値	17	48		
		% 達成率	121.4			200				
D 成果指標	1 協力隊員の定住 3年間の地域おこし協力隊任期満了後、定住に繋げる	<input type="checkbox"/> 総合計画		2	人	目標値	1		1	3
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	1			
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	100			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	4点	18点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	3点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	
		18点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 地域おこし協力隊員は各々のミッションに積極的に取り組み、観光の振興や地域の活性化に繋がった。 令和4年度末で2名の隊員が退任したが、1名は市内でツーリズム事業を行っており、地域おこし協力隊での活動が市内での新たな事業に結びついている。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 地域力の維持や地域の活性化、そして、定住へとつながる地域おこし協力隊事業に引き続き取り組む必要がある。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	観光振興事業	細事業	ジオプロジェクト推進事業	実施計画事業	ジオプロジェクト推進事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (389)										
会計	一般	政策	VI 豊かな自然を未来に残し伝えるまち	個別計画名	おおいた豊後大野ジオパーク基本計画 期間 H29 年度 ~ R2 年度	令和4年度 主な歳出名称		当初予算額		
款	7	施策	1 ジオ・自然との共生			ジオパーク推進協議会		5,200		
項	1	施策展開	②ジオパーク基本計画の推進			会計年度任用職員報酬		2,880		
目	3		後期基本計画 98 P			<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	ジオサイト・サイン作成設置業務委託料	1,000
決算	122								おおいたジオパーク推進事業負担金	750

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; ジオパーク基本計画に基づきジオサイトの保護・保全をするとともに、市民への啓発・普及活動により次世代に継承する。また、ジオサイトと道の駅や食を絡めた「体験型」・「交流型」の商品を造成し地域経済の活性化を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・普及啓発、教育活動の推進 ・ジオサイトの保護保全活動の推進 ・持続可能な発展のための活動の推進 ・ジオサイトサイン作成・設置事業 6カ所設置</p>	R3	ジオパーク訪問者を拠点施設やジオサイト等へ案内するための案内看板を市内14カ所に設置した。また、ジオパーク専門員を雇用し、学術研究や防災など専門的活動を行った。また、ジオパーク活動を行うジオパーク推進協議会へ負担金を支出した。	R3計画 12,807 当初予算 12,807 決算額 12,875	1,000		6,000	5,807	
	R4	・ジオサイト・サイン作成・設置業務 案内看板等を市内6カ所に設置 ・ジオパーク専門員を雇用 ・学術研究や防災など専門的活動を行った。 ・ジオパーク推進協議会負担金 おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会への負担金支出	R4計画 9,707 当初予算 11,111 決算額 10,563	500		5,000	4,207	
	R5		R5計画 9,707 当初予算 11,113 決算額	500		5,000	4,207	
	R6		R6計画 9,707 当初予算 決算額	500		5,000	4,207	
	R7		R7計画 12,807 当初予算 決算額	1,000		6,000	5,807	
	R3 ~ R7 合計			計画額 54,735 当初予算 35,031 決算額 23,438	3,500		27,000	24,235

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 ジオガイド養成講座の開催	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	回	目標値	1	1	1	1	1	
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1				
	% 達成率	100			100						
2 ジオパークフレンドショップ事業説明会等開催数	フレンドショップ事業説明会・既存事業所との会議数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	回	目標値	1	1	1	1	1	
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
		% 達成率									
D 成果指標	1 ジオガイド認定者数(累積)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	97	人	目標値	105	110	120	125	130	
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	97	112				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	92.4	101.8				
	2 ジオパークフレンドショップ事業所数(累積)	ジオパーク活動に賛同する事業所と推進協議会との協定数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	35	事業所	目標値	37	39	41	43	45
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	34	36			
			<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	91.9	92.3			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	20点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
令和4年度は再認定審査結果を受け、アクションプランの作成や第2次基本計画の策定を行った。今後はアクションプランのスケジュールに従い課題の解決を図っていく。新型コロナウイルスの影響により実施できなかった事業もあったが、昨年度途中で中止となったガイド養成講座をガイド認定まで行うことが出来た。これにより今年度の認定者は15人、累計は112人となった。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
ジオパークの基本理念である、「教育」・「保護・保全」・「持続可能な発展」を基本として各種事業に取り組んでいる。また、昨年度途中で中止となったガイド養成講座をガイド認定まで行うことが出来た。引き続き効果等を検証しながら各種事業に取り組む必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	観光振興事業	細事業	エコパーク推進事業	実施計画事業	エコパーク推進事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (393)							
会計	一般	政策	VI 豊かな自然を未来に残し伝えるまち	個別計画名	期間	年度	年度
款	7	施策	I ジオ・自然との共生		期間	年度	年度
項	1	施策展開	③ユネスコエコパーク事業の推進		期間	年度	年度
目	3		後期基本計画 98 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	122						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; ユネスコエコパークの普及啓発や自然に触れるイベントの実施や、ユネスコエコパークエリアであることを周知する看板などを設置することで、「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」の普及啓発や、豊後大野市の宝である「豊かな生物多様性に育まれた自然の恵み」を将来に引き継ぐことを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・ロジきよかわ(テラス整備工事、プレハブ倉庫購入、ビニールカーテン更新工事、網戸設置工事) ・川上溪谷吊橋保守点検 3か所 ・生物多様性調査報告書作成</p>	R3	エコパークを広く周知するため、周遊看板を計6箇所設置した。また、ジオパークと共同でオンラインシンポジウムを開催した。そのほか、エコパークの仕組みや生物多様性の保全に理解を深めるツアーを行った。	R3計画 6,442	2,031		4,000	411
			当初予算 6,442	2,031		4,000	411
			決算額 5,099	1,882		3,000	217
	R4	エコパークエリア内の観光施設の整備・点検を行うことにより、安全な自然体験に機会の創出に繋がった。 ・ロジきよかわ(テラス整備工事、プレハブ倉庫購入、ビニールカーテン更新工事、網戸設置工事) ・川上溪谷吊橋保守点検 3か所	R4計画 7,000				7,000
			当初予算 11,093	3,300		4,782	3,011
			決算額 11,815	1,680		3,034	7,101
	R5		R5計画 6,500				6,500
			当初予算 7,588	1,736		2,200	3,652
			決算額				
	R6		R6計画 6,500				6,500
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 6,500				6,500
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 32,942	2,031		4,000	26,911
			当初予算 25,123	7,067		10,982	7,074
			決算額 16,914	3,562		6,034	7,318

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 エコパーク普及啓発イベント、自然学習会の実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	3	4	4	4	4
					実績値	3	2			
					% 達成率	100	50			
D 成果指標	1 エコパーク普及啓発活動、自然学習会参加者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	15	人	目標値	70	340	460	580	700
					実績値	57	319			
					% 達成率	81.4	93.8			
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	-	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	20点	4点	19点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		3点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できなかった事業があったが、観光施設の整備、点検を行うなど受入環境の整備は着実に進んでいる。なお、令和4年度に予定していた生物多様性ぶんごおの戦略の見直しは、国の策定が遅れたため令和5年度に実施するが、策定内容については令和2年度の事務事業の見直しにより縮小したものを作成する。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会で「保全」、「学術研究」、「持続可能な発展」に関する各種事業に取り組んでいる。また、観光施設の整備、点検を行うなど受入環境の整備は着実に進んでおり、エコパークの普及啓発活動も進んでいる。引き続き協議会の事業に取組むとともに、市独自の事業を継続していく必要がある。</p>
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	観光振興事業	細事業	観光交流人口推進事業	実施計画事業	スポーツツーリズム事業	終了年度	R4
----	--------	-----	------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ (94)														
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち					個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称 講師謝礼金 実費弁償 日本スポーツツーリズム推進機構負担金	当初予算額				
款	7	施策	5 観光の振興											
項	1	施策展開	②観光情報発信を強化する											
目	3	後期基本計画	32	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>				総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	122													

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 観光誘客を促し、交流人口の増加を図る。</p> <p>&lt;令和4年度取組内容(計画)&gt; スポーツツーリズム推進のための事業 ・日本スポーツツーリズム推進機構負担金</p>	R3		R3計画 当初予算 決算額					
	R4	スポーツツーリズム推進のための事業 ・日本スポーツツーリズム推進機構負担金 そのほか、大分県観光産業リバイバル推進事業を活用し事業を展開した。 ・市内でのスポーツ大会開催支援 ・サイクリングコースのブラッシュアップ ・スポーツ体験型コンテンツの開発PR	R4計画 当初予算 決算額	227 227 50			227 227 50	
	R5		R5計画 当初予算 決算額	2,851 2,851		100 100	2,751 2,751	
	R6		R6計画 当初予算 決算額					
	R7		R7計画 当初予算 決算額					
	R3 ~ R7 合計			計画額 当初予算 決算額	3,078 3,078 50		100 100	2,978 2,978 50

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 新たな事業の展開 スポーツツーリズムとして新たな事業に取り組む	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		個	目標値		3			
					実績値		3			
					% 達成率		100			
D 成果指標	1 コース造成 アクティビティコースの造成数 3	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		コ ー ス	目標値		3			
					実績値		5			
					% 達成率		166.7			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	21点	4点	21点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 令和4年度は地域おこし協力隊スポーツツーリズム担当の活動を中心に事業に取り組んだ。事業実施にあたっては、大分県観光産業リバイバル推進事業を活用することで各種事業を展開した。令和5年度は全天候型体育施設の完成に伴い、事業を大事業化し本格的なスポーツツーリズムに取り組む。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 令和4年度は地域おこし協力隊スポーツツーリズム担当の活動を中心に事業に取り組む、推進事業を活用することで各種事業を展開した。令和5年度は全天候型体育施設の完成に伴い、本格的なスポーツツーリズムに取り組むため、継続する必要がある。
---	--

事業	観光振興事業	細事業	観光交流人口推進事業	実施計画事業	宿泊助成事業	終了年度	R4
----	--------	-----	------------	--------	--------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	7	施策	5 観光の振興		期間	年度 ~ 年度	団体宿泊助成事業委託料	4,500
項	1	施策展開	②観光情報発信を強化する					
目	3	後期基本計画	32 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	122							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 観光客の滞在時間を延長するため、団体宿泊助成事業を実施することで、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・団体宿泊助成事業 市内宿泊施設及び飲食施設を利用した団体等に宿泊費を補助する。 延べ宿泊者数×1,000円の補助。 (1団体上限15万円)</p>	R3		R3計画 当初予算 決算額					
	R4	・補助対象 32件(団体)2,934泊分(利用泊数4,024泊) 補助額2,004,000円 事業実績額3,532,012円 ※コロナの影響によるキャンセル数13件 1,090泊分	R4計画 当初予算 決算額	4,500 4,500 3,532		4,500 4,500 3,200	332	
	R5		R5計画 当初予算 決算額	4,500 4,500		4,500 4,500		
	R6		R6計画 当初予算 決算額					
	R7		R7計画 当初予算 決算額					
	R3 ~ R7 合計			計画額 当初予算 決算額	9,000 9,000 3,532		9,000 9,000 3,200	332

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 事業の告知回数 ホームページやSNS等で告知を行う	<input type="checkbox"/> 総合戦略		2	回	目標値		4		
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値		4		
		% 達成率					100			
D 成果指標	1 助成泊数 1人1泊1,000円助成×助成泊数	<input type="checkbox"/> 総合計画			泊	目標値		4,000		
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値		2,934		
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率			73.4	

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	20点	4点	20点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>事業の実施により市内宿泊施設及びその周辺の飲食店等域内での消費を促し、地域経済の活性化に繋がったが、令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、要件を緩和するなど対策を行ったが、目標には届かなかった。コロナ5類移行及び全天候型体育施設の完成により令和5年度は需要が回復すると思われるため、この需要を逃すことなく誘客に繋げる必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、目標には届かなかったが、コロナ5類移行及び全天候型体育施設の完成により令和5年度は需要が回復する見込みのため、継続して取り組み必要がある。</p>
---	---

事業	観光誘客促進事業	細事業	誘客対策強化事業	実施計画事業	観光対策強化事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (101)													
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち					個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	7	施策	5 観光の振興						サウナのまち推進事業委託料	5,300			
項	1	施策展開	④新しい観光のあり方への取組						アウトドアサウナ整備支援事業補助金	1,300			
目	3	後期基本計画	32	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>		総合戦略	<input checked="" type="checkbox"/>	コロナ充当	観光PR事業委託料	1,136
決算	123												

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; コロナ収束後に備え、受入施設等市内の観光関連事業者を支援し、観光による地域経済活性化を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・サウナのまち推進事業委託料 宿泊料金の助成および商品券の配付 ・アウトドアサウナ整備支援事業補助金 アウトドアサウナ等の導入者への補助 ・観光PR事業 スタンプラリーを活用した周遊対策事業</p>	R3	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済支援策として、宿泊対策事業を行った。また、メディアを活用した観光誘客PR事業を行い誘客促進が図れた。地域資源活用促進事業はサウナのまちPR用ロゴを作成するなど、「サウナのまち」の定着に繋げた。	R3計画 7,208 当初予算 7,208 決算額 6,352	7,208				
	R4	①サウナのまち推進事業委託料 ・パンフレット 5,000部作成ほか ・サウナのまち誘客キャンペーン実施 ・宿泊料金の助成 300,000円ほか ②アウトドアサウナ整備支援事業補助金 ・助成件数 3件 ③観光PR事業 ・スタンプラリー 春季カーボン使用率 252/200枚 秋季 378/500枚 ・TOSゆーわくワイド 放送回数 10回	R4計画 7,736 当初予算 7,736 決算額 6,351	5,000	900		1,836	
	R5		R5計画 16,027 当初予算 16,027 決算額		8,000		8,027	
	R6		R6計画 当初予算 決算額					
	R7		R7計画 当初予算 決算額					
	R3 ~ R7 合計			計画額 7,208 当初予算 30,971 決算額 12,703	7,208	12,208	8,900	9,863
					6,000	6,500	203	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 宿泊対策事業商品券取扱事業所登録件数	宿泊助成者に配付される商品券の取扱い事業所数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	84	か所	目標値				
						実績値	65			
						% 達成率				
2 メディアを通じた情報発信回数	テレビを通じて毎月1回市内の観光情報等をPRする。	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	9	10	12	12	12
					実績値	9	10			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 宿泊対策事業助成件数	市内受入施設での宿泊助成件数(1000泊を想定)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	782	泊	目標値	900			
						実績値	829			
						% 達成率	92.1	—		
2 サウナ利用者数	市内アウトドアサウナ事業者におけるアウトドアサウナ利用者の合計	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	834	人	目標値		10,000			
					実績値	4,214	8,725			
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	21点	4点	20点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 サウナ関連については、国内各地でサウナに取り組む事業者や地域が乱立する中「サウナのまち」の定着と誘客促進及び地域活性化に繋げるため、新たな展開が必要とされる。そのため、令和5年度もサウナ関連事業を行う。補助金については、補助内容と需要にギャップが発生したため、令和5年度に要件の見直しを行う。スタンプラリーはコロナ交付金を充当したコロナ対策事業のため、今年度で終了する。メディアを活用した情報発信は、TVを通じて広く県内に情報発信を行うことが出来るため今後も継続して行う。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 コロナの影響を受けた観光関連事業者を支援するために、宿泊対策事業やメディアを活用したPR事業等は一定の成果を上げることができた。また、新たな観光資源の「サウナ」の取組みは、新たな観光客を呼び込むことができ大きな成果が表れた。今後、サウナのまちの定着に向けサウナ関連事業を継続して取り組む必要がある。

事業	観光振興補助事業	細事業	観光イベント補助金	実施計画事業	観光イベント補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------	--------	------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	7	施策	5 観光の振興		期間	年度	～	年度					
項	1	施策展開	②観光情報発信を強化する		期間	年度	～	年度					
目	3	後期基本計画	32 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略			<input type="checkbox"/>	コロナ充当	
決算	124												

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 市内各地で実施される観光イベント等に補助し、地域の振興を図る  <令和4年度の取組内容(計画)> 観光イベントに対し、補助金を交付する。対象団体数 20	R3	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各イベントは令和2年度に引き続き中止や縮小が相次いだ。それに伴い集客者数も落ち込んでいる。イベント補助金対象事業数 20のうち中止数13	R3計画 32,194			32,100	94
			当初予算 32,194			32,100	94
			決算額 17,183			17,100	83
	R4	長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年度に引き続き中止や縮小となるイベントが発生した。それに伴い集客者数も落ち込んでいる。イベント補助金対象事業数 20のうち中止数8 来場者数計 118,657人	R4計画 31,715			31,715	
			当初予算 34,172			33,000	1,172
			決算額 24,415			24,100	315
	R5		R5計画 31,077			31,077	
			当初予算 35,172			33,000	2,172
			決算額				
	R6		R6計画 31,077			31,077	
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 31,077			31,077		
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 157,140			157,046	94
			当初予算 101,538			98,100	3,438
			決算額 41,598			41,200	398

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 イベント補助金対象団体数	イベント補助金対象団体数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	19	団体	目標値	20	20	20	20	20
						実績値	20	20			
						% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 観光イベント集客数	補助金対象イベント開催による集客数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	7.7	万人	目標値	10	15	20	21	22
						実績値	5.3	11.8			
						% 達成率	53	78.7			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	19点	4点	19点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 令和5年度は令和元年度から5年計画で行われた削減計画の見直しの年度となる。コロナの影響による中止、高齢化などにより各イベントの継続が困難となる事例も発生しているため、見直しにあたってはその点を考慮する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 コロナの影響でイベントが中止となった。また、実行委員会のメンバー不足等で今後も開催できないイベントもある。令和6年度からのイベント補助金の在り方については、令和5年度に方向性を決定するため、令和5年度までは現状での継続となる

事業	観光振興補助事業	細事業	里の旅公社補助事業	実施計画事業	里の旅公社補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	豊後大野市観光振興ビジョン 期間 H30 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	7	施策	5 観光の振興			里の旅公社補助金	13,800
項	1	施策展開	①里の旅の商品化				
目	3	後期基本計画	32 P			<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	124						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 豊後大野市の本質的価値である「豊かな水と恵の大地」の恩恵を受けた観光資源を活かした豊後大野市ならではの旅のスタイル「里の旅」を提供することを通じて、豊後大野市観光振興ビジョンの実現を目指す組織に対し補助を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ぶんご大野市の旅公社へ運営補助金を交付する。</p>	R3	ぶんご大野市の旅公社に運営補助金を補助した。公社では補助金により各種事業を展開した。主な事業・情報発信事業・観光まちづくり活性化事業・観光案内所運営事業	R3計画 13,800			13,800	
			当初予算 13,800			13,800	
			決算額 13,800			13,800	
	R4	ぶんご大野市の旅公社に運営補助金を補助した。公社では補助金により各種事業を展開した。主な事業・情報発信事業・観光まちづくり活性化事業・観光案内所運営事業	R4計画 13,800			13,800	
			当初予算 13,800			13,800	
			決算額 13,800			13,800	
	R5		R5計画 13,800			13,800	
			当初予算 13,800			13,000	800
			決算額				
	R6		R6計画 13,800			13,800	
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 13,800			13,800	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 69,000			69,000	
			当初予算 41,400			40,600	800
			決算額 27,600			27,600	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ホームページ・SNSでの情報発信回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	55	回	目標値	120	130	140	150	160
					実績値	142	167			
					% 達成率	118.3	128.5			
2 ツーリズム推進会議実施回数	観光関連事業者が参加するツーリズム推進会議の実施回数(令和3年度設立)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値		3			
					% 達成率		150			
D 成果指標	1 ホームページアクセス件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	9,515	件	目標値	50,000	65,000	80,000	90,000	100,000
					実績値	70,056	99,390			
					% 達成率	140.1	152.9			
2 会員数	ぶんご大野市の旅公社の会員数(正会員・賛助会員)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	128	人	目標値	150	170	190	210	230
					実績値	151	156			
					% 達成率	100.7	91.8			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	22点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	4点
			21点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
情報発信については、発信数の増加により公社ホームページのアクセス数等は増加している。令和4年度は大分県の観光産業リバイバル事業に取り組み、DCに向けた準備が進んだ。事業者連携については、8月にツーリズム推進会議が設立され、セミナーを開催するなど市内事業者との連携が進んでいる。	里の旅公社は、観光振興ビジョンの実現に向け市と連携して取組む組織として、観光関連事業者との連携によるツーリズム商品の造成や情報発信等の業務を担っており、公社運営のための補助金は継続して交付する必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	観光施設管理事業	細事業	観光施設一般管理事業	実施計画事業	観光施設一般管理事業	終了年度	なし
----	----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (97)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市観光振興ビジョン 期間 H30 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称 当初予算額	
款	7	施策	5 観光の振興			
項	1	施策展開	③観光拠点の整備・活用			
目	4	後期基本計画	32 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	125					
					リバーパーク犬飼指定管理委託料	7,670
					俣栗の郷伝承体験館指定管理委託料	4,300
					祖母山九合目山小屋管理委託料	2,900
					光熱水費	2,690

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 休憩、観光情報の取得、飲食、お土産品の購入などを行うことが出来る観光拠点の整備、活用を行うことで、市の来訪者の満足度を高め、ひいてはリピート客の増加による交流人口の増加を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 市内の4観光施設の指定管理業務 用公園外観光施設管理</p>	R3	市内観光施設利用者の安全確保と利便性を図るため、施設の維持管理を適切に行った。管理対象施設数 観光施設・トイレ等 33 指定管理施設 4 計37	R3計画 35,444	312		203	34,929	
			当初予算	35,444	312		203	34,929
			決算額	37,802	318		230	37,254
	R4	市内観光施設利用者の安全確保と利便性を図るため、施設の維持管理を適切に行った。管理対象施設数 観光施設・トイレ等 33 指定管理施設 4 計37	R4計画 35,444	312		203	34,929	
			当初予算	34,344	317		241	33,786
			決算額	36,148	318		427	35,403
	R5		R5計画 35,444	312		203	34,929	
			当初予算	33,067	317		312	32,438
			決算額					
	R6		R6計画 35,444	312		203	34,929	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 35,444	312		203	34,929	
			当初予算					
		決算額						
		R3 ~ R7 合計	計画額 177,220	1,560		1,015	174,645	
			当初予算 102,855	946		756	101,153	
			決算額 73,950	636		657	72,657	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 定期的な施設の点検	各観光施設について定期的な点検等を年1回行う	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1	1			
					%	達成率	100	100			
D 成果指標	1 4つの観光施設の利用者数	市内4つの指定管理を行っている観光施設の利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	15,476	人	目標値	15,500	15,500	16,000	16,100	16,200
						実績値	23,000	25,951			
					%	達成率	148.4	167.4			
E 評価対象外の理由	O 評価対象					目標値					
						実績値					
					%	達成率					

(対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	4点	4点
		22点	20点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>施設の適正な維持管理により、交流人口の増加や地域活性化が図られている。施設は市町村合併前に設置されたものも多く、老朽化しているため、今後維持管理費の増加も見込まれる。各施設の必要性を検討し、整理する必要がある。その中で俣栗の郷について令和4年度をもって条例を廃止し指定管理を終了した。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>市として、施設の適正な管理に努めなければならない一方で、合併前に建設された観光トイレや公園等も多く、各施設は経年劣化による不具合が多く発生し、毎年修繕費が増加傾向にある。今後は管理する施設の見直しを検討しなければならないが、維持管理については引続き継続する必要がある。</p>
--	---

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	観光施設管理事業	細事業	観光施設整備事業	実施計画事業	観光施設整備事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (97)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市観光振興ビジョン 期間 H30 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称 白鹿山展望所トイレ整備工事請負費 師田原ダム管理棟トイレ解体工事請負費 リバーパーク犬飼施設改修工事請負費	当初予算額 22,000 8,162 3,248
款	7	施策 5 観光の振興				
項	1	施策展開 ③観光拠点の整備・活用				
目	4	後期基本計画 32 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	125					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 休憩、観光情報の取得、飲食、お土産品の購入などを行うことが出来る観光拠点の整備、活用を行うことで、市の来訪者の満足度を高め、ひいてはリピーター客の増加による交流人口の増加を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 白鹿山展望所トイレ整備工事請負費 師田原ダム管理棟トイレ解体工事請負費 リバーパーク犬飼施設改修工事請負費</p>	R3	観光施設の整備、修繕を行った。令和3年度 主な事業・三ノ岳なかよしパーク解体工事・ 用作公園トイレ整備工事・指定管理施設備品 購入・リバーパーク犬飼施設改修工事	R3計画 76,429	9,619	33,200	4,000	29,610
			当初予算 76,421	9,619	33,200	4,000	29,602
			決算額 61,132	7,200	16,200	4,010	33,722
	R4	主な工事実績 ・白鹿山展望所トイレ整備工事 工事費 19,199,999円 ・師田原ダム管理棟トイレ解体工事 工事費 4,361,500円 ・リバーパーク犬飼施設改修工事 工事費 2,671,900円	R4計画 19,249				19,249
			当初予算 38,588	20,500		2,000	16,088
			決算額 36,468	17,500		2,000	16,968
	R5		R5計画 11,600				11,600
			当初予算 18,551		10,000		8,551
			決算額				
	R6		R6計画 11,600				11,600
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 11,600				11,600
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 130,478	9,619	33,200	4,000	83,659
			当初予算 133,560	30,119	33,200	16,000	54,241
			決算額 97,600	24,700	16,200	6,010	50,690

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 定期的な施設の点検 各観光施設について定期的な点検等を年1回行う	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 4つの観光施設の利用者数 市内4つの指定管理を行っている観光施設の利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	15,476	人	目標値	15,500	15,500	16,000	16,100	16,200
					実績値	23,000	25,951			
					% 達成率	148.4	167.4			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	21点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	4点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 観光施設の整備により、交流人口の増加や地域活性化が図られているが、施設は市町村合併前に設置されたものも多く、老朽化しているため、今後維持管理費の増加も見込まれる。各施設の必要性を検討し、整理する必要がある。また、整備に当たっては優先順位を付けるなど年度毎の費用の平準化を図る必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 観光施設の整備により、交流人口の増加や地域活性化が図られている。施設は市町村合併前に建設されたものも多く、経年劣化による老朽化が進んでいるため、今後も維持管理費の増加が見込まれる。そのため、各施設の必要性を検討し、整理する必要がある。また、整備については優先順位を付けるなど、年度毎に費用の平準化を図っていく必要がある。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	土木総務事業	細事業	土木行政事務事業	実施計画事業	法定外公共物橋梁点検委託事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	8	施策	I 交通ネットワークの整備		期間	年度 ~ 年度			法定外公共物橋梁点検委託料	3,828
項	1	施策展開	①市道を整備する		期間	年度 ~ 年度			里道橋梁等維持補修工事請負費	4,546
目	1	後期基本計画	52 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当							
決算	126									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 市民が安心して暮らせるよう、また、市民の安全を守るため、中九州横断道路及び県道三重新殿バイパスを跨道している法定外公共物の橋梁を定期的に(5年に1回)点検する。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・令和4年度:20橋梁中、1橋梁の点検を実施	R3	令和3年度に20橋梁中、中九州横断道路の大野~朝地間の跨道橋について、6橋梁の点検を実施予定だったが、地元及び国土交通省との事前協議に時間を要し、業務発注に遅延が生じたため繰越事業となった。	R3計画 10,879 当初予算 10,879 決算額				10,879 10,879	
	R4	令和3年度繰越事業の中九州横断道路大野~朝地間の跨道橋6橋梁及び令和4年度事業の大洞町の跨道橋1橋梁について点検を行った。 また、大洞~大野間の跨道橋5橋梁の補修工事を行った。	R4計画 8,374 当初予算 8,374 決算額 7,126				8,374 8,374 7,126	
	R5							
	R6							
	R7			R7計画 14,608 当初予算 決算額				14,608
	R3 ~ R7 合計			計画額 33,861 当初予算 19,253 決算額 7,126				33,861 19,253 7,126

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 法定外公共物橋梁点検箇所	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	20	箇所	目標値	20	20	27	27	27
					実績値	6	1			
					% 達成率	30	5			
D 成果指標	1 実施件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	13	件	目標値	6	7	7		13
					実績値		7			
					% 達成率		100			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	25点	5点	25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 市民が安心して暮らせるよう、また、市民の安全を守るため、中九州横断道路及び県道三重新殿バイパスを跨道している法定外公共物の橋梁を定期的に(5年に1回)点検する必要がある。今後も引き続き、地元及び国土交通省との事前協議を計画的に行い、業務発注に遅延が生じないよう実施に向け努力する。 また、維持補修箇所が生じた場合は、速やかに予算計上し、補修工事を行う。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 梁の点検については、市道では5年に1回の点検が義務づけられており、それに準じて点検を行っている。特に重要な道路である、中九州横断道路及び県道三重新殿バイパスを跨ぐ道路については通行の安全の確保のため、それに準じて点検を行う必要がある。 また、点検結果を基に速やかに補修を行うことで、通行の安全の確保及び補修経費の低減となる。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	土木総務事業	細事業	土木行政事務事業	実施計画事業	法定外公共物GISデータ作成業務委託事業	終了年度	R5
----	--------	-----	----------	--------	----------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (177)

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	R3 年度 ~ R5 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	8	施策	I 交通ネットワークの整備		期間	年度 ~ 年度			法定外公共物GISデータ作成業務委託料	5,615
項	1	施策展開	①市道を整備する		期間	年度 ~ 年度				
目	1	後期基本計画	52 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当							
決算	126									

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<事業の目的> 国有財産から譲与された法定外公共物位置図が、現在、紙媒体であることから、データ化することで本庁及び支所の業務をスムーズに行い、窓口対応の効率化を図る。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・令和4年度：7地区中、2地区(三重、清川)をGIS化してシステムに反映	R3	令和3年度に豊後大野市7町の内、緒方町、朝地町、大飼町の3町の法定外公共物をGIS化システムに反映した。しかし、朝地町のごく一部については、令和4年度に持ち越しとなった。
	R4	令和3年度の持ち越し分、朝地町の一部及び令和4年度事業分、豊後大野市7町の内、三重町、清川町の2町の法定外公共物をGIS化システムに反映した。
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	8,369				8,369
当初予算	8,369				8,369
決算額	8,369				8,369
R4計画	5,615				5,615
当初予算	5,615				5,615
決算額	5,615				5,615
R5計画	7,459				7,459
当初予算	7,460				7,460
決算額					
R6計画					
当初予算					
決算額					
R7計画					
当初予算					
決算額					
計画額	21,443				21,443
当初予算	21,444				21,444
決算額	13,984				13,984

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 法定外公共物GISデータ作成箇所	法定外公共物GISデータ作成箇所数(令和5年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	7	箇所	目標値	7	7	7		
						実績値	3	2			
						%	達成率	42.9	28.6		
D 成果指標	1 実施地区数	法定外公共物GISデータ作成実施地区数(令和5年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		地区	目標値	3	1	3		
						実績値	3	2			
						%	達成率	100	200		
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	24点	5点	24点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 国有財産から譲与された法定外公共物位置図が、現在、紙媒体であることから、データ化することで本庁及び支所の業務をスムーズに行い、窓口対応の効率化を図ることが必要である。今後も引き続き、計画的な実施に向け努力する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 国有財産から譲与された法定外公共物の図面について、現在、紙媒体で管理している。今後の管理、利用を考えるとデジタルデータ化は必須であり、これにより問い合わせ等の対応の効率化を図ることが可能となる。当初計画どおり令和5年度完了予定である。
--	---

事業	市道維持管理事業	細事業	単独維持補修事業	実施計画事業	市道維持管理委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (176)														
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち					個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称 市道維持管理委託料	当初予算額 37,300				
款	8	施策	I 交通ネットワークの整備											
項	2	施策展開	①市道を整備する											
目	2	後期基本計画	52	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>				総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	128													

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 市道において、通行に支障をきたす倒木(支障木)処理、路面・路肩が危険な堆積土砂除去、降雨時の排水に必要な側溝清掃など多岐にわたり市道利用者の安全確保の観点から業務を遂行する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 自治会の要望書を中心に市道の安全性等を考慮し、予算の範囲内で作業委託を実施している。</p>	R3	令和3年度、市道路面・側溝清掃、支障木伐採作業等作業委託60件、17,729千円、また、業者・シルバー人材センター・障害者施設による市道草刈り業務委託については105路線、19,569千円であります。	R3計画 37,300				37,300
			当初予算 37,300				37,300
			決算額 37,298				37,298
	R4	令和4年度、市道路面・側溝清掃、支障木伐採作業等作業委託47件。また、業者・シルバー人材センター・障害者施設による市道草刈り業務委託については11件、37,125千円あります。	R4計画 37,300				37,300
			当初予算 37,300				37,300
			決算額 37,125				37,125
	R5		R5計画 37,300				37,300
			当初予算 48,872				48,872
			決算額				
	R6		R6計画 37,300				37,300
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 37,300				37,300	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 186,500				186,500
			当初予算 123,472				123,472
			決算額 74,423				74,423

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 地元要望	作業委託業務	29,300	千円	目標値	37,300	37,300	37,300	37,300	37,300
					実績値	37,298	37,125			
					% 達成率	100	99.5			
D 成果指標	1 市道維持管理委託	総事業費	37,467	千円	目標値	37,300	37,300	37,300	37,300	37,300
					実績値	37,298	37,125			
					% 達成率	100	99.5			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	5点	19点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	3点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	3点	
		20点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>市道維持管理委託料については自治会の要望に基づき事業実施しておりますが、年々増加し、内容についても様々であり大変苦慮しておりますが、予算の範囲内で対応しております。</p> <p>草刈り作業委託業務につきましても、高齢化等により自治区での対応が厳しくなっているのが現状ですが、近年の件数、燃料費等の高騰もあり、令和5年度より委託料の増額をお願いしました。今後は草刈り作業従事者の確保が困難になっておりますので、自主的な市道維持管理の方法を考えていかなければならない。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>市道の管理については市の責務であり、今後の適正な道路環境を保持するため、継続して事業を行うことが必要である。</p>
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	市道維持管理事業	細事業	単独維持補修事業	実施計画事業	市道維持補修工事事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	8	施策	I 交通ネットワークの整備		期間	年度	年度			市道維持補修工事請負費	300,000
項	2	施策展開	①市道を整備する		期間	年度	年度				
目	2	後期基本計画	52 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	128										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 道路機能の保全を目的に地元要望により計画的に改修、補修を行い、市道利用者の交通事故防止や日常生活の安全性、快適性を向上させる。  <令和4年度の取組内容(計画)> 令和2年度 事業実施 146件 令和3年度 事業実施 151件	R3	令和3年度維持補修工事実績は169件、279,662千円であり、1件市道拡幅工事が繰越事業であります。本事業におきましても自治区要望により予算の範囲内で事業実施しております。	R3計画 300,000		123,500	150,000	26,500
			当初予算 300,000		123,500	150,000	26,500
			決算額 279,662		95,000	91,000	93,662
	R4	令和4年度市道維持補修工事請負費については188件、299,190千円の事業実績であります。	R4計画 300,000		95,000	150,000	55,000
			当初予算 300,000		109,200	150,000	40,800
			決算額 299,190	3,696			295,494
	R5		R5計画 300,000		95,000	150,000	55,000
			当初予算 300,000		95,000	197,000	8,000
			決算額				
	R6		R6計画 300,000		95,000	150,000	55,000
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 300,000		95,000	150,000	55,000
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 1,500,000		503,500	750,000	246,500
			当初予算 900,000		327,700	497,000	75,300
			決算額 578,852	3,696	95,000	91,000	389,156

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 地元要望	維持補修工事	300,000	千円	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
					実績値	279,662	299,190			
					% 達成率	93.2	99.7			
D 成果指標	1 市道維持補修工事	工事費	278,827	千円	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
					実績値	279,662	299,190			
					% 達成率	93.2	99.7			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	22点	5点	19点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
 市道維持補修工事については、地元要望書の提出が令和4年度分369件(作業委託業務分含む)と毎年300~400件を受け付けております。要望内容についても多岐にわたっており旧町村ごとに担当者を配置し舗装補修、排水路改修・整備、路肩補修工事等を速やかに行っております。課題は自治区要望数が多い為、年度内にすべての工事実施が不可能であり次年度以降へ持ち越す案件が増加しております。今後は市道維持管理要望が多い自治区には優先順位を伺い過年の案件、危険性が高い案件より適宜工事施工を行い、大きな事業費の要望については十分検討し事業実施する案件は補助事業等活用していきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
 市道の維持管理は、市の責務であり通行の安全を確保するため継続して事業を実施することが必要である。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	市道維持管理事業	細事業	単独維持補修事業	実施計画事業	道路愛護作業補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (176)

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額		
款	8	施策	I 交通ネットワークの整備		期間	年度	年度			道路愛護作業補助金	6,300
項	2	施策展開	①市道を整備する		期間	年度	年度				
目	2	後期基本計画	52 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	128										

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 生活協的な市道は各地元自治体に補助金を交付し草刈り作業をお願いしている。また、バイパス的な役割の市道や高齢化等による作業困難な自治区においては市役所発注の業者草刈り作業委託により環境保全と安全性の確保を担っている。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 令和4年度 自治区による道路愛護作業 175地区</p>	R3	令和3年度自治区による道路愛護作業については172地区、市道草刈り延長872239mであります。	R3計画 6,400				6,400	
			当初予算	6,400				6,400
			決算額	6,352				6,352
	R4	令和4年度道路愛護作業については175地区、作業延長886.8kmの作業実績であります。	R4計画 6,400				6,400	
			当初予算	6,300			6,300	
			決算額	6,346				6,346
	R5		R5計画 6,400				6,400	
			当初予算	8,869				8,869
			決算額					
	R6		R6計画 7,000				7,000	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 7,000				7,000	
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額 33,200				33,200	
			当初予算 21,569			6,300	15,269	
			決算額 12,698				12,698	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 道路愛護作業 地元草刈り作業	<input type="checkbox"/> 総合戦略	169	地区	目標値	169	169	169	169	169
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	169	175			
		%			達成率	100	103.6			
D 成果指標	1 実施件数 作業実施地区数	<input type="checkbox"/> 総合計画	169	地区	目標値	169	169	169	169	169
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	169	175			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100	103.6		
	2	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>道路愛護作業補助金については、自治区単位で市民のみなさまが市道の安全性等確保するために行っていた大切な事業であります。豊後大野市としても令和5年度より、草刈り作業の単価の見直しを行い予算の確保と適正な事業推進を行ってまいります。今後も、過疎・高齢化など厳しい現状ではありますが、地域のみなさまのご協力をお願いいたします。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>市道の維持管理は市民の皆さんに負うところが多く、道路愛護作業についても継続して事業を実施することが重要。少子高齢化の中、また燃料費の高騰等を考えると事業を継続するためには、令和5年度より補助金交付要領の変更。</p>
--	---

I 令和6年度の事業の方向性



B. 見直しの上で継続-1 拡充

事業番号	枝番
122001	4

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	建設課	係名	道路保全係
-----	-----	----	-------

事業	市道維持管理事業	細事業	単独維持補修事業	実施計画事業	支障木伐採補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (175)

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額			
款	8	施策	I 交通ネットワークの整備		期間	年度	～	年度			支障木伐採補助金	14,000	
項	2	施策展開	①市道を整備する		期間	年度	～	年度					
目	2	後期基本計画	52 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当						
決算	128												

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 道路上に張り出し又は交通に支障を及ぼすおそれのある竹木等の管理処理を行い道路の交通安全対策を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 令和4年度支障木伐採事業においては70地区予定しております。</p>	R3	令和3年度支障木伐採事業においては75地区、13,849千円であり、多くの自治区に広く事業活用していただいております。	R3計画 14,000				14,000
			当初予算 14,000				14,000
			決算額 13,849				13,849
	R4	令和4年度支障木伐採事業においては77地区、14,487千円であり、多くの自治区に広く事業活用していただいております。	R4計画 14,000				14,000
			当初予算 14,000			14,000	
			決算額 14,487				14,487
	R5		R5計画 14,000				14,000
			当初予算 14,000				14,000
			決算額				
	R6		R6計画 14,000				14,000
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 14,000				14,000
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 70,000				70,000
			当初予算 42,000			14,000	28,000
			決算額 28,336				28,336

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 道路愛護作業	支障木伐採作業	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	53	地区	目標値	70	70	70	70	70
						実績値	75	77			
						% 達成率	107.1	110			
D 成果指標	1 実施件数	作業完成件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	53	地区	目標値	70	70	70	70	70
						実績値	70	77			
						% 達成率	100	110			
E 評価対象外の理由	O 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)									

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	5点	22点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	5点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	4点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	4点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	4点	
		23点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>支障木伐採事業は年々多くの自治区にご利用いただき、徐々に市民の皆様へ浸透してきたと考えております。昨今の人件費、燃料費等の高騰により20万円が補助金上限でありますので、事業進捗がままならないとおもわれますが、今後もみなさんに幅広くご利用いただくよう予算の確保に努めてまいります。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>市道の通行の安全の確保のため必要な事業であり、重点的に実施する必要がある。自治会からの要望が増加しており、事業の拡充が必要と考える。</p>
---	---

I 令和6年度の事業の方向性



B. 見直しの上で継続-1 拡充

事業	市道維持管理事業	細事業	道路ストック点検補修事業	実施計画事業	道路ストック点検補修事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (175)

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額		
款	8	施策	I 交通ネットワークの整備		期間	年度	年度			調査設計監理委託料	158,000
項	2	施策展開	①市道を整備する		期間	年度	年度			道路ストック総点検業務委託料	70,000
目	2	後期基本計画	52 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当			道路ストック補修工事請負費	18,000
決算	128										

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 橋梁・トンネル長寿命化修繕計画に基づき健全度、管理状況を踏まえ効率的かつ合理的な維持管理により、更新費用の平準化と維持管理コストの低減を図り安心・安全を確保する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 橋梁定期点検業務(朝地・大野146橋) 橋梁調査補修設計業務(17橋) トンネル調査補修設計業務(2トンネル) 石佛トンネル補修工事1件</p>	R3	令和3年度事業実績は定期点検(緒方町)150橋、Ⅲ判定橋梁調査設計業務17橋、越生トンネル補修工事については繰越し事業で現在施工中であります。	R3計画	240,000	137,984	54,700	47,316
			当初予算	240,000	137,984	54,700	47,316
			決算額	194,398	116,590	45,000	32,808
	R4	令和4年度事業実績は定期点検(朝地・大野町)146橋、Ⅲ判定橋梁調査設計業務17橋、トンネル調査補修設計2箇所、石佛トンネル補修工事、(繰越)越生トンネル補修工事を施工しました。	R4計画	235,000	135,520	53,580	45,900
			当初予算	246,000	148,456	62,300	35,244
			決算額	221,764	131,715	54,700	35,349
	R5		R5計画	240,000	137,984	54,700	47,316
			当初予算	252,400	151,783	89,800	10,817
			決算額				
	R6		R6計画	240,000	137,984	54,700	47,316
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画	240,000	137,984	54,700	47,316
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	1,195,000	687,456	272,380	235,164
			当初予算	738,400	438,223	206,800	93,377
			決算額	416,162	248,305	99,700	68,157

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 橋梁長寿命化修繕計画 調査設計・補修工事	<input type="checkbox"/> 総合戦略	10	橋	目標値	17	15	12	8	8
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	17	17			
		% 達成率			100	113.3				
2 トンネル長寿命化修繕計画 調査設計・補修工事	<input type="checkbox"/> 総合戦略	2	トンネル	目標値	1	2	5	1	1	
	<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	2				
	% 達成率			100	100					
D 成果指標	1 実績件数 業務実施数	<input type="checkbox"/> 総合計画	3	橋	目標値	17	15	12	8	8
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	17	17			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	113.3			
2 実績件数 業務実施数	<input type="checkbox"/> 総合計画	1	トンネル	目標値	1	2	5	1	1	
	<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1	2				
	<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	22点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	25点
		18点	22点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
橋梁・トンネルについては5年に1度長寿命化修繕計画ならびに定期点検業務を実施しており、健全度、管理状況を踏まえ効率的かつ合理的な維持管理を図り、補修費用の平準化とコストの低減を図っております。課題としては橋梁・トンネルともに、速やかに補修工事を行う必要がある物件が山積しておりますが事業費も高額であり補助事業を活用しながら補修工事を行い安全性の確保を図ってまいります。今後、コスト削減の観点からも簡易な橋梁などは職員による自主点検が実施できるように取り組んでいきたい。	路の重要な構造物である橋梁、トンネルについては、5年に1度の定期点検が義務づけられており、継続して事業を実施していく必要がある。また、点検結果をもとに長寿命化修繕計画を策定しており、それに基づき計画的に修繕事業に着手する必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道南部幹線道路改良事業	終了年度	R12
----	----------	-----	----------	--------	--------------	------	-----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市過疎地域自立促進計画 期間 R3 年度 ~ R12 年度	令和4年度 主な歳出名称 調査設計監理委託料 土地等購入費 移転補償費 不動産鑑定登記委託料	当初予算額 27,300 2,800 2,100 2,000
款	8	施策	I 交通ネットワークの整備			
項	2	施策展開	①市道を整備する			
目	3	後期基本計画	52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	129					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。  <令和4年度の取組内容(計画)> 用地測量業務委託 L=0.96km	R3	測量設計L=960m	R3計画 36,000	13,390	21,400		1,210
			当初予算 36,000	13,390	21,400		1,210
			決算額 28,770		15,900		12,870
	R4	用地測量業務委託 L=0.96km	R4計画 47,000	10,528	34,600		1,872
			当初予算 23,344	13,440	11,600		-1,696
			決算額 25,741	13,440	11,600		701
	R5		R5計画 11,000	2,464	8,100		436
			当初予算 11,000	2,464	8,100		436
			決算額				
	R6		R6計画 102,000	22,848	75,100		4,052
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 160,000	35,840	117,900		6,260
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 356,000	85,070	257,100		13,830
			当初予算 70,344	29,294	41,100		-50
			決算額 54,511	13,440	27,500		13,571

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	千円	%	目標値	10,800	18,800	40,800	40,800	64,000
						実績値	23,911	24,000			
						達成率	221.4	127.7			
D 成果指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	千円	%	目標値	10,800	18,800	40,800	40,800	64,000
						実績値	23,911	24,000			
						達成率	221.4	127.7			
E 評価対象外の理由	O 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)									

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		25点	25点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 計画どおり事業実施できた。 次年度以降も計画的に事業進捗を図る必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き、計画的に事業を実施する。
---	---

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道久原柳瀬・伏野新田線道路改良事業	終了年度	R8
----	----------	-----	----------	--------	--------------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	豊後大野市過疎地域自立促進計画 期間 H23 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称		当初予算額
款	8	施策	I 交通ネットワークの整備			道路橋梁新設改良工事請負費		40,500
項	2	施策展開	①市道を整備する			調査設計監理委託料		4,500
目	3	後期基本計画	52 P			<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	129						土地借上料	500

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。  <令和4年度の取組内容(計画)> 橋梁下部工事 N=2基	R3	道路改良・舗装工事L=240m	R3計画 131,200	50,400	76,700	4,100	
			当初予算 131,200	50,400	76,700	4,100	
			決算額 115,642	25,200	76,200	14,242	
	R4	橋梁下部工事 N=2基	R4計画 60,000	13,440	44,200	2,360	
			当初予算 66,150	29,120	35,100	1,930	
			決算額 54,997	29,120	25,700	177	
	R5		R5計画 126,100	26,880	94,200	5,020	
			当初予算 126,100	26,880	94,200	5,020	
			決算額				
	R6		R6計画 110,000	24,640	81,000	4,360	
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 60,000	13,440	44,200	2,360	
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 487,300	128,800	340,300	18,200	
			当初予算 323,450	106,400	206,000	11,050	
			決算額 170,639	54,320	101,900	14,419	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額(年度額)	24,000	千円	%	目標値	25,860	24,000	40,000	44,000	24,000
						実績値	90,000	52,000			
						達成率	348	216.7			
D 成果指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額(令和7年度末)	24,000	千円	%	目標値	25,860	24,000	40,000	44,000	24,000
						実績値	90,000	52,000			
						達成率	348	216.7			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		25点	24点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 計画どおり事業実施できた。 次年度以降も計画的に行う必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き、計画的に事業を実施する。
--	---

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道中原河屋線道路改良事業	終了年度	R6
----	----------	-----	----------	--------	---------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市過疎地域自立促進計画 期間 H24年度 ~ R6年度	令和4年度 主な歳出名称 道路橋梁新設改良工事請負費 移転補償費	当初予算額 80,500 4,000
款	8	施策	I 交通ネットワークの整備			
項	2	施策展開	①市道を整備する			
目	3	後期基本計画	52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	129					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。  <令和4年度の取組内容(計画)> 道路改良工事 L=158m	R3	道路改良工事L=235m 舗装新設工事L=65m	R3計画 158,000	67,200	86,200	4,600	
			当初予算 158,000	67,200	86,200	4,600	
			決算額 130,600	25,219	88,000	17,381	
	R4	道路改良工事 L=158m	R4計画 80,000	17,920	58,900	3,180	
			当初予算 130,200	61,880	64,800	3,520	
			決算額 74,203	40,544	31,900	1,759	
	R5		R5計画 147,000	32,928	108,300	5,772	
			当初予算 147,000	32,928	108,300	5,772	
			決算額				
	R6		R6計画 80,000	17,920	58,900	3,180	
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画				
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 465,000	135,968	312,300	16,732	
			当初予算 435,200	162,008	259,300	13,892	
			決算額 204,803	65,763	119,900	19,140	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標 1 補助事業の確保	補助対策事業費額(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	85,073	千円	%	目標値	32,400	32,000	32,000	32,000
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	130,000	111,500		
		達成率				401.2	348.4			
D 成果指標 1 補助事業の確保	補助対策事業費額(令和6年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画	85,073	千円	%	目標値	32,400	32,000	32,000	32,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	130,000	111,500		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				達成率	401.2	348.4		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			%	目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画				達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	4点	23点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	4点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	
		25点	23点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 計画どおり事業実施できた。 次年度以降も計画的に実施する必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き、計画的に事業を実施する。
--	---

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道米山馬背畑線道路改良事業	終了年度	R8
----	----------	-----	----------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (174)													
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち					個別計画名 豊後大野市過疎地域自立促進計画 期間 R2 年度 ~ R8 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	8	施策	I 交通ネットワークの整備						道路橋梁新設改良工事請負費	58,500			
項	2	施策展開	①市道を整備する						土地等購入費	1,100			
目	3	後期基本計画	52	P	<input checked="" type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	移転補償費	1,000
決算	129										調査設計監理委託料	1,000	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。  <令和4年度の実績内容(計画)> 道路改良工事 L=70m 橋梁下部工事 N=2基	R3	橋梁設計 一式	R3計画 76,000	42,000	32,300		1,700
			当初予算 76,000	42,000	32,300		1,700
			決算額 21,264	2,184	18,100		980
	R4	道路改良工事 L=70m 橋梁下部工事 N=2基	R4計画 80,000	17,920	58,900		3,180
			当初予算 61,800	28,560	31,500		1,740
			決算額 20,500	11,480	8,500		520
	R5		R5計画 55,000	12,320	40,500		2,180
			当初予算 55,000	12,320	40,500		2,180
			決算額				
	R6		R6計画 50,000	11,200	36,800		2,000
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 50,000	11,200	36,800		2,000
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 311,000	94,640	205,300		11,060
			当初予算 192,800	82,880	104,300		5,620
			決算額 41,764	13,664	26,600		1,500

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額(年度末)	12,000	千円	目標値	22,800	32,000	32,000	20,000	20,000
					実績値	75,000	54,000			
					% 達成率	329	168.8			
D 成果指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額(令和7年度末)	12,000	千円	目標値	22,800	32,000	32,000	20,000	20,000
					実績値	75,000	54,000			
					% 達成率	329	168.8			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		25点	24点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 計画どおり事業実施できた。 次年度以降も計画的に実施する必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き、計画的に事業を実施する。
--	---

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道中学校宇土線道路改良事業	終了年度	R8
----	----------	-----	----------	--------	----------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市過疎地域自立促進計画 期間 R2年度 ~ R8年度	令和4年度 主な歳出名称 土地等購入費 不動産鑑定登記委託料	当初予算額 7,000 1,000
款	8	施策	I 交通ネットワークの整備			
項	2	施策展開	①市道を整備する			
目	3	後期基本計画	52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	129					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。  <令和4年度の取組内容(計画)> 用地交渉難航により未実施	R3	用地交渉を実施	R3計画 15,000 当初予算 15,000 決算額		14,200		800
	R4	用地交渉難航により未実施	R4計画 60,000 当初予算 決算額	14,784	42,900	2,316	
	R5		R5計画 当初予算 決算額				
	R6		R6計画 60,000 当初予算 決算額	14,784	42,900	2,316	
	R7		R7計画 30,000 当初予算 決算額	7,392	21,400	1,208	
	R3 ~ R7 合計			計画額 165,000 当初予算 15,000 決算額	36,960	121,400	6,640

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	14,350	千円	目標値 実績値		24,000	24,000	24,000	12,000
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率					
D 成果指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	14,350	千円	目標値 実績値		24,000	24,000	24,000	12,000
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	1点	5点	4点	11点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	1点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	1点		1点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	1点		1点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	1点		1点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
一部の地権者に事業協力を得られるよう交渉を行ってきたが同意を得られず事業推進が困難となった。地元自治会との協議を行いR5以降の事業執行は休止とする。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
用地交渉が困難となため事業について休止とした。

I 令和6年度の事業の方向性 → D. 休止

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道木浦内線道路改良事業	終了年度	R7
----	----------	-----	----------	--------	--------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	豊後大野市過疎地域自立促進計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度主な歳出名称		当初予算額		
款	8	施策	I 交通ネットワークの整備			調査設計監理委託料	20,000			
項	2	施策展開	①市道を整備する			土地等購入費	10,100			
目	3	後期基本計画	52 P			<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	立木伐採委託料	2,000
決算	129							移転補償費	1,100	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。  <令和4年度の取組内容(計画)> 用地測量業務委託 L=800m	R3	測量設計L=800m	R3計画 28,000	10,712	16,400		888
			当初予算 28,000	10,712	16,400		888
			決算額 3,424		3,200		224
	R4	用地測量業務委託 L=830m 地質調査業務委託 N=2箇所	R4計画 44,000	9,856	32,400		1,744
			当初予算 30,000	14,000	15,200		800
			決算額 12,249	5,762	6,100		387
	R5		R5計画 25,000	5,600	18,400		1,000
			当初予算 25,000	5,600	18,400		1,000
			決算額				
	R6		R6計画 121,000	27,104	89,200		4,696
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 85,000	19,040	62,600		3,360
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 303,000	72,312	219,000		11,688
			当初予算 83,000	30,312	50,000		2,688
			決算額 15,673	5,762	9,300		611

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	千円	目標値	8,400	17,600	36,400	48,400	34,000
					実績値	19,129	21,000			
					% 達成率	227.7	119.3			
2 -			<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	千円	目標値	8,400	17,600	36,400	48,400	34,000
					実績値	19,129	21,000			
					% 達成率	227.7	119.3			
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	4点	20点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	4点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	4点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	4点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	4点	
		25点	20点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 不在所有者の追跡及び保安林管理者(県)との調査・協議に日数を要し当初計画工程より遅れが出た。R5以降、遅れを取り戻せるよう工程管理に努める。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き、計画的に事業を実施する。
---	---

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道万田支庫線道路改良事業	終了年度	R8
----	----------	-----	----------	--------	---------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額		
款	8	施策	I 交通ネットワークの整備		期間	年度	年度			調査設計監理委託料	32,000
項	2	施策展開	①市道を整備する		期間	年度	年度				
目	3	後期基本計画	52 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	129										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。  <令和4年度の取組内容(計画)> 路線測量設計業務委託 L=360m	R3		R3計画				
			当初予算				
			決算額				
	R4	路線測量設計業務委託 L=360m 地質調査業務委託 N=2箇所	R4計画	20,000	11,200	8,360	440
			当初予算	19,506	10,681	8,300	525
			決算額	19,506	10,681	8,300	525
	R5		R5計画	27,500	6,160	20,200	1,140
			当初予算	27,500	6,160	20,200	1,140
			決算額				
	R6		R6計画	50,000	28,000	20,900	1,100
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画	50,000	28,000	20,900	1,100
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	147,500	73,360	70,360	3,780
			当初予算	47,006	16,841	28,500	1,665
			決算額	19,506	10,681	8,300	525

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業の確保	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			目標値		20,000	50,000	50,000	50,000
					実績値		19,076			
				%	達成率		95.4			
	2	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画				目標値				
実績値										
%						達成率				
D 成果指標	1 補助事業の確保	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			目標値		20,000	50,000	50,000	50,000
					実績値		19,076			
				%	達成率		95.4			
	2	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画				目標値				
実績値										
%						達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	25点	23点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 計画どおり事業実施できた。 次年度以降も計画的に事業進捗を図る必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き、計画的に事業を実施する。
---	---

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道肝煎中央・肝煎鬼塚線道路改良事業	終了年度	R8
----	----------	-----	----------	--------	--------------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	豊後大野市過疎地域自立促進計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称		当初予算額
款	8	施策	I 交通ネットワークの整備			調査設計監理委託料	25,000	
項	2	施策展開	①市道を整備する			土地等購入費	7,000	
目	3	後期基本計画	52 P			<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	129						不動産鑑定登記委託料	2,000

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。  <令和4年度の実績内容(計画)> 用地測量業務委託 L=370m	R3	路線測量L=370m	R3計画 20,000		19,000		1,000
			当初予算 20,000		19,000		1,000
			決算額 8,764		8,300		464
	R4	用地測量業務委託 L=370m	R4計画 20,000		19,000		1,000
			当初予算 10,000		9,500		500
			決算額 2,394		2,200		194
	R5		R5計画 4,800		4,500		300
			当初予算 4,800		4,500		300
			決算額				
	R6		R6計画 60,000		57,000		3,000
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 60,000		57,000		3,000
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 164,800		156,500		8,300
			当初予算 34,800		33,000		1,800
			決算額 11,158		10,500		658

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 起債事業の確保	起債対象事業費額(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		目標値	20,000	20,000	60,000	60,000	60,000
					実績値	20,000	7,000			
					% 達成率	100	35			
D 成果指標	1 起債事業の確保	起債対象事業費額(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		目標値	20,000	20,000	60,000	60,000	60,000
					実績値	20,000	7,000			
					% 達成率	100	35			
E 評価対象外の理由	O 評価対象				目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	20点	4点	20点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 一部の地権者に事業計画を得るのに日数を要しR3実施の路線測量・設計業務が繰越になったことの伴い、本年度計画の事業着手が遅れた。 R5以降、遅れを取り戻せるよう工程管理に努める。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き、計画的に事業を実施する。
--	---

事業	河川総務事業	細事業	準用河川管理事業	実施計画事業	準用河川管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (259)		個別計画名	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	
款	8	施策	8 防災対策の充実	準用河川維持工事請負費
項	3	施策展開	③災害対策を強化する	2,000
目	1	後期基本計画	66 P	
決算	130	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 市管理河川の堆積土砂除去や軽微な護岸補修工事等、災害防除と景観に配慮した事業である。  <令和4年度の取組内容(計画)> 準用河川古川堆積土除去工事実施済み	R3	令和3年度準用河川茜川河川維持工事はコンクリート工V=23.0m3で実施済み。	R3計画 2,000				2,000
			当初予算 2,000				2,000
			決算額 1,287				1,287
	R4	準用河川古川堆積土除去工事、準用河川茜川河床維持工事の2件実施済み	R4計画 2,000				2,000
			当初予算 2,000				2,000
			決算額 1,991				1,991
	R5		R5計画 2,000				2,000
			当初予算 2,000				2,000
			決算額				
	R6		R6計画 2,000				2,000
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 2,000				2,000
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 10,000				10,000
			当初予算 6,000				6,000
			決算額 3,278				3,278

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 維持補修要望	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2,000	千円	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
					実績値	1,287	1,991			
					% 達成率	64.4	99.6			
D 成果指標	1 維持補修工事	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,584	箇所	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	2			
					% 達成率	100	100			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	4点	19点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	4点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	
		15点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 準用河川維持補修工事については市が管理者である河川でありますので、少ない予算のなかで自治区要望により堆積土砂除去及び軽微な補修工事を行っておりますが市民の要望に添うように活用してまいります。また、大規模な案件につきましては、災害復旧事業を活用し対応していきます。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 準用河川市については、市が管理する河川であり今後も継続して事業をする必要がある。
--	--

事業番号	枝番
124003	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	建設課	係名	道路保全係
-----	-----	----	-------

事業	河川総務事業	細事業	普通河川管理事業	実施計画事業	普通河川管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (257)

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち
款	8	施策	8 防災対策の充実
項	3	施策展開	②災害危険区域を整備する
目	1	後期基本計画	66 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	130		

個別計画名	期間	年度	～	年度
	期間	年度	～	年度

令和4年度 主な歳出名称	当初予算額

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 県営治山事業の市管理分流末排水路整備事業である。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; R3繰越北平川流末排水路整備工事を完了。</p>	R3	令和3年度北平川流末排水路整備工事L=90.6mについては、大分県砂防事業の完成が遅れた為、繰越し事業において工事中であります。	R3計画 12,400 当初予算 12,400 決算額				12,400	
	R4	R3繰越北平川流末排水路整備工事を実施済み	R4計画 当初予算 12,400 決算額 11,113				12,400	
	R5		R5計画 当初予算 4,000 決算額				4,000	
	R6		R6計画 当初予算 決算額					
	R7		R7計画 当初予算 決算額					
	R3 ~ R7 合計			計画額 12,400 当初予算 28,800 決算額 11,113				12,400 28,800 11,113

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 普通河川管理	事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12,400	千円	目標値 12,400 実績値 % 達成率				
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値 実績値 % 達成率	11,113			
D 成果指標	1 普通河川管理	事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		千円	目標値 12,400 実績値 % 達成率				
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値 実績値 % 達成率	11,113			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	9点	9点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 普通河川管理事業については継続事業ではありませんが、今後も市民の安全確保のため大分県が実施する砂防施設工事が行われており、市としても予算の確保に努めてまいります。R5についても朝地町郷野砂防事業に伴う流末排水路整備工事4,000千円の実施予定であります。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 県営砂防事業で実施した箇所の流末の整備事業であり、今後、この事業を実施するか県と協議が必要と思われる。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → C.終了

事業	河川総務事業	細事業	河川総務事務費	実施計画事業	河川プール管理委託事業	終了年度	R7
----	--------	-----	---------	--------	-------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	8	施策	8 防災対策の充実		期間	年度	年度			河川プール管理委託料	749
項	3	施策展開	②災害危険区域を整備する		期間	年度	年度				
目	1	後期基本計画	66 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	130										

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 白山川河川プールを安心安全に利用していただく為、堆積土砂除去及び軽微な補修工事を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 令和4年度については堆積土砂除去を行いました。</p>	R3	令和3年度については堆積土砂除去を行いました。
	R4	令和4年度白山川河川プール堆積土砂除去作業委託を実施済み
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	748			748
当初予算	748			748
決算額	507			507
R4計画	748			748
当初予算	749			749
決算額	433			433
R5計画	749			749
当初予算	749			749
決算額				
R6計画	749			749
当初予算				
決算額				
R7計画	749			749
当初予算				
決算額				
計画額	3,743			3,743
当初予算	2,246			2,246
決算額	940			940

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 維持補修工事	堆積土砂除去	748	千円	目標値	748	749	749	749	749
					実績値	507	432			
					% 達成率	67.8	57.7			
D 成果指標	1 実績	実施数	748	千円	目標値	748	749	749	749	749
					実績値	507	432			
					% 達成率	67.8	57.7			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	19点	2点	14点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		2点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		3点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>河川プール管理委託料については、子供たちの遊び場として活用していただく為河川プール内堆積土砂除去の予算であり、お盆には白山川水しぶき大会も行われております。課題については、河川プールがかなり老朽化しており、管理責任がとられる事が想定されますので、市としましては、地元白山地区の同意をいただき大分県との管理委託契約を解除させていただき予算の縮小・廃止を行いたい。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>白山川プールについては県と管理委託契約により市が管理している。施設の老朽化等を考慮し、地区関係者と管理委託契約を解除する方向で協議をおこなっている。</p>
--	---

事業	急傾斜地崩壊対策事業	細事業	市営急傾斜地崩壊対策事業	実施計画事業	市営急傾斜地崩壊対策事業	終了年度	なし
----	------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額					
款	8	施策	8 防災対策の充実		期間	年度 ~ 年度			市営急傾斜地崩壊対策事業工事請負費	88,000			
項	3	施策展開	②災害危険区域を整備する						調査設計監理委託料	16,500			
目	1	後期基本計画	66 P								<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	131												

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命・財産を守るため、災害の未然防止を図るため事業実施する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 令和4年度 市営急傾斜地崩壊対策事業10件事業実施。</p>	R3	令和3年度市営急傾斜地崩壊対策事業実績については測量設計業務委託8件11,247千円、対策工事15件81,620千円です。	R3計画	104,500	40,000	52,900	8,800	2,800
	当初予算	104,500	40,000	52,900	8,800	2,800		
	決算額	92,867	40,750	41,400	8,167	2,550		
	R4	令和4年度市営急傾斜地崩壊対策事業実績については対策工事10件79,899千円で実施済み。	R4計画	104,500	33,750	47,000	21,175	2,575
	当初予算	104,500	40,000	52,800	8,800	2,900		
	決算額	95,481	34,990	35,200	7,778	17,513		
	R5		R5計画	104,500	33,750	47,000	21,175	2,575
	当初予算	123,500	48,000	61,700	10,400	3,400		
	決算額							
	R6		R6計画	104,500	33,750	47,000	21,175	2,575
	当初予算							
	決算額							
	R7		R7計画	104,500	33,750	47,000	21,175	2,575
	当初予算							
決算額								
R3 ~ R7 合計			計画額	522,500	175,000	240,900	93,500	13,100
			当初予算	332,500	128,000	167,400	28,000	9,100
			決算額	188,348	75,740	76,600	15,945	20,063

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 事業要望	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	72,750	千円	目標値	104,500	104,500			
					実績値	92,867	95,480			
					% 達成率	88.9	91.4			
D 成果指標	1 工事実績	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	55,649	千円	目標値	104,500	104,500			
					実績値	92,867	95,480			
					% 達成率	88.9	91.4			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	4点	20点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	4点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	4点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	
		17点	20点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
市営急傾斜地崩壊対策事業においては、市民のみならず市民の生命・財産を守る為の必要不可欠な事業であり、大分県補助金を活用し毎年10件以上の事業実施をしておりますが台風14号災害により申請される市民の方が多く、申請待ちの件数が増加しております。令和5年度より対策工事12件に増やし、予算の確保に留意し申請待ち件数の削減を図るため速やかに事業実施してまいります。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
市営急傾斜地崩壊対策事業については、予算措置として有利な緊急自然債の対象となっている期間に重点的に実施する。

事業	急傾斜地崩壊対策事業	細事業	県営急傾斜地崩壊対策事業	実施計画事業	県営急傾斜地崩壊対策事業	終了年度	なし
----	------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (257)

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	8	施策	8 防災対策の充実		期間	年度	～	年度	急傾斜地崩壊対策事業負担金	30,934	
項	3	施策展開	②災害危険区域を整備する		期間	年度	～	年度			
目	1	後期基本計画	66 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	131										

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 県営事業(家屋5戸以上)により実施する急傾斜地崩壊対策事業に、市が負担金を支払う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 令和4年度県営急傾斜地崩壊対策事業13件に対し負担金を支払う。</p>	R3	令和3年度県営急傾斜地崩壊対策事業12地区、砂防施設再生事業7地区の負担金として34,754千円であります。
	R4	令和4年度県営急傾斜地崩壊対策事業14箇所の市負担金として32,464千円あります。
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	32,750		25,400		7,350
当初予算	32,750		25,400		7,350
決算額	34,754		32,000		2,754
R4計画	32,750		25,400		7,350
当初予算	30,934		19,500		11,434
決算額	32,465		11,700		20,765
R5計画	32,750		25,400		7,350
当初予算	30,550		15,900		14,650
決算額					
R6計画	32,750		25,400		7,350
当初予算					
決算額					
R7計画	32,750		25,400		7,350
当初予算					
決算額					
計画額	163,750		127,000		36,750
当初予算	94,234		60,800		33,434
決算額	67,219		43,700		23,519

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
				%	達成率					
	2	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
				%	達成率					
D 成果指標	1	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
	2	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 豊後大野市には急傾斜地崩壊危険箇所が多く、今後の地震や豪雨による崖崩れ等恐れのある箇所に対して法枠工や擁壁工など市営急傾斜地崩壊対策事業ではカバー出来ない広範囲の大型事業により市民の方の生命・財産はもとより、事前防災対策により安全を確保しており、豊後大野市が大分県実施事業に対して、負担金を支払いお願いしている大切な事業であります。市としては今後も負担金の予算確保に努めてまいります。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市民の安全の確保のため必要な事業であり、今後の県と協力し事業を推進する。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	都市計画総務事業	細事業	都市計画総務事業	実施計画事業	空き家等除却補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	地域住宅等整備計画(大分県地域) 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	8	施策	8 防災対策の充実				
項	4	施策展開	③災害対策を強化する				
目	1	後期基本計画 66 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	132						
総合計画体系図No.1 (261)						空き家等除却補助金	20,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt;</p> <p>倒壊のおそれのある老朽危険空家のうち、倒壊した際に周辺道路や近隣に被害が及ぶ等の条件を満たす空家の解体に対し補助を行うこと、安全・安心なまちづくりを行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt;</p> <p>5月市報及びHPにて事業内容周知 6月1日より受付開始</p>	R3	当初見込みの30件を大幅に上回る申請があったため、補正予算で増額したが、目標を上回る実績となった。国費については会計検査の指摘により対象外となったものがあつたため減額となった
	R4	事前現地調査 約50件実施 補助対象件数 36件 交付決定 28件 解体実績 26件 辞退 2件
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	15,000	7,500			7,500
当初予算	15,000	7,500			7,500
決算額	18,523	5,828			12,695
R4計画	15,000	7,500			7,500
当初予算	20,000	10,000		10,000	
決算額	12,515	6,257			6,258
R5計画	15,000	7,500			7,500
当初予算	15,000	7,500			7,500
決算額					
R6計画	15,000	7,500			7,500
当初予算					
決算額					
R7計画	15,000	7,500			7,500
当初予算					
決算額					
計画額	75,000	37,500			37,500
当初予算	50,000	25,000		10,000	15,000
決算額	31,038	12,085			18,953

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 老朽危険空家除却	老朽危険空家解体補助を行った件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	36	件	目標値	40	30	30	30	30
						実績値	45	26			
						% 達成率	112.5	86.7			
D 成果指標	1 老朽危険空家除却	老朽危険空家の除却を行った件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	36	件	目標値	40	30	30	30	30
						実績値	45	26			
						% 達成率	112.5	86.7			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	9点	12点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>事前調査の結果、不良住宅ではなく、その他建築物(倉庫、納屋等)のため、危険な状態であるが、補助金が対象外となり、解体しないものが数件あつた。安全を考えると、単費での補助も検討する必要がある。 解体する建物のアスベスト事前調査について、今後は一層厳しくなるため、確認資料にアスベスト事前調査報告書の添付を求めるか検討する必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>引き続き、計画的に事業を実施する。</p>
---	--

事業	都市計画総務事業	細事業	都市計画総務事業	実施計画事業	宅地耐震化推進事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	-----------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市宅地耐震化推進計画 期間 R3 年度 ~ R4 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	8	施策	4 土地利用・景観の整備			
項	4	施策展開	①都市計画区域を整備する			
目	1	後期基本計画	58 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	132					

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<事業の目的> 令和3年度補正により繰越事業として第2次スクリーニング調査検討を行う	R3	大規模盛土の2次スクリーニング計画策定までは完了した。引き続き、2次スクリーニング調査を行うため、3月補正で事業費を確保し、事業に着手する。
	R4	繰越事業として大規模盛土造成地2箇所の第2次スクリーニング調査検討を行い安全性の確認ができた。
<令和4年度の取組内容(計画)> 繰越事業として大規模盛土造成地2箇所の第2次スクリーニング調査検討をおこなう。	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	1,800	900			900
当初予算	1,800	900			900
決算額	1,430	715			715
R4計画	20,370	10,185			10,185
当初予算	20,370	10,185			10,185
決算額	17,470	8,735			8,735
R5計画					
当初予算					
決算額					
R6計画					
当初予算					
決算額					
R7計画					
当初予算					
決算額					
計画額	22,170	11,085			11,085
当初予算	22,170	11,085			11,085
決算額	18,900	9,450			9,450

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 大規模盛土造成地第2次スクリーニング計画 市内に存在する大規模盛土造成地2箇所	<input type="checkbox"/> 総合戦略		箇所	目標値	2				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	2				
					%	達成率	100			
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	11点	13点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	25点	25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</b> 防災・安全交付金の令和3年度補正により予算を確保し令和4年度に第2次スクリーニング調査検討業務を行った。その結果、清川町、緒方町の2箇所の大規模盛土造成地は補強工事の必要な状態では無いことが確認された。今後は経過観察を行い、変化があれば調査する。	<b>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</b> 調査の結果、大規模盛土造成地は補強工事の必要な状態では無いことが確認された。今後は経過観察とする。
---	--

事業	都市再生整備事業	細事業	都市再生整備事業	実施計画事業	三重町駅周辺整備事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (86)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 都市再生整備計画 期間 H30 年度 ~ R4 年度 都市再生整備計画 期間 R5 年度 ~ R9 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	8	施策 4 商業・サービス業の振興			三重町駅周辺整備工事請負費	34,000
項	4	施策展開 ③中心市街地を活性化す			調査設計委託料	2,600
目	1	後期基本計画 30 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		移転補償費	1,500
決算	133				駅西広場管理委託料	180

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 豊後大野市の中心地として『交通結節点機能の形成』・『誰もが集える空間の形成』・『地域資源の活用』により集約型都市機能を高め、人が集い人とひとつながり賑わいが創出できる都市環境づくりを目指す。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 市道駅前上赤嶺線舗装 駅西駐車場整備 駅前2号線測量</p>	R3	JR用地の測量に時間がかかり、購入の協議まで出来なかった。工事については繰越事業の進捗により着手が遅れたため、繰越となった。	R3計画 198,000	60,650	130,400		6,950
			当初予算 198,000	60,650	130,400		6,950
			決算額 18,834	8,239	7,800		2,795
	R4	駅前上赤嶺線舗装工事、駅西広場整備は契約済、繰越にて5月完了予定 駅前2号線測量業務委託は契約済、繰越にて7月完了予定	R4計画 236,000	118,000	112,000		6,000
			当初予算 38,390	17,000	16,100		5,290
			決算額 1,388				1,388
	R5		R5計画 180,000	90,000	85,500		4,500
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 150,000	75,000	71,200		3,800
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 100,000	50,000	47,500		2,500	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 864,000	393,650	446,600		23,750
			当初予算 236,390	77,650	146,500		12,240
			決算額 20,222	8,239	7,800		4,183

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 イベントの開催	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	1	12			
					実績値					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
D 成果指標	1 JR三重町駅の年間乗降客数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値		625,300			
					実績値					
	2 駅周辺商店街利用率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値		90			
					実績値					
					達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	10点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	11点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
駅前上赤嶺線舗装工事、駅西駐車場整備工事については繰越とはなったが、早期の完了が見込まれる。完了後の施設の適正な管理が求められる。駅前2号線測量業務については繰越ではあるが工期内の完了が見込まれる。測量成果に基づき、道路位置の検討を行い、地元の説明が必要がある。現在の都市再生整備計画が令和5年度で終了するため、統括を行うとともに、次期計画について検討する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
今後も計画通り事業を進めるとともに、現在の都市再生整備計画が令和5年度で終了するため、次期計画について検討する必要がある。

事業	公園管理事業	細事業	公園管理事業	実施計画事業	公園管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	8	施策	3 住宅環境等の整備		期間	年度	年度	公園施設改修工事請負費	1,000
項	4	施策展開	②公園・緑地を整備する		期間	年度	年度	修繕料	712
目	2	後期基本計画	56 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	都市公園管理委託料	1,574
決算	134							大原つつじ公園管理委託料	900

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 市民が安全で快適に使用できるよう、公園の維持管理を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; 大原総合公園防犯カメラ設置 大原総合公園の水路橋及び既存ベンチ改修 各種講演の適正管理</p>	R3	公園管理については例年どおりであるが、大原総合公園に大型複合遊具が整備された。	R3計画 5,084				5,084
			当初予算 5,084				5,084
			決算額 4,703			540	4,163
	R4	大原総合公園防犯カメラ設置 大原総合公園の水路橋改修3箇所 既存ベンチ改修19基 公園施設災害復旧1箇所	R4計画 5,084				5,084
			当初予算 15,785,000	6,000,000			9,785,000
			決算額 17,859,367	7,250,000		540	10,608,827
	R5		R5計画 5,084				5,084
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 5,084				5,084
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 5,084				5,084
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 25,420				25,420
			当初予算 15,790,084	6,000,000			9,790,084
			決算額 17,864,070	7,250,000		1,080	10,612,990

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				目標値					
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画			実績値						
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	11点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	11点	—点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
大原総合公園に新たに大型遊具が整備されたため、事故等が発生した差異を考慮して、防犯カメラを設置した。また、来場者の増加が見込まれるため、老朽化した水路橋と既存木製ベンチの整備を行った。大原総合公園に限らず、公園施設の計画的な補修、更新を行うとともに、防犯カメラの設置を検討する必要がある。大原つつじ公園の玉田川側の進入路が台風17号により一部崩落したため、復旧を行っているが、他の災害工事等も多く、繰越となった。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
今後も継続して適切に管理を行う必要がある。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	住宅管理事業	細事業	住宅管理事業	実施計画事業	住宅管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.1 (195)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市公営住宅等長寿命化計画 期間 H28 年度 ~ R13 年度	令和4年度 主な歳出名称 当初予算額 市営住宅等管理委託料 69,169 市営住宅等維持補修工事請負費 11,000 修繕料 5,767 火災等保険料 2,331
款	8	施策 3 住宅環境等の整備			
項	5	施策展開 ①市営住宅を整備する			
目	1	後期基本計画 56 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	135				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 経済的に不安定な生活を送る低所得の市民や、住まいを確保しにくい障がい者、高齢者、子育て世帯などに対して、安全で快適に生活できる住宅を提供する。 また、住宅長寿命化計画の見直しを行い、市営住宅の統廃合を含め、管理戸数の見直しと計画的な建替及び維持管理に努める。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・住宅管理事務の委託：管理代行、指定管理委託 ・入居管理：毎月随時、入居者募集を行い、書類審査・抽選等を実施 ・退去管理：退去届を受理し、退去検査等を実施 ・施設の維持管理・補修：市営住宅の家屋、駐車場及び児童遊園等公共施設の維持管理・補修等 ・住宅使用料・浄化槽使用料の徴収事務：滞納者に対して住宅使用料・浄化槽使用料の徴収事務</p>	R3	大分県住宅供給公社(豊後大野市営住宅管理センターへ住宅管理事務の委託し、入居管理(36件)、退去管理(64件)、施設の維持管理として修繕(293件)、工事(6件)を行った。 また、住宅長寿命化計画の見直しを行い、市営住宅の統廃合を含め、管理戸数の見直しと計画的な建替及び維持管理に努めた。	R3計画 110,281			110,281		
				当初予算 110,281			110,281	
				決算額 94,681			75,322	19,359
	R4	大分県住宅供給公社(豊後大野市営住宅管理センターへ住宅管理事務の委託し、入居管理(42件)、退去管理(52件)、施設の維持管理として修繕(328件)、工事(9件)を行った。	R4計画 110,281			110,281		
				当初予算 89,982			89,982	
				決算額 87,661				87,661
	R5		R5計画 110,281			110,281		
				当初予算 86,448			86,448	
				決算額				
	R6		R6計画 110,281			110,281		
			当初予算					
			決算額					
R7		R7計画 110,281			110,281			
			当初予算					
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 551,405			551,405		
			当初予算 286,711			286,711		
			決算額 182,342			75,322	107,020	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 市営住宅使用料収納実績	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	98.8	98.5			
	2 市営住宅使用料(滞納繰越分)収納実績	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	11.5	6.4			
D 成果指標	1 収納実績	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	98.8	%	目標値	98.9	99	99.1	99.2	99.3
					実績値	98.8	98.5			
	2 収納実績	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	12.2	%	目標値	12.3	12.4	12.5	12.6	12.7
					実績値	11.5	6.4			
					達成率	93.5	51.6			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	2点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	2点	3点
		16点	18点
		／25点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
今後も引き続き、大分県住宅供給公社(豊後大野市営住宅管理センター)と連携し、経済的に不安定な生活を送る低所得の市民や、住まいを確保しにくい障がい者、高齢者、子育て世帯などに対して、安全で快適に生活できる住宅を提供する。  
また、住宅使用料等の徴収事務についても、引き続き、大分県住宅供給公社(豊後大野市営住宅管理センター)と連携し、特に高額及び悪質滞納者については、随時面談を行い分納誓約を交わすなど取り組むと共に、呼応しない場合は法的措置を行う。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
大分県住宅供給公社と連携し適切な管理、運営を行う。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	住宅・建築物安全ストック形成事業	細事業	住宅・建築物安全ストック形成事業	実施計画事業	木造住宅耐震診断・改修事業補助事業	終了年度	なし
----	------------------	-----	------------------	--------	-------------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	大分県建築物安全ストック整備計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称 木造住宅耐震診断・改修事業補助金	当初予算額 6,100
款	8	施策	8 防災対策の充実				
項	5	施策展開	③災害対策を強化する				
目	2	後期基本計画	66 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	136						

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<事業の目的> 市民の安全・安心な暮らしを支えるため、昭和56年以前に建てられた木造住宅等の耐震化を促進する  <令和4年度の取組内容(計画)> 耐震診断補助 10件 耐震改修補助 5件	R3	耐震診断補助 4件 耐震改修補助 1件
	R4	耐震診断補助 4件 耐震改修補助 2件
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	6,100	4,575			1,525
当初予算	6,100	4,575			1,525
決算額	1,390	1,042			348
R4計画	6,100	4,575			1,525
当初予算	6,100	4,575			1,525
決算額	2,150	1,612			538
R5計画	6,100	4,575			1,525
当初予算	6,100	4,575			1,525
決算額					
R6計画	6,100	4,575			1,525
当初予算					
決算額					
R7計画	6,100	4,575			1,525
当初予算					
決算額					
計画額	30,500	22,875			7,625
当初予算	18,300	13,725			4,575
決算額	3,540	2,654			886

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C	1-		<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値					
			<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値					
			%				達成率					
			%				達成率					
D	1 耐震診断件数	大分県建築物安全ストック整備計画の事業計画数値 耐震診断 10件/年	<input type="checkbox"/> 総合計画	6	件		目標値	10	10	10	10	10
			<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	4	4			
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%				達成率	40	40			
			%				達成率	20	40			
D	2 耐震改修件数	大分県建築物安全ストック整備計画の事業計画数値 耐震改修 5件/年	<input type="checkbox"/> 総合計画	2	件		目標値	5	5	5	5	5
			<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	1	2			
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%				達成率	20	40			
			%				達成率	20	40			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)			
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	13点	4点	20点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 耐震診断・改修について、なかなか件数が伸びない。 4年度は大分県、建築士事務所協会の協力で市役所1階ロビーにおいて耐震キャラバンを開催した。 5年度から改修の上限が最高120万円となるため、引き続き広報に努める。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き、周知を図りながら、事業を実施していく必要がある。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	住宅・建築物安全ストック形成事業	細事業	住宅・建築物安全ストック形成事業	実施計画事業	危険ブロック塀等除却事業補助事業	終了年度	なし
----	------------------	-----	------------------	--------	------------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 安心・安全な暮らしを支える住みづくり 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称 危険ブロック塀等除却事業補助金 1,000	当初予算額 1,000
款	8	施策	8 防災対策の充実			
項	5	施策展開	③災害対策を強化する			
目	2	後期基本計画	66 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	136					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 市民の安全と避難路確保のため、災害時等に倒壊のおそれのあるブロック塀等の除却に対し補助を行う。  <令和4年度の取組内容(計画)> 危険ブロック塀等除却費補助 10件	R3	実績無し	R3計画 1,000	750			250
			当初予算 1,000	750			250
			決算額				
	R4	危険ブロック塀等除却費補助 3件	R4計画 1,000	750			250
			当初予算 1,000	750			250
			決算額 270	202			68
	R5		R5計画 1,000	750			250
			当初予算 1,000	750			250
			決算額				
	R6		R6計画 1,000	750			250
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 1,000	750			250
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 5,000	3,750			1,250
			当初予算 3,000	2,250			750
			決算額 270	202			68

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
D 成果指標	1 危険ブロック塀等除却件数	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値	10	10	10	10	10
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値		3			
	2-	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率		30			
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	14点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	25点	3点
			15点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 事業開始から3年が経過し、少しずつ実績が伸びてきた。問い合わせは年々増えているので、引き続き広報に努め、件数を伸ばす。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 事業についての周知を行い、実施する必要がある。
--	---

事業	住宅・建築物安全ストック形成事業	細事業	住宅・建築物安全ストック形成事業	実施計画事業	がけ地近接等危険住宅移転補助事業補助事業	終了年度	なし
----	------------------	-----	------------------	--------	----------------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	大分県住宅建築物安全ストック整備計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	8	施策	8 防災対策の充実				
項	5	施策展開	②災害危険区域を整備する				
目	2	後期基本計画	66 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	136						

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<事業の目的> 市民の安全を確保するため、がけ地等に隣接した危険住宅の移転に対し補助を行い、安全な地域への居住を促す。  <令和4年度の取組内容(計画)> 4月市報及びHPにて事業内容周知	R3	がけ地近接等危険住宅解体補助 1件
	R4	希望者無し
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	975	731			244
当初予算	975	731			244
決算額	975	731			244
R4計画	5,185	3,888			1,297
当初予算					
決算額					
R5計画	5,185	3,888			1,297
当初予算					
決算額					
R6計画	5,185	3,888			1,297
当初予算					
決算額					
R7計画	5,185	3,888			1,297
当初予算					
決算額					
計画額	21,715	16,283			5,432
当初予算	975	731			244
決算額	975	731			244

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率		
C 活動指標	1-		<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値				
			<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値				
	達成率										
	目標値										
D 成果指標	1	大分県建築物安全ストック整備計画に記載された計画数値 がけ地近接等危険住宅の移転に対する補助1件	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値		1	1	1
			<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		達成率								
	目標値		1				1	1	1		
2	大分県建築物安全ストック整備計画に記載された計画数値 がけ地近接等危険住宅解体件数	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値	1	1	1	1	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	1				
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				達成率	100				
		目標値									

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	3点	8点	2点
	なっていない ⇒ なっている			
	1 → 2 → 3 → 4 → 5			
	優先度低い ⇒ 優先度高い			
	1 → 2 → 3 → 4 → 5			
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5	3点	8点	2点
優先度低い ⇒ 優先度高い				
1 → 2 → 3 → 4 → 5				
できなかった ⇒ できた				
1 → 2 → 3 → 4 → 5				
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	2点	8点	2点
できなかった ⇒ できた				
1 → 2 → 3 → 4 → 5				
推移していない ⇒ 推移した				
1 → 2 → 3 → 4 → 5				
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	—点	8点	—点
推移していない ⇒ 推移した				
1 → 2 → 3 → 4 → 5				
1 → 2 → 3 → 4 → 5				
1 → 2 → 3 → 4 → 5				
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	—点	/25点	—点
推移していない ⇒ 推移した				
1 → 2 → 3 → 4 → 5				
1 → 2 → 3 → 4 → 5				
1 → 2 → 3 → 4 → 5				

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 国の要項改正により、除却に関しては除却費用のほぼ全額が補助されることとなったため、事業に繋がるよう広報を行う。移転が基本であるため、地区から出ていくことに抵抗があり、事業に結びつかない。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 建設計画を協議しながら事業推進の推進を図る。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	市営住宅整備事業	細事業	市営住宅整備事業	実施計画事業	市営住宅整備事業	終了年度	R8
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	市営住宅等長寿命化計画	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	8	施策	3 住宅環境等の整備	期間	R3 年度 ~ R12 年度	市原住宅建替工事請負費	135,000
項	5	施策展開	①市営住宅を整備する	地域住宅等整備計画(大分県地域)		ストック総合改善工事請負費	24,000
目	2		後期基本計画 56 P	期間	R3 年度 ~ R7 年度	消耗品費	500
決算	137		<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			調査設計監理委託料	500

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 入居者が安全で安心できる住環境を確保するため、長寿命化計画をもとに市営住宅の建替え及び改修を行う。  <令和4年度の取組内容(計画)> 市原住宅3期建替工事のうち解体工事及び造成工事を行う。 また、3期建替工事については本体工事に着手する。 東営住宅N棟・E棟のエレベータ防災対策工事を行う。	R3	市原住宅3期建替工事RC5階建て25戸(完了) 市原住宅2期駐車場整備 45台 市原住宅3期建替工事実施設計	R3計画 451,275	225,000	225,000		1,275
			当初予算 451,275	225,000	225,000		1,275
			決算額 439,520	221,672			217,848
	R4	市原住宅3期建替工事については解体工事、造成工事は完了。 3期本体工事も12月に契約済 東営住宅N棟・E棟のエレベータ防災対策工事も完了	R4計画 205,800	102,500	102,000		1,300
			当初予算 160,257	79,750	79,700		807
			決算額 128,617	56,827			71,790
	R5		R5計画 351,300	175,000	175,000		1,300
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 151,300	75,000	75,000		1,300
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 301,300	150,000	150,000		1,300
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 1,460,975	727,500	727,000		6,475
			当初予算 611,532	304,750	304,700		2,082
			決算額 568,137	278,499			289,638

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
		%			達成率						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値					
		%				達成率					
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値						
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
		%			達成率						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
		%				達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	9点 /25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市原住宅整備事業については解体工事、造成工事は完了した。 3期本体工事については12月に契約したが、施工困難な箇所があり、設計事務所と協議中のため、施工方法の見直しや設計変更を行い、早期着手する。 東営住宅N棟・E棟のエレベータ防災対策工事は3月に完了した。今後も老朽化したエレベータについて計画的な改修が必要。	継続して計画的に事業を推進する。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	常備消防運営事業	細事業	教育研修事業	実施計画事業	教育研修事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.→ (263)

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	9	施策	9 消防・救急体制の充実		期間	年度	～	年度	研修会等負担金	5,670
項	1	施策展開	①消防・救急体制を強化する		期間	年度	～	年度	普通旅費	812
目	1	後期基本計画	68 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当		病院実習等委託料	370
決算	138								手数料	38

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 救急・救助隊員、救急救命士等の資格をはじめ職員個々の知識や技術の向上を図るために、各種研修を推進する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 消防学校入校 救急救命士研修 各種資格取得</p>	R3	職員個々の知識や技術の向上を図るため、消防学校入校(20名)、救急救命士研修(1名)、各種資格取得(9名)、その他研修(2名)を実施。	R3計画 5,018 当初予算 5,018 決算額 4,683				5,018	
	R4	職員個々の知識や技術の向上を図るため、消防学校入校(26名)、救急救命士研修(2名)、各種資格取得(8名)、その他研修(2名)を実施。	R4計画 5,000 当初予算 6,899 決算額 6,614				5,000	
	R5		R5計画 5,000 当初予算 6,298 決算額				5,000	
	R6		R6計画 5,000 当初予算 決算額				5,000	
	R7		R7計画 5,000 当初予算 決算額				5,000	
	R3 ~ R7 合計			計画額 25,018 当初予算 18,215 決算額 11,297				25,018 18,215 11,297

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 実働救命士	実働救命士数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	24	名	目標値	24	24	30	30	30
						実績値	22	22			
	2 救命士複数乗車	救命士複数乗車率	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	66	%	目標値	60	60	100	100	100
						実績値	61	58			
D 成果指標	1 市民の安全安心の確保		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
						実績値					
						達成率					
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
						実績値					
						達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	できなかった ⇒ できた	3点		3点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>救急救命士等の資格をはじめ職員個々の知識や技術の向上を図ることが出来た。今後も教育については、計画に沿って実施したい。多様化する各種災害に対応するため、より高度な教育を受けられる消防大学校の入校も計画したい。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>消防、救急の現場活動に対しては資格や知識、技術の向上は必要不可欠なものであり、今後も計画的に入校や資格取得、その他の研修を実施する。今後、救急救命士については、高度な救命処置、救命率の向上を図るため救命士数を増やしたい。</p>
--	---



事業	常備消防運営事業	細事業	車両・資機材整備事業	実施計画事業	車両・資機材整備事業	終了年度	なし
----	----------	-----	------------	--------	------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	9	施策	9 消防・救急体制の充実		期間	年度	～	年度			
項	1	施策展開	②消防施設を整備する		期間	年度	～	年度			
目	1	後期基本計画	68 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	138										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 火災等から市民を守り迅速な活動等を行うため、消防施設や消防車両、資機材等の計画的整備を進め、災害活動における機動力の確保と性能向上を図り、円滑な消防活動を推進する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・消防資機材(ホース等)の購入 ・救急資機材(救急包帯等)の購入 ・救助資機材(空気呼吸器等)の購入</p>	R3	円滑な消防活動を行うため、作業車購入をはじめ、消防・救急・救助等の資機材購入を実施。	R3計画	11,545				11,545
			当初予算	11,545				11,545
			決算額	11,824	1,906			9,918
	R4	円滑な消防活動を行うため、消防・救急・救助等の資機材購入を実施。	R4計画	9,797				9,797
			当初予算	6,036				6,036
			決算額	5,857				5,857
	R5		R5計画	56,197		48,800		7,397
			当初予算	68,586		60,600		7,986
			決算額					
	R6		R6計画	57,997	48,100			9,897
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画	49,697		41,000		8,697
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	185,233	48,100	89,800	47,333	
			当初予算	86,167		60,600	25,567	
			決算額	17,681	1,906		15,775	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7		
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
C 活動指標	1 車両整備	車両整備数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	2	台	目標値	1			1	2	2
						実績値	1					
						% 達成率	100					
D 成果指標	1 車両整備数		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値						
						実績値						
						% 達成率						
D 成果指標	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値						
						実績値						
						% 達成率						

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		15点	15点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 ホース、空気呼吸器等計画に沿って購入を実施した。物品購入について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により納入が遅れているため早めの対応をしたい。今後も計画的に車両及び各種資機材の更新をしていきたい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 更新計画に基づき購入を実施した。今後も計画的に車両、資機材の更新や、点検整備を定期的実施し常に適切な消防力を維持する。
---	---

事業	常備消防運営事業	細事業	管理運営事業	実施計画事業	消防119番通報通訳業務委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (269)		個別計画名	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	
款	9	施策	9 消防・救急体制の充実	消防119番通報通訳業務委託料 196
項	1	施策展開	③消防指令業務の共同運用を行う	
目	1	後期基本計画	68 P	
決算	138	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 消防行政の円滑な推進を図るため、消防本部(署)の管理、通信施設及び資機材の維持管理、業務の運営などを行い、消防活動が迅速かつ的確に実施できるよう総合的な体制の強化を図る。  <令和4年度の取組内容(計画)> 業務の運営	R3	消防行政の円滑な推進を図るため、資機材の購入・維持管理、各種施設点検整備、業務の運営を実施。	R3計画 196				196
			当初予算 196				196
			決算額 196				196
	R4	消防行政の円滑な推進を図るため、資機材の購入・維持管理、各種施設点検整備、業務の運営を実施。女性仮眠室改築工事を実施。	R4計画 196				196
			当初予算 196				196
			決算額 195				195
	R5		R5計画 196				196
			当初予算 196				196
			決算額				
	R6		R6計画 196				196
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 196				196
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 980			980	
			当初予算 588			588	
			決算額 391			391	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 消防119番通報業務	消防119番通訳数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	件	目標値					
					実績値					
					% 達成率					
2 -			<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 市民の安全・安心の確保		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
消防行政の円滑な推進を図るため、消防本部(署)の管理、通信施設及び資機材の維持管理、業務の運営を行うことが出来た。消防活動が迅速かつ的確に実施できるよう総合的な体制の強化を図ることが出来た。今後、通信指令設備及び消防車両等の老朽化による故障が懸念されるが、点検整備を定期的実施し、管理に努めたい。	今後も消防本部(署)の管理、通信施設及び資機材の維持管理に努めます。通信指令設備については、令和6年10月から県下消防指令業務共同運用開始を目指して進行中です。消防車両等の老朽化による故障が懸念されるが、点検整備を定期的実施します。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	常備消防運営事業	細事業	感染症予防対策事業	実施計画事業	感染症予防対策事業	終了年度	R4
----	----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (267)								
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	
款	9	施策	9 消防・救急体制の充実		期間	年度	年度	
項	1	施策展開	②消防施設を整備する		期間	年度	年度	
目	1	後期基本計画	68 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	138							
				令和4年度 主な歳出名称		当初予算額		
				消耗品費		2,034		
				機械器具費		1,989		

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 新型コロナウイルス感染症に伴う感染防止対策として資機材を整備し、感染予防の徹底を図るもの。  <令和4年度の実績内容(計画)> ・感染予防資機材の購入 ・消毒用噴霧器の購入	R3	新型コロナウイルス感染症に伴う感染防止対策として感染防止資機材(感染防止衣等)を購入。	R3計画 5,666	5,000			666
			当初予算 5,666	5,000			666
			決算額 5,274	4,800			474
	R4	新型コロナウイルス感染症に伴う感染防止対策として感染防止資機材(感染防止衣等)を購入。	R4計画 4,023	2,000			2,023
			当初予算 4,023	2,000			2,023
			決算額 3,952	3,000			952
	R5		R5計画				
			当初予算 2,576			1,500	1,076
			決算額				
	R6		R6計画				
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画				
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 9,689	7,000			2,689
			当初予算 12,265	7,000		1,500	3,765
			決算額 9,226	7,800			1,426

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 資機材整備	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100			
					実績値	100	100			
					達成率	100	100			
D 成果指標	1 市民の安全・安心を守る	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					達成率					
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 新型コロナウイルス感染症に伴う感染防止対策として消毒用噴霧器を購入し、隊員及び傷病者への感染予防を図ることが出来た。今後も、感染予防を継続して実施したい。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 新型コロナウイルス感染症に伴う感染防止対策として感染防止資機材(感染防止衣・消毒用噴霧器等)を購入し、隊員及び傷病者の感染防止を図った。
---	---

事業番号	枝番
132006	1

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	消防本部総務課	係名	総務係
-----	---------	----	-----

事業	常備消防運営事業	細事業	南分署建設事業	実施計画事業	南分署建設事業	終了年度	R5
----	----------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.→ (266)

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	南分署庁舎建設	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	9	施策	9 消防・救急体制の充実		期間	R3 年度 ~ R4 年度	南分署建設等工事請負費	74,000	
項	1	施策展開	②消防施設を整備する		期間	年度 ~ 年度	工事監理委託料	1,800	
目	1	後期基本計画	68 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	水道加入負担金	440
決算	138						農業集落排水加入負担金	150	

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 火災等から市民を守り迅速な災害活動を行うため消防庁舎の整備を進め、円滑な消防活動を推進する。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; ・南分署建設工事 ・工事監理業務委託 ・市水道加入 ・農業集落排水加入</p>	R3	南分署建設に伴う建設工事実施設計委託及び地質調査業務委託を実施。	R3計画 8,640		5,700		2,940
			当初予算 8,640		5,700		2,940
			決算額 7,593		5,100		2,493
	R4	南分署建設工事を実施。	R4計画 110,000		95,000		15,000
			当初予算 76,400		72,000		4,400
			決算額 127,075		120,200		6,875
	R5		R5計画 128,800				128,800
			当初予算 77,876		59,700		18,176
			決算額				
	R6		R6計画				
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画				
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 247,440		100,700		146,740
			当初予算 162,916		137,400		25,516
			決算額 134,668		125,300		9,368

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 南分署庁舎整備	庁舎整備率	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100		
						実績値	100	80			
						達成率	100	80			
D 成果指標	1 市民の安全・安心を守る		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
						実績値					
						達成率					
D 成果指標	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
						実績値					
						達成率					

E 評価対象外の理由	O 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
火災等から市民を守り迅速な災害活動を行うため消防庁舎の整備を進め、円滑な消防活動を推進する。 毎月、請負業者及び建設課と会議を行い、工事の進捗状況を確認した。 来年度完成するまで庁舎建設を円滑に進めたい。	南分署建設終了。R5年7月から運用を開始する。

I 令和6年度の事業の方向性	C. 終了
----------------	-------

事業	非常備消防運営事業	細事業	消防団活動事業	実施計画事業	消防団活動事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	---------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	9	施策	9 消防・救急体制の充実		期間	年度	年度	消防団員報酬	28,317
項	1	施策展開	①消防・救急体制を強化する		期間	年度	年度	費用弁償	25,653
目	2	後期基本計画	68 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	消防補償等組合負担金	23,277
決算	139							消防協会負担金	3,651

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; 各種災害現場において機能が十分発揮できるよう、消防団活動能力の充実強化を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 団員定数1,080人、1団、4方面団、37分団で組織される消防団の運営管理、並びに各種災害に迅速な活動ができるよう団員の充実強化を図る。 ・消防団員報酬 ・費用弁償(出勤手当等) ・消防協会負担金 ・分団運営補助金 ・消防補償等組合負担金</p>	R3	団員定数1,080人、1団、4方面団、37分団で組織される消防団の運営管理、並びに各種災害に迅速な活動ができるよう団員の充実強化を図る。 実団員数 973人 災害出動回数 13回 訓練回数 2回
	R4	団員定数1,080人、1団、4方面団、37分団で組織される消防団の運営管理、並びに各種災害に迅速な活動ができるよう団員の充実強化を図る。 実団員数 960人 災害出動回数 20回 訓練回数 10回
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	94,112		4	94,108
当初予算	94,112		4	94,108
決算額	74,669		61	74,608
R4計画	94,112		4	94,108
当初予算	94,616		4	94,612
決算額	74,787		48	74,739
R5計画	94,112		4	94,108
当初予算	92,903			92,903
決算額				
R6計画	94,112		4	94,108
当初予算				
決算額				
R7計画	94,112		4	94,108
当初予算				
決算額				
計画額	470,560		20	470,540
当初予算	281,631		8	281,623
決算額	149,456		109	149,347

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 消防団員数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	991	人	目標値	973	973	960		
					実績値	973	960	926		
	% 達成率	100	98.7	96.5						
2 訓練回数	訓練回数(年間)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	4	回	目標値	6	6	6	6	6
					実績値	2	2			
					% 達成率	33.3	33.3			
D 成果指標	1 消防団員新入団員数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	33	人	目標値	53	40	40	40	40
					実績値	53	24	36		
	% 達成率	100	60	90						
2 消防団員の確保	消防団員数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	991		目標値	1,026	1,026	1,026	1,026	1,026
					実績値	973	960	926		
					% 達成率	94.8	93.6	90.3		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	9点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	／25点	—点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 平成30年に組織再編を行い団員定数も実団員数に近い定数を設定した。しかしながら、年々退団者が増え実団員数は大きく下回っている。 各種訓練を重ね、団員の技能等の向上を図り、地域防災力の強化を目指すとともに、団員の危機を減らすため安全装備品の充実を図る。さらには、消防団の存在意義を地域住民に理解してもらい、新規入団者獲得のため粘り強く勧誘を行う。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 消防団員の活動に対する安全装備品の充実を図り、安全管理を徹底する。消防団員数については、減少傾向にあるが、処遇改善に取組み、加入促進を行う。各種災害に対応できるよう、団員の充実強化に取組む。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	消防施設整備事業	細事業	消防水利・資機材等整備事業	実施計画事業	消防水利・資機材等整備事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (266)											
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	9	施策	9 消防・救急体制の充実		期間	年度	年度			車両購入費	31,576
項	1	施策展開	②消防施設を整備する		期間	年度	年度			消防施設整備工事請負費	8,800
目	3	後期基本計画	68 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当			消防団詰所整備工事請負費	9,200
決算	140									消防団詰所解体工事請負費	3,000

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 消防施設、設備等の整備を行い、消防水利、資機材等の充実を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; ①防火水槽有蓋化事業(3基) ゴミ・汚泥等の流入や転落防止を図るため有蓋化を図る。 ②消防団詰所解体事業(1棟) 消防団組織再編計画に沿って詰所の集約化を図る。 ③消防団詰所整備事業(1棟) 消防団詰所更新計画に基づき詰所の建替えを行う。 ④石油貯蔵施設立地対策等交付金事業(1台) 消防団車両更新計画に基づき車両の更新を行う。 ⑤電源立地対策交付金事業(1台) 消防団車両更新計画に基づき車両の更新を行う。</p>	R3	①防火水槽有蓋化事業(3基) ゴミ・汚泥等の流入や転落防止を図るため有蓋化を図る。 ②消防団組織再編計画に沿って詰所の集約化を図る。 ③消防団詰所整備事業(1棟) 消防団詰所更新計画に基づき詰所の建替えを行う。 ④石油貯蔵施設立地対策等交付金事業(1台) 消防団車両更新計画に基づき車両の更新を行う。 ⑤電源立地対策交付金事業(1台) 消防団車両更新計画に基づき車両の更新を行う。	R3計画	87,929	25,935	39,900	22,094	
			当初予算	87,929	25,934	39,900	22,095	
			決算額	82,426	25,916	33,700	22,810	
		R4	①防火水槽有蓋化事業(3基) ゴミ・汚泥等の流入や転落防止を図るため有蓋化を図る。 ②消防団組織再編計画に沿って詰所の集約化を図る。 ③消防団詰所整備事業(1棟) 消防団詰所更新計画に基づき詰所の建替えを行う。 ④石油貯蔵施設立地対策等交付金事業(1台) 消防団車両更新計画に基づき車両の更新を行う。 ⑤電源立地対策交付金事業(1台) 消防団車両更新計画に基づき車両の更新を行う。	R4計画	84,266	9,978	49,000	25,288
			当初予算	56,496	14,192	19,800	22,504	
			決算額	59,712		1,200	58,512	
		R5		R5計画	73,300	9,978	30,000	33,322
			当初予算	96,170	14,000	42,500	39,670	
			決算額					
		R6		R6計画	84,266	9,978	49,000	25,288
			当初予算					
			決算額					
		R7		R7計画	93,300	9,978	49,000	34,322
		当初予算						
		決算額						
		R3 ~ R7 合計	計画額	423,061	65,847	216,900	140,314	
			当初予算	240,595	54,126	102,200	84,269	
			決算額	142,138	25,916	34,900	81,322	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 施設整備数 施設整備数(防火水槽、消防団詰所等)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	13			目標値	10	13	8	8	8
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値	9	4			
		%				達成率	90	30.8			
2 車両整備数	車両整備数(ポンプ車、小型ポンプ積載車)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1		台	目標値	3	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値	3	2			
		%				達成率	100	200			
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率				
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	13点	3点	9点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 消防施設整備の充実。補助金を有効に活用し、緊急性及び優先度の高いものから整備を行い、地域消防力の向上を図る。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市民の安心安全な暮らしを守るため、消防団車両更新計画に基づき、順次車両の更新を行う。消防水利については、緊急性及び優先度の高いものから、準備を行う。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	災害に強いまちづくり推進事業	細事業	防災対策事業	実施計画事業	防災アドバイザー活用事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	--------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (253)		個別計画名	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	会計年度任用職員報酬	1,083
款	9	8 防災対策の充実	社会保険料(会計年度任用職員分)	220
項	1	①防災体制を強化する	期末手当(会計年度任用職員分)	136
目	4	後期基本計画 66 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	費用弁償(会計年度任用職員分)	23
決算	141			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 防災講話等を通じて防災啓発を行い、市民の防災意識を高め、防災訓練、防災活動を支援する。  <令和4年度の取組内容(計画)> 自主防災組織等に講習や講話を行う。	R3	自主防災組織等に講習や講話を28回行った。	R3計画 1,510				1,510
			当初予算 1,510				1,510
			決算額 1,315				1,315
	R4	自主防災組織等に講習や講話等を47回行い防災意識の向上に努めた。	R4計画 1,510				1,510
			当初予算 1,462				1,462
			決算額 1,355				1,355
	R5		R5計画 1,510				1,510
			当初予算 1,201				1,201
			決算額				
	R6		R6計画 1,510				1,510
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 1,510				1,510
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 7,550				7,550
			当初予算 4,173				4,173
			決算額 2,670				2,670

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 講習件数 団体へ出向いて行った講習等の件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	14	件	目標値	15	16	17	18	19
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	28	46			
		% 達成率			186.7	287.5				
D 成果指標	1 講習申請件数 団体からの講習等の申請件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	14	件	目標値	15	16	17	18	19
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	28	46			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	186.7	287.5			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	25点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点
		25点	25点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 防災講話等を通じて市民の防災啓発、防災意識の向上を図ることは非常に重要であることから継続する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 コロナ禍での事業実施であったが、目標値である講習件数は大幅に増加した。防災アドバイザーを自治会等の自主防災組織に派遣し、防災講話等を通じた防災意識の醸成などに取り組むことは、地域防災活動の活性化を図る上で必要不可欠と考えることから、継続して取り組む。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	災害に強いまちづくり推進事業	細事業	防災対策事業	実施計画事業	自主防災組織活動事業費補助事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	--------	--------	-----------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	9	施策	8 防災対策の充実		期間	年度	年度			自主防災組織活動事業補助金	2,670
項	1	施策展開	①防災体制を強化する		期間	年度	年度				
目	4	後期基本計画	66 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	141										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 自主防災組織等が行う訓練啓発や、資機材の購入に対し補助金を交付し、自主防災組織等の充実を図る。  <令和4年度の取組内容(計画)> 防災訓練・啓発事業補助金の交付。 防災資機材整備事業補助金の交付。	R3	8つの自主防災組織に補助金の交付を行った。	R3計画 2,670	1,135		1,000	535	
			当初予算 2,670	1,135		1,000	535	
			決算額 685	348			337	
	R4	自主防災組織等17団体に補助金の交付を行った。	R4計画 2,670	1,135		1,000	535	
			当初予算 2,670	1,006			1,664	
			決算額 1,292	449		700	143	
	R5		R5計画 2,670	1,135		1,000	535	
			当初予算 2,600	800		1,000	800	
			決算額					
	R6		R6計画 2,670	1,135		1,000	535	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 2,670	1,135		1,000	535	
			当初予算					
		決算額						
		R3 ~ R7 合計	計画額 13,350	5,675		5,000	2,675	
			当初予算 7,940	2,941		2,000	2,999	
			決算額 1,977	797		700	480	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 補助金申請件数	交付申請数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	6	団体	目標値	7	8	9	10	11
						実績値	8	17			
						% 達成率	114.3	212.5			
D 成果指標	1 新規自主防災組織結成数	新規に結成した自主防災組織数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	団体	目標値	3	3	3	3	3
						実績値	13	1			
						% 達成率	433.3	33.3			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	22点	22点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	2点	2点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
地域防災力の向上は必須であり、自主防災組織への直接的な助成はその活性化に非常に重要であることから継続する。	いつ・どこで発生するか分からない災害から地域を守るために、自助及び共助の精神を基に、自分の身や自分たちの地域は自分たちで守る意識を醸成することは必要不可欠であり、本事業の実施により、地域防災力の要となる自主防災組織の活性化に継続して取り組む必要があると考える。また、自主防災組織未結成自治区等に対しては、「自助」「共助」の必要性を丁寧に説明し、新たな自主防災組織の結成を推進していく。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
135001	4

(令和4年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和4年度決算) 事務事業評価調査

課局名	総務課	係名	防災対策係
-----	-----	----	-------

事業	災害に強いまちづくり推進事業	細事業	防災対策事業	実施計画事業	地震・津波等防災・減災対策推進事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	--------	--------	-------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (259)

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち
款	9	施策	8 防災対策の充実
項	1	施策展開	③災害対策を強化する
目	4	後期基本計画	66 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	141		

個別計画名	期間	年度	～	年度
	期間	年度	～	年度

令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
消耗品費	1,000

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 避難所等の消耗品、備品の充実を計る。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; 消耗品の購入。</p>	R3	避難所で使用する備蓄品の購入を行った。建替等で避難所表示板の無かった指定避難所表示板の作成を委託した。	R3計画 1,842	722			1,120
			当初予算 1,842	722			1,120
			決算額 1,097	375			722
	R4	備蓄計画に沿って避難所で必要な備蓄品の購入を行った。	R4計画 1,842	722			1,120
			当初予算 1,000	333			667
			決算額 628				628
	R5		R5計画 1,842	722			1,120
			当初予算 900	333			567
			決算額				
	R6		R6計画 1,842	722			1,120
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 1,842	722			1,120
			当初予算				
		決算額					
		R3～R7合計	計画額 9,210	3,610		5,600	
			当初予算 3,742	1,388		2,354	
			決算額 1,725	375		1,350	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 備蓄計画に沿った備蓄品の購入	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100			
					達成率	100	100			
D 成果指標	1 各避難所への配備	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100			
					達成率	100	100			

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF～I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
対象事業費の1/2～1/3の県補助金があること、備蓄計画に沿った備蓄品の購入は必要なので継続する。	大規模災害発生時の被災住民等の生活を確保するための物資や資材等の備蓄は市の責務(災害対策基本法第49条)であり、市民の生命に直結するという観点から、優先的かつ計画的に取り組むべき事業と考える。

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	災害に強いまちづくり推進事業	細事業	防災対策事業	実施計画事業	土砂災害ハザードマップ作成事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	--------	--------	-----------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	9	施策	8 防災対策の充実		期間	年度	年度			防災マップ等作成委託料	2,200
項	1	施策展開	②災害危険区域を整備する		期間	年度	年度				
目	4	後期基本計画	66 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当								
決算	141										

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<事業の目的> 大分県の土砂災害警戒地域調査により対象地域となった箇所について最新のハザードマップに反映し、住民への周知を図る。  <令和4年度の実績内容(計画)> 58箇所新規警戒地域を反映したハザードマップの作成を委託する。	R3	28区域の新規警戒地域を反映したハザードマップの作成を委託し完成したハザードマップを関係行政区に配布した。
	R4	新規の土砂災害警戒区域等58箇所をを反映したハザードマップを作成し、関係行政区へ配布し、HPに掲載した。
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	2,706	1,353			1,353
当初予算	2,706	1,353			1,353
決算額	2,508	1,875		550	83
R4計画	2,706	1,353			1,353
当初予算	2,200	1,650			550
決算額	2,200	1,650			550
R5計画	2,706	1,353			1,353
当初予算	1,650	1,237			413
決算額					
R6計画	2,706	1,353			1,353
当初予算					
決算額					
R7計画	2,706	1,353			1,353
当初予算					
決算額					
計画額	13,530	6,765			6,765
当初予算	6,556	4,240			2,316
決算額	4,708	3,525		550	633

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ハザードマップへの反映	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100			
					達成率	100	100			
D 成果指標	1 ハザードマップの作成・HPへの掲載	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100			
					達成率	100	100			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 市民への防災情報の提供、特に危険地域の情報提供は必須であり、国県の補助も充実していることから継続する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 大分県が実施する、土砂災害警戒地域調査を反映した「土砂災害ハザードマップ」を作成し、関係する行政区への配布や市HPの更新を行うことは、市民及び市内外関係機関(市関係部署、国、県、ライフライン関係企業等)に土砂災害危険箇所等をあらかじめ周知することや、災害予防と災害時における避難及びに救援等の対応を適切に行うことが出来ることから、継続して取り組むべき事業と考える。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	災害に強いまちづくり推進事業	細事業	避難所新型コロナウイルス対策推進事業	実施計画事業	避難所新型コロナウイルス対策推進事業	終了年度	R4
----	----------------	-----	--------------------	--------	--------------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	9	施策	8 防災対策の充実		期間	年度	～	年度			消耗品費	1,771
項	1	施策展開	③災害対策を強化する		期間	年度	～	年度				
目	4	後期基本計画	66 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	141											

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 市民が安心して避難所に来れるよう、また避難所での生活に支障を来さないよう避難所におけるコロナ対策の充実を図る。  <令和4年度の取組内容(計画)> 避難所におけるコロナ対策消耗品等の購入。	R3	避難所におけるコロナ対策消耗品等の購入を行った(パーティション、抗原検査キット)。	R3計画 8,910	8,455			455
			当初予算 8,910	8,455			455
			決算額 8,057	3,143			4,914
	R4	避難所用新型コロナウイルス抗原検査キットを1,000個購入した。	R4計画 1,771	1,200			571
			当初予算 1,771	1,200			571
			決算額 1,650	1,200			450
	R5		R5計画				
			当初予算 1,650			1,000	650
			決算額				
	R6		R6計画				
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画				
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 10,681	9,655			1,026
			当初予算 12,331	9,655		1,000	1,676
			決算額 9,707	4,343			5,364

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 コロナ対策備蓄品の購入	必要備蓄品の購入	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100		
						実績値	100	100		
						達成率	100	100		
D 成果指標	1 各避難所へのコロナ対策備蓄品の配備	必要備蓄品の配備	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100		
						実績値	100	100		
						達成率	100	100		

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 新型コロナウイルス感染症の5類移行により廃止。マスクや消毒液の購入等インフルエンザ等の感染症対策については一般事業(備蓄品の購入)で継続。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 新型コロナウイルスの感染法上の分類が5月8日から、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられたことに伴い本事業は廃止とする。 なお、令和5年度当初予算に計上した1,650千円については皆減補正を行う。
---	---

事業	教育振興事業	細事業	学校教育力向上対策事業	実施計画事業	学校教育力向上対策事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (322)													
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度 ~ R7年度 個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	10	施策	1 学校教育の充実						消耗品費	2,046			
項	1	施策展開	①教育内容を充実する						学級集団診断業務委託料	123			
目	3	後期基本計画	84	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	印刷製本費	118
決算	144										講師謝礼金	29	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 豊後大野市教育委員会から地域全体に情報の発信や研修、学校生活の生徒に対する調査等を行うことにより、管内の小中学校の教育力の向上を目指すことを目的として実施する事業  <令和4年度の取組内容(計画)> ・豊後大野市学校教育基本方針のグランドポスターの作成 ・中学校1年生に実施する学校生活における満足度や意欲等を質問紙により測定する学級集団診断の実施 ・小中学生(中学校3年生を除く)に実施する学力テストの実施 ・学校教育力向上のための研修 ・学校での児童生徒の生活、学力等の状況調査、分析を実施	R3	学校教育基本方針として、「主体的な自己実現」のできる子どもの育成(ヘパゴン教育)を推進しています。その中で「確かな学力の育成」を掲げ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行っています。調査の結果をもとに研修を深め、教職員の力量向上を行うとともに、ポスター作成など、子どもたちや保護者に対して、広報活動を行っています。	R3計画	270			270	
			当初予算	270			270	
			決算額	208			208	
	R4	・学校教育基本方針グランドポスターの作成 ・中学校1年生を対象とした学校生活における満足度や意欲等についての学級集団診断の実施 ・小中学生(中学校3年生を除く)を対象とした学力テストの実施 ・学校教育力向上のための研修 ・学校での児童生徒の生活、学力状況等の調査及び分析	R4計画	270			270	
			当初予算	2,318			342	1,976
			決算額	1,886			342	1,544
	R5		R5計画	270			270	
			当初予算	2,611			635	1,976
			決算額					
	R6		R6計画	270			270	
		当初予算						
		決算額						
R7		R7計画	270			270		
		当初予算						
		決算額						
		R3 ~ R7 合計	計画額	1,350			1,350	
			当初予算	5,199			1,247	3,952
			決算額	2,094			550	1,544

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 グランドポスターの作成	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1			
						% 達成率	100	100		
	2 学級集団診断の実施	回数(中学1年生に対して年1回の実施)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1
実績値						1	1			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標		1 学力の分析の実施率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値	100	100	100	100
	実績値					100	100			
	% 達成率					100	100			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		25点	25点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 教育委員会から地域に向けた情報発信や研修、学校生活に対する調査・分析や指導主事による学校教育力向上のための調査、研修、啓発等の取り組みは小中学校の教育力向上を目指すために継続した取組が必要であり、取組実績から達成できている。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 教育委員会から地域に向けた情報発信や研修、学校生活に対する調査・分析や指導主事による学校教育力向上のための調査、研修、啓発等の取り組みは小中学校の教育力向上を目指すために継続した取組が必要であり、取組実績から達成できたと評価する。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	教育振興事業	細事業	教育振興事業	実施計画事業	スクールソーシャルワーカー活用事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	-------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (333)												
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度 ~ R7年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	10	施策	1 学校教育の充実						会計年度任用職員報酬	8,049		
項	1	施策展開	②教育体制を充実する						社会保険料(会計年度任用職員分)	1,098		
目	3	後期基本計画	84	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>	会計年度任用職員共済組合負担金	262
決算	144									<input type="checkbox"/>	コロナ充当	費用弁償

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; いじめ、不登校、暴力行為など、児童生徒の問題行動等については、極めて憂慮すべき状況にあり、教育上の大きな課題である。その状況や背景には、児童生徒の心の問題とともに、家庭、友人関係、地域、学校等の児童生徒が置かれている環境の問題が複雑に絡み合っているものと推察される。このため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて、児童生徒がおかれた様々な環境へ働き掛け、関係機関等とのネットワークを活用して、問題を抱える児童生徒に支援を行う専門家であるスクールソーシャルワーカーを配置し、教育相談体制を整備する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 学校教育課に2名配置を行う。 (1)課題を抱える児童生徒がおかれた環境への働きかけ (2)関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整 (3)学校内におけるチーム体制の構築、支援 (4)保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供 (5)教職員等への研修活動 (6)人件費の支払い及び国庫補助請求の実施</p>	R3	不登校や、虐待、いじめ等問題を抱える、児童生徒、保護者の相談や、それに対応する教員に対して、相談や、助言を行い必要に応じて、関係機関と連携を行った。その他に、各学校にて研修会を実施し、教員の育成を実施した。 相談件数実績: 2227件	R3計画	9,300	4,534			4,766
	当初予算	9,300	4,534			4,766		
	決算額	9,307	4,651			4,656		
	R4	スクールソーシャルワーカー2名が常時、不登校、暴力行為、いじめ等の問題を抱える児童生徒及び保護者の相談やそれに対応する教員に対しての相談や助言を行った。また、必要に応じて関係機関と連携を図り、課題解決に向けた取組や相談体制の強化を行った。 この他に、各学校において研修会を実施した。 相談件数: のべ3,127件	R4計画	9,300	4,534			4,766
	当初予算	9,908	5,289			4,619		
	決算額	9,637	4,738			4,899		
	R5		R5計画	9,300	4,534			4,766
	当初予算	10,644	5,119			5,525		
	決算額							
	R6		R6計画	9,300	4,534			4,766
当初予算								
決算額								
R7		R7計画	9,300	4,534			4,766	
当初予算								
決算額								
R3 ~ R7 合計			計画額	46,500	22,670			23,830
			当初予算	29,852	14,942			14,910
			決算額	18,944	9,389			9,555

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 国庫補助を利用し、人材確保を行う	雇用人数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	2	人	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2	2			
						% 達成率	100	100			
2 -			<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					
D 成果指標	1 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100	100			
						% 達成率	100	100			
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	25点	5点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</b>	<b>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</b>
いじめ、不登校、暴力行為の児童生徒の問題行動等については極めて憂慮すべき状況にあり、教育上の大きな課題である。その状況や背景には、児童生徒の心の問題とともに、家庭、友人関係、地域、学校等の児童生徒が置かれている環境の問題が複雑に絡み合っているものと推察される。教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて、児童生徒がおかれた様々な環境へ働き掛け、関係機関等とのネットワークを活用して、問題を抱える児童生徒に支援を行う専門家であるスクールソーシャルワーカーを配置は不可欠である。実績については計画通りに配置できた。	いじめ、不登校、暴力行為の児童生徒の問題行動等については極めて憂慮すべき状況にあり、教育上の大きな課題である。その状況や背景には、児童生徒の心の問題とともに、家庭、友人関係、地域、学校等の児童生徒が置かれている環境の問題が複雑に絡み合っているものと推察される。教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて、児童生徒がおかれた様々な環境へ働き掛け、関係機関等とのネットワークを活用して、問題を抱える児童生徒に支援を行う専門家であるスクールソーシャルワーカーを配置は不可欠である。実績については計画通りに配置できたと評価する。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	教育振興事業	細事業	教育振興事業	実施計画事業	小中一貫コーディネーター活用事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (321)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計 期間 R3年度 ~ R7年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	10	施策	1 学校教育の充実	会計年度任用職員報酬					2,297
項	1	施策展開	①教育内容を充実する	社会保険料(会計年度任用職員分)					337
目	3	後期基本計画	84 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					期末手当
決算	144				期間	年度 ~ 年度	費用弁償(会計年度任用職員分)	120	

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 会計年度任用職員として小中一貫コーディネーターを採用し小中一貫校の設置を進めていく。 ・豊後大野市の将来を担う児童生徒の育成のため 小中一貫教育、郷土学を柱にした教育改革を推進する。 ・小中一貫教育を実施していくことで、地域に学校を残し持続可能な地方の創造を図る。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・市内小中学校の教職員、PTA、地域住民への説明会を通じて啓発活動を実施する。・CS(学校運営協議会)を各学校年5回実施する。 ・校舎建築、増改築、補修などの施設設備の充実に関する計画立案を進める。 ・特色ある学校づくりの実践に取り組む。 ・9年間を見通した教育目標、教育課程の作成、年間計画などの作成を促進する。・小中一貫教育に関わる教職員の業務内容の点検整理を行い働き方改革の一貫に資する。	R3	教職員はもとより保護者会での説明を2地区、自治会説明を3地区で実施し、一貫校への取り組みを啓発した。 その他にも郷土学に対しての学習資料の作成や、校舎建築に対するアンケート、9年間を見通した教育目標の作成等を実施しコーディネーターとして活動した。	R3計画 3,122				3,122
	当初予算	3,122				3,122	
	決算額	2,872				2,872	
	R4	小中一貫コーディネーター1名を配置し、各小中学校の保護者会や学校運営協議会で小中一貫教育について説明し、周知した。また、各学校の創意工夫した学習活動取材し、市報で紹介した。この他、郷土学や体験的学習が9年間を見通した学びとなり、地域と連携した取組となるよう、各学校の教育目標や教育内容の見直し支援をおこなった。	R4計画 3,122				3,122
	当初予算	3,120				3,120	
	決算額	3,034				3,034	
	R5		R5計画 3,122				3,122
	当初予算	2,838				2,838	
	決算額						
	R6		R6計画 3,122				3,122
当初予算							
決算額							
R7		R7計画 3,122				3,122	
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 15,610				15,610
			当初予算 9,080				9,080
			決算額 5,906				5,906

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 1 小中一貫コーディネーターの配置	会計年度任用職員の人数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		人	目標値	1	1	1	1	1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1			
					% 達成率	100	100			
C 2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
					% 達成率					
D 1 小中一貫校の設置	小中一貫校の数(累積ハード及びソフト含む)※基本計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画		校	目標値	1	2	4	5	7
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1	1			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	50			
D 2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		24点	24点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 小中一貫コーディネーターを採用し、基本計画の令和7年の7校設置に向け、継続して小中一貫校の設置を進めていく。 小中一貫コーディネーター活用事業は取組実績から達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 小中一貫コーディネーターを採用し、基本計画の令和7年の7校設置に向け、継続して小中一貫校の設置を進めていく必要がある。 小中一貫コーディネーター活用事業は取組実績から達成できたと評価する。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	教育振興事業	細事業	外国語指導助手事業	実施計画事業	外国語指導助手事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度	令和4年度主な歳出名称		当初予算額
款	10	施策	1 学校教育の充実			会計年度任用職員報酬(外国語指導助手)	14,540	
項	1	施策展開	①教育内容を充実する			社会保険料(会計年度任用職員分)	2,046	
目	3	後期基本計画	84 P			外国青年招致事業負担金	1,053	
決算	144					費用弁償	860	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; グローバル化が叫ばれる中、豊後大野市では、外国語を「英語」とし、小学校に導入しています。本市では、語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)により、通常4名の外国語指導助手(ALT)を配置しています。なお、財源は交付税措置があり、英語教育の推進を行います。</p> <p>&lt;令和4年度の実績内容(計画)&gt; 4名の外国語指導助手(ALT)を配置し、1人あたり3～5校を受持ち小中学生の生きた英語授業を行う。</p>	R3	4月当初は2名体制で行っているが、コロナの影響により新規ALTの来日が遅れていたが9月に2名来日となり、4名の体制となった。市内小中学校の英語授業の補助を行った。	R3計画 19,065				19,065	
				当初予算 19,065				19,065
				決算額 14,438				14,438
	R4	4名の外国語指導助手を配置し市内小中学校における英語授業の補助を行った。	R4計画 19,065				19,065	
				当初予算 19,002				19,002
				決算額 16,987				16,987
	R5		R5計画 19,065				19,065	
				当初予算 19,214				19,214
				決算額				
	R6		R6計画 19,065				19,065	
				当初予算				
				決算額				
	R7		R7計画 19,065				19,065	
				当初予算				
			決算額					
		R3～R7合計	計画額 95,325				95,325	
			当初予算 57,281				57,281	
			決算額 31,425				31,425	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 市内小中学校における英語授業補助のための人材確保 4名の配置	<input type="checkbox"/> 総合戦略		2	人	目標値	4	4	4	4	4
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	4	4			
						% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 「英語の授業が楽しい」と答える児童 アンケート等の実施による	<input type="checkbox"/> 総合計画		90	% 達成率	目標値	91	92	93	94	95
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	91.6	92.2			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	100.7	100.2			
	2 「英語の授業が楽しい」と答える生徒(1年生) アンケート等の実施による ※1年生	<input type="checkbox"/> 総合計画			% 達成率	目標値	67	69	71	73	75
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	81.9	78.6			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	122.2	113.9			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	22点	22点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)を活用して4名の外国語指導助手(ALT)を配置し、小中学校において英語を楽しく学ぶことができる環境を整えている。英語教育を推進する外国語指導助手事業は今後も継続した取り組みが必要であり、活動実績から見て達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)を活用して4名の外国語指導助手(ALT)を配置し、小中学校において英語を楽しく学ぶことができる環境を整えている。英語教育を推進する外国語指導助手事業は今後も継続した取り組みが必要であり、活動実績から見て達成できたと評価する。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	教育振興事業	細事業	特色ある学校づくり推進事業	実施計画事業	特色ある学校づくり推進事業	終了年度	なし
----	--------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (328)		第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度 ~ R7年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	特色ある学校づくり推進事業補助金	2,460
款	10	施策 1 学校教育の充実		
項	1	施策展開 ②教育体制を充実する		
目	3	後期基本計画 84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	144			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 平成25年度より開始した事業で、郷土学、小中一貫教育、学力向上、英語教育などをテーマとした取組を各学校が推進している。 ・学校を地域コミュニティの核として、地域一体で小中一貫教育の設置を進め、連結型小中一貫教育で培った「ふるさとを愛する子ども」に「将来もこのまちに住みたい」という心情を育み、「持続可能なまちづくり」につなげていくことを目指していく。 (各小中学校に対する補助事業)</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・郷土学では、コミュニティ・スクールをはじめとする地域の方々などの協力の下、ジオパークと関連付けたジオ学習や地域の伝統文化、地域の特色などについて学習し、「ふるさとのおお」を愛する子どもの育成を図る。 ・小中一貫教育では、小学校と中学校が共通の学校教育目標を設定し、義務教育9年間の指導の一貫性を確保していく。また、小・中学校合同の学校行事を計画的に進めることにより、児童・生徒の異年齢集団の日常的な交流活動を通して、豊かな心の醸成を図る。 ・特色ある学校づくりの発表の場として学校教育シンポジウムを開催することで、広く市民の方々に発信する。</p>	R3	各学校において、特色を作るため、それぞれの形で、取り組みを行った。郷土学については、コミュニティ・スクールをはじめとする地域の方々などの協力の下、ジオパークと関連付けたジオ学習や地域の伝統文化、地域の特色などについて学習し、また、農業体験や、地域に伝わる交流を行い推進した。小中一貫教育では、小学校と中学校が共通の学校教育目標を設定し、義務教育9年間の指導の一貫性を確保した。なお、結果については、コロナで実施できなかったシンポジウムを動画開催とし、ICT機器を利用した取り組みも展開した。	R3計画 2,460		2,400	60	
	当初予算	2,460		2,400	60		
	決算額	2,341		2,300	41		
	R4	各学校において特色ある学校づくりのためそれぞれの研究目標に沿った取り組みを行った。コミュニティ・スクールをはじめとする地域の方々のもと、タブレット端末を活用したジオ学習、地域の伝統文化の学習、農業体験等を実施した。小中一貫教育では小学校と中学校が共通の目標を設定し、義務教育9年間の指導の一貫性を確保した。取組内容は教育シンポジウムにおいて発表し、ICT機器を利用した取り組みを展開した。	R4計画 2,460		2,400	60	
	当初予算	2,460		2,400	60		
	決算額	2,390		2,300	90		
	R5		R5計画 2,460		2,400	60	
当初予算	2,460		2,460				
決算額							
R6		R6計画 2,460		2,400	60		
当初予算							
決算額							
R7		R7計画 2,460		2,400	60		
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 12,300		12,000	300	
			当初予算 7,380		7,260	120	
			決算額 4,731		4,600	131	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 特色ある学校づくりを実施 実施校	<input type="checkbox"/> 総合戦略	18	校	目標値	18	18	18	18	18	
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	18	18			
		%				達成率	100	100			
D 成果指標	1 補助事業実施率 実施率(実施学校数/全学校数)	<input type="checkbox"/> 総合計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	100	100			
		<input type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率	100	100		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値						
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
各学校において郷土学、小中一貫教育、学力向上、キャリア教育などを研究目標とした推進事業については活動実績から見て達成できた。今後は各学校の特色が魅力ある学校へと展開できるよう、実施内容の見直し等を行いながら継続した取り組みが必要である。	各学校において郷土学、小中一貫教育、学力向上、キャリア教育などを研究目標とした推進事業については活動実績から見て達成できた。今後は各学校の特色が魅力ある学校へと展開できるよう、実施内容の見直し等を行いながら継続した取り組みが必要である。

事業	教育振興事業	細事業	教育バス運行管理事業	実施計画事業	教育バス運行管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (323)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	1 学校教育の充実			会計年度任用職員報酬	707
項	1	施策展開	①教育内容を充実する			燃料費	584
目	3	後期基本計画	84 P			修繕料	540
決算	144					自動車等借上料	220

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 各学校における、社会見学や、市内外の文化財等の見学や、各学校間での交流のため、バスが必要となった際に、教育委員会が保有するバス2台の安全を確保し運行管理を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; バス2台の管理運営及び、運転手2名(再任職員及び会計年度任用職員(時給))の確保</p>	R3	バス2台の管理及び、運転手2名(再任職員及び会計年度任用職員(時給))の確保ができた。コロナ禍の中で、社会見学等計画が中止になる状況もあったが、バス2台の運用に関しては、児童・生徒の安全を確保しつつ運用ができた。	R3計画 2,213 当初予算 2,213 決算額 1,554				2,213	
	R4	バス2台の管理及び運転手2名を確保した。コロナ禍で校外活動等を中止する状況もあったが、バス2台の運行に関しては児童生徒の安全を確保した運行ができた。 稼働回数: 述べ216回	R4計画 2,213 当初予算 2,583 決算額 2,348				2,213	
	R5		R5計画 2,213 当初予算 3,176 決算額				2,213	
	R6		R6計画 2,213 当初予算 決算額				2,213	
	R7		R7計画 2,213 当初予算 決算額				2,213	
	R3 ~ R7 合計			計画額 11,065 当初予算 7,972 決算額 3,902				11,065

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 教育バス2台の確保し安全な運行を行う	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	台	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	2			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 児童・生徒等を乗せた安全な運行業務	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	2 教育課程の達成	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100			
					% 達成率	100	100			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 教育委員会保有のバス2台で安全確保に努めながら、各学校における社会見学や文化財の見学、各学校間の交流等の校外活動の際に利用する教育バス運行管理については、今後も必要な事業であり、活動実績からみて達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 教育委員会保有のバス2台で安全確保に努めながら、各学校における社会見学や文化財の見学、各学校間の交流等の校外活動の際に利用する教育バス運行管理については、今後も必要な事業であり、活動実績からみて達成できたと評価する。
--	--

事業	教育振興事業	細事業	キャリア教育推進事業	実施計画事業	キャリア教育推進事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------------	--------	------------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	10	施策	1 学校教育の充実							
項	1	施策展開	①教育内容を充実する							
目	3	後期基本計画	84 P					<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	144									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
<b>&lt;事業の目的&gt;</b> ①職業講話の実施を通して、職業に対する理解を深めるとともに望ましい職業観・勤労観を育成し、主体的に学びや活動に向かう児童・生徒を育成する ②「匠のWAZA」「ジオ学習」「社会見学」等、豊後大野市の人材を小中学校に派遣する体験的な「郷土学」の実施の推進を通して、豊後大野市の魅力発見を促し、将来的に豊後大野市を愛する児童生徒を育成する。  <b>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt;</b> 小中学校におけるキャリア教育の推進 (1)小中学校「職業講話」実施 (2)小学校「匠のWAZA」体験学習実施 (3)中学校「職場体験学習」推進 (4)小中学校の「郷土学」の推進	R3	小中学校におけるキャリア教育の推進 ○小中学校「職業講話」実施 ・小中学校高学年「職業講話」講師派遣/講師派遣:1校1人実施 ・中学校1年生「職業講話」講師派遣/講師派遣:2校1人実施 ○小学校「匠のWAZA」体験学習実施 講師派遣:5校15人の実施 対象児童・生徒については5校93人 ○中学校「職場体験学習」推進 6校で実施 ○小中学校の「郷土学」の推進 18小中学校全てで実施 ※コロナ禍により、3割程度の事業が実施できなかった。	R3計画	3,378			3,000	378	
				当初予算	3,378			3,000	378
				決算額	3,167			2,967	200
	R4	小中学校におけるキャリア教育の推進 ○小中学校「職業講話」 小学校高学年:3校実施、講師4人 中学校1年生:7校実施、講師延べ36人 ○小学校「匠のWAZA」体験学習 8校実施、講師延べ37人 ○中学校「職場体験学習」6校で実施 ○小中学校の「郷土学」全小中学校で実施	R4計画	3,378			3,000	378	
				当初予算	3,586			3,200	386
				決算額	3,331			3,100	231
	R5			R5計画	3,378			3,000	378
			当初予算	3,308			200	3,108	
			決算額						
R6			R6計画	3,378			3,000	378	
			当初予算						
			決算額						
R7			R7計画	3,378			3,000	378	
			当初予算						
			決算額						
		R3～R7合計	計画額	16,890			15,000	1,890	
			当初予算	10,272			6,400	3,872	
			決算額	6,498			6,067	431	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 職業関係学習実施校数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		校	目標値	18	18	18	18	18
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	13	16			
					%	達成率	72.2	88.9		
	2 郷土学実施校数	郷土学の実施校数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		校	目標値	18	18	18	18
<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値		18	18			
				%	達成率	100	100			
D 成果指標	1 小学校の授業や行事をキャリアの視点で見直しをしたか	<input type="checkbox"/> 総合計画	88.6	%	目標値	90	92.5	95	97.5	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	90.9	95.5		
			<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率	101	103.2		
	2 中学校の授業や行事をキャリアの視点で見直しをしたか	中学校で見直しを行った率	<input type="checkbox"/> 総合計画	96.4	%	目標値	90	92.5	95	97.5
<input type="checkbox"/> 総合戦略						実績値	89.3	89.3		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率	99.2	96.5			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</b> 児童生徒が将来、自分らしい生き方を実現するため、職業講話による仕事への理解を深め、「匠のWAZA」「ジオ学習」「社会見学」等、体験的な郷土学の実施により郷土愛を育み、将来的に豊後大野市を愛する機会となる事業である。新型コロナウイルスの影響により実施できない事業もあったが、各学校で継続して取り組みを進めており、活動実績からも各学年に応じたキャリア教育事業は今後も必要である。	<b>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</b> 児童生徒が将来、自分らしい生き方を実現するため、職業講話による仕事への理解を深め、「匠のWAZA」「ジオ学習」「社会見学」等、体験的な郷土学の実施により郷土愛を育み、将来的に豊後大野市を愛する機会となる事業である。新型コロナウイルスの影響により実施できない事業もあったが、各学校で継続して取り組みを進めており、活動実績からも各学年に応じたキャリア教育事業は今後も必要であると評価する。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	教育振興事業	細事業	キャリア教育推進事業	実施計画事業	郷土の先輩事業	終了年度	令和3年度
----	--------	-----	------------	--------	---------	------	-------

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度 ~ R7年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	1 学校教育の充実				
項	1	施策展開	①教育内容を充実する				
目	3	後期基本計画	84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	144						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; キャリア教育の取り組みの一部であり、キャリア教育で評価を行う。 ※事業内容が変わる可能性があるため</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; キャリア教育の取り組みの一部であり、キャリア教育で評価を行う。</p>	R3	実施日・対象 ※7中学校:計491名 7月6日(火) 清川中学校全校生徒、三重中学校3年生 7月12日(月) 大野中学校全校生徒、朝地中学校全校生徒、緒方中学校全校生徒 7月14日(水) 千歳中学校全校生徒、大岡中学校全校生徒	R3計画 225			200	25
			当初予算 225			200	25
			決算額 142			133	9
	R4	「郷土の先輩特別授業」の実施 対象:7中学校 415名 講師:3名	R4計画 225			200	25
			当初予算 226			200	26
			決算額 120			100	20
	R5		R5計画 225			200	25
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 225			200	25
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 225			200	25
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,125			1,000	125
			当初予算 451			400	51
			決算額 262			233	29

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 「郷土の先輩特別授業」の実施 中学校での講話(特別授業)の実施校数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	7	校	目標値	7	7	7	7	7
					実績値	7	7			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 生徒の評価 講話(特別授業)を聞いて将来について考えるきっかけとなったと答える率(アンケート)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値	60	60	60	60	60
					実績値	67	91			
					% 達成率	111.7	151.7			
E 評価対象外の理由	0 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

対象外事業は F~I 欄未記入可

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>郷土の先輩事業は市にゆかりがあり、活躍されている方を「生き方の先輩」として招へいし、子ども達が将来を考えるきっかけづくりや将来の夢に向かって取り組もうとする意欲づくりを醸成する事業であり、キャリア教育の一環として今後も継続した取り組みが必要である。また、生徒向けにおこなったアンケートの結果においても事業の効果が確認できる。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>郷土の先輩事業は市にゆかりがあり、活躍されている方を「生き方の先輩」として招へいし、子ども達が将来を考えるきっかけづくりや将来の夢に向かって取り組もうとする意欲づくりを醸成する事業であり、キャリア教育の一環として今後も継続した取り組みが必要であると評価する。また、生徒向けにおこなったアンケートの結果においても事業の効果が確認できる。</p>
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

課局名	学校教育課	係名	学校教育係
-----	-------	----	-------

事業	小中学校ICT環境整備事業	細事業	小中学校ICT環境整備事業	実施計画事業	小中学校ICT環境整備事業	終了年度	なし
----	---------------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

会計 一般		政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち		個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度	令和4年度主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	1 学校教育の充実					
項	1	施策展開	①教育内容を充実する					
目	3	後期基本計画	84 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	147				期間	年度	年度	

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; GIGAスクール構想をはじめとした各種補助事業を有効活用し、学校のICT環境の整備・充実を図り、情報化社会に適切に対応していくことのできる児童生徒の情報活用能力を育成する情報教育の充実を図る。また、課題の発見と解決に向けた主体的かつ協働的な学びを充実するとともに、児童生徒の情報活用能力を育成するために、ICTを活用した教育を推進する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ネットワーク環境の見直しや、複写機等の周辺機器の環境の整備を行う。また、ICT研修の実施、ソフトウェアを選定し各場面で活用を行い、さらなる情報教育の充実を図る。</p>	R3	GIGAスクール構想に基づき、市内の小中学校に対して、ICT教育に必要な授業支援や端末の整備及びICT機器の維持管理を実施した。 研修費(タブレット研修等)・学校教育ICT支援員業務委託料(1名:月16日勤務)指導者向けに端末を活用した授業支援や各種アプリの活用に関する研修を56回実施・ソフトウェア導入作業委託料・フィルタリングソフトの導入・活用器具費、教職員に対してタブレット端末等整備を実施 合計購入数237台	R3計画	20,795	6,000		14,795	
				当初予算	20,795	6,000		14,795
				決算額	19,312	11,100		8,212
	R4	GIGAスクール構想に基づき、小中学校に対してICT教育に必要な授業支援やICT機器の購入及び維持管理、ソフトウェアの導入等を実施した。 また、学校教育ICT支援員2名を配置し、指導者向けに端末を活用した授業支援や各種アプリの使用に関する研修を実施した。	R4計画	14,224			14,224	
				当初予算	42,412			42,412
				決算額	60,731			60,731
	R5		R5計画	14,224			14,224	
			当初予算	42,690			42,690	
			決算額					
R6		R6計画	14,224			14,224		
			当初予算					
			決算額					
R7		R7計画	14,224			14,224		
			当初予算					
			決算額					
		R3～R7合計	計画額	77,691	6,000		71,691	
			当初予算	105,897	6,000		99,897	
			決算額	80,043	11,100		68,943	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 各校でのICT研修実施 1校あたりのICT研修の実施回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		2	目標値	4	4	4	4	4
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	3.1	3			
					% 達成率	77.5	75			
D 成果指標	1 ICT機器を使って授業ができる教職員の割合 ICT機器を使って授業ができる教職員の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画		95	目標値	80	82	83	84	85
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	79.1	94.2			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	98.9	114.9			
2 高速大容量の通信ネットワークの整備 GIGA対応している普通教室・特別教室割合		<input type="checkbox"/> 総合計画		99	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	100	100			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	20点	4点	20点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
GIGAスクール構想に基づく学校のICT環境の整備・充実や情報化社会に適切に対応していくことのできる児童生徒の情報活用能力を育成する情報教育の充実、ICTを活用した教育を推進については今後も継続した取り組みは必須であり、事業の実績から見て達成できた。	GIGAスクール構想に基づく学校のICT環境の整備・充実や情報化社会に適切に対応していくことのできる児童生徒の情報活用能力を育成する情報教育の充実、ICTを活用した教育を推進については今後も継続した取り組みは必須であり、事業の実績から見て達成できた」と評価する。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	教育支援センター運営事業	細事業	教育支援センター運営事業	実施計画事業	学校教育指導員活用事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	--------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (333)				個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称 会計年度任用職員報酬 期末手当 費用弁償(会計年度任用職員分)	当初予算額 5,569 696 372
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち			
款	10	施策	1 学校教育の充実			
項	1	施策展開	②教育体制を充実する			
目	4	後期基本計画	84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	148			期間	年度 ~ 年度	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 教育支援センターかじか運営を円滑かつ効率的に行うために学校教育指導員を配置し、通所する子どもたちの学習や、生活に対して支援を実施する。また、教員や保護者に対しての相談活動を行い、包括的に不登校に対応していく。(資格不問、1日6時間勤務)</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 学校教育指導員が必要な教育支援センターかじかに対して、必要な人員配置を行う。 配置予定人数:5名</p>	R3	4名確保し教育支援センターかじかに通所する子どもたちの支援を行った。 ・学習活動 ・相談活動 ・体験学習等	R3計画 5,311 当初予算 5,311 決算額 4,964				5,311	
	R4	学校教育支援員5名を配置し、教育支援センターかじかに通所する子どもへの学習活動、相談活動、体験学習等の支援をした。	R4計画 5,311 当初予算 6,637 決算額 5,999				5,311	
	R5		R5計画 5,311 当初予算 6,979 決算額				5,311	
	R6		R6計画 5,311 当初予算 決算額				5,311	
	R7		R7計画 5,311 当初予算 決算額				5,311	
	R3 ~ R7 合計			計画額 26,555 当初予算 18,927 決算額 10,963				26,555 18,927 10,963

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 学校教育指導員の配置	雇用人数(適正人数の配置)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		3人	目標値	4	4	4	4	4
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4	5			
					% 達成率	100	125			
D 成果指標 1 通室児童生徒割合	かじか教室運営事業と同じ	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値	31	32	33	34	35
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	31	34.7			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	108.4			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 学校教育指導員を配置することにより、教育支援センターかじかの運営を円滑かつ効率的に行うことができるため、継続的な配置が必要である。事業は計画どおり実施できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 学校教育指導員を配置することにより、教育支援センターかじかの運営を円滑かつ効率的に行うことができるため、継続的な配置が必要である。事業は計画どおり実施できたと評価する。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	教育支援センター運営事業	細事業	教育支援センター運営事業	実施計画事業	かじか教室運営事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	--------------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (333)		会計 一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度	令和4年度 主な歳出名称 消耗品費 210 土地借上料 50 講師謝礼金 36 図書 25	当予算額
款	10	施策 1 学校教育の充実				
項	1	施策展開 ②教育体制を充実する				
目	4	後期基本計画 84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	148					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 不登校の小中学生に対する支援拡充を目的とした教育支援センターかじかの運営費 ①教育支援センター・・・不登校児童生徒の受け入れ、作業活動や体験活動の実施 ②不登校対策センター・・・市内の不登校児童生徒の把握、個別の対応策構築市教委との連携 ③相談支援センター・・・不登校児童生徒のカウンセリング、保護者や教職員からの相談 ④学習支援センター・・・個に応じた学習支援の実施、受験対策 ⑤教職員研修センター・・・いじめ不登校に関する研修実施  <令和4年度の取組内容(計画)> ・業務内容 教育相談(来所、電話相談) 家庭訪問 学校訪問 児童生徒のための開室日数 学習指導 調理実習 スポーン活動 校外学習	R3	・業務 教育相談(来所31人、電話相談97件) 家庭訪問317回 学校訪問29回 児童生徒のための開室日数177日 学習指導177日 調理実習11回 スポーン活動12回 校外学習7回等 ・不登校児童生徒数(うち通室生) 小学生28名(小学生10名) 中学生50名(中学生14名) ・支援を行った中で学校に登校できるようになった児童生徒数 小学生4名 中学生2名	R3計画	246			246
	当初予算	246			246		
	決算額	1,255			1,255		
	R4	教育相談(来所21回、電話相談95件) 家庭訪問134回、学校訪問22回、児童生徒のための開室日数174日、学習指導174日、調理実習14回、スポーン活動 12回、校外学習8回 ・不登校児童生徒数(うち通室生) 小学生19名(10名) 中学生53名(15名)	R4計画	246			246
	当初予算	321			321		
	決算額	1,110			1,110		
	R5		R5計画	246			246
当初予算	271			271			
決算額							
R6		R6計画	246			246	
当初予算							
決算額							
R7		R7計画	246			246	
当初予算							
決算額							
R3～R7合計			計画額	1,230			1,230
			当初予算	838			838
			決算額	2,365			2,365

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 アウトリーチ件数	家庭を訪問した件数	290	件	目標値	300	300	300	300	300
					実績値	317	184			
					達成率	105.7	61.3			
D 成果指標	1 通室児童割合	通室児童÷不登校児童生徒		%	目標値	35	36.5	38	39.5	41
					実績値	35.7	52.7			
					達成率	102	144.4			
D 成果指標	2 通室生徒割合	通室生徒÷不登校生徒		%	目標値	28	29	30	31	32
					実績値	28	28.3			
					達成率	100	97.6			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	24点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 不登校の児童生徒に対する支援を目的とした教育支援センターかじかの運営はニーズもあり、対応も多様化しているため、今後も継続した取り組みが必要である。コロナ禍で訪問件数は下がったが活動実績から見ておおむね達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 不登校の児童生徒に対する支援を目的とした教育支援センターかじかの運営はニーズもあり、対応も多様化しているため、今後も継続した取り組みが必要である。コロナ禍で訪問件数は下がったが活動実績から見ておおむね達成できたと評価する。
---	---

事業	教育支援センター運営事業	細事業	教育支援センター運営事業	実施計画事業	教育支援コーディネーター活用事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	--------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (333)											
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度 個別計画名 期間 年度～年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	10	施策	1 学校教育の充実						会計年度任用職員報酬	6,754	
項	1	施策展開	②教育体制を充実する						社会保険料(会計年度任用職員分)	1,009	
目	4		後期基本計画 84 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略		<input type="checkbox"/>	期末手当	845
決算	148								費用弁償(会計年度任用職員分)	360	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 教育支援センターかじか運営を円滑かつ効率的に行うために、教育支援コーディネーターを配置することにより、通所する子どもたちの学習や、生活に対して支援を実施する。また、教員や保護者に対しての相談活動を行い、包括的に不登校に対応していく。(資格有、週5日勤務)  <令和4年度の取組内容(計画)> 教育支援コーディネーターが必要な教育支援センターかじかに対して、必要な人員配置を行う。	R3	3名を確保し、通室生の支援のみならず、学校訪問等、アウトリーチを行った。	R3計画 9,363				9,363	
			当初予算	9,363				9,363
			決算額	8,828				8,828
	R4	教育支援コーディネーターを3名配置し、通室生の支援のみならず、学校訪問等、アウトリーチを行った。	R4計画 9,363				9,363	
			当初予算	9,218				9,218
			決算額	8,729				8,729
	R5		R5計画 9,363				9,363	
			当初予算	8,541				8,541
			決算額					
	R6		R6計画 9,363				9,363	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 9,363				9,363	
			当初予算					
		決算額						
R3～R7 合計			計画額 46,815				46,815	
			当初予算 27,122				27,122	
			決算額 17,557				17,557	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 教育支援コーディネーターの配置	雇用人数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	2 人	目標値	3	3	3	3	3
					実績値	3	3			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 通室児童生徒割合	かじか教室運営事業と同じ	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	%	目標値	31	32	33	34	35
					実績値	31	34.7			
					% 達成率	100	108.4			
E 評価対象外の理由	O 評価対象		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 教育支援コーディネーターを配置することにより、教育支援センターかじかの運営を円滑かつ効率的に行うことができる。今後も継続的な配置による、支援体制の確保や多様化する相談等にきめ細かな対応をしていくため、必要な事業である。活動実績からみて目標は達成できている。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 教育支援コーディネーターを配置することにより、教育支援センターかじかの運営を円滑かつ効率的に行うことができる。今後も継続的な配置による、支援体制の確保や多様化する相談等にきめ細かな対応をしていくため、必要な事業である。活動実績からみて目標は達成できたと評価する。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	小学校一般管理事業	細事業	小学校一般管理事業	実施計画事業	臨時講師活用事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (330)														
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度 個別計画名 期間 年度～年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額				
款	10	施策	1 学校教育の充実						会計年度任用職員報酬	20,000				
項	2	施策展開	②教育体制を充実する						社会保険料(会計年度任用職員分)	2,689				
目	1		後期基本計画	84	P	<input checked="" type="checkbox"/>	過疎計画		<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	期末手当	2,442
決算	149								費用弁償(会計年度任用職員分)	1,200				

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員の雇用。財源については過疎債を活用している。  <令和4年度の取組内容(計画)> 臨時講師が必要な豊後大野市内の公立小学校に対して、必要な人員配置を行う。 配置予定:三重第一小学校、新田小学校、大野小学校	R3	・配置人数(のべ人数) 菅尾小学校1人 百枝小学校1人(内時短1名) 三重第一小学校2人(内時短1名) 新田小学校2人(内時短2名) 新田小学校2人(内時短1名) 清川小学校0人 緒方小学校2人(内時短1名) 朝地小学校1人 大野小学校0人 千歳小学校2人(内時短2名) 大野小学校1人	R3計画 27,206	27,206	24,700		2,506
	当初予算	27,206	24,700		2,506		
	決算額	26,399	23,800		2,599		
	R4	・配置人数(のべ人数) 臨時講師:三重第一小1人、新田小1人、大野小1人 短時間講師:菅尾小1人、百枝小3人、三重東小1人、清川小1人、緒方小1人、千歳小1人、大飼小2人	R4計画 27,206	27,206	24,700		2,506
	当初予算	26,997	19,120		7,877		
	決算額	30,297	19,100		11,197		
	R5		R5計画 27,206	27,206	24,700		2,506
	当初予算	27,950	26,100		1,850		
	決算額						
	R6		R6計画 27,206	27,206	24,700		2,506
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 27,206	27,206	24,700		2,506
当初予算							
決算額							
R3～R7合計			計画額 136,030	136,030	123,500		12,530
			当初予算 82,153	82,153	69,920		12,233
			決算額 56,696	56,696	42,900		13,796

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 専門スタッフ等の適正配置 人数(実績値:のべ人数)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	10	人	目標値	14	13			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	14	13			
		% 達成率			100	100				
D 成果指標	1 教育課程の達成 文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	<input type="checkbox"/> 総合計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	100	100			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	25点	25点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員の雇用については、きめ細かな学習支援を行うために今後も必要である。実績については計画通りに配置できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員の雇用については、きめ細かな学習支援を行うために今後も必要である。実績については計画通りに配置できたと評価する。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	小学校一般管理事業	細事業	フッ化物洗口推進事業	実施計画事業	フッ化物洗口推進事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (324)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度 期間 年度～年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	1 学校教育の充実		消耗品費	543
項	2	施策展開	①教育内容を充実する		学校薬剤師報酬	178
目	1	後期基本計画	84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	149					

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 児童に対して、「むし歯0」をめざし、フッ化物洗口を行い、むし歯予防対策の強化を図る。なお、実施については、保護者の同意が必要となる。  <令和4年度の取組内容(計画)> 保護者に対して説明を行い、全小学校で1週間に1回フッ化物洗口液を用いてうがいを実施する。	R3	1週間に1回フッ化物洗口液を使用し、うがいをを行う。 小学校 1,311人 の実施 フッ化物洗口用消耗品の購入 11校 749千円(消耗品)	R3計画 978 当初予算 978 決算額 886				978	
	R4	1週間に1回フッ化物洗口液を使用し、うがいをを行う。 小学校11校:1,263人の実施 フッ化物洗口用消耗品の購入	R4計画 978 当初予算 721 決算額 531				978	
	R5		R5計画 978 当初予算 721 決算額				978	
	R6		R6計画 978 当初予算 決算額				978	
	R7		R7計画 978 当初予算 決算額				978	
	R3～R7合計			計画額 4,890 当初予算 2,420 決算額 1,417				4,890 2,420 1,417

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 実施率の向上	保護者に事業の説明を行い重要性を理解してもらい、実施児童の割合を増やす(保護者の同意が必要なため)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	90.2	%	目標値	91	92	93	94	95
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	90.4	90.7			
					達成率	99.3	98.6			
D 成果指標 1 虫歯の本数の減少	12歳児むし歯平均本数(前年度数値,小中成果同じ)	<input type="checkbox"/> 総合計画	1.7	本	目標値	1.6	1.4	1.2	1	0.9
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1.46	0.93			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			達成率	—	—			
2 —		<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	22点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
		22点	22点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 児童に対して「むし歯0」をめざし、フッ化物洗口を行うことで、むし歯予防対策の強化を図っており、むし歯本数も減り、効果が出ているため、今後も継続した取り組みが必要な事業である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 児童に対して「むし歯0」をめざし、フッ化物洗口を行うことで、むし歯予防対策の強化を図っており、むし歯本数も減り、効果が出ていると評価する。今後も継続した取り組みが必要な事業である。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	小学校教育振興事業	細事業	小学校教育振興事業	実施計画事業	小学校教育振興事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	1 学校教育の充実			消耗品費	10,028
項	2	施策展開	①教育内容を充実する			図書	3,259
目	2	後期基本計画	84 P			自動車等借上料	2,142
決算	151					教材備品	1,254

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 学校の運営の中で、主に教育に必要な教材備品や、消耗品、社会見学等のバス借り上げ等の教育を振興するための経常経費  <令和4年度の取組内容(計画)> 消耗品・教材備品の購入及びバス借り上げ等	R3	小学校の教育振興のため教材などの物品の購入等、教育活動の充実を実施 ・講師謝礼金(総合学習)・記念品代(新入学生、卒業生)・消耗品費(教科書、教材等)・通信運搬費(体験乗車)・借上料(バス、タクシー、土地)・教材備品・図書	R3計画 19,019			3,500	15,519	
			当初予算	19,019			3,500	15,519
			決算額	17,538			3,500	14,038
	R4	教育振興に必要な教材などの物品購入等、教育活動の充実の取り組み ・講師謝礼金(総合学習)・記念品代(新入学生、卒業生)・消耗品費(教科書、教材等)・通信運搬費(体験乗車)・借上料(バス、タクシー、土地)・教材備品・図書	R4計画 19,019			3,500	15,519	
			当初予算	17,880			3,200	14,680
			決算額	16,028			3,200	12,828
	R5		R5計画 19,019			3,500	15,519	
			当初予算	18,463			3,000	15,463
			決算額					
	R6		R6計画 19,019			3,500	15,519	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 19,019			3,500	15,519	
			当初予算					
		決算額						
R3～R7合計			計画額	95,095		17,500	77,595	
			当初予算	55,362		9,700	45,662	
			決算額	33,566		6,700	26,866	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 一般教材及び図書の整備 備品購入費(教材備品+図書)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	6,038	千円	目標値	4,823	4,475			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4,823	4,475			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 図書年間貸出冊数 児童一人当たり年平均※基本計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	168	冊	目標値	157	158	159	160	160
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	161	161			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	102.6	101.9			
2 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	<input type="checkbox"/> 総合計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	100	100			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	25点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 学校の運営の中で教育に必要な教材備品や消耗品、校外活動におけるバス借り上げ等の教育を振興する事業であり、今後も継続した取り組みが必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 学校の運営の中で教育に必要な教材備品や消耗品、校外活動におけるバス借り上げ等の教育を振興する事業であり、今後も継続した取り組みが必要であると評価する。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	小学校教育振興事業	細事業	理科教育設備等整備事業	実施計画事業	理科教育設備等整備事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (328)														
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度 期間 年度～年度	令和4年度主な歳出名称 教材備品	当初予算額 697				
款	10	施策	1 学校教育の充実											
項	2	施策展開	②教育体制を充実する											
目	2	後期基本計画	84	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>				総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	151													

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 学校における理科及び算数に関する教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、小学校に対して理科教育等を実施するための設備整備を実施する。なお、財源については、国庫補助金を活用する。  <令和4年度の実績内容(計画)> 各学校での整備計画により市内11小学校中、8校が理科備品の希望があったため新規及び更新を実施	R3	市内小学校9校、27品目の更新を実施	R3計画 1,009	504			505	
			当初予算 1,009	504			505	
			決算額 979	379			600	
	R4	小学校8校、25品の理科備品等を更新を実施	R4計画 1,009	504			505	
			当初予算 691	317			374	
			決算額 691	317			374	
	R5		R5計画 1,009	504			505	
			当初予算 864	432			432	
			決算額					
	R6		R6計画 1,009	504			505	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 1,009	504			505	
			当初予算					
		決算額						
R3～R7合計			計画額 5,045	2,520			2,525	
			当初予算 2,564	1,253			1,311	
			決算額 1,670	696			974	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 理科教育備品整備	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	35	セ	目標値	27	25			
					実績値	27	25			
					% 達成率	100	100			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 教育課程の達成	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100			
					% 達成率	100	100			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
			25点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 小学校における理科及び算数に関する教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づく国の補助事業を活用した理科教育教材の設備・整備を行っており、教育振興の充実が図られている。実績もあり、今後も継続的な取り組みが必要な事業である。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 小学校における理科及び算数に関する教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づく国の補助事業を活用した理科教育教材の設備・整備を行っており、教育振興の充実が図られている。実績もあり、今後も継続的な取り組みが必要な事業であると評価する。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	中学校一般管理事業	細事業	中学校一般管理事業	実施計画事業	臨時講師活用事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (330)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	1 学校教育の充実			会計年度任用職員報酬	6,775
項	3	施策展開	②教育体制を充実する			社会保険料(会計年度任用職員分)	1,009
目	1	後期基本計画	84 P			期末手当	844
決算	152		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			費用弁償(会計年度任用職員分)	360

A 事業目的・内容・実績

B 事業計画額・決算額等

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員の雇用。財源については過疎債を活用している。  <令和4年度の実績内容(計画)> 臨時講師が必要な豊後大野市内の公立中学校に対して、必要な人員配置を行う。 配置予定:清川中学校、犬飼中学校	R3	・配置人数(のべ人数) 三重中学校 1人(内時短1名) 清川中学校 1人 緒方中学校 0人 朝地中学校 1人 大野中学校 0人 犬飼中学校 1人	R3計画 9,316	8,500			816
	当初予算	9,316	8,500			816	
	決算額	10,227	9,300			927	
	R4	配置校:3校 三重中、清川中(2)、犬飼中	R4計画 9,316	8,500			816
	当初予算	9,238	8,700			538	
	決算額	8,479	7,400			1,079	
	R5		R5計画 9,316	8,500			816
	当初予算	9,544	8,900			644	
	決算額						
	R6		R6計画 9,316	8,500			816
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 9,316	8,500			816
	当初予算						
決算額							
R3～R7合計			計画額 46,580	42,500			4,080
			当初予算 28,098	26,100			1,998
			決算額 18,706	16,700			2,006

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 専門スタッフ等の適正配置 人数(実績値:のべ人数)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		4	人	目標値	4	4		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	4	4		
						% 達成率	100	100		
D 成果指標	1 教育課程の達成 文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	<input type="checkbox"/> 総合計画		100	%	目標値	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	100	100		
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	100	100		
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			%	目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画		% 達成率						

(対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

<b>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】</b> ※今後の事業の進め方等 普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員の雇用については、きめ細かな学習支援を行うために今後も必要である。雇用は計画通りに配置できた。	<b>H 【担当課長職等の所見】</b> ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員の雇用については、きめ細かな学習支援を行うために今後も必要である。雇用は計画通りに配置できたと同評価する。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	中学校一般管理事業	細事業	フッ化物洗口推進事業	実施計画事業	フッ化物洗口推進事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (324)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度	令和4年度 主な歳出名称 消耗品費 学校薬剤師報酬	当初予算額 260 77
款	10	施策	1 学校教育の充実			
項	3	施策展開	①教育内容を充実する			
目	1	後期基本計画	84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	152					

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	B 事業計画額・決算額等				
			事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 生徒に対して、「むし菌0」をめざし、フッ化物洗口を行い、むし菌予防対策の強化を図る。なお、実施については、保護者の同意が必要となる。  <令和4年度の取組内容(計画)> 保護者に対して説明を行い、全中学校で1週間に1回フッ化物洗口液を用いてうがいを実施する。	R3	1週間に1回フッ化物洗口液を用いてうがいを 行う。 中学校 531人 の実施 フッ化物洗口用消耗品の購入 7校 351千円(消耗品)	R3計画 477				477
	当初予算	477				477	
	決算額	396				396	
	R4	1週間に1回フッ化物洗口液を用いてうがいを 行う。 中学校 559人 の実施 フッ化物洗口用消耗品の購入 7校 293千円(消耗品)	R4計画 477				477
	当初予算	337				337	
	決算額	293				293	
	R5		R5計画 477				477
	当初予算	337				337	
	決算額						
	R6		R6計画 477				477
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 477				477
	当初予算						
決算額							
R3～R7合計			計画額 2,385				2,385
			当初予算 1,151				1,151
			決算額 689				689

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標 1 実施率の向上	保護者に事業の説明を行い重要性を理解してもらい、実施生徒の割合を増やす(保護者の同意が必要なため)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	75.3	%	目標値	76	77	78	79	80
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	68.3	73.9			
					達成率	89.9	96			
D 成果指標 1 虫歯の本数の減少	12歳児むし菌平均本数(前年度数値,小中成果同じ)	<input type="checkbox"/> 総合計画	1.7	本	目標値	1.6	1.4	1.2	1	0.9
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1.46	0.93			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			達成率	—	—			
2 —		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	5点
		19点	19点
		／25点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 生徒に対して「むし菌0」をめざし、フッ化物洗口を行うことで、むし菌予防対策の強化を図っており、感染症予防対策により実施回数等は予定より減ったが、むし菌本数も減り、効果が出ているため、今後も継続した取り組みが必要な事業である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 生徒に対して「むし菌0」をめざし、フッ化物洗口を行うことで、むし菌予防対策の強化を図っており、感染症予防対策により実施回数等は予定より減ったが、むし菌本数も減り、効果が出ていると評価する。今後も継続した取り組みが必要な事業である。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	中学校教育振興事業	細事業	中学校教育振興事業	実施計画事業	部活動指導員活用事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ ( 333 )											
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R 3 年度 ~ R 7 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	10	施策	1 学校教育の充実						会計年度任用職員報酬	336	
項	3	施策展開	②教育体制を充実する						費用弁償	30	
目	2	後期基本計画	84 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略		<input type="checkbox"/>	コロナ充当	
決算	154										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 部活動の質的向上及び教職員の負担軽減を図るため部活動指導員を会計年度任用職員とし雇用する(県補助金)  <令和4年度の取組内容(計画)> 部活動指導員が必要な豊後大野市内の公立中学校に対して、必要な人員配置を行う。 配置予定:犬飼中学校	R3	部活動の質的向上及び教職員の負担軽減を図るため部活動指導員を会計年度任用職員とし雇用了。 ・犬飼中学校、卓球部 1名 ・年間210時間(補助対象時間)	R3計画 366	224			142
			当初予算 366	224			142
			決算額 336	224			112
	R4	配置校:犬飼中学校 卓球部1名 指導時間:年間210時間	R4計画 366	224			142
			当初予算 366	224			142
			決算額 336	224			112
	R5		R5計画 366	224			142
			当初予算 366	224			142
			決算額				
	R6		R6計画 366	224			142
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 366	224			142
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,830	1,120			710
			当初予算 1,098	672			426
			決算額 672	448			224

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1	会計年度任用職員の採用 採用人数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	人	目標値	1	1		
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値	1	1		
		%				達成率	100	100		
D 成果指標 1	教員の子どもに向き合う時間の増加 月平均増加時間(目標:月平均15時間以上)	<input type="checkbox"/> 総合計画		15	時間	目標値	15	15	15	15
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	15	15		
		<input type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率	100	100	

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	25点	5点	25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 部活動指導員の活用事業については部活動の質的向上及び教職員の負担軽減を図ることができており、今後も継続した取り組みが必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 部活動指導員の活用事業については部活動の質的向上及び教職員の負担軽減を図ることができており、今後も継続した取り組みが必要であると評価する。
---	---

事業	中学校教育振興事業	細事業	中学校教育振興事業	実施計画事業	中学校教育振興事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	1 学校教育の充実			消耗品費	9,524
項	3	施策展開	①教育内容を充実する			図書	1,800
目	2	後期基本計画	84 P			自動車等借上料	865
決算	154					教材備品	800

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 学校の運営の中で、主に教育に必要な教材備品や、消耗品、社会見学等のバス借り上げ等教育、学習を振興する事業  <令和4年度の取組内容(計画)> 消耗品・教材備品の購入及びバス借り上げ等	R3	中学校の教育振興ため教材などの物品の購入等、教育活動の充実を実施した ・会計年度任用職員報酬(部活動指導員)・講師謝礼金(修学旅行、総合学習等)・記念品代(卒業生)・消耗品費(教科書、教材等)・通信運搬費(職業体験)・火災等保険料(職業体験)・借上料(バス、タクシー)・教材備品・図書・各種大会出場補助金(中体連、中文連主催の県大会以上の出場にかかる費用一式)	R3計画 32,059 当初予算 32,059 決算額 30,155			2,200	29,859	
	R4	中学校の教育振興ために必要な教材の購入等による教育活動の支援を実施 講師謝礼金(総合学習等)、記念品代(卒業生用)、消耗品費(教科書、教材等)、通信運搬費(職業体験)、火災等保険料(職業体験)、借上料(バス、タクシー)、教材備品・図書	R4計画 32,059 当初予算 13,862 決算額 12,441			2,200	29,859	
	R5		R5計画 32,059 当初予算 13,821 決算額			2,200	29,859	
	R6		R6計画 32,059 当初予算 決算額			2,200	29,859	
	R7		R7計画 32,059 当初予算 決算額			2,200	29,859	
	R3 ~ R7 合計			計画額 160,295 当初予算 59,742 決算額 42,596			11,000	149,295

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 一般教材及び図書の整備	備品購入費(教材備品+図書)	3,890	千円	目標値	2,743	2,762				
					実績値	2,743	2,762				
	2 -				%	達成率	100	100			
						目標値					
D 成果指標	1 図書年間貸出冊数	児童一人当たり年平均※基本計画	26	冊	目標値	31	32	33	34	35	
					実績値	30	24.2				
	2 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	100	%	達成率	96.8	75.6				
					目標値	100	100	100	100	100	
					100	100					
					100	100					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	25点	5点	25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 学校の運営の中で教育に必要な教材備品や消耗品、校外活動におけるバス借り上げ等の教育を振興する事業であり、今後も継続した取り組みが必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 学校の運営の中で教育に必要な教材備品や消耗品、校外活動におけるバス借り上げ等の教育を振興する事業であり、今後も継続した取り組みが必要であると評価する。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	中学校教育振興事業	細事業	理科教育設備等整備事業	実施計画事業	理科教育設備等整備事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (328)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	1 学校教育の充実				
項	3	施策展開	②教育体制を充実する				
目	2	後期基本計画	84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	154						

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<事業の目的> 学校における理科及び算数に関する教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、中学校に対して理科教育等を実施するための設備整備を実施する。なお、財源については、国庫補助金を活用する。  <令和4年度の取組内容(計画)> 各学校での整備計画により市内7中学校中、3校が理科備品の希望があったため新規及び更新を実施する。	R3	市内中学校3校、47品目の更新を実施
	R4	中学校3校、9品の理科備品等の更新を実施
	R5	
	R6	
	R7	
	R3～R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	1,203	601			602
当初予算	1,203	601			602
決算額	1,199	419			780
R4計画	1,203	601			602
当初予算	351	175			176
決算額	339	165			174
R5計画	1,203	601			602
当初予算	2,086	1,042			1,044
決算額					
R6計画	1,203	601			602
当初予算					
決算額					
R7計画	1,203	601			602
当初予算					
決算額					
計画額	6,015	3,005			3,010
当初予算	3,640	1,818			1,822
決算額	1,538	584			954

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 理科教育備品整備	整備数	32	セ	目標値	47	9			
					実績値	47	9			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100			
					% 達成率	100	100			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		25点	25点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 中学校における理科及び数学に関する教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づく国の補助事業を活用した理科教育教材の設備・整備を行っており、教育振興を充実できている。効果もあり、今後も継続的な取り組みが必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 中学校における理科及び数学に関する教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づく国の補助事業を活用した理科教育教材の設備・整備を行っており、教育振興の充実が図られている。効果もあり、今後も継続的な取り組みが必要であると評価する。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	幼稚園一般管理事業	細事業	幼稚園一般管理事業	実施計画事業	幼稚園教諭(会計年度)活用事業(地域子ども・子育て支援分)	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	-------------------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (332)				個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度 ~ R7年度 キラキラ子どもプラン 期間 R2年度 ~ R6年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち		会計年度任用職員報酬	5,920
款	10	施策	1 学校教育の充実		社会保険料(会計年度任用職員分)	921
項	4	施策展開	②教育体制を充実する		期末手当	740
目	1		後期基本計画 84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		費用弁償(会計年度任用職員分)	360
決算	155					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 1園につき幼稚園教諭3名体制で幼児教育に取り組んでいる。正規職員が2名の園については、会計年度任用職員を1名配置している。預かり保育に係る人件費については、国・県の補助金を活用している。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 幼稚園教諭が必要な豊後大野市内の公立幼稚園に対して、必要な人員配置を行う。配置予定:三重幼稚園、千歳幼稚園、東幼稚園</p>	R3	預かり保育の対応も含め、三重・おおのさくら・千歳幼稚園に会計年度任用職員を1名ずつ計3名配置した。	R3計画 8,473	2,214			6,259
			当初予算 8,473	2,214			6,259
			決算額 7,839	3,056			4,783
	R4	配置園:3園 三重幼、東幼、千歳幼(預かり保育含む)	R4計画 8,473	2,214			6,259
			当初予算 8,171	2,122		65	5,984
			決算額 7,716	2,074			5,642
	R5		R5計画 8,473	2,214			6,259
			当初予算 5,501	2,122		16	3,363
			決算額				
	R6		R6計画 8,473	2,214			6,259
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 8,473	2,214			6,259
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 42,365	11,070			31,295
			当初予算 22,145	6,458		81	15,606
			決算額 15,555	5,130			10,425

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 幼稚園教諭(会計年度任用職員)の配置	<input type="checkbox"/> 総合戦略	2	人	目標値	3	3				
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	3	3				
	% 達成率	100			100						
2 幼稚園型預かり保育実施数	必要に応じて実施(目標値なし)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	園	目標値							
		<input type="checkbox"/> 個別計画		実績値	4	4					
		% 達成率									
D 成果指標	1 教育課程の達成	<input type="checkbox"/> 総合計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	100	100				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100				
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値						
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率						

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
1園につき幼稚園教諭3名体制で幼児教育に取り組んでおり、正規職員が2名の園については会計年度任用職員を1名配置している。預かり保育のニーズもある中、体制整備や幼児教育の充実を図るためには継続した取り組みが必要である。	1園につき幼稚園教諭3名体制で幼児教育に取り組んでおり、正規職員が2名の園については会計年度任用職員を1名配置している。預かり保育のニーズもある中、体制整備や幼児教育の充実を図るためには継続した取り組みが必要であると評価する。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	青少年健全育成事業	細事業	子ども文化・芸能事業	実施計画事業	子ども文化・芸能事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	------------	--------	------------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額				
款	10	施策	2 生涯学習の推進	期間	R3 年度 ~ R7 年度	出演団体謝礼金	60				
項	5	施策展開	①生涯学習を推進する	期間	年度 ~ 年度	消耗品費	20				
目	1	後期基本計画	86 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	通信運搬費	5
決算	157										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 文化・郷土芸能の継承に取り組んでいる青少年団体に発表する機会を提供し、取組の励みとしてもらう。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 文化・郷土芸能の継承に取り組む青少年団体に発表の場を提供する。 ・子ども文化芸能大会1回予定(ふるさとまつりを予定) ・出演3団体予定</p>	R3	第11回ふるさとまつりメインステージにおいて発表の場を提供する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	R3計画 85			80	5
			当初予算 85			80	5
			決算額				
	R4	さまざまな発表の場で行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	R4計画 85			80	5
			当初予算 85			80	5
			決算額				
	R5		R5計画 85			80	5
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 85			80	5
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 85			80	5
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 425			400	25
			当初予算 170			160	10
			決算額				

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 出演依頼団体数 出演を依頼する団体数 ※令和4年実績値0はコロナ禍で中止したため	<input type="checkbox"/> 総合戦略		団体	目標値	3	3	3	3	3
		<input type="checkbox"/> 個別計画		実績値						
		% 達成率								
2 開催回数	開催回数 ※令和3年実績値0はコロナ禍で中止したため	<input type="checkbox"/> 総合戦略		回	目標値	1	1	1	1	1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		実績値						
		% 達成率								
D 成果指標	1 出演団体数 出演する団体数 ※令和3年実績値0はコロナ禍で中止したため	<input type="checkbox"/> 総合計画		団体	目標値	3	3	3	3	3
		<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画		% 達成率						
2 出演人数	出演する人数 ※令和3年実績値0はコロナ禍で中止したため	<input type="checkbox"/> 総合計画		人	目標値	30	30	30	30	30
		<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画		% 達成率						

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		18点	18点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 文化・郷土芸能の継承に取り組んでいる青少年団体に発表する機会を提供し、取組の励みとしてもらう。については、コロナ禍により実施できなかった。 ※令和2年度~4年度	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 コロナ禍により、伝統芸能を発表する場を確保することができなかった。発表の場の確保ができない場合は、DVD等に活動内容を収録し、学校に配布するなどの工夫が必要である。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	青少年健全育成事業	細事業	放課後子ども教室事業	実施計画事業	放課後子ども教室事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (345)															
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額					
款	10	施策	2 生涯学習の推進						校区コーディネーター謝礼金	3,675					
項	5	施策展開	①生涯学習を推進する						放課後チャレンジ教室委託料	780					
目	1		後期基本計画	86	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画		<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>	協力者謝礼金	360
決算	157													消耗品費	250

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 小学生を対象に、放課後の安心・安全な活動場所(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、創作活動や地域学習とともに宿題の見守り等に取り組み、心豊かな子どもの育成を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 学校と地域の力をマッチングさせる協育コーディネーターを小学校区単位に配置 ・三重町小学校5校区にコーディネーター配置 ・その他6つの小学校区の各公民館に委託 ・協力者を募集 ・放課後子ども教室では学習の見守りと各種体験活動を行う。(工作、茶道、読み聞かせ、科学実験、太鼓体験、郷土学習、座禅、軽スポーツ等)</p>	R3	地域の方々と交流しながら、子どもの実体験を育むため県補助事業を活用し、市内全小学校児童を対象に、工作教室、環境学習、絵手紙、郷土料理、陶芸教室、大正琴、ジャズ学習、安全講話等のチャレンジ活動と宿題の見守り等、年間287回の学級を開催した。(登録児童:274名)	R3計画	5,105	953	3,600	552	
	当初予算	5,105	953	3,600	552			
	決算額	4,632	681	3,600	351			
	R4	地域の方々と交流しながら、子どもの実体験を育むため県補助事業を活用し、市内全小学校児童を対象に、工作教室、環境学習、絵手紙、郷土料理、陶芸教室、大正琴、ジャズ学習、安全講話等のチャレンジ活動と宿題の見守り等、各教室40回程度の学級を開催した。(登録児童:267名)	R4計画	5,105	953	3,600	552	
	当初予算	5,105	953	3,600	552			
	決算額	4,767	792	3,000	975			
	R5		R5計画	5,105	953	3,600	552	
	当初予算							
	決算額							
	R6		R6計画	5,105	953	3,600	552	
	当初予算							
	決算額							
	R7		R7計画	5,105	953	3,600	552	
	当初予算							
決算額								
R3 ~ R7 合計			計画額	25,525	4,765	18,000	2,760	
			当初予算	10,210	1,906	7,200	1,104	
			決算額	9,399	1,473	6,600	1,326	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 実施対象校区数 放課後子ども教室を実施する校区数(市内全校区数:11)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	11	校区	目標値	11	11	11	11	11
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	11	11			
		% 達成率			100	100				
2 登録人数	放課後子ども教室 対象児童登録人数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	279	人	目標値	300	300	300	300	300
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	274	267			
		% 達成率			91.3	89				
D 成果指標	1 開催回数 開催回数(延べ回数) ※放課後開催・土曜日開催の合計	<input type="checkbox"/> 総合計画	246	回	目標値	300	495	495	495	495
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	287	379			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	95.7	76.6			
2 参加人数	参加人数(延べ人数) ※放課後開催・土曜日開催の合計	<input type="checkbox"/> 総合計画	4,237	人	目標値	8,000	13,000	13,000	13,000	13,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	7,151	7,926			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	89.4	61			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	23点	23点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 小学生を対象に、放課後の安心・安全な活動場所(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、創作活動や地域学習とともに宿題の見守り等に取り組み、心豊かな子どもの育成を図る。については、実績から見て達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 児童の放課後の安心・安全な活動場所(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、さまざまな体験活動を通じ「生きる力」の醸成を図ることができた。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	青少年健全育成事業	細事業	二十歳を祝う会	実施計画事業	二十歳を祝う会	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	---------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額						
款	10	施策	2 生涯学習の推進	期間	R3 年度 ~ R7 年度	記念品代	330						
項	5	施策展開	①生涯学習を推進する	期間	年度 ~ 年度	消耗品費	126						
目	1	後期基本計画	86 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>	二十歳を祝う会実行委員会委員謝礼金	70	
決算	157											二十歳を祝う会ビデオレター編集委託料	55

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 新成人の新しい門出を祝福するとともに、新成人が成人としての義務と責任を自覚し、郷土への誇りと愛情を再確認する場を提供する。</p> <p>※令和4年度から「二十歳を祝う会」へ名称変更</p> <p>&lt;令和4年度の実行内容(計画)&gt; 新成人の中から実行委員を募集し、企画・運営に関して実行委員会形式での成人式を実施する。</p>	R3	※令和4年度から「二十歳を祝う会」へ	R3計画 606			600	6
			当初予算 606			600	6
			決算額 530			500	30
	R4	※令和4年度から「二十歳を祝う会」へ ・令和5年1月8日(日)実行委員会形式で開催 ・対象者265名、当日参加者207名	R4計画 606			600	6
			当初予算 611			600	11
			決算額 504				504
	R5		R5計画 606			600	6
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 606			600	6
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 606			600	6
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 3,030			3,000	30
			当初予算 1,217			1,200	17
			決算額 1,034			500	534

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1			
					% 達成率	100	100			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 参加人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値		265	265	265	265
					実績値		207			
					% 達成率		78.1			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	25点	5点	25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 新成人の新しい門出を祝福するとともに、新成人が成人としての義務と責任を自覚し、郷土への誇りと愛情を再確認する場を提供する。については達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 令和4年4月施行の民法改正による成人年齢の引き下げに関して、学校教育課及び三重総合高校と連携し成人としての認識を醸成するよう努めること。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	青少年健全育成事業	細事業	中学校国際交流事業	実施計画事業	中学校国際交流事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画	令和4年度主な歳出名称	当初予算額		
款	10	施策	2 生涯学習の推進	期間	R3 年度 ~ R7 年度	国際交流補助金	1,800		
項	5	施策展開	①生涯学習を推進する	期間	年度 ~ 年度				
目	1	後期基本計画	86 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	157								

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 市内の中学2年生～3年生を海外(韓国/プサン広域市機長郡長安中学校)へ派遣し、現地でのホームステイによる文化交流を通して、異文化への興味・関心を高めるとともに、国際感覚の豊かな人材を育成する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 市内中学2年生～3年生20名(最低15名)による訪韓ホームステイ及び韓国・長安中学校パートナーによる来日ホームステイ</p>	R3	市内の中学2・3年生を海外に派遣し、現地でのホームステイによる文化交流を通して、異文化への興味・関心を高めるとともに、国際感覚の豊かな人材を育成する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	R3計画 1,800			1,800	
	当初予算	1,800			1,800		
	決算額						
	R4	市内の中学2・3年生を海外に派遣し、現地でのホームステイによる文化交流を通して、異文化への興味・関心を高めるとともに、国際感覚の豊かな人材を育成する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	R4計画 1,800			1,800	
	当初予算	1,800			1,800		
	決算額						
	R5		R5計画 1,800			1,800	
	当初予算						
	決算額						
	R6		R6計画 1,800			1,800	
当初予算							
決算額							
R7		R7計画 1,800			1,800		
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 9,000			9,000	
			当初予算 3,600			3,600	
			決算額				

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 派遣回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値					
	2 受入回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値					
D 成果指標	1 訪韓人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	20	20	20	20	20
					実績値					
	2 来日人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	20	20	20	20	20
					実績値					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		19点	19点
		／25点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市内の中学2年生～3年生を海外(韓国/プサン広域市機長郡長安中学校)へ派遣し、現地でのホームステイによる文化交流を通して、異文化への興味・関心を高めるとともに、国際感覚の豊かな人材を育成することを目的とする。については、コロナ禍により実施できなかった。 ※令和2年度～4年度	令和2年度、3年度は、4年度は、交流先の韓国プサン広域市機長郡長安中学校と協議した結果コロナ禍により実施できなかった。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	青少年健全育成事業	細事業	青少年健全育成大会事業	実施計画事業	青少年健全育成大会事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ (343)															
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額					
款	10	施策	2 生涯学習の推進						記念品代	79					
項	5	施策展開	①生涯学習を推進する						協力者謝礼金	70					
目	1		後期基本計画	86	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画		<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>	講師謝礼金	30
決算	157													青少年育成市民会議委員謝礼金	22

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 豊後大野市の児童・生徒の健やかな成長を願い、学校・家庭・地域が連携して、活力と実行力のある青少年健全育成活動へと発展させることを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; おおいた教育の日(11月1日)関連行事として、「豊後大野市次代を担う豊後大野っ子を育てる市民のつどい」を開催する。(主催:豊後大野市青少年健全育成市民会議)</p>	R3	11月6日(土)、エイトピアで約286名の参加により、「豊後大野市次代を担う『豊後大野っ子』を育てる市民のつどい」を開催した。 「第24回ことばの森フェスタ」の作品発表、表彰。講演「笑って前向きに! ~ 素敵な大人の背中を見せましょう~」講師 (ボフィス星野トーン高知校) 中山 まさとも氏による講演を実施した。	R3計画 258 当初予算 258 決算額 280			200	58	
	R4	11月5日(土)、エイトピアで約229名の参加により、「豊後大野市次代を担う『豊後大野っ子』を育てる市民のつどい」を開催した。 「第25回ことばの森フェスタ」の作品発表、表彰。講演「幸せに生きる力を育むために~自由教育から見つめる子どもの人権~」講師 シンガーソングライター U t a さんによる講演を実施した。	R4計画 258 当初予算 258 決算額 224			200	58	
	R5		R5計画 258 当初予算 決算額			200	58	
	R6		R6計画 258 当初予算 決算額			200	58	
	R7		R7計画 258 当初予算 決算額			200	58	
	R3 ~ R7 合計			計画額 1,290 当初予算 516 決算額 504			1,000	290

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 参加人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	254	人	目標値	268	268	268	268	268
					実績値	286	229			
					% 達成率	106.7	85.5			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	23点	5点	25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 豊後大野市の児童・生徒の健やかな成長を願い、学校・家庭・地域が連携して、活力と実行力のある青少年健全育成活動へと発展させることを目的とする。については、実績から見て達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 青少年健全育成市民会議と連携した子どもたちの安心・安全な見守り及び「次代を担う豊後大野っ子を育てる市民のつどい」を開催し、家庭協働力の向上を図ることができた。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	社会教育総務事業	細事業	社会教育総務事業	実施計画事業	P T A 連合会補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	---------------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	2 生涯学習の推進				
項	5	施策展開	①生涯学習を推進する				
目	1	後期基本計画	86 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	158						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 市PTA連合会が行う、児童・生徒の健全育成と福祉の推進、生涯学習実現のための研修及び実践活動、もって家庭教育力を高め、学校教育や地域・関係機関等の連携を図る団体活動の助成のため、補助金を交付する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 豊後大野市社会教育等団体活動補助金 交付先:市PTA連合会 交付金額:543,000円 (参考)市PTA連合会 R4年度行事予定 ・市定期総会・市防煙・薬物防止教室 ・県P連理事会(6回)・市P役員会(6回) ・市P常任委員会(3回)・市内P会長研修会 ・三重総合高校との意見交換会 ・差別をなくす市民のつどい ・県P・九P・日P研究大会 ・市・市教委との要望に係る意見交換会 ・親善ベタング大会・PTA指導者研修会 ・「おおいた教育の日」推進大会 ・県P教育問題懇談会・豊後大野っつどい ・その他</p>	R3	豊後大野市社会教育等団体活動補助金 交付先:市PTA連合会、交付金額:543,000円(参考)市PTA連合会 R3年度行事予定・市P定期総会・市防煙・薬物防止教室・県P連理事会(6回)・市P役員会(6回)・市P常任委員会(3回)・市内P会長研修会・三重総合高校との意見交換会・差別をなくす市民のつどい・県P・九P・日P研究大会・市・市教委との要望に係る意見交換会・親善ベタング大会・PTA指導者研修会・「おおいた教育の日」推進大会・県P教育問題懇談会・豊後大野っつどい・その他	R3計画	543				543
	当初予算	543					543	
	決算額	543						543
	R4	豊後大野市社会教育等団体活動補助金 交付先:市PTA連合会、交付金額:543,000円(参考)市PTA連合会 R4年度行事予定・市P定期総会・市防煙・薬物防止教室・県P連理事会(6回)・市P役員会(6回)・市P常任委員会(3回)・市内P会長研修会・三重総合高校との意見交換会・差別をなくす市民のつどい・県P・九P・日P研究大会・市・市教委との要望に係る意見交換会・親善ベタング大会・PTA指導者研修会・「おおいた教育の日」推進大会・県P教育問題懇談会・豊後大野っつどい・その他	R4計画	543				543
	当初予算	543						543
	決算額	543						543
	R5		R5計画	543				543
	当初予算							
	決算額							
	R6		R6計画	543				543
当初予算								
決算額								
R7		R7計画	543				543	
当初予算								
決算額								
R3 ~ R7 合計			計画額	2,715				2,715
			当初予算	1,086				1,086
			決算額	1,086				1,086

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 市PTA連合会への補助	補助金額	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	543	千円	目標値	543	543	543	543	543
						実績値	543	543			
						達成率	100	100			
D 成果指標	1 主催イベント回数	PTA連合会が行うイベントの回数(諸会議・研修会・その他)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	25	回	目標値	20	20	20	20	20
						実績値	17	20			
						達成率	85	100			
D 成果指標	2 参加イベント回数	PTA連合会が参加するイベントの回数(市P連合主催イベントは除く)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	111	回	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	91	95			
						達成率	91	95			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	24点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	4点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市PTA連合会が行う、児童・生徒の健全育成と福祉の推進、生涯学習実現のための研修及び実践活動、もって家庭教育力を高め、学校教育や地域・関係機関等の連携を図る団体活動の助成のため、補助金を交付する。については、実績から見て達成できた。	社会教育関係団体として、家庭教育をはじめさまざまな学びの場を創出し、青少年の健全育成を図っている。補助金も適正に交付している。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	社会教育総務事業	細事業	社会教育総務事業	実施計画事業	女性団体等活動費補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	--------------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	2 生涯学習の推進				
項	5	施策展開	①生涯学習を推進する				
目	1	後期基本計画	86 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	158						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 市内女性団体が、家庭生活ならびに地域社会の発展のために行う、学習活動や実践活動を助成するために補助金を交付する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 豊後大野市社会教育等団体活動補助金 交付先:市地域婦人団体連合会 交付金額:300,000円 (参考)地域婦人団体連絡協議会 R4年度行事予定 ・定期総会 ・理事会(7回) ・県婦連行事参加(3回) ・九州地区地域婦人大会(全国大会)参加 ・各種研修参加 ・交通安全運動(4回) ・ごみ空き缶拾い ・その他</p>	R3	豊後大野市社会教育等団体活動補助金 交付先:市地域婦人団体連合会, 交付金額:147,000円(参考)地域婦人団体連絡協議会 R3年度行事予定・定期総会・理事会(7回)・県婦連行事参加(3回) ・九州地区地域婦人大会(全国大会)参加 ・各種研修参加・交通安全運動(4回) ・ごみ空き缶拾い・その他	R3計画 300 当初予算 300 決算額 147				300	
	R4	豊後大野市社会教育等団体活動補助金 交付先:市地域婦人団体連合会, 交付金額:144,000円(参考)地域婦人団体連絡協議会 R4年度行事予定・定期総会・理事会(7回)・県婦連行事参加(3回) ・九州地区地域婦人大会(全国大会)参加 ・各種研修参加・交通安全運動(4回) ・ごみ空き缶拾い・その他	R4計画 300 当初予算 300 決算額 144				300	
	R5		R5計画 300 当初予算 決算額				300	
	R6		R6計画 300 当初予算 決算額				300	
	R7		R7計画 300 当初予算 決算額				300	
	R3 ~ R7 合計			計画額 1,500 当初予算 600 決算額 291				1,500 600 291

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 女性団体への補助	補助金額	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	129	千円	目標値	150	300	300	300	300
						実績値	147	144			
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率	98	48			
						目標値					
D 成果指標	1 主催イベント回数	女性団体が行うイベントの回数(諸会議・研修会・その他)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	6	回	目標値	4	4	4	4	4
						実績値	3	3			
	2 参加イベント回数	女性団体が参加するイベントの回数(主催イベントを除く)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	19	回	目標値	8	8	8	8	8
						実績値	8	8			
					%	達成率	100	100			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	24点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 市内女性団体が、家庭生活ならびに地域社会の発展のために行う、学習活動や実践活動を助成するために補助金を交付する。については、実績から見て達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 三重町、千歳町、大飼町の婦人会から構成する婦人団体連合会に対し、青少年の健全育成や子どもの見守りなど、社会教育関係団体としての活動を積極的に実施した。補助金の交付も適正に行なった。
---	--

事業	公民館管理運営事業	細事業	公民館運営事業	実施計画事業	公民館運営事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	---------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画	令和4年度主な歳出名称	当初予算額				
款	10	施策	2 生涯学習の推進	期間	R3 年度 ~ R7 年度	公民館運営審議会委員報酬	180				
項	5	施策展開	②公民館機能を充実する	期間	年度 ~ 年度	費用弁償	140				
目	2	後期基本計画	86 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	大分県公民館連合会負担金	90
決算	159	普通旅費								34	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 公民館を市民の生涯学習拠点として、また利用しやすい貸館としての運用に努めることを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ・公民館における各種事業の企画実施について調査審議するため公民館運営審議会委員を13名配置する。 ・市内外の社会教育施設や関係機関、関係団体と連携を取りながら、様々な課題に対応した学習内容の充実を図る。</p>	R3	・公民館における各種事業の企画実施について調査審議するため公民館運営審議会委員を13名配置した。 ・市内外の社会教育施設や関係機関、関係団体と連携を取りながら、様々な課題に対応した学習内容の充実を図った。	R3計画 474				474
			当初予算 474				474
			決算額 101				101
	R4	・公民館における各種事業の企画実施について調査審議するため公民館運営審議会委員を13名配置した。 ・市内外の社会教育施設や関係機関、関係団体と連携を取りながら、様々な課題に対応した学習内容の充実を図った。	R4計画 474				474
			当初予算 474				474
			決算額 136				136
	R5		R5計画 474				474
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 474				474
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 474				474
			当初予算				
		決算額					
		計画額 2,370				2,370	
		当初予算 948				948	
		決算額 237				237	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 公民館運営審議会委員数	公民館運営審議会委員の人数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	13	人	目標値	13	13	13	13	13
						実績値	13	13			
						% 達成率	100	100			
2 公民館運営審議会開催回数	公民館運営審議会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	回	目標値	2	2	2	2	2	
					実績値	2	2				
					% 達成率	100	100				
D 成果指標	1 公民館関係職員研修参加回数	公民館関係職員(公民館運営審議会委員・指定管理者職員・担当職員等)の研修参加回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	6	回	目標値	3	3	3	3	3
						実績値	2	2			
						% 達成率	66.7	66.7			
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画								

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		23点	24点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
公民館を市民の生涯学習拠点として、また利用しやすい貸館としての運用に努めることを目的とする。については、実績から見て達成できた。	コロナ禍であったが、まなびの機会を確保することができていた。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	公民館管理運営事業	細事業	自治公民館整備支援事業	実施計画事業	自治公民館整備支援事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (349)													
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	10	施策	2 生涯学習の推進						自治公民館建設・改修補助金	3,000			
項	5	施策展開	②公民館機能を充実する										
目	2		後期基本計画	86	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画		<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	159												

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 自治公民館を地域住民が集い、学ぶ拠点として活用するとともに、そこでの生涯学習活動を促進するため、自治公民館の新築や改修などの環境整備に対して補助を行う。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 各自治公民館の新築・改修経費に対し補助を行う。 ※R4年度は新築1件あり(三重町下玉田区)</p>	R3	各自治公民館の新築・改修にかかる補助(補助率:20%) 【改修】6件 ・緒方町上瀬田区 ・緒方町野仲区 ・大野町沢田区 ・緒方町草深野区 ・三重町中小坂区 ・三重町前内田区 【新築】1件 ・緒方町上自区	R3計画 6,000 当初予算 6,000 決算額 3,635				6,000 6,000 3,635	
	R4	各自治公民館の新築・改修にかかる補助(補助率:20%) 【改修】3件 ・三重町深田区 ・犬飼町栗ヶ畑区 ・三重町市場一区 【新築】1件 ・三重町下玉田区	R4計画 3,000 当初予算 3,000 決算額 2,054				3,000 3,000 2,054	
	R5		R5計画 3,000 当初予算 決算額				3,000	
	R6		R6計画 3,000 当初予算 決算額				3,000	
	R7		R7計画 3,000 当初予算 決算額				3,000	
	R3 ~ R7 合計			計画額 18,000 当初予算 9,000 決算額 5,689				18,000 9,000 5,689

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 自治公民館整備支援事業周知回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	7	回	目標値	7	7	7	7	7
					実績値	7	7			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 補助金交付率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100			
					% 達成率	100	100			
2 補助金交付金額	補助金交付金額	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,562	千円	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
					実績値	3,635	2,054			
					% 達成率	121.2	68.5			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		23点	23点
		／25点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 自治公民館を地域住民が集い、学ぶ拠点として活用するとともに、そこでの生涯学習活動を促進するため、自治公民館の新築や改修などの環境整備に対して補助を行う。については、実績から見て達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 自治公民館は、地域住民の学びとコミュニティの拠点及防災の避難所等として活用されており、自治公民館の活動を支えるため改修工事等に対して補助金の交付を交付している。
---	--

事業	公民館管理運営事業	細事業	公民館等指定管理事業	実施計画事業	公民館等指定管理事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (347)										
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	2 生涯学習の推進						公民館等指定管理委託料	194,779
項	5	施策展開	②公民館機能を充実する							
目	2		後期基本計画 86 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略		<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	159									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 指定管理者制度導入による市民サービスの向上と、公民館施設の利用者増を目指すとともに、施設使用料、自主事業による収入増等と、指定管理者の努力による効果的・効率的で柔軟な公民館運営を目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 指定管理者「ここからプラス」に指定管理委託契約済(基本協定R3.1.13締結、期間R3~R7年度)</p> <p>委託内容 ・業務実施体制の整備 ・施設維持管理業務 ・社会教育事業に関する業務 ・スポーツ振興事業に関する業務 ・施設運営業務 ・公民館運営審議会、公民館利用者、スポーツ団体、地域団体、学校の代表者による連絡会 ・自主事業</p>	R3	指定管理者「ここからプラス」に指定管理委託契約済(基本協定R3.1.13締結、期間R3~R7年度)委託内容・業務実施体制の整備・施設維持管理業務・社会教育事業に関する業務・スポーツ振興事業に関する業務・施設運営業務・公民館運営審議会、公民館利用者、スポーツ団体、地域団体、学校の代表者による連絡会・自主事業	R3計画 194,885 当初予算 194,885 決算額 177,168				194,885	
	R4	指定管理者「ここからプラス」に指定管理委託契約済(基本協定R3.1.13締結、期間R3~R7年度)委託内容・業務実施体制の整備・施設維持管理業務・社会教育事業に関する業務・スポーツ振興事業に関する業務・施設運営業務・公民館運営審議会、公民館利用者、スポーツ団体、地域団体、学校の代表者による連絡会・自主事業	R4計画 194,779 当初予算 194,779 決算額 195,901				194,779	
	R5		R5計画 194,671 当初予算 決算額				194,671	
	R6		R6計画 194,562 当初予算 決算額				194,562	
	R7		R7計画 194,452 当初予算 決算額				194,452	
	R3 ~ R7 合計			計画額 973,349 当初予算 389,664 決算額 373,069				973,349

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 1 指定管理委託料	指定管理委託料(指定管理者募集要項 基準価格) ※令和3年新規	<input type="checkbox"/> 総合戦略		千円	目標値	194,885	194,779	194,671	194,562	194,452
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	177,168	195,901			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			達成率	90.9	100.6			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 1 主催学級・講座数	主催学級・講座数 385講座/指定期間最終年度(指定管理者募集要項 教育委員会が設定する数値目標)	<input type="checkbox"/> 総合計画	279	個	目標値	305	325	345	365	385
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	402	614			
2 公民館利用状況	公民館利用者数 R元年度に対し、毎年度1%増(参考)令和元年度実績数値(延べ数)・青少年団体99団体/3,688人・女性団体30団体/1,440人・成人団体4,664団体/61,737人・高齢者団体38団体/7,002人・その他251団体/18,586人 計5,082団体/92,453人	<input type="checkbox"/> 総合計画	65,783	人	目標値	93,378	94,312	95,256	96,209	97,172
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	73,171	96,803			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率	78.4	102.6			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	24点	5点	24点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 指定管理者制度導入による市民サービスの向上と、公民館施設の利用者増を目指すとともに、施設使用料、自主事業による収入増等と、指定管理者の努力による効果的・効率的で柔軟な公民館運営を目的とする。については、実績から見て達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 感染対策を講じながら公民館利用者が安心して生涯学習に取り組めるよう努めていた。市民のニーズを把握し、高齢者に対するスマートフォン活用講座等を開催するなど新規事業に努めていた。また、障がい者の学びの支援に関する講座の開設にも努めていた。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	人権教育・部落差別解消推進事業	細事業	人権教育・部落差別解消推進講座事業	実施計画事業	人権教育・部落差別解消推進講座事業	終了年度	なし
----	-----------------	-----	-------------------	--------	-------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (380)											
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	10	施策	6 人権尊重社会の実現						消耗品費	480	
項	5	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する						講師謝礼金	265	
目	3	後期基本計画	94 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略		<input type="checkbox"/>	費用弁償	169
決算	160								普通旅費	96	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; より深く人権意識を身につけてもらい若い世代のリーダーの育成を図ることを目的に、公民館利用団体等を対象に人権講座を開催し、人権意識の高揚を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 各町公民館でPTAや一般公募の市民を対象に同一受講者による人権連続講座(5回)を開催する。</p>	R3	各町公民館でPTAや一般公募の市民を対象に同一受講者による人権連続講座(5回)を開催した。	R3計画 1,363				1,363
			当初予算 1,363				1,363
			決算額 773				773
	R4	各町公民館でPTAや一般公募の市民を対象に同一受講者による人権連続講座(5回)を開催した。	R4計画 1,363				1,363
			当初予算 1,301				1,301
			決算額 871				871
	R5		R5計画 1,363				1,363
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 1,363				1,363
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 1,363				1,363
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 6,815				6,815
			当初予算 2,664				2,664
			決算額 1,644				1,644

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 人権講座 開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	59	回	目標値	45	45	45	45	45
					実績値	46	48			
					% 達成率	102.2	106.7			
D 成果指標	1 人権講座 受講者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	1,908	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
					実績値	954	1,000			
					% 達成率	95.4	100			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	25点	5点	25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
より深く人権意識を身につけてもらい若い世代のリーダーの育成を図ることを目的に、公民館利用団体等を対象に人権講座を開催し、人権意識の高揚を図る。については、実績から見て達成できた。	部落差別の解消教育をはじめとするさまざまな人権問題の解決に関する学びに関する、連続講座の開催を実施することができた。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	人権教育・部落差別解消推進事業	細事業	人権を学ぶ子ども会事業	実施計画事業	人権を学ぶ子ども会事業	終了年度	なし
----	-----------------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ (381)										
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画		令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	10	施策	6 人権尊重社会の実現		期間	R3 年度 ~ R7 年度	人権を学ぶ子ども会運営委託料	461		
項	5	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する		期間	年度 ~ 年度				
目	3	後期基本計画	94 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	160									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の児童・生徒を対象に、三重東小学校、大野小学校、三重中学校、大野中学校で放課後の時間を利用した「人権を学ぶ子ども会」を開設し、「差別に負けない」「差別を許さない」「人の気持ちが分かる」子どもたちの育成を図る。</li> </ul> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の児童・生徒を対象に、三重東小学校、大野小学校、三重中学校、大野中学校で放課後の時間を利用した「人権を学ぶ子ども会」を開設し、「差別に負けない」「差別を許さない」「人の気持ちが分かる」子どもたちの育成を図る。</li> </ul>	R3	三重東小学校、三重中学校、大野小学校、大野中学校で人権を学ぶ子ども会を開設し、より深く人権を学ぶため放課後の時間帯を利用した活動に取り組んだ。豊肥地区解放文化祭は11月27日(土)緒方中学校を会場に2年ぶりの開催となった。上記の人権を学ぶ子ども会をはじめ、豊後大野市高校生人権学習会、豊後大野市内中学校、竹田中学校による解放劇の取組みや研究発表の実践報告を行った。	R3計画 461				461	
				当初予算 461				461
				決算額 461				461
	R4	三重東小学校、三重中学校、大野小学校、大野中学校で人権を学ぶ子ども会を開設し、より深く人権を学ぶため放課後の時間帯を利用した活動に取り組んだ。豊肥地区解放文化祭は11月26日(土)竹田市民館を会場に開催された。上記の人権を学ぶ子ども会をはじめ、豊後大野市高校生人権学習会、豊後大野市内中学校、竹田中学校による解放劇の取組みや研究発表の実践報告を行った。	R4計画 461				461	
				当初予算 461				461
				決算額 411				411
	R5		R5計画 461				461	
				当初予算				
				決算額				
	R6		R6計画 461				461	
			当初予算					
			決算額					
R7		R7計画 461				461		
			当初予算					
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 2,305				2,305	
			当初予算 922				922	
			決算額 872				872	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 団体数 「人権を学ぶ子ども会」開設数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	4	団体	目標値	4	4	4	4	4
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4	3			
		% 達成率			100	75				
D 成果指標	1 参加者数 「人権を学ぶ子ども会」参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	45	人	目標値	30	45	45	45	45
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	31	42			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	103.3	93.3			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	23点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点
			23点	23点
			25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
あらゆる差別の歴史と実態を学ぶことにより、差別を見抜き、差別を解消するための実践力のある子どもを育成することを目的とする。については、実績から見て達成できた。	市人権・部落差別解消教育研究協議会に委託し子どもたちの差別を見抜き差別を許さないという学びができた。さらに豊肥地区解放文化祭に参加しあらゆる差別に対する深い学びの中で一体感と達成感を体験することができた。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	人権教育・部落差別解消推進事業	細事業	人権を学ぶ子ども会事業	実施計画事業	高校生人権学習会事業	終了年度	なし
----	-----------------	-----	-------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (381)											
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 期間 年度 ~ 年度	令和4年度 主な歳出名称 人権を学ぶ子ども会運営委託料 当初予算額 384		
款	10	施策	6 人権尊重社会の実現								
項	5	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する								
目	3	後期基本計画	94 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略			<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	160										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> ・市内出身の高校生を対象に、「高校生人権学習会」を開設し、人権意識の基礎を培い、豊かな人間感覚を育成するとともに、自他の人権を尊重する意欲・態度・技能を育成し、実践的な行動につながる人権教育を図る。  <令和4年度の取組内容(計画)> 市内在住の高校生を対象とした「豊後大野市高校生人権学習会」を開設し部落差別を始めとするあらゆる差別の歴史と実態を学ぶことにより、差別を見抜き・差別を解消するための実践力のある生徒の育成を目指す。	R3	市内在住の高校生を対象とした「豊後大野市高校生人権学習会」を開設し部落差別を始めとするあらゆる差別の歴史と実態を学ぶことにより、差別を見抜き・差別を解消するための実践力のある生徒の育成を図った。	R3計画 384 当初予算 384 決算額 107				384	
	R4	市内在住の高校生を対象とした「豊後大野市高校生人権学習会」を開設し部落差別を始めとするあらゆる差別の歴史と実態を学ぶことにより、差別を見抜き・差別を解消するための実践力のある生徒の育成を図った。	R4計画 384 当初予算 384 決算額 91				384	
	R5		R5計画 384 当初予算 384 決算額				384	
	R6		R6計画 384 当初予算 384 決算額				384	
	R7		R7計画 384 当初予算 384 決算額				384	
	R3 ~ R7 合計			計画額 1,920 当初予算 768 決算額 198				1,920 768 198

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 団体数	「高校生人権学習会」開設数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	団体	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1			
		% 達成率			100	100				
D 成果指標 1 参加者数	高校生人権学習会 参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	7	人	目標値	10	10	10	10	10
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	9	3			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	90	30			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	24点	5点	24点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 市内出身の高校生を対象に、「高校生人権学習会」を開設し、人権意識の基礎を培い、豊かな人間感覚を育成するとともに、自他の人権を尊重する意欲・態度・技能を育成し、実践的な行動につながる人権教育を図る。については、実績から見て達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 さまざまな高校から集まり部落差別問題をはじめとするあらゆる人権問題に関し学びを深めることができた。また、解放文化祭においても研究発表を行い差別の現実を深く学ぶ機会の確保ができた。
---	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	人権教育・部落差別解消推進事業	細事業	人権教育総合推進地域事業	実施計画事業	人権教育総合推進地域事業	終了年度
----	-----------------	-----	--------------	--------	--------------	------

会計 一般		政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称		当初予算額
款	10	施策	6 人権尊重社会の実現			講師謝礼金	100	
項	5	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する			消耗品費	200	
目	3	後期基本計画	94 P			<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	160				期間	年度 ~ 年度	図書	250

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 人権意識を高め、お互いを認め合う地域の創生をめざす  <令和4年度の実施内容(計画)> 令和4年度より実施。三重校区対象。昔尾小学校、三重東小学校、百枝小学校、三重第一小学校、新田小学校、三重中学校にて実施。	R3		R3計画 当初予算 決算額					
	R4	三重校区 各学校において人権講演会・人権の花の寄せ植え等実施。	R4計画 当初予算 決算額	970 970 515	970 970 515			
	R5		R5計画 当初予算 決算額					
	R6		R6計画 当初予算 決算額					
	R7		R7計画 当初予算 決算額					
	R3 ~ R7 合計			計画額 当初予算 決算額	970 970 515	970 970 515		

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 校区数	事業実施校区数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		目標値		1	1	1	1
					実績値		1			
					% 達成率		100			
D 成果指標	1 実施学校数	取り組み学校数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		目標値		6	2	2	2
					実績値		6			
					% 達成率		100			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	18点	3点	18点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 人権意識を高め、お互いを認め合う地域の創生をめざすについては、達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 三重中学校を中心に地域の方々の人権問題に関し学びを深めることができた。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	資料館運営事業	細事業	資料館運営事業	実施計画事業	資料館運営事業	終了年度	なし
----	---------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.→ (371)		V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち		個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称 当初予算額		
会計	一般	政策	5 文化財等の保存・継承				
款	10	施策	①資料館の展示・収蔵・館外活動の充実と文化財保護の推進				
項	5	施策展開	後期基本計画 92 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	4				高熱水費	2,439	
決算	161				清掃委託料	1,320	
						所蔵品保存修復委託料	1,159
						文化財移送委託料	1,000

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 資料館を基本施設として、各公民館等と共に市民等へ文化財に接する機会や情報を提供し、文化意識の高揚を図る</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 資料館では総合展示室・歴史民俗展示室などの展示室を備え、ジオパークの拠点施設としての学習施設としての役割も行っており、年間を通じた市内小中学校等の視察見学に対応し、説明を行っている。企画展示では、前期と後期2回開催した。その他に、ジオガイド養成講座、学校教育などのジオパーク学習支援、ケーブルTVの番組制作に協力し、普及活動を行っている。</p>	R3	歴史的に重要な資料(古文書、古写真)の収集・公開・調査や、展示公開を行った。またジオパークの拠点施設としての学校教育でのふるさと学習の支援や、市民の生涯学習の拠点施設としての学習などを行った。	R3計画 12,981			2	12,979	
				当初予算			2	12,979
				決算額			37	8,132
	R4	企画展の開催や、古文書の燻蒸や鉄製品保存処理、粘土人形の修復など歴史的資料の公開や保存等を行った。またジオパークの拠点施設としての学校教育での学習支援や、市民の生涯学習施設としての学習などを行った。	R4計画 13,000			1	12,999	
				当初予算			2	9,379
				決算額			1	8,950
	R5		R5計画 11,000			1	10,999	
				当初予算			2	7,517
				決算額				
	R6		R6計画 11,000			1	10,999	
				当初予算				
				決算額				
	R7		R7計画 11,000			1	10,999	
				当初予算				
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 58,981			6	58,975	
			当初予算 29,881			6	29,875	
			決算額 17,120			38	17,082	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 地域の歴史文化に関する情報発信	市民講座実施件数・企画展示の開催件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	件	目標値	4	4	4	4	4
					実績値	3	4			
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	件	目標値					
					実績値					
D 成果指標	1 資料館入館者数	令和4年度の入館者数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	人	目標値	1,000	1,000	6,000	6,000	6,000
					実績値	12,404	9,917			
	2 講座・学校支援等実施件数	小中学校ふるさと学習支援や地域学習の件数、(ジオパーク活動を含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	80 件	目標値	103	103	103	100	100
					実績値	119	96			
				%	達成率	115.5	93.2			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	20点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  
活動指標の「市民講座実施件数・企画展示の開催件数」について、ガイド養成講座やシンポジウムの開催がコロナ対策開けで再開もできたことにより、目標の達成はできた。今後もコロナ対策も踏まえながら新たな事業実施に向けた工夫が必要である。成果指標1の「資料館入館者数」について、目標を達成することができているが、開館した初年度と比べ入館者が減少傾向である。2年目を以降もいかに入館者数の減少に歯止めをかけ、維持していくかが課題と思われる。成果指標2「講座・学校支援等実施件数」は、コロナ対策の影響や開館2年目ということもあり、資料館の見学要請が減少したことが大きな要因となっている。今後も学校からの要請が減少することが予想されるため、いかに維持していくかが課題と思われる。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見  
入館者の増をめざすためには、今後地域自治会やサロン、老人会などの団体へ視察の呼びかけが必要となる。また、企画展示を数年後まで計画する長期的な展望が必要であるが、資料館運営、ジオパーク、文化財保護事業を兼務しており、特にジオパークにおける郷土学のため小中学校の学習支援を最優先している。この業務を継続しながら企画展示に集中して取り組むためには、専門員の増員が必要である。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	文化財保護事業	細事業	指定文化財等調査保護事業(単独)	実施計画事業	指定文化財等調査保護事業(単独)	終了年度	なし
----	---------	-----	------------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (373)													
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額			
款	10	施策	5 文化財等の保存・継承						指定文化財管理委託料	2,615			
項	5	施策展開	①資料館の展示・収蔵・館外活動の充実と文化財保護の推進						修繕料	461			
目	4	後期基本計画	92	P	<input checked="" type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	指定文化財複製品制作作業委託料	293
決算	162										指定文化財看板作成・補修等委託料	154	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 指定文化財を始め埋蔵文化財の調査保護を行い、情報公開を進める中で、市民の保護意識の高揚を図る</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 国史跡4箇所については、地元団体へ清掃委託を行っている。ジオガイド等による定期パトロールを行い、各種指定文化財やジオサイトなどの周辺地の伐採・除草を行っている。</p> <p>緒方宮迫東石仏の手摺や犬飼石仏屋根の補修は完了し、神角寺の防災設備の保守管理支援を行っている。昨年度からの繰越しによる旧緒方村役場庁舎(国登録有形文化財)の復元修理工事も完了した。</p>	R3	市内の指定文化財の維持管理や環境整備などの保護業務を行い、また補修に対する援助を行った。	R3計画 95,750			62,500	33,250
	当初予算	95,750			62,500	33,250	
	決算額	36,561			1,200	35,361	
	R4	市内の指定文化財の維持管理や環境整備などの保護業務を行い、宮迫東石仏木柵や旧緒方村庁舎の改修を行い、また普光寺境内補修や御嶽神楽の九州大会出場に対する援助を行った。	R4計画 30,000				30,000
	当初予算	3,937			2,500	1,437	
	決算額	4,282			2,200	2,082	
	R5		R5計画 30,000				30,000
	当初予算	3,885			2,500	1,385	
	決算額						
	R6		R6計画 30,000				30,000
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 30,000				30,000
	当初予算						
決算額							
R3～R7合計			計画額 215,750			62,500	153,250
			当初予算 103,572			67,500	36,072
			決算額 40,843			3,400	37,443

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 文化財を国指定にするための調査、指定件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	3	件	目標値	2	2	2	2	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	2			
					% 達成率	50	100			
	2 文化財保存活用地域計画の策定	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値			1	1	1
<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		実績値								
		% 達成率								
D 成果指標	1 文化財指定件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	505	件	目標値	505	505	502	502	502
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	505	506			
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率			100	100.2				
					目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合計画			実績値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画								

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	21点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
活動指標1の「文化財の調査・記録保存や市民への調査実績公開件数」は登録有形文化財緒方村役場庁舎の改修工事も完了による公開と、シンポジウムによる文化的景観の調査成果の公開を行ったことにより事業の遂行はできている。活動指標2の「文化財保存活用地域計画の策定数」は、まだ着手できず目標の達成はできなかったが、それ以外の活動指標や成果指標は達成できているため、今後も継続して取組む。	活動指標1については、国登録有形文化財「旧緒方村役場」の保存修理工事を完了し、市民への公開も実施した。また国重要文化的景観に「緒方川と緒方盆地の農村景観」が選定され、保温活用計画を策定し活用の礎を築くことができた。活動指標2の「文化財保存活用地域計画」の策定は、左右知造跡における埋蔵文化財の全面発掘調査が約半年間に亘り行われ、職員の仕事による長期離職も発生したため、計画どおり進捗していない。成果指標の文化財指定件数は、「緒方川と緒方盆地の農村景観」が国重要文化財に選定されたことにより1件増となった。7年間に及ぶ調査研究の成果であり、高く評価できる。

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	文化財保護事業	細事業	文化的景観保存活用事業(単独)	実施計画事業	文化的景観保存活用事業(単独)	終了年度	R4
----	---------	-----	-----------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (372)														
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度 ~ R7年度	令和4年度 主な歳出名称 文化的景観保存活用協議会謝礼金 普通旅費 実費弁償	当初予算額 138 64 16				
款	10	施策	5 文化財等の保存・継承											
項	5	施策展開	①資料館の展示・収蔵・館外活動の充実と文化財保護の推進											
目	4	後期基本計画	92	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>				総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	162													

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 指定文化財を始め埋蔵文化財の調査保護を行い、情報公開を進める中で、市民の保護意識の高揚を図る</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 保存活用計画書本体の策定に取り組み、文化庁文化審議会や調査官の視察を経て、重要文化的景観の選定申請を行った。12月16日付で答申があり、3月20日付で正式に選定された。</p>	R3		R3計画 当初予算 決算額					
	R4	令和4年度事業は、「緒方川と緒方盆地の農村景観」を国の重要文化的景観として選定を受ける申請手続きや準備等を行ない、3月20日付で重要文化的景観に選定された。	R4計画 当初予算 決算額	218 85		200 85	18	
	R5		R5計画 当初予算 決算額					
	R6		R6計画 当初予算 決算額					
	R7		R7計画 当初予算 決算額					
	R3 ~ R7 合計			計画額 当初予算 決算額	218 85		200 85	18

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1	文化的景観選定のための調査報告書発行(令和2年度)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	件	目標値				
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値				
						%	達成率			
C 活動指標 2	文化的景観選定のための保存活用計画書の発行(令和3年度)	<input type="checkbox"/> 総合戦略			件	目標値	1			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値				
						%	達成率			
D 成果指標 1	重要文化的景観の選定(令和4年度選定申請、5年度選定)	<input type="checkbox"/> 総合計画			箇所	目標値			1	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値		1		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率			
D 成果指標 2		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
合計		22点	22点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
活動指標の調査報告書や保存活用計画書作成は既に達成し、成果指標の重要文化的景観選定も1年前倒しで達成している。今後は整備計画の着手による保存活用にに向けた体制づくりを行う。	活動指標1の調査報告書発行は完了している。令和4年度には保存活用計画の策定、そして選定申請を行い、令和5年3月20日に「緒方川と緒方盆地の農村景観」が国重要文化的景観に選定された。当初計画よりも前倒しで目標達成ができています。令和5年度に専門家と住民代表による委員会を組織し、保存整備計画を策定し、景観の保全と活用・環境整備を図る。成果指標1は、既に達成している。

事業	図書館管理運営事業	細事業	図書館外事業	実施計画事業	移動図書館事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	--------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.→ (351)		V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち		個別計画名 豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称 図書 移動図書館車運転業務委託料 燃料費 消耗品費	当初予算額 1,800 324 80 78
会計	一般	政策	2 生涯学習の推進			
款	10	施策	③図書館利用を推進する			
項	5	施策展開	後期基本計画 86 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	5					
決算	163					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 図書館の補完的機能として、移動図書館の運行と社会教育施設、教育関係施設、各種団体等に団体貸出を行い、地域住民への読書支援を行う。  <令和4年度の取組内容(計画)> ・移動図書館車の運行を再開 ・移動図書館用図書の充実 ・団体貸出の促進	R3	新図書館開館のため本館業務に重点を置き、移動図書館車の運行は休止した。団体貸出の利用促進を行い、地域住民に読書支援をすることができた。	R3計画 253 当初予算 253 決算額 162				253	
	R4	移動図書館車の運行を再開し、移動図書館用図書の充実を図った。また、団体貸出の利用促進を行い、地域住民に読書支援をすることができた。	R4計画 2,703 当初予算 2,367 決算額 2,345				2,703	
	R5		R5計画 2,703 当初予算 2,715 決算額				2,703	
	R6		R6計画 2,703 当初予算 決算額				2,703	
	R7		R7計画 2,703 当初予算 決算額				2,703	
	R3 ~ R7 合計			計画額 11,065 当初予算 5,335 決算額 2,507				11,065 5,335 2,507

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 移動図書館利用者延べ人数	移動図書館利用者の年間延べ人数(令和4年度より再開)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		人	目標値		2,500	2,500	2,500	2,500
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値		2,362			
					% 達成率		94.5			
2 移動図書館ステーション数	移動図書館の利用を希望する市内の幼稚園、こども園、保育園をステーションとし定期的に巡回運行をする。(令和4年度より再開)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		か所	目標値		14	14	14	14
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値		14			
					% 達成率		100			
D 成果指標 1 移動図書館の貸出冊数	市内の幼稚園、こども園、保育園をステーションにすることで、図書館に行けない園児に対して読書の推進をする。(令和4年度より再開)	<input type="checkbox"/> 総合計画		冊	目標値		7,500	7,500	7,500	7,500
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値		6,444			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率		85.9			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		19点	19点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 移動図書館車の運行を再開し、市内14ヶ所の認定こども園、保育園、幼稚園を巡回し、子どもたちが読書に親しむ環境づくりの充実を図った。次年度に向けては、各町公民館図書室を加え、図書館の補完的機能として図書の館外配送を行い、直接図書館に来館することが困難な地域住民の読書支援を図る。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 移動図書館車にて市内14ヶ所の認定こども園、保育園、幼稚園を巡回し、子どもたちが読書に親しむ環境づくりができた。
---	--

事業	図書館管理運営事業	細事業	図書館館内事業	実施計画事業	図書購入事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	--------	------	----

会計 一般		政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	2 生涯学習の推進				
項	5	施策展開	③図書館利用を推進する				
目	5	後期基本計画	86 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	163						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 新しい情報、資料の計画的な蔵書整備が行われ、市民の多様な資料要求に迅速に対応し、常に新しい情報・資料を提供する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 市民のニーズに応じた情報・資料の収集及び提供 ・蔵書の整備(新聞、雑誌、図書、DVDの整備) ・地域資料の収集 ・相互貸借(図書館間の図書貸出) ・レファレンス(調査相談)サービスの充実 ・予約、リクエスト</p>	R3	市民のニーズに応じた情報・資料の収集し提供することができた。 蔵書の整備及び地域資料の収集(図書21,218冊、CDブック41点、DVD328点) ・新聞5紙、雑誌136タイトル ・相互貸借(図書館間の図書貸出) ・レファレンス(調査・相談)件数2,829件 ・予約件数1,940件	R3計画 64,710 当初予算 64,710 決算額 64,706			32,000	32,710	
	R4	市民のニーズに応じた情報・資料を収集し提供することができた。 ・蔵書の整備及び地域資料の収集(新聞9紙、雑誌142タイトル、図書18,509冊、DVD369点、CDブック413点) ・相互貸借(図書館間の図書貸出) ・レファレンス(調査相談) 3,008件 ・予約 2,539件	R4計画 52,710 当初予算 52,710 決算額 52,385			25,000	27,710	
	R5		R5計画 52,710 当初予算 52,710 決算額			25,000	27,710	
	R6		R6計画 52,710 当初予算 決算額			25,000	27,710	
	R7		R7計画 52,710 当初予算 決算額			25,000	27,710	
	R3 ~ R7 合計			計画額 275,550 当初予算 170,130 決算額 117,091	39,406		132,000	143,550

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 図書購入冊数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	23,368	冊	目標値 18,000 実績値 21,218 達成率 117.9%	15,000				
	2 蔵書冊数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	84,597	冊	目標値 86,000 実績値 102,239 達成率 118.9%	88,000	90,000	95,000	100,000	
D 成果指標	1 市民1人当たりの貸出冊数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	0.7	冊	目標値 3 実績値 4.17 達成率 139%	4	4	5	5	
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値 実績値 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	24点	4点	24点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
蔵書計画に沿って選書を行い、目標値以上の図書の購入が実施できた。また、県内他図書館との相互貸借やレファレンス(調査相談)サービスの浸透が図られ、今後も市民のニーズに応え、読書支援を行う。	蔵書計画及び利用者のニーズを把握し、計画的な蔵書ができた。

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	図書館管理運営事業	細事業	図書館教育事業	実施計画事業	図書館教育事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	---------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	10	施策	2 生涯学習の推進	期間	R3 年度 ~ R7 年度	講師謝礼金	240	
項	5	施策展開	③図書館利用を推進する	期間	年度 ~ 年度	消耗品費	100	
目	5	後期基本計画	86 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	印刷製本費	100
決算	163			<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	食糧費	13
				<input type="checkbox"/>	コロナ充当			

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 様々な学習機会の提供と読書を通じた人づくりを推進する。 対象別の講座、ワークショップ、おはなし会等の教育事業を行い、図書館利用の促進に取り組む。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 図書館の利用につながる教育事業の実施 ・子どもを対象とした事業 ・一般市民を対象とした事業</p>	R3	図書館の利用につながる教育事業の実施することができた。 ・子ども(親子を含む)を対象とした事業 18回 212名参加 ・一般市民を対象とした事業 13回 132名参加	R3計画 453 当初予算 453 決算額 293				453	
	R4	図書館の利用につながる教育事業を実施することができた。 ・子ども(親子を含む)を対象とした事業 20回 273名参加 ・一般市民を対象とした事業 19回 193名参加	R4計画 453 当初予算 453 決算額 420				453	
	R5		R5計画 453 当初予算 453 決算額				453	
	R6		R6計画 453 当初予算 決算額				453	
	R7		R7計画 453 当初予算 決算額				453	
	R3 ~ R7 合計			計画額 2,265 当初予算 1,359 決算額 713				2,265 1,359 713

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 子ども対象事業の回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		回	目標値	12	12	12	12	12
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	18	20			
	2 一般対象事業の回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		回	目標値	6	6	6	6	6
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	13	19			
D 成果指標	1 参加者の利用者カード登録率	<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	95	86			
	2 -	<input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率	95	86			
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	23点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>コロナ禍であったが、感染症予防対策を講じて行事を実施することができた。また、子どもだけでなく一般向けの体験教室を実施することで、今まで図書館の利用がなかった方に興味を持ってもらい、新規登録者の増加に繋がった。今後も様々なニーズに対応した行事を実行し、新たな利用につなげる。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>様々な情報を入手しながら行事を工夫して実施し、今まで図書館の利用がなかった方に興味を持っていただき新規利用者の登録につなげることができたことを評価する。</p>
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	図書館管理運営事業	細事業	図書館運営事業	実施計画事業	図書館運営事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	---------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額				
款	10	施策	2 生涯学習の推進	期間	R3 年度 ~ R7 年度	会計年度任用職員報酬	14,304				
項	5	施策展開	③図書館利用を推進する	期間	年度 ~ 年度	図書館システム機器リース料	11,567				
目	5	後期基本計画	86 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	電算システム等保守委託料	4,196
決算	163					光熱水費	3,660				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 市民の学習ニーズの多様化に伴い、図書館機能の向上を図る。 また、図書館の取組や活動など情報を発信し、利用促進に努める。</p> <p>&lt;令和4年度取組内容(計画)&gt; ・図書館協議会の開催(年2回) ・図書館施設の環境整備 ・セルフ貸出機や自動返却機の活用による利用者のプライバシー保護 ・季節や市民のニーズに応じた特設コーナーの充実 ・電子図書館サービスの利用促進 ・ループ図書館の利用促進 ・古文書のデジタル化 ・広報活動(市報、ホームページ、ケーブルテレビ等) ・デジタルサイネージの活用 ・図書館通帳の発行</p>	R3	・図書館協議会を年2回開催 ・図書館施設の環境整備 ・季節や市民のニーズに応じた特設コーナーの設置(48回) ・広報等により利用につながる図書館情報の発信ができた。 ・デジタルサイネージの活用し、行事や新刊本等の紹介ができた。	R3計画 51,888 当初予算 51,888 決算額 51,316	1,300	1,224	202	50,664	
	R4	・図書館協議会を年2回開催 ・図書館施設の環境整備 ・電子図書館サービス(電子書籍コンテンツ購入361作) ・広報活動(市報、ホームページ、ケーブルテレビ等)により利用につながる図書館情報の発信ができた。 ・デジタルサイネージを活用し、行事や新刊本等の紹介ができた。	R4計画 50,557 当初予算 54,207 決算額 52,807		24	208	50,533	
	R5		R5計画 50,557 当初予算 51,905 決算額		24	36	50,533	
	R6		R6計画 50,557 当初予算 決算額		24		50,533	
	R7		R7計画 50,557 当初予算 決算額		24		50,533	
	R3 ~ R7 合計			計画額 254,116 当初予算 158,000 決算額 104,123	1,300	1,320	412	252,796

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 図書館協議会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	2			
					% 達成率	100	100			
D 成果指標	1 来館者数(延べ数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	17,119	人	目標値	38,000	40,000	40,000	50,000	50,000
					実績値	78,946	69,374			
					% 達成率	207.8	173.4			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	25点	5点	25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
来館者数については、令和3年度を下回ったが、目標値を大きく超えることができた。課題としては、会計年度任用職員の報酬、図書館システム関係の経費、施設の管理維持費が多くを占めている。またコロナ感染症の蔓延が危惧されており、電子図書館の利用の促進に繋がる対応が必要である。	ケーブルテレビやHP、SNS等を活用した図書館サービスの情報提供等に努めている。

事業	スポーツ推進総務事業	細事業	スポーツ推進総務事業	実施計画事業	各地区スポーツ振興会補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (357)										
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 豊後大野市スポーツ推進計画 期間 H30 年度 ~ R9 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	3 スポーツの振興						各地区スポーツ振興会補助金	8,640
項	6	施策展開	①生涯スポーツを推進する							
目	1	後期基本計画	88	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>
決算	164									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p>&lt;事業の目的&gt; 市民がスポーツを通じて、明るく、豊かな生活の実現に資するために各町にスポーツ振興会を設置し、身近な地域でのスポーツ活動を積極的に推進するとともに円滑な運営を図るために振興会に、予算の範囲内で補助金を交付する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 各町のスポーツ振興会が中心となり地域の関係機関や団体と連携を図り地域の特性を活かした活動計画を策定する。健康づくりと体力づくりを目的に、誰もが生涯スポーツに親しむ機会を提供できるようにスポーツ行事、教室等を開催する。</p>	R3	①三重町スポーツ振興会:8事業を実施②清川町スポーツ振興会:9事業を実施③緒方町スポーツ振興会:12事業を実施④朝地町スポーツ振興会:10事業を実施⑤大野町スポーツ振興会:13事業を実施⑥千歳町スポーツ振興会:5事業を実施⑦大飼町スポーツ振興会:15事業を実施 市内全体で115事業を企画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により43事業が中止となった。	R3計画 8,640				8,640
	当初予算	8,640				8,640	
	決算額	4,916				4,916	
	R4	①三重町スポーツ振興会:15事業を実施②清川町スポーツ振興会:18事業を実施③緒方町スポーツ振興会:12事業を実施④朝地町スポーツ振興会:10事業を実施⑤大野町スポーツ振興会:12事業を実施⑥千歳町スポーツ振興会:7事業を実施⑦大飼町スポーツ振興会:15事業を実施 市内全体で117事業を企画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により28事業が中止となった。	R4計画 8,640				8,640
	当初予算	8,640				8,640	
	決算額	7,096				7,096	
	R5		R5計画 8,640				8,640
	当初予算	8,640				8,640	
	決算額						
	R6		R6計画 8,640				8,640
当初予算							
決算額							
R7		R7計画 8,640				8,640	
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 43,200				43,200
			当初予算 25,920				25,920
			決算額 12,012				12,012

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 生涯スポーツへの参加	スポーツ振興会主催のスポーツ行事等の開催数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	51	回	目標値	72	115	115	115	115
					%	実績値	72	89			
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値					
					%	実績値					
D 成果指標	1 生涯スポーツへの参加	スポーツ振興会主催のスポーツ行事等の開催数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	51	回	目標値	72	115	115	115	115
					%	実績値	72	89			
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値					
					%	実績値					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		22点	22点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 <今後の進め方(課題・改善策等)> アフターコロナの社会におけるスポーツ活動を推進するため、各町スポーツ振興会及び事務局のここからプラスと連携し、生涯スポーツに親しみやすいスポーツ行事、教室や研修会等の新たな企画・運営を進めて行く。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市民の健康増進、競技力の向上を図るため、各町スポーツ振興会を中心に、さまざまな活動を行っていた。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	スポーツ推進総務事業	細事業	スポーツ推進総務事業	実施計画事業	スポーツ協会補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (361)														
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 豊後大野市スポーツ推進計画 期間 H30 年度 ~ R9 年度	令和4年度 主な歳出名称 スポーツ協会補助金 12,935	当初予算額 12,935				
款	10	施策	3 スポーツの振興											
項	6	施策展開	③競技スポーツを振興する											
目	1	後期基本計画	88	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>				総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	164													

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 市民のスポーツを推進し、市民の体力の向上とスポーツ精神の高揚と、心身共に健全で活力にみちた市民生活の実現を図ることを目的に組織された豊後大野市スポーツ協会の積極的な事業の推進と円滑な運営を図るための経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 豊後大野市スポーツ協会事業計画 ①市民スポーツ大会(種目別に6月から11月の期間に開催) ②第15回豊後大野市小中学生水泳記録会 ③第75回大分県民スポーツ大会 ④第18回豊後大野市少年少女駅伝競走大会 ⑤第76回大分県民スポーツ大会(スキー競技)</p>	R3	①市民体育大会(7月から11月の期間に9種目を開催) ②第14回豊後大野市小中学生水泳記録会/18種目に男子30名、女子19名参加 ③第74回大分県民スポーツ大会(中止) ④第17回豊後大野市少年少女駅伝競走大会(中止) ⑤第75回大分県民体育大会・スキー競技 参加取下げ ⑥春季県体・第64回県内一周大分合同駅伝競走大会(中止) ⑦スポーツ指導者研修会の開催(4回開催)	R3計画	12,380				12,380
	当初予算	12,380					12,380	
	決算額	6,139					6,139	
	R4	①市民スポーツ大会(6月から11月の期間に12種目を開催) ②第15回豊後大野市小中学生水泳記録会/18種目に男子19名、女子11名参加 ③第75回大分県民スポーツ大会(28種目に447名参加) ④第18回豊後大野市少年少女駅伝競走大会(男子21チーム、女子4チーム参加) ⑤第76回大分県民スポーツ大会・スキー競技(5名参加)	R4計画	12,935				12,935
	当初予算	12,935					12,935	
	決算額	10,501					10,501	
	R5		R5計画	12,935				12,935
	当初予算	12,300					12,300	
	決算額							
	R6		R6計画	12,935				12,935
	当初予算							
	決算額							
	R7		R7計画	12,935				12,935
	当初予算							
決算額								
R3 ~ R7 合計			計画額	64,120				64,120
			当初予算	37,615				37,615
			決算額	16,640				16,640

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標 1 競技力の向上	県民スポーツ大会の成績(市スポーツ協会加盟28種目部別の競技団体)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		位	目標値	9	9	9	9	8
					実績値		15			
					% 達成率		—			
2 スポーツ少年団指導者の育成	公認スポーツ少年団指導者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	137	名	目標値	140	140	140	140	140
					実績値	119	108			
					% 達成率	85	77.1			
D 成果指標 1 競技力の向上	県民スポーツ大会の成績(市スポーツ協会加盟28種目部別の競技団体)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		位	目標値	9	9	9	9	8
					実績値		15			
					% 達成率		—			
2 スポーツ少年団への加入率	加入者数/児童生徒数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	36.1	%	目標値	45	45	45	45	50
					実績値	31.6	30.8			
					% 達成率	70.2	68.4			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		23点	23点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 <今後の進め方(課題・改善策等)> アフターコロナの社会におけるスポーツ活動を推進するため、スポーツ協会を中心に、競技スポーツ活動、スポーツ少年団活動の支援を行う。 また、人口減少に伴う競技人口の減少や競技力の低下、スポーツ指導者の確保などの課題解決に向けて、関係機関、団体が連携して取組める環境づくりの方策を検討していく必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 県民スポーツ大会及びスポーツ少年団活動の推進を図るため、適切な業務の執行を行っていた。スポーツ少年団指導者の確保及び団員の確保のための広報活動を充実する必要がある。
--	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	スポーツ推進総務事業	細事業	スポーツ推進総務事業	実施計画事業	各種スポーツ大会出場補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (361)												
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 豊後大野市スポーツ推進計画 期間 H30 年度 ~ R9 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	10	施策	3 スポーツの振興						各種スポーツ大会出場補助金	1,800		
項	6	施策展開	③競技スポーツを振興する									
目	1	後期基本計画	88	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	164											

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 市民のスポーツ水準の向上、振興を図るため、市民等各スポーツ大会及び競技大会等に出場した場合の経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。  <令和4年度の実績内容(計画)> 国、県、公益財団法人日本スポーツ協会の加盟団体(属する専門部も含む。)が主催、若しくは共催し、県大会等以上の予選会を経てその代表として出場する大会とする。 (1) 九州大会 (2) 西日本大会 (3) 全国大会 (4) 世界大会	R3	令和3年度の実績は、13団体・個人、延べ89人が九州大会以上の大会に出場 全国・西日本大会 7団体39人 九州大会 6団体延べ50人	R3計画 1,800 当初予算 1,800 決算額 872				1,800	
	R4	令和4年度の実績は、41団体・個人、延べ192人が九州大会以上の大会に出場 全国・西日本大会 23団体延べ99人 九州大会 19団体延べ93人	R4計画 1,800 当初予算 1,800 決算額 1,932				1,800	
	R5		R5計画 1,800 当初予算 1,800 決算額				1,800	
	R6		R6計画 1,800 当初予算 決算額				1,800	
	R7		R7計画 1,800 当初予算 決算額				1,800	
	R3 ~ R7 合計			計画額 9,000 当初予算 5,400 決算額 2,804				9,000 5,400 2,804

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 全国大会・西日本大会	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		選手数	目標値	39	70	70	70	70
					実績値	39	99			
					% 達成率	100	141.4			
	2 九州大会	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		選手数	目標値	50	88	88	88	88
					実績値	50	93			
					% 達成率	100	105.7			
D 成果指標	1 全国大会・西日本大会	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		選手数	目標値	39	70	70	70	70
					実績値	39	99			
					% 達成率	100	141.4			
	2 九州大会	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		選手数	目標値	50	88	88	88	88
					実績値	50	93			
					% 達成率	100	105.7			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 <今後の進め方(課題・改善策等)> 今後も競技スポーツに取り組む選手、指導者へ全国大会で3位以内に入賞した場合に感謝状を贈呈するスポーツ顕彰制度及び九州大会以上に出場する団体・個人への補助金制度を継続し、スポーツ競技意欲の喚起を促して行く。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 競技スポーツに取り組む選手、指導者へ、九州大会以上に出場する団体・個人に対し、補助金または激励費を市長から渡すことにより、スポーツ競技に対する意欲の向上に繋がっていることを評価する。
--	---

I 令和6年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	スポーツ推進総務事業	細事業	スポーツ推進総務事業	実施計画事業	総合型地域スポーツクラブ活動支援補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	----------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (357)		会計 一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策 3 スポーツの振興	豊後大野市スポーツ推進計画				
項	6	施策展開 ①生涯スポーツを推進する	期間 R3 年度 ~ R7 年度				
目	1	後期基本計画 88 P	期間 H30 年度 ~ R9 年度				
決算	164	過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>					
		総合型地域スポーツクラブ活動支援補助金					3,150

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等		財源内訳 (単位:千円)				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; スポーツ基本法の基本理念に基づき、市民が地域における文化・スポーツ活動等の振興を図り、会員及び青少年の健全な心身を育成するとともに、会員相互の親睦通じ、地域の活性化・地域社会の連帯に資することを目的に、必要とする地域に総合型地域スポーツクラブ(以下「クラブ」という。)の設立準備及び育成を図るため、予算の範囲内で補助金を交付する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; みえスポーツクラブ、おがたいきいきスポーツクラブネスト、特定非営利活動法人朝地フレンドクラブの特性を活かした活動計画を策定し会員の体力向上と健康増進を図る。 (1) 定期的なクラブ活動等の実施 (2) 年間計画に基づくクラブ行事等の開催 (3) 会員相互の親睦を図るための行事の開催 (4) 地域住民のスポーツ活動や地域づくりに資するボランティア活動 (5) 会員の健康・体力相談事業 (6) 他の機関、団体などが開催するスポーツ行事等への参加 (7) クラブの目的達成及び設立準備のために必要な事業</p>	R3	①みえスポーツクラブ:11事業を実施(5事業中止)、会員数300名 ②おがたいきいきスポーツクラブネスト:10事業を実施(5事業中止)、会員数140名 ③朝地フレンドクラブ:19事業を実施(10事業中止)、会員数196名 新型コロナウイルス感染症の影響により例年どおりの活動が実施できなかった。	R3計画 3,150				3,150	
				当初予算 3,150				3,150
				決算額 3,150				3,150
	R4	①みえスポーツクラブ:18事業を実施、会員数314名 ②おがたいきいきスポーツクラブネスト:9事業を実施(4事業中止)、会員数151名 ③朝地フレンドクラブ:10事業を実施(5事業中止)、会員数188名 新型コロナウイルス感染症の影響により例年どおりの活動が実施できなかった。	R4計画 3,150					3,150
				当初予算 3,150				3,150
				決算額 2,991				2,991
	R5		R5計画 3,150					3,150
				当初予算 3,150				3,150
				決算額				
	R6		R6計画 3,150					3,150
			当初予算					
			決算額					
R7		R7計画 3,150					3,150	
			当初予算					
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 15,750				15,750	
			当初予算 9,450				9,450	
			決算額 6,141				6,141	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 地域スポーツの振興	総合型地域スポーツクラブの会員数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	628	名	目標値	720	720	720	720	720
						実績値	636	653			
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	88.3	90.7			
						目標値					
D 成果指標	1 地域スポーツの振興	総合型地域スポーツクラブの会員数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	628	名	目標値	720	720	720	720	720
						実績値	636	653			
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	88.3	90.7			
						目標値					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	23点	5点	23点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
<今後の進め方(課題・改善策等)> スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造を基本理念とする総合型地域スポーツクラブの育成支援に取り組むとともに、自立に向けた活動を引続き支援して行く。 運動部活動の地域移行に関し、令和7年度末をめどに休日の運動部活動から段階的に地域移行していくことがスポーツ庁より示されている。今後も国・県の動向を注視するとともに、学校教育課と連携し新たなスポーツ環境の構築準備を進める。	中学校運動部活動を地域移行していく方向であることから、市内に3つある総合型スポーツクラブと連携し、受け皿の体制を構築するよう努めること。

事業	スポーツ推進総務事業	細事業	スポーツ推進総務事業	実施計画事業	スポーツ推進委員	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	----------	------	----

総合計画体系図№.1 (357)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 豊後大野市スポーツ推進計画 期間 H30 年度 ~ R9 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	3 スポーツの振興				
項	6	施策展開	①生涯スポーツを推進する				
目	1	後期基本計画	88 P				
決算	164					報酬	1,750

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p>&lt;事業の目的&gt; スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第32条第2項の規定に基づき、市内7町にスポーツ推進委員を35名配置し、生涯スポーツの推進に寄与することを目的とする。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; スポーツ推進委員は、スポーツの普及・振興を図るためスポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図る研修会を開催するとともに、市内で開催される各種スポーツイベントの企画立案・運営に携わり生涯スポーツの普及を図る。</p>	R3	地域のスポーツに関わる指導者の資質の向上と育成に努め、スポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図るため、竹田地区スポーツ推進委員協議会が主催する研修会を10月に神楽会館で開催し、「オリンピックへの道のり」について豊後大野市ふるさと大使の矢澤選手氏の講演会を開催した。また、スポーツ振興会事業や市内で開催される各種スポーツイベントの企画立案・運営、指導に携わった。
	R4	地域のスポーツに関わる指導者の資質の向上と育成に努め、スポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図るため、九州地区スポーツ推進委員研究大会に2日間で延べ42名参加し資質の向上に努めた。また、スポーツ振興会事業や市内で開催される各種スポーツイベントの企画立案・運営、指導に携わった。
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	1,750				1,750
当初予算	1,750				1,750
決算額	1,750				1,750
R4計画	1,750				1,750
当初予算	1,750				1,750
決算額	1,750				1,750
R5計画	1,750				1,750
当初予算	1,750				1,750
決算額					
R6計画	1,750				1,750
当初予算					
決算額					
R7計画	1,750				1,750
当初予算					
決算額					
計画額	8,750				8,750
当初予算	5,250				5,250
決算額	3,500				3,500

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 推進委員の配置	市内7町に35名のスポーツ推進委員を配置し、生涯スポーツの普及を図る。	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	35	名	目標値	35	35	35	35	35
						実績値	35	35			
						%	達成率	100	100		
D 成果指標	1 会議・研修会の開催	地域のスポーツに関わる指導者の資質の向上と育成に努め、スポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図るため、会議・研修会を開催する。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	9	回	目標値	12	12	12	12	12
						実績値	10	10			
						%	達成率	83.3	83.3		
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	24点	24点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
<p>&lt;今後の進め方(課題・改善策等)&gt; 地域のスポーツに関わる指導者の資質の向上と育成に努め、スポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図るため、研修会を開催するとともに、スポーツ振興会事業や市内で開催される各種スポーツイベントの企画立案・運営、指導に携わり生涯スポーツの普及を推進する。</p> <p>また、地域スポーツ振興の担い手であるスポーツ推進委員と連携し、運動部活動の地域移行や人口減少にともなう生涯スポーツの普及の方策など諸課題についても協議を進めて行く。</p>	<p>スポーツ推進委員の各町の連携及び情報共有をしていることは評価する。運動部活動の地域移行や人口減少にともなう生涯スポーツの普及の方策など諸課題についても協議を進めること。</p>

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	スポーツ施設管理事業	細事業	スポーツ施設管理事業	実施計画事業	大原総合体育館指定管理委託事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (359)												
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 スポーツ推進計画 期間 H30 年度 ~ R9 年度	令和4年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	10	施策	3 スポーツの振興						大原総合体育館指定管理委託料	28,000		
項	6	施策展開	②スポーツ施設を整備する									
目	2	後期基本計画	88	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>		総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	165											

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 本市における生涯スポーツ活動の拠点として、また市民の健康づくりとスポーツ振興及び世代間の交流活動等を支援する施設として大原総合体育館を設置している。 管理運営については、指定管理者である「豊後大野市スポーツ振興協議会」に委託しスポーツの普及振興に関する事業推進、施設の適切な維持管理を実施する。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; 豊後大野市スポーツ推進計画に基づき、市民の健康づくりの拠点施設として健康増進、地域スポーツの振興、スポーツを通じたまちづくりを行うとともに、市民の求めるサービスの向上に努める。指定管理者制度の導入による効率的な施設の維持管理を行い経費の節減に努め利益を追求する。 ①施設の適切な管理運営 ②施設の効率的な運営及び利用促進 ③市民のためのスポーツの自主事業の実施 ④職員のための各種教育訓練の実施</p>	R3	①プール、トレーニング室 ○施設利用者数 49,267人 ②体育館、研修室 ○施設利用者数 45,149人 計 94,416人	R3計画 27,000 当初予算 27,000 決算額 27,000				27,000	
	R4	①プール、トレーニング室 ○施設利用者数 49,466人 ②体育館、研修室 ○施設利用者数 57,900人 計 107,366人	R4計画 30,000 当初予算 28,000 決算額 28,000				30,000	
	R5		R5計画 30,000 当初予算 28,500 決算額				30,000	
	R6		R6計画 30,000 当初予算 決算額				30,000	
	R7		R7計画 30,000 当初予算 決算額				30,000	
	R3 ~ R7 合計			計画額 147,000 当初予算 83,500 決算額 55,000				147,000 83,500 55,000

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 施設利用者数	プール、トレーニング室、体育館、研修室の延べ利用者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	76,785	人	目標値	94,416	118,500	119,700	121,000	122,300
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	94,416	107,366			
		% 達成率			100	90.6				
D 成果指標 1 施設利用料等	施設運営総収入利益	<input type="checkbox"/> 総合戦略	21,465	千円	目標値	27,607	30,426	30,734	31,067	31,401
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	27,607	28,062			
		% 達成率			100	92.2				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	23点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	23点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 <課題、改善策等> 令和2年度・令和3年度に比べると新型コロナウイルス感染拡大の影響は、少なくとも、スポーツ大会、イベントの開催、大学の合宿の受け入れ数がコロナ前に比べると少なかった。また、アリーナ及びサブアリーナの天井補修工事による使用禁止の影響も大きかった。今後は、利用促進のための広報活動の推進、スポーツツーリズムによる合宿や大会の誘致を図っていく必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 課題である利用の促進を図るためホームページの作成を検討すること。
---	--

I 令和6年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	給食共同調理場運営事業	細事業	給食共同調理場運営事業	実施計画事業	給食共同調理場運営事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ (331)													
会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち					個別計画名 第4次豊後大野市総合計画 期間 R3年度～R7年度	令和4年度主な歳出名称 当予算額				
款	10	施策	1 学校教育の充実										
項	6	施策展開	②教育体制を充実する										
目	3	後期基本計画	84	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>			総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	167												

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p>&lt;事業の目的&gt; 給食に地元食材を活用し、生産者や地域の食文化を理解していただくとともに、食に関する指導の充実を図る。</p> <p>&lt;令和4年度の取組内容(計画)&gt; ●給食共同調理場運営事業 市内の幼稚園児、小学校児童、中学校生徒への給食数…2,548食(関係教職員含む) 調理場施設の状況…三重学校給食共同調理場・西部学校給食共同調理場の2施設 ○市内・県内産食材の活用○施設のドライシステムによる調理の安全性や衛生面の向上○給食配送業務の外部委託 委託先:(社)豊肥地域シルバー人材センター○給食調理業務の外部委託</p>	R3	●給食共同調理場運営事業(完全給食の実施) 市内の幼稚園児、小学校児童、中学校生徒への給食数…2,744食(関係教職員含む) ○市内・県内産食材の活用○施設のドライシステムによる調理の安全性や衛生面の向上○給食配送業務の外部委託(豊肥地域シルバー人材センター)○給食調理業務の外部委託の指導の実施	R3計画	396,061			164,624	231,437
	当初予算	396,061			164,624	231,437		
	決算額	380,172			157,061	223,111		
	R4	●給食共同調理場運営事業 市内の幼稚園児、小学校児童、中学校生徒への給食数…2,548食(関係教職員含む) 調理場施設の状況…三重学校給食共同調理場・西部学校給食共同調理場の2施設 ○市内・県内産食材の活用○施設のドライシステムによる調理の安全性や衛生面の向上○給食配送業務の外部委託 委託先:(社)豊肥地域シルバー人材センター○給食調理業務の外部委託	R4計画	310,000		4,400	125,322	184,678
	当初予算	402,022		4,400	130,651	266,971		
	決算額	389,096		69,353	46,322	273,421		
	R5		R5計画	310,000			122,815	187,185
	当初予算	360,802			129,699	231,103		
	決算額							
	R6		R6計画	310,000			120,359	189,641
	当初予算							
	決算額							
	R7		R7計画	310,000			117,952	192,048
	当初予算							
決算額								
R3～R7合計			計画額	1,636,061			651,072	984,989
			当初予算	1,158,885	4,400		424,974	729,511
			決算額	769,268	69,353		203,383	496,532

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 食の指導	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	196	回	目標値	200	200	200	200	200
					実績値	210	227			
	2 給食の実施数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100			
D 成果指標	1 学校給食における地場産品の使用割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	77	%	目標値	75	75	75	75	75
					実績値	75	75			
	2 学校給食費の収納率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	97.4	%	目標値	97	97	97	97	97
					実績値	97.2	97.9			
E 評価対象外の理由		O 評価対象		(対象外事業はF～I欄未記入可)						

評価項目	5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1→2→3→4→5 なっていない⇒なっている	5点	25点	5点	25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1→2→3→4→5 優先度低い⇒優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1→2→3→4→5 できなかった⇒できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1→2→3→4→5 推移していない⇒推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1→2→3→4→5 推移していない⇒推移した	5点		5点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ、物価高騰に伴い、給食費を払えない家庭が次第に増えている。滞納額が多くなる前に対応が必要。</li> <li>・滞納に対する法的措置にスムーズに移行できる体制整備が必要。</li> <li>・計画的に修繕、機器更新の実施。</li> </ul>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>これまで同様に安心安全な給食を安定して提供を行う。滞納に対しての体制整備が必要である。</p>
--	--

VI 課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業 細事業	政策 施策	総合 計画 体系図 ナンバ ー	後期 基本 計画 ページ	評価対象外の理由
事業番号		枝番		実施計画事業	施策展開			
議会事務局議会係	1	1	1	議会運営事業 議会運営事務	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 2 協働によるまちづくりの推進	295	76	1 職員人件費、市議会議員報酬、特定の事務事業に属さない委員会委員報酬
2001		1		議会運営事務事業	①協働の仕組みづくりと意識を高める			
総務課総務係	2	1	1	総務一般管理事業 自衛官募集事務事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 8 防災対策の充実	254	66	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
3001		1		自衛官募集事務事業	①防災体制を強化する			
総務課総務係	2	1	1	総務一般管理事業 総務一般事務費	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 1 地域コミュニティ活動の推進	289	74	9 その他（評価が困難な事務事業）
3003		1		行政運営交付金事業	①地域コミュニティを育成する			
総務課総務係	2	1	1	総務一般管理事業 総務一般事務費	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 1 地域コミュニティ活動の推進	289	74	9 その他（評価が困難な事務事業）
3003		2		自治連合会交付金事業	①地域コミュニティを育成する			
総務課総務係	2	1	1	総務一般管理事業 感染症予防対策事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 1 保健・医療サービスの充実	118	38	9 その他（評価が困難な事務事業）
3008		1		感染症対策事業	②疾病予防を推進する			
まちづくり推進企画調整係	2	1	8	土地利用対策事業 土地利用対策事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 4 土地利用・景観の整備	204	58	7 事務管理費／特定の事務事業に属さない消耗品費や旅費等
16001		1		土地利用対策事業	①都市計画区域を整備する			
総務課総務係	2	1	14	庁舎等整備事業 庁舎等整備事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 8 防災対策の充実	254	66	8 公共施設（箱物）の新築や大規模改修
283009		1		庁舎等整備事業	①防災体制を強化する			
市民生活課戸籍住民係	2	3	1	戸籍住民基本台帳事業 戸籍、住民基本台帳等管理事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進	271	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
29001		1		個人番号カード交付事務事業	①適正な情報管理を強化する			
市民生活課戸籍住民係	2	3	1	戸籍住民基本台帳事業 一般旅券発給事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進	273	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
29002		1		一般旅券発給事業	①適正な情報管理を強化する			
市民生活課戸籍住民係	2	3	1	戸籍住民基本台帳事業 外国人登録事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進	271	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
29003		1		外国人登録事業	①適正な情報管理を強化する			
市民生活課戸籍住民係	2	3	1	戸籍住民基本台帳事業 人口動態調査事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進	272	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
29004		1		人口動態調査事業	①適正な情報管理を強化する			
市民生活課戸籍住民係	2	3	1	戸籍住民基本台帳事業 住民票等コンビニ交付サービス導入事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進	271	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
29005		1		住民票等コンビニ交付サービス導入事業	①適正な情報管理を強化する			
選挙管理委員会事務局選挙係	2	4	1	選挙管理委員会事業 選挙管理委員会事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進	277	71	1 職員人件費、市議会議員報酬、特定の事務事業に属さない委員会委員報酬
30001		1		選挙管理委員会事業	②広聴・広報活動を充実する			

VI 課別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業	政策	総合計画体系図ナンバ	後期基本計画ページ	評価対象外の理由
事業番号		枝番		細事業 実施計画事業	施策 施策展開			
まちづくり推進課企画調整係	2	5	1	統計調査事業 統計調査事業	III 豊かな暮らしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進 ①適正な情報管理を強化する	272	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
250001		1		統計調査事業				
社会福祉課福祉監査係	3	1	1	民生・児童委員関係事業 民生・児童委員関係交付金	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 2 地域福祉の充実 ②災害時における地域福祉を支援する	127	40	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
41001		1		民生・児童委員活動費等交付事業				
社会福祉課福祉監査係	3	1	1	民生・児童委員関係事業 民生・児童委員関係事務費	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 2 地域福祉の充実 ②災害時における地域福祉を支援する	127	40	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
41003		1		民生・児童委員関係事務事業				
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	地域生活支援事業 福祉ホーム運営補助金	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	158	46	9 その他（評価が困難な事務事業）
43012		1		福祉ホーム運営補助事業				
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 身体障害者自立支援医療費給付事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	158	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
44006		1		身体障害者自立支援医療費給付事業				
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	157	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
44011		2		高額介護サービス事業				
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	157	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
44011		3		特定障害者特別給付事業				
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	157	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
44011		4		計画相談支援給付事業				
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	158	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
44011		6		障害児通所給付高額介護サービス事業				
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	157	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
44011		7		障害児通所給付相談支援給付事業				
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	158	46	9 その他（評価が困難な事務事業）
44011		8		児童発達支援等利用者負担給付事業				
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 その他障害福祉サービス事務費	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ②地域生活支援拠点等の整備と充実	160	46	9 その他（評価が困難な事務事業）
44012		1		身体障害者福祉協議会補助事業				
市民生活課国保年金係	3	1	3	国民年金事務取扱事業 国民年金事務取扱事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 6 社会保障の充実 ③国民年金制度の健全な運営を推進する	167	48	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
45001		1		国民年金事務取扱事業				

VI 課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業	政策	総合 計画 体系図 ナンバ ー	後期 基本 計画 ページ	評価対象外の理由
事業番号				枝番	細事業 実施計画事業	施策 施策展開		
市民生活課国保年金係	3	1	6	国民健康保険特別会計繰出事業 国民健康保険特別会計繰出事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 6 社会保障の充実	164	48	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
49001		1		国民健康保険特別会計繰出事業	②国民健康保険制度の健全な運営を推進する			
高齢者福祉課介護保険係	3	2	4	介護保険事業 介護サービス利用者支援事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 4 高齢者福祉の充実	143	44	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
53001		1		介護サービス利用者支援事業	①介護サービスを充実する			
高齢者福祉課介護保険係	3	2	4	介護保険事業 介護保険特別会計繰出金	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 4 高齢者福祉の充実	143	44	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
53002		1		介護保険特別会計繰出金事業	①介護サービスを充実する			
市民生活課国保年金係	3	2	6	後期高齢者医療療養給付等事務事業 後期高齢者医療療養給付等事務事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 6 社会保障の充実	171	48	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
55001		1		後期高齢者医療療養給付等事務事業	④後期高齢者医療制度の健全な運営を推進する			
子育て支援課家庭支援係	3	3	1	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	133	42	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
409002		2		1号補正給付事業（低所得の子育て世帯）	①子育て支援サービスを充実する			
子育て支援課家庭支援係	3	3	1	児童福祉総務事業 特別児童扶養手当取扱交付金	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
56001		1		特別児童扶養手当取扱交付金事業	①子育て支援サービスを充実する			
子育て支援課家庭支援係	3	3	1	児童福祉総務事業 児童措置費負担金徴収事務	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
56002		1		児童措置費負担金徴収事務事業	①子育て支援サービスを充実する			
子育て支援課子ども支援係	3	3	1	児童福祉総務事業 児童福祉事務費	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	134	42	9 その他（評価が困難な事務事業）
56005		2		子育て支援従事者スキルアップ事業補助事業	②保育サービスを充実する			
子育て支援課子ども支援係	3	3	1	児童福祉総務事業 児童福祉事務費	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	136	42	9 その他（評価が困難な事務事業）
56005		5		保育補助者雇上強化事業	②保育サービスを充実する			
子育て支援課子ども支援係	3	3	1	子ども・子育て支援事業 保育対策等促進事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	135	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
57013		1		病後児保育事業委託事業	②保育サービスを充実する			
子育て支援課家庭支援係	3	3	1	子ども・子育て支援事業 子育て世代包括支援センター事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	133	42	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
57015		10		不妊治療助成事業	①子育て支援サービスを充実する			
子育て支援課子ども支援係	3	3	1	子ども・子育て支援事業 感染症予防対策事業（地域子育て支援拠点）	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	129	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
57017		1		感染症予防対策事業（地域子育て支援拠点）	①子育て支援サービスを充実する			
子育て支援課子ども支援係	3	3	1	子ども・子育て支援事業 感染症予防対策事業（病児・病後児保育）	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
57018		1		感染症予防対策事業（病児・病後児保育）	②保育サービスを充実する			

VI 課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業	政策	総合 計画 体系図 ナンバ ー	後期 基本 計画 ページ	評価対象外の理由
事業番号			枝番	細事業 実施計画事業	施策 施策展開			
子育て支援課こども支援係	3	3	1	子ども・子育て支援事業 感染症予防対策事業（延長保育）	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
57021			1	感染症予防対策事業（延長保育）				
子育て支援課こども支援係	3	3	1	子ども・子育て支援事業 感染症予防対策事業（一時預かり保育）	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
57022			1	感染症予防対策事業（一時預かり保育）				
子育て支援課こども支援係	3	3	1	児童手当事業 児童手当事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
58002			1	児童手当事業				
子育て支援課こども支援係	3	3	1	放課後児童健全育成事業 感染症予防対策事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	132	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
59002			1	感染症予防対策事業				
子育て支援課こども支援係	3	3	2	教育・保育施設運営事業 感染症予防対策事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
61006			1	感染症予防対策事業				
子育て支援課家庭支援係	3	3	3	児童扶養手当給付事業 児童扶養手当給付事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
63001			1	児童扶養手当給付事業				
子育て支援課家庭支援係	3	3	3	母子家庭等自立支援事業 母子生活支援施設措置事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
64001			1	母子生活支援施設措置事業				
子育て支援課家庭支援係	3	3	3	母子家庭等自立支援事業 母子・父子家庭自立支援給付金事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
64002			1	母子・父子家庭自立支援給付金事業				
子育て支援課家庭支援係	3	3	3	母子家庭等自立支援事業 母子寡婦福祉資金貸付金徴収事務	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
64003			1	母子寡婦福祉資金貸付金徴収事務				
子育て支援課家庭支援係	3	3	3	母子家庭等自立支援事業 母子・父子自立支援事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
64006			1	母子・父子自立支援事業				
子育て支援課家庭支援係	3	3	3	ひとり親家庭医療助成事業 ひとり親家庭医療費助成事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
65001			1	ひとり親家庭医療費助成事業				
子育て支援課こども支援係	3	3	4	児童館管理運営事業 感染症予防対策事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	132	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
66004			1	感染症予防対策事業				
子育て支援課緒方保育園	3	3	5	公立教育・保育施設管理運営事業 感染症予防対策事業（緒方保育園）	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
67004			1	感染症予防対策事業（緒方保育園）				

VI 課別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業	政策	総合計画体系図ナンバ	後期基本計画ページ	評価対象外の理由
事業番号		枝番		細事業 実施計画事業	施策 施策展開			
子育て支援課緒方保育園	3	3	5	公立教育・保育施設管理運営事業 感染症予防対策事業（地域子育て支援拠点） 感染症予防対策事業（地域子育て支援拠点）	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	129	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
67005			1					
社会福祉課生活保護係	3	4	2	生活保護事業 生活保護費 生活保護（扶助費）事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 6 社会保障の充実 ①低所得者福祉を充実する	162	48	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
69001			1					
社会福祉課福祉監査係	3	5	1	災害救助事業 災害緊急援助事業 災害緊急援助事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 2 地域福祉の充実 ②災害時における地域福祉を支援する	128	40	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
70001			1					
社会福祉課福祉監査係	3	5	1	災害救助事業 災害被災者住宅再建支援事業 災害被災者住宅再建支援事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 2 地域福祉の充実 ②災害時における地域福祉を支援する	128	40	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
70002			1					
市民生活課親子健康係	4	1	1	母子保健事業 保健衛生総務事業 骨髄移植ドナー支援事業助成事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 1 保健・医療サービスの充実 ③地域医療環境を充実する	122	38	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
71007			1					
市民生活課親子健康係	4	1	1	母子保健事業 保健衛生総務事業 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 1 保健・医療サービスの充実 ③地域医療環境を充実する	122	38	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
71007			2					
子育て支援課こども支援係	4	1	1	子ども医療費助成事業 未熟児養育医療費助成事業 未熟児養育医療費助成事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
73002			1					
市民生活課健康づくり支援係	4	1	2	予防接種事業 新型コロナウイルスワクチン予防接種事業 新型コロナウイルスワクチン予防接種事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 1 保健・医療サービスの充実 ②疾病予防を推進する	117	38	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
76005			1					
環境衛生課環境衛生係	4	1	3	環境衛生事業 奥嶽川水質監視事務委託事業 奥嶽川水質監視事務委託事業	VI 豊かな自然を未来に残し伝えるまち 2 環境保全の推進 ①環境保全対策を推進する	403	100	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
78001			1					
上下水道課工務係／管理係	4	1	5	水道事業 水道事業 水道事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備 ①上水道等を整備する	187	54	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
80001			1					
上下水道課工務係／管理係	4	2	2	生活排水処理事業 浄化槽法に関する事務 浄化槽法に関する事務事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備 ②生活排水処理を推進する	192	54	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
83003			1					
上下水道課工務係／管理係	4	2	2	生活排水処理事業 農業集落排水事業 農業集落排水事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備 ②生活排水処理を推進する	192	54	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
83004			1					
上下水道課工務係／管理係	4	2	2	生活排水処理事業 公共下水道事業 公共下水道事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備 ②生活排水処理を推進する	192	54	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
83005			1					

VI 課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業 細事業	政策 施策	総合 計画 体系図 ナンバ ー	後期 基本 計画 ページ	評価対象外の理由
事業番号		枝番		実施計画事業	施策展開			
上下水道課工務係/ 管理係	4	2	2	生活排水処理事業 浄化槽市町村整備推進事業	III 豊かな暮らしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備	192	54	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
83006	1			浄化槽市町村整備推進事業	②生活排水処理を推進する			
上下水道課工務係/ 管理係	4	2	2	生活排水処理事業 生活排水事務費	III 豊かな暮らしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備	193	54	7 事務管理費/特定の事務事業に属さない消耗品費や旅費等
83007	1			生活排水事務事業	②生活排水処理を推進する			
農業委員会事務局農 地管理係	6	1	1	農業委員会事業 農業者年金事務取扱事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興	38	24	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/全額国等負担）
87002	1			農業者年金事務取扱事業	⑤農地利用の最適化を推進する			
農業委員会事務局農 地管理係	6	1	1	農業委員会事業 農地売買支援事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興	38	24	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/全額国等負担）
87004	1			農地売買支援事業	⑤農地利用の最適化を推進する			
農業振興課農業振興 係	6	1	4	園芸振興事業 大規模園芸リース団地整備事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興	10	23	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
95003	1			ブランドを育む園芸産地育成支援事業	②収益力の向上をめざした生産振興			
農業振興課農業振興 係	6	1	4	園芸振興事業 野菜価格安定対策事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興	10	23	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
95004	1			野菜価格安定対策事業	②収益力の向上をめざした生産振興			
農業振興課農業振興 係	6	1	4	園芸振興事業 団体負担金	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興	10	23	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
95006	1			団体負担金事業	②収益力の向上をめざした生産振興			
農業振興課農業振興 係	6	1	4	園芸振興事業 園芸振興事務費	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興	10	23	7 事務管理費/特定の事務事業に属さない消耗品費や旅費等
95010	1			園芸振興事務事業	②収益力の向上をめざした生産振興			
建設課建設企画係	8	2	1	道路橋梁総務事業 道路橋梁総務事業	III 豊かな暮らしと安心を実感できるまち 1 交通ネットワークの整備	175	52	9 その他（評価が困難な事務事業）
121001	1			道路台帳作成整備委託事業	①市道を整備する			
建設課建設企画係	8	2	1	道路橋梁総務事業 道路橋梁総務事業	III 豊かな暮らしと安心を実感できるまち 1 交通ネットワークの整備	178	52	4 国県が河川、道路等を直轄で行う事業で、市がその経費の一部を法律等で負担しなければならない負担金事業
121001	2			県営道路事業負担金事業	②国道・県道の整備を促進する			
学校教育課教育総務 係	10	1	1	教育委員会運営事業 教育委員会運営事業	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 2 協働によるまちづくりの推進	295	76	1 職員人件費、市議会議員報酬、特定の事務事業に属さない委員会委員報酬
136001	1			教育委員会運営事業	①協働の仕組みづくりと意識を高める			
学校教育課教育総務 係	10	1	2	教育委員会事務局事業 事務局運営事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	324	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
137001	1			人権・部落差別解消教育研究大会補助事業	①教育内容を充実する			
学校教育課教育総務 係	10	1	2	教育委員会事務局事業 事務局運営事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	339	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
137001	2			三重総合高校の明日を拓く会補助事業	⑤高等学校を支援する			

VI 課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業	政策	総合 計画 体系図 ナンバ ー	後期 基本 計画 ページ	評価対象外の理由
事業番号		枝番		細事業 実施計画事業	施策 施策展開			
学校教育課教育総務係	10	1	2	教育委員会事務局事業 事務局運営事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	338	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
137001		4		奨学金返還支援補助事業	④就学環境を充実する			
学校教育課教育総務係	10	1	2	教育委員会事務局事業 基金運営管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	333	84	7 事務管理費／特定の事務事業に属さない消耗品費や旅費等
137002		1		基金運営管理事業	②教育体制を充実する			
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 日本スポーツ振興センター事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	336	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
138001		1		日本スポーツ振興センター事業	③安心安全な教育環境をつくる			
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	324	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
138004		1		学校教育振興協議会補助事業	①教育内容を充実する			
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	324	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
138004		2		中学校体育連盟補助事業	①教育内容を充実する			
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
138004		4		教員業務サポートスタッフ活用事業	②教育体制を充実する			
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	337	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
138004		6		「生理の貧困」対策事業	④就学環境を充実する			
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	333	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
138004		8		学力向上指導員	②教育体制を充実する			
学校教育課学校教育係	10	1	3	就学援助事業 要保護児童生徒援助事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	337	84	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
139001		1		要保護児童生徒援助事業	④就学環境を充実する			
学校教育課学校教育係	10	1	3	就学援助事業 特別支援教育就学奨励事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	337	84	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
139002		1		特別支援教育就学奨励事業	④就学環境を充実する			
学校教育課学校教育係	10	1	3	就学援助事業 就学援助事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	337	84	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
139003		1		就学援助事業	④就学環境を充実する			
学校教育課教育総務係	10	1	3	遠距離通学運営事業 スクールバス運行管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	337	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
140001		1		スクールバス運行管理事業	④就学環境を充実する			
学校教育課教育総務係	10	1	3	遠距離通学運営事業 遠距離通学事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	337	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
140002		1		遠距離通学事業	④就学環境を充実する			

VI 課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業	政策	総合 計画 体系図 ナンバ ー	後期 基本 計画 ページ	評価対象外の理由
事業番号		枝番		細事業 実施計画事業	施策 施策展開			
学校教育課学校教育係	10	2	1	小学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
257001		1		小学校一般管理事業 学校教育援助員活用事業	②教育体制を充実する			
学校教育課学校教育係	10	2	1	小学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
257001		2		小学校一般管理事業 学校司書活用事業	②教育体制を充実する			
学校教育課学校教育係	10	2	1	小学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
257001		3		小学校一般管理事業 学校主事活用事業	②教育体制を充実する			
学校教育課学校教育係	10	2	1	小学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
257001		4		小学校一般管理事業 学校図書主事活用事業	②教育体制を充実する			
学校教育課教育総務係	10	2	1	小学校施設維持管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	334	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
258001		1		小学校施設維持管理事業 小学校施設維持管理事業	③安心安全な教育環境をつくる			
学校教育課学校教育係	10	3	1	中学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
259001		2		中学校一般管理事業 学校司書活用事業	②教育体制を充実する			
学校教育課学校教育係	10	3	1	中学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
259001		3		中学校一般管理事業 学校主事活用事業	②教育体制を充実する			
学校教育課学校教育係	10	3	1	中学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
259001		4		中学校一般管理事業 学校図書主事活用事業	②教育体制を充実する			
学校教育課教育総務係	10	3	1	中学校施設維持管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	334	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
260001		1		中学校施設維持管理事業 中学校施設維持管理事業 中学校施設維持管理事業	③安心安全な教育環境をつくる			
学校教育課学校教育係	10	3	2	中学校教育振興事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	324	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
148002		1		中学校教育振興事業 各種大会等出場補助事業	①教育内容を充実する			
学校教育課学校教育係	10	4	1	幼稚園一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	332	84	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
261001		2		幼稚園一般管理事業 子育てのための施設等利用給付事業	②教育体制を充実する			
学校教育課教育総務係	10	4	1	幼稚園施設維持管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	334	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
262001		1		幼稚園施設維持管理事業 幼稚園施設維持管理事業	③安心安全な教育環境をつくる			
社会教育課社会教育係	10	5	1	社会教育総務事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 2 生涯学習の推進	341	86	9 その他（評価が困難な事務事業）
152001		1		社会教育総務事業 社会教育指導員活用事業	①生涯学習を推進する			

VI 課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業	政策	総合 計画 体系図 ナン バー	後期 基本 計画 ページ	評価対象外の理由
事業番号		枝番		細事業 実施計画事業	施策 施策展開			
社会教育課社会教育係	10	5	2	公民館管理運営事業 公民館施設管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 2 生涯学習の推進 ②公民館機能を充実する	347	86	9 その他(評価が困難な事務事業)
154001		1		公民館施設管理事業				
社会教育課社会教育係	10	5	2	公民館管理運営事業 感染症予防対策事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 2 生涯学習の推進 ②公民館機能を充実する	347	86	9 その他(評価が困難な事務事業)
154004		1		感染症予防対策事業				
社会教育課文化財係	10	5	4	文化財保護事業 埋蔵文化財調査事業(単独)	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 5 文化財等の保存・継承 ①資料館の展示・収蔵・館外活動の充実と文化財保護の推進	372	92	9 その他(評価が困難な事務事業)
157002		1		埋蔵文化財調査事業(単独)				
社会教育課図書館係	10	5	5	図書館管理運営事業 感染症予防対策事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 2 生涯学習の推進 ③図書館利用を推進する	356	86	9 その他(評価が困難な事務事業)
158005		1		感染症予防対策事業				
社会教育課スポーツ推進係	10	6	2	スポーツ施設管理事業 スポーツ施設管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 3 スポーツの振興 ②スポーツ施設を整備する	360	88	9 その他(評価が困難な事務事業)
161001		2		豊後大野市スポーツ施設の整備等に関する基本計画策定業務				
社会教育課スポーツ推進係	10	6	2	スポーツ施設管理事業 感染症予防対策事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 3 スポーツの振興 ②スポーツ施設を整備する	359	88	9 その他(評価が困難な事務事業)
161002		1		感染症予防対策事業				
社会教育課スポーツ推進係	10	6	2	スポーツ施設管理事業 大原総合運動公園大型複合遊具等整備事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 3 スポーツの振興 ②スポーツ施設を整備する	359	88	9 その他(評価が困難な事務事業)
161003		1		遊具等整備事業				
社会教育課スポーツ推進係	10	6	2	スポーツ施設整備事業 全天候型体育施設整備事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 3 スポーツの振興 ②スポーツ施設を整備する	359	88	9 その他(評価が困難な事務事業)
410002		1		全天候型体育施設整備事業				
学校教育課学校給食係	10	6	3	給食共同調理場運営事業 給食共同調理場コロナ対策環境整備事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	331	84	8 公共施設(箱物)の新築や大規模改修
162005		1		環境整備事業				
農林整備課基盤整備係	11	1	1	農業用施設災害復旧事業 農業用施設災害復旧事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興 ⑥農業生産基盤を整備する	41	24	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
163001		1		農業用施設災害復旧事業				
農林整備課基盤整備係	11	1	1	農業用施設災害復旧事業 農地等災害復旧支援事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興 ⑥農業生産基盤を整備する	41	24	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
163003		1		農地等災害復旧支援事業				
農林整備課基盤整備係	11	1	2	林業用施設災害復旧事業 林業用施設災害復旧事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 2 林業の振興 ②林業生産基盤を整備する	57	26	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
164001		1		林業用施設災害復旧事業				
建設課道路保全係	11	2	1	道路橋梁河川災害復旧事業 補助災害復旧事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 8 防災対策の充実 ③災害対策を強化する	260	66	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
165001		1		補助災害復旧事業				

VI 課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業 細事業 実施計画事業	政策 施策 施策展開	総合 計画 体系図 ナン バー	後期 基本 計画 ページ	評価対象外の理由
事業番号		枝番						
建設課道路保全係	11	2	1	道路橋梁河川災害復旧事業 単独災害復旧事業 単独災害復旧事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 8 防災対策の充実 ③災害対策を強化する	260	66	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
165002		1						
財政課財政係	12	1	1	借入元金償還事業 借入元金償還事業 借入元金償還事業	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 4 主体的で計画的な行財政運営の推進 ②健全な財政運営と財政基盤の強化	314	80	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
167001		1						